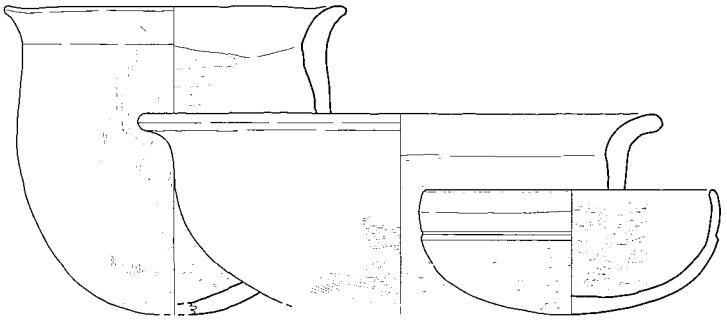
熊本大学埋蔵文化財調査報告書第16集

熊本大学構内遺跡発掘調査報告16

（2013・2014年度：黒髪南地区1310調査地点２）



2021

熊本大学埋蔵文化財調査センター

熊本大学構内遺跡発掘調査報告16

（2013・2014年度：黒髪南地区1310調査地点２）

2021

熊本大学埋蔵文化財調査センター

1．黒髪南地区 1310 調査地点出土遺物

２．黒髪南地区 1310 調査地点で検出された古代の竪穴建物（南より）

３．黒髪南地区 1310 調査地点で検出された近代土坑出土遺物（東より）

序　　文

本報告書は、2013年度・2014年度に実施した黒髪南地区1310地点の調査成果の一部である。1310地点の遺構・遺物は縄文時代から近代にまでわたっており、縄文時代についてはすでに発掘調査報告書を刊行した（『熊本大学埋蔵文化財調査報告書』第14集、2019年３月）。本報告書は、1310地点の古代、中世、近世、近代に関するものである。これによって、1310地点の発掘調査報告は完了することになる。

本報告書は、山野ケン陽次郎助教が作成・編集を担当した。先に刊行した縄文時代に関する発掘調査報告書と本報告書を併せ読むことによって、黒髪町遺跡群南東端における土層の性質、当該地域の通時的な土地利用と集落構造のあり方をつかむことができるはずである。読者諸賢に御味読いただきたい。

2019年末以来のCOVID-19感染拡大のなかにもかかわらず、無事に2020年度のセンター業務を遂行し、本報告書を刊行することができたのは、センターのスタッフ皆さんの努力と関係各位のご理解・ご協力の賜物である。私事で恐縮であるが、私自身2021年３月末日で２期４年間のセンター長の任を終えることになる。考古学の門外漢であるにもかかわらずセンター長を務めることができたのは、センターのスタッフ皆さんの支え、関係各位のご理解・ご協力があったからにほかならない。お世話になった方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げるとともに、今後とも熊本大学埋蔵文化財調査センターへのご理解とご協力をお願いする次第である。

2021年３月

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター

センター長　伊　藤　正　彦

例　　言

1．本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査センター（平成23年10月１日に「熊本大学埋蔵文化財調査室」より改組）が2013年度から2014年度に実施した発掘調査の一部に関するものである。
2．本書に収録した報告は、2013年度から2014年度に埋蔵文化財調査センターが実施した黒髪南地区1310調査地点の発掘調査に関する成果である。このうち縄文時代の発掘調査成果については『熊本大学埋蔵文化財調査報告書』第14集に掲載しており、本書は古代・中世・近世・近代の調査成果を主とする。
3．発掘調査を実施した2013年度から2014年度の埋蔵文化財調査センターの組織と調査体制は以下のとおりである。

センター長：木下尚子（文学部教授）
調　査　員：松田光太郎（准教授）・大坪志子（助教）・山野ケン陽次郎（助教）・浦辻栄治（技術補佐員）・柴田亮（技術補佐員）
事務補佐員：大崎喜美子

4．遺物番号として通し番号を１から付けており、写真図版中の番号はこれに一致する。
5．本文は、株式会社九州文化財研究所発掘調査員と株式会社有明測量開発社発掘調査員の調査報告を参照しつつ、山野が執筆した。
6．本書に使用した遺構実測図は、山野・大坪・浦辻・柴田、株式会社九州文化財研究所発掘調査員と株式会社有明測量開発社発掘調査員が作成した。
7．本書に使用した遺物実測図・拓本は、井上裕美、小山正子、後藤恵、首藤優子、末吉美紀、園田智子が作成した。
8．本書に使用した図版の製図はAdobe社の「Illustrator」と「Photoshop」を使用して、山野、大坪、鬼塚美枝、江口路、首藤、増井弘子、小堀嵩史がおこなった。
9．遺構実測及び製図には手描きによる記録とともに、株式会社CUBICの遺跡実測支援システム「遺構くん」を使用した。
10．本書に使用した現場写真は山野、大坪、柴田、株式会社九州文化財研究所発掘調査員、有明測量株式会社発掘調査員が撮影した。遺物写真は山野、江口、小山、末吉が撮影した。
11．本書に掲載した遺物観察表は、山野、首藤が作成した。
12．本書に掲載した出土遺物および記録類は、熊本大学埋蔵文化財調査センターで保管している。
13．本書に使用した調査地点配置図および遺構図の座標は世界測地系による。
14．出土した遺物への注記は遺跡略号＋調査地点番号＋出土遺構・層（位置）の順でおこなった。
15．土層・遺物の色調観察は「小山正正・竹原英雄編著『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社」に基づく。
16．本書の編集は山野がおこなった。

本　文　目　次

Ⅰ　熊本大学構内遺跡の概要
1．熊本大学敷地と構内遺跡の概要 …… 1
（1）地理的環境 …… 1
（2）歴史的環境 …… 1
2．調査に至る経緯 …… 4
3．これまでの調査と本書収録の遺跡 …… 5
Ⅱ　（黒髪南）ライフライン再生（給水設備等）工事に伴う発掘調査（1310調査地点）
1．調査の目的と経過 …… 27
（1）調査の目的とこれまでの調査成果 …… 27
（2）発掘調査の経過と組織 …… 27
（3）整理作業の経過と組織 …… 32
2．調査地点の基本層序 …… 33
3．各調査区の検出遺構と出土遺物 …… 37
（1）古代 …… 37
①　Ⅰ区 …… 37
②　Ⅱ区 …… 59
③　Ⅲ区 …… 73
④　Ⅳ区 …… 93
⑤　Ⅴ区 …… 119
（2）近世・近代 …… 129
①　Ⅱ区 …… 129
②　Ⅲ区 …… 130
③　Ⅴ区 …… 138
Ⅲ　遺跡の総括
1．古代 …… 163
（1）遺構の概要 …… 163
①　竪穴建物 …… 163
②　溝 …… 163
（2）古代における土地利用 …… 164
2．近世・近代 …… 166
（1）近世における土地利用 …… 166
（2）近代における土地利用 …… 167
3．遺跡の位置づけと今後の展望 …… 170

挿　図　目　次

図1　熊本大学構内遺跡と市街地周辺遺跡の分布図（1/25000）…… 2
図2　黒髪南地区における調査地点位置図（1/2000）…… 28

図３　1310調査地点の調査区の位置と名称（1/1000）……31
図４　1310調査地点基本土層模式図（1/50）……35
図５　Ⅰ区遺構配置図（1/400）……44
図６　Ⅰ１区１号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/3・1/4）……45
図７　Ⅰ２区遺構物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……47
図８　Ⅰ３区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……48
図９　Ⅰ４区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4）……49
図10　Ⅰ５区遺構実測図と出土遺物実測図（1/100・1/50・1/4）……51
図11　Ⅰ12区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……52
図12　Ⅰ20区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……53
図13　Ⅰ23区４号溝実測図（1/50）……54
図14　Ⅰ36区１号竪穴建物実測図（1/50）…55
図15　Ⅰ37・38区遺構実測図と出土遺物実測図１（1/80・1/50・1/4）……56
図16　Ⅰ37・38区遺構実測図と出土遺物実測図２（1/50・1/4）……57
図17　Ⅰ40区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25）……58
図18　Ⅰ区出土遺物実測図（1/4）……59
図19　Ⅱ区遺構配置図（1/400）……60
図20　Ⅱ１区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……61
図21　Ⅱ３区１号溝実測図と出土遺物実測図（1/100・1/50・1/4）……62
図22　Ⅱ4-1区３号溝実測図と出土遺物実測図（1/100・1/50・1/4）……63
図23　Ⅱ4-2区25号竪穴建物等実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……64
図24　Ⅱ4-3区34号竈実測図と出土遺物実測（1/200・1/25・1/4）……65
図25　Ⅱ4-4区４号竪穴建物実測図（1/50）…67
図26　Ⅱ4-4区４号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……68
図27　Ⅱ4-4区５号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……69
図28　Ⅱ11区遺構実測図（1/200・1/50）……70
図29　Ⅱ11区出土遺物実測図（1/4）……71
図30　Ⅱ15区遺構実測図と出土遺物実測図（1/100・1/50・1/25・1/4）……72
図31　Ⅱ区出土遺物実測図１（1/4）……74
図32　Ⅱ区出土遺物実測図２（1/4・1/3）…75
図33　Ⅲ区遺構配置図（1/400）……76
図34　Ⅲ１区22号溝と出土遺物実測図（1/100・1/50・1/4・1/2）……77
図35　Ⅲ１区２号・22号溝東西ベルト北壁土層断面図（1/40）……78
図36　Ⅲ１区30号竪穴建物実測図１（1/25）……79
図37　Ⅲ１区30号竪穴建物実測図２（1/50・1/25）……80
図38　Ⅲ２区19号竪穴建物実測図（1/50・1/25）……81
図39　Ⅲ３区３号竪穴建物実測図（1/50）…82
図40　Ⅲ５区１号溝実測図とⅢ５区７号ピット出土遺物実測図（1/50・1/4）……83
図41　Ⅲ６区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/3・1/4）……84
図42　Ⅲ８区遺構実測図（1/50・1/25）……85
図43　Ⅲ８区７・８号竪穴建物実測図とⅢ８区出土遺物実測図（1/50・1/25・1/3・1/4）……86
図44　Ⅲ11区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4）……87
図45　Ⅲ12区１（Ⅲ１区28号・Ⅱ35区７号）号竪穴建物実測図（1/25）……88
図46　Ⅲ12区１号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4）……89
図47　Ⅲ13区３号竪穴建物実測図（1/50・1/25）……91
図48　Ⅲ25区遺構実測図（1/50・1/25）……92
図49　Ⅲ区出土遺物実測図（1/3・1/4）……93

図50　Ⅳ区遺構配置図（1/400）……94
図51　Ⅳ１区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/3）……95
図52　Ⅳ区西側検出溝等遺構実測図（1/200・1/25）……97
図53　Ⅳ区西側遺構出土遺物実測図（1/4・1/3）……98
図54　Ⅳ５区西側遺構平面図（1/200）……99
図55　Ⅳ５区11・12号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）……99
図56　Ⅳ５区13号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）…… 100
図57　Ⅳ5・6区遺構実測図と出土遺物実測図（1/4・1/5）…… 101
図58　Ⅳ６区19号竪穴建物実測図（1/50）…… 102
図59　Ⅳ６区19号竪穴建物実測図とⅣ６区出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4）…… 103
図60　Ⅳ６区出土遺物実測図（1/4）…… 104
図61　Ⅳ７区遺構実測図と出土遺物実測図（1/200・1/50・1/3）…… 106
図62　Ⅳ８区遺構実測図（1/100・1/25）… 107
図63　Ⅳ10-2区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）…… 109
図64　Ⅳ10-1・2区出土遺物実測図（1/3・1/4）…… 110
図65　Ⅳ11区遺構実測図（1/100・1/25）… 111
図66　Ⅳ11・Ⅳ13区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4）…… 112
図67　Ⅳ13区遺構実測図（1/100・1/50・1/25）…… 113
図68　Ⅳ13区４号土坑遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）…… 114
図69　Ⅳ14区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4）…… 115
図70　Ⅳ区東側溝等検出遺構実測図（1/200）…… 116
図71　Ⅳ区東側溝等遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4・1/3）…… 118
図72　Ⅳ区出土遺物実測図（1/4・1/3・1/2）…… 119
図73　Ⅴ区遺構配置図（1/400）…… 120
図74　Ⅴ10区遺構実測図と出土遺物実測図（1/50・1/3・1/4）…… 121
図75　Ⅴ11区１号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（1/50・1/25・1/4）…… 122
図76　Ⅴ14区遺構実測図と出土遺物実測図（1/200・1/25・1/4）…… 123
図77　Ⅴ15区遺構実測図（1/50・1/25）… 124
図78　Ⅴ19-2区遺構実測図と出土遺物実測図（1/100・1/25・1/4）…… 125
図79　Ⅴ20区遺構実測図（1/50・1/25）… 126
図80　Ⅴ29区遺構実測図と出土遺物実測図（1/200・1/25・1/4・1/1）…… 127
図81　Ⅱ８区近代遺構実測図と出土遺物実測図（1/100・1/50・1/4）…… 128
図82　Ⅱ８区出土遺物実測図（1/4）…… 129
図83　Ⅲ１区近世遺構実測図（1/100・1/50）…… 131
図84　Ⅲ１区１号土坑および２号溝出土遺物実測図（1/3・1/4）…… 132
図85　Ⅲ3・9区近代土坑出土遺物実測図１（1/4）…… 133
図86　Ⅲ3・9区近代土坑出土遺物実測図２（1/4）…… 134
図87　Ⅲ3・9区近代土坑出土遺物実測図３（1/4）…… 135
図88　Ⅲ３区近代土坑出土遺物実測図４（1/3・1/4）…… 136
図89　Ⅴ３区遺構実測図と出土遺物実測図（1/200・1/25・1/4）…… 137
図90　Ⅴ3-2区２号遺溝実測図と出土遺物実測図（1/50・1/4）…… 139
図91　Ⅴ４～８区遺構実測図（1/200・1/50）…… 140
図92　Ⅴ４・５区出土遺物実測図（1/3・1/4・1/5）…… 141
図93　Ⅴ12区１号土坑実測図と出土遺物実測図（1/100・1/4）…… 142
図94　1310調査地点古代遺構配置図（1/1000）

…… 165
図95　熊本高等工業学校平面図（縮尺不明）
…… 167
図96　1310調査地点近代遺構配置図（1/250）
…… 168
図97　昭和11年頃の熊本高等工業学校平面図（縮尺不明）…… 169

図　版　目　次

図版１　1310調査地点Ｉ区…… 175
写真１　Ｉ１区１号竪穴建物遺物出土状況（東より）
写真２　Ｉ１区１号竈半裁状況（北西より）
写真３　Ｉ１区南壁土層断面（北西より）
写真４　Ｉ１区遺構完掘状況（西より）
写真５　Ｉ１区１号竈遺物出土状況（北より）
図版２　1310調査地点Ｉ区…… 176
写真６　Ｉ２区１号竈遺物出土状況(南より)
写真７　Ｉ２区遺構完掘状況（南より）
写真８　Ｉ２区２号竪穴建物土層断面（北より）
写真９　Ｉ３区遺構完掘状況（南より）
写真10　Ｉ３区西壁土層断面（東より）
写真11　Ｉ４区１号土坑遺物出土状況（東より）
写真12　Ｉ４区２号竪穴建物完掘状況（北西より）
写真13　Ｉ４区遺構完掘状況（南より）
図版３　1310調査地点Ｉ区…… 177
写真14　Ｉ５区５号溝完掘状況（北より）
写真15　Ｉ６区遺構検出状況（西より）
写真16　Ｉ７区１号溝完掘状況（北西より）
写真17　Ｉ８区遺構完掘状況（北西より）
写真18　Ｉ８区１号溝完掘状況（北より）
写真19　Ｉ９区掘削状況（北東より）
写真20　Ｉ10区掘削状況（西より）
写真21　Ｉ11区４層検出状況（北東より）
図版４　1310調査地点Ｉ区…… 178
写真22　Ｉ12区22号粘土集中部半裁状況（南より）
写真23　Ｉ12区９号竪穴建物掘方完掘状況（南東より）
写真24　Ｉ23区東側遺構完掘状況（西より）
写真25　Ｉ23区４号溝完掘状況（西より）
写真26　Ｉ24区遺構完掘状況（南西より）
写真27　Ｉ26区遺構完掘状況（北より）
写真28　Ｉ27区遺構完掘状況（北より）
写真29　Ｉ28区遺構完掘状況（南より）
図版５　1310調査地点Ｉ区…… 179
写真30　Ｉ29区遺構完掘状況（南より）
写真31　Ｉ29区遺構完掘状況（東より）
写真32　Ｉ30区掘削状況（北より）
写真33　Ｉ31区掘削状況（南より）
写真34　Ｉ32区掘削状況（南より）
写真35　Ｉ33区掘削状況（東より）
写真36　Ｉ34区掘削状況（西より）
写真37　Ｉ35区遺構完掘状況（北より）
図版６　1310調査地点Ｉ区…… 180
写真38　Ｉ36区遺構完掘状況（南より）
写真39　Ｉ37区東側２号竪穴建物南北ベルト東壁土層断面（東より）
写真40　Ｉ37区２号竪穴建物掘方土層断面（東より）
写真41　Ｉ37区２号竪穴建物掘方完掘状況（東より）
写真42　Ｉ37区西側完掘状況（東より）
写真43　Ｉ37区東側遺構完掘状況（西より）
写真44　Ｉ38区１号竈土層断面（南より）
写真45　Ｉ38区７号ピット土器出土状況（東より）
図版７　1310調査地点Ｉ区…… 181
写真46　Ｉ38区１号竈完掘状況（南より）
写真47　Ｉ38区１号竪穴建物掘方土層断面（南より）

写真48　Ⅰ38区１号竪穴建物完掘状況（南より）
写真49　Ⅰ38区１号竪穴建物土層断面（西より）
写真50　Ⅰ39区掘削状況（北より）
写真51　Ⅰ40区８号竈完掘状況（南より）
写真52　Ⅰ40区８号竈土層断面（北より）
写真53　Ⅰ40区遺構完掘状況（西より）
図版８　1310調査地点Ⅰ・Ⅱ区…… 182
写真54　Ⅰ41区掘削状況（西より）
写真55　Ⅰ42区掘削状況（北より）
写真56　Ⅰ43区掘削状況（北より）
写真57　Ⅰ44区掘削状況（北より）
写真58　Ⅰ45区掘削状況（南東より）
写真59　Ⅰ46区掘削状況（西より）
写真60　Ⅱ１区７号竪穴建物検土層断面（北東より）
写真61　Ⅱ１区遺構完掘状況（北東より）
図版９　1310調査地点Ⅱ区…… 183
写真62　Ⅱ4-1区３号溝遺物検出状況（南西より）
写真63　Ⅱ4-1区３号溝完掘状況（西より）
写真64　Ⅱ4-1区遺構完掘状況（南より）
写真65　Ⅱ4-2区25号竪穴建物北東隅遺物出土状況（東より）
写真66　Ⅱ4-2区25号竈完掘状況（南より）
図版10　1310調査地点Ⅱ区…… 184
写真67　Ⅱ4-2区25号竈南北ベルト土層断面（東より）
写真68　Ⅱ4-2区25号竪穴建物床面検出状況（南より）
写真69　Ⅱ4-2区25号竈焼土土層断面（東より）
写真70　Ⅱ4-2区25号竪穴建物掘方完掘状況（南より）
写真71　Ⅱ4-3区34号竈遺物出土状況（東より）
写真72　Ⅱ4-3区34号竈完掘状況（南より）
写真73　Ⅱ4-3区34号竈掘方南北ベルト土層断面（東より）
写真74　Ⅱ4-3区34号竈以外の遺構完掘状況（南より）
図版11　1310調査地点Ⅱ区…… 185
写真75　Ⅱ4-4区４号竈東西ベルト土層断面（南より）
写真76　Ⅱ4-4区４号竪穴建物堀形土層断面（東より）
写真77　Ⅱ4-4区４号竪穴建物掘形完掘状況（北より）
写真78　Ⅱ4-4区５号竈東西ベルト土層断面（南より）
写真79　Ⅱ4-4区４号竈および竈周辺遺物出土状況（南より）
図版12　1310調査地点Ⅱ区…… 186
写真80　Ⅱ4-4区５号竪穴建物土層断面（南より）
写真81　Ⅱ4-4区５号竈完掘状況（南より）
写真82　Ⅱ4-4区５号竪穴建物床面検出状況（南より）
写真83　Ⅱ4-4区５号竪穴建物掘方土層断面（南より）
写真84　Ⅱ4-4区遺構完掘状況（南より）
写真85　Ⅱ５区掘削状況（東より）
写真86　Ⅱ６区掘削状況（東より）
写真87　Ⅱ７区掘削状況（西より）
図版13　1310調査地点Ⅱ区…… 187
写真88　Ⅱ８区遺構完掘状況（西より）
写真89　Ⅱ8-2区掘削状況（西より）
写真90　Ⅱ９区褐色粘質土検出状況（西より）
写真91　Ⅱ10区掘削状況（西より）
写真92　Ⅱ10-2区１号栗石基礎検出状況（南より）
写真93　Ⅱ区10-2区遺構完掘状況（南より）
写真94　Ⅱ11区13号溝完掘状況（東より）
写真95　Ⅱ11区16号溝完掘状況（西より）
図版14　1310調査地点Ⅱ区…… 188
写真96　Ⅱ11区８号溝完掘状況（東より）
写真97　Ⅱ11区北側遺構完掘状況（北より）
写真98　Ⅱ11区南側遺構完掘状況（南より）
写真99　Ⅱ11区東壁土層断面（西より）

写真100　Ⅱ11区南端遺構完掘状況（北より）
写真101　Ⅱ12区西側遺構完掘状況（西より）
写真102　Ⅱ13区遺構完掘状況（西より）
写真103　Ⅱ14区遺構完掘状況（西より）
図版15　1310調査地点Ⅱ区…… 189
写真104　Ⅱ14区遺構完掘状況（南東より）
写真105　Ⅱ15区２号硬化面検出状況（東より）
写真106　Ⅱ15区３号竪穴建物土層断面（南より）
写真107　Ⅱ15区遺構完掘状況（北東より）
写真108　Ⅱ15区北側壁土層断面（南より）
写真109　Ⅱ16区遺構完掘状況（北東より）
写真110　Ⅱ16区西壁土層断面（東より）
写真111　Ⅱ17区４層検出状況（西より）
図版16　1310調査地点Ⅱ区…… 190
写真112　Ⅱ18区１号竪穴建物掘方完掘状況（南より）
写真113　Ⅱ18区遺構完掘状況（東より）
写真114　Ⅱ19区掘削状況（南より）
写真115　Ⅱ20区遺構完掘状況（南東より）
写真116　Ⅱ21区遺構完掘状況（南より）
写真117　Ⅱ22区４層検出状況（東より）
写真118　Ⅱ23区遺構完掘状況（北より）
写真119　Ⅱ24区掘削状況（北西より）
図版17　1310調査地点Ⅱ区…… 191
写真120　Ⅱ25区遺構完掘状況（北より）
写真121　Ⅱ26区掘削状況（北より）
写真122　Ⅱ27区掘削状況（西より）
写真123　Ⅱ28区掘削状況（西より）
写真124　Ⅱ29区掘削状況（南より）
写真125　Ⅱ30区掘削状況（西より）
写真126　Ⅱ31区掘削状況（南より）
写真127　Ⅱ32区遺構完掘状況（東より）
図版18　1310調査地点Ⅱ区…… 192
写真128　Ⅱ32区東壁土層断面（西より）
写真129　Ⅱ33区遺構完掘状況（北より）
写真130　Ⅱ34区掘削状況（東より）
写真131　Ⅱ35区遺構完掘状況（北より）
写真132　Ⅱ36-1区掘削状況（南より）
写真133　Ⅱ36-2区掘削状況（東より）
写真134　Ⅱ37-1掘削状況（西より）
写真135　Ⅱ37-4区掘削状況（北より）
図版19　1310調査地点Ⅱ・Ⅲ区…… 193
写真136　Ⅱ38-1区掘削状況（南より）
写真137　Ⅱ38-2区掘削状況（北西より）
写真138　Ⅱ39区掘削状況（北より）
写真139　Ⅱ40区遺構完掘状況（東より）
写真140　Ⅱ41区掘削状況（南より）
写真141　Ⅱ42区掘削状況（南より）
写真142　Ⅲ１区１号土坑完掘状況（西より）
写真143　Ⅲ1・2区２号溝遺物出土状況（北西より）
図版20　1310調査地点Ⅲ区…… 194
写真144　Ⅲ１区１号土坑・２号溝切り合い関係確認土層断面（北より）
写真145　Ⅲ１区３号土坑西壁土層断面（東より）
写真146　Ⅲ１区古代遺構検出状況（北西より）
写真147　Ⅲ１区７号竪穴建物硬化面検出状況（東より）
写真148　Ⅲ１区２号溝完掘状況（南東より）
写真149　Ⅲ１区東西ベルト北壁土層断面（北西より）
写真150　Ⅲ１区22号溝完掘状況（北西より）
写真151　Ⅲ１区28号竈土層断面（西より）
図版21　1310調査地点Ⅲ区…… 195
写真152　Ⅲ１区28号竪穴建物掘方完掘状況（南より）
写真153　Ⅲ１区30号竈土層断面（南より）
写真154　Ⅲ１区30号竈遺物出土状況（南より）
写真155　Ⅲ１区30号竪穴建物掘方完掘状況（南より）
写真156　Ⅲ１区遺構完掘状況（南より）
写真157　Ⅲ２区19号竪穴建物土層断面（南より）
写真158　Ⅲ２区19号竪穴建物粘土集中部土層断面（南より）

写真159　Ⅲ２区19号竪穴建物掘方完掘状況（南より）
図版22　1310調査地点Ⅲ区…… 196
写真160　Ⅲ２区19号竪穴建物掘方完掘状況（北より）
写真161　Ⅲ３区25号土坑遺物出土状況（西より）
写真162　Ⅲ３区３号竪穴建物掘方完掘状況（東より）
写真163　Ⅲ３区遺構完掘状況（南より）
写真164　Ⅲ３区３号竈完掘状況（東より）
図版23　1310調査地点Ⅲ区…… 197
写真165　Ⅲ４区遺構完掘状況（南より）
写真166　Ⅲ５区１号栗石基礎検出状況（北より）
写真167　Ⅲ５区７号ピット土器出土状況（東より）
写真168　Ⅲ５区１号溝東西ベルト土層断面（南より）
写真169　Ⅲ５区遺構完掘状況（南より）
写真170　Ⅲ5-2区遺構完掘状況（東より）
写真171　Ⅲ６区１号栗石基礎検出状況（南西より）
写真172　Ⅲ６区４号土坑遺物出土状況（北より）
図版24　1310調査地点Ⅲ区…… 198
写真173　Ⅲ６区６号竪穴建物硬化面・焼土・粘土検出状況（東より）
写真174　Ⅲ６区南西部遺構完掘状況（西より）
写真175　Ⅲ６区北側遺構完掘状況（北より）
写真176　Ⅲ７区遺構完掘状況（南より）
写真177　Ⅲ7-2区掘削状況（西より）
写真178　Ⅲ区８号竪穴建物粘土検出状況（東より）
写真179　Ⅲ８区30号竈土層断面（東より）
写真180　Ⅲ８区７号竪穴建物検出状況（東より）
図版25　1310調査地点Ⅲ区…… 199
写真181　Ⅲ８区遺構完掘状況（北より）
写真182　Ⅲ９区１号土坑内陶磁器出土状況（西より）
写真183　Ⅲ９区２号溝完掘状況（北より）
写真184　Ⅲ９区４号溝完掘状況（北より）
写真185　Ⅲ９区３号竪穴建物掘方土層断面（東より）
写真186　Ⅲ９区３号竈袖検出状況（南より）
写真187　Ⅲ９区３号竪穴建物掘方完掘状況（南より）
写真188　Ⅲ９区完掘状況（北より）
図版26　1310調査地点Ⅲ区…… 200
写真189　Ⅲ９区完掘状況（南より）
写真190　Ⅲ10区掘削状況（西より）
写真191　Ⅲ11区１号ピット内土器出土状況（東より）
写真192　Ⅲ11区７号竪穴建物掘方完掘状況（北より）
写真193　Ⅲ11区遺構完掘状況（北より）
写真194　Ⅲ11区西壁土層断面（東より）
写真195　Ⅲ12区１号竈遺物出土状況（北より）
写真196　Ⅲ12区１号竈完掘状況（北より）
図版27　1310調査地点Ⅲ区…… 201
写真197　Ⅲ12区遺構完掘状況（北より）
写真198　Ⅲ12区調査区東壁土層断面（西より）
写真199　Ⅲ13区２号溝検出状況（北西より）
写真200　Ⅲ14区掘削状況（西より）
写真201　Ⅲ15区掘削状況（西より）
写真202　Ⅲ16区掘削状況（東より）
写真203　Ⅲ17区掘削状況（南より）
写真204　Ⅲ18区遺構完掘状況（北西より）
図版28　1310調査地点Ⅲ区…… 202
写真205　Ⅲ19区掘削状況（東より）
写真206　Ⅲ20区掘削状況（北より）
写真207　Ⅲ21区掘削状況（北より）
写真208　Ⅲ22区掘削状況（北西より）
写真209　Ⅲ23区掘削状況（南より）
写真210　Ⅲ24区遺構完掘状況（南より）
写真211　Ⅲ25区遺構完掘状況（東より）

写真212　Ⅲ26-1掘削状況（北東より）
図版29　1310調査地点Ⅲ区…… 203
写真213　Ⅲ26-2掘削状況（北東より）
写真214　Ⅲ26-3区掘削状況（東より）
写真215　Ⅲ27-1区掘削状況（北より）
写真216　Ⅲ27-2区掘削状況（南より）
写真217　Ⅲ28区掘削状況（北西より）
写真218　Ⅲ28区掘削状況（北より）
写真219　Ⅲ29区バンド撤去後掘削状況（北東より）
写真220　Ⅲ30区掘削状況（西より）
図版30　1310調査地点Ⅲ・Ⅳ区…… 204
写真221　Ⅲ31区掘削状況（北より）
写真222　Ⅲ32区掘削状況（南より）
写真223　Ⅳ１区26号竪穴建物検出状況（北より）
写真224　Ⅳ１区26号竪穴建物土層断面（北西より）
写真225　Ⅳ１区南壁土層断面（北より）
写真226　Ⅳ１区遺構完掘状況（北より）
写真227　Ⅳ２区遺構完掘状況（西より）
写真228　Ⅳ３区遺構完掘状況（東より）
図版31　1310調査地点Ⅳ区…… 205
写真229　Ⅳ３区22号溝南壁土層断面（北より）
写真230　Ⅳ３区西側遺構完掘状況（西より）
写真231　Ⅳ４区遺構完掘状況（南より）
写真232　Ⅳ５区５号ピット遺物出土状況（北東より）
写真233　Ⅳ５区12号竪穴建物掘方土層断面（西より）
写真234　Ⅳ５区11号竪穴建物掘方土層断面（西より）
写真235　Ⅳ５区11号竪穴建物掘方完掘状況（東より）
写真236　Ⅳ５区13号竪穴建物砥石出土状況（北より）
図版32　1310調査地点Ⅳ区…… 206
写真237　Ⅳ５区13号竈土層断面（西より）
写真238　Ⅳ５区13号竈内遺物出土状況（東より）
写真239　Ⅳ５区13号掘方土層断面（東より）
写真240　Ⅳ５区遺構完掘状況（東より）
写真241　Ⅳ５区南側壁面土層断面（北より）
写真242　Ⅳ６区19号竪穴建物粘土遺物出土状況（東より）
写真243　Ⅳ６区19号竪穴建物土層断面（東より）
写真244　Ⅳ６区19号竈土層断面（東より）
図版33　1310調査地点Ⅳ区…… 207
写真245　Ⅳ６区19号竈内遺物出土状況（東より）
写真246　Ⅳ６区19号竈掘方土層断面（東より）
写真247　Ⅳ６区20号ピット遺物出土状況（東より）
写真248　Ⅳ6・7区遺構完掘状況（東より）
写真249　Ⅳ７区40号土坑粘土検出状況（南より）
図版34　1310調査地点Ⅳ区…… 208
写真250　Ⅳ７区76号焼土集中部遺物出土状況（東より）
写真251　Ⅳ７区40号土坑内遺物出土状況（東より）
写真252　Ⅳ７区遺構完掘状況（西より）
写真253　Ⅳ８区56号溝土層断面（南東より）
写真254　Ⅳ８区70号溝土層断面（西より）
写真255　Ⅳ８区56号溝完掘状況（北西より）
写真256　Ⅳ９区掘削状況（北より）
写真257　Ⅳ10-1区掘削状況（西より）
図版35　1310調査地点Ⅳ区…… 209
写真258　Ⅳ10-2区13号竪穴建物土層断面（西より）
写真259　Ⅳ10-2区13号竪穴建物硬化面検出状況（東より）
写真260　Ⅳ10-2区59号竪穴建物完掘状況（南より）
写真261　Ⅳ10-2区16号竪穴建物遺物出土状況（南西より）
写真262　Ⅳ10-2区16号竪穴建物掘方完掘状

況（北東より）
写真263　Ⅳ10-2区57号竪穴建物遺物出土状況（東より）
写真264　Ⅳ10-2区57号竪穴建物掘方完掘状況（東より）
写真265　Ⅳ区10-2区遺構完掘状況（東より）
図版36　1310調査地点Ⅳ区…… 210
写真266　Ⅳ10-2区13号竪穴建物付近北壁土層断面（南より）
写真267　Ⅳ10-2区16号竪穴建物付近北壁土層断面（南より）
写真268　Ⅳ10-2区東端遺構完掘状況（南東より）
写真269　Ⅳ11区10号ピット上部粘土集中部土層断面（南より）
写真270　Ⅳ11区３号竈土層断面（南西より）
写真271　Ⅳ11区３号竪穴建物内遺物出土状況（南より）
写真272　Ⅳ11区３号竈内遺物出土状況（東より）
写真273　Ⅳ11区３号竈内遺物出土状況（南より）
図版37　1310調査地点Ⅳ区…… 211
写真274　Ⅳ11区３号竈掘方土層断面（西より）
写真275　Ⅳ11区３号竈袖石等出土状況（南より）
写真276　Ⅳ11区３号竪穴建物掘方完掘状況（北より）
写真277　Ⅳ11区４号竪穴建物掘方土層断面（北西より）
写真278　Ⅳ11区４号竪穴建物掘方完掘状況（西より）
写真279　Ⅳ11区３・４号竪穴建物土層断面（北より）
写真280　Ⅳ11区遺構完掘状況（西より）
写真281　Ⅳ12区遺構完掘状況（南より）
図版38　1310調査地点Ⅳ区…… 212
写真282　Ⅳ13区７号竪穴建物土層断面（東より）
写真283　Ⅳ13区７号竪穴建物完掘状況（西より）
写真284　Ⅳ13区７号竪穴建物掘方完掘状況（東より）
写真285　Ⅳ13区３号竪穴建物遺物出土状況（北より）
写真286　Ⅳ13区３号竪穴建物土層断面（北より）
写真287　Ⅳ13区３号竪穴建物掘方完掘状況（東より）
写真288　Ⅳ区13区５号竪穴建物土層断面（西より）
写真289　Ⅳ区13区５号竪穴建物掘方土層断面（西より）
図版39　1310調査地点Ⅳ区…… 213
写真290　Ⅳ区13区５号竪穴建物掘方完掘状況（東より）
写真291　Ⅳ13区４号土坑遺物出土状況（東より）
写真292　Ⅳ13区４号土坑完掘状況（東より）
写真293　Ⅳ14区４号土坑土層断面（北より）
写真294　Ⅳ13区遺構完掘状況（東より）
写真295　Ⅳ13区遺構完掘状況（西より）
写真296　Ⅳ14区遺構完掘状況（西より）
写真297　Ⅳ14区18号竈土器出土状況（北西より）
図版40　1310調査地点Ⅳ区…… 214
写真298　Ⅳ14区18号竪穴建物土層断面（東より）
写真299　Ⅳ14区18号竪穴建物完掘状況（北より）
写真300　Ⅳ15区掘削状況（西より）
写真301　Ⅳ16区遺構完掘状況（南より）
写真302　Ⅳ17区掘削状況（北より）
写真303　Ⅳ18区遺構完掘状況（南より）
写真304　Ⅳ19-1区掘削状況（西より）
写真305　Ⅳ19-2区遺構完掘状況（南より）
図版41　1310調査地点Ⅳ区…… 215
写真306　Ⅳ20区遺構完掘状況（東より）
写真307　Ⅳ21区掘削状況（北より）

写真308　Ⅳ22区遺構検出状況（東より）
写真309　Ⅳ23区掘削状況（西より）
写真310　Ⅳ24区遺構完掘状況（東より）
写真311　Ⅳ25区１号溝完掘状況（西より）
写真312　Ⅳ25区１号溝北壁土層断面（南より）
写真313　Ⅳ26区掘削状況（南より）
図版42　1310調査地点Ⅳ区…… 216
写真314　Ⅳ27区掘削状況（西より）
写真315　Ⅳ28区掘削状況（東より）
写真316　Ⅳ29区遺構完掘状況（東より）
写真317　Ⅳ30-1区遺構完掘状況（東より）
写真318　Ⅳ30-2区遺構完掘状況（南東より）
写真319　Ⅳ30-3区掘削状況（東より）
写真320　Ⅳ31区掘削状況（北より）
写真321　Ⅳ32区遺構検出状況（南東より）
図版43　1310調査地点Ⅳ区…… 217
写真322　Ⅳ33区掘削状況（南西より）
写真323　Ⅳ33-2区遺構完掘状況（北より）
写真324　Ⅳ34区遺構完掘状況（北より）
写真325　Ⅳ35区掘削状況（東より）
写真326　Ⅳ36区掘削状況（西より）
写真327　Ⅳ37-1区掘削状況（東より）
写真328　Ⅳ37-2区掘削状況（西より）
写真329　Ⅳ38区掘削状況（北より）
図版44　1310調査地点Ⅳ・Ⅴ区…… 218
写真330　Ⅳ39-1区掘削状況（北より）
写真331　Ⅳ39-2区掘削状況（東より）
写真332　Ⅳ39-3区掘削状況（西より）
写真333　Ⅴ１区遺構完掘状況（北より）
写真334　Ⅴ２区掘削状況（西より）
写真335　Ⅴ3-1区遺構完掘状況（南より）
写真336　Ⅴ3-1区遺構完掘状況（北東より）
写真337　Ⅴ3-1区１号溝集石検出状況（北より）
図版45　1310調査地点Ⅳ・Ⅴ区…… 219
写真338　Ⅴ3-2区２号溝完掘状況（北西より）
写真339　Ⅴ3-2区２号溝北側土層（南東より）
写真340　Ⅴ3-2区２号溝周囲鉄管・ガラス瓶出土状況（南西より）
写真341　Ⅴ3-2区２号溝石材矢穴近影（北西より）
写真342　Ⅴ4-1区遺構完掘状況（北より）
図版46　1310調査地点Ⅴ区…… 220
写真343　Ⅴ4-2区１号溝土層断面（北東より）
写真344　Ⅴ4-2区北壁土層断面（北より）
写真345　Ⅴ4-2区遺構完掘状況（北東より）
写真346　Ⅴ５区掘削状況（東より）
写真347　Ⅴ６区西壁土層断面（東より）
写真348　Ⅴ６区７号溝土層断面（北東より）
写真349　Ⅴ６区遺構完掘状況（北より）
写真350　Ⅴ７区２号溝土層断面（南西より）
図版47　1310調査地点Ⅴ区…… 221
写真351　Ⅴ７区遺構完掘状況（南より）
写真352　Ⅴ８区掘削状況（北より）
写真353　Ⅴ９区１号竪穴建物硬化面検出状況（東より）
写真354　Ⅴ9・10区１号竪穴建物土層断面（北西より）
写真355　Ⅴ10区１号竈土層断面（南より）
写真356　Ⅴ10区遺構完掘状況（北より）
写真357　Ⅴ11区２号溝ベルト東壁土層断面（東より）
写真358　Ⅴ11区１号竪穴建物南壁土層断面（北より）
図版48　1310調査地点Ⅴ区…… 222
写真359　Ⅴ11区１号竪穴建物床面土器出土状況（西より）
写真360　Ⅴ11区１号竪穴建物完掘状況（北より）
写真361　Ⅴ11区遺構完掘状況（東より）
写真362　Ⅴ11区拡張部遺構完掘状況（南東より）
写真363　Ⅴ11拡張部東側遺構完掘状況（北西より）
写真364　Ⅴ12区１号土坑検出状況（北より）
写真365　Ⅴ12区１号土坑内遺物出土状況（南東より）
写真366　Ⅴ12区遺構完掘状況（北より）
図版49　1310調査地点Ⅴ区…… 223

写真367　Ⅴ12区１号溝土層断面（南東より）
写真368　Ⅴ13区遺構完掘状況（東より）
写真369　Ⅴ13区北壁土層断面（南より）
写真370　Ⅴ14区１号栗石基礎検出状況（東より）
写真371　Ⅴ14区１号溝土層断面（西より）
写真372　Ⅴ14区遺構完掘状況（北より）
写真373　Ⅴ15区１号溝完掘状況（西より）
写真374　Ⅴ15区２号竪穴建物東西アゼ土層断面（北より）
図版50　1310調査地点Ⅴ区…… 224
写真375　Ⅴ15区遺構完掘状況（南西より）
写真376　Ⅴ15-2区掘削状況（南より）
写真377　Ⅴ16区掘削状況（西より）
写真378　Ⅴ18区６号溝土層断面（東より）
写真379　Ⅴ18区完掘状況（西より）
写真380　Ⅴ19-2区南側完掘状況（西より）
写真381　Ⅴ20区遺構完掘状況（北より）
写真382　Ⅴ21区西掘削状況（西より）
図版51　1310調査地点Ⅴ区…… 225
写真383　Ⅴ21区掘削状況（東より）
写真384　Ⅴ22区掘削状況（北東より）
写真385　Ⅴ23区掘削状況（南より）
写真386　Ⅴ24区掘削状況（東より）
写真387　Ⅴ25区掘削状況（北より）
写真388　Ⅴ26区１号溝土層断面（西より）
写真389　Ⅴ26区遺構完掘状況（北より）
写真390　Ⅴ27区掘削状況（北東より）
図版52　1310調査地点Ⅴ区…… 226
写真391　Ⅴ28区遺構完掘状況（北より）
写真392　Ⅴ29-2区８号ピット内遺物出土状況（北より）
写真393　Ⅴ29-2区掘削状況（東より）
写真394　Ⅴ区29-3区１号溝内ガラス玉出土状況（西より）
写真395　Ⅴ29-3区１号溝土層断面（東より）
写真396　Ⅴ29-3区遺構完掘状況（西より）
写真397　Ⅴ29-4区完掘状況（北より）
写真398　Ⅴ29-5区掘削状況（東より）
図版53　1310調査地点Ⅴ・Ⅵ区…… 227
写真399　Ⅴ29-6区掘削状況（北より）
写真400　Ⅴ30区掘削状況（北より）
写真401　Ⅴ31区北側完掘状況（南より）
写真402　Ⅴ31区完掘後北東壁土層断面（南より）
写真403　Ⅴ32 区掘削状況（西より）
写真404　Ⅴ33区掘削状況（東より）
写真405　Ⅴ34区掘削状況（東より）
写真406　Ⅵ区掘削状況１（北東より）
図版54　1310調査地点Ⅵ区…… 228
写真407　Ⅵ区掘削状況２（南より）
写真408　Ⅵ区掘削状況３（西より）
写真409　発掘調査現場見学の様子１
写真410　発掘調査現場見学の様子２
写真411　発掘調査集合写真１
写真412　発掘調査集合写真２
写真413　発掘調査集合写真３
図版55　1310調査地点出土遺物１…… 229
図版56　1310調査地点出土遺物２…… 230
図版57　1310調査地点出土遺物３…… 231
図版58　1310調査地点出土遺物４…… 232
図版59　1310調査地点出土遺物５…… 233
図版60　1310調査地点出土遺物６…… 234
図版61　1310調査地点出土遺物７…… 235
図版62　1310調査地点出土遺物８…… 236
図版63　1310調査地点出土遺物９…… 237
図版64　1310調査地点出土遺物10…… 238
図版65　1310調査地点出土遺物11…… 239
図版66　1310調査地点出土遺物12…… 240
図版67　1310調査地点出土遺物13…… 241
図版68　1310調査地点出土遺物14…… 242
図版69　1310調査地点出土遺物15…… 243
図版70　1310調査地点出土遺物16…… 244
図版71　1310調査地点出土遺物17…… 245
図版72　1310調査地点出土遺物18…… 246
図版73　1310調査地点出土遺物19…… 247
図版74　1310調査地点出土遺物20…… 248
図版75　1310調査地点出土遺物21…… 249
図版76　1310調査地点出土遺物22…… 250
図版77　1310調査地点出土遺物23…… 251

表　目　次

表１　熊本大学敷地における周知の埋蔵文化財包蔵地一覧表……1
表２　既往調査地点と本書収録調査地点一覧表……7
表３　1310調査地点検出遺構一覧表……38
表４　1310調査地点出土遺物一覧表……144

Ⅰ　熊本大学構内遺跡の概要

1．熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪（北・東・南）地区・宇留毛地区・本荘（北・中・南）地区・大江地区・渡鹿地区・京町地区・城東地区・新屋敷地区および新南部地区の９地区、市外の益城地区・合津地区の２地区の計11地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表１）。本章ではこのうち、本書で報告する熊本大学黒髪南地区1310調査地点を包括する「黒髪町遺跡群」について地理的、歴史的環境を述べていく。

（１）地理的環境

現熊本平野一帯には、約９万年前の阿蘇火山灰の大噴火によって阿蘇－４火砕流堆積物が広く堆積した。金峰山、立田山、託麻三山などの起伏の大きな山地や、丘陵を除き、西側へ緩やかな傾斜を持つ広大かつ平坦な平原が広がっていたのである。後にこの火砕流堆積物は白川を主とし、坪井川や井芹川などの河川により上流から運ばれてきた土砂が下流の沿岸部に堆積し、沖積平野を形成した。現在の熊本市の主要部は、本調査地点も含めて、その支流によって運ばれた土砂に由来する「自然堤防」上に立地している。熊本大学の法学部・文学部・教育学部・工学部・理学部などが設置されている黒髪地区は、黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図№8－88）に含まれている。本遺跡は、熊本市市街地の北東にそびえる立田山の南西部の緩斜面に位置しており、西を坪井川の作る中位段丘、南を白川右岸の低位段丘によって囲まれる。遺跡の範囲は東西約0.9km、南北約1.2kmであり、縄文時代、弥生時代、古代、中世、近世、近代に至る遺構・遺物を包蔵した複合遺跡である。

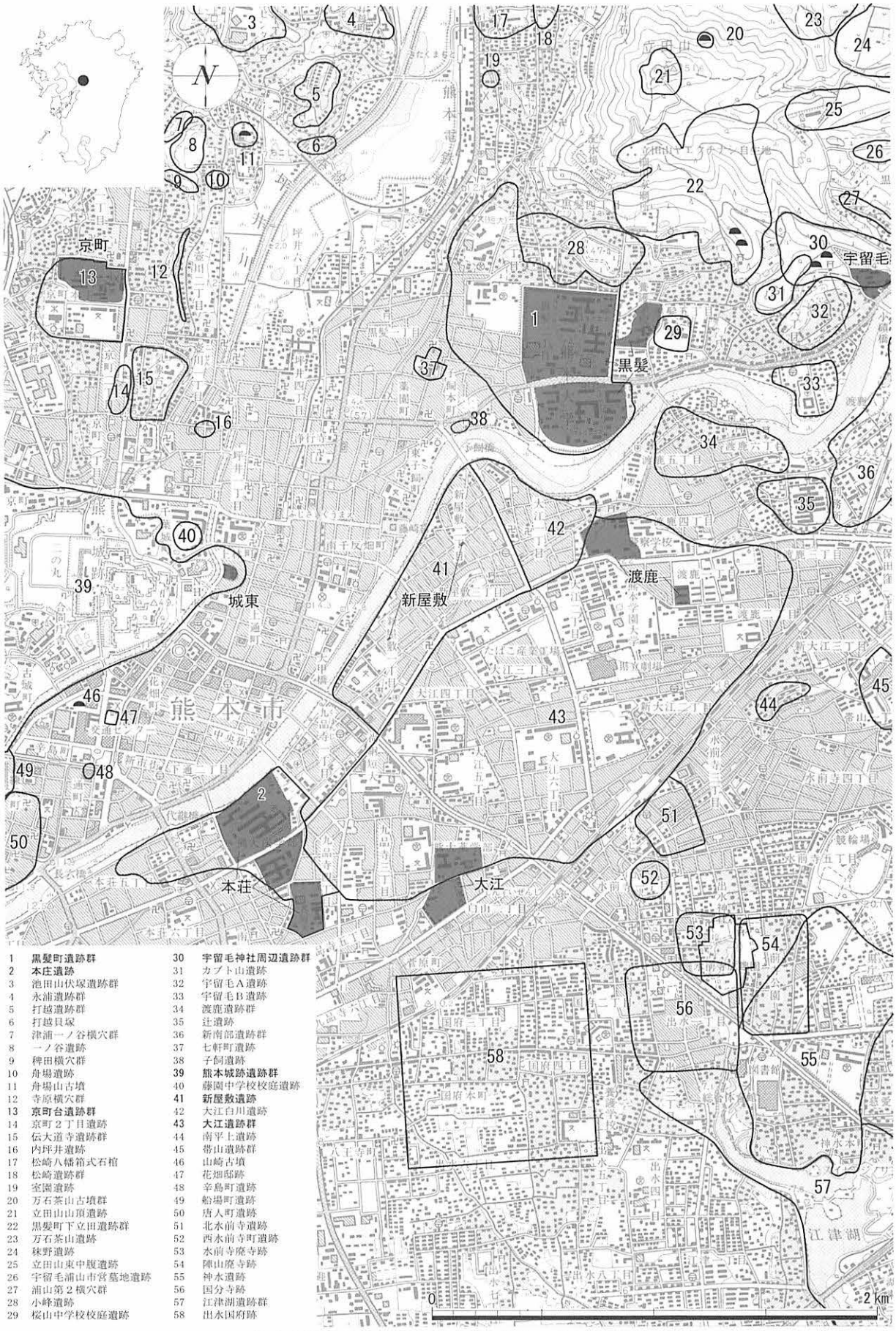
（２）歴史的環境

遺跡の発見は昭和10年（1935：以後和暦の後の括弧内に西暦を付す）、大学に隣接する熊本県立中学済々黌（現済々黌高等学校）の校庭から弥生時代の甕棺２基などがみつかり、下林繁夫・小林久雄により調査されたことに始まる（田添夏喜1986）。戦後、昭和40年（1965）には隣接する九州女学院（現ルーテル学院中学校・高等学校）敷地内で、弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甑などが発

表１　熊本大学敷地における周知の埋蔵文化財包蔵地一覧表

No.	地区名（学部名等）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区（法・文・教等）	熊本市中央区黒髪2丁目40-1				
2	黒髪東地区（教育学部附属特別支援学校）	熊本市中央区黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡群	集落址 墓地	縄文・弥生・古代・近世・近代	東地区は包蔵地外
3	黒髪南地区（工・理）	熊本市中央区黒髪2丁目39-1				
4	宇留毛地区（寄宿舎･国際交流会館）	熊本市中央区黒髪7丁目	宇留毛神社周辺遺跡群他	散布地	弥生・古代	
5	本荘北地区（熊本大学病院・医学部等）	熊本市中央区本荘1丁目1-1	本庄遺跡（熊大病院敷地遺跡）	散布地 集落址 墓地	縄文・弥生・古墳・古代・中世・近世・近代	
6	本荘中地区（発生医学研究所、国際先端医学研究拠点施設等）	熊本市中央区本荘2丁目2-1				
7	本荘南地区（保健学科等）	熊本市中央区九品寺4丁目24-1				周辺遺跡
8	大江地区（薬学部等）	熊本市中央区大江本町5-1		官衙址		周辺遺跡
9	渡鹿地区（大江総合運動場）	熊本市中央区渡鹿4丁目1-1	大江遺跡群	集落址	古代	
10	渡鹿地区（職員宿舎）	熊本市中央区渡鹿1丁目16				
11	京町地区（教育学部附属小･中学校）	熊本市中央区京町本丁5-12	京町台遺跡群	集落址	弥生・近世	
12	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市中央区城東町5-9	熊本城址	城館址・熊本城関連遺構	近世	
13	新屋敷地区1（駐車場）	熊本市中央区新屋敷1丁目9-11	新屋敷遺跡	集落址	古代	
14	新屋敷地区2（職員宿舎）	熊本市中央区新屋敷2丁目15-3				
15	新南部地区（教育学部新南部農場）	熊本市東区新南部6丁目5-8	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
16	益城地区（地域共同ラボラトリー）	上益城郡益城町田原2081-7	上面ノ平遺跡	散布地	縄文～中世	
17	合津地区（合津マリンステーション）	上天草市松島町合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	

※遺跡の種類、時代は近年の調査成果を反映させた。



1	**黒髪町遺跡群**	30	**宇留毛神社周辺遺跡群**
2	**本庄遺跡**	31	カブト山遺跡
3	池田山伏塚遺跡群	32	宇留毛Ａ遺跡
4	永浦遺跡群	33	宇留毛Ｂ遺跡
5	打越遺跡群	34	渡鹿遺跡群
6	打越貝塚	35	辻遺跡
7	津浦一ノ谷横穴群	36	新南部遺跡群
8	一ノ谷遺跡	37	七軒町遺跡
9	稗田横穴群	38	子飼遺跡
10	舟場遺跡	39	**熊本城跡遺跡群**
11	舟場山古墳	40	藤園中学校校庭遺跡
12	寺原横穴群	41	**新屋敷遺跡**
13	**京町台遺跡群**	42	大江白川遺跡
14	京町２丁目遺跡	43	**大江遺跡群**
15	伝大道寺遺跡群	44	南平上遺跡
16	内坪井遺跡	45	帯山遺跡群
17	松崎八幡箱式石棺	46	山崎古墳
18	松崎遺跡群	47	花畑邸跡
19	室園遺跡	48	辛島町遺跡
20	万石茶山古墳群	49	船場町遺跡
21	立田山山頂遺跡	50	唐人町遺跡
22	黒髪町下立田遺跡群	51	北水前寺遺跡
23	万石茶山遺跡	52	西水前寺町遺跡
24	秣野遺跡	53	水前寺廃寺跡
25	立田山東中腹遺跡	54	陳山廃寺跡
26	宇留毛浦山市営墓地遺跡	55	神水遺跡
27	浦山第２横穴群	56	国分寺跡
28	小峰遺跡	57	江津湖遺跡群
29	桜山中学校校庭遺跡	58	出水国府跡

図1　熊本大学構内遺跡と市街地周辺遺跡の分布図(S=1/25000)

見され、遺跡の重要性が再認識された（笠置1971）。熊本大学埋蔵文化財調査センター（または埋蔵文化財調査室）による発掘調査でも、黒髪南地区の北西に位置する9704調査地点において弥生時代中期後半の須玖式と黒髪式を用いた甕棺墓群がみつかった（小畑・大坪編2008）。その後、0206調査地点でも汲田式の甕棺墓１基が発見され（大坪編2014）、1121調査地点では黒髪式の甕棺墓が１基検出された（大坪編2013）。これにより熊本大学構内も含めて弥生時代中期の墓域が広範囲にわたり存在することが判明した。このように本遺跡は弥生時代中期の中九州に主として分布する「黒髪式土器」の標識遺跡として著名である。加えて、昭和58年（1983）に実施された済々黌高等学校内における調査によって、古代の竪穴建物や「寺門」銘の墨書土器が出土するなどし（田添 ibid）、古代飽田郡における拠点的性格をもつ遺跡である可能性が示されるようになった（新熊本市史編纂室編1996）。また、同地域は古代の官道や駅伝制の研究上、『延喜式』に記された西海道上の駅である「養蚕駅」、あるいは旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1979・木下1995）。白川を挟んで対岸には「大江遺跡群」や「新屋敷遺跡」、「大江白川遺跡」が立地しており、いずれも古代の集落を内包する。これは奈良時代以降、国府、国分寺、国分尼寺などの律令機関、古代西海道駅路の設置・造営に伴い、その周辺集落が拡大していく過程を表していると思われる。中でも大江遺跡群は縄文時代から近代にいたる長期間に営まれた複合遺跡で、とりわけ古墳時代後期から平安時代にかけての遺跡が顕著に残る。古代西海道が南北を縦断しており、推定ルート上では熊本市教育委員会により10数回におよぶ調査が実施されている。鶴嶋俊彦は肥後国北部の古代官道について分析する中で、本センターによる黒髪南地区9603調査地点における発掘成果を受け、南北方向に走る２本の溝が駅路の側溝であるとの見解を示し、周囲の掘建柱建物との関係性も含め、熊本大学構内に蚕養駅の駅家が存在した可能性に言及した。近年の大学構内の調査では、黒髪北地区や南地区から古代の竪穴建物や掘建柱建物が広い範囲に確認されており、飽田郡家や駅家に関連する集落と考えられる。2012年には熊本市教育委員会による第９次調査において、大学敷地外北側にて古代西海道と思われる路面を検出している（中里編2014）。さらに、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司建部公の居所であり、飽田郡家として比定されるなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡群は古代律令制下の駅伝制を考える上でも極めて重要である。

また本遺跡では、熊本市教育委員会や当センターにおける調査の蓄積により縄文時代の文化層が広い範囲で確認されている。黒髪北地区9802調査地点（小畑編2009）や黒髪南地区0302調査地点（小畑・大坪編2011）では縄文時代早期の押型文土器や条痕文土器とこれに伴う石器が、当時地山（ここでは人類の活動痕跡のない時代に堆積した土層）と考えられていた土層中から出土した。その後の黒髪地区の各調査地点では、古代の包含層中や地山と想定していた土層から縄文時代後・晩期の土器が少量ながらも発見されている。このほか、2006年に熊本市教育委員会により実施された黒髪町遺跡群第４次調査では、阿高式土器や南福寺式土器が一定量得られており、遺構の検出こそなかったものの、小規模な集落の端部に位置するものと報告されている（美濃口編2008）。このように縄文時代の資料が増加する中、2013・2014年度には重要な調査成果が上がった。黒髪南地区の東側、理学部棟周辺のライフライン再生工事に伴う発掘調査が実施され、白川右岸の平野部から出水式・御手洗Ａ式土器など縄文時代後期前葉を主体とする文化層と、配石墓に埋葬された縄文人骨などが発見されたのである（山野編2019）。御手洗Ａ式土器は西北九州から中九州にかけて分布する縄文時代後期前葉の土器だが、出土数が少なく全容が不明瞭であった。調査では器形全体を復元できる資料が出土しており、層位的な調査が実施されたことから、本調査成果が縄文時代後期前葉の土器の変遷と集落や文化様態の解明の一助となると思われる。また、貝塚や洞穴遺跡などの人骨が残存しやすい立地・条件下ではなく、

平野部で縄文人骨が発見されたことも重要である。人骨は矮小な調査区から３体（うち１体は未調査）検出されており、調査区周辺が墓域であった可能性が高い。

近年では本地区における近代の調査事例でも重要な成果を得ることができている。熊本大学の黒髪北地区は明治20年（1887）に開校した第五高等中学校の敷地を引き継いでおり、その南側に対面する黒髪南地区は明治39年（1906）に設立した熊本高等工業学校の敷地を含む。そのため、大学構内には明治から大正にかけての煉瓦建造物が複数現存している。このうち黒髪北地区に所在する五高記念館、化学実験場、正門と、黒髪南地区に所在する工学部研究資料館はいずれも煉瓦造りで国の重要文化財に指定されている。また、黒髪南地区の本部棟（旧熊本高等工業学校本館）は大正期に建てられた初期の鉄筋コンクリート建築であり、登録有形文化財に登録されている。2015年度にはこの建物周囲の発掘調査を実施しており、周辺から煉瓦の基礎が広い範囲で発見された（山野編2016）。これらは明治41年（1908）に竣工した熊本高等工業学校旧本館の建物基礎であることが判明し、周囲からはこの建物が大正12年（1923）に全焼した際の溶けたガラスや木片、生活道具などが出土した。この他、黒髪北地区1528調査地点では第五高等学校の寮である「習学寮」の浴室・炊事場の煉瓦基礎が確認され、レンガに「熊本監獄製造印」が押されていることを確認できた（松田・大坪編2017）。これら煉瓦の積み方や刻印、法量などは近代熊本の建築や煉瓦生産の実態について様々な知見を与えてくれる。また、熊本監獄に関する遺構として黒髪南地区1309調査地点では、明治から大正期にかけての囚人墓地が多数発見されており、近代にかけて大学敷地における利用状況の多様さが明らかになっている（山野・柴田編2017）。

２．調査に至る経緯

熊本大学の熊本市内の校地は先に示したように複数地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年（1985）に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成５年（1993）に現地再開発することが決定され、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成５年（1993）10月から黒髪南地区において総合情報統括センターの建設工事が始まったところ、熊本市文化振興課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成５年４月１日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成６年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも９月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査をおこなうことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りをおこない、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成６年（1994）４月７日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成６年５月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成６年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。

平成23年（2011）10月１日には、熊本大学埋蔵文化財調査室から、熊本大学埋蔵文化財調査センターとして発足した。これを契機とし、埋蔵文化財の発掘調査を主体的業務としながらも、『速報展示』や『地下の文化財散歩』の開催など、これまでの調査成果を用いた活用事業にも尽力している。経緯の詳細については『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』等を参照されたい（以上、吉留・山野編2020を引用・一部改変）。

３．これまでの調査と本書収録の遺跡

平成７年（1994）以後、平成31年（2019）３月末日まで、再開発計画に則りおこなわれた事業の事前調査として、表２のような調査が実施されてきた。本書はこの中から平成25・26（2013・2014）年度に実施した黒髪南地区における（黒髪南）ライフライン再生（給水設備等）工事に伴う発掘調査（1310調査地点）のうち主として古代・近世・近代に関する遺構・遺物について報告する。縄文時代の遺構・遺物に関しては別紙にて報告済みである（山野編2019）。試掘・立会と小規模な調査などについては年報において報告済みのため、本書からは除外した。

引用・参考文献

大坪志子編　2010『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅵ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第６集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

大坪志子編　2013『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅸ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第９集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

大坪志子編　2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅹ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第10集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

小畑弘己編　1995『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』２　－1995年度－　熊本大学埋蔵文化財調査室

小畑弘己編　2009『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅴ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第５集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

小畑弘己・大坪志子編　2008『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅳ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第４集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

小畑弘己・大坪志子編　2011『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅷ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書

第８集　熊本大学埋蔵文化財調査センター
笠置英行　1971「九州女学院遺跡」『熊本市北部地区文化財調査報告書』熊本市教育委員会
木下良　1979「第六節　肥後国」『古代日本の交通路』Ⅳ　pp.99－130　大明堂
木下良　1995「肥後国府の変遷について」『古代文化』９－27　pp.１－19　古代学協会
新熊本市史編纂室編　1996『新熊本市史料編第1巻考古資料』　新熊本市史編纂室
田添夏喜　1986『黒髪町遺跡多士会館敷地発掘調査報告　黒髪町遺跡』　財団法人多士会館
鶴嶋俊彦　1997「肥後国北部の古代官道」『古代交通研究』第７号　pp.39－66　古代交通研究会
中里伸明編　2014「黒髪町遺跡群　第９次調査区」『熊本市埋蔵文化財調査年報』第16号　平成24年度　熊本市教育委員会
松田光太郎・大坪志子編　2017『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅻ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第12集　熊本大学埋蔵文化財調査センター
美濃口雅朗編　2008『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書集』平成19年度　熊本市教育委員会
山野ケン陽次郎編　2016『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21　熊本大学埋蔵文化財調査センター
山野ケン陽次郎・柴田亮編　2018『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』XIII　熊本大学埋蔵文化財調査センター
山野ケン陽次郎編　2019『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』14　熊本大学埋蔵文化財調査センター

表2　既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度							
94·4·15～17	9401	（黒北）運動場整備（照明塔建設）工事	発掘調査	128㎡	古　代	古代土師器・須恵器	年報1
94·4·21	9402	（黒北・南）基幹整備（教育学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	47.5㎡	現　代	ガラス・磁器片	年報1
94·4·25	9403	（黒北・南）地区基幹整備（工学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報1
94·5·13～14	9404	（黒北）福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古　代		年報1
94·5·17～6·25	9405	（京町）附属中学校舎者建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石・銅銭・瓦・ガラス瓶	本報告Ⅰ
94·5·20·23·24	9406	（黒北）武夫原運動場整備（集水枡埋設）工事	発掘調査	100㎡	古　代		年報1
94·5·23～7·28	9407	（黒北）福利施設建設工事	発掘調査	1,290㎡	古　代		本報告Ⅰ
94·8·1～8·10	9408	（渡鹿）グラウンド集水枡整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古　代	土師器	本報告Ⅰ
94·8·11	9409	（黒北）武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし，土師器片	年報1
94·8·12	9410	（京町）附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報1
94·8·22	9411	（黒北）基幹整備（附属図書館スロープ取設）工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず，遺構・遺物なし	年報1
94·9·12～10·31	9412	（黒南）工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古　代	古代竪穴住居址，古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	本報告Ⅰ
94·11·14～12·22	9413	（渡鹿）グラウンド整備工事	発掘調査	200㎡	縄文・古代	古代竪穴住居址・道路址，古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	本報告Ⅰ
95·1·17～21	9414	（黒北）福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし	年報1
95·1·9～11， 1·26～2·1	9415	（黒南）工学部共同溝工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし	年報1
95·2·27	9416	（城東）附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし	年報1
95·3·15～23	9417	（黒南）福利施設設備工事					
1995年度							
95·4·25～5·2	9501	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期共同溝建設工事	発掘調査	90㎡	古代～近世	古代竪穴住居址・柱穴・溝，縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告Ⅰ
95·5·9～10	9502	（黒南）工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20㎡	古　代	包含層確認・古代土師器・須恵器	年報2
95·5·15～16	9503	（黒南）工学部 RI 研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20㎡	古　代	集石，古代土師器・須恵器	年報2
95·5·29/30 6·21	9504 ～06	（黒南）工学部研究実験棟新営電気設備（その2）に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報2
95·8·21		（黒南）工学部通信設備埋設	立会調査	14㎡		遺構・遺物なし	年報2
95·8·22	9508	（黒南）事務局前外灯配線改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95·9·8～10·12	9509	（合津）理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298㎡	縄　文	集石，縄文早期土器・石器	年報2
95·11·2	9510	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴うガス配管	立会調査		古　代	古代包含層確認・古代土器片	年報2
95·11·6～8	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200㎡	古　代	古代包含層確認・竪穴住居址，古代土師器・須恵器	年報2
95·11·13～16	9512	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う排水枡設置	発掘調査	60㎡	古　代	古代竪穴住居址・柱穴・包含層，縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告Ⅰ
95·11·17	9513	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95·11·17	9514	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査		古　代	古代土師器・須恵器片	年報2
95·11·21～22	9503	（黒南）工学部 RI 研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古　代	古代土師器・須恵器	年報2
95·11·22	9515	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	立会調査		古　代	包含層確認・古代土師器	年報2
95·11·24	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95·11·28～29	9516	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文～古代	包含層・柱穴，縄文土器片・古代土師器	本報告Ⅰ
95·12·1	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切替	立会調査			包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95·12·4	9517	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95·12·5	9518	（黒南）工学部 RI 研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95·12·12～14	9519	（黒南）工学部研究実験棟新営Ⅰ期に伴うガス配管	立会調査		古　代	古代柱穴・溝，古代土師器・須恵器	年報2
95·12·18	9520	（黒北）教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95·12·25～ 96·2·22	9511	（本荘南）医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文・古代	古代竪穴住居址・掘立柱建物・溝・道路・方形竪穴遺構・土壙，縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	本報告Ⅰ
96·3·1	9521	（黒南）工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土壙・ピット，弥生中期土器	年報2
96·3·8	9522	（黒北）文法学部・第五高等学校記念館庭園植栽工事	立会調査		古　代	包含層確認・古代土師器	年報2
96·3·21	9523	（城東）教育学部附属幼稚園水遊び場兼足洗い場設備寄贈受入	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
96·3·25～26	9524	（京町）教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報2
1996年度							
96·4·19	9601	（本荘北）医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古　代	古代包含層・溝，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96·5·10	9602	（黒北）法文学部記念植樹	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報3

96·5·10～6·24	9603	（黒南）工学部校舎建設	発掘調査	1,000㎡	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層・古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・土壙・柱穴，縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本報告Ⅳ
96·5·13	9604	（黒北）教育学部ATMネットワーク付設工事	立会調査	40㎡	近　代	遺構・遺物なし	年報3
96·5·14	9605	（京町）教育学部附属小学校ATMネットワーク付設工事	立会調査	14㎡		近代磁器	年報3
96·5·15	9606	（大江）薬学部ATMネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3
96·6·17	9607	（黒北）法文学部外灯設置工事	立会調査	4㎡	古　代	一部包含層確認，古代須恵器	年報3
96·6·19	9608	（黒南）工学部RI実験棟配線工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報3
96·8·5	9609	（黒北）入試保管庫建設工事（試掘）	発掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報3
96·8·6～9	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事（1·2·3区）	発掘調査	45.7㎡	古墳・古代	古墳時代前期竪穴住居址・古代竪穴住居址，古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96·8·22～27	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（4区）	発掘調査	37.4㎡	古　代	竪穴住居址・柱穴，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96·8·29～30	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（5区）	発掘調査	28.2㎡	古　代	竈址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96·9·6	9610	（黒北）教養部夏目漱石像建立	試掘調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報3
96·10·1～9	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（6区）	発掘調査	104.3㎡	古　代	古代道路・竪穴住居址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96·10·11～97·1·17	9601	（本荘北）医学部校舎本体工事（本調査区）	発掘調査	1,686㎡	縄文・古墳・古代	縄文包含層・古墳土壙・古代道路・竪穴住居址・掘立柱建物・土壙・近代墓地，縄文後期土器・古墳/古代土師器・須恵器・鉄器・石器	本報告Ⅳ
96·10·21～29	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（7·8·9区）	発掘調査	62.5㎡	古　代	古代竪穴住居址・竈，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96·11·12～13	9601	（本荘北）医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（10区）	発掘調査	21.8㎡	古　代	古代竪穴住居址，古代土師器・須恵器	本報告Ⅳ
96·11·12	9611	（黒南）工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし	年報3
96·12·18	9612	（黒南）工学部電線埋設工事	立会調査	74.8㎡		遺構・遺物なし	年報3
97·3·3～31	9613	（黒南）工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし	年報3
97·3·7	9614	（黒南）工学部衝撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109㎡		遺構・遺物なし	年報3
1997年度							
97·4·8	9701	（本荘南）医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認・遺構なし，古代土器片	年報4
97·5·7	9702	（黒南）理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管埋設工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし	年報4
97·5·28	9703	（本荘北）医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報4
97·7·28～11·4	9704	（黒南）工学部校舎新営工事	発掘調査	1,783.3㎡	弥生・古代・近世	弥生時代甕棺墓・古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・柱穴・近世墓，弥生中期甕棺・土師器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	年報4
97·10·29	9705	（京町）教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6㎡		遺構・遺物なし	年報4
97·10·22	9706	（黒北）法文学部龍南健児像建立	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報4
97·11·11～98·3·31	9707	（本荘北）医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370㎡	古代・近代	近代墓地・古代土壙・柱穴，甕・人骨・墓石等・古代土器	年報4
98·1·30～2·12	9708	（黒北）法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古　代	溝	年報4
98·2·3～2·13	9709	（黒南）管財係黒髪6号宿舎取り壊し工事	立会調査	116㎡	古　代	一部包含層を確認・遺構なし，磨耗した古代土器	年報4
1998年度							
98·4·14	9804	（黒南）工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10㎡		掘削により遺構なし	年報5
98·6·26～7·2	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会調査	2.4㎡	古　代	遺構・遺物認められず	年報5
98·7·6	9801	（本荘南）同樹木伐採工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5
98·7·13	9809	（黒南）工学部3号館電気設営工事	立会調査	3㎡	古　代	遺物包含層を確認	年報5
98·7·28～9·10	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	972㎡	縄文・古代・近世	竪穴住居址・掘立柱建物・溝・土坑	本報告Ⅴ
98·9·21～22	9803	（黒北）文化部室取設工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9㎡		遺物・遺構なし	年報5
98·9·25～11·6	9802	（黒北）文化部室取背設その他の工事	発掘調査	575㎡	縄文・弥生・近世	縄文土器・弥生土器・石器等・土壙・溝・縄文・弥生遺物包含層確認	本報告Ⅴ
98·9·28	9805	（本荘北）大学病院病棟新営工事	試掘調査	10㎡	古墳・古代	古墳・古代土器	年報5
98·9·29	9806	（本荘北）大学病院中央診療棟新営工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を検出，遺構・遺物なし	年報5
98·9·30	9807	（本荘北）大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	試掘調査	2㎡	古　代	遺物包含層・柱穴検出，古代土器片	年報5
98·10·6	9808	（黒南）工学部1·9号館電気埋設工事	立会調査	30㎡		遺構面に達せず，遺物なし	年報5
98·10·28～11·20	9807	（本荘北）大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	発掘調査	175㎡	古　代	縄文土器・石鏃等 古代竪穴住居址・土壙・溝・近代溝	本報告Ⅴ
98·11·2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター関連図書館解体工事	発掘調査	139㎡		削平のため存在せず	本報告Ⅴ
98·12·14～18	9810	（黒南）理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会調査	35㎡	古　代	遺物包含層・柱穴検出，古代土器片	年報5
98·12·16	9802	（黒北）文化部室新営排水管敷設工事	立会調査	35㎡	古　代	遺構面確認・遺構・遺物はなし	年報5
98·12·17～99·1·10	9805	（本荘北）大学病院病棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	333㎡	古　代	竪穴住居址，古代土器片	年報5
99·1·12	9811	（黒南）工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土器	年報5

99·1·21～3·25	9810	（黒南）理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文・古代・近代	縄文土器・石鏃等，古代竪穴住居址・柱穴・溝・近世溝	本報告Ⅴ
99·2·2	9802	（黒北）環境整備事業に伴う文化部室解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報5
99·2·10	9802	（黒北）環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず，遺物なし	年報5
99·2·18	9802	（黒北）環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	12.3㎡		地表下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認，遺構・遺物なし	年報5
99·2·9～3·9	9802	（黒北）環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表下90cmで水田土を検出，遺構・遺物なし	年報5
99·3·11～12	9812	（大江）渡鹿団地東側ブロック塀改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認，遺構・遺物なし	年報5
99·3·10～31	9801	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古　代	一部包含層・遺構面確認（ピット）・遺物なし	年報6
1999年度							
99·4·5～8·31	9901	（本荘北）病棟（軸）新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴溝・土壙墓・土師器・須恵器・鉄器・脇衣壺・土鏡・近代溝	本報告Ⅹ
99·6·14～7·14	9902	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電設工事立会	立会調査	40㎡	古　代	古代柱穴，溝，遺物を少量検出	年報6
99·6·17	9903	（黒南）工学部研究実験棟Ⅱ-2-2新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6
99·7·19/26	9904	（本荘南）医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古　代	遺構・遺物なし	年報6
99·7·29～7·30	9905	（黒南）自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設営工事	立会調査	50㎡		遺物・遺構なし	年報6
99·7·2～8·7	9906	（黒南）自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設営工事立会	立会調査	200㎡	古　代	古代溝6条・柱穴2個，古代土器片少量を検出	年報6
99·9·22～10·5	9907	（黒南）工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5㎡	縄文前期～晩期	ピット群，縄文土器片出土	本報告Ⅵ
99·11·24～25	9908	（黒東）附属養護学校給食室増改築工事	試掘調査	42㎡	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが，遺構なし，近世磁器片	年報6
00·2·14～3·24	9909	（黒南）工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事	試掘調査	1,853㎡	近世・近代	畑址・墓地，近世陶磁器，煙管，銅・鉄銭	本報告Ⅵ
00·1·25	9910	（本荘北）血液照射管理室増改築試掘	試掘調査	2㎡		攪乱著しく，遺構・遺物ともに確認できず	年報6
00·3·6～14	9911	（黒南）水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9㎡		縄文土器・古代土師器・須恵器	本報告Ⅹ
00·3·14	9912	（黒南・東）外灯取設工事立会	立会調査	3㎡		遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00·3·2	9913	医学部液化窒素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84㎡		遺構・遺物なし	年報6
00·3·16～17	9914	（本荘南）さく井設備工事立会	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報6
2000年度							
00·4·7	0001	（黒南）水生動物飼育舎新営給水管設営工事	立会調査	6.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00·4·11	0002	（黒南）水生動物飼育舎新営電気設営工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00·4·17	0003	（本荘北）附属病院格納庫移設工事	試掘調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報7
00·10·23	0004	（黒南）工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設営工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報7
00·10·30	0005	（黒南）工学部植栽工事	立会調査	63㎡		遺構・遺物なし	年報7
00·11·6～22	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設営工事（Ⅰ区）	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳・古代	縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居址・土師器・須恵器	本報告Ⅵ
00·11·22	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設営工事	試掘調査	4㎡	近・現代墓地	近・現代墓石・墓壙・遺骨	年報7
00·11·27～29	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5㎡		遺構・遺物なし	年報7
00·12·4～13	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅱ区）	発掘調査 立会調査	32㎡	縄文・古代	土壙状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	本報告Ⅵ
00·12·8～01·1·10	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備電気設営工事（Ⅳ区）	立会調査	31.5㎡	古　代	遺構なし，土師器数点	年報7
00·12·19～20	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅲ区）	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古　代	住居址・土師器	本報告Ⅵ
00·12·26～28	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓地	近代墓壙・墓石・遺骨	年報7
01·1·29	0006	（本荘北）附属病院基幹・環境整備排水管配管工事（Ⅴ区）	立会調査	7㎡		遺物・遺構なし	年報7
01·1·22～30	0007	（京町）附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製紡錘車	年報7
01·2·5	0008	（黒北）生涯学習境域研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡		撹乱のため遺物・遺構なし	年報7
01·2·6～9	0009	（黒南）理学部1·2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古　代	包含層を確認，古代土師器・須恵器	年報7
01·2·16～19	0010	（黒北）体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡		遺物・遺構なし	年報7
01·2·22	0011	（大江）旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡		遺物・遺構なし	年報7
01·3·5～6	0012	（黒北）外灯取付工事	立会調査	3㎡		遺物・遺構なし	年報7
01·3·6	0013	（大江）屋内運動場〔尚武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺物・遺構なし	年報7
01·3·22	0014	（黒北）旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡		遺物・遺構なし	年報7
2001年度							
01·4·9～7·3	0101	（本荘北）附属病院医学部総合研究棟新営工事	発掘調査	1,733.75㎡	古墳・古代・近世・近代	住居址・溝・畑址・墓鉄鏃・土師器・須恵器	本報告Ⅵ
01·5·14	0102	（黒南）基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡			本報告Ⅵ
01·5·14	0103	京町団地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·7·9～26	0102	（黒南）基幹・環境整備	発掘調査	418.5㎡	縄　文	縄文土器・寛永通宝・風倒木痕・防空壕	年報8

01·7·4～10·29	0104	（本荘北）附属病院基幹・環境整備（共同溝設置）	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生・古墳・古代	住居址・溝・縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・鉄鏃・青銅器	本報告Ⅵ
01·7·13	0105	（京町）正門取設工事	立会調査	7.12㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·7·30～11·14	0106	（黒北）大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·7·31	0107	（大江）薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·8·1/13	0108	（京町）キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·8·2/21	0109	（黒北）キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·8·27	0110	（大江）薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·9·4	0111	（本荘南）医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	2.78㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·8·22,9·4	0112	（黒北）食堂南側テラス整備工事	立会調査	662㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·9·14 10·1	0113	（本荘南）医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·9·17	0114	（本荘北）附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·10·19	0115	（黒南）理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·10·22～ 02·2·19	0116	（本荘北）附属病院基幹・環境整備（A～D地区・ボイラー設備更新等）	立会調査	426.4㎡		遺構・遺物なし	年報8
01·12·8～02·2·9	0117	（本荘北）医学部総合研究棟新営機械設備工事	立会調査	133.1㎡	古　代	住居址・柱基礎 土師器・須恵器	年報8
01·12·12～02·2·4	0118	（黒南）基幹・環境整備（特高変電設備等・植栽その他）	立会調査	111.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02·2·25～ 3·20	0119	（本荘北）医療用ガス供給設備室取設工事	発掘調査	205.8㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・掘立柱建物址・縄文土器・土師器・須恵器・鉄鏃	本報告Ⅵ
02·3·18	0120	（本荘北）総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1,492.7㎡		遺構・遺物なし	年報8
02·3·18	0121	（本荘北）附属病院西病棟（仕上Ⅱ）新営工事	立会調査	1,076.4㎡		溝？・遺物なし	年報8
02·3·22	0122	（本荘北）附属病院西病棟電気設備工事（仕上Ⅱ）	立会調査	54㎡		遺構・遺物なし	年報8
2002年度							
02·4·3～4	0201	（黒北）大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3㎡		遺構・遺物なし	年報9
02·4·15～16	0202	（黒北）外灯設備工事	立会調査	199㎡		遺構・遺物なし	年報9
02·4·17	0203	（黒南）インキュベーション施設新営工事	試掘調査	3㎡			年報9
02·4·17	0204	（黒南）総合研究棟新営工事	試掘調査	4㎡			年報9
02·4·24	0205	（黒南）食堂裏エコクリーンソイル工事	立会調査	0.73㎡		遺構・遺物なし	年報9
02·5·20～29	0206	（黒南）総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28㎡		甕棺	本報告X
02·5·30～8·2	0203	（黒南）インキュベーション施設新営工事	発掘調査	810㎡	近　世	畑址	年報9
02·6·3	0207	（黒南）総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02·6·12～8·14	0204	（黒南）総合研究棟新営工事	発掘調査	2,803㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・土師器・須恵器	本報告X
02·7·2	0208	（黒北）図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24㎡		遺構・遺物なし	年報9
02·8·29	0209	（京町）附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報9
02·10·1～ 10·3,11·18	0210	（黒南）工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19㎡		包含層・縄文土器・石鏃	本報告X
02·10·7	0211	（本荘北）医学部総合研究棟新営工事（渡り廊下部分）	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02·12·3/5/11	0212	（黒南）通用門拡幅工事	立会調査	480㎡		遺構・遺物なし	年報9
	0213	（本荘北）総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03·2·7	0214	（本荘北）基幹環境整備外灯工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03·2·18	0215	（大江）薬学部実験動物慰霊碑建立工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	年報9
03·2·21	0216	（黒北）外灯設備工事	立会調査	18.5㎡		遺構・遺物なし	年報9
03·3·7	0217	（本荘南）体育部室（プレハブ）新設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報9
03·3·10	0218	（黒北）外灯設備工事	立会調査	27㎡	古　代	住居址・土師器・須恵器・砥石	年報9
03·3·11	0219	（本荘南）塀新設工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報9
03·3·26	0220	（新南部）教育学部新南部農場竹藪・畑地境界掘り	立会調査	40㎡	古　代	住居址・柱穴・溝，古代土師器・須恵器	年報9
2003年度							
03·4·10	0301	（黒南）工学部薬品庫新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·4·10	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器	年報10
03·5·20	0303	（黒南）事務局排水管修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·6·2～7·2	0304	（本荘北）基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・弥生古墳・古代	住居址・溝・縄文石器・土師器・須恵器・近代陶磁器	本報告Ⅸ
03·7·18	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·8·19	0305	（京町）附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·8·6～9·12	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事（Ⅰ区）	発掘調査	168.2㎡	縄文・古代	溝・ピット・土坑・遺物包含層・縄文土器	本報告Ⅷ
03·9·4～9·8	0306	（本荘南）医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·9·5	0307	（薬）大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·9·29	0308	（宇留毛）小碩宿舎1棟揚水管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·10·2	0309	（本荘南）動物慰霊碑新設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·10·1～10·10	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5㎡	縄文・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器・須恵器・縄文土器・石器	本報告Ⅷ
03·10·27		（黒北）教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·11·6		（薬）記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古　代	土師器	年報10
03·11·17～28	0310	（本荘南）発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·11·26	0302	（黒南）総合研究棟共同溝設備工事（ガス管）	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報10
03·12·9		（本荘南）発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡			年報10

03·12·10	0311	（本荘北）中央診療棟（軸）設営工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04·1·13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
04·1·14	0307	（薬）大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5㎡		遺構・遺物なし	年報10
04·1·15～19	0313	（黒北）教室新築工事	立会調査	398.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
04·1·23～27	0314	（本荘南）医学部Ｂ棟・Ｅ棟・ＲＩ・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000㎡	古　代	溝・ピット・土師器	本報告Ⅷ
04·1·30	0315	（本荘北）東側駐車場整備工事	立会調査	30.7㎡		遺構・遺物なし	年報10
04·2·9 04·2·16	0316	（黒南）理学部４号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83㎡			年報10
04·2·23	0317	（本荘北）偕樹の木移植	立会調査	16㎡			年報10
04·3·4	0318	（黒北）附属養護学校門横市道水道修理工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
04·3·5～9	0314	（本荘南）医学部Ｂ棟・Ｅ棟・ＲＩ・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000㎡	中世・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器	本報告Ⅷ
04·3·9	0319	（黒北）井戸改修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	
04·3·9	0320	（黒北）福利施設空調設備取設工事	立会調査	13.19㎡		遺構・遺物なし	
04·3·10	0321	（黒南）外灯設備工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	
04·3·10	0322	（黒南）総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04·3·10	0313	（黒北）教室新築工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	
04·3·10	0323	（黒北）教室新築工事（空調機取設）	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	
04·3·11	0324	（本荘南）外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04·3·11	0325	（本荘南）外灯設備工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	
04·3·15	0326	（黒北）外灯設備工事	立会調査	3.54㎡		縄文土器片	
04·3·16	0327	（薬）外灯設備工事	立会調査	11.8㎡		遺構・遺物なし	
04·3·17	0323	（黒北）教室新築工事（植栽）	立会調査	8.92㎡	古　代	土師器・須恵器片	
04·3·22	0328	（京町）教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	
04·3·19	0329	（黒北）消火栓応急処置	立会調査	1.08㎡		遺構・遺物なし	
2004年度							
04·4·7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事（渡廊下設置）	立会調査	33.8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·4·9		本荘団地北地区中央診療棟（軸）設営工事	試掘調査	10.44㎡	古　代	溝？・土師器	年報11
04·4·13～5·31	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事	発掘調査	1,241.8㎡	古　代	土師器・須恵器・縄文土器	年報11
04·5·26		黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.76㎡	古　代	ピット・土師器	年報11
04·5·14 04·10·14	0403	本荘団地北地区中央診療棟（軸）設営工事	立会調査	150㎡	古　代	土師器	年報11
04·5·21	0404	薬学部地区植物園棚支柱ほか設置工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·6·25,28	0405	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	68.48㎡		遺構・遺物なし	年報11
		本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備工事	試掘調査	10㎡	古代・縄文	土師器・縄文土器・土壌	年報11
04·5·24,26 6·4 10·26～28 11·12,29	0406	薬学部地区宮本記念館（仮称）建設工事（旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス管配管・樹木移植）	立会調査	1,332.4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·7·26	0408	宇留毛団地小磧宿舎揚水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·7·29 04·8·6 04·8·20	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·8·23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11㎡	古　代	柱穴・須恵器・土師器	年報11
04·8·9 8·10～11 11·5,11	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·8·17～19,23 9·3 9·14～22 05·1·27～	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備（ポンプ室・ＲＩ実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連）工事	立会調査 発掘調査	420㎡		土師器・須恵器・縄文土器・竪穴住居址・溝・ピット	本報告XII
04·9·16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス漏配管修理工事	立会調査	5.7㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·9·16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·9·16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·9·21	0415	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·9·21	0416-1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·9·21	0416-2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·10·12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·10·19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念碑標柱設置工事	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·10·22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·11·1～28	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備	発掘調査	551㎡	縄文・古墳・古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・畑・土師器・須恵器・縄文土器・鉄鏃・勾玉・石器	本報告XII
04·11·26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·11·29	0421	黒髪団地南地区さく井設備工事	立会調査	43㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·12·6	0422	本荘団地北地区中央診療棟（軸）工事	立会調査	66.39㎡		遺構・遺物なし	年報11
04·12·15		黒髪北地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18㎡	古　代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報11
04·12·24	0423	黒髪団地北地区記念館（木造）取壊工事	立会調査	754㎡		遺構・遺物なし	年報11
05·1·11	0424	本荘団地北地区ボンベ庫取設工事	立会調査	14.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
05·2·1～2，7～9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館事前工事（配管工事）	立会調査	160.08㎡	古　代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05·2·21～3·30 5·9～6·10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1,170.4㎡	古　代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05·2·4,8～9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘調査	84㎡	近　世	溝・土師器・須恵器・馬骨・銅銭	本報告Ⅷ
05·2·4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11

05･2･21～22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19㎡		遺構・遺物なし	年報11
05･2･21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25㎡		遺構・遺物なし	年報11
05･2･28,3･14,4･1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1,846㎡			
05･3･1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新営工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	
05･3･1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945㎡		遺構・遺物なし	
05･3･1	0433	教育学部附属幼稚園掲示板設置工事	立会調査	0.81㎡		遺構・遺物なし	
05･3･2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事（仮称）	立会調査	192.5㎡		遺構・遺物なし	
05･3･9	0435	黒髪南地区さく井設備工事（追加分）	立会調査	5.6㎡		遺構なし・土師器	
05･3･10,15,16,18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.14㎡		遺構なし	
05･3･14･16	0437	大江地区薬学部外灯設備工事	立会調査	8.1㎡		遺構・遺物なし	
05･3･22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14㎡		遺構・遺物なし	
05･3･23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	
05･3･24	0440	教育学部附属中学校洗濯機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	
05･3･24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
05･3･24	0442	（本荘北）附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18㎡		遺構・遺物なし	
05･3･24	0443	（本荘北）中央診療棟連絡棟Ⅱ管工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	
05･3･25	0444	黒髪東地区教育学部附属養護学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74㎡		遺構・遺物なし	
05･3･28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355㎡		遺構・遺物なし	
2005年度							
05･4･19～20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事（追加）	立会調査	28㎡	古　代	土師器・須恵器	年報12
05･4･27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･2･4～6･10	0425	（黒髪）情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1,065.2㎡	縄文・古代	竪穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器	本報告Ⅲ
05･5･30, 6･4,5,14	0503	（本荘）発生医学研究センター施設整備事業（外構）	立会調査	2,337.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･6･7,10	0504	小磧宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･6･9,10,12	0505	（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家前）	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･6･20	0506	（大江）薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･6･21	0507	（本荘中）敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･7･8	0508	（黒髪）情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古　代	土師器・須恵器	年報12
05･7･13,14 7･19～9･30	0509	（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動先）	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	本報告Ⅺ
05･7･19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古　代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05･8･1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･2～3	0513工④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	9.7㎡	古　代	土師器・須恵器	年報12
05･8･2～25	0513理②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	198.75㎡	古　代	土師器・須恵器	年報12
05･8･5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･5～10	0513工⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･8～18	0513工①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	80.88㎡	古　代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05･8･18	0515	本荘団地（南地区）駐車場環境整備工事（その2），追加変更	立会調査	235.98㎡	古　代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05･8･18～23	0515工⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･19～29	0513工⑬	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－4	立会調査	259㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･23～29	0513工⑫	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･25	0513工⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･25	0513工⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･25	0513理③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	65㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･25	0513理④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･29～30	0513工⑪	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･8･30～9･1	0513工⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･1～13	0513理①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	竪穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報12
05･9･1,20	0517	（医病）基幹・環境整備（曳き家・現在地）	立会調査	1337㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･4,5	0513理⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･12～27	0513工⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･14	0519	（黒髪北）学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･15	0513工⑭	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－5	立会調査	0.79㎡		包含層・ピット	年報12
05･9･15	0513工⑮	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業―1	立会調査	40.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･15	0521	本荘団地（北地区）台風倒木引起し	立会調査	2.355㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･16～10･2	0513工②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	97.342㎡	古　代	土師器・須恵器	年報12
05･9･16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･9･27	0523	（医病）中央診療棟（仕上）	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･10･11～11･7	0513工③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，3	立会調査	150㎡	古　代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05･10･11	0524	本荘団地（北地区）駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･10･13,14 17,18	0525	（黒髪）情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6㎡	古　代	柱穴・土師器・須恵器	年報12
05･10･14	0526	埋文調査室内部改修機械設備工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報12
05･10･19,20	0527	（黒髪北）文法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報12

05·10·21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·10·25	0529	（医病）外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·10·26	0530	薬学部温床室（苗床温室）補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·11·4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·11·7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·11·7	0533	（黒北）ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·11·16.21	0534	黒髪南地区囲障改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·11·29 12·15	0513工⑯	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	48㎡	古　代	住居址・柱穴	年報12
05·11·29～ 12·5	0513理⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	24㎡	古　代	住居址・溝・ピット・土師器・須恵器	年報12
05·12·4	0513工⑰	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	117.4㎡	古　代	土師器	年報12
05·12·7	0513工⑱	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	87㎡	古　代	ピット・土師器・須恵器	年報12
05·12·9	0513工⑲	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	25㎡	古　代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05·12·12	0513工⑳	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·12	0535	教育学部新南部農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05·12·13	0513工21	（黒髪南）工学部他校舎改修等施設整備事業－1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·13	0513工22	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·13	0513工23	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·13	0513工24	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·14	0513理⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·15	0513理⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1，2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·16	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·19.21.26 06·1·6～11 2·27～3·2	0538	（黒髪）情報ネットワーク館設備工事（追加）	立会調査	70.235㎡	古　代	土師器・須恵器	年報12
05·12·22	0539	本荘団地（中地区）ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05·12·26	0513理⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·4～19	0513理⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	89㎡	古　代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06·1·5	0513理⑪	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·10.25	0540	本荘団地（南地区）埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·17	0513工25	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·20	0513工26	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·26 2·2.10.27	0541	（黒髪南）理学部駐輪場整備工事（追加・再追加含む）	立会調査	1,110.6㎡	古　代	土師器・須恵器	年報12
06·1·23	0513工27	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·24	0513工28	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·26	0513工29	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·27	0542	（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動経路）	立会調査	1464㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·1·30	0513工30	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·2·13	0543	附属病院職員厚生施設園庭整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·2·16.3·13	0544	（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家後）	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·2·17	0545	教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·2·24.3·7 3·8.13.16.17	0546	（黒髪）情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古　代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06·3·10	0547	（黒髪）北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·3·13	0548	本荘団地（中地区）渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·3·24	0549	（医病）外来化学療法センター屋外汚水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06·3·30	0550	ぎ木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12
2006年度							
06·4·11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·4·11	0602	（黒髪北）接地工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·4·11	0603	（黒髪北）資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古　代	溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告Ⅸ
06·4·11～ 4·12	0604	（黒髪北）資料館改修工事（屋外排水）	発掘調査	25.12㎡	古　代	住居址？・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告Ⅸ
06·4·12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·4·13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·4·18.19	0607	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·4·21	0608	（黒髪北）前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·4·24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·5·2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·5·11	0611①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·5·22.25	0611②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·5·22	0612①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	1.1㎡	古　代	柱穴・土師器	年報13
06·5·22～24	0612②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	24㎡	古　代	柱穴・土師器・須恵器	年報13
06·6·12	0614	（黒髪）環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·6·19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·6·22.28 7·3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備（衛生）工事	立会調査	153㎡	古　代	土師器・須恵器	年報13
06·6·27.7·7	0612③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	21.98㎡	古　代	土師器・須恵器	年報13

06·8·7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·8·11	0617	（黒髪）プール附属家等環境配慮改修（アスベスト処理）工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·8·11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·8·21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·8·24·25	0611③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡			年報13
06·8·31～9·1	0611④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古　代	溝・土師器	年報13
06·9·7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡			年報13
06·9·11	0611⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·9·12	0611⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·9·14,15	0611⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·9·20,21	0611⑧	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡			年報13
06·10·2	0611⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·10·2	0621	（黒髪）プール附属家等環境配慮改修（アスベスト処理）工事その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·10·2,16 27,30 11·13	0622	（医病）環境整備（西側駐車場等）工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古　代	土師器・須恵器・縄文土器	本報告Ⅷ
06·10·10,12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·10·13	0624	附属病院設備管理棟アキュームレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·10·16	0625	（医病）基幹・環境整備（外灯）工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·10·19	0626	（医病）基幹整備（ボイラー設備他更新）工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·10·25	0627	（大江地区）雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·11·2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡			年報13
06·11·17,27 12·4	0629	（本荘）医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古　代	土師器	年報13
06·11·20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·11·30	0631	渡鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·12·1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·12·15,18～ 25,27,28 07·1·4～9	0612④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古　代	土師器・須恵器・動物骨	年報13
06·12·19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2,943.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06·12·25 07·4·2	0634	（本荘）医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·1·10,11,19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·1·18,22,23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古　代	土師器・須恵器・礫	年報13
07·1·30	0637	（本荘）医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·2·1	0638	（宇留毛）ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·2·20	0639	（本荘）医学部保健学科校舎CT用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·2·26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·3·1	0641	（本荘中）医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·3·6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·3·8	0643	（黒髪南）理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古　代	土師器	年報13
07·3·8	0644	（南地区）西側囲障改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·3·12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·3·20	0646	（医病）環境整備（救急棟改修）機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·3·22	0647	（教）附属幼稚園囲障改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
07·3·26	0648	（医病）環境整備（山崎記念館外部改修）工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報13
2007年度							
07・4・10	0701	（教）附属養護学校東門等改修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・12		（本荘）医学部図書講義棟新営工事	試掘調査		古　代	溝・柱穴・土器	年報14
07・4・13	0702	教育学部附属幼稚園飼育小屋取設工事	立会調査	18.21㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・16,20	0703①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	61㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・5・7,8	0704	（黒髪南）新営工事に伴う樹木移植工事	立会調査	446㎡	古　代	土師器・須恵器	年報14
07・6・7		医病）東病棟新営工事	試掘調査				年報14
07・6・13	0705	（医病）東病棟新営に伴う支障配線替工事（電気設備）	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・19,21,27	0703②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	469.2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20		黒髪北地区総合研究棟新営工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07・6・25	0703③	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	31.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・26,29 7・10,18,19	0707	（本荘）医学部図書講義棟新営工事	立会調査	1,590㎡		障害物撤去・一次掘削	年報14
07・6・28	0708	（黒髪北）大教センター南側雨水管つまり修理	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・29	0709	（本荘北）仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・3	0703④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,14	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・4	0710	（京町）教育学部附属小中学校仮設校舎取設工事（変更）	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・9,10	0703⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	58.75㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0711	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備）工事	立会調査	8.34㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・17	0703⑥-1	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	1,576.6㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・19	0703⑥-2	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	300.08㎡		遺構・遺物なし	年報14

07・7・30～9・3	0707	（本荘）医学部図書講義棟新営工事	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代	竪穴住居址・水田遺構・ピット 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本報告Ⅷ
07・8・7	0712	（医病）東病棟新営工事	立会調査	24㎡		一次掘削	本報告Ⅴ
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・22	0714	（黒髪南）理学部1.2号館掲示板取設工事	立会調査	15.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・23	0715	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・27～ 10・25	0712	（医病）東病棟新営工事	発掘調査	589.29㎡	縄文・古墳・古代・近世	縄文土器・土師器・須恵器・石器・古代鉄器・銅製袴帯・馬骨・宋銭	本報告Ⅴ
07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・14 10・3	0717	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟取り壊しに伴う機械設備）工事	立会調査	49.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・25～27 10・2	0703⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,16	発掘調査	275.5㎡	古　代	住居址・ピット・土師器・須恵器	年報14
07・9・27 10・1,2	0718	（大江）薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古　代	溝・土師器	年報14
07・10・4,15 16,22,25 08・1・30,31 2・13	0719	（京町）教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	弥生・古代	ピット・弥生土器 土師器	本報告Ⅴ
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・10・26～ 11・28	0719	（京町）教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代	竪穴住居・ピット・溝・弥生土器・土師器・須恵器・打製石鏃	本報告Ⅴ 本報告Ⅺ
07・12・3～ 12・4,6,7 08・1・18	0721	（京町附属小中）校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代・近世・近代	竪穴住居・ピット・弥生土器・土師器・須恵器・近世,近代陶磁器	本報告Ⅴ
07・12・5	0722	（黒髪）工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・5,11	0723	（黒髪）工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・7,10,12	0724	（本荘中）医学部基礎研究棟（C棟取り壊し）工事	立会調査	1,000㎡	古　代	土抗・ピット・土師器	年報14
07・12・7	0725	（京町）教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・10,17,18 08・1・16,17	0703⑧-1	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-6,18	立会調査	148.75㎡	古　代？	ピット	年報14
07・12・14～ 12・27	0721	（京町附属小中）校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代・近世・近代	竪穴住居・ピット・近代土坑・弥生土器・土師器・須恵器・近世,近代陶磁器	本報告
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・16,17	0703⑨	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業-20	立会調査	94.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0727	（黒髪）工学部8号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0728	（黒髪）工学部8号館内部改修機械設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・23	0703⑧-2	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業-6,18	立会調査	89㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・25	0703⑩	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業-10	立会調査	2.04㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・29,30	0703⑧-3	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業-6,18	立会調査	96.7㎡	古　代	土師器	年報14
08・2・1,4	0703⑧-4	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備事業-6,18	立会調査	53.02㎡	古　代	土師器	年報14
08・2・14	0729	（黒髪南）ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・25	0730	（黒髪東）教育学部附属特別支援学校防火用水槽撤去工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・27	0731	（黒髪南）旧情報処理センター改修	立会調査	11.25㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・29	0732	（本荘）特別高圧受電棟増築工事	立会調査	12㎡		土師器	年報14
08・3・11,26	0733	（医病）旧中央診療棟取り壊し工事	立会調査	84㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・17	0734	（黒髪北）排水路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.3㎡			年報14
08・3・21	0735	医学部保健学科ボイラー用地下重油タンク撤去工事	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・21	0736	（大江北）薬学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・25	0737	（黒髪南）ボイラー煙突撤去工事	立会調査	208㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・27	0738	（本荘南）医学部保健学科記念碑取設工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・31	0739	（黒髪北）出庫注意灯取設工事	立会調査	10.135㎡		遺構・遺物なし	年報14
2008年度							
08・4・2	0801	（医病）旧中央診療棟とりこわし工事（追加）	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・7	0802	附属中学校散水復旧工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・20	0803	薬学部薬草園管理舎ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・26	0804	（本荘北）駐輪場取壊し工事	立会調査	11.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・5	0805	（黒髪南）ボイラー室南側給水管漏水修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・6,19,23,26 7・4,10,18,28 8・25 12・1,8	0806	（黒髪）南地区福利施設支障配管替工事	立会調査	306.46㎡	古　代	土師器	年報15
08・6・20,25 ～7・1 7・28～30 12・4,18,19	0806	（黒髪）南地区福利施設支障配管替工事	発掘調査	125.2㎡	古　代	溝・ピット・土師器・須恵器・近代陶磁器・石器	本報告Ⅻ
08・6・9,10	0807	（本荘）医学部図書講義棟新営機械設備工事	立会調査	29.7㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・18	0808	（黒髪北）有機系廃液処理施設東側給水管漏水修理	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・23 7・1,3,4 7・15 7・16	0809	（黒髪南）福利施設樹木移植工事（追加）	立会調査／発掘調査	23.5㎡	古　代	溝・住居址・土師器・石器	本報告Ⅻ
08・7・10	0810	宇留毛団地給水管補修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15

08・7・11	0811	（黒髪南）共用棟Ⅱ4階改修電気設備工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・14	0812	（黒髪南）掲示板移設工事	立会調査	41.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・15	0813	（本荘中）医学部基礎構内都市ガス配管漏れ修理	立会調査	2.42㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・18	0814	（医病）東病棟新営工事	立会調査	8㎡	弥　生	溝発見	年報15
08・8・20～8・22	0814	（医病）東病棟新営工事	発掘調査	212㎡	弥生・近世	弥生時代溝・近世溝 弥生土器・石器・近世陶磁器	本報告Ⅷ
08・8・21	0815	（本荘南）こばと保育園支障基礎等撤去工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・21	0816	（本荘中）医学部基礎構内市水道配管漏れ修理	立会調査	1.77㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・29	0817	宇留毛団地油タンク警報線補修工事	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・1	0818	（黒髪北）ポンプ室西側給水管漏水修理	立会調査	2.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9,10	0820	（黒髪北）文法学部本館改修南側支障物撤去工事	立会調査	80.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9	0821	本荘団地（北地区）看護師宿舎埋設ガス管修理	立会調査	7.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・6	0822	本荘南地区保健学科東側囲障整備	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・9,10～11・28	0819	（湯鹿）体育館耐震改修その他工事	一次掘削／発掘調査	694.95㎡	縄文・古墳・古代	縄文土器・石器，古墳時代玉，土師器・石器・人骨	本報告Ⅻ
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・15	0824	（本荘南）医学部保健学科喫煙所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・28	0825	（医病）電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・29	0826	（黒髪南）共用棟黒髪3樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡			年報15
08・11・4	0827	五高開校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・6	0828	（本荘）こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7㎡			年報15
08・11・10	0829	（黒髪北）学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・18,19 21,25	0830	（本荘）こばと保育園新営機械設備工事（変更2）	一次掘削／発掘調査／立会調査	20㎡	近　代	溝 古代土師器・須恵器・石器	本報告Ⅷ
08・11・18,20 12・24	0831	（湯鹿）体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	113.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・1	0832	文法学部講義室北側給水管漏水調査	立会調査	1.04㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・3	0833	（黒髪北）教育学部本館東側汚水桝補修工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・10	0834	（本荘中）共用研究棟新営工事（変更）	立会調査	14.13㎡		黒曜石	年報15
08・12・11,15～19 09・1・13～2・19	0835	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	一次掘削／発掘調査	580㎡		ピット・住居址・土師器・須恵器・弥生土器・縄文土器・石器・鉄器	本報告Ⅻ
08・12・22 12・24,25 09・1・5～2・27 3・10	0836	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（変更その1，その2）	一次掘削／発掘調査	456.54㎡	古　代	溝・住居址・ピット・土師器・須恵器・石器	本報告Ⅻ
08・12・24	0837	五高開校120周年記念植樹（追加）	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・26	0838	（黒髪北）教育学部本館改修南側耐震補強工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・20	0839	（黒髪南）備蓄倉庫取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・22	0840	（黒髪南）南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・2	0841	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営に伴う支障樹木伐採・移植工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・4	0842	（本荘）医学部図書講義棟増築機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・5	0843	（黒髪北）ボイラー煙突撤去工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0844	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修電気設備工事（変更）	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0845	（黒髪南）福祉施設新築工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0846	（城東町）附属幼稚園北門改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13 2・19	0847-1～2	（黒髪北）教育学部本館改修（変更）	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23～24 2・27 3・4～3・5 3・13	0848-1～5	（黒髪北）文法学部本館改修（変更，変更その2）	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0849	黒髪団地（北地区）外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0850	（湯鹿）体育館耐震改修機械設備工事（追加）	発掘調査（立会調査）	13.32㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・17	0851	（医病）水路蓋改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0852	（黒髪南）排水ポンプ電源工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0853	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23	0847-3	（黒髪北）教育学部本館改修（変更その2）	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・24	0854	（黒髪北）北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器	年報15
09・2・26～3・12	0854	（黒髪北）北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古　代	ピット・竪穴住居址・道状遺構・土壙墓・土師器・須恵器・石製紡錘車	本報告Ⅷ
09・2・26	0855	（黒髪南）旧情報処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・27	0856	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営工事	立会調査	60.99㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・3	0857	（黒髪南）旧情報処理センタースロープ取設工事	立会調査	33.114㎡（内1.12㎡）		遺構・遺物なし	年報15
09・3・4～6,11	0858	（黒髪北）教育学部本館改修東側植栽工事	立会調査	117㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6	0859	（黒髪南）共用棟黒髪3耐震改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡（0.32㎡）		遺構・遺物なし	年報15

09・3・6,13	0860	（黒髪南）ものづくり実習室Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	115.54㎡ (17.74㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9～11,17	0861	（黒髪北）文法学部本館改修東側植栽工事	立会調査	336㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	（黒髪南）共用棟黒髪３耐震改修電気設備工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・10～11	0863	（黒髪南）ボイラー室他改修機械設備工事	立会調査	98.5㎡ (4.86㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・16,23	0864	（黒髪北）環境整備（排水等）工事	立会調査	119.99㎡		住居址・ピット・土師器	年報15
09・3・17	0865	（黒髪南）南地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	393.78㎡ (1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	（黒髪北）学生会館北側排水等工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	（黒髪北）北地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	37.24㎡ (16.1㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	（医病）カーブミラー取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
2009年度							
09・4・15,17	0901	（黒髪南）西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・4・20,22,24,27,30 5・1,25,27,28	0902	（黒髪南）西門改修工事	立会調査	422㎡		内厠・塀新設に際し黒褐色の住居址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし	年報16
09・4・23	0903	（本荘中）中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0904	（宇留毛）学生寄宿舎駐輪場新営工事	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0905	（黒髪南）屋外雨水管改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・27	0906	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・28	0907	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事その1（変更）	立会調査	11.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・5	0908	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事その2	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・4	0909	（大江）薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	10.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・11	0910	（黒髪北）ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・3 7・22	0911	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・6	0912	熊本大学黒髪団地（東地区）インフラ整備	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	（黒髪北）非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	（黒髪北）特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・13	0914	（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・28	0915	（宇留毛）留学生宿舎新営電気設備工事（追加その５）	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・7	0916	（本荘中）動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・10	0917	（本荘中）構内通路屋根取設工事	立会調査	0.44㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0918	（黒髪北）教育学部本館文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0919	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修外構工事（変更）	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4 10・2・24	0920	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・29	0921	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・6	0922	（黒髪南）工学部研究実験棟準備室Ａ種接地工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・13 10・27～ 10・30 11・12 11・13	0923	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	立会調査／発掘調査	工区①0㎡ ⑨15.9㎡ (0925含) ⑤⑥一部50㎡ ⑪5.3㎡	古　代	ピット・住居 土師器坏・須恵器蓋	本報告XI
09・10・19 10・23 10・27～30	0924	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事　追加その２	立会調査／発掘調査	工区③39㎡ ④54㎡ ⑦25.5㎡ ⑨15.9㎡ (0923・0925含)	古　代	ピット	本報告XI
09・10・27～30 11・12,13,19 24～26 12・1～3	0925	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事　追加その1	立会調査／発掘調査	工区⑨15.9㎡（0923含）⑥7.2㎡ ⑧7.2㎡ ⑩23.7㎡	古　代	ピット・住居址・溝 土師甕・高坏 土師器・須恵器	本報告XI
09・10・13,28	0926	（医病）基幹整備（自家発電設備更新）工事	立会調査	64㎡		土師器	年報16
09・10・20	0927	（黒髪南）ゴミ集積場取設工事	立会調査	9.19㎡		土師器	年報16
09・10・21	0928	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・29	0929	（医病）第６病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・11・4	0930	（本荘北）基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡		磁器	年報16
09・11・10 11・18	0931	（医病）東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	14㎡		Ａ・Ｃ遺構・遺物なし Ｂ住居址・縄文後期土器・古代土師器・須恵器	年報16
09・11・10 11・30～ 12・3 12・14	0932	（黒髪南）旧図書館工学部分室改修工事	立会調査／発掘調査	地中梁試掘 ピット試掘 0.98㎡ 外溝工事 230.7㎡	古　代	溝 古代土師器・須恵器	本報告VIII
09・12・9	0933	（京町）附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・12・9	0934	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・7,12,19,28 2・2	0935	（黒髪北）体育館改修電気設備工事	立会調査／発掘調査	423.21㎡	古代・近代	ピット 土師器・須恵器・磁器	本報告VIII

10・1・12	0936	（医病）旧こぱと保育園駐車場整備	立会調査	12㎡		埋甕	年報16
10・1・13,2・23	0937	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修機械設備工事	立会調査	56㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・14 2・17～19	0938	（黒髪南）エコロジーシステム実験室接地工事	立会調査／発掘調査	10㎡	縄　文	溝・包含層 縄文土器・弥生土器	本報告Ⅷ
10・1・15	0939	（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・26	0940	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0941	（黒髪北）体育館屋外階段改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0942	（黒髪北）体育館屋外配水管改修	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・2	0943	（黒髪南）旧図書館工学部分室外構工事	立会調査	7㎡		V字型遺構（溝？）	年報16
10・2・8	0944	（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0945	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0946	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）追加	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・12	0947	（大江）薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0948	（黒髪北）教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0949	（黒髪北）教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0950	（黒髪北）教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0951	（黒髪北）教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0952	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0953	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0954	（黒髪南）環境整備（駐輪場等）工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0955	（黒髪南）環境整備駐輪場外灯設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・2	0956	（本荘中）ボイラー室変電設備改修その他工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・3	0957	（大江北）薬学部屋外通路屋根取設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0958	（黒髪東）教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0959	（黒髪北）教育学部本館Ｂ棟配水管・連結送水管工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・5	0960	（本荘北）医学部駐輪場取設工事	立会調査	17㎡		遺構覆土検出，計画変更により保存・遺物なし	年報16
10・3・8	0961	（黒髪南）備蓄倉庫２取設工事	立会調査	0.83㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・8	0962	（黒髪南）大学院自然科学研究科実験棟地圏探査工学実験室改修電気設備工事	立会調査	0.7㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・10	0963	（京町）附属中学校校舎南側雨水管改修工事	立会調査	0.63㎡	弥　生	ピット・浅い窪み 弥生時代甕棺口縁部	年報16
10・3・11	0964	（黒髪北）体育館改修電気設備工事（電柱撤去）	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・11	0965	（黒髪北）文法学部本館駐輪場撤去工事	立会調査	0.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・12	0966	（黒髪北）保健センター前屋外消火栓取替工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・15	0967	（黒髪南）事務局来客用駐車場取設工事	立会調査	2.34㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・16	0968	（黒髪北）共用棟黒髪６揚水設備撤去他給水設備改修工事	立会調査	3.76㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・19	0969	（黒髪東）ソフトテニスコート給水工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0970	（京町）附属中学校教育学部同窓会弔魂碑案内標柱設置工事	立会調査	0.12㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0971	（黒髪北）文法学部古紙倉庫設置工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0972	（本荘南）保健学科Ｅ棟給水配管工事	立会調査	8.7㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0973	（大江北）薬学部蕃滋館屋外給水配管工事	立会調査	0.34㎡		遺構・遺物なし	年報16
2010年度							
10・4・6	1001	（本荘中）ガスメータ付近ガス埋設管漏洩調査	立会調査	3.9㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・6・25 9・1	1002	（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース設置他工事	立会調査	22㎡ 0.18㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・6・30	1003	（黒髪南）生物生息環境音響解析室看板設置工事	立会調査	0.18㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・4	1004	（黒髪北）守衛室シャワー室改修工事	立会調査	11.04㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・9	1005	（京町）附属小学校給排水設備工事	立会調査	17㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・10 9・3,6～10 11・3・4	1006	（黒髪北）文法学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査／発掘調査	1,211.68㎡	古　代	ピット・住居址・竈結土 土師器・須恵器	本報告Ⅺ
10・8・10,9・3	1007	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事	立会調査	48.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・11	1008	（黒髪北）高圧配電線等改修工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・9・1 9・3	1009	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修電気設備工事	立会調査／発掘調査	1.6㎡	古　代	ピット・遺物なし	年報17
10・9・15	1010	（城東）附属幼稚園運動場ガス漏れ修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・9・24	1011	（黒髪南）理学部１・２号館中庭植栽	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・4,5,7	1012	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事（追加）	立会調査	67.7㎡		遺構なし 土師器片	年報17
10・10・4,5,7	1013	（黒髪北）教育学部本館周辺移植等工事	立会調査	82㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・11・10,11	1014	（黒髪北）教育学部本館耐震壁設置等工事	立会調査	91.63㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・26 11・2・1,10,15,22,25 3・2,3	1015	（黒髪北）教育学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査	2,101.01㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・7	1016	（黒髪北）教育学部浄化槽等撤去工事	立会調査	98.46㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・12・6	1017	（本荘南）テニスコート整備工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・12・20	1018	（黒髪北）五高記念館樹木移植工事	立会調査	4㎡		遺構なし 須恵器・土師器片	年報17
10・12・20	1019	（黒髪北）五高記念館便所新営工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報17

10・12・27	1020	（本荘南）テニスコート整備工事（追加）	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1021	（黒髪北）五高記念館便所新営電気設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1022	（黒髪北）五高記念館便所新営機械設備工事	立会調査	20.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1023	（黒髪南）囲障改修工事	立会調査	6.95㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・4	1024	（本荘北）カーブミラー取設工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・24,25	1025	（本荘中）医学部基礎研究棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	175.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・2	1026	（黒髪北）教育学部本館北側排水設備修理工事	立会調査	10.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・9	1027	（黒髪北）北地区門衛所太陽光発電設備設置工事	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・10	1028	（黒髪北）教育学部本館正面入口前消火管修理	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・16 11・3・22	1029	（本荘北）学生部室とりこわし工事	立会調査	3㎡ 0.75㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・17	1030	（黒髪南）環境整備（駐輪場等）工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・23	1031	（黒髪北）教育学部本館西側・文法学部本館北側排水設備改修工事	立会調査	205.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
2011年度							
11・4・18,19	1101	（黒髪南）車庫給水引込管改修工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・5・30	1102	（本荘中）医学部基礎研究棟Ａ棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	62㎡ （8.2㎡）		遺構・遺物なし	年報18
11・6・17	1103	（黒髪南）倒木抜根緊急工事	立会調査	6.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・4・6 6・21～ 9・22	1104	（本荘北）臨床医学教育研究センター（仮称）整備事業	立会調査／発掘調査	試掘31.2㎡ 発掘503.9㎡	古代・近代	住居址・墓壙・ピット 土師器・須恵器・人骨・銭貨・泥面子・甕棺	本報告Ⅸ
11・6・22	1105	（黒髪南）埋蔵文化財調査室排水管取設工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・6・24 10・17～19 11・1,4,10 21,24～25 11・28 12・9,12～14	1106	（本荘中）医学部基礎研究棟（Ａ棟）とりこわし工事	立会調査／発掘調査	1,556.04㎡	古墳・古代・近世	溝・ピット 土師器片・須恵器	本報告Ⅸ
11・7・5	1107	（医病）中庭掘削工事	立会調査	8.9㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11	1108	（黒髪北）障害者雇用施設改修工事	立会調査	71.3㎡ （3㎡）		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11 8・1,5	1109	（黒髪北）障害者雇用施設改修機械設備工事	立会調査	50.7㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・26	1110	（黒髪北）五高記念館前樹木シロアリ被害支柱緊急取替え工事	立会調査	3.53㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・8・18	1111	（黒髪南他）自然科学研究科研究棟・理学部研究棟前通路陥没等補修工事	立会調査	0.46㎡ 15.2㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・9・21,22 26～29 10・4,11 26～28 31	1112	（医病）基幹・環境整備（第６病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事	立会調査／発掘調査	500㎡	古墳・古代・近世	竪穴住居址・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告Ⅸ
11・9・21	1113	（医病）基幹・環境整備（第６病棟等支障配線・配管替え）工事	立会調査／発掘調査	264.83㎡		1112調査地点と同様	本報告Ⅸ
11・10・11～13 17,18,11・1,11	1114	（医病）基幹・環境整備（第６病棟等支障配線・配管替え）機械設備工事その2	立会調査／発掘調査	184.81㎡	古代・近世	住居址？・溝・ピット 遺物なし	本報告Ⅸ
11・9・20	1115	（黒髪北）ラグビー場横給水管補修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・10・24～ 10・27	1116	（黒髪北）文法学部講義棟便所増築等改修工事	立会調査／発掘調査	20㎡	古　代	竪穴住居址？・ピット 古代土師器・須恵器	本報告Ⅸ
11・10・24,25 12・12 12・1・27	1117	（本荘中）医学部基礎研究棟とりこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7㎡		遺構なし 土師器片	年報18
11・11・15	1118	（大江）電柱支線撤去及び支柱新設	立会調査	0.42㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・22 12・14 12・1・17,18	1119	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟等とりこわしに伴う支障樹木移植等）工事	立会調査	407㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・24,25	1120	（医病）基幹・環境整備（第６病棟北側平屋部とりこわし）工事	立会調査	728㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・28～ 12・6・4	1121	（黒髪南）基幹・環境整備（屋外排水設備等）工事	立会調査／発掘調査	7,748.6㎡	縄文・弥生中期・古代・中世期・近現代期	住居址？・土坑・溝・溝状遺構・ピット・土坑状遺構・畑址（畝）甕棺・縄文土器片・土師器片・須恵器片・円礫・黒曜石チップ・黒曜石片・礫塊石器（敲石？）	本報告Ⅸ
11・12・5	1122	（医病）基幹・環境整備（血液照射管理室とりこわし）工事	立会調査	165.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・5 12・2・3	1123	（医病）基幹・環境整備（中庭支障樹木撤去）工事	立会調査	21.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・9	1124	（黒髪北）北地区食堂屋外給水配管工事	立会調査	1.54㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・19,20	1125	（大江北）北門周辺環境整備（植栽・外灯）工事	立会調査／発掘調査	8.37㎡	古　代	溝 土師器片・敲石・瓦片	本報告Ⅸ
11・12・19	1126	（大江北）北門周辺環境整備（道路等）工事	立会調査	4.77㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・12	1127	（医病）設備管理棟ボイラー室ドレン配管他改修工事	立会調査	8.1㎡		遺構なし，土師器片	年報18
12・1・16	1128	（黒髪北）北地区食堂・保健センター西側ガス配管修理	立会調査	5.22㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・17,18,20 2・3,6～7 16,17,20,21,27	1129	（医病）基幹・環境整備（旧中央診療棟とりこわし）工事	立会調査／発掘調査	716.0㎡	古墳・古代	溝・土坑・ピット 古代土師器・須恵器・石製品	本報告Ⅸ

11・12・9,13,14 12・1・24,26～27 2・8,15	1130	（本荘中）医学部基礎研究棟（B・D棟）とりこわし工事	立会調査／発掘調査	1,169.6㎡	中世以降	溝・土坑・ピット 土師器片・動物骨	本報告Ⅸ
12・1・25	1131	（京町団地）環境整備（法面保護）工事	立会調査	4.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・31 2・1,6	1132	（医病）基幹・環境整備（渡り廊下Cとりこわし）工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・8	1133	（本荘中）医学部旧ボイラー室改修機械設備工事	立会調査	46.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,17 21	1134	（黒髪南）理学部圃場整備その他工事（その1）	立会調査	747㎡		住居址もしくは溝と思われる遺構プラン，遺物なし	年報18
12・2・16	1135	（黒髪南）理学部圃場整備その他工事（その2）	立会調査	1㎡ (1,248㎡)		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,20,21	1136	（黒髪南）理学部圃場整備その他工事（その3）	立会調査	60.8㎡		住居址か溝？ 土師器片・須恵器片	年報18
12・2・20	1137	（黒髪南）理学部3号館スロープ取設工事	立会調査	115.60㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1138	（宇留毛）建物名表示看板設置	立会調査	0.49㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1139	（黒髪北他）施設名称サイン設置工事	立会調査	0.63㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1140	（京町）環境整備（法面整備等）工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1141	（京町）環境整備（南側囲障）工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・7	1142	（大江）薬草用植物園屋外掲示板設置工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・12	1143	（本荘中）ガス供給施設取替	立会調査	24.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・14	1144	（本荘中）エイズ学研究センター，生命資源研究・支援センター，動物資源開発研究施設新館，実験排水槽配管盛り替え工事	立会調査	7.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・26～3・27 4・2,4 8・21～23	1145	（医病）基幹・環境整備（第6病棟とりこわし）工事	立会調査／発掘調査	427.30㎡	古代・中世以降	溝・土坑・ピット 土師器片・瓶の取手・須恵器片	本報告Ⅸ
2012年度							
12・4・10	1201	（黒髪南）事務局南側寄贈樹木植栽工事	立会調査	0.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・13	1202	（京町）附属小学校給食センター耐震二次診断調査業務	立会調査	7.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・14,15 6・18 7・9,10 10・15,16	1203	（本荘北）本荘北地区駐車場配管工事（新設）	立会調査	159.7㎡		磁器	年報19
12・6・20,29 7・3,26 7・31 8・6,17	1204	（本荘北）樹木移植等工事	立会調査	1360㎡		磁器	年報19
12・6・19～7・19	1205	（本荘中）医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事	立会調査／発掘調査	756㎡	古代・近世	溝・ピット・土師器・須恵器・陶磁器・獣骨	本報告X
12・6・25	1206	（黒髪北）五高記念館南側屋外給水管補修他工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・29 7・3～5	1207	（本荘北）水銀指定基準超過区域土壌掘削除去に伴う立会調査・発掘調査	立会調査／発掘調査	100㎡	古代・近代	竪穴住居址・墓・溝（保存）・ピット2・土師器・須恵器	年報19
12・7・9,10	1208	（本荘北）立体駐車場支障配線替工事	立会調査	73.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・6,9,13	1209	（本荘中）医学部基礎研究棟B棟漏水処置に伴う立会調査	立会調査	9.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・17	1210	（京町）附属小学校給水本管補修工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・23,24	1211	（京町）教育学部附属中学校西側フェンス改修工事	立会調査	3.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・31	1212	（医病）西病棟西側道路陥没復旧工事	立会調査	6.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・17,20	1213	（本荘北）本荘北地区駐車場既設配管工事	立会調査	468㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・16,17,20 9・5	1214	（本荘北）立体駐車場新営その他工事	立会調査	224.3㎡		磁器・土師器	年報19
12・8・21	1215	（城東）教育学部附属幼稚園屋外埋設ガス配管改修工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・28	1216	（京町）附属小学校体育館系統排水管改修工事	立会調査	395.㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・30	1217	（医病）駐車場整備員控室改修機械設備工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・3,4	1218	（黒髪北）防災管理システム取設工事	立会調査	100.3㎡		ピット・土器・陶磁器	年報19
12・9・12,13	1219	（大江）屋外給水管修理	立会調査	39.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・14	1220	（黒髪北）プール機械室冠水対策工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・19	1221	（京町）ブロック塀改修工事	立会調査	171㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・20,21	1222	（医病）外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	40㎡		遺構？	年報19
12・9・26～28 10・1～	1223	（本荘中）国際先端医学研究拠点施設新営工事	立会調査／発掘調査	1059㎡	古代・近世	溝・竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑・ピット・石製品・土師器・須恵器・陶磁器・土製品・鉄製品・獣骨	本報告X
12・10・15,23,24	1224	（黒髪南）理学部温室Aとりこわし工事・	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・9	1225	（医病）西病棟西側地盤改良工事	立会調査	31.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・13	1226	（本荘北）外来診療棟新営電気設備工事	立会調査／発掘調査	2.2㎡		遺構？	年報19
12・11・19,20,21	1227	（本荘北）立体駐車場新営その他工事（追加）	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・26,27 12・20	1228	（黒髪南）理学部圃場倉庫新営工事	立会調査	27.6㎡	古　代	溝又は住居址？	年報19
12・12・10	1229	（黒髪北）教育学部本館植栽植替工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・12・18,19	1230	（黒髪北）教育学部北側擁壁改修工事	立会調査	5.2㎡	古　代	ピット・土師器・須恵器	年報19
13・1・28,29	1231	（大江）薬学部A棟南側池系統屋外給水管改修工事	立会調査	36.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・1・30	1232	（大江）大江地区RI施設屋外給水弁取替工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・7,8 12,13	1233	（本荘中）医学部旧ボイラー室煙突撤去工事	立会調査／発掘調査	9.3㎡	古　代	ピット・土師器	本報告XII

13・2・21,22	1234	（本荘北）医学部駐輪場取設工事	立会調査／発掘調査	24.1㎡	古代・近世以降	土坑・土師器・須恵器・磁器	年報19
13・2・21	1235	（医病）構内ガス管緊急補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1236	（黒髪北）教育学部喫煙所設置工事	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1237	（黒髪南）理学部３号館南側実験廃棄物置場工事	立会調査	9.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・28	1238	（黒髪南）電気自動車車庫新営工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・5	1239	（医病）構内ガス管緊急補修工事	立会調査	8.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・6	1240	（黒髪南）工学部駐輪場工事	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・7	1241	（京町）教育学部附属小学校校舎 AB 棟空気調和設備取設工事	立会調査	27.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・11,14	1242	（本荘中）動物資源研究開発研究施設本館重油地下タンク撤去に伴う立会調査	立会調査	29.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・21,25	1243	（本荘南）保健学科Ｅ棟東側地中埋設物撤去工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・26	1244	（本荘北）看護師宿舎１階院内保育園改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
2013年度							
13・5・21～7・27	1301	（黒髪北）附属図書館中央館樹木伐採工事	立会調査	298.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・21～7・10	1302	（黒髪北）附属図書館中央館改修機械設備工事	立会調査／発掘調査	395.00㎡	古　代	住居・柱穴，土師器・須恵器	年報20
13・5・21～6・12	1303	（黒髪北）附属図書館中央館改修電気設備工事	立会調査	97.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・25,31	1304	（黒髪北）五高記念館前漏水補修工事	立会調査	0.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・17,21,25	1305	（黒髪南）国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障樹木移植等工事	立会調査	127.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・18～7・12	1306	（黒髪北）附属図書館中央館外構工事	立会調査／発掘調査	1,368.00㎡	古　代	溝	年報20
13・7・19	1307	（黒髪南）事務局本館西側側溝補修工事	立会調査	4.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・7・19	1308	（大江北）薬学部倉庫１とりこわし工事	立会調査	47.03㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・8・8～10・4	1309	（黒髪南）国際革新技術研究拠点施設新営その他工事	立会調査／発掘調査	632.00㎡	近現代	畑址・土坑墓・蔵骨器・陶磁器・ガラス製品・面子・鉄製品	本報告Ⅻ
13・8・5～15・3・20	**1310**	**（黒髪南）ライフライン再生（給水設備等）工事**	**立会調査／発掘調査**	**5,251.70㎡**	**縄文・古代中世・近世・近代**	**竪穴建物・柱穴・溝・土坑，配石墓・縄文人骨，陶磁器・土師器・須恵器・鉄製品・石製品・縄文土器・石器・土製品**	**本報告14本書**
13・9・24～10・4	1311	（黒髪南）国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障配管替工事	立会調査	101.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・10・11	1312	（黒髪北）知命堂給水管漏水補修工事	立会調査	0.815㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・13	1313	（黒髪北）テニスコート改修工事	立会調査	6.48㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・2	1314	（黒髪北）知命堂改修工事	立会調査	41.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・12～14・3・14	1315	（黒髪北・黒髪南）都市計画事業　中部及び東部処理区雨水吐貯留管（Ｃ－３，Ｅ－４）築造工事	立会調査	5.60㎡	近世・近代	陶磁器	年報20
13・10・28	1316	（医病）中央診療棟東側汚水桝蓋取設工事	立会調査	0.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・1～12・18	1317	（本荘中）基幹整備（自家発電設備）工事（地下タンク）	立会調査／発掘調査	100.10㎡	古　代	住居・溝・柱穴，土師器・須恵器	年報20
13・11・1～12・18	1318	（本荘中）基幹整備（自家発電設備）工事（発電機設備）	立会調査／発掘調査	236.40㎡	古　代	住居・溝・柱穴，土師器・須恵器	年報20
13・11・1～12・18	1319	（本荘中）基幹整備（自家発電設備）工事（埋設配管）	立会調査／発掘調査	155.90㎡	古　代	住居・溝・柱穴，土師器・須恵器	年報20
13・11・20	1320	（医病）環境整備（東側駐車場等）工事（舗装・構造物関係）	立会調査	3,309.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・15～14・12・9	1321	（医病）環境整備（東側駐車場等）工事（人孔・雨水関係）	立会調査／発掘調査	989.50㎡	古　代	住居・溝・柱穴・土坑	年報20
13・11・15～14・12・2	1322	（医病）環境整備（東側駐車場等）工事（樹木関係）	立会調査	73.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・23	1323	（医病）作業室改修機械設備工事	立会調査	3.75㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・19	1324	（医病）設備管理棟ボイラー設備等工事（配管工事）	立会調査	17.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・20～11・13	1325	（医病）基幹整備（電気設備）工事	立会調査／発掘調査	468.10㎡	古　代	柱穴，土師器	年報20
13・11・21,22	1326	（医病）旧電話交換室改修機械設備工事	立会調査	13.78㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・21,22	1327	（医病）旧電話交換室改修工事	立会調査	36.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・25,26	1328	（医病）看護師宿舎屋外ガス配管改修工事	立会調査	30.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・29	1329	（本荘北）駐車場ゲートインターホン移設工事	立会調査	22.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・28～14・2・7	1330	（城東町）教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事	立会調査	208.49㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9～14・1・14	1331	（本荘中）国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	83.51㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9,14・2・25	1332	（本荘中）国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	75.26㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・1・17～2・12	1333	（医病）設備管理棟ボイラー設置等工事（重油地下タンク更新・汚染土壌除去）	立会調査／発掘調査	101.56㎡	古　代	柱穴，土師器・須恵器	年報20
14・1・21	1334	（黒髪北・黒髪南）交通安全施設更新工事	立会調査	1.28㎡	近現代	陶磁器	年報20
14・1・31	1335	（大江北）ＰＨＳ更改工事	立会調査	0.64㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・5	1336	（城東）教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事（機械設備工事）	立会調査	529.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・10	1337	（医病）外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	10.62㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17	1338	（黒髪北）全学教育棟（Ｃ棟）スロープ取設工事	立会調査	57.68㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17～26	1339	（黒髪北・南）屋外サイン設置工事	立会調査	196.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1340	（黒髪北）黒髪北倉庫Ａ（旧外国人宿舎）改修工事	立会調査	39.30㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・21	1341	（京町）教育学部附属中学校門扉改修工事	立会調査	20.00㎡		遺構・遺物なし	年報20

14・2・25 3・13～17	1342	（京町）教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	48.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・12～25	1343	（京町）教育学部附属小学校体育館改修その他工事（機械設備工事）	立会調査	588.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・24～3・13	1344	（京町）教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	702.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・23～3・12	1345	（本荘中他）基盤整備（給水設備等）工事（本荘中地区分）	立会調査	909.00㎡	近　世	陶磁器・古銭	年報20
14・3・6～3・17	1346	（黒髪南）総合研究棟（工学系）改修工事	立会調査	29.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1347	（黒髪南）総合研究棟（工学系）改修工事	立会調査	132.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27	1348	（黒髪南）総合研究棟（工学系）改修電気設備工事	立会調査	48.76㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27～3・17	1349	（黒髪南）総合研究棟（工学系）改修機械設備工事	立会調査	365.00㎡	近世・近代	陶磁器・瓦・泥面子	年報20
14・2・28	1350	（京町）支障樹木撤去	立会調査	57.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・10	1351	（京町）備蓄倉庫新設	立会調査	141.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1352	（城東町）教育学部附属幼稚園ブロック塀改修工事	立会調査	272.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1354	（黒髪北）黒髪北倉庫Ａ改修機械設備工事	立会調査	0.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1355	（黒髪北）備蓄倉庫新設	立会調査	52.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1356	（大江北）薬学部北門入口胸像設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1357	（大江北）備蓄倉庫新設	立会調査	24.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1358	（大江北）支障樹木撤去	立会調査	18.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・22	1359	（黒髪北）仮設駐車場取設工事	立会調査	427.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・19	1360	（黒髪北）重要文化財五高記念館耐震診断業務	立会調査	20.40㎡	近　代	陶磁器，瓦	年報20
14・3・19,20	1361	（黒髪南）重要文化財工学部研究資料館耐震診断業務	立会調査	4.00㎡	近　代	陶磁器	年報20
14・3・27	1362	（京町）教育学部附属中学校卒業記念時計台設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・28	1363	（黒髪南他）都市ガスメーター取替工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
2014年度							
14・4・3	1401	（黒髪北）附属図書館中央館雨水排水ポンプ増設工事	立会調査	4.41㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・11	1402	（大江北）体育館改修その他工事	立会調査	60.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・14～16	1403	（大江北）体育館改修その他工事（機械設備工事）	立会調査	414.00㎡	古　代	土師器	年報21
14・4・14	1404	（大江北）体育館改修電気設備工事	立会調査	44.29㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・17	1405	（京町）教育学部附属中学校卒業記念樹再植樹	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・4・18,5・19	1406	（本荘中）国際先端医学研究拠点新営その他工事（外構工事）	立会調査	1,672.70㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・5・30	1407	（京町）教育学部附属小学校給食センターとりこわしに伴う支障配管撤去工事	立会調査	3.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・9	1408	（黒髪南）本部（旧事務局本館）基礎調査	立会調査	21.00㎡	近　代	赤煉瓦基礎	年報21
14・6・24	1409	附属幼稚園プール遮光ネット取付	立会調査	1.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・20	1410	（黒髪北）附属図書館中央館看板補修工事	立会調査	0.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・19,26	1411	（京町）教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事（機械設備）	立会調査	16.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・6・19,26	1412	（京町）教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事	立会調査	396.70㎡		土師器	年報21
14・7・8,14	1413	（医病）中央診療棟東側環境整備工事	立会調査	225.40㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・7・8,14	1414	（医病）中央診療棟東側環境整備（機械設備）工事	立会調査	21.60㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・7・25	1415	（黒髪北）体育館改修電気設備工事（仮設電源）	立会調査	2.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・9・4～ 15・4・15	1416	（黒髪北）武道場等改修機械設備工事	立会調査	1,087.30㎡	古代・近世	ピット、須恵器・土師器・陶磁器・鉄器	年報21
14・9・11～ 15・6・10	1417	（京町）教育学部附属小学校校舎新営その他工事（建築工事）	立会調査／発掘調査	747.90㎡	弥生・古代・近世・近代	住居・溝・ピット・建物基礎，弥生土器・土師器・陶磁器	本報告XII
14・9・16～11・20	1418	（黒髪南）国際革新技術研究拠点施設新営機械設備工事	立会調査	532.00㎡	近現代	土坑墓・墓石，骨壺，陶磁器	年報21
14・10・10,14	1419	（黒髪南）国際革新技術研究拠点施設新営電気設備工事	立会調査	49.388㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1420	（本荘南）体育館改修機械設備工事	立会調査	26.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14,15	1421	（本荘南）体育館改修工事	立会調査	320.02㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1422	（本荘南）体育館改修電気設備工事	立会調査	6.48㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・10・16～ 15・9・2	1423	66ｋＶ銀座橋熊大医学部線鉛被 OF ケーブル改修工事	立会調査／発掘調査	148.26㎡	古　代	溝、土師器・須恵器	年報21
14・10・29～11・26	1424	（医病）枯木徐根伐採業務	立会調査	21.16㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・11・21～ 15・7・29	1425	（本荘北）臨床研究棟新営その他工事（地下躯体撤去・擁壁設置）	立会調査	1,655.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ピット・建物基礎，土師器・須恵器	本報告XII
14・11・17,12・24～ 15・11・2	1426	（本荘北）臨床研究棟新営その他工事（本体工事）	立会調査／発掘調査	2,141.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ピット・建物基礎，土師器・須恵器	本報告XII
14・11・18	1427	（黒髪北）体育館改修工事	立会調査	811.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・11・19	1428	（京町他）教育学部附属教育実践総合ｾﾝﾀｰ等外部改修工事	立会調査	7.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・12～ 15・7・24	1429	（黒髪南）本部樹木等撤去その他工事	立会調査／発掘調査	282.40㎡	古代・近世・近代	住居又は溝・ピット・赤煉瓦基礎，土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・12～ 15・7・24	1430	（黒髪南）本部屋外スロープ取設工事	立会調査／発掘調査	195.77㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦基礎，土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・15・16	1431	（京町）教育学部附属小学校校舎新営その他電気設備工事	立会調査	12.50㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・18～ 15・6・24	1432	（医病）管理棟改修その他工事（撤去）	立会調査	279.70㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・19	1433	（医病）案内板設置業務	立会調査	2.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
14・12・22	1434	（黒髪南）黒髪南S1等太陽光発電システム基礎設置その他工事	立会調査	77.90㎡	近　代	土器片，建物基礎	年報21
14・12・22 15・1・16	1435	（黒髪南）黒髪南Ｓ1等太陽光発電システム基礎設置その他工事（電気設備）	立会調査	46.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15・1・7～6・2	1436	（黒髪南）本部エレベーター棟増築工事	立会調査／発掘調査	60.30㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦基礎，土師器・須恵器・陶磁器	年報21

15·1·14～9.7	1437	（黒髪南）本部改修その他機械設備工事	立会調査／発掘調査	102.0㎡	古代・近世・近代	赤焼瓦基礎，土師器・須恵器・陶磁器	年報21
15·2·9	1438	（黒髪北）総合研究棟（教育学系）改修その他工事	立会調査	159.10㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·2·9～27	1439	（黒髪北）総合研究棟（教育学系）改修機械設備工事	立会調査	73.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·2·10.3·4	1440	（黒髪北）体育館改修電気設備工事	立会調査	85.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·2·12	1441	（本荘北）臨床研究棟新営機械設備工事	立会調査	40.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·2·25～ 7·3	1442	（医病）管理棟改修その他工事	立会調査	563.40㎡		遺構・遺物なし	本報告XII
15·2·26～ 4·16	1443	（京町）教育学部附属小学校新営その他機械設備工事（その2）	立会調査	241.80㎡	弥　生	溝・ピット，弥生土器	本報告XII
15·2·27	1444	（黒髪北）法学部サークル棟新営その他工事	立会調査	64.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·3·2～3·6	1445	（黒髪北）環境整備（駐車場等）に伴う樹木等移植業務	立会調査	86.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·3·18～23	1446	（黒髪北）環境整備（駐輪場等）工事	立会調査	194.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·3·3	1447	（黒髪他）屋外サイン設置工事　（大江）	立会調査	32.60㎡		土師器	年報21
15·3·4	1448	（黒髪他）屋外サイン設置工事　（黒髪）	立会調査	57.80㎡		遺構・遺物なし	年報21
14·12·24	1449	（黒髪北）全学教育棟屋外ガス漏洩補修工事	立会調査	3.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
15·3·16	1450	（渡鹿2）渡鹿宿舎駐車場増設工事	立会調査	213.60㎡		遺構・遺物なし	年報21
14·5·2	1451	（本荘南）ポンプ室設置及び給水設備取替工事	立会調査	180.00㎡		遺構・遺物なし	年報21
2015年度							
15・5・11.	1501	（黒髪北）五高記念館前庭植栽除根業務	立会調査	30.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・18.19 16・11・4	1502	（本荘北）臨床研究棟新営電気設備工事	立会調査	77.87㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・20.21	1503	（本荘北）臨床研究棟新営機械設備工事（その２）	立会調査	19.00㎡	古　代	土師器・瓦	年報22
15・5・18～ 7・28	1504	（本荘北）臨床研究棟新営機械設備工事（その３）	立会調査	485.00㎡	古代・近代	住居・溝・土坑・ピット・建物基礎，土師器・須恵器	本報告XII
15・6・12～ 7・29	1505	（医病）管理棟改修機械設備工事	立会調査	349.00㎡	古代・近世	土師器・陶磁器	年報22
15・6・29	1506	（黒髪南）黒髪南Ｃ７　６階実験室電源その他工事	立会調査	40.80㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・7・30	1507	（黒髪北）北地区学生会館Ａ棟前舗装補修工事	立会調査	150.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・7.12・18	1508	（黒髪北）校舎（旧北地区食堂）改修工事	立会調査	36.70㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・20	1509	（大江北）Ａ棟北側屋外給水管修理工事	立会調査	28.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・11	1510	（黒髪南他）台風15号に伴う樹木復旧作業（黒髪）	立会調査	42.30㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・14	1511	人文社会科学喫煙所設置工事	立会調査	12.06㎡	古　代	土師器・須恵器	年報22
15・9・15	1512	（黒髪南他）台風15号に伴う樹木復旧作業（大江）	立会調査	14.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・28	1513	（本荘北）臨床研究棟新営仮設電柱建柱工事	立会調査	9.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・10・26～ 29～3・1	1514	（黒髪北）校舎（旧北地区食堂）改修機械設備工事	立会調査	78.90㎡	古　代	住居・溝・ピット，土師器・須恵器	本報告XII
15・11・26	1515	（黒髪北）北地区学生会館中庭インターロッキングブロック復旧工事	立会調査	19.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・26	1516	（黒髪北）黒髪北Ｅ１（全学教育棟）西側インターロッキングブロック復旧工事	立会調査	27.30㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・30	1517	（宇留毛）寄宿舎共通棟男子浴室等改修機械設備工事	立会調査	9.2㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・12・8	1518	（本荘北）屋外サイン設置工事	立会調査	32.5㎡	古　代	土師器・須恵器	年報22
15・12・7.9.16	1519	（本荘中他）屋外サイン設置工事	立会調査	54.4㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・4.6.12	1520	（黒髪北他）電力デマンド等計測システム（電気・ガス・水道）取設工事（黒髪）	立会調査	172.50㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・14	1521	（黒髪北）武夫原廻り（五高記念館側）フェンス復旧工事	立会調査	5.88㎡	近　代	遺構・遺物なし	年報22
16・1・18.19	1522	（黒髪北他）電力デマンド等計測システム（電気水・ガス）取設工事（大江）	立会調査	40.3㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・3・11	1523	（黒髪南）黒髪南Ｗ７排水設備改修工事	立会調査	10.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・5～2・29	1524	（黒髪北）校舎（旧北地区食堂）改修工事（外構工事）	立会調査	412.30㎡	古　代	住居・溝・ピット，土師器・須恵器	本報告XII
16・1・25.2・1.2	1525	（黒髪北他）電力デマンド等計測システム（電気・水・ガス）取設工事（本荘中他）	立会調査	93.50㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・28	1526	（京町）教育学部附属教育実践総合センター東側プレハブ倉庫復旧工事	立会調査	11.91㎡	弥　生	弥生土器	年報22
16・2・4	1527	（黒髪北他）電力デマンド等計測システム（電気・水・ガス）取設工事（本荘北）	立会調査	12.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12～22	1528	（黒髪北）総合研究棟（黒髪北Ｎ９）改修工事	立会調査	311.00㎡	近　代	赤焼瓦基礎	本報告XII
16・2・12	1529	（黒髪北）総合研究棟（黒髪北Ｎ９）改修電気設備工事	立会調査	35.20㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12.19	1530	（黒髪北）総合研究棟（黒髪北Ｎ９）改修機械設備工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・3	1531	（大江北）蕃滋館東側埋設ガス管漏洩修理工事	立会調査	2.00㎡		不明遺構	年報22
16・3・7.8	1532	（本荘南）駐車場拡張工事	立会調査	80.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
2016年度							
16・8・8	1601	（黒髪南）E9取り壊しに伴う支障配管撤去工事	立会調査	1.53㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・9・12	1602	（宇留毛）国際交流会館Ａ・Ｂ棟北型中庭陥没補修工事	立会調査	44.73㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・11・4	1502	（本荘北）臨床研究棟新営電気設備工事	立会調査	12.54㎡		土師器	年報23
16・11・9	1603	（黒髪）台風15号に伴う斜木の木起こし業務	立会調査	42.16㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・11・10.	1604	（黒髪北）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	86.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・16～17							
16・11・11	1605	（黒髪南）黒髪南C2改築に伴う仮設駐車場整備工事	立会調査	123.22㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・1	1606	（黒髪南）黒髪南C2改築に伴う仮設校舎取設工事（電気その１）	立会調査	11.87㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・5	1607	（黒髪南）黒髪南C2改築に伴う仮設駐車場整備工事（その１）	立会調査	0.48㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・5	1608	（黒髪南）黒髪南C2改築に伴う仮設駐車場整備工事（その2）	立会調査	2,465.00㎡		遺構・遺物なし	年報23

16・12・6	1609	（黒髪南）黒髪南C2仮設校舎取設工事（機械その１）	立会調査	335.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
16・12・16、27、17・2・1	1610	（京町）教育学部附属小学校仮設校舎取設工事	立会調査	416.10㎡		弥生土器	年報23
16・12・20～28	1611	（黒髪南）黒髪南C2改築に伴う仮設駐車場整備工事（その４）	立会調査	11.35㎡	古代・近代	住居？・土師器・須恵器・石器・磁器	年報23
17・1・16	1612	（黒髪北）屋外市水管逆止弁取付工事	立会調査	5.37㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・18	1613	（黒髪南）黒髪南C2仮設校舎取設工事（機械その２）	立会調査	623.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・18	1614	（黒髪南）黒髪南C2改築に伴う仮設校舎取設工事（電気その２）	立会調査	45.80㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・18	1615	（大江）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	96.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・19	1616	（新南部）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	32.50㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・23	1617	（宇留毛）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	106.50㎡		弥生土器	年報23
17・1・23	1618	（本荘北）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	19.50㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・23	1619	（本荘中・南）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	8.50㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・26	1620	（京町）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	10.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・30	1621	（黒髪南）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	41.75㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・1・30	1622	（渡鹿）台風15号に伴う被害樹木除根業務	立会調査	15.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
13・2・1	1623	（京町）教育学部附属小学校仮設校舎取設に伴う支障配管替え工事	立会調査	62.3㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・6	1624	（医病基幹・環境整備（旧管理棟等支障配管替）工事	立会調査	220.50㎡	近世？	土師器・須恵器・陶器	年報23
17・2・7～8	1625	（黒髪南）理学部圃場樹木切り株撤去工事	立会調査	56.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・10	1626	（医病）枯木樹木伐根業務	立会調査	7.10㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・14・22～24	1627	（宇留毛）環境整備（擁壁）災害復旧工事	立会調査	157.15㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・15	1628	（本荘南）本荘南１等給水管設備改修工事	立会調査	1,015.80㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・2・28	1629	（大江南）薬草園給水管修理工事	立会調査	1.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・1、17	1630	（渡鹿）渡鹿住宅2号棟屋外ガス管補修工事	立会調査	20.1㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・2	1631	（医病）木工室他給水管盛替工事	立会調査	7.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・6、9	1632	（黒髪北）給水ポンプ室東側フェンス設置工事	立会調査	3.04㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・13	1633	（本荘中）本荘中５災害復旧工事	立会調査	271.00㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・14	1634	（黒髪南）コンプレッサー保管庫設置	立会調査	12.28㎡		遺構・遺物なし	年報23
17・3・22	1635	（大江北）薬用植物園北側樹木移植業務	立会調査	15.25㎡		遺構・遺物なし	年報23
2017年度							
17・4・5	1701	（黒髪南）工学部研究資料館内部基礎調査	立会調査	15.40㎡	古代・近代	建物基礎・土師器・須恵器・陶磁器	年報24
17・4・17～28	1702	（京町）教育学部附属小学校管理棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	493.90㎡	弥生・古代・近世	住居・柱穴	年報24
17・5・22	1703	（医病）特別高圧受電棟給水漏水復旧工事	立会調査	0.84㎡	なし	なし	年報24
17・5・23	1704	（本荘中）本荘中４他災害復旧工事（ブロック塀復旧）	立会調査	44.10㎡	古代	土師器	年報24
17・5・30	1705	（大江北）薬学部根株除根業務	立会調査	40.75㎡	なし	なし	年報24
17・6・1～11・13	1706	（本荘中）ライフライン再生工事	立会調査	995.10㎡	古代・近世近代	水路・溝・柱穴・土坑・建物基礎	年報24
17・7・3～8・28	1707	（京町）教育学部附属小学校管理棟とりこわし工事	発掘調査	582.01㎡	縄文・弥生古代・近世	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・青銅製品・住居・溝・柱穴	年報24
17・7・3～18・7・19	1708	（病）基幹・環境整備（旧管理棟棟取壊し）工事	発掘調査	4691.71㎡	古代・近世近代	土師器・須恵器・陶磁器・住居・溝・道路・柱穴	本報告15
17・7・20	1709	（本荘中）ガス整圧器電源設置に伴う電源引込のための建柱工事	立会調査	33.15㎡	なし	なし	年報24
17・8・28	1710	（城東町）教育学部附属幼稚園管理棟遊戯室災害復旧工事	立会調査	1.76㎡	なし	なし	年報24
17・8・28	1711	（黒髪南）屋外掲示板設置工事	立会調査	6.20㎡	なし	なし	年報24
17・9・1	1739	（京町）教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	0.48㎡	古代	なし	年報24
17・9・20	1712	（大江北）イノベーションセンター新営に伴う支障樹木伐採除根業務	立会調査	27.80㎡	なし	なし	年報24
17・9・20～18・5・14	1713	（黒髪）龍神橋架け替えに伴う擁壁改修その他	立会調査	1164.00㎡	古代・中近世・近代世	住居・柱穴・溝道路・石垣	年報24
17・9・28	1714	（本荘北）西病棟他災害復旧工事（ブロック塀復旧）	立会調査	56.50㎡	なし	なし	年報24
17・10・11～13	1715	（大江北）イノベーションセンター新営に伴う支障配管替え工事	立会調査	215.60㎡	なし	なし	年報24
17・10・12～12・25	1716	（黒髪南）黒髪南C2取り壊し工事	立会調査	3220.70㎡	なし	なし	年報24
17・10・16～18	1723	（黒髪南）黒髪南C2取り壊し工事に伴う支障排水管替工事	立会調査	4.00㎡	なし	柱穴・土師器・須恵器	年報24
17・10・18～25	1717	（黒髪北）黒髪北N1他災害復旧工事	立会調査	131.63㎡	近代	石垣・煉瓦・瓦	年報24
17・10・19～20	1718	（黒髪南）工学部百周年記念館前バナーポール取設工事	立会調査	8.33㎡	なし	なし	年報24
17・11・7～8	1719	（京町）工作物災害復旧工事	立会調査	9.65㎡	古代	土師器・須恵器	年報24
17・11・7	1720	（黒髪南）黒髪南C1北側植樹工事	立会調査	0.64㎡	なし	なし	年報24
17・11・7～15	1721	（黒髪北）五高記念館南側樹木移植等工事	立会調査	65.06㎡	古代	土師器・須恵器	年報24
17・11・24	1722	（本荘中）ライフライン再生（駐輪場取設）工事	立会調査	61.20㎡	近代	建物基礎	年報24
17・12・25～18・4・13	1724	（黒髪南）黒髪南C2新営その他工事	発掘調査	405.70㎡	古代・近代	住居・柱穴・溝・近代建物基礎・土師器・須恵器・鉄製品・陶磁器・貨幣	年報24
18・1・10～11、13、30	1738	（黒髪北）サークル広場屋外給水管取替工事	立会調査	10.21㎡	古代	なし	年報24
18・1・10～2・16	1725	（京町）教育学部附属中学校体育館改修その他工事	立会調査	260.17㎡	弥生・古代近世	住居・柱穴・土坑	年報24

18・1・22～23	1726・1727	（黒髪北）赤門耐震補強工事	立会調査	15.10㎡	近代	敷石（玉砂利）・赤門基礎	年報24
18・1・31	1740	（黒髪北）五高記念館廻り屋外給水管修理	立会調査	1.05㎡	近代	なし	年報24
18・2・19～3・9	1728	（大江北）イノベーションセンター新営に伴う支障配線替工事	立会調査	151.42㎡	古代・近世 近代	建物基礎・土師器・須恵器・陶磁器	年報24
18・2・21～23	1729	（渡鹿）教育学部倉庫新営電気設備工事	立会調査	49.50㎡	古代	土師器	年報24
18・2・21～22	1730	（渡鹿）教育学部倉庫新営その他工事（建築・機械設備）	立会調査	562.50㎡	古代	土師器	年報24
18・3・6	1731	（渡鹿２）渡鹿住宅２号棟屋外ガス管改修工事	立会調査	1.55㎡	なし	なし	年報24
18・3・7～22	1732	（新南部）加工舎取り壊し工事	立会調査	186.30㎡	古代・近世	溝？・土師器・須恵器・陶磁器	年報24
18・3・12	1733	（本荘中）本荘中２他工作物災害復旧工事	立会調査	56.30㎡	なし	なし	年報24
18・3・13	1734	（黒髪）龍神橋架け替えに伴う擁壁改修その他工事（ガス設備工事）	立会調査	57.30㎡	古代・近世	溝・土師器・陶磁器	年報24
18・3・23	1735	（黒髪）擁壁移設工事	立会調査	141.00㎡	近世・近代	道路	年報24
18・3・26	1736	（大江北・大江南）樹木移植	立会調査	28.25㎡	近代	煉瓦	年報24
18・3・26～4・3	1737	（新屋敷１）新屋敷１号宿舎取り壊し工事	立会調査	220.20㎡	古代・近世 近代	建物基礎・土師器・須恵器・陶磁器	年報24
2018年度							
17・4・17～28	1702	（京町）教育学部附属小学校管理棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	493.90㎡	弥生・古代 近世	竪穴建物・柱穴	年報24
18・4・2～7,13～継続中	1708	（医病）基幹・環境整備（旧管理棟等取り壊し）工事	発掘調査／立会調査	7681.2㎡	古代・近世 近代	道路・竪穴建物溝・ピット・土師器・須恵器・陶磁器・火打石・古銭・鉄器	年報25
18・4・5～19・3・15	1801	（渡鹿）北側道路後退に伴う擁壁改修工事	立会調査	39.51㎡	縄文・近世 近世	集石・道路・練兵場基礎・縄文土器・陶磁器・煉瓦	年報25
18・5・10,22	1802	（京町）教育学部附属小学校管理棟新営機械設備工事	立会調査	76.70㎡			年報25
18・5・29	1803	（大江北・大江南）樹木移植	立会調査	3.3㎡	古代・近世 近代	土師器	年報25
18・6・5,7・8,11～13	1804	（黒髪北他）五高記念館他災害復旧工事樹木移植	立会調査	34.96㎡	古代・近世 近代	土師器・須恵器・陶磁器・瓦・煉瓦	年報25
18・6・7～19・2・26	1805	（黒髪南）黒髪南C2新営機械設備工事	立会調査／発掘調査	38.17㎡	古代・近世 近代	竪穴建物・ピット溝・土師器・須恵器	年報25
18・6・7,8,12	1806	（大江北）自然共生型産業イノベーションセンター新営その他工事	立会調査	1115.69㎡	近代	建物基礎・煉瓦	年報25
18・6・27	1812	（医病）管理棟前ガス管復旧工事	立会調査	2.20㎡			
18・7・9,10	1807	（京町）教育学部附属小学校プール災害復旧工事	立会調査	1360.00㎡	近代	煉瓦構造物・陶磁器・鉄製品・煉瓦	年報25
18・7・13,23,25,26	1808	（京町）教育学部附属小学校仮設校舎取設工事（取り壊し）	立会調査	469.00㎡			年報25
18・7・23～11・20	1809	（京町）ライフライン災害復旧（給水設備等取替）工事	立会調査	187.33㎡	弥生・古代 近世・近代	竪穴建物・土坑・石枠・ピット・不明遺構・弥生土器・土師器・陶磁器・煉瓦・ガラス製品・瓦	年報25
18・7・23～11・30	1810	（京町）ライフライン災害復旧（給水設備等敷設）Ⅰ期工事	立会調査	150.99㎡	弥生・古代 近世・近代	竪穴建物・土坑・埋設土器・栗石・石桝・溝・ピット・弥生土器・鉄器・土師器・須恵器・陶磁器・瓦・銅製品・ガラス製品	年報25
18・7・23,8・6～9,11,13	1811	（京町）ライフライン災害復旧（給水設備等敷設）Ⅱ期工事	立会調査	676.11㎡	弥生・古代 近世・近代	竪穴建物・溝・ピット・弥生土器・土師器・陶磁器・ガラス製品・瓦	年報25
18・8・17,11・27	1813	（大江北）イノベーションセンター新営機械設備工事	立会調査	359.00㎡	近代	建物基礎	年報25
18・8・27～30	1814	（黒髪南）C2樹木移植	立会調査	124.10㎡	古代	土師器・須恵器	年報25
18・9・27～10・25,11・15～19,3・4	1815	（黒髪南）黒髪南C2新営その他工事	発掘調査	104.10㎡	古代・近代	土師器・須恵器・煉瓦	年報25
18・11・5	1816	66kV 銀座橋熊大医学部線造架工事	立会調査	12.00㎡			年報25
18・11・6,19・5・10・13・14・	1817	（渡鹿2）屋外ガス管更新工事	立会調査	177.55㎡			年報25
18・11・12・13,19・1・29	1818	（黒髪南）黒髪南C2新営電気設備工事	立会調査	75.40㎡			年報25
18・11・27	1819	（黒髪南）研究実験棟接地工事	立会調査	15.68㎡			年報25
18・12・7	1820	（医病）倉庫設置工事	立会調査	36.51㎡			年報25
18・12・10・11	1821	（医病）管理棟南側屋外ガス管改修工事	立会調査	20.15㎡			年報25
18・12・12・14,19・25,19・1・16・23～25・28,2・4	1822	（新南部）薬学部管理棟新営その他工事	立会調査	82.97㎡	古代・近世	溝・ピット・土師器・陶磁器・煉瓦	年報25
19・1・15，2・18	1823	（黒髪北他）五高記念館他災害復旧工事	立会調査	62.26㎡			年報25
19・1・28	1824	（新南部）薬学部管理棟新営電気設備工事	立会調査	2.93㎡	古代	土師器	年報25
19・2・1	1825	（大江南）工作物災害復旧工事	立会調査	10.02㎡			年報25
19・2・6	1826	（大江北）自然共生型産業イノベーションセンター　新営電気設備工事	立会調査	5.47㎡	近代	ガラス製品	年報25
19・2・8	1827	（黒髪北）武夫原グランド復旧工事	立会調査	2491.38㎡			年報25
19・2・19	1829	（黒髪北）五高記念館周辺樹木除根業務	立会調査	58.50㎡	近代	煉瓦	年報25
19・2・20，21	1828	（新南部）薬学部管理棟新営機械設備工事	立会調査	31.99㎡	古代・近世	溝・土師器・陶磁器	年報25
19・2・27	1832	（黒髪南）黒髪南C3等屋外排水設備改修電気工事	立会調査	12.43㎡			年報25
19・3・5	1833	（本荘北）旧臨床研究棟取り壊しに伴う支障配管撤去工事1	立会調査	4.85㎡			年報25
19・3・14	1830	（黒髪南）黒髪南C3屋外排水設備改修工事	立会調査	0.74㎡			年報25
19・3・14	1831	（黒髪北）環境安全センター屋外排水管補修工事	立会調査	0.09㎡			年報25
19・3・20	1834	（黒髪南）本部南側排水桝等撤去工事	立会調査	4.60㎡			年報25

Ⅱ　（黒髪南）ライフライン再生（給水設備等）工事に伴う発掘調査（1310調査地点）

1．調査の目的と経過

（1）調査の目的とこれまでの調査成果

本調査は熊本大学（黒髪南）ライフライン再生（給水設備等）工事に伴う発掘調査である。その工事内容は、給排水・ガス管の埋設、排水設備としてのU字側溝や浸透井戸、検水槽の設置、換気口やごみ置き場設置、アスファルトやインターロッキング舗装など様々である。調査地点のある黒髪地区は、熊本市街地の北東に位置する立田山と阿蘇に水源を持つ白川にはさまれ、この白川により運ばれた土砂が扇状地形に堆積した砂礫層を基盤としており、河川の両岸に堆積した「自然堤防」上に立地する（図１）。本調査地点は黒髪南地区の東側で、自然堤防が白川に張り出した部分にあたり、調査範囲の多くは理学部校舎間の道路部分または緑地帯に相当する（図２）。

黒髪地区は黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財包蔵地図№８－88）に含まれ、縄文時代早期～晩期の土器・石器、弥生時代中期の甕棺墓、古代の集落などが発見されている。また、本敷地は明治39年（1906）に第五高等学校の工学部が独立して新設された熊本高等工業学校の敷地を含んでおり、近年では本部周辺の改修工事の事前調査である黒髪南地区1429他調査地点において明治期の赤煉瓦基礎が発見されたほか、黒髪南地区1309調査地点において熊本監獄・刑務所の囚人墓地が確認されるなど、近代の遺跡についても注目を浴びてきている（山野編2016、山野・柴田編2018）。

従前の調査では、本調査地点の北側にあたる9810調査地点（現自然科学研究科・理学部総合研究実験棟）において７世紀後半から～９世紀にかけての20基以上の竪穴建物や柱穴、古代や近世の溝が検出された（小畑編2009）。竪穴建物は少なくとも３時期にわたり形成されていたことが判明している。また、本調査地点の西側にあたる9412調査地点（現工学部研究棟）でも、古代の竪穴建物が複数基みつかっている（小畑他編2003）。このように従前の調査によって、調査地点周辺に古代の集落や、近世の溝など比較的新しい年代の遺構が存在することが明らかとなっていた。一方、白川右岸に近い9911調査地点では古代の遺構の検出面である地山（この場合、人類の痕跡が登場する以前の堆積層や基盤層）と認識されていた褐色砂層中から縄文時代後期の土器が出土した（大坪編2014）。9412調査地点や9810調査地点でも縄文時代後期前半～晩期初頭の土器や、石鏃、石斧などが古代の遺物包含層あるいは遺構中から出土している。この様相は黒髪地区の複数の調査地点で確認でき、明確な縄文時代遺物を含む文化層または遺構が確認できないながらも、褐色砂層中より少量の遺物が散発的に出土するという傾向は調査以前に把握されていた。しかし、一定の深度まで掘り下げると褐色砂層の下からは、砂が硬質化したブロック（砂質ブロック）が検出されるため、当センターや熊本県下でもこれらを人類の痕跡が見当たらない「地山」とみなしており、この土層から下位の発掘調査が実施されることはほぼなかった（以上、山野編2019より文章を参考）。

（2）発掘調査の経過と組織

平成25年（2013）６月20日付で熊本大学長から埋蔵文化財保護法第93条の届出を熊本市教育委員会に提出した。７月12日付で、従前の調査成果を鑑みて、熊本市教育委員会より熊本大学長へ埋蔵文化財専門職員の工事立会を実施するよう通知があった。これを受けて当初、当センターの大坪志子が工事立会担当者となり、2013年８月５日より本調査地点における工事立合を開始した。1310調査地点の調査範囲は現状、理学部棟周辺の道路や駐車場あるいは緑地として利用されていた。調査範囲は南北約270m、東西約180mと広域であるため、調査区をⅠ～Ⅵ区の６つの地区に大きく分けて、必要に応じて枝番号を付すこととした（図２・３、表３）。８月５日の調査開始直後、Ⅰ区の掘削で古代の竪

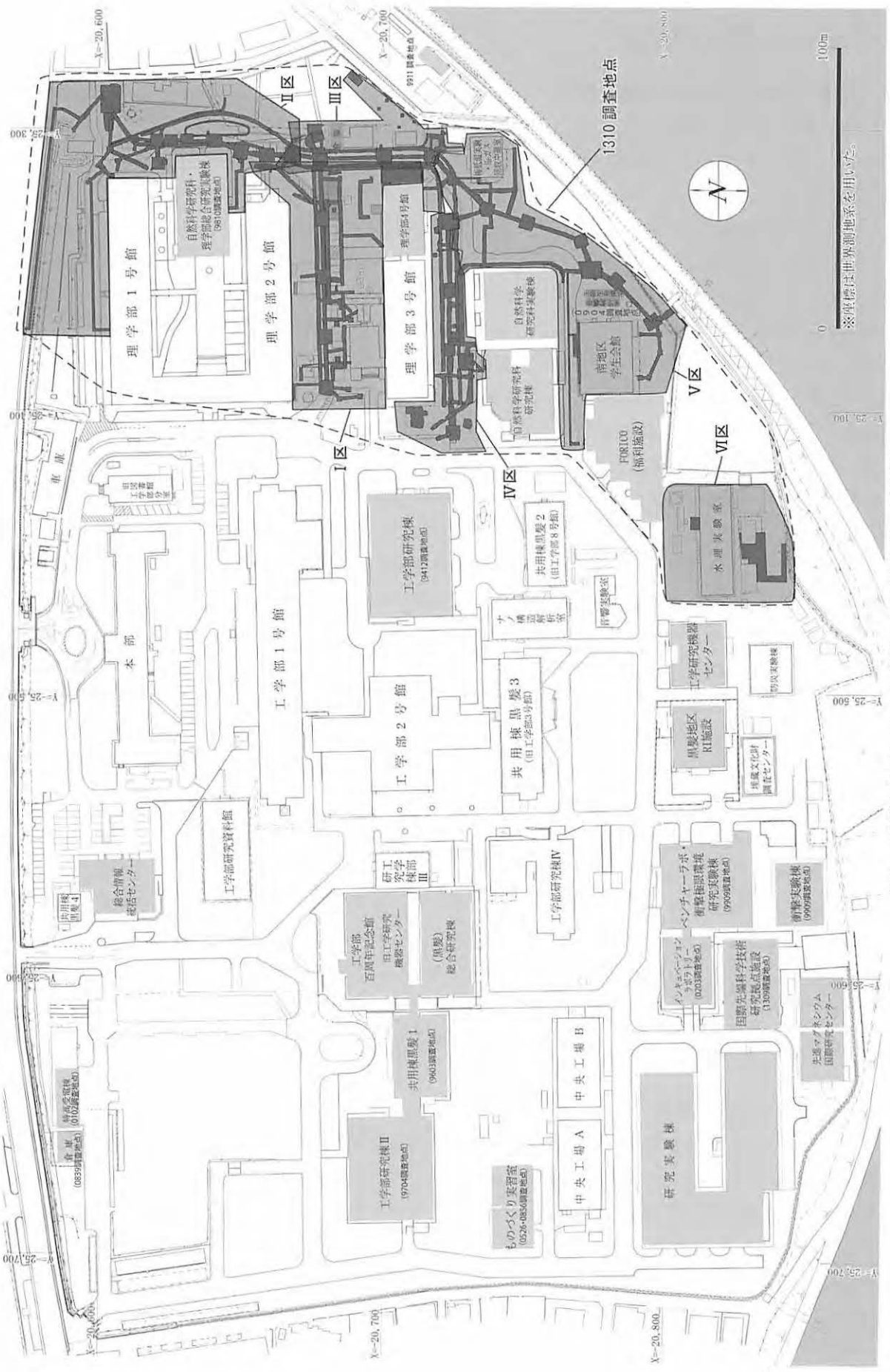


図２　黒髪南地区における調査地点位置図（S＝1/2000）

穴建物などの遺構が検出されたことから、熊本市教育委員会文化振興課に連絡した後、埋蔵文化財保護法第92条を提出、８月８日に発掘調査に切り替えた。調査範囲が広く、遺構の密度が高かったため、調査を迅速化するために８月19日から株式会社九州文化財研究所に委託し、発掘調査員を補充した。10月16日からは大坪に代わり山野ケン陽次郎が発掘調査担当者となり、新たに株式会社有明測量開発社に委託し、発掘調査員を補充した上で調査を継続した。

本調査地点では、重機による一次掘削で近現代の撹乱埋土を除去し、古代の遺物包含層（後述する基本土層４層：黒褐色土層）から調査を実施した。まれに近世・近代の重要と思われる遺構や遺物を検出した際は、これらの調査も簡易的におこなった。本発掘調査では施工工程、車両や人の動線確保、廃土置場の都合上、広い範囲を一度に調査することはできなかった。その上、熊本高等工業学校時代以降の配管や基礎などが土中に多く埋もれており、とくに支障配管の対処には苦悩した。工事の進捗状況によっては発掘調査を停止せざるを得ない事態も生じ、発掘調査、工事ともに大変な手間と時間を要した。さらに施工予定深度によっては、掘削が現代盛土内におさまる調査区もあれば、古代あるいは縄文時代の文化層まで調査する必要性が生じた。上記の理由により、調査の早い段階で、当初予定していた工期内に発掘調査を終えることが困難であることが想定された。そこで本学の施設部と連携をとり、発掘調査および工事の工程を定期的に組み直し、常時、発掘調査員の補充をおこなうことで、複数の調査区を同時に調査しながら、センター発掘担当者が全体を統括することとした。

発掘調査では従前の調査結果から、古代と近世の調査が主体になると考えられていた。実際、浅い場所では地表下20～30cm程で古代の遺物包含層を検出でき、竪穴建物やピットなど遺構の密度も高かった。しかし、Ⅲ１区において近世および古代の溝の調査中、縄文時代の土器が出土したことで状況が一変した。従来は地山と考えられていた褐色砂層中（後述する基本土層５層）に縄文土器が含まれることが明らかとなった。この褐色砂層を掘り下げたところ、出水式や御手洗Ａ式など縄文時代後期前葉を主体とする土器が大量に出土した。従前の調査では明確に把握できていなかった縄文時代後期の遺物包含層を褐色砂層中に認識できたのである。この調査成果を契機に、以後褐色砂層まで施工深度がおよぶ調査区については、本層まで人力による掘削と遺物の取り上げを実施した。こうした事情から、縄文時代の遺物包含層を認識した2014年２月18日以前に調査した施工深度の深い調査区（Ⅰ１～７区、Ⅱ１～４区、Ⅲ５区、Ⅳ２～８区、Ⅴ10区）については、古代の遺構の調査は実施できたが、縄文時代の遺物包含層を一部破壊してしまった可能性があることを明記しておく。

2014年４月にはⅤ11区において新たに重要な成果が上がった。褐色砂層のさらに下、地表下2.1m程（標高約17.00m）より縄文時代の人骨が発見されたのである。また、同レベルで遺物包含層も確認できた。褐色砂層の下位には砂が硬質化した砂質ブロックが一面に広がっており、従前の熊本市内の調査ではこの下位から文化層が確認された事例はほぼなかった。縄文人骨はこの硬質砂層で覆われ、土坑墓や配石墓に埋葬されていた。発掘調査や工事の進捗に遅れがあったものの、貝塚や洞穴遺跡ではなく、人骨が残りづらい平野部での縄文時代人骨の発見ということもあり、本遺跡は学術的に価値が高く、入念な調査が必要であると考えた。そのため2014年４月28日、調査担当者は本学施設部工事担当者との話し合い後、熊本大学学長、施設ユニット長、広報ユニット長との面談を実施した。この際、遺跡の重要性について本学学長の理解を得て、特別に学長裁量経費を頂戴し、本遺跡の調査・研究体制を整えた。工事の進捗に影響のないよう、熊本大学文学部歴史学科考古学研究室の院生・学部生を臨時で雇用し、調査に参加してもらった。また、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの松下孝幸氏とＮＰＯ法人・人類学研究機構の松下真実氏に依頼し、人骨について取り上げと調査を実施した。５月27日にはテレビ放送局、新聞社に対してプレスリリースし、５月29日に熊本大学本部で記者会見

をおこなった。５月31日には現地説明会を実施し、300名を超える見学者が大学内外から訪れた。

発掘調査はその後も継続し、2015年３月20日で全て終了した。本調査地点では縄文時代、古代、中世、近世、近代の遺構・遺物が確認されている。このうち縄文時代に関わる調査経過、調査成果については『熊本大学構内遺跡発掘調査報告書』第14集に掲載している。本書では古代、中世、近世、近代の調査成果について掲載した。以下、発掘調査経過の概要および当時の調査組織を記す。

2013年８月５日　大坪志子が発掘担当者として調査開始。Ⅰ区の重機による表土掘削の立会開始。
2013年８月８日　埋蔵文化財保護法第92条を熊本県、熊本市へ提出。発掘調査に切り替わる。
2013年８月19日　石橋和久氏・中村幸史郎氏（株式会社九州文化財研究所）が調査に参加開始。
2013年９月６日　西谷彰氏（株式会社九州文化財研究所）が調査に参加開始。
2013年９月11日　Ⅱ区の調査開始。
2013年10月16日　大坪に代わり山野ケン陽次郎が発掘担当者となる。
2013年10月23日　宮崎敬氏（株式会社有明測量開発社）が調査に参加開始。
2013年11月７日　Ⅴ区の調査開始。
2013年11月19日　Ⅳ区の調査開始。
2013年12月２日　浦辻栄治（当センター発掘調査員）が調査に参加開始。発掘作業員を増員。
2013年12月16日　Ⅴ５区においてヒューム管埋土中より「焼夷弾」が出土。
2013年12月17日　Ⅴ５区の焼夷弾の処理のため熊本県北警察署に連絡、対応。
2013年12月28日～2014年１月５日　冬期休業。
2014年１月６日　調査再開。Ⅲ区の調査開始。
2014年２月19日　Ⅲ１区の古代の溝の掘削中に、掘方壁面より縄文土器片を数点検出。
2014年２月25日　大学入試前期試験のため調査停止。
2014年４月１日　島浦建生氏（株式会社有明測量開発社）が調査に参加開始。
2014年４月16日　小畑弘己先生（熊本大学文学部）、杉井健先生（熊本大学文学部）、熊本大学文学部の学生十数名が現場見学。
2014年４月18日　山本耕三先生（熊本大学教育学部）と学生約40名が現場見学。
2014年４月24日　熊本大学文学部考古学研究室学生６名が来訪。
2014年４月25日　杉井健先生（熊本大学文学部）と熊本大学法学部・文学部・教育学部の学生が現場見学。宮縁育夫先生（熊本大学文学部）と熊本大学教育学部学生５名が来訪、現地見学。
2014年４月30日　岡本真也氏（熊本県教育庁文化課）来訪、熊本市内の土層に関する知見を頂く。
2014年５月８日　山田文彦先生・鳥井真之先生（熊本大学減災型社会システム実践研究教育センター）が調査現場に来訪。
2014年５月12日　熊本大学文学部歴史学科学生５名が調査に参加。
2014年５月13日　松田博貴先生・鳥井真之先生（熊本大学減災型社会システム実践研究教育センター）が調査現場に来訪。土壌の分析について話し合いを実施。
2014年５月29日　縄文人骨発見に関する記者会見開催。
2014年５月31日　現地説明会を開催。甲元眞之先生（熊本大学文学部名誉教授）が来訪。
2014年６月４日　三好栄太郎氏（熊本市文化振興課）が来訪、現地見学。土層に関する知見を頂く。
2014年６月23日　前日の大雨により調査区一部冠水。復旧作業。

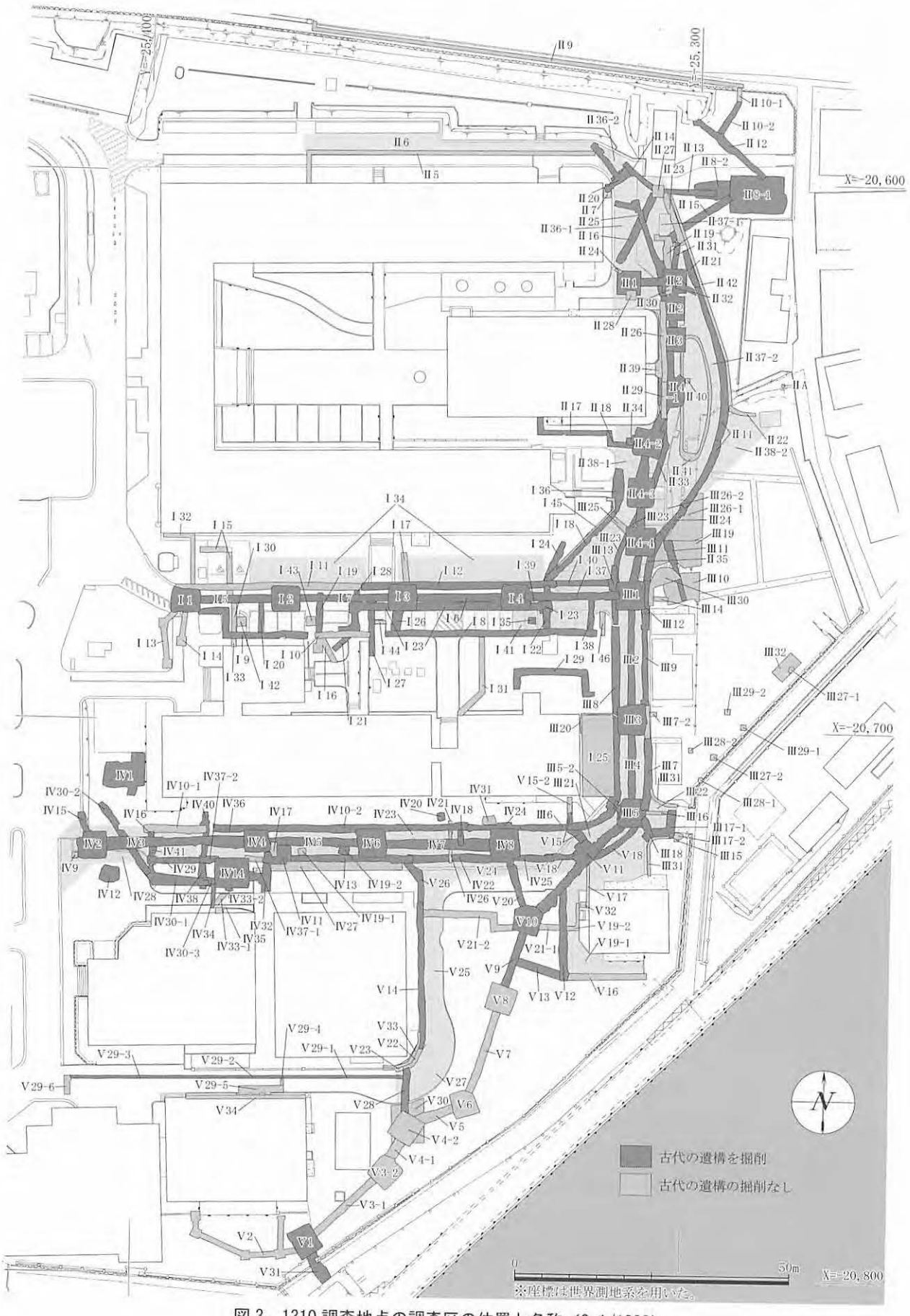


図３　1310 調査地点の調査区の位置と名称（S=1/1000）

2014年６月30日　横田光智（株式会社有明測量開発社）が調査に参加開始。
2013年12月26日～2014年１月４日　冬期休業。
2014年１月７日　調査再開。以後、別調査地点と並行して本調査地点の調査を継続。
2015年３月20日　全調査終了。

調　査　員：山野ケン陽次郎、大坪志子、浦辻栄治、柴田亮（熊本大学埋蔵文化財調査センター）
：石橋和久、中村幸史郎、西谷彰（株式会社九州文化財研究所）
：宮崎拓、島浦健生、横田光智、米村大、種浦加代子（株式会社有明測量開発社）
事 務 担 当：大崎喜美子
発掘作業員：石倉武夫、石村義則、泉英二、稲本佳子、今村明美、押方富江、岡本敬裕、小田怜、片桐徹、河野厚生、河原良江、川元惠子、栗崎強、栗崎信行、建寄豊美、後藤まや、小林鳴美、椎葉仁美、重松和子、柴田道子、白石美枝子、白石美智子、関律子、関根登、園田輝夫、高瀬正志、中村良一、西村和子、西村和幸、野田昇、早田咲百合、番山明子、平山博之、藤本龍三、堀川民夫、堀部和憲、松井昭子、松下義章、松永一代、松本晋治、松山誠一、松山れい子、三島多恵子、水本美恵子、宮里和正、宮田義則、村上親敏、森清、森川征子、森川護、森本紀代子、森本清子、山下巧、山道和弘、吉永孝夫、米満司郎
：入江由真、岡田有矢、黄訳民、津田裕美、秦翔平、宮崎大和、與嶺友紀也（以上７名は熊本大学文学部歴史学科考古学研究室）
調査指導・協力者：岡本真也（熊本県教育庁文化課）、小畑弘巳（熊本大学文学部）、甲元眞之（熊本大学名誉教授）、芝康次郎（奈良文化財研究所）、遠入楓大（熊本大学教育学部）、鳥井真之（熊本大学減災型社会システム実践研究教育センター）、松下孝幸（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム）、松下真実（ＮＰＯ法人・人類学研究機構）、松田博貴（熊本大学理学部）、水ノ江和同（文化庁記念物課）、宮縁育夫（熊本大学大学院先端科学研究部）、三好栄太郎（熊本市教育委員会）、山崎純男（高麗大学校考古環境研究所）（敬称略、五十音順、所属は2014年度当時）

（３）整理作業の経過と組織

本報告書では、1310調査地点の発掘調査で出土した遺物を取り扱った。発掘調査現場では古代、中世、近世の遺物については小破片の資料も含めて基本的に持ち帰ることとした。また、近代の遺物は、溝などの遺構からの出土品や、「工友寮」に関連する遺物、焼夷弾など特異な遺物について取り上げたが、その他、盛土や廃棄土坑から出土した近代の遺物の多くは発掘調査現場にて廃棄した。

発掘調査で出土した遺物は洗浄、選別、注記、接合、実測、計測、写真撮影の順番で整理作業を実施した。また、現場で作成した遺構実測図や遺物出土状況実測図はデジタルトレースによる図化をおこなっている。遺物の選別では、現場において土の付着などで選別できずに持ち帰った自然礫などの非人工物を取り除き、埋蔵文化財調査センター屋外にて廃棄した。注記に際しては、遺跡略号、調査地点番号、出土遺構・出土層位、位置の順番で記し、２cmに満たない土器小破片については個別の注記はおこなわず、ビニール袋にまとめて遺物カードへの記載により管理した。接合に際しては、遺構埋土内から出土した遺物を集中的に実施し、遺物包含層や撹乱、廃土からの出土遺物は完形に近いものや残存状況の良好な資料に限定しておこなった。接合した遺物のうち、器形が復元できるものや接

合面が剥離しやすいものについては石膏を充填し、石膏部分に彩色を施した。実測に際しては、遺構の埋土中から出土した遺物を優先し、とくに反転復元な可能な土器は積極的に取り上げた。また、遺物包含層（基本土層４層：黒褐色土層）から出土した土器のうち器形の残りが良い資料については可能な限り実測を実施した。その他、石製品、土製品、鉄製品、青銅製品については古代の資料に関しては残存状況が悪いものを除き実測をおこなっている。実測した資料については全て写真撮影を実施している。近世・近代の資料についても遺構埋土中から出土した遺物を中心に実測し、未実測の資料は写真を掲載するなどして補完した。なお、近世・近代の資料のうち、報告書番号264～383の遺物について、実測図上に立面・俯瞰写真を一部合成している。これら写真のスケールは実測図と完全に一致するわけではない点を断っておきたい。また、実測図に写真を合成した資料については図版に写真を掲載していない。遺物の総量に対して、実測図化した資料は10分の１以下である。竈埋土や粘土・焼土集中部の土壌は、現地で土嚢袋またはビニール袋に封入し、埋蔵文化財調査センターにて炭化物抽出を目的とするフローテーション作業を実施した。本調査ではまとまった量の炭化物が得られた例はなかったため、抽出した炭化物の個別報告は掲載しないが、必要に応じて遺構の説明文章中に記載することとする。以下、整理作業の経過概要と、整理作業時の組織について示す。

2014年10月より　遺物の洗浄開始。
2017年10月より　遺物の注記接合
2018年１月より　遺物の実測開始。
2018年２月より　遺物のトレース開始。
2018年６月より　遺物の一覧表作成開始。
2018年８月より　遺物の写真撮影開始。
2019年３月　遺物の実測・トレース作業終了。
2019年４月　遺構・土層図面のトレース作業開始。
2019年５月　遺物の写真撮影終了。
2021年１月　遺構・土層図面のトレース作業、遺物の一覧表作成終了。
2021年２月　報告書入稿。

調　査　員：山野ケン陽次郎・大坪志子（熊本大学埋蔵文化財調査センター）
事 務 担 当：大崎喜美子・濵田春美・山田由紀・福田由美香・植田裕子
整理作業員：井上裕美・江口路・鬼塚美枝・小山正子・後藤恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子・小堀嵩史

２．調査地点の基本層序

本調査地点は、南北270m、東西180mの広い範囲に幅の狭い調査区が密集しており、掘削の総面積は約5,252㎡である。現在、調査地周辺には理学部に関連する建物が立っており、調査区はこの建物間の道路や駐車場、緑地として利用されていたため、過去に大型構造物が建設されておらず、遺構の残りは良好であった。ただし、部分的には既設管や共同溝設置に伴う掘削により破壊を受けている状況がみられた。また、白川右岸により近いＶ区の多くは、近代の瓦やガラスを含む現代盛土が１m以上厚く堆積している状況が確認された。縄文時代の遺物包含層の調査成果に加え、より陸側にあたる

Ⅱ32区と、白川右岸に近いⅤ31区の土層等とも比較を実施したところ、図４のとおり基本層序を把握することができた。土層の由来や比較については、現地における土層の比較だけでなく、遺物の内容や、遺跡現地や現代の白川洪水砂をサンプリングし、その土壌をデジタルマイクロスコープで観察した結果も反映させている（山野編2019：pp.90～99）。発掘調査では各調査区では取り上げた土層名を付していたが、整理作業中にこれを精査し直し、以下の１～13層の基本土層を設定した（図４）。報告書中の土層断面実測図では上位から下位に向けて個別に通し番号を付しているが、その他の文章、図面、写真図版の層名は基本土層に準じている。各遺構実測図の土層断面図には、必要に応じて基本土層名を記載している。

１層：表土、現代盛土、砕石、アスファルト。

２層（灰白色砂層）

昭和28（1953）年６月28日の白川大水害によって堆積した砂層。砂質細かく、しまり弱く、粘り気はない。細かい平行葉理が認められる。遺物はほとんど含まないが、まれにガラスや陶磁器が出土する。調査地点の南側、白川により近い範囲、主にⅣ区東端、Ⅴ区で検出される。本発掘調査では重機によって掘削した。

３層（暗褐色土層）

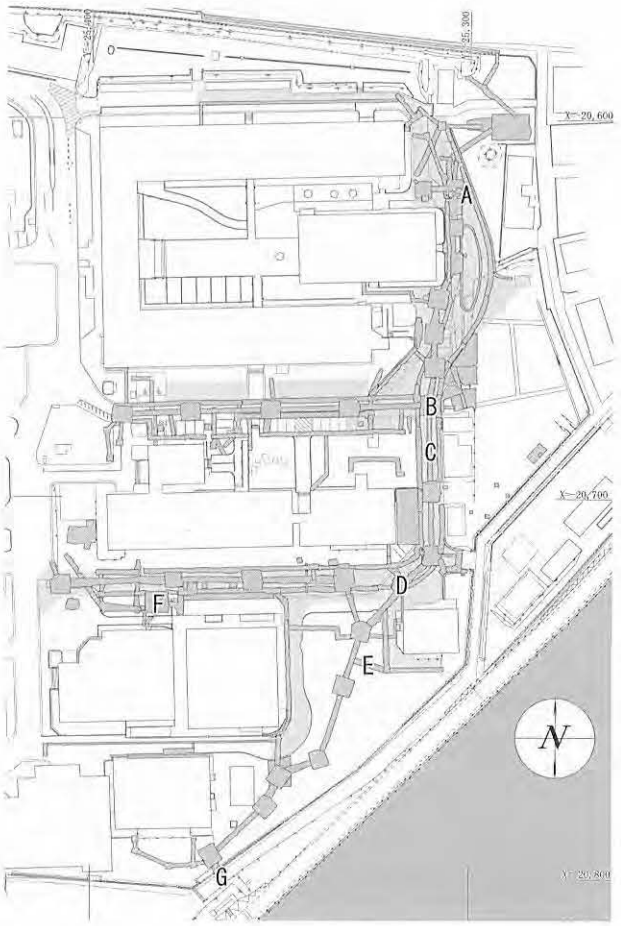
近世・近代の遺物包含層。しまりはやや強く、粘り気は少ない。暗褐色土を主体とし、炭化物小片や土器由来の褐色粒子、１cm程から拳大ほどの小礫が含まれる。近代の遺物は少量で、近世の遺物が多く出土する傾向がある。調査地点のほぼ全域に堆積しているが、近代に削平されている箇所もあり、本層が堆積しない調査区も認められる。本発掘調査では、しまりが強いより上位の土を重機で掘削し、しまりの弱い下位の土については一部を人力で掘削し、遺物を取り上げた。

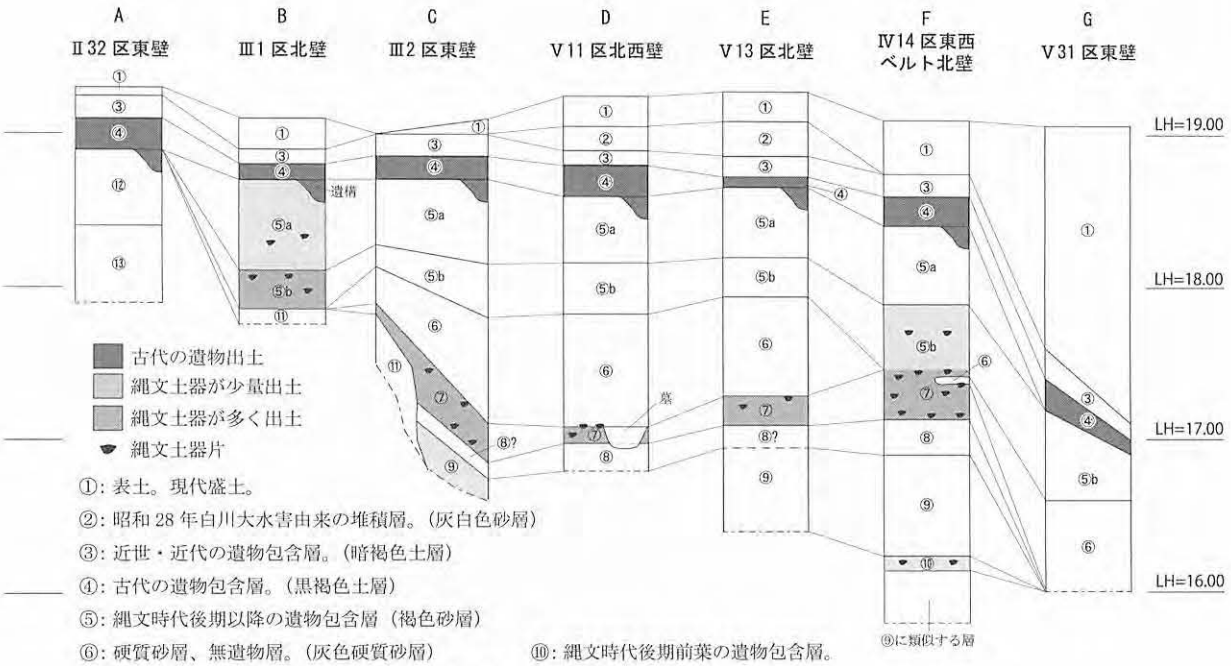
４層（黒褐色土層）

古代の遺物包含層。しまりは３層に比べて弱く、粘り気はややある。黒褐色土を主体とし、炭化物小片や土器由来の褐色粒子、１cm程から拳大の小礫を少量含む。調査地点のほぼ全域に堆積しているが、より南側のⅣ区東側やⅢ区南端、Ⅴ区では近代に削平されて堆積が薄いか、堆積しない調査区がある。本発掘調査では本層下位からは全て人力掘削による遺物の取り上げをおこなった。本層は薄い所で10cm、厚い所では30cm以上堆積していることがあるが、矮小な調査区では、土質の類似する遺構埋土との区別が付かず、両者を混同して掘削してしまうことがあった。本層の上面で近世あるいは近代の溝、土坑、栗石基礎などの遺構を検出している。

５層（褐色砂層）

縄文時代後期の遺物を含む。調査によって縄文時代後期前葉以降に堆積した、いわゆる白川由来の「自然堤防」の上層にあたることが判明した。褐色砂を主体とし、最上位には黒褐色土が植物根由来の貫入をみせる。しまりはよく、粘り気はほぼない。混ざり気は少なく、小礫や炭化物小片などはほぼ認められない。本層の上面では古代、中世の遺構を検出することができる。従前の調査では本層の上面で縄文時代後期の土器がみつかることがあったが、基本的には地山層（人類の生活痕跡の認められない時代に堆積した土層、基盤層）として捉えられており、本発掘調査でもⅢ１区において縄文時代の遺物が本層に含まれることが判明するまでは掘削しておらず、調査を実施できていない。褐色砂層は下位に向かって漸移的に色調が変化し、やや赤みが強い上層（５ａ層：赤褐色砂層）と、やや緑がかるか、あるいはオリーブ色に近い色調の下層（５ｂ層：緑褐色砂層）に分層できる。Ⅲ２区やⅤ11区では、両層の境目に砂質ブロックが部分的に入り込むか、あるいは水平かつ





①: 表土。現代盛土。
②: 昭和 28 年白川大水害由来の堆積層。（灰白色砂層）
③: 近世・近代の遺物包含層。（暗褐色土層）
④: 古代の遺物包含層。（黒褐色土層）
⑤: 縄文時代後期以降の遺物包含層（褐色砂層）
⑥: 硬質砂層、無遺物層。（灰色硬質砂層）
⑦: 縄文時代後期前葉の遺物包含層。（黒褐色砂層）
⑧: 硬質砂層、無遺物層。（青灰色硬質砂層）
⑨: 白川由来の砂礫層。（灰色砂礫層）
⑩: 縄文時代後期前葉の遺物包含層。（オリーブ黒色粘質砂層）
⑪: 縄文時代後期前葉以前の堆積層。（灰オリーブ褐色砂層）
⑫: 火山由来の堆積層。（暗褐色粘質土層）
⑬: 火山由来の堆積層。（褐色土層）

図４　1310 調査地点基本土層模式図（S＝1/50）
（①～⑬は１～ 13 層に対応、地区によって間層を挟む）

面的に堆積することがあった。ただし、下位の６層の堆積状況と比べると薄く、貫入も多い。本土層中の砂質ブロックに６層のように明瞭な平行葉理はほぼ認められなかった。褐色砂層は調査地点の南側（Ⅰ区東側、Ⅲ～Ⅴ区）には厚く堆積しているが、Ⅱ区の北側では堆積しない状況が確認できた。本発掘調査ではⅢ１区での発掘調査以後、施工深度が深い調査区について調査対象としている。縄文時代後期土器を主体とし、石器や土製品が出土している。

６層（灰色硬質砂層）

無遺物層である。調査によって縄文時代後期前葉に堆積した白川由来の自然堤防の一部にあたると判明した。灰色砂を主体とし、表面には平行葉理がみられ、灰黒砂粒子と黄褐色砂粒子とで細かい単位の互層を形成することが多い。しまりは非常に強く、粘りはない。砂が硬質化し、一つの層を形成しており、厚い場所では70～80cm程の堆積が認められるが、部分的に植物根あるいは水性由来と思われる貫入が認められる。Ⅲ２区南側より白川側にのみ堆積しており、Ⅴ11・13・31区では明確に層として確認できたが、最も深い深度まで調査したⅣ14区では薄く堆積するのみであった。河岸段丘の凹部に白川の水が冠水し、一度に砂が堆積したと考えられる（山野編2019：pp.92～95）。本層直下で縄文時代後期前葉の土器が出土する７層と、縄文時代の墓と人骨が検出された。

７層（黒褐色砂層）

縄文時代後期前葉の遺物包含層である。しまりはやや強く、粘性は弱いものの全くの砂質ではない。黒褐色砂を主体とし、１cm程の白粒、炭化物小片を含み、部分的に砂質ブロックが混じる。Ⅴ11区では本層上面を掘りこむ形で縄文時代の墓が検出された。検出深度が地表下２m程（標高約17m）と深く、本調査ではⅢ２、Ⅳ14区、Ⅴ11区、Ⅴ13区で確認、調査されている。Ⅴ11区７層で検出した炭化物の放射性炭素年代測定結果は3690±30ＢＰであった（山野編2019：pp.90～91）。

８層（青灰色硬質砂層）

７層直下に堆積する無遺物層である。全体的にしまりは強いが、最下部は風化しており、しまりが弱い。粘性はほぼない。青灰色砂とオリーブ色砂の互層が平行葉理を形成することがある。Ⅳ14区とⅤ11区において７層の下に堆積していた。

９層（灰色砂礫層）

ほぼ無遺物層だが、まれに縄文時代後期前葉の遺物が出土する。しまりは弱く、乾燥すると表面がサラサラと崩れる。灰色砂と橙色の５cm程以下の軽石や円礫によって構成され、砂粒の大きさや、礫の密度によって細かい分層が可能である。Ⅳ14区では本層下位にあたる10層から縄文時代後期前葉らしき土器が出土していることや、拳大に満たない円礫が砂に混じることから、縄文時代後期前葉頃の白川の洪水に由来するか、あるいは一次的に本流や支流の川底となり堆積した砂礫層の可能性が高い（山野編2019：pp.92～99）。類似する層をⅣ14区で10層の下位から検出している。

10層（オリーブ黒色粘質砂層）

縄文時代後期前葉の遺物が少量含まれる。オリーブ黒色の砂を主体とし褐色の粘質砂が沈着するように混じる。しまりはやや弱く、やや粘性を持つ。検出面の深度が地表下約３mと深く、本発掘調査ではⅣ14区でのみ掘り下げと遺物の取り上げを実施した。

11層（灰オリーブ褐色砂層）

無遺物層。しまり強く、粘性は弱い。灰オリーブと褐色の堅い砂質土が縞状に積み重なって堆積した層である。色調や砂質ブロックの割合で分層が可能で、確認できていないだけで12層との間にいくつもの間層があると思われる。Ⅲ２区では白川の洪水由来と考えられる９層によって本層が削られていることが確認でき、縄文時代後期以前に白川右岸の河岸段丘の一面を形成していた自然堤防

だが、白川右岸に近い場所では川の増水などで削平されたと考えられる。Ⅰ37区で一部深く掘下げたが、本発掘調査地点では本層より下位から遺物は検出されなかった。

12層（暗褐色粘質土）

無遺物層。火山灰由来と考えられる堆積層。しまりは並で、粘性はやや強い。暗褐色土を基本とし、上位は４層の黒褐色土の貫入がみられ、下位では13層の褐色土と混在する。Ⅱ区の北側では古代の遺物包含層である４層（黒褐色土層）の直下に本層が堆積しており、本層の上面で遺構を検出した。従前の構内遺跡の調査では、本層と５層（褐色砂層）とが地山として認識され、別の堆積層として認識されてこなかった。本調査と報告書中の分析により５層とは構成物が大きく異なり、バブルウォール型火山ガラスを多く含むことから、より下位の堆積層であることが判明した（山野編2019：pp.95～99）。Ⅱ区の北東端にあたるⅡ８－１区で本層を広い範囲で掘り下げたが、遺物は出土しなかった。

13層（褐色土）

無遺物層。火山灰由来と考えられる堆積層。しまりが強く、粘性はややあり、削るとザクザクとした感触がある。褐色土を主とし、赤褐色粒や軽石が混じる。Ⅱ区北側では地表下80cm程で検出される。砂粒の観察によりバブルウォール型火山ガラスを多量に含むことが分かった（山野編2019：pp.95～99）。熊本大学構内ではこの層より下位で遺物が出土した例はない。本調査でも土層の確認以外で掘削は実施していない。

３．各調査区の検出遺構と出土遺物

（１）古代

本調査地点はライフラインの再生工事に伴う発掘調査のため、施工内容によって調査の内容、規模や施工深度が異なる。例えばアスファルト舗装やＬ字側溝の敷設に伴う工事では、地表下10～30cm程度の掘削で済むため、重機の一次掘削による３層（暗褐色土層）の検出で掘削を終え、掘削面を精査した後、掘削状況の写真撮影のみ実施している。一方で浸透井戸や浸透側溝など、施工深度の深い工事に伴う調査では、古代の遺構の完掘後、さらに縄文時代の遺物包含層の掘削を実施している。調査区は全部で230区におよび、全調査区の内容を明記するには紙面が足りず、煩雑にもなるため、本報告では主として竪穴建物や溝などの重要な遺構を取上げ、出土遺物とともに説明する。その他の調査区の調査成果ついては割愛し、一覧表の提示と写真の掲載によって補完する（表３）。

本節ではⅠ～Ⅴ区の調査区のうち、古代の遺構、遺物を説明する。古代の遺構として、竪穴建物、竈、溝、土坑、ピット、粘土集中部、焼土集中部などが確認できた。ピットのうち建物の柱穴としての性格が想定されるものは図や文章中で「柱穴」と記した。遺構の名称は、調査区＋調査区ごとの遺構番号＋遺構の種類（例えばⅠ区１号竪穴建物、Ⅱ区３号溝など）を付けた。そのため、複数の調査区にまたがって検出・掘削された遺構については、最も広く掘削した調査区において調査結果を集約して説明する。また、遺構の計測値は小数点一位以下を四捨五入しており、「約」や「程」の記述は略すこととする。Ⅵ区の掘削に関する説明は近代盛土内に全ておさまっているため割愛する。また、少量だが、中世の遺構、遺物を検出しており、本節でまとめて取り扱った。

①　Ⅰ区（図５）

Ⅰ区は、理学部２号館と理学部３・４号館の間の道路部分、南北68m、東西84mの範囲に相当する。多くは幅１～1.5mの狭く長い調査区で、水道・ガス配管施工に関連するもので、計46カ所の調査区

表３　1310調査地点検出遺構一覧表

調査区		調査範囲（m）	面積（㎡）	4層検出（標高／m）	遺構検出（標高／m）	調査内容	5層上面検出遺構					遺構総数	4層上面検出遺構	備考
							竪穴建物	溝	土坑	ピット	その他			
Ⅰ	1	南北4.9×東西5.5	22.6	18.15	18	遺構掘削	2		1	7		10	－	1号竪穴建物 11号竪穴建物
Ⅰ	2	南北4.7×東西5.1	20.9	18.55	18.15	遺構掘削	2			6		8	－	1号竪穴建物（Ⅰ7区10号竪穴建物は同一遺構） 2号竪穴建物
Ⅰ	3	南北4.9×東西5.3	24.0	18.7	18.4	遺構掘削		1	1	8		10	－	1号溝（Ⅰ8区1号溝・Ⅰ12区21号ピットは同一遺構か）
Ⅰ	4	南北4.9×東西5.7	24.6	18.6	18.45	遺構掘削	1		1	9		11	－	2号竪穴建物（Ⅰ6区1号竪穴建物・Ⅰ12区9号竪穴建物は同一遺構） 1号土坑
Ⅰ	5	長さ14.3×最大幅1.5	21.5	18.4	17.9	遺構掘削		1		11		12	－	5号溝
Ⅰ	6	長さ17.0×幅1.3	22.1	18.5	18.3	遺構掘削	1			11		12	－	1号竪穴建物（Ⅰ4区2号竪穴建物・Ⅰ12区9号竪穴建物は同一遺構）
Ⅰ	7	長さ17.2×幅1.4	24.1	18.3	18.2	遺構掘削	1	2		7		10	－	10号竪穴建物（Ⅰ2区1号竪穴建物は同一遺構は同一遺構） 1・6号溝（Ⅰ23区4号溝は同一遺構）
Ⅰ	8	長さ38.9×幅1.2	46.7	西18.6 東18.8	西18.25 東18.6	遺構掘削		1	1	25		27	－	1号溝（Ⅰ3区1号溝・Ⅰ12区21号ピットは同一遺構）
Ⅰ	9	長さ21.8×幅1.3	33.3	18.5	18.1	遺構掘削			1	2		3	－	
Ⅰ	10	長さ10.0×幅1.1	11.0	18.5	18.1	遺構なし						-	－	
Ⅰ	11	長さ33.5×幅1.2	40.2	－	－	撹乱掘削		1				－	－	3層上面まで検出。 溝１条時期不明。
Ⅰ	12	長さ35.7×幅1.2	42.8	18.85	18.65	遺構掘削	1			21	粘土集中部1	23	－	9号竪穴建物 22号粘土集中部
Ⅰ	13	南北10.8×東西3.4	13.2	－	－	撹乱掘削						-	－	写真記録なし。
Ⅰ	14	南北6.1×東西1.9	9.9	－	－	撹乱掘削						-	－	写真記録なし。
Ⅰ	15	南北5.6×東西1.1 南北1.1×東西4.9	11.6	－	－	撹乱掘削						-	－	写真記録なし。
Ⅰ	16	南北4.4×東西4.5	6.8	－	－	撹乱掘削						-	－	写真記録なし。
Ⅰ	17	長さ5.4×最大幅1.0	5.4	－	－	撹乱掘削						-	－	写真記録なし。
Ⅰ	18	長さ17.8×最大幅1.3	21.1	－	18.2	遺構掘削				17		17	－	写真記録なし。
Ⅰ	19	長さ7.3×最大幅1.2	8.2	－	18.2	遺構掘削				4		4	－	写真記録なし。
Ⅰ	20	長さ5.4×最大幅0.9	4.9	18.6	18.3	遺構掘削	1			1		2	－	1号竪穴建物 写真記録なし。
Ⅰ	21	長さ3.2×最大幅1.1	3.1	－	18.2	遺構掘削				3		3	－	写真記録なし。
Ⅰ	22	長さ4.1×最大幅1.3	4.9	－	18.6	遺構掘削				5		5	－	
Ⅰ	23	南北6.9×東西39.4	63.9	18.65	18.3	遺構掘削		1	3	35		38	－	4号溝（Ⅰ7区1・6号溝は同一遺構）
Ⅰ	24	長さ8.2×最大幅2.5	10.7	-	18.4	遺構掘削			1	10		11	－	1号は土坑か竪穴建物か不明。
Ⅰ	25	南北14.9×東西5.7	89.0	-	-	撹乱掘削						-	－	
Ⅰ	26	南北4.2×東西1.5	3.4	18.5	18.3	遺構掘削				2		2	－	
Ⅰ	27	南北10.7×東西1.3	12.2	18.6	18.3	遺構掘削				8		8	－	
Ⅰ	28	南北2.4×東西0.9	2.4	18.6	18.6	遺構掘削				2		2	－	
Ⅰ	29	南北13.6×東西1.4 南北2.4×東西1.2 南北3.8×東西1.1 南北0.8×東西1.0	26.7	18.7	西18.6 東18.5	遺構掘削				13		13	礎石柱穴２	
Ⅰ	30	南北5.3×東西0.7	3.7	-	-	4層掘削						－	－	
Ⅰ	31	南北11.3×東西1.2 長さ5.8×最大幅1.2	21.1	-	-	4層掘削						-	－	
Ⅰ	32	南北9.2×東西0.77 南北0.77×東西4.9	10.9	－	－	撹乱掘削						－	－	地表下60cmまで撹乱。
Ⅰ	33	南北1.5×東西0.86	1.3	-	-	撹乱掘削						－	－	地表下60～100cmまで撹乱。
Ⅰ	34	南北6.72×東西53.86	277.6	-	-	撹乱掘削						－	－	地表下30cmまで撹乱。
Ⅰ	35	南北1.3×東西1.4	1.7	18.55	18.4	遺構掘削				5		5	-	
Ⅰ	36	南北8.3×東西2.1	14.8	18.75	18.3	遺構掘削	1					1	-	1号竪穴建物
Ⅰ	37	南北1.5×東西17.3	25.7	18.8	18.7	遺構掘削	1			22		23	溝1	1号溝（Ⅲ1区2号溝・Ⅲ9区2号溝他は同一遺構） 2号竪穴建物
Ⅰ	38	南北5.5×東西1.0	5.7	-	18.3	遺構掘削	1			10		11	－	1号竪穴建物
Ⅰ	39	長さ2.5×最大幅0.5	1.3	18.6	18.45	4層掘削				3		3	－	遺構未掘削。
Ⅰ	40	長さ10.85×最大幅1.3	10.9	18.7	18.45	遺構掘削	(1)		2	10		13	－	8号竈のみ
Ⅰ	41	南北18.9×東西8.2	155.3	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅰ	42	南北1.7×東西1.7	3.1	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅰ	43	南北1.7×東西1.8	3.1	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅰ	44	長さ2.1×最大幅0.7	1.5	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅰ	45	南北4.47×最大幅1.0	4.6	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅰ	46	南北4.5×最大幅1.1	4.3	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	1	南北3.4×東西6.4	21.8	－	18.7	遺構掘削	1			20		21	-	1号竪穴建物
Ⅱ	2	長さ2.9×最大幅1.4 南北8.7×東西4.7	43.0	-	18.8	遺構掘削				17		17	-	
Ⅱ	3	南北5.6×東西4.7	29.4	-	18.8	遺構掘削		1	1	2		4	-	1号溝
Ⅱ	A	直径0.4	0.1	-	-	遺構なし						-	-	電柱掘削。

調査区		調査範囲（m）	面積（㎡）	4層検出（標高／m）	遺構検出（標高／m）	調査内容	5層上面検出遺構					遺構総数	4層上面検出遺構	備考
							竪穴建物	溝	土坑	ピット	その他			
Ⅱ	4-1	長さ13.4×最大幅4.9 南北4.9×東西4.7	28.2	19	18.6	遺構掘削		1		14	硬化面1	16	－	3号溝（Ⅱ11区16号溝、9810調査地点10号溝は同一遺構）
Ⅱ	4-2	南北5.1×東西5.0 長さ4.8×最大幅1.5	32.2	18.9	18.5	遺構掘削	1			8		9	－	25号竪穴建物（Ⅱ18区1号竪穴建物は同一遺構） Ⅱ4-3区北側の遺構をこちらに含む。
Ⅱ	4-3	長さ3.8×最大幅2.4 南北5.3×東西5.0	33.2	18.6	18.4	遺構掘削	(1)		1	35		37	－	34号竈（竪穴建物か）
Ⅱ	4-4	長さ3.7×最大幅1.6 南北5.2×東西5.5	32.8	18.6	18.4	遺構掘削	2	1		33		36	－	4・5号竪穴建物 10号溝（Ⅲ1区4号溝、Ⅲ12区1号溝は同一遺構）
Ⅱ	5	長さ52.5×最大幅0.7 南北5.7×最大幅0.6	38.9	19	－	4層掘削						－	－	地表下60～70cmまで撹乱。
Ⅱ	6	南北4.5×東西54.0	173.7	－	－	撹乱掘削						－	－	地表下30cmで3層検出。
Ⅱ	7	南北1.9×東西1.4	2.6	－	－	撹乱掘削						－	－	地表下80cmまで撹乱。
Ⅱ	8-1	南北7.1×東西10.5	74.5	－	－	遺構掘削						－	近代土坑2 近代井戸1	12層を掘削したが遺物出土せず。
Ⅱ	8-2	南北3.8×東西6.6	24.7	－	－	遺構掘削				5		5	便壺2	
Ⅱ	9	長さ79.7×最大幅0.7	51.8	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	10-1	長さ2.8×最大幅0.9	2.6	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	10-2	南北6.9×東西1.2	7.4	－	－	遺構掘削						－	近代栗石基礎1	
Ⅱ	11	長さ41.0×最大幅1.5	55.7	北19.25 南19.0	北18.9 南18.6	遺構掘削		3	1	33	硬化面1	37	近世溝1	8・16号溝（古代、16号はⅡ4-1区3号溝は同一遺構） 13号溝（中世） 1号溝（近世）
Ⅱ	12	長さ16.3×最大幅1.0	19.7	19.3	19.1	遺構掘削		1		3		4	近代栗石基礎1	3号溝
Ⅱ	13	長さ12.0×最大幅1.9	13.4	19.2	19	遺構掘削				1	集石1	1	－	集石は自然礫混入か。
Ⅱ	14	南北6.8×東西4.5	12.8	19.15	18.9	遺構掘削				2	焼土集中部1	3	－	
Ⅱ	15	長さ14.8×最大幅1.3	21.0	19.5	19.1	遺構掘削	1			5	硬化面2	8	－	3号竪穴建物
Ⅱ	16	長さ14.2×最大幅1.3	20.2	19	18.9	遺構掘削				12		12	－	
Ⅱ	17	南北2.9×東西12.7	14.2	18.6	18.4	4層掘削					硬化面1	1	－	
Ⅱ	18	長さ6.1×最大幅2.9	7.9	18.6	18.4	遺構掘削	2			1		3	－	1号竪穴建物（Ⅱ4-2区25号竪穴建物は同一遺構） 3号竪穴建物未掘削。
Ⅱ	19	南北6.5×東西3.8	8.4	19.3	18.8	4層掘削						－	－	遺構なし。
Ⅱ	20	南北8.9×東西3.5	10.4	19	18.9	遺構掘削				2		2	－	
Ⅱ	21	長さ6.4×最大幅1.1	8.3	19	18.9	遺構掘削				6		6	－	
Ⅱ	22	長さ5.1×最大幅1	5.1	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	23	長さ10.2×最大幅1.3	19.6	19.2	19	4層掘削						－	－	
Ⅱ	24	長さ1.2×最大幅0.6	0.7	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	25	南北18.5×東西4.5	25.0	19	18.8	遺構掘削				8		8	近世ピット1	
Ⅱ	26	南北14.8×東西0.9	15.5	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	27	南北2.3×東西2.1	4.8	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	28	南北1.8×東西1.7	3.1	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	29	南北6.6×東西1.1	6.4	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	30	南北1.7×東西1.3	2.0	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	31	南北6.8×東西1.0	6.8	19	18.8	遺構掘削				2		2	－	
Ⅱ	32	長さ3.8×最大幅1.3	4.9	19.1	18.9	遺構掘削				7		7	－	
Ⅱ	33	長さ15.6×最大幅1.6	18.5	18.6	18.5	遺構掘削				4		4	－	
Ⅱ	34	長さ3.8×最大幅1.8	5.4	18.6	18.5	遺構掘削				1		1	－	
Ⅱ	35	長さ9.0×最大幅1.5	8.9	18.6	18.5	遺構掘削	2			4	不明1	7	近世溝？1	5号竪穴建物（Ⅱ4-4区4号竪穴建物は同一遺構） 7竪穴建物（Ⅲ12区1号竪穴建物は同一遺構）
Ⅱ	36-1	南北19.0×東西9.1	135.2	－	－	4層掘削						－	－	4層一部掘削。
Ⅱ	36-2	南北6.8×東西11.7	54.3	－	－	4層掘削						－	－	4層一部掘削。
Ⅱ	37-1	南北18.2×東西4.9	89.6	19.2	－	4層掘削				1		1	－	ピット未掘削。
Ⅱ	37-2	南北30.6×東西11.0	277.8	19.2	－	4層掘削						－	近世以降柱穴3 近世溝1	近世・近代遺構未掘削。
Ⅱ	38-1・2	南北13.7×東西8.2	105.9	－	－	4層掘削						－	－	
Ⅱ	38-2	南北9.6×東西8.7	82.5	－	－	4層掘削						－	－	
Ⅱ	38-3	長さ15.6×最大幅5.9	84.1	－	－	4層掘削						－	－	
Ⅱ	39	南北19.9×東西2.9	30.8	－	－	4層掘削							－	
Ⅱ	40	東西0.9×南北0.9	0.7	18.9	18.65	遺構掘削				1		1	－	褐色粘質土層まで掘削したが遺物出土せず。
Ⅱ	41	南北22.9×東西5.7	－	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅱ	42	長さ39.7×最大幅0.6	23.8	－	－	撹乱掘削						－	－	

3．各調査区の検出遺構と出土遺物

調査区		調査範囲（m）	面積（㎡）	4層検出（標高／m）	遺構検出（標高／m）	調査内容	5層上面検出遺構					遺構総数	4層上面検出遺構	備考
							竪穴建物	溝	土坑	ピット	その他			
Ⅲ	1	南北9.9×東西5.4	33.6	18.85	18.6	遺構掘削	2	2	1	12		17	近世溝1	28号竪穴建物（Ⅲ12区1号竪穴建物、Ⅱ35区7号竪穴建物と同一遺構） 30号竪穴建物（Ⅲ9区3号竪穴建物と同一遺構） 2号溝（Ⅲ2区2号溝、Ⅲ9区2号溝は同一遺構） 4号溝（Ⅱ4-4区10号溝、Ⅲ12区1号溝は同一遺構） 22号溝（Ⅲ9区4号溝、Ⅲ23区7号溝と同一遺構）
Ⅲ	2	南北17.3×東西1.3	20.8	18.8	18.6	遺構掘削	1			18		20	近世溝1	2号溝（Ⅲ1区2号溝、Ⅲ9区2号溝他は同一遺構） 19号竪穴建物
Ⅲ	3	南北5.3×東西4.9	27.6	－	18.5	遺構掘削	2		1	21		24	近代土坑1	3号竪穴建物 2号竪穴建物未調査 25号土坑（近代：Ⅲ9区9号土坑と同一遺構）
Ⅲ	4	長さ11.6×最大幅1.5	17.4	－	18.6	遺構掘削				8		8	近代栗石基礎1	4層ほぼ堆積しない。
Ⅲ	5	南北5.2×東西4.9	25.5	－	18.7	遺構掘削		1		18	不明1	20	近代栗石基礎1	4層ほぼ堆積しない。 1号溝（Ⅲ6区1号溝と同一遺構） 7号ピット
Ⅲ	5-2	南北3.4×東西1.5	1.7	－	18.7	遺構掘削		1		2		3	－	
Ⅲ	6	南北15.4×東西18.3	39.0	18.9	18.8	遺構掘削	4	1	1	36		42	近代栗石基礎1	4層ほぼ堆積しない。 2・3・6・20号竪穴建物、4号土坑 1号溝（Ⅲ5区1号溝と同一遺構）
Ⅲ	7	南北13×東西1.5	18.9	18.8	18.6	遺構掘削				2		2	－	
Ⅲ	7-2	南北1.12×東西0.8	0.9	－	－	撹乱掘削						－	－	地表下35～40cm掘削
Ⅲ	8	南北22.3×東西1.4	32.0	18.9	18.7	遺構掘削	4		2	31		37	－	1・7・8号竪穴建物 30号竈
Ⅲ	9	南北20.4×東西1.6	23.5	18.8	18.7	遺構掘削		2				4	近世溝1 近代土坑1	1号溝（Ⅲ1区4号溝、Ⅱ4-4区10号溝他と同一遺構） 2号溝（近世：Ⅰ37区1号、Ⅲ1区2号と同一遺構） 4号溝（古代：Ⅲ1区22号と同一遺構） 9号土坑（近代：Ⅲ3区25号土坑と同一遺構）
Ⅲ	10	南北5.2×東西6.9	33.4	18.9	－	4層掘削						－	－	
Ⅲ	11	南北6.4×東西1.5	6.0	18.9	18.5	4層掘削	1			8		9	－	7号竪穴建物
Ⅲ	12	南北5.9×東西1.5	9.5	18.85	18.6	遺構掘削	1			3		4	－	1号竪穴建物（Ⅲ1区28号竈、Ⅱ35区7号竪穴建物と同一遺構）
Ⅲ	13	南北10.9×東西1.9	13.2	18.65	18.4	遺構掘削	1			8		9	近世溝1 近世土坑1	1号土坑（Ⅲ1区1号土坑と同一遺構） 2号溝（Ⅲ1区2号溝、Ⅰ37区1号溝他と同一遺構） 3号竪穴建物
Ⅲ	14	南北0.8×東西3.5	2.6	18.9	－	4層掘削						－	－	
Ⅲ	15	南北0.8×東西0.6	0.5	－	－	撹乱掘削						－	－	消火栓周囲
Ⅲ	16	東西4.2×最大幅0.6	2.5	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	17-1	南北4.2×東西5.4	12.6	－	18.3	遺構検出		1				1	－	1号溝（Ⅲ18区1号溝、Ⅴ18区4号溝と同一遺構）
Ⅲ	17-2	東西2.8×最大幅2.5	2.5	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	18	南北4.9×東西2.4	7.4	18.6	18.3	遺構掘削		1				1	－	1号溝（Ⅲ17-1区1号溝、Ⅴ18区4号溝と同一遺構）
Ⅲ	19	南北5.9×東西9.5	41.7	18.9	－	4層掘削						－	－	
Ⅲ	20	長さ4.1×幅0.5 長さ7.4×幅0.5	5.2	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	21	南北49×東西19	284.1	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	22	南北9.8×東西7.6	47.5	18.6	－	4層掘削						－	－	
Ⅲ	23	南北14.6×東西1	16.2	18.75	18.5	4層掘削						－	近世柱穴2 近世溝1	
Ⅲ	24	南北6.8×東西1.5	9.7	18.6	18.5	遺構掘削				3		3	－	
Ⅲ	25	南北1.4×東西2.7	3.8	18.8	18.5	遺構掘削	1	1	1	1		4	－	1号竪穴建物、2号溝、3号土坑
Ⅲ	26-1	南北8.8×東西5.1	43.5	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	26-2	南北18.6×東西6.2	115.3	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	26-3	南北15.7×東西6.9	103.8	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	27-1	直径1.0	0.8	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	27-2	直径0.6	0.3	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	28-1	南北1.0×東西0.8	0.8	－	－	4層掘削						－	－	
Ⅲ	28-2	南北0.4×東西0.8	0.3	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	29-1	直径0.45 南北0.36×東西0.3	0.3	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	29-2	掘削不要	－	－	－	掘削不要						－	－	アンカーの切断のみ。
Ⅲ	30	南北7.0×東西6.3	－	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	31	南北16.0×東西5.7	－	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅲ	32	長さ5.0×幅2.3	－	－	－	撹乱掘削						－	－	
Ⅳ	1	南北4.4×東西7.6 南北1.8×東西2.4 南北1.6×東西1.4	39.5	18.5	18.25	遺構掘削	3	1	1	33		38	－	17・26・27号竪穴建物 30号溝、31号土坑
Ⅳ	2	南北5.3×東西4.8	24.6	18.5	18.25	遺構掘削			2	12		14	－	2・9号土坑

調査区		調査範囲（m）	面積（㎡）	4層検出（標高／m）	遺構検出（標高／m）	調査内容	5層上面検出遺構					遺構総数	4層上面検出遺構	備考
							竪穴建物	溝	土坑	ピット	その他			
Ⅳ	3	幅2.31×東西24.77	46.0	18.5	18.25	遺構掘削		2		28		30	-	10号溝（Ⅳ30-2区6号溝、Ⅳ1区30号溝？と同一遺構） 22号溝（Ⅳ29区5号溝、Ⅳ30-13号溝と同一遺構）
Ⅳ	4	南北4.0×東西4.8	18.1	-	18.4	遺構掘削				12		12	-	
Ⅳ	5	南北1.4×東西16.0	23.3	18.75	18.45	遺構掘削	3			26		29	-	11・12・13号竪穴建物 12号→11号→13号
Ⅳ	6	南北5.3×東西4.8	26.9	18.75	18.55	遺構掘削	1			28		29	-	19号竪穴建物（Ⅳ13区7号竪穴建物、Ⅳ10-2区59号竪穴建物と同一遺構） 20号ピット
Ⅳ	7	南北1.5×東西19.2	35.1	18.75	18.6	遺構掘削		1?	1	33	焼土集中部1	35	-	40号土坑 76号焼土集中部
Ⅳ	8	南北6.2×東西5.1	33.2	18.8	18.55	遺構掘削		3		24		27	-	56号溝（Ⅳ24区6号溝と同一遺構） 70号溝 71号溝（Ⅳ25区1号溝、Ⅴ20区2号溝他と同一遺構）
Ⅳ	9	南北1.0×東西1.1	1.1	-	-	撹乱掘削						-	-	共同溝掘方により地表下1.3mまで撹乱。
Ⅳ	10-1	長さ11.3×幅1.6	76.1	18.5～18.8	-	4層掘削						-	-	
Ⅳ	10-2	南北1.3×東西46.3	76.1	18.7	18.6	遺構掘削	4			61		65	-	13・16・57・6号竪穴建物
Ⅳ	11	南北3.6×東西4.4	13.9	18.7	18.5	遺構掘削	2			11		13	-	3号竪穴建物（Ⅳ32区2号竪穴建物と同一遺構） 4号竪穴建物
Ⅳ	12	南北3.1×東西3.7	9.3	-	18.1	遺構掘削							-	樹根により5層掘り下げ遺構検出
Ⅳ	13	南北1.6×東西23.0	28.4	18.7	東18.4 西18.5	遺構掘削	3		3	14		20	-	3・5号竪穴建物 7号竪穴建物（Ⅳ6区19号竪穴建物と同一遺構） 4号土坑、4A・B号土坑
Ⅳ	14	南北5.4×東西6.2	31.0	18.5	18.35	遺構掘削	1		1	17		19	-	18号竪穴建物、20号土坑
Ⅳ	15	長さ5.4×最大幅1.5	6.3	-	18.04	遺構検出						-	-	遺構検出面5層撹乱している。
Ⅳ	16	南北2.2×東西1.1	2.4	18.6	18.3	遺構掘削						-	-	1号ピットを後に遺構でないと判断。
Ⅳ	17	南北2.7×東西1.3	3.0	18.8	18.35	遺構検出						-	-	
Ⅳ	18	長さ2.7×最大幅1.2	2.7	18.9	18.55	遺構掘削				3		3	-	3・4号ピットは後には自然の窪みと判断。
Ⅳ	19-1	南北1.3×東西1.3	1.6	18.7	-	4層掘削						-	-	
Ⅳ	19-2	南北1.6×東西2.0	3.0	18.75	18.45	遺構掘削				4		4	-	
Ⅳ	20	南北1.6×東西1.5	2.1	18.8	18.5	遺構掘削				1		1	-	
Ⅳ	21	南北2.5×東西0.7	0.9	18.8	-	4層掘削						-	-	
Ⅳ	22	東西15.8×最大幅1.5	22.2	18.7	18.55	遺構掘削		2	5	25		32	-	6号溝 25号溝（Ⅳ8区71号溝、Ⅴ26区1号溝？と同一遺構）
Ⅳ	23	東西51.9×南北6.6	265.3	-	-	撹乱掘削						-	-	
Ⅳ	24	東西10.8×最大幅1.5	11.9	18.9	18.6	遺構掘削		1		14		15	-	6号溝（Ⅳ8区56号溝と同一遺構）
Ⅳ	25	東西7.8×最大幅1.3	8.9	18.55	18.3	遺構掘削		1	1			2	-	1号溝（Ⅳ8区71号溝、Ⅴ15区1号溝、Ⅴ20区2号溝と同一遺構）
Ⅳ	26	長さ5.8×最大幅0.5	3.0	-	-	撹乱掘削						-	-	
Ⅳ	27	南北2.0×東西23.9	46.6	-	-	撹乱掘削						-	-	
Ⅳ	28	南北6.5×東西25.9	188.8	-	-	撹乱掘削						-	-	
Ⅳ	29	東西9.4×最大幅1.6	11.2	18.5	18.3	遺構掘削	1	1		13		15	-	1号竪穴建物（Ⅳ37-2区3号竪穴建物と同一遺構） 5号溝（Ⅳ3区22号、Ⅳ30-1区3号と同一遺構）
Ⅳ	30-1	南北1.9×東西10.6	21.8	18.6	18.3	遺構掘削		2	2	21		25	-	3号溝（Ⅳ3区22号溝、Ⅳ29区5号溝） 5号溝（重複多く不明瞭）
Ⅳ	30-2	南北14.8×東西1.8	20.8	18.6	18.3	遺構掘削		1	1	9		11	-	6号溝（Ⅳ3区10号溝、Ⅳ1区30号溝？と同一遺構）
Ⅳ	30-3	東西2.8×最大幅1.6	4.1	18.5	18.3	遺構検出				2		2	-	
Ⅳ	31	南北1.7×東西2.5	4.2	-	-	撹乱掘削						-	-	
Ⅳ	32	南北9.4×東西4.8	18.1	18.5	18.35	遺構掘削	2					2	近世以降柱穴1	1号竪穴建物（Ⅳ14区18号竪穴建物と同一遺構） 2号竪穴建物（Ⅳ11区3号竪穴建物と同一遺構）
Ⅳ	33-1	南北1.6×東西1.4	2.5	-	-	撹乱掘削						-		巨石除去できず施工なし。
Ⅳ	33-2	長さ2.7×最大幅1.0	2.0	18.5	18.3	遺構掘削				2		2		
Ⅳ	34	長さ4.35×最大幅0.6	3.1	18.5	18.3	遺構掘削		1				1		1号溝（時期不明）
Ⅳ	35	南北1.1×東西1.5 長さ5.6×最大幅0.3	3.1	-	-	撹乱掘削						-		
Ⅳ	36	南北5.8×東西13.8	68.2	-	-	撹乱掘削						-		
Ⅳ	37-1	長さ3.8×最大幅1.1	3.7	-	-	撹乱掘削						-		
Ⅳ	37-2	南北1.4×東西3.6	4.3	18.5	18.3	遺構掘削	1			3		4		3号竪穴建物（Ⅳ29区1号と同一遺構）
Ⅳ	38	南北4.7×東西1.5	6.3	-	-	撹乱掘削						-		
Ⅳ	39	-	-	-	-	撹乱掘削						-		既調査区内のため位置記録せず。
Ⅳ	40	長さ8.3×最大幅1.7	9.6	18.75	18.4	遺構掘削				7		7		
Ⅳ	41	長さ3.0×最大幅1.5	3.6	18.5	18.1	遺構掘削				1		1		
Ⅴ	1	南北5.6×東西4.9	24.1	17.45	17.4	遺構掘削				2		2	近代溝1	
Ⅴ	2	南北8.8×東西19.6	29.3	-	-	撹乱掘削						-		重機掘削のみ。地表下1.8mまで掘削。4層堆積しない。
Ⅴ	3-1	長さ14.7×最大幅1.4	21.5	-	17.7～17.9	遺構掘削						-	近世・近代溝1	1号溝

調査区		調査範囲（m）	面積（㎡）	4層検出（標高／m）	遺構検出（標高／m）	調査内容	5層上面検出遺構					遺構総数	4層上面検出遺構	備考
							竪穴建物	溝	土坑	ピット	その他			
V	3-2	南北4.7×東西4.6	23.6	-	17.8	遺構掘削						-	近世・近代溝2	2号溝 1号溝（3-1区1号溝と同一遺構）
V	4-1	長さ20.0×最大幅2.1	6.9	-	17.8	遺構掘削						-	近世・近代溝1	1号溝（4-2区1号溝と同一遺構）
V	4-2	南北4.9×東西5.1	24.9	-	17.8	遺構掘削						-	近世・近代溝1	1号溝（4-1区1号溝と同一遺構）
V	5	長さ7.4×最大幅1.8	11.3	-	-	撹乱掘削						-	-	焼夷弾取上げ。
V	6	南北4.5×東西4.6	19.9	17.9	17.7	遺構掘削						-	溝4 ピット3	1・2・3・7号溝
V	7	長さ15.4×最大幅1.4	21.9	-	17.7	遺構掘削						-	溝2	1・2号溝
V	8	南北4.8×東西4.8	24.1	-	-	撹乱掘削						-	-	近代のゴミ穴。ほぼ撹乱
V	9	長さ10.2×最大幅1.6	14.8	-	18.4	遺構掘削	1	1				2	-	1号竪穴建物（V10区1号竪穴建物と同一遺構） 2号溝 4層ほぼ堆積しない。
V	10	東西4.6×南北5.2	24.3	18.7	18.5	遺構掘削	1		2	2		5	近代栗石基礎1	1号竪穴建物（V9区1号竪穴建物と同一遺構）
V	11	長さ21.6×最大幅2.0 長さ4.6×最大幅2.5	48.5	18.85	18.7	遺構掘削	1	2		3		5	-	1号竪穴建物 拡張部2号溝（V18区2・6号溝と同一遺構）、 2号溝
V	12	長さ16.7×最大幅1.7	23.0	-	18.1	遺構掘削		1		10		11	近代土坑1	1号土坑（近代） 1号溝
V	13	長さ8.5×最大幅1.6	8.0	18.75	18.7	遺構掘削		1				1	-	12号溝（V12区1号溝？と同一遺構）
V	14	長さ26.5×最大幅1.3	30.5	18.55	18.45	遺構掘削		2		3		5	近代栗石基礎2	1・5号溝
V	15	長さ3.5×最大幅1.9 長さ3.5×最大幅1.6	9.0	18.85	18.7	遺構掘削						5	-	2号竪穴建物 1号溝（Ⅳ25区1号溝他と同一遺構）
V	15-2	長さ2.9×最大幅0.9	2.6	-	-	撹乱掘削						-	-	
V	16	長さ14.6×最大幅1.2	17.5	-	-	撹乱掘削						-	-	
V	17	長さ7.9×最大幅0.5	4.0	-	-	撹乱掘削						-		地表下10cmの掘削。写真なし。
V	18	南北17×東西1.0	21.9	18.85	18.7	遺構掘削		3		1		4		2・6号溝（Ⅳ25区1号溝他と同一遺構） 4号溝？
V	19-1	南北24.9×東西15.0	157.9	-	-	撹乱掘削						-		撹乱のみの掘削。図面なし、写真のみ。
V	19-2	南北5×東西4.5	4.4	18.7	18.5	遺構掘削		1		2		3		2号溝（V21-1区5号溝？と同一遺構）
V	20	南北8.2×幅1.7	11.1	18.7	18.4	遺構掘削	1	3		16	硬化面1	21		10号竪穴建物 2号溝（Ⅳ25区6号溝、Ⅳ8区71号溝他と同一遺構） 3号溝
V	21	南北3.8×東西25.3	28.4	18.7	西18.25 東18.5	遺構検出	1	3		2				1号竪穴建物、3号溝他
V	22	南北4.9×東西4.6	8.5	18.4	18.25	遺構なし						-		
V	23	南北1.4×東西3.5	3.6	-	-	撹乱掘削						-		
V	24	南北3.2×東西29.7	85.7	-	-	撹乱掘削						-		
V	25	南北32.2×東西6.7	124.4	-	-	撹乱掘削						-		
V	26	南北8.8×東西3.7	11.4	-	18.45	遺構掘削		1		14		15		4層ほぼ堆積しない。 1号溝（Ⅳ22区25号溝？と同一遺構）
V	27	南北11.5×東西11.5	76.1	-	-	撹乱掘削						-		
V	28	南北8.8×最大幅1.3	11.5	18.5	18.4	遺構掘削				4		4	近代柱穴4	
V	29-1	長さ21.7×最大幅0.55	11.8	-	-	撹乱掘削	2					2		検出のみ未掘削。
V	29-2	長さ21.3×最大幅0.5	11.4	18.6	西18.2 東18.4	遺構掘削			1	8		9		8号土坑
V	29-3	長さ17×最大幅0.55	9.3	18.45	18.2	遺構掘削		1				1		1号溝
V	29-4	長さ1.3×最大幅0.5	0.7	18.6	18.5	遺構なし						-		
V	29-5	南北2.3×東西8.4	14.8	-	-	撹乱掘削						-		
V	29-6	南北3.4×東西1	3.8	-	-	撹乱掘削						-		
V	30	南北8.9×東西5.9	62.2	-	-	撹乱掘削						-		
V	31	2.06×5.5	13.5	-		遺構掘削		1		5		6		4号溝
V	32	1.06×1.63	0.4	-	-	撹乱掘削						-		
V	33	南北6.7×東西6.2	5.4	-	-	撹乱掘削						-		
V	34	長さ21.5×幅0.7	15.1	-	-	撹乱掘削						-		
Ⅵ	1	南北2.1×東西3.5	7.4	-	-	撹乱掘削						-	-	地表下45～50cmで掘削終了。撹乱のみ。
Ⅵ	2	南北16.2×東西17.6	142.6	-	-	撹乱掘削						-	-	地表下25～40cmで掘削終了。撹乱のみ。

※掘削面積は基本的にはCADデータで算出し、CADデータのないものは手計算した。調査区同士が重なる場合があるため、実際の総面積より合計が大きくなる。

に分かれる（表３）。このうち古代の遺構の調査を実施したのは26カ所である。古代の遺物包含層である４層（黒褐色土層）は地表下0.2～0.9m（標高18.15～18.85m）で検出されている。調査では４層掘削の後、５層（褐色砂層）の上面で遺構の平面プランを検出した。検出面のレベルは標高17.9～18.7mである。他の地区と比較して、古代の遺構密集度は低く、竪穴建物は８基、溝が３条、その他土坑やピットが多数確認できている。竪穴建物はⅠ区の西側に集中する傾向がある。以下、主要な遺構について説明をおこなう。

また、2013年９月31日から10月14日までの間の発掘調査（Ⅰ13～22区）のデジタル一眼レフカメラによる写真記録については、整理作業時の操作ミスにより全て消失している。そのため、本書の写真図版にこれら調査区の写真が掲載されていないことを明記しておく。

Ⅰ１区１号竪穴建物（図６）

Ⅰ区の西端、Ⅰ１区の西側に位置する。重複するⅠ１区11号竪穴建物より新しく、調査区外南西側にさらに広がるとみられる。平面形態は方形で、現状では南北2.8m、東西２ｍを測り、検出面から床面までの深さは20cmである。硬化面は壁際を除き全体に広がり、床を構成する。西側では埋土中より土師器や須恵器片が集中して出土している（図６－１・６・９）。竈を東側壁面に持ち、主軸は北で69°東に傾く。竈の残存状況は非常に悪く、壁体、支脚は確認できなかった。竈に近い竪穴建物埋土中には灰白色の粘土混土が検出されており、竈が竪穴建物廃棄時に破壊を受けたためと考えられる。竈埋土内からは土師器鍋の破片が検出された（図６－８）。竈掘方は不整楕円形で、検出面からの深さは35cm、西側は東側より一段深くなっている。掘方面ではⅠ１区４号柱穴が検出され、直径40cm、深さ１ｍを測る。本建物の主柱の一つと思われる。貼床の厚さは10cmで、掘方埋土中からは須恵器・土師器片が出土している。また、本遺構の東壁面を切る５号ピットからは木目石製の砥石が出土している（図６－10）。

１・２は須恵器蓋である。いずれも破片資料で、残存部分で反転復元をおこなっている。２には極弱い見受けの返りが付く。３は土師器坏の底部破片である。全体がナデにより調整されている。４は須恵器壺の口縁部破片である。５は土師器甕の口縁部破片である。他の資料と比較し、小型かつ薄型で、口縁端はＬ字に弱く折れ曲がる。６・７は土師器の甕である。器壁は頸部で屈曲し、口縁部が「く」の字状を呈する。口縁部は内外ともにナデや回転ナデで調整され、頸部より下位の内面はいずれも上からみて反時計回りに削りで器壁調整されている。８・９は土師器の鍋である。器高に対して口径が広く、口縁部は頸部から外側に大きく外反する。口縁部は内外共に回転ナデで整えられ、胴部外面はハケ目、内面は削りで調整される。10は天草産木目石の砥石破片である。扁平直方体の砥石の中央部分の破片資料で、全面に使用痕が残る。表裏の縁辺部には製品中央に向けての線状痕、表面中央には交差状に線状痕が確認できる。

Ⅰ１区11号竪穴建物（図６）

Ⅰ区の西端、Ⅰ１区の南西に位置する。重複するⅠ１区１号竪穴建物より古く、調査区南西側に広がるとみられる。平面形態は方形で、現状では南北2.3、東西2.1mを測り、北で69°東に傾く。床面は１号竪穴建物の構築時に削平されている。調査区南壁面に竈壁体を構成していたとみられる白色粘土層と焼土が露出しており、１号竪穴建物と同様、竈を東壁に持つと想定できる。南東壁側は竈の方に向かってやや落ちくぼんでいる。掘方床面から遺構は検出されなかった。遺物は取り上げられていない。

Ⅰ２区１号竪穴建物（図７）

Ⅰ区の西側、Ⅰ２区の南半で検出された。南西側で重複するⅠ２区２号竪穴建物より古い。平面形

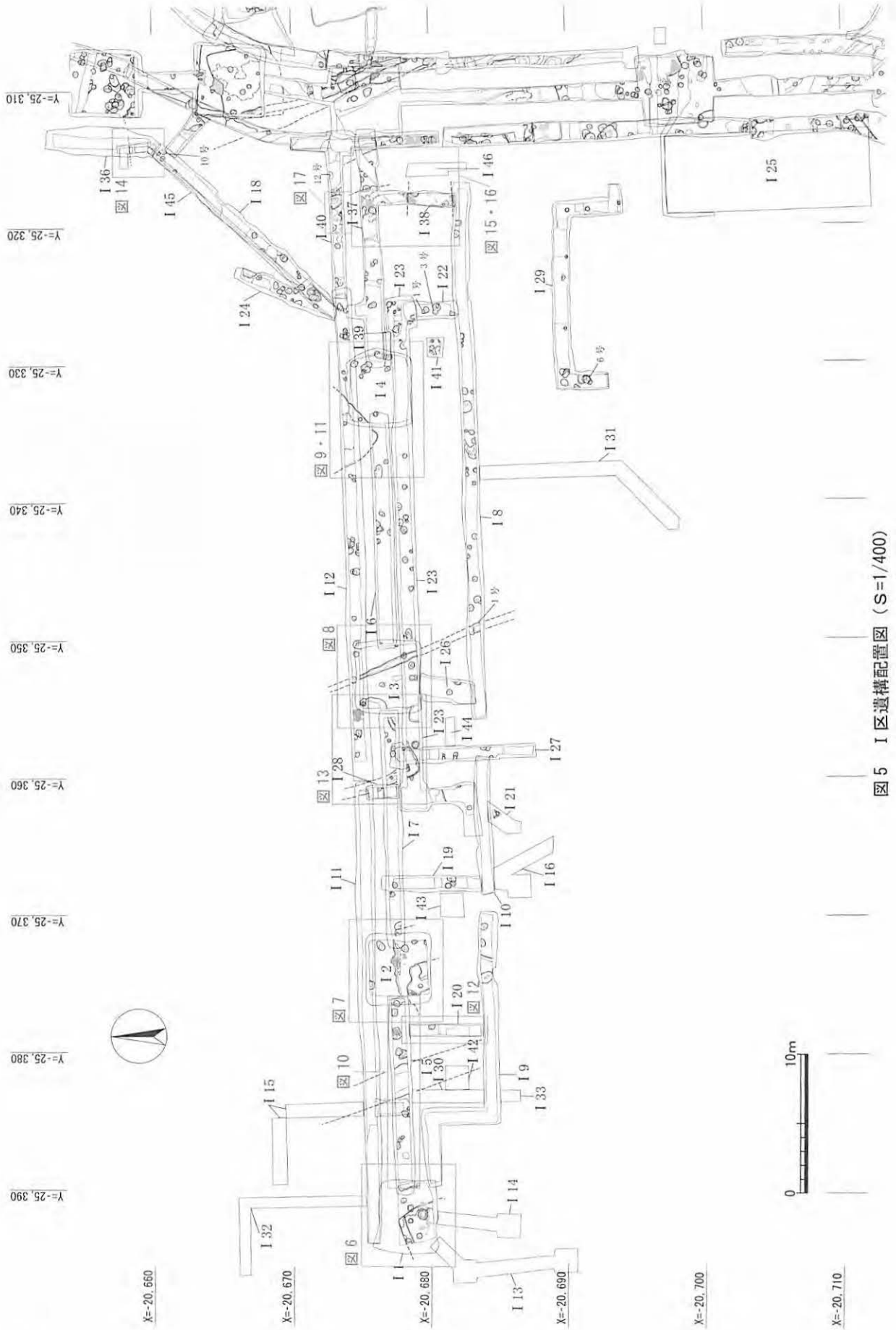
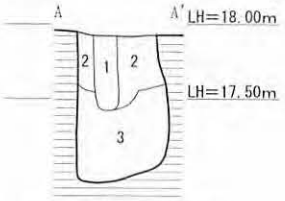


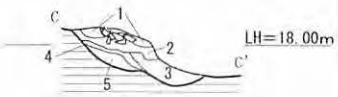
図5　Ⅰ区遺構配置図（S=1/400）



1層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
2層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
3層：黒褐色土(Hue10YR2/2)

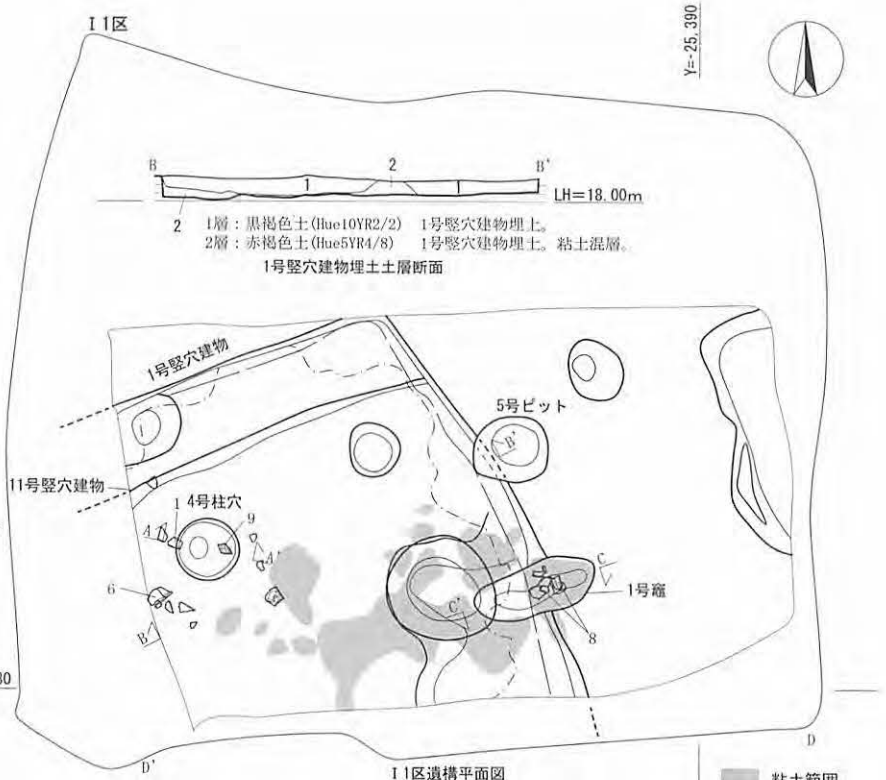
4号柱穴土層断面図

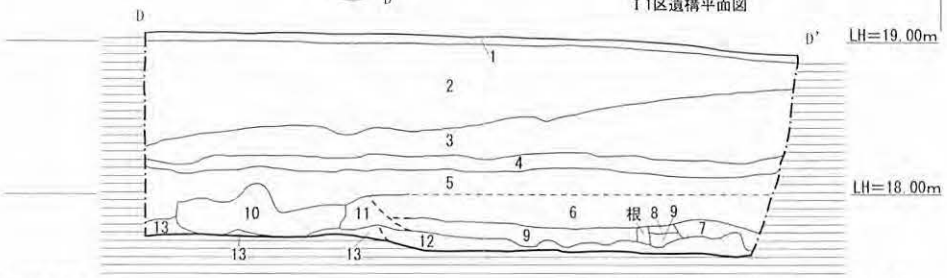
1号竪穴建物遺物出土状況立面図



1層：暗褐色土(Hue7.5YR3/3)
2層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
3層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
4層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
5層：暗褐色土(Hue10YR3/4)

1号竈土層断面図

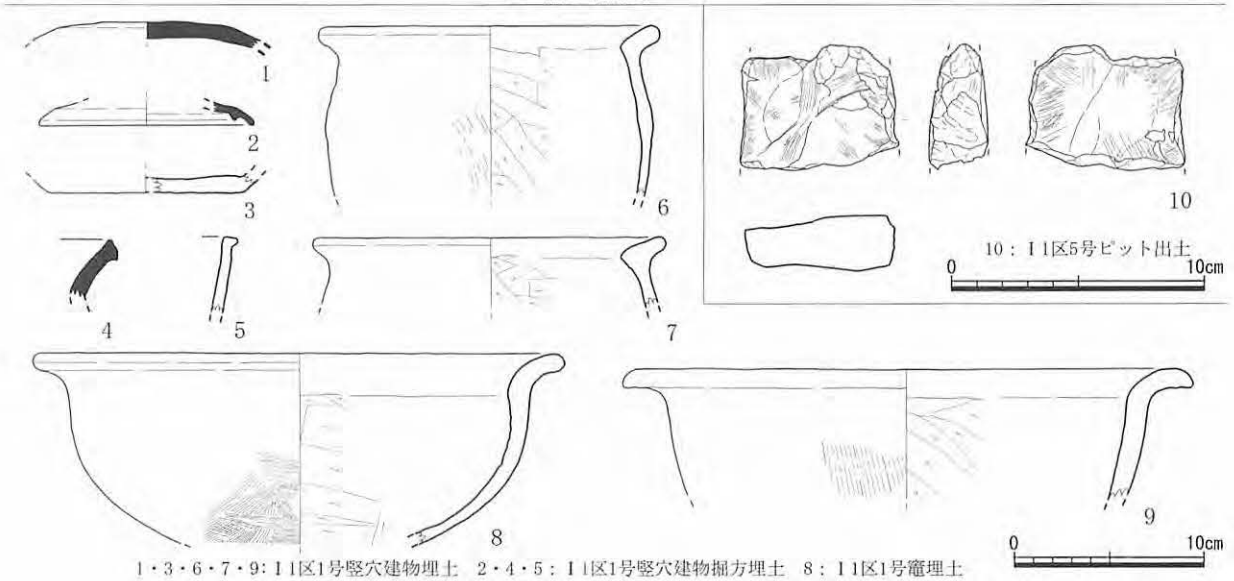




1層：アスファルト
2層：バラス
3層：黒褐色土(Hue7.5YR3/2)　暗褐色土層(3層)。
4層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　暗褐色土層(3層と4層の漸移層)。
5層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　黒褐色土層(4層)。
6層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　1号竪穴建物埋土。
7層：暗黒色土(Hue7.5YR3/2)　1号竪穴建物埋土。
8層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　1号竪穴建物埋土。
9層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　1号竪穴建物掘方埋土。上面が硬化面。
10層：明褐色土(Hue10YR4/6)(Hue5YR4/8)　11号竪穴建物竈粘土か。
11層：暗褐色土(Hue7.5YR4/4)　11号竪穴建物竈埋土か。
12層：明褐色土(Hue7.5YR4/4)　11号竪穴建物掘方埋土。
13層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層と褐色砂層（4層と5層の漸移層）。

Ⅰ区1南壁土層断面図

0　2m



1・3・6・7・9：Ⅰ1区1号竪穴建物埋土　2・4・5：Ⅰ1区1号竪穴建物掘方埋土　8：Ⅰ1区1号竈埋土

図6　Ⅰ1区1号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/3・S=1/4）

態は方形で、現状では南北2.4m、東西4.9mを測り、調査区南側にさらに広がるとみられる。明確な硬化面は検出されなかったが、床面と想定されるレベルは検出面から深さ10cmを測る。主軸はほぼ真北で、竈を北側壁面に持つ。竈には砂岩製の支脚が配されており、直方体の石材を40cm程の間隔を開けて東西に２つ直立させ、その上面よりやや高いレベルに直方体の石材が左右対称に２点平置きされた状態で検出された。さらにその外側にも２点の石材が配されており、袖石と思われるが、東側の石材は当時の位置を保っているかは不明である。竈埋土内からは土師器甕小片が出土している。また、竪穴建物埋土内からは土師器・須恵器片が出土している（図７－11・12）。本建物に関連するか不明だが、建物外側に４号、建物内の掘方底面で６号の各ピットを検出しており、土層の観察から柱穴と判断した。４号柱穴からは土師器坏破片や中型の土師器甕口縁部破片が数点出土している（図７－15～17）。

11は土師器坏である。12は土師器皿あるいは高坏の破片か。口縁部が緩やかに外反する。外面に赤彩が認められる。15は土師器坏の破片である。器壁が胴部から口縁部にかけて緩やかに立ち上がり、口唇部は細くすぼまる。16・17は土師器甕の口縁部破片である。いずれも頸部で強くすぼまり、口縁部は「く」の字状に屈曲する。胴部外面はハケ目、内面は削りによって調整されている。

Ｉ２区２号竪穴建物（図７）

Ｉ区の西側、Ｉ２区の南西隅に位置する。重複するＩ２区１号竪穴建物より新しい。平面形態は丸みをおびた凸字状で、現状では東西2.3m、南北2.2mを測り、調査区南西側にさらに広がるものとみられる。建物埋土は上下２層に分かれ、平面では確認できなかったが５層上面がやや硬化していることから床面と判断した。また、掘方底面では東側と西側がやや浅く、中央が窪む状況が確認できた。主軸は北で５°西に傾く。西側壁面近くに焼土混じりの粘土が集中する点、北側に掘方が広がることから、建物の北側壁面に竈を有していた可能性が高い。遺物として建物埋土中から須恵器・土師器片が出土している（図７－13・14）。

13は須恵器碗の底部破片である。貼り付け高台の底部は台形状で、胴部は強く立ち上がる。14は土師器甕の口縁部破片である。頸部で強く屈曲し、口縁部は「く」の字状を呈する。口唇部はナデ調整時に指でつままれ、稜を形成する。

Ｉ３区１号溝（図８）

Ｉ区の中央部、Ｉ３区の中央やや東よりに位置する。幅は28～55cm、長さは現状で4.6m、主軸は北で22°西に傾く。断面はＵ字形で深さ20cm程である。北側に隣接するＩ12区の21号ピットは、その位置から本遺構の北側延長部分の可能性が高い。また、Ｉ３区南側のＩ８区１号もピットとして掘削したが、この溝の南側延長部分である可能性が高い（図５）。さらに本遺構南端より南東方向42mに位置するⅣ８区56号溝は本遺構の南側延長線上にあり、同一の溝である可能性を想定しておきたい（図62）。遺物は埋土中から少量の土師器・須恵器片が出土している。

Ｉ３区２号土坑（図８）

Ｉ３区の北西に位置する。北側の６号ピットに切られており、現状で南北1.6m、東西0.8m、深さ60cmを測る。埋土からは須恵器小片２点と、土師器坏が出土している（図８－18）。

18は土師器坏あるいは高坏の身である。外面は下半部が多方向のヘラ削り、上半部が磨きによって調整され、口縁部はその境で直立する。内面は全体に磨きが施され、黒彩が認められる。

Ｉ３区４・５号柱穴（図８）

Ｉ３区の南東に位置する。直径45cmの平面円形の柱穴を北東－南西方向に２つ検出できた。５号柱穴は１号溝と重複し、より古い。検出面からの深さは５号が43cm、４号が32cm、両者心心間距離が94

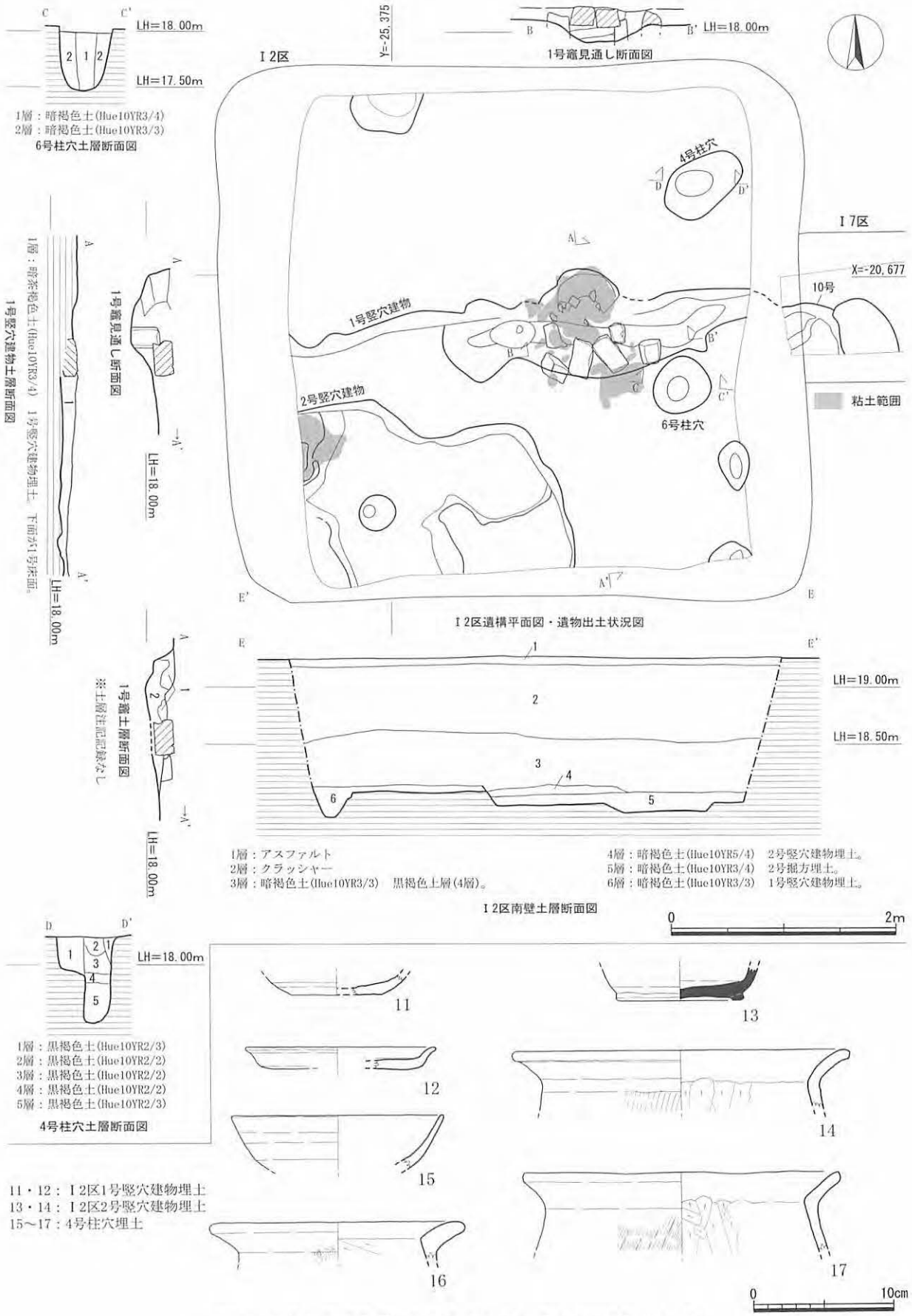
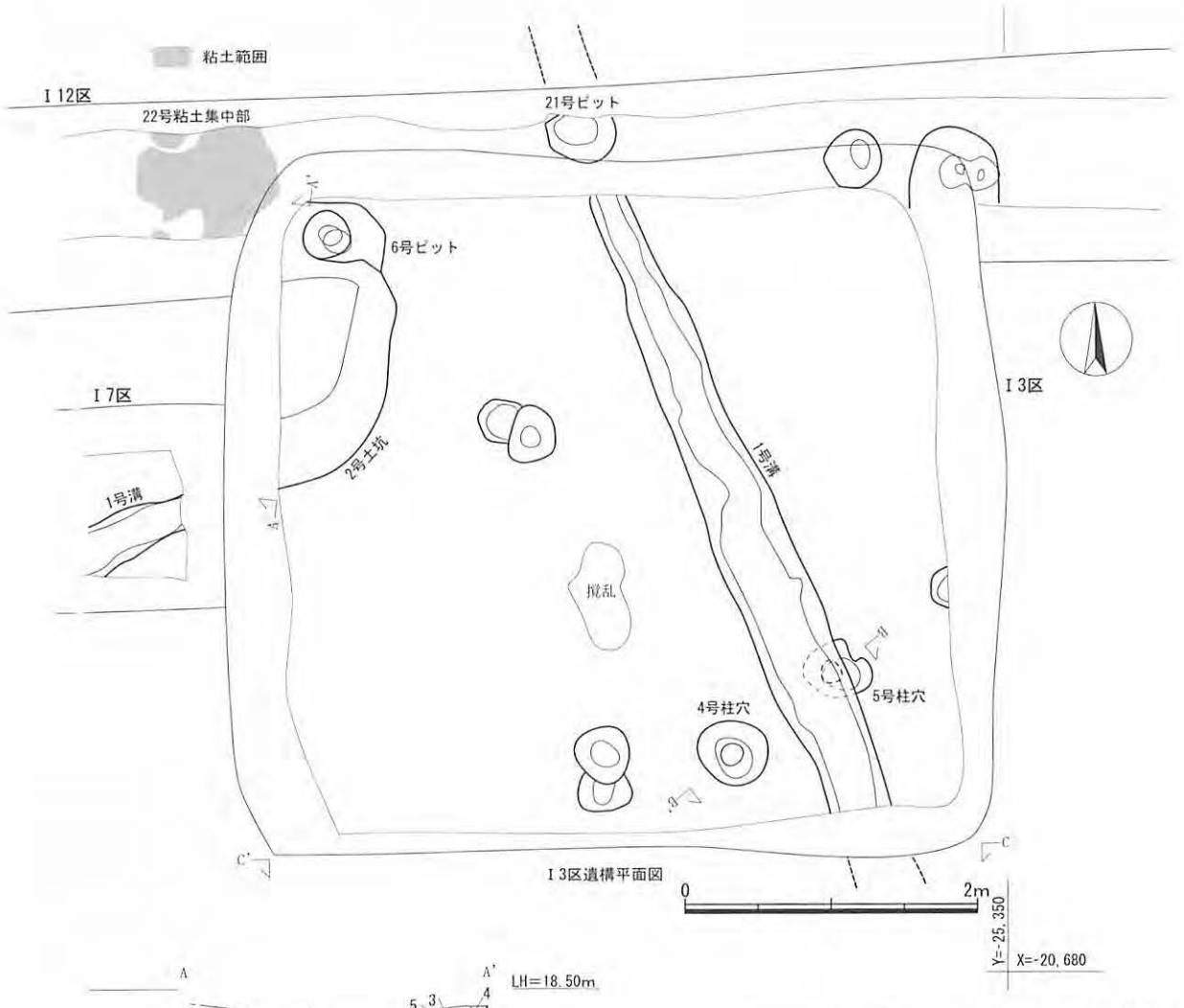
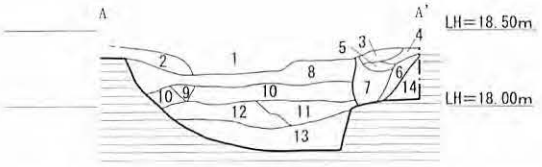


図７　I２区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

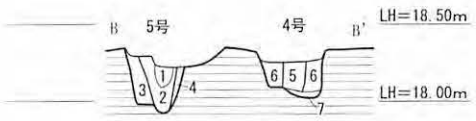


I 3区遺構平面図



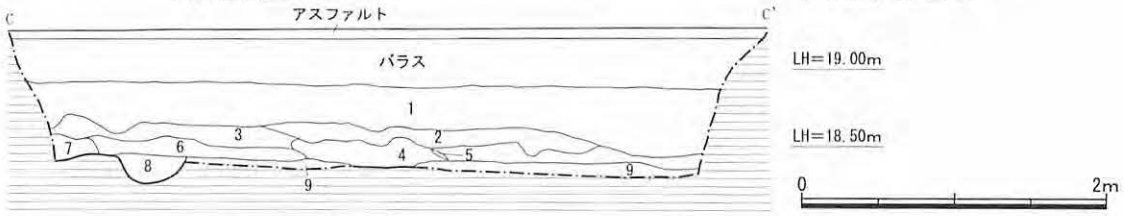
1層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　黒褐色土(4層)。古代の遺物包含層。
2層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
3層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　以下、6層まで6号ピット埋土。
4層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
5層：にぶい黄褐色土(Hue10YR5/4)
6層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
7層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　以下、13層まで2号土坑埋土。
8層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
9層：暗褐色土(Hue10YR3/4)
10層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
11層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
12層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
13層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
14層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　褐色砂層(5層)。

2号土坑土層断面図



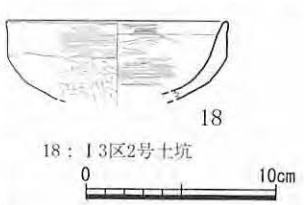
1層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　抜取り痕。
2層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　抜取り痕。
3層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
4層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
5層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　抜取り痕。
6層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
7層：黒褐色土(Hue10YR2/3)

4・5号柱穴土層断面図



1層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　暗褐色土層(3層)。
2層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　以下、7層まで黒褐色土層(4層)。
3層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
4層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
5層：暗褐色土(Hue10YR3/3)
6層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
7層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
8層：黒褐色土(Hue10YR2/2)　I号溝埋土。
9層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　黒褐色土層（4層）と褐色砂層（5層）の漸移層。

I 3区南壁土層断面図



18：I 3区2号土坑

図８　I 3 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

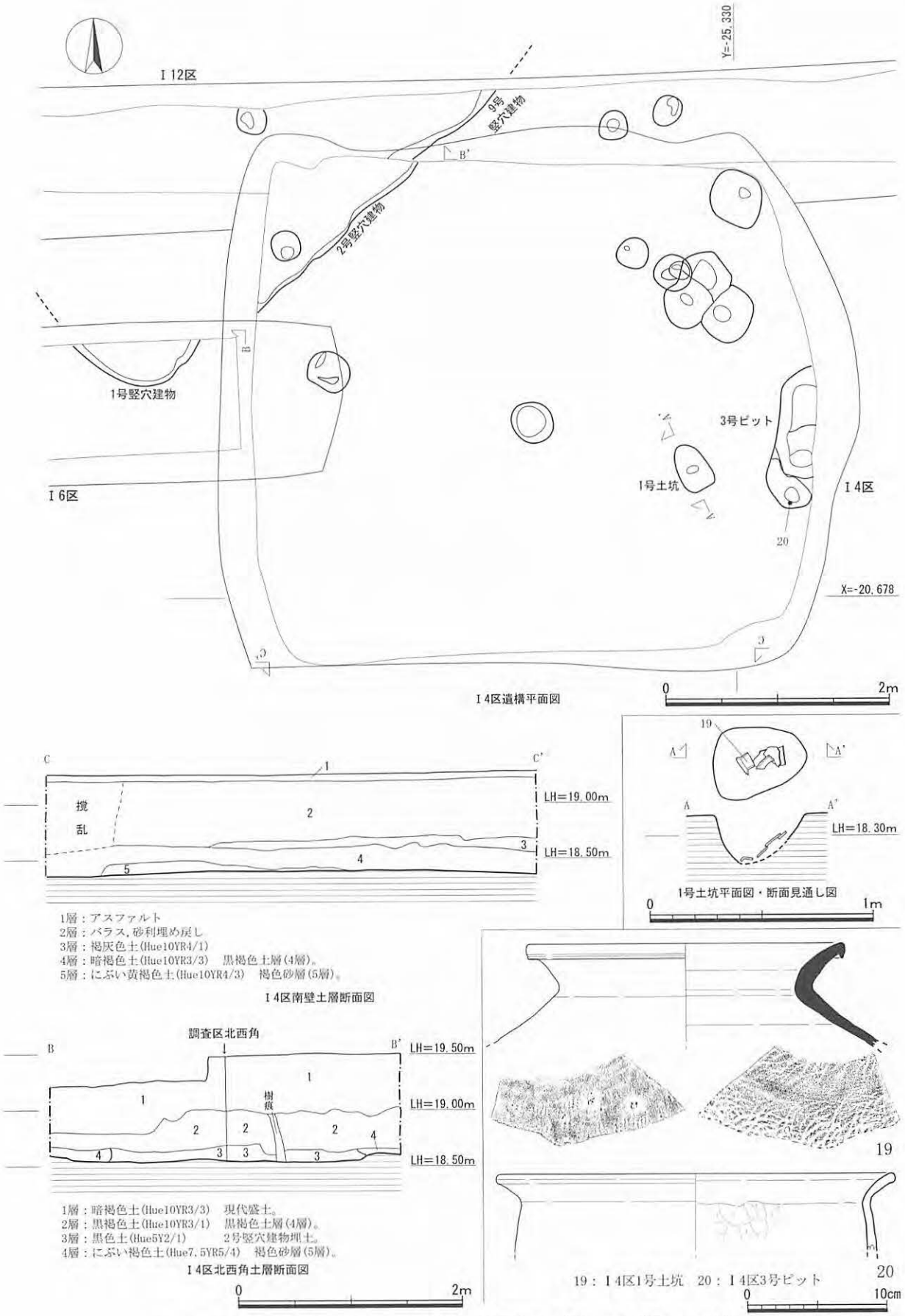


図９　Ｉ４区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4）

cmである。さらに北西壁付近で平行するピットを検出しているが関係性は不明である。遺物は出土していない。

Ⅰ４区１号土坑（図９）

Ⅰ区の中央やや東側、Ⅰ３区の南東で検出された。平面形態は不整楕円形を呈し、最大径42cm、深さ20cmを測る。土坑中央部分に大型の須恵器甕の破片がまとまって出土している（図９－19）。また、１号土坑の東側に位置する３号ピットからは大型の土師器甕口縁部片が出土している（図９－20）。

19は須恵器の甕の破片である。１号土坑からは甕口縁部の破片が４点得られたが、いずれも接合はしなかった。復元口径22.3cmの大型の甕で、頸部で強く外反し、口縁部端が折り曲げられ、断面三角形状の帯が巡る。内面には同心円当て具痕、外面には縦位の平行タタキ痕が顕著に残る。外面には濃緑色の自然釉が頸部から肩部にかけて掛かる。20は土師器甕の口縁部破片である。胴部は垂直に立ち上がり、頸部で「く」の字に強く外反する。内面胴部は削りと指オサエで、外面は横位ナデによって調整されている。

Ⅰ５区５号溝（図10）

Ⅰ区の西側、Ⅰ５区の中央部で検出された。幅は2.3m、長さは現状で１m、方位は北で15°西に傾く。断面形態は逆台形を呈し、深さ90cmである。北や南に隣接する調査区では古代の遺構を掘削する深度に達しなかったため、本遺構の延長部分については不明である。４層を剥いだ下位から検出されたため、古代の遺構と思われたが、埋土中からは須恵器壺と思われる底部片のほか（図10－21）、30点ほどの土師器・須恵器片、さらには瓦質土器の火鉢の口縁部破片（図10－22）などが出土しており、埋没時期は比較的新しいとみられる。

21は須恵器壺の底部破片である。底部は平底で、器壁は胴部に向けて強く屈曲して立ち上がる。底部内外面には濃緑色自然釉が薄く掛かっている。22は瓦質土器の火鉢の口縁部破片である。古代と思わしき遺構の上位から出土したため、本節で取り扱った。厚みのある口縁部が垂直に立ち上がり、口縁部外面には八弁の花文スタンプが横位におされている。中世末から江戸初期か。23は須恵器碗の底部破片である。貼り付け高台の断面形態は台形で、高台底部は面でなく線で床に接している。８世紀後半頃の資料か。24は須恵器坏の底部片である。底部は回転ヘラによる切り離しである。25は土師器甕の口縁部破片である。器形はやや膨らんだ胴部が頸部に向けてすぼまり、口縁部に向けて「く」の字状に強く外反する。口縁部内外面はヨコナデ、胴部は内面が斜位方向の削り、外面が縦方向のハケ目によって仕上げられている。

Ⅰ12区９号竪穴建物（図11）

Ⅰ区の中央やや西より、Ⅰ12区、Ⅰ６区西端（Ⅰ６区１号竪穴建物）、Ⅰ４区北西隅（Ⅰ４区２号竪穴建物）で検出された。平面形態は隅丸方形で、現状では3.3×4.3mを測り、Ⅰ12区北側にさらに広がるとみられる。検出面から深さ25cm、中央部分2.1mの範囲に硬化面が認められ、床面と考えられる。主軸は北で50°東に傾く。遺物として建物埋土中から土師器片が少量出土している。

Ⅰ区12区22号粘土集中部（図11）

Ⅰ区の中央付近、Ⅰ12区西端に位置する。現状で東西１m、南北40cmの範囲に広がる。粘土集中部の西側からは、長さ30cm程の支脚が２つ並んだ状態で検出されており、こちらが焚口の竈であったと推測される。袖など竈の壁体はほとんど残存しておらず、廃棄時に破壊を受けたと思われる。粘土集中部周囲で竪穴建物の平面プランを検出することはできなかったが、調査区が矮小なため、南側に広がる竪穴建物の埋土を４層（黒褐色土層）と共に掘削してしまった可能性がある。粘土集中部埋土からは土師器の鍋や甕が出土している（図11－26・27）。

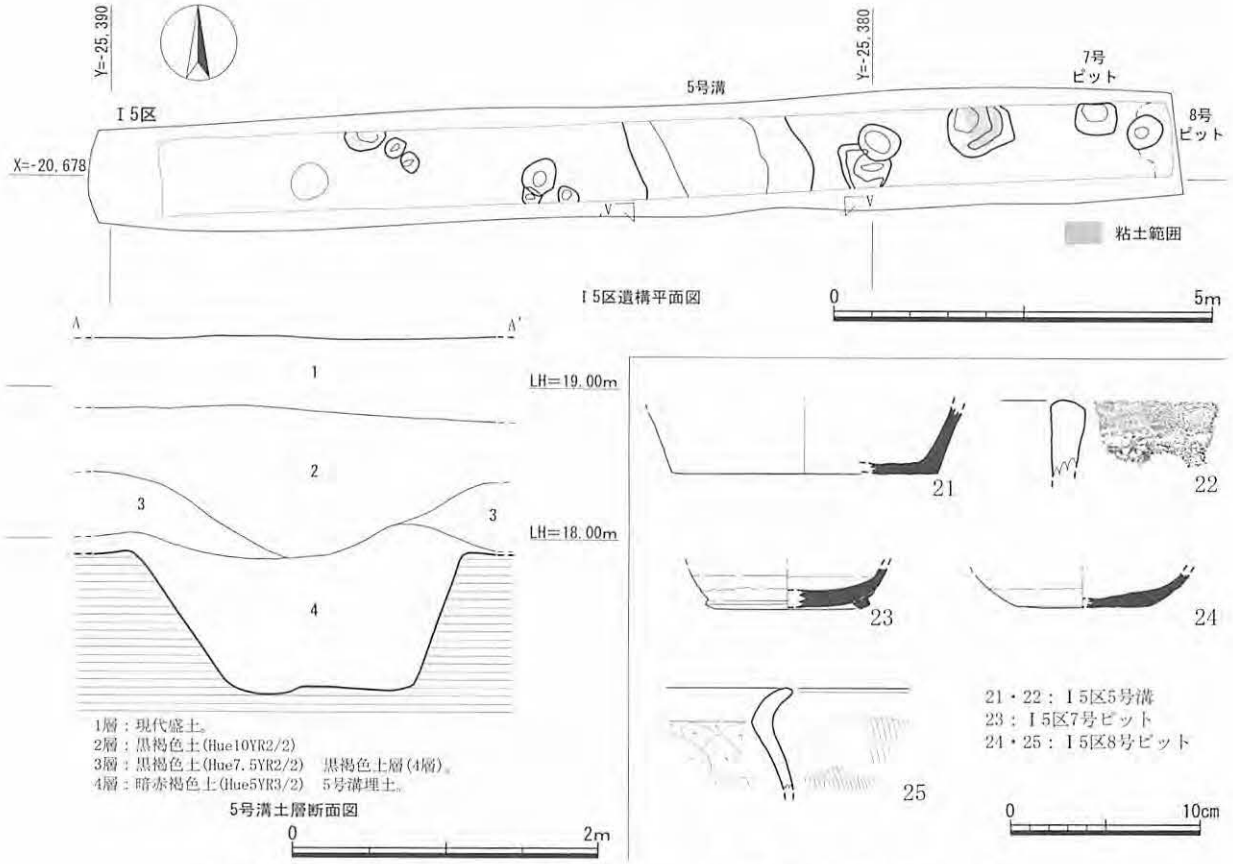


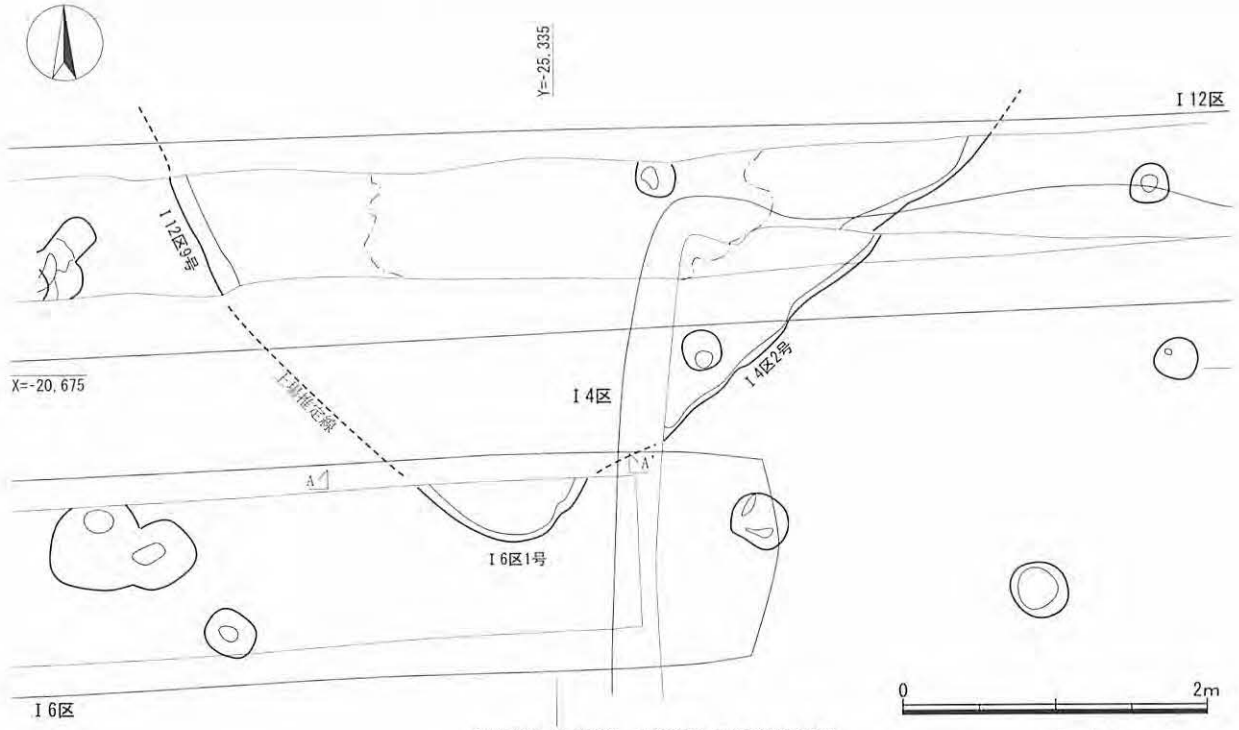
図 10　Ⅰ5区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/100・S=1/50・S=1/4）

26は土師器鍋の口縁部から胴部の破片である。器壁は底部から口縁部に向けて緩く立ち上がり、頸部で強く外反して、広い口径を有する。内面は削り、外面は多方向からのハケ目によって調整されている。外面全体にはススが付着している。27は土師器甕の胴部から口縁部破片である。器壁はやや張り出した胴部が頸部付近ですぼまり、口縁部がやや強く外反している。外面は回転ナデ、内面は口縁部が回転ナデ、胴部は横位の削りによって調整されている。

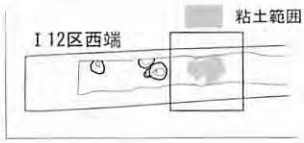
Ⅰ20区1号竪穴建物（図12）

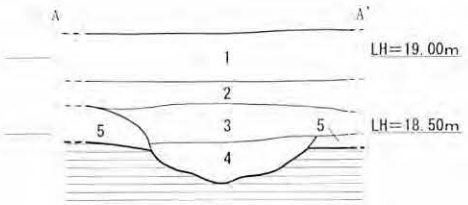
Ⅰ区の西側、Ⅰ20区で検出された。本調査区では当初、4層（黒褐色土層）を5層（褐色砂層）近くまで一括して掘削した。しかし、土師器や須恵器がまとまって出土したため、遺構内埋土を掘削していることが想定された。そのため調査区西壁土層で遺構の有無を確認したところ、調査区全体に竪穴建物が広がると判断した。土層から復元すると、現状で南北4.5m、東西0.8mを測り、東西調査区外に広がるものとみられる。検出面から深さ18cmで床面と思わしき硬化面が広がっていた。4層で取り上げた須恵器、土師器のいくらかは本遺構に伴うものと考えられる（図12－28～31）。建物埋土中からの遺物として土師器甕や土師器、須恵器小片が出土している（図12－32）。

28は須恵器蓋の破片である。器高はやや高く、頂部は破損しているが上部につまみが付くものとみられる。29は須恵器碗の底部破片である。高台の断面形態は四角形状で、床と面で接する。外面の一部に自然釉が掛かっている。30は土師器の鉢の口縁部破片か。31は土師器鍋の破片資料である。器壁は底部から口縁部に向けて丸みをおびながら緩やかに広がり、頸部で強く屈曲、口縁部は「く」の字



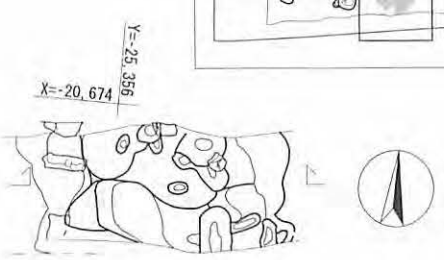
I 12区9号（I 6区1号・I 4区2号）竪穴建物平面図

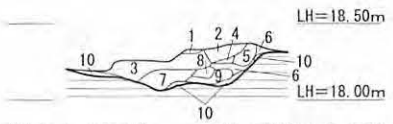




1層：にぶい黄橙色土(Hue10YR6/4)
2層：にぶい黄褐色土(Hue10YR4/3)
3層：黒褐色土(Hue7.5YR3/2)
4層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　I号竪穴建物埋土。
5層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　褐色砂層（5層）の漸移層。

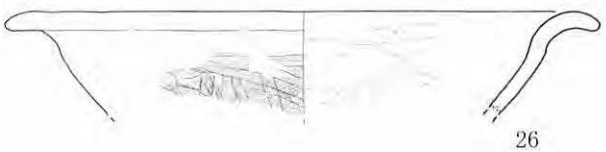
I 6区1号竪穴建物土層断面図

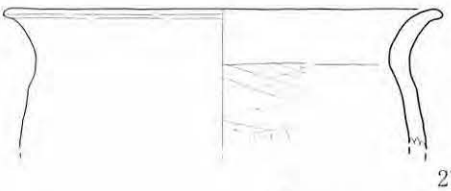




1層：褐色土(Hue10YR4/4)　6層：暗褐色土(Hue7.5YR3/4)
2層：暗褐色土(Hue7.5YR3/4)　7層：暗褐色土(Hue7.5YR3/4)
3層：褐色土(Hue7.5YR4/4)　8層：暗褐色土(Hue7.5YR3/4)
4層：暗褐色土(Hue7.5YR3/4)　9層：暗褐色土(Hue7.5YR3/3)
5層：黄褐色土(Hue10YR5/6)　10層：褐色土(Hue7.5YR4/4)

I 12区22号粘土集中部掘方平面図・土層断面図





26・27：I 12区22号粘土集中部

図 11　I 12 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

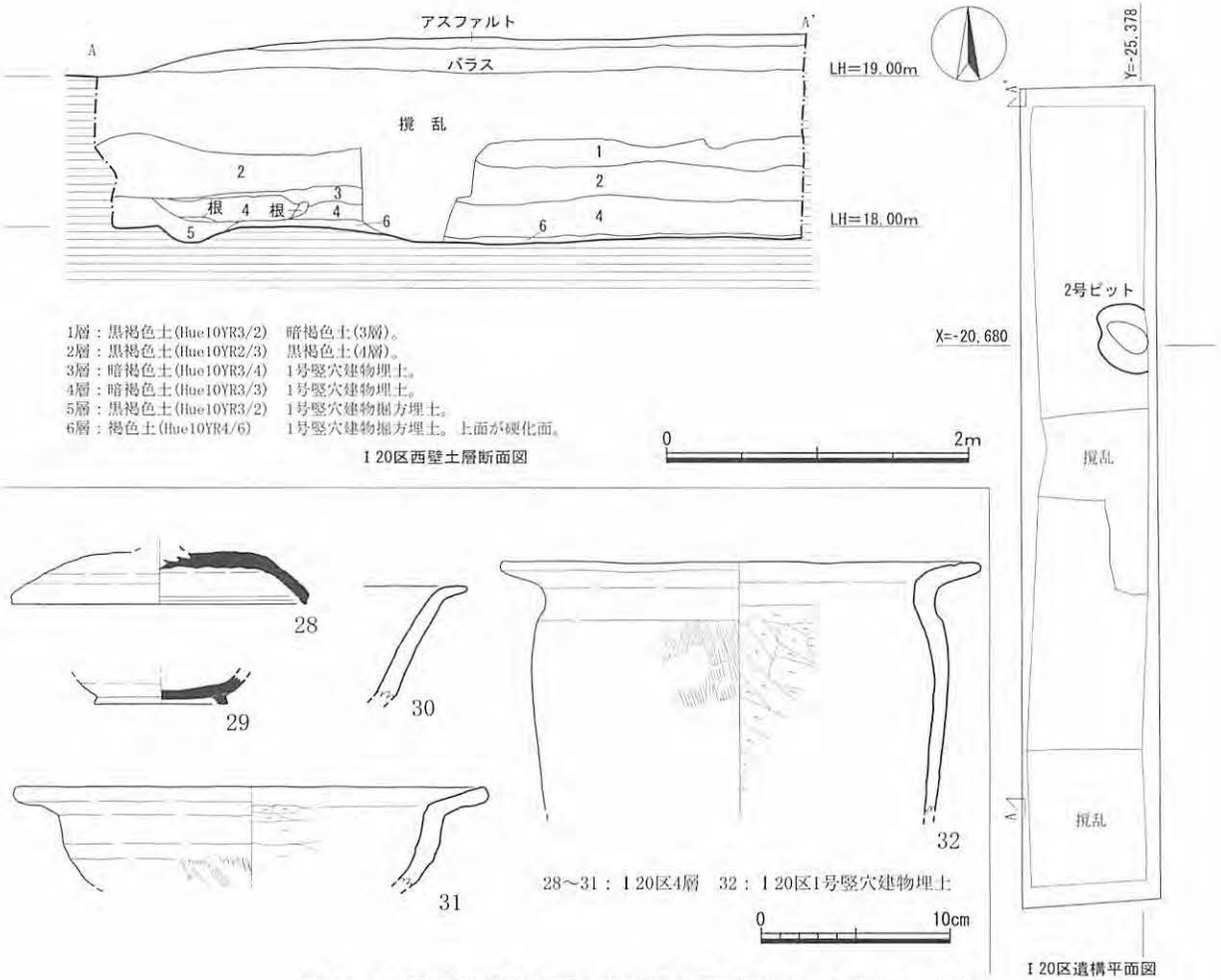


図 12　I 20 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

状を呈する。外面胴部下半はハケ目、内面頸部より下位は横位のハケ目で、それ以外は回転ナデにより器面調整されている。32は土師器甕の口縁部から胴部にかけての破片である。器壁は胴部が頸部に向けて微弱に広がりながら立ち上がり、頸部ですぼまって口縁部が強く外反する。胴部外面を縦位のハケ目、胴部内面を斜位の削りで調整し、口縁部付近は回転ナデによって整えられている。外面には部分的黒斑が目立つ。

I 23区４号溝（図13）

Ｉ区の中央部、I 23区西側、Ｉ７区東側（Ｉ７区１・６号溝）、I 11区東端（I 11区１号溝）、I 28区西側（I 28区１・２号ピット）で検出された。I 28区では１・２号ピットとして掘削したが、実際はその配置から溝の一部である可能性が高い。西側では、北で23°西に傾きながらI 11区北側へ延びる。I 11区からI 23区にかけて、現状で幅75～80cm、長さ４m、深さ25cmを測る。I 23区において溝は東北東に向け90°屈曲し、Ｉ７区まで幅を30cm程に狭めながら延びていく。東端ではＩ３区２号土坑に切られて消失する。本調査ではＬ字型に屈曲した区画溝の南西部分を検出したにすぎず、その全容は不明である。I 23区では検出面から深さ10cm程度で全体に硬化面を検出したが、他の調査区では確認できなかった。遺物は土師器や須恵器の小破片が出土する。検出面や遺物の内容から古代の遺構と考えられる。

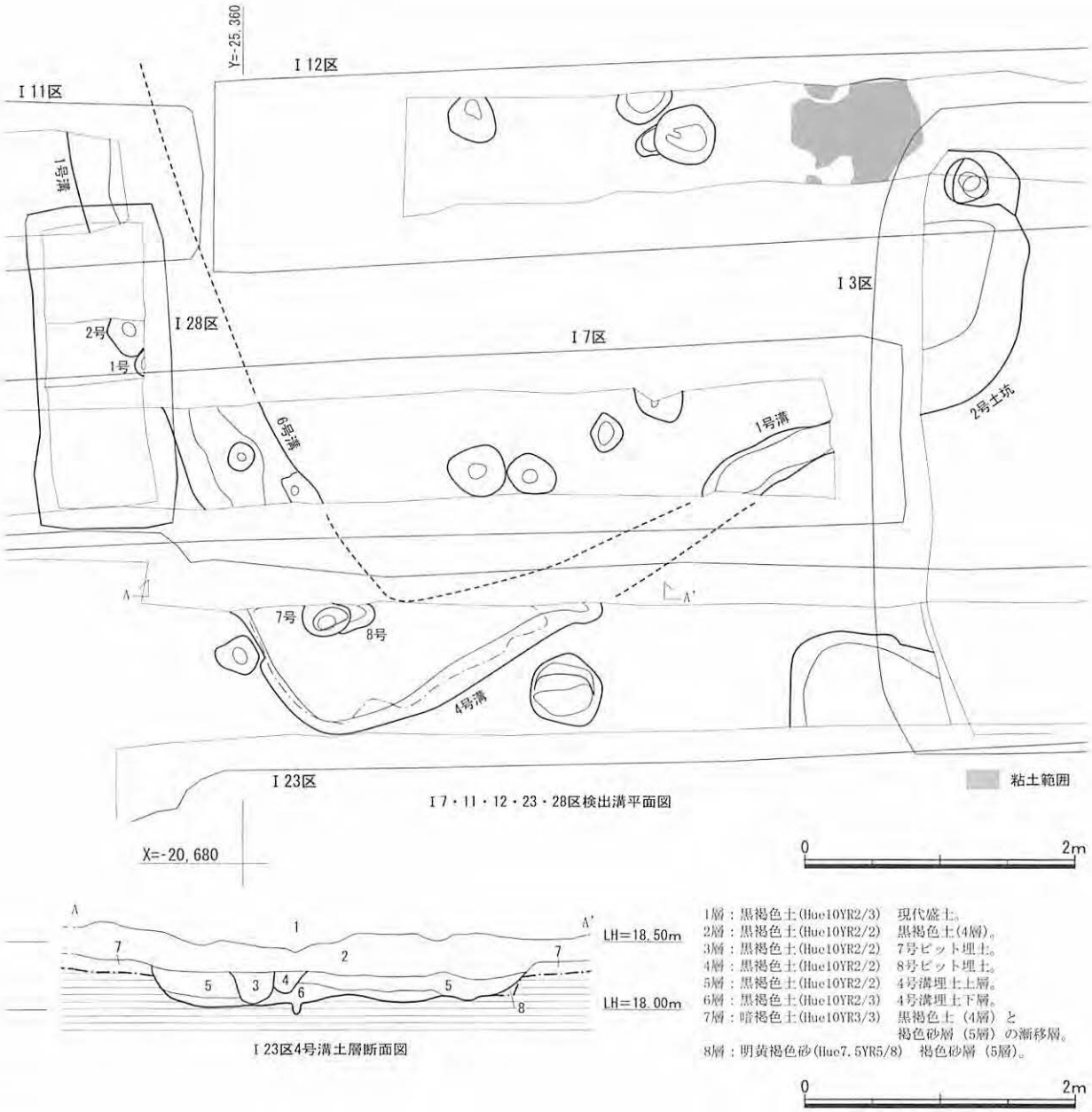


図13　I 23区4号溝実測図（S=1/50）

I 36区 1 号竪穴建物（図14）

I 区の東端、I 36区の南側で検出された。現状で東西0.6m、南北1.95mを測り、調査区外に広がるものとみられる。中央部分は電気配管敷設による撹乱で90cmの幅が削平を受けている。検出面から床面までの深さは25cmで硬化面を南側に確認することができた。貼床の厚さは10cmである。東側に隣接するⅡ４－３区の34号竈との位置関係から、あるいは同一遺構の可能性もあるが、両者の主軸がややずれることと、調査範囲が部分的であることから明確ではない。建物埋土中から遺物は出土していないが、４層として取り上げた遺物中には土師器、須恵器の小破片が出土している。

I 37区2号竪穴建物（図15）

I 区の東端、I 37区の東側、I 38区北側で検出された。現状で東西3.5m、南北2.3mを測り、北側

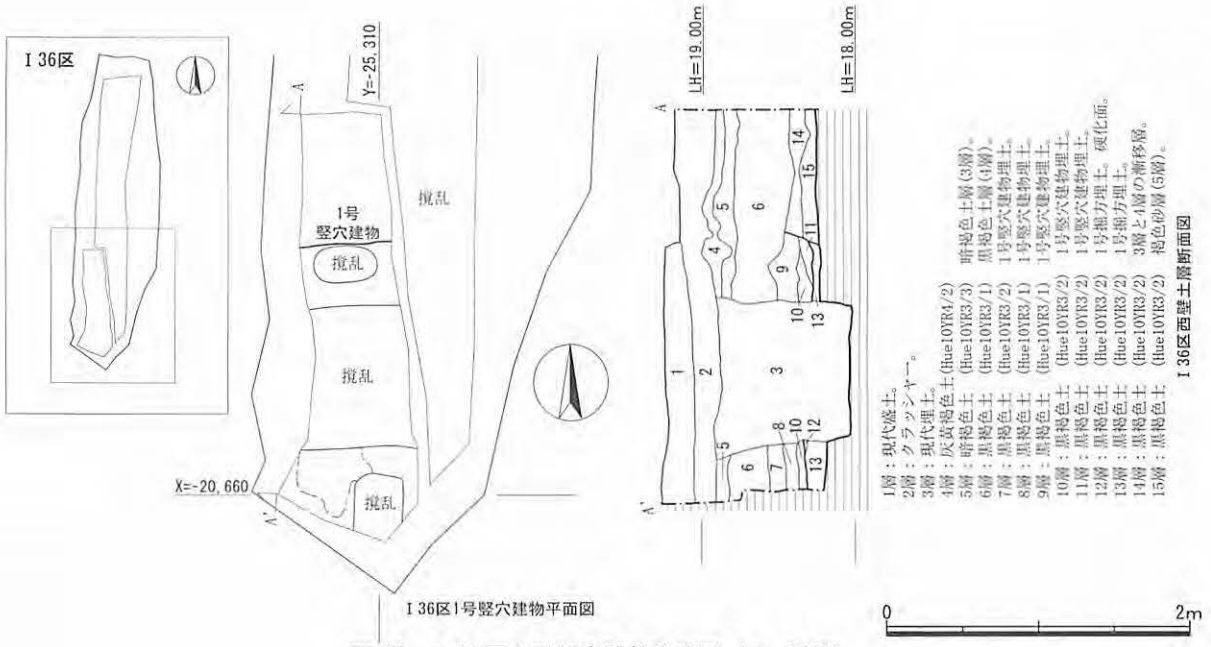


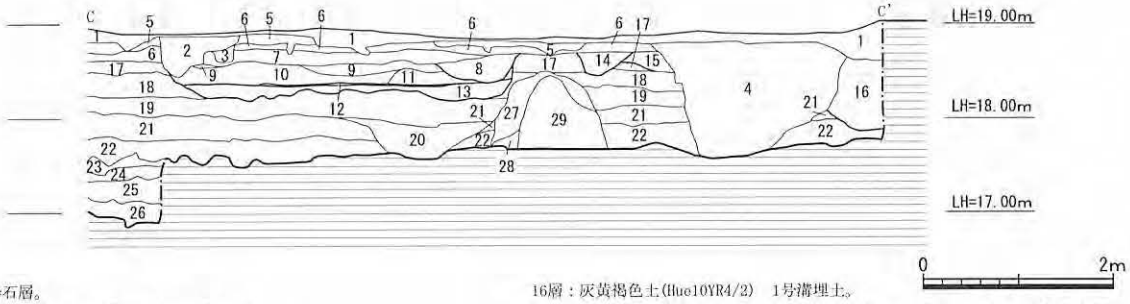
図14　Ⅰ36区1号竪穴建物実測図（S=1/50）

延長部は調査区外に広がる。南側はヒューム管埋設のための撹乱により破壊を受けている。西側は近代の撹乱によって上場が削平されていたが、下場は残存しており、土層でも立ち上がりを確認できた。検出面から床面までの深さは36cmで、硬化面は建物中央やや東よりに2.3×1.4mの範囲でアメーバ状に広がる。竈は検出されなかったが、埋土内からは灰白色の粘土が硬化面上で検出され、これらが竈に関連するものとみられる。調査区北側のⅠ40区では後述する8号竈が検出されており、位置関係から本遺構に伴う竈の可能性がある。貼床の厚さは15cm前後で、建物中央部のレベルがやや高く、壁際では低い。土層の確認により、19号と27号が2号竪穴建物に伴う柱穴と判断した。建物埋土や掘方埋土からは土師器坏や土師器甕の破片が出土している（図15－33・36）。Ⅰ37区の4層（黒褐色土層）中からは黒色土器や須恵器複合口縁壺ほか、土師器・須恵器破片が出土している（図15－34・35）。

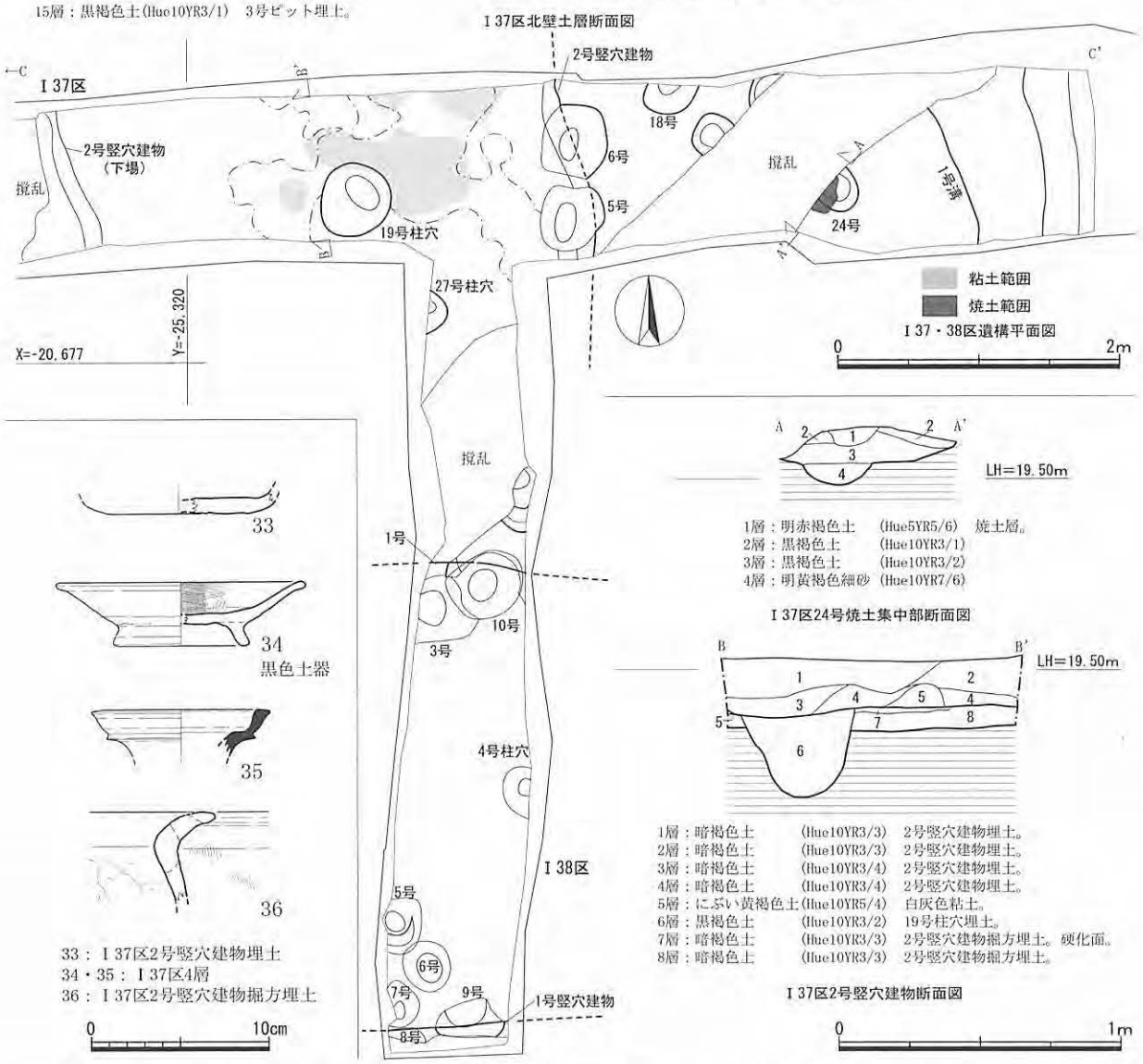
33は土師器坏の破片である。底部は平坦で緩やかに器壁が立ち上がる。全面に赤彩が認められる。34は黒色土器の碗である。高台から口縁部にかけて器壁が朝顔状に緩く立ち上がる。口縁部端は丸く整えられて稜を有する。外面は回転ナデ、内面は細かい磨きによって調整され、内面は黒色処理されている。8世紀末から9世紀前半頃の資料か。35は須恵器の複合口縁壺の口縁部破片である。36は土師器甕の口縁部破片である。

Ⅰ38区1号竪穴建物（図15・16）

Ⅰ区の東端、Ⅰ38区の南側で検出された。現状で南北3.3m、東西1.0mを測り、遺構の東西は調査区外に広がる。検出面から床面までの深さは30cmで、北側はやや硬化するものの、あまり明確ではなく、建物南側全体に広がる。また建物南西側では、75×50cmの範囲に白色粘土が硬化面上にのっていた。建物北側に竈が設置されており、その位置から主軸はおおむね方位に沿うことが分かる。竈の残存状況は悪く、また植物根による撹乱が著しいため、壁体と埋土との区別も困難であった。竈は西側壁面が一部残存している状況と考えられ、東側は調査区外に広がる。竈の周囲には焼土の混じる灰白色粘土が広範囲に散乱しており、東側壁面付近においては砂岩製礫が3点出土している。いずれも風化による表面の剥落が著しく、床面に接しているが竈の支脚として現位置を保っていない。燃焼面は

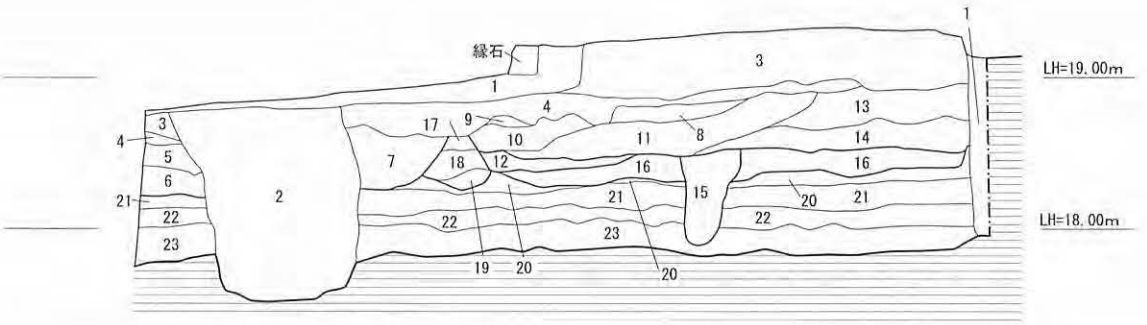


1層：砕石層。
2層：灰黄褐色土(Hue10YR4/2)　現代埋土。
3層：にぶい黄褐色土(Hue10YR4/3)　現代埋土。
4層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　現代埋土。
5層：黒褐色土(Hue7.5YR3/1)　暗褐色土（3層）。近世・近代遺物包含層。
6層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　黒褐色土（4層）。古代遺物包含層。
7層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　2号竪穴建物埋土。
8層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　2号竪穴建物埋土。
9層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　2号竪穴建物埋土。
10層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　2号竪穴建物埋土。
11層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　2号竪穴建物埋土。
12層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　2号竪穴建物掘方埋土。硬化面。
13層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　2号竪穴建物掘方埋土。
14層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　18号ピット埋土。
15層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号ピット埋土。
16層：灰黄褐色土(Hue10YR4/2)　1号溝埋土。
17層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層（4層）と褐色砂層（5層）の漸移層。
18層：明黄褐色砂(Hue7.5YR5/8)　赤褐色砂層（5a層）。上面が古代遺構検出面。
19層：明黄褐色砂(Hue10YR6/6)　赤褐色砂層（5a層）。
20層：にぶい黄色砂(Hue2.5Y6/4)　縄文時代遺構、あるいは落ち込みか。
21層：にぶい黄色砂(Hue2.5Y6/4)　緑褐色砂層（5b層）。
22層：褐色粘質土(Hue10YR6/4)　褐色粘質土層（5b層）。
23層：橙色粘質土(Hue7.5YR6/6)　灰オリーブ褐色砂層（11層）。
24層：にぶい黄褐色土(Hue10YR5/4)　灰オリーブ褐色砂層（11層）。
25層：オリーブ灰色砂(Hue2.5Y6/1)　灰オリーブ褐色砂層（11層）。
26層：褐色粘質土(Hue7.5YR4/4)　灰オリーブ褐色砂層（11層）。
27層：にぶい黄褐色土(Hue10YR5/4)　倒木痕。
28層：にぶい褐色色粘質土(Hue10YR5/3)　倒木痕。
29層：褐色粘質土(Hue10YR4/4)　倒木痕。

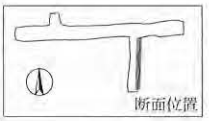


33：I 37区2号竪穴建物埋土
34・35：I 37区4層
36：I 37区2号竪穴建物掘方埋土

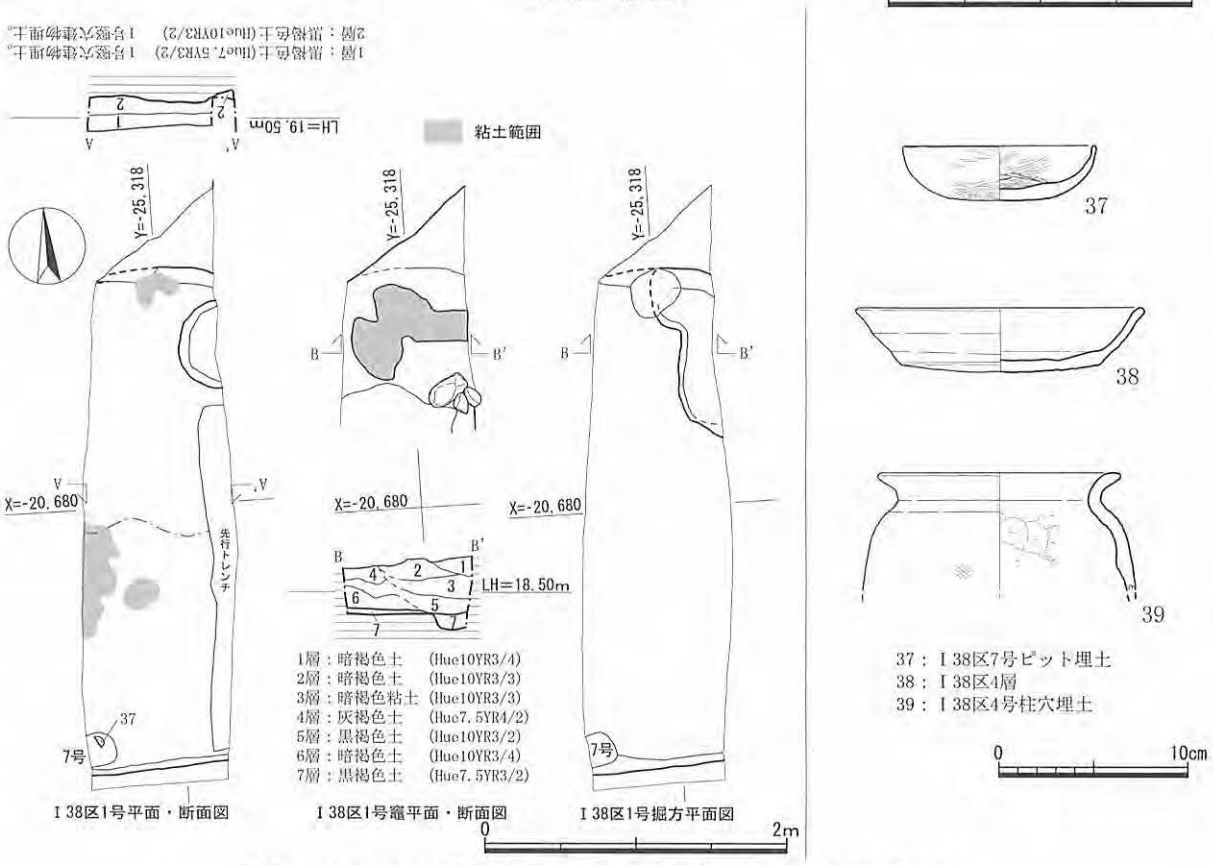
図15　I 37・38区遺構実測図と出土遺物実測図1（S=1/80・S=1/50・S=1/4）



1層：砕石
2層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　現代土坑埋土
3層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　現代盛土。
4層：黒褐色土(Hue7.5YR3/1)　暗褐色土。近世・近代遺物包含層。
5層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　古代遺構埋土。
6層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　古代遺構埋土。
7層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　2号ピット埋土。
8層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　1号竪穴建物埋土。
9層：灰褐色土(Hue7.5YR4/2)　1号竪穴建物埋土。
10層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　1号竪穴建物埋土。
11層：黒褐色土(Hue7.5YR3/2)　1号竪穴建物埋土。
12層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　1号竪穴建物埋土。
13層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　1号竪穴建物埋土。
14層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　1号竪穴建物埋土。
15層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4号柱穴埋土。
16層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　1号竪穴建物掘方埋土。上面が硬化面。
17層：黒褐色土(Hue7.5YR3/2)　柱穴埋土。
18層：黒褐色土(Hue7.5YR3/2)　柱穴埋土。
19層：明褐色砂(Hue10YR5/8)　柱穴埋土。
20層：明黄褐色砂(Hue7.5YR5/8)　赤褐色砂層（5a層）。上面が古代遺構検出面。
21層：明黄褐色砂(Hue10YR6/6)　赤褐色砂層（5a層）。
22層：にぶい黄色砂(Hue2.5YR6/4)　緑褐色砂層（5b層）。
23層：褐色砂土(Hue10YR6/4)　緑褐色砂層（5b層）。



Ⅰ38区東壁土層断面図



Ⅰ38区1号平面・断面図　Ⅰ38区1号竈平面・断面図　Ⅰ38区1号掘方平面図

37：Ⅰ38区7号ピット埋土
38：Ⅰ38区4層
39：Ⅰ38区4号柱穴埋土

図16　Ⅰ37・38区遺構実測図と出土遺物実測図2（S=1/50・S=1/4）

わずかな窪みを確認できた。床面は焼土化せず、支脚は確認できない。建物埋土中から土師器甕の小破片が出土している（図16－39）。また、直径35cm、深さ60cmの４号ピットを掘方底面において検出したが、断面で確認したところ硬化面上からの掘り込みであり、本遺構に伴う柱穴と判断した。この

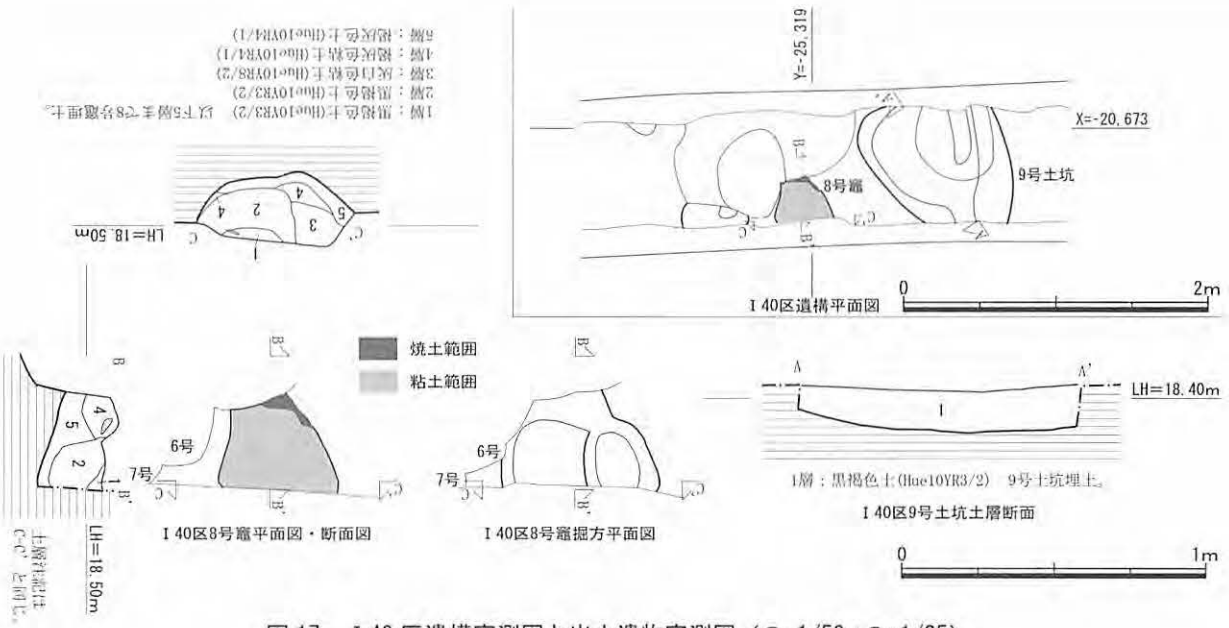


図 17　I 40 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25）

ほか、１号竪穴建物と重複し、より新しい７号ピットより土師器坏が出土している（図16－37）。

37は土師器坏である。底部形態は平底で、器壁は口縁部に向かって緩やかに立ち上がる。全面が細かい斜位あるいは横位の磨きによって調整されており、やや風化しているが赤彩を施しているとみられる。38は４層出土の土師器坏である。底部は中央部がやや丸みをおびており、器壁は口縁部に向かって緩やかに立ち上がる。全面がナデによって調整されており、内面から胴部外面にかけて赤彩が施される。８世紀後半頃の資料か。39は土師器甕の破片である。器形は、張り出した胴部が頸部で強くすぼまり、口縁部に向けて強く外反する。胴部外面をハケ目で、内面を削りで調整している。

I 40区８号竈（図17）

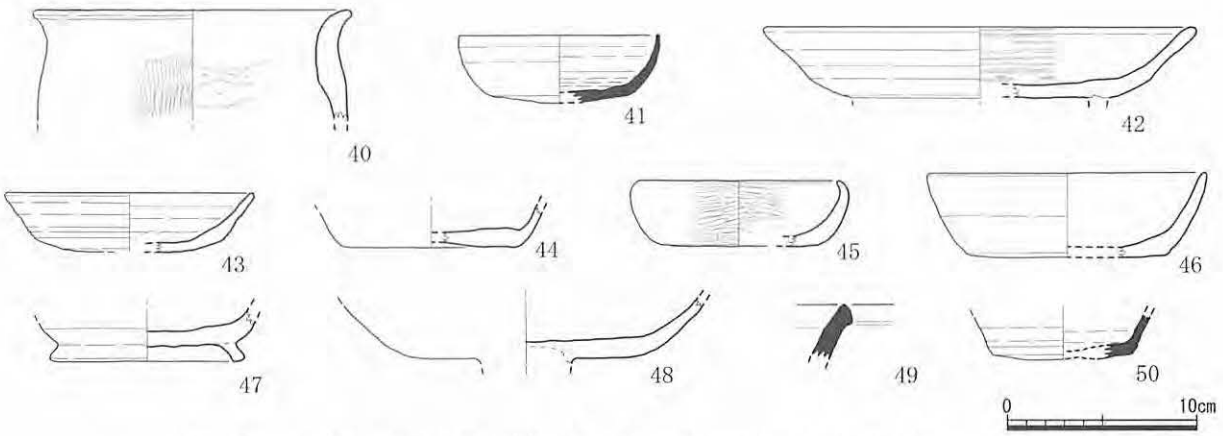
Ｉ区東端、Ｉ40区の中央部で検出された。北側は撹乱によって破壊を受けているが、現状で南北0.3m、東西0.55mの煙道部を確認した。本遺構南側には先述したＩ37区２号竪穴建物が位置しており、その位置関係から同一遺構である可能性がある。壁面は東側において灰色白粘土が顕著で西側ではほぼ残らず、床面に若干認められる。燃焼面の焼土化は確認できない。掘方底面は検出面から深さ32cmで、東側が一段深くなる。遺物は埋土中から土師器小片が数点出土した。

I 40区９号土坑（図17）

Ｉ40区中央やや東側で検出された。現状で南北0.85m、東西0.85mを確認した。北側および南側は調査区外に広がり、平面形は不整楕円形を呈する。検出面からの深さは15cm程である。埋土中より土師器片が少量出土した。

Ｉ区出土遺物（図18）

この他、各調査区のピット埋土や４層中から古代の土師器、須恵器が出土している。各遺構の位置は図６を参照されたい。40は土師器甕の口縁部から胴部にかけての破片である。器形は頸部でややすぼまり、口縁部で緩く外反する。41は須恵器坏の破片資料である。42は土師器の盤と考えられる。復元口径22.4cmと大きく、内面は回転ヘラ磨きで調整される。底部には高台の張り付いた痕跡が残る。43は土師器の坏である。全面に赤彩が施されている。44～46は土師器の坏である。45は両面を横位の磨きによって器面調整している。47は土師器の碗である。48は高坏の身の破片資料である。49は須恵



40：Ⅰ18区10号ピット　41：Ⅰ18区黒褐色土層（4層）　42：Ⅰ22区3号ピット　43：Ⅰ22区1号ピット
44～48：Ⅰ23区黒褐色土層（4層）　49：Ⅰ29区６号ピット　50：Ⅰ40区12号ピット

図18　Ⅰ区出土遺物実測図（S=1/4）

器の壺あるいは甕の口縁部破片である。50は須恵器坏の底部破片である。

②　Ⅱ区（図19）

Ⅱ区は理学部１・２号館、自然科学研究科・理学部総合研究実験棟の東、北側に位置し、南北102m、東西87mの範囲に相当する。多くが幅１～1.5mの狭い水道・ガス配管施工に関連するもので、他にU字側溝、浸透井戸、検水槽などの施工に係るものなど計52区ある。本調査区は1310調査地点の中で最も白川から離れた位置にあり、調査地点の北にそびえる立田山により近い。そのため、地表面も標高19.3～19.8m程と他の調査区に比べると数十cm高くなっている。古代の遺構の調査を実施したのは24カ所である。古代の遺物包含層である４層は地表下0.1～0.6m（標高18.6～19.5m）で検出されている。４層（黒褐色土層）掘削の後、Ⅱ区南側では５層（褐色土層）、Ⅱ区北側では12層（暗褐色粘質土層）の上面で遺構の平面プランを検出した。遺構の検出レベルは標高18.4～19.1mで、Ⅱ区の北側ほど高くなる傾向がある。Ⅱ区北側では、当初、遺構埋土と12層の判別が困難で、遺構の検出に手間取った。また、Ⅱ区北側は他の地区と比較して、古代の遺構密集度が低い。この点は本調査区西側の9810調査地点（小畑編2009）において20基以上の竪穴建物が発見された点とは対称的といえよう。総括で記述するように、本調査地点では竪穴建物の分布の偏重が見受けられる。Ⅱ区では竪穴建物６基、溝５条、その他土坑やピットが多数確認できた。以下、主要な遺構について説明をおこなう。

また、2013年９月31日から10月14日までの間に実施した発掘調査（Ⅱ２・３区）のデジタル一眼レフカメラによる写真記録については、整理作業時の操作ミスにより全て消失している。そのため、本書の図版にこれら調査区の写真が掲載されていないことを明記しておく。

Ⅱ１区１号竪穴建物（図20）

Ⅱ区の中央やや北西側、Ⅱ１区の北西隅に位置する。現状で南北1.65m、東西1.35mを測り、建物方位は北で東に58°傾く。東西は撹乱によって削平されており、調査区北側に残存するものとみられる。検出面からの掘方底面までの深さは8cm程であり、硬化面は検出されていない。埋土掘削中に２基、掘方底面から４基のピットが検出されたが、建物に伴う柱穴かは判然としない。床上からは土師器鍋が１点出土したほか（図20－51）、須恵器片、土師器の小片が出土している。本調査区４層（黒褐色土層）中からも須恵器、土師器片が多数出土している（図20－52・53）。

51は土師器鍋の口縁部から胴部にかけての破片である。胴部から口縁部に向けて緩やかに広がり、

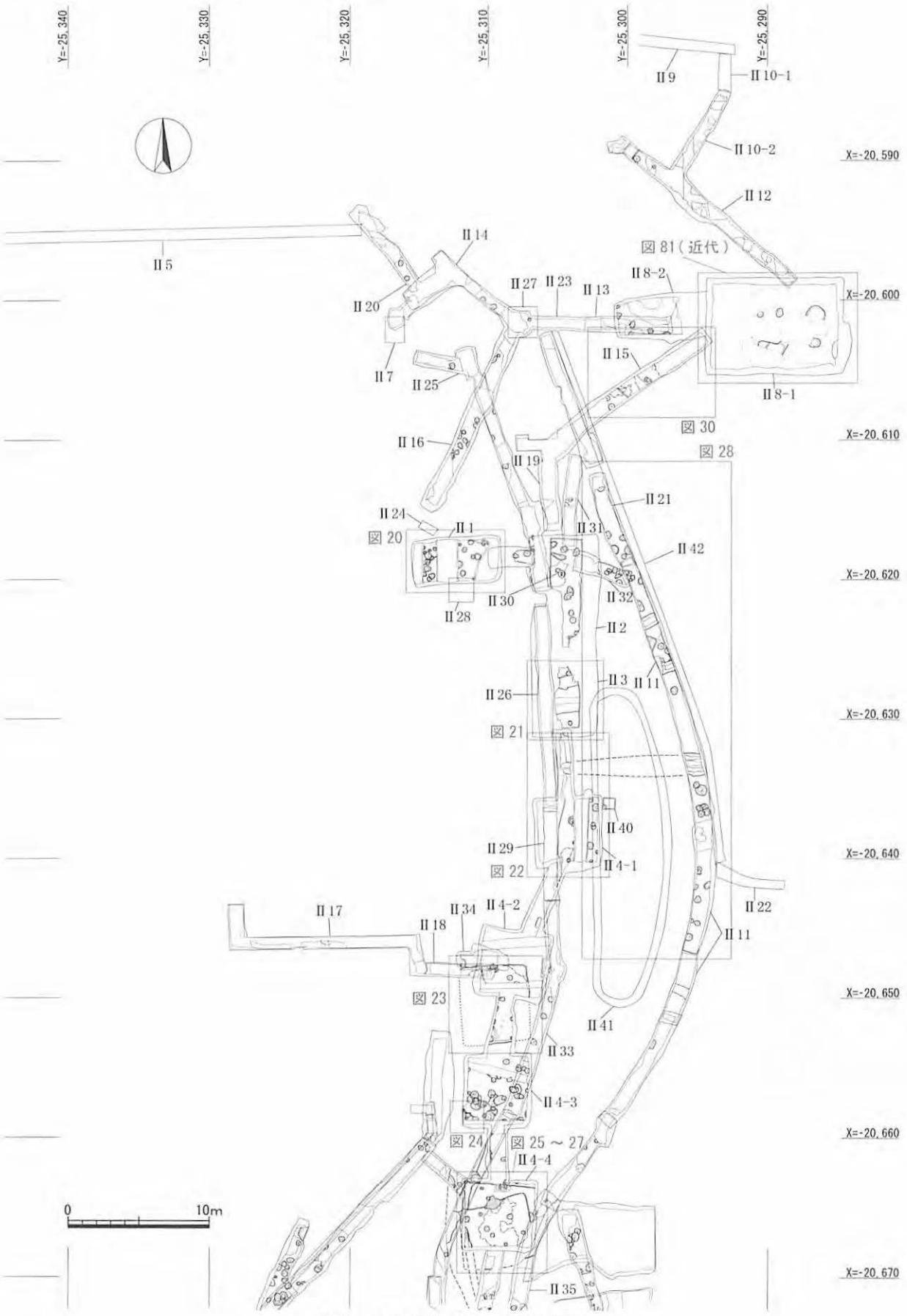


図19　Ⅱ区遺構配置図（S=1/400）

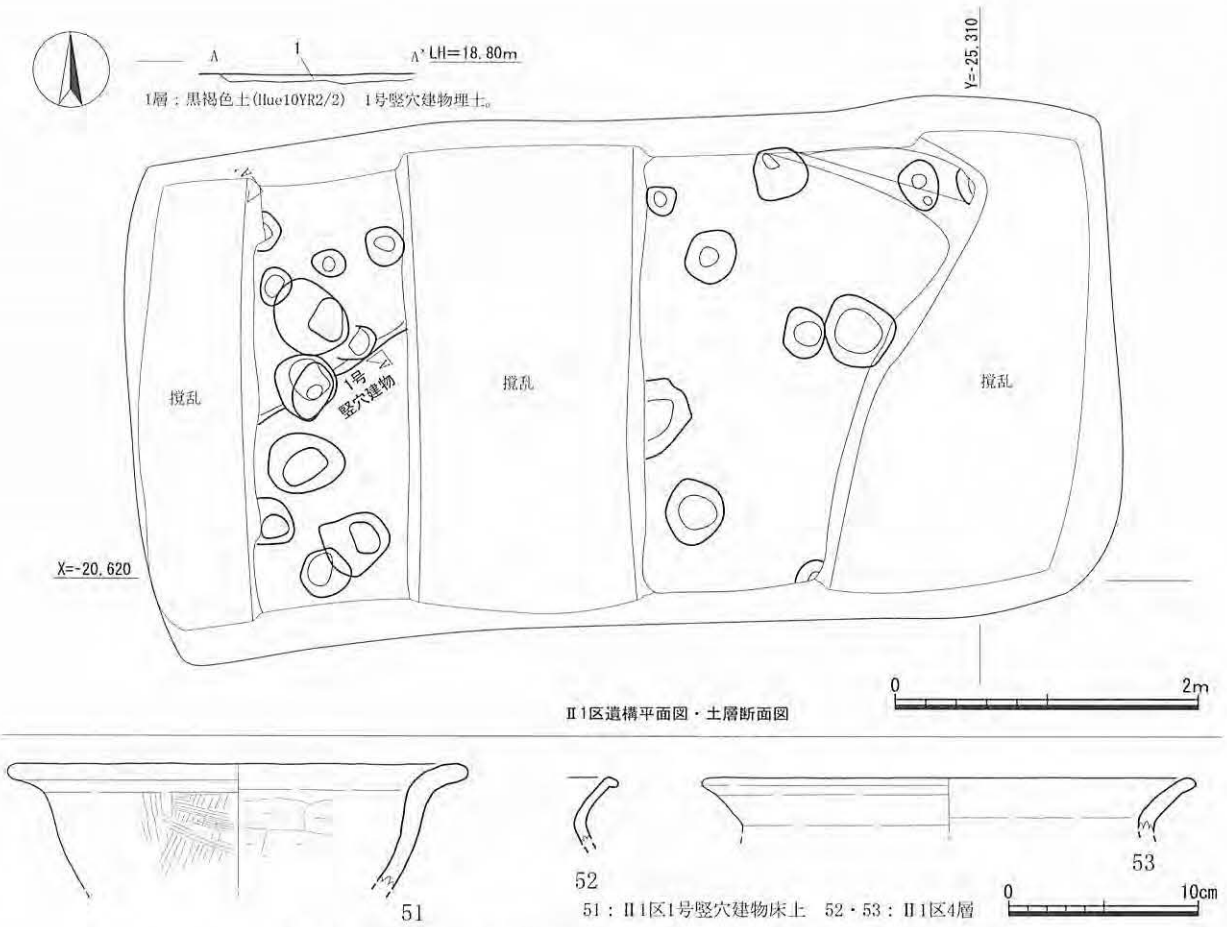


図 20　Ⅱ1 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

頸部で口縁部が強く屈曲する。胴部外面はハケ目、胴部内面は横位の削り、口縁部は回転ナデで調整される。52・53は土師器甕の口縁部破片である。

Ⅱ３区１号溝（図21）

Ⅱ区中央部、Ⅱ３区の南端に位置する。現状で幅1.9m、長さ1.8mを測り、主軸はほぼ東西方向にのる。本遺構の東西には近代の撹乱溝が南北に走っており、破壊を受けている。断面形態は浅いU字状で、検出面からの深さは40cmである。本遺構は西側が黒髪南地区9810調査地点９号溝の東側延長線と重なり、東側がⅡ21区13号溝の西側延長線上にのると思われる。ただし、後者は若干方位が異なる上に幅が狭く、同一遺構であると断定はできない。溝埋土中からは須恵器蓋、碗や土師器甕把手等が出土しており（図21－54～56）、８世紀代以降に埋没した溝と思われる。

54は須恵器蓋の口縁部破片である。口縁部端は下方に短く折れる。８世紀前半から中葉の資料か。55は須恵器碗の口縁部破片とみられる。56は土師器甕の把手破片である。外面は指ナデと指オサエによって調整されている。把手先端付近にイネらしき圧痕が認められる。

Ⅱ４－１区３号溝（図22）

Ⅱ区中央部、Ⅱ４－１区の北側に位置する。現状で幅90cm、長さ90cmを測り、主軸はほぼ東西方向にのる。本遺構の西側は撹乱で削平されており、東側は調査区外に延びる。本遺構は、西側が黒髪南9810調査地点の10号溝の東側延長線と重なり、東側はⅡ11区16号溝の西側延長線と重なっている。断面形態はやや急なＶ字状、検出面からの深さは70cmで、9810調査地点10号溝やⅡ21区16号溝との類似

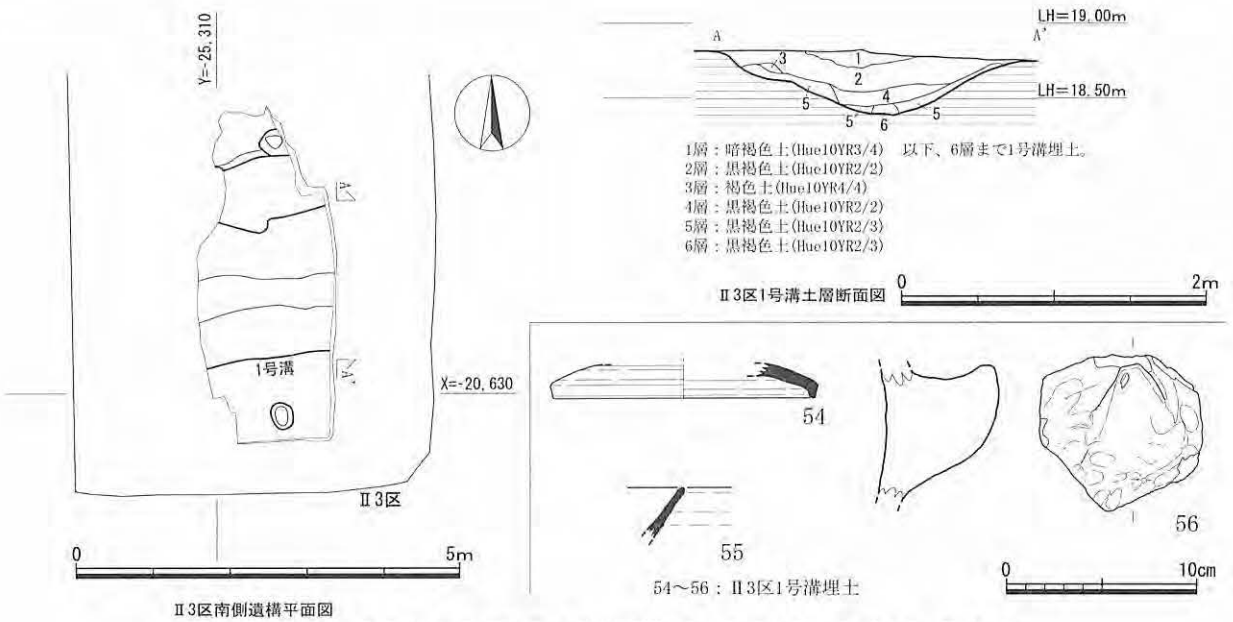


図21　Ⅱ3区1号溝実測図と出土遺物実測図（S=1/100・S=1/50・S=1/4）

性から同一遺構である可能性が高い。遺物として須恵器蓋や須恵器碗が出土している（図22－57・58）。58は遺構埋土の下層から出土しており、9世紀前半代の資料と考えられることから、遺構の埋没年代は9世紀以降であると推定される。9810調査地点10号溝からは埋土中から越州窯青磁の蓋が出土しており、年代的整合性も取れる。このほか、Ⅱ4－1区からは須恵器片・土師器片が4層（黒褐色土層）から出土している。

57は須恵器蓋である。器形はやや扁平で、口縁部端は短く下方に折れる。58は須恵器碗である。胴部下半から口縁部にかけて朝顔状に広がり、口唇部はやや丸みを持つ。59は須恵器蓋の口縁部破片である。60は須恵器碗の口縁部破片と考えられる。器形は底部から口縁部に向かって緩やかに立ち上がり、口縁部に凹線が巡る。61は須恵器の皿あるいは高坏の口縁部片かと考えられる。62は須恵器甕の底部付近と考えられる。底面には高台の張り付いていた痕跡が確認できる。63は土師器坏あるいは碗の口縁部破片とみられる。

Ⅱ4－2区25号竪穴建物（図23）

Ⅱ区の中央部、Ⅱ4－2区南側からⅡ4－3区北側およびⅡ18区東端（Ⅱ18区1号竪穴建物）にかけて検出した。現状で南北5.5m、東西4.8mを測り、南西側と南東側は調査区外に広がる。平面形態は方形で、竈を北側に持ち、主軸は北で西に3°傾く。検出面から床面までの深さは18cmで、硬化面は建物北東隅や北西隅、壁際を除いた広範囲に形成されていた。床面や竈周辺からは土師器を中心に遺物が出土しており、建物北東隅には土師器が3点集中して検出された（図23－68～70）。また南側床面上にも粘土が集中しており、その周囲には須恵器片、土師器片、円礫が出土している（図23－64・67）。貼床の厚さは8cmで、掘方底面は凹凸が顕著である。竈は東側袖と煙道部分が若干残存しているものの、全体的に残りは良くない。竈の南側には大小の砂岩が散在しており、被熱したものも見受けられることから、竈の壁などの構築材や支脚を構成したと推測できる。また、竈の埋土や周囲からは土師器甕や把手付の甕が出土しており、竪穴廃絶時に廃棄したものと思われる（図23－66・71～73）。建物の竈中心部には燃焼面が検出されたが、原位置の支脚は確認できなかった。竈掘方の平

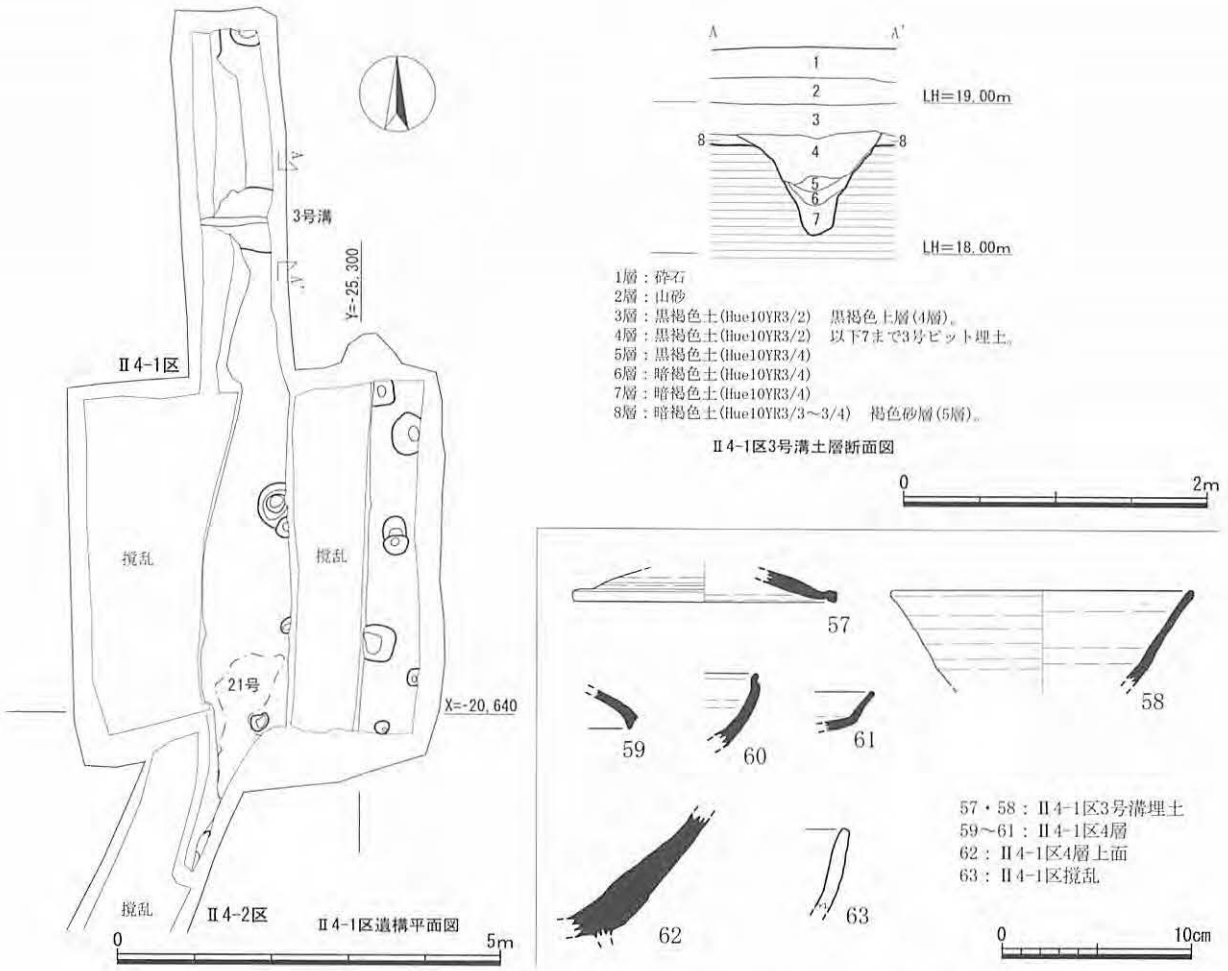


図 22　Ⅱ4-1 区 3 号溝実測図と出土遺物実測図（S=1/100・S=1/50・S=1/4）

面形態は東西1.25m、南北0.87mの不整楕円形で、掘方底面は燃焼面から深さ10cmである。本建物に関連する柱穴として、建物北東において硬化面上で24号柱穴を検出している。

64は須恵器蓋である。やや丸味をおびた器形で、天井部は回転ヘラ削りによって調整されている。65は土師器甕で、復元口径10.8cmの小型品である。66は土師器坏の破片で、底部付近は斜位の削りによって仕上げられている。67は土師器坏で、復元口径8.2cmの小型品である。器壁調整は剥落により不明瞭で、内面に赤彩が施される。68は土師器坏である。底部がやや丸みを帯びており、口縁部に向けて緩やかに広がり、胴部上半から急な立ち上がりをみせる。また、胴部外面には凹線があり、これを境に上下で調整が異なる。すなわち外面下半は横位の削り、上半はナデで調整され、内面全体は細かい横位の磨きで整えられる。また、内外面には赤彩が施されている。69～71は土師器甕である。いずれもやや張り出した胴部が頸部ですぼまり、口縁部で外反する。器壁は胴部外面がハケ目、胴部内面が削り、口縁部内外面が横ナデで調整される。72は土師器甕の把手、73は把手付の土師器甕である。73は把手付の底部が欠けているが、胴部から口縁部にかけて丸みをおびながら広がり、頸部でややすぼまって口縁部で強く外反する。外面胴部下半はハケ目がよく残り、上半部はハケ目後に指ナデにより仕上げられている。内面は上から下へ斜位の削りによって整えられる。把手部分も指オサエ後にハケ目が及ぶ。

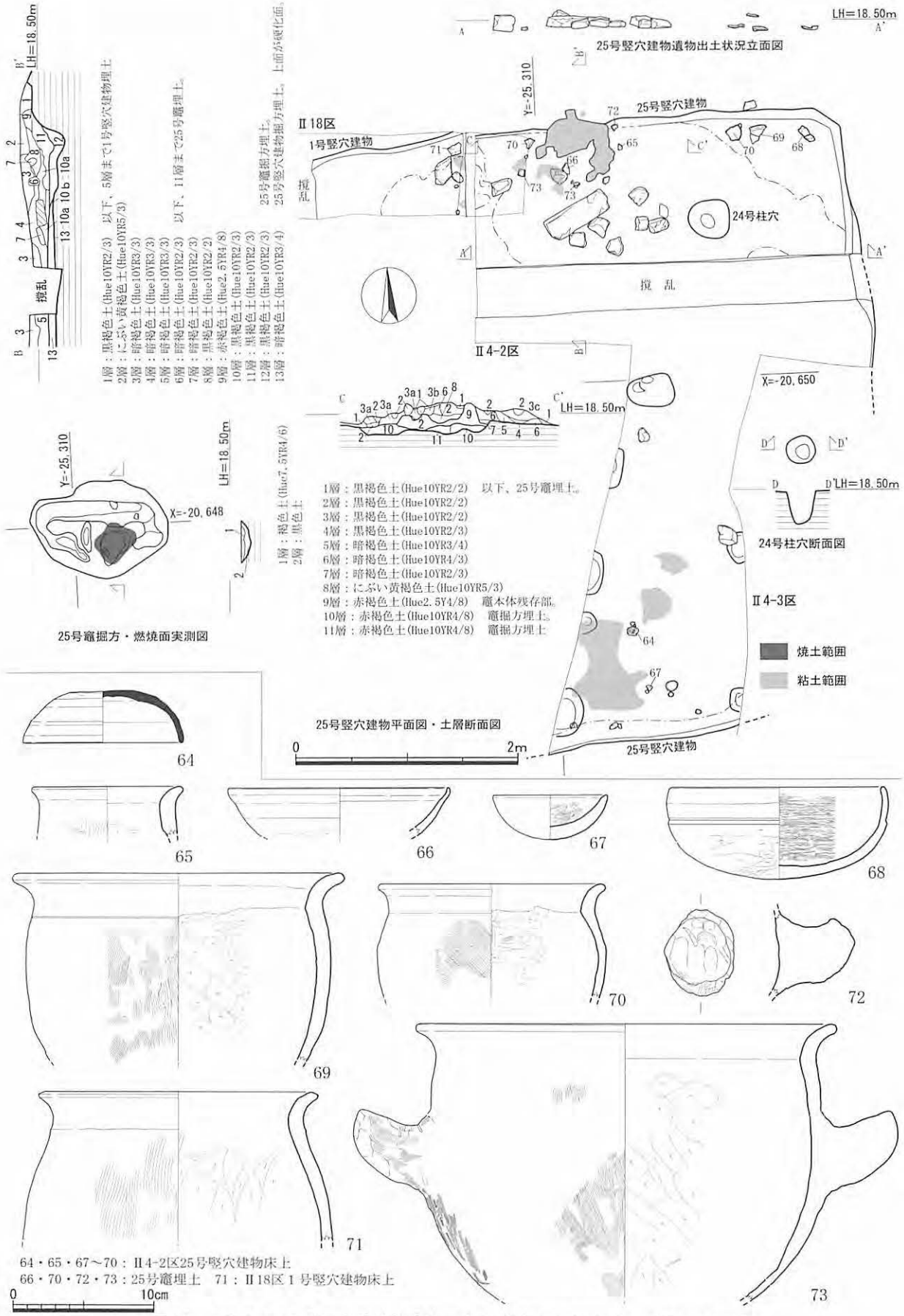


図 23　Ⅱ4-2 区 25 号竪穴建物等実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

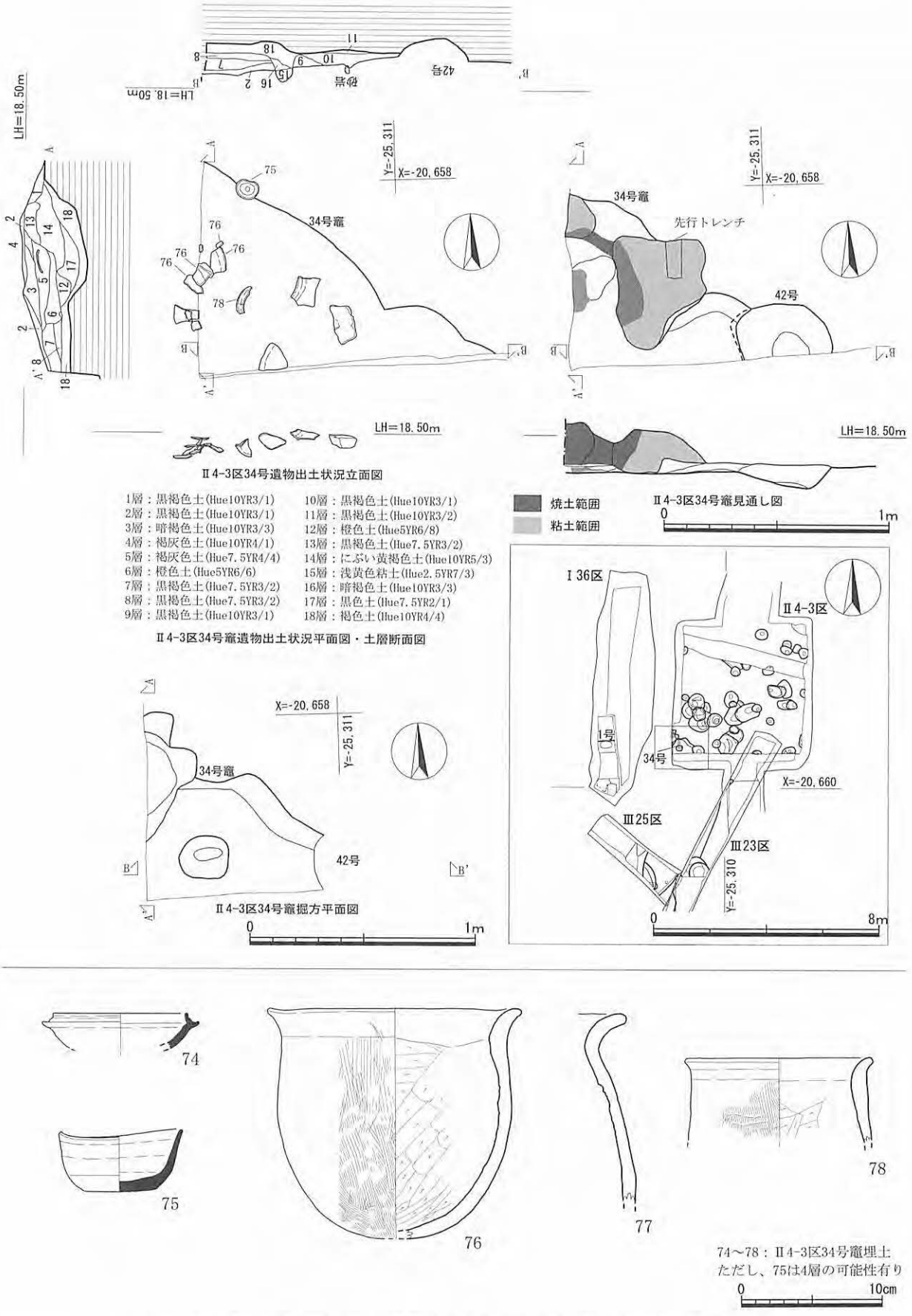


図 24　Ⅱ4-3 区 34 号竈実測図と出土遺物実測図（S=1/200・1/25・S=1/4）

Ⅱ４－３区34号竈（図24）

Ⅱ区の中央部やや南側、Ⅱ４－３区の南西端で検出した。現状で南北0.75m、東西0.75mを測り、竈の東袖と煙道部壁面の一部のみを確認した。南側は撹乱溝によって破壊を受けており、竪穴建物の大部分は調査区外に広がる。西側のⅠ36区１号溝と同一遺構の可能性があるが定かではない。東側は42号ピットによって壊されている。竈壁面は灰色白粘土によって構築され、壁内面の一部は焼土化している。埋土内から砂岩礫が数点検出されたが、破損し原位置を留めておらず、袖石を据えた痕跡は確認できなかった。床面は煙道側が部分的に焼土化し、周囲に灰が少量堆積していた。支脚は確認できなかった。遺物は竈内面から小型の土師器甕が数点出土したほか、須恵器坏も埋土中より出土した（図24－74・76～78）。また、本遺構の北側にて完形の須恵器坏が出土しているが、竈の掘方の範囲と完全には重複していないため、34号竈には伴わず、４層に帰属する可能性がある（図24－75）。

74は須恵器坏の口縁部片である。復元口径11cmの小型品で、返りがやや内傾しながら立ち上がる。７世紀前半頃の資料か。75は須恵器坏の完形品である。口径8.7cmの小型品で、口縁部から胴部にかけて一部が大きく歪んでいる。外面には自然釉が掛かる。76は土師器甕の半欠品である。器形は丸底で、底部から胴部にかけて丸みを持ちながら緩やかに立ち上がる。頸部付近で内壁が厚みを増し、口縁部で緩やかに外反する。外面は底部から頸部にかけて縦位あるいは斜位のハケ目で、内面は斜位あるいは横位の削りによって調整される。口縁部は内外面ともに回転ナデで調整される。77・78は土師器甕である。77はやや膨らんだ胴部が頸部ですぼまり、口縁部で強く外反する。78は復元口径13.4cmの小型品で、器形、調整ともに76と類似する。

Ⅱ４－４区４号竪穴建物（図25・26）

Ⅱ区の南側、Ⅱ４－４区の南側、Ⅲ23区中央（Ⅲ23区６号竪穴建物）、Ⅲ１区北側（Ⅲ１区７号竪穴建物）、Ⅱ35区中央（Ⅱ35区５号竪穴建物）で検出した。４号竪穴建物は後述する５号竪穴建物と重複し、より新しい。南北4.75m、東西5.1mを測り、平面形態は東西にやや長い方形である。北側に竈を持ち、主軸は北で西に17°傾く。検出面から床面までの深さは５～10cmで、硬化面は建物の中央部から北側にかけて顕著に認められる。埋土中からは須恵器坏や土師器小片が出土している（図26－79）。床面からは７基のピットを検出しており、このうち土層の観察から、11号柱穴は４号竪穴建物に伴う柱穴と判断した。竈の壁面の残りは悪く、煙道付近に灰白色粘土の高まりが残るのみである。竈床面は焼土化が著しい。周囲に小型の砂岩礫が出土したが支脚は確認できなかった。竈の周囲からは土師器坏、甕破片が出土しているが、壁面内ではまとまって出土しない（図26－80・81・84～87）。土層断面から竈の掘方が建物貼床より後であることが確認できている。掘方底面は竈の北側が浅く、南側壁面付近が深い傾向にあった。掘方掘削時には底面より10基のピットが確認できている。掘方埋土からは土師器坏や須恵器蓋の破片が出土している（図26－82・83）。Ⅱ４－４区では４層（黒褐色土層）からも須恵器・土師器が多く出土しており、これらの多くは４号竪穴建物あるいは後述する５号竪穴建物の埋土に帰属する可能性が高い（図32）。

79は須恵器坏である。高台が底部端に付き、外面ヘラ削りで仕上げられる。外面には自然釉が掛かる。80～82は土師器坏である。80は平底で、口縁部が緩く外側へ傾斜しながらやや直線的に立ち上がる。底部外面が削りで調整される。81は底部破片で、中央部分がやや窪む。底部付近外面は削りで調整される。82は内外面が横位の磨きによって調整される。83は須恵器蓋の口縁部破片である。口縁部の返りは弱く立ち上がる。84～87は土師器甕である。86・87はいずれもやや膨らんだ胴部が頸部ですぼまり、口縁部が強く外反する。外面と口縁部内面は指ナデ、胴部内面は削りまたは指オサエによって仕上げられている。

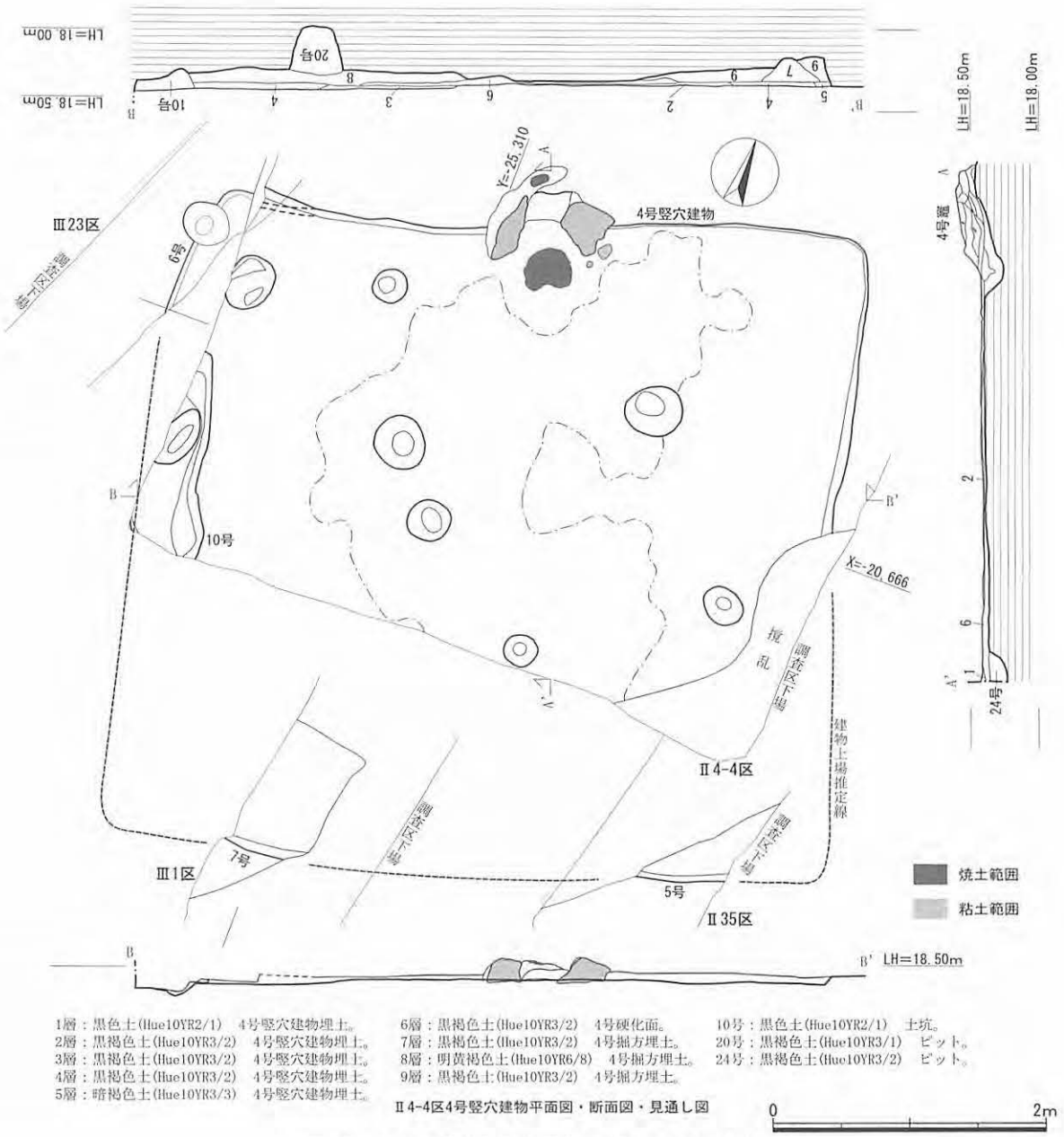
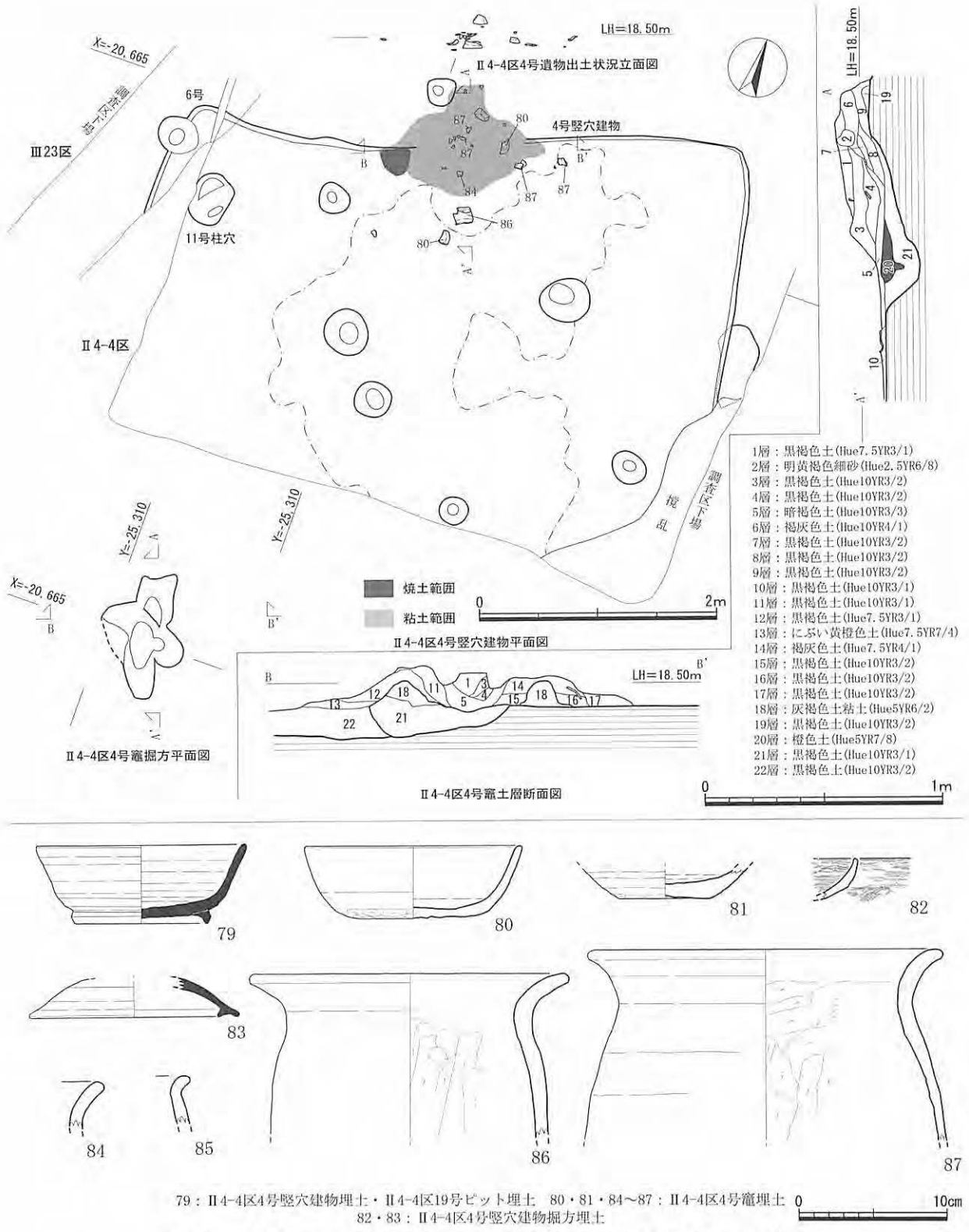


図25　Ⅱ4-4区4号竪穴建物実測図（S=1/50）

Ⅱ４－４区５号竪穴建物（図27）

Ⅱ区の南側、Ⅱ４－４区の南半で検出した。５号竪穴建物は先述した４号竪穴建物と重複し、より古い。現状で南北2.1m、南北4.8mを測り、平面形態は隅丸方形とみられる。北側に竈を持ち、主軸はほぼ南北軸にのる。検出面から床面までの深さは７cmである。床面で柱穴は確認できなかった。竪穴建物埋土内からは須恵器蓋破片や土師器小片が出土している（図27－92）。竈の壁面は灰白色粘土によって構築されており、壁内面は東西両側ともに焼土化している。周囲には砂岩の小礫が散乱しており、竈に関連するものとみられる。床面は焼土化が著しい。床面中央に面取りされた砂岩小片を検出したが、残存状況が悪く、支脚か判別できない。遺物として竈の埋土および周囲から須恵器高坏、土師器坏・甕の破片が出土している（図27－88～91・93・94）。掘方底面より７基ピットを検出した。



79：Ⅱ4-4区4号竪穴建物埋土・Ⅱ4-4区19号ピット埋土　80・81・84～87：Ⅱ4-4区4号竈埋土
82・83：Ⅱ4-4区4号竪穴建物掘方埋土

図26　Ⅱ4-4区4号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

88は須恵器高坏の破片である。身の底部には回転ヘラ削りが施される。89～91は土師器の坏とみられる。89の底部外面は削りによって調整されている。90の底部外面は回転ヘラ削りが施される。92は須恵器蓋の口縁部破片である。器形は扁平で、返りは短いが強く立ち上がる。93は移動式竈とみられ

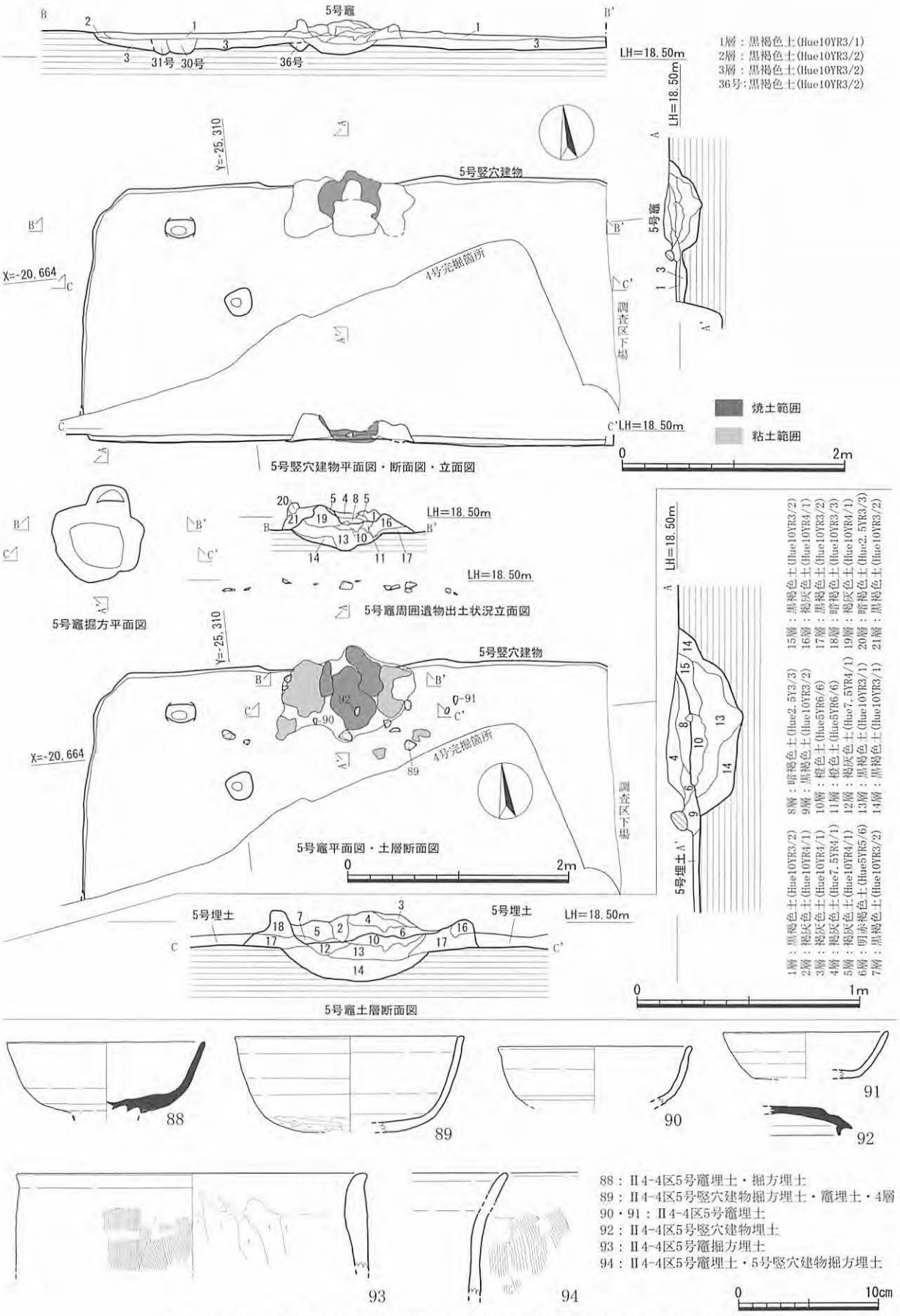
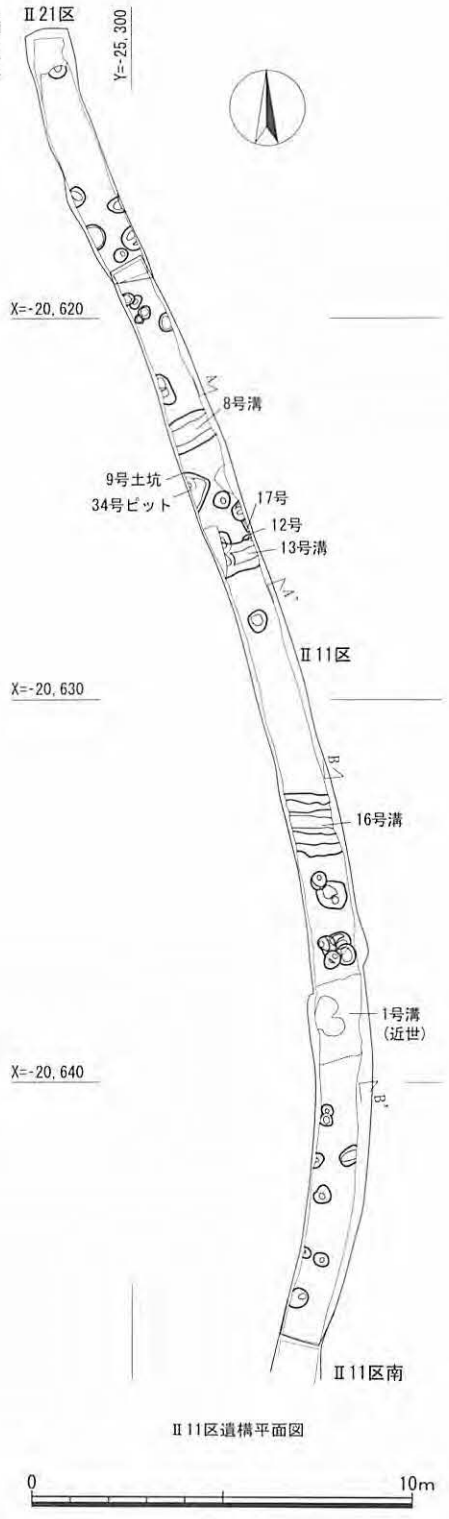
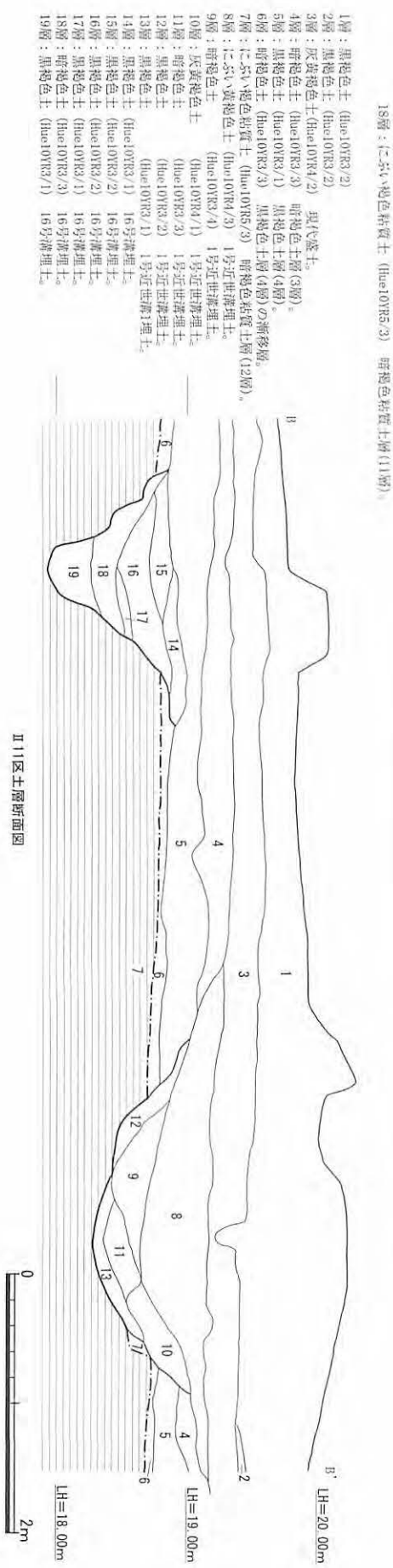


図 27　Ⅱ4-4 区 5 号竪穴建物実測図と出土遺物実測図 (S=1/50・S=1/4)



Ⅱ11区遺構平面図



Ⅱ11区土層断面図

図 28　Ⅱ11 区遺構実測図（S=1/200・S=1/50）

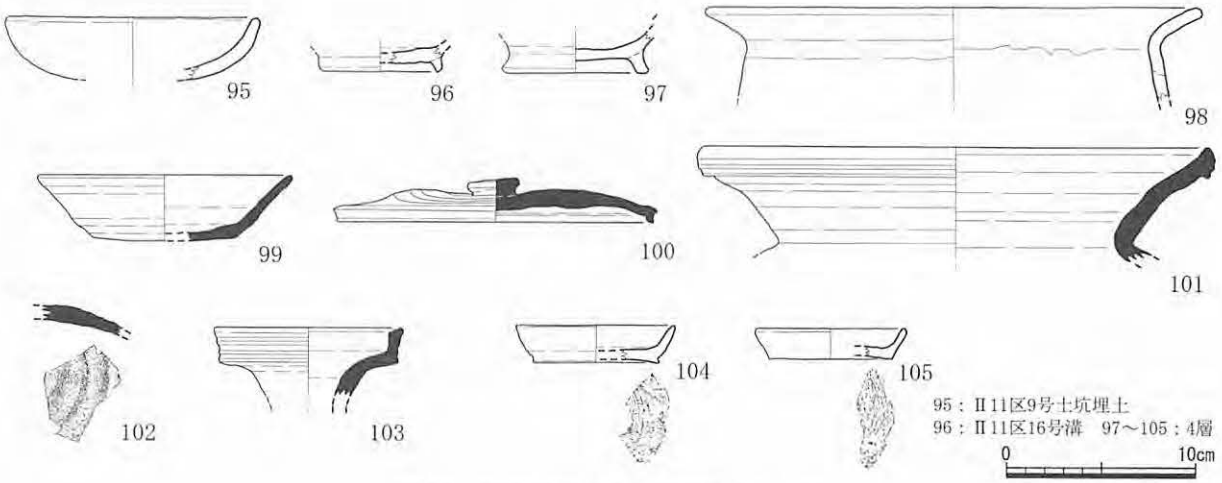


図29　Ⅱ11区出土遺物実測図（S=1/4）

る。内面は粗く削りで調整され、表面にススが付着している。94は土師器の甕である。

Ⅱ11区８号溝（図28）

Ⅱ区東側、Ⅱ11区の中央やや北側より検出した。北東―南西方向に走り、現状では東西1.1m、幅0.85mを測る。検出面からの深さは20cmだが、土層で確認すると掘り込み面からの深さ30cmである。溝の断面形態は浅いU字状である。遺物は埋土中より土師器・須恵器小片が出土している。

Ⅱ11区13号溝（図28・29）

Ⅱ区東側、Ⅱ11区の中央やや北側、８号溝の南より検出した。北東－南西方向に走り、現状では東西0.9m、幅0.9mを測る。東側は調査区外に延び、西側は撹乱土坑によって破壊を受けている。検出面からの深さは20cmで、断面形態は緩やかなU字状である。埋土からは土師器・須恵器片のほか、龍泉窯系青磁碗の胴部破片が出土している。また、遺構の直上の４層からは中世の土師器燈明皿が出土している（図29－104・105）。

Ⅱ11区16号溝（図28・29）

Ⅱ区東側、Ⅱ11区の中央やや南側より検出した。現状では東西1.2m、幅1.55mを測る。検出面からの深さは90cmで、断面形態はV字状を呈し、上半部がやや広がる。調査区西側に８mに位置するⅡ４－１区３号溝は西側延長部にのり、断面形態も類似することから同一遺構と考えられる。埋土中より土師器碗底部片が出土している（図29－96）。

Ⅱ11区出土遺物（図29）

95は土師器坏である。96・97は土師器碗の底部破片である。98は土師器甕の口縁部破片である。99は須恵器坏である。底部は平坦で体部は朝顔状に広がる。100は須恵器蓋の一部欠損品である。器形は扁平で全体が歪み、口縁端部は短く折れる。凹んだ頂部にはつまみが付随する。101は須恵器甕の口縁部である。復元口径が27.4cmの大型品で、口縁端部は断面三角形状を呈し、その上に凹線が２本平行に巡る。102は須恵器蓋の破片である。内面には「W」字状のヘラ記号が施される。103は須恵器の複合口縁壺の破片である。104・105は土師器小皿である。口縁部にススが付着しており、燈明皿としての利用されていることが分かる。底部には回転糸切り痕が残る。

Ⅱ15区３号竪穴建物（図30）

Ⅱ区北東側、Ⅱ15区の東側で検出した。西側壁面を平面で検出し、東側壁面は土層断面で確認して

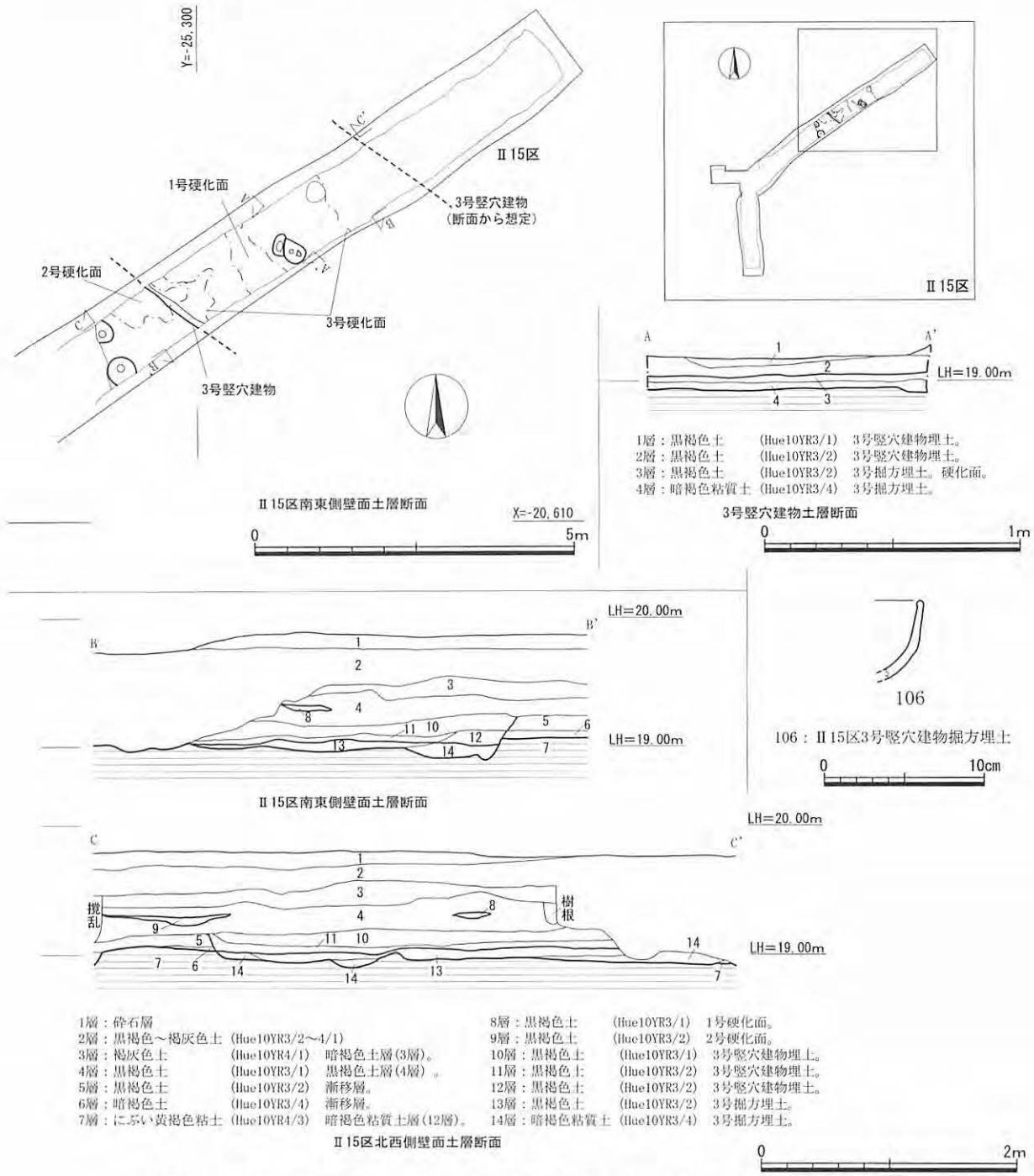


図30　Ⅱ15区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/100・S=1/50・S=1/25・S=1/4）

図面上で復元した。現状で東西3.8m、南北1.1mを検出した。北西および南東方向は調査区外側に広がる。竈は確認できず、埋土内にも焼土・粘土の混入は認められない。検出面から床面までの深さ10cm程である。遺物として埋土内から少量の土師器が出土している（図30－106）。床面には硬化面が顕著に認められ、南西壁面付近以外のほぼ全面に広がっている。床面から明確な柱穴は確認できなかった。掘方底面はおおむね平坦で、貼床の暑さは５～10cmで埋土の大半は硬化している。また、３号竪穴建物の上部には北西－南東方向に延びる小路状の1号硬化面と、ほぼ同レベルで北東－南西方向に

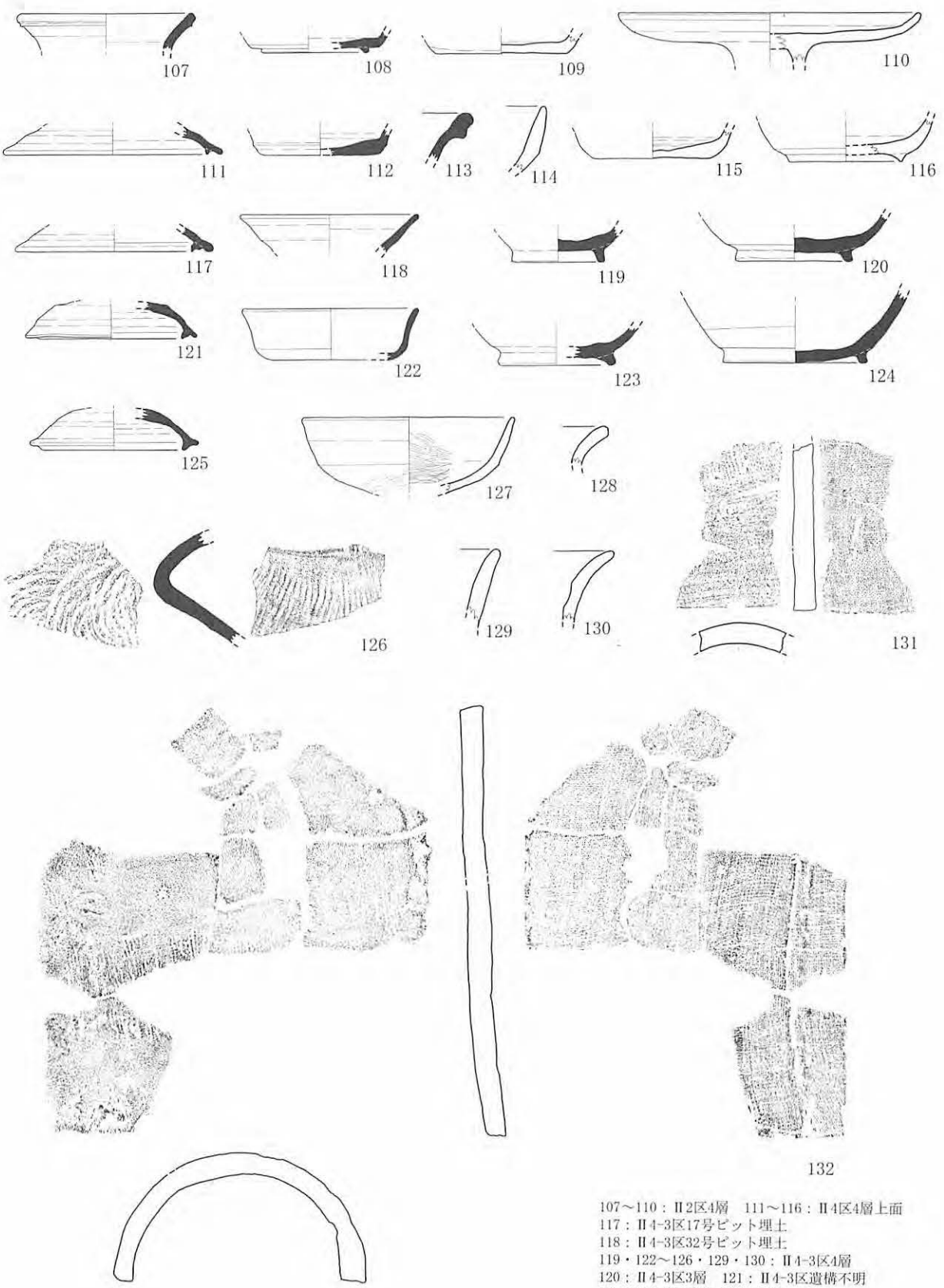
延びる２号硬化面が検出されている。

Ⅱ区出土遺物（図31・32）

107は須恵器壺の口縁部破片である。口縁部端部は膨らんで丸みを持って帯状に巡る。108は須恵器碗の底部片である。高台は台形状で低く、高台底面は床面と面で接する。109は土師器坏の底部片である。底部は中央部がやや持ち上がる平底である。110は土師器高坏の口縁部から胴部破片である。身の部分は口径20.8cm程の盤状で、水平な底部から口縁部が緩やかに短く立ち上がる。脚部は残存部から中空であることが分かる。111は須恵器蓋の口縁部破片である。口縁部には極小の返りが付随する。112は須恵器坏の底部破片である。平底で、底部は回転ヘラ切りによる。113は須恵器甕あるいは壺の口縁部破片と考えられる。口縁部端部は膨らんで、丸みを帯びた台形状となり、その上に凹線が走る。この肥厚した口縁部の下には波状文が巡る。114は土師器坏の口縁部破片と考えられる。内外面に赤彩が施される。115・116は土師器坏および碗の底部破片とみられる。いずれも全体が摩耗している。117は須恵器蓋の口縁部である。口縁部内面に見受けの返りが巡る。118は須恵器碗の口縁部破片と考えられる。119は須恵器碗の底部破片である。高台はやや長い台形状である。120は須恵器碗の底部破片である。貼り付け高台は台形状で、床面に面で接する。121・125は須恵器蓋の口縁部破片である。器形はやや丸みをおび、口縁部には見受けの返りが巡る。122は須恵器坏の口縁部から底部にかけての破片資料である。底部は平坦で、外面は回転ヘラ削りで調整される。123・124は須恵器碗の底部破片である。126は須恵器甕の口縁部から頸部破片である。内面には当て具痕、外面にはタタキ痕跡が明瞭に残る。内面には自然釉が掛かる。127は土師器坏の口縁部から胴部にかけての破片資料である。外面底部は横位の削り、内面は磨きで器壁調整される。内外面に赤彩が施される。128は土師器甕の口縁部破片である。129・130は土師器甕の口縁部破片である。131・132は丸瓦である。桶巻技法で作られており、いずれも外面に縄目タタキ痕が、内面には布目痕が残り、132は布の継ぎ目を明瞭に観察できる。133～135は須恵器蓋である。133は頂部につまみが付いた痕跡が認められる。134は器形がやや丸みを帯びており、口縁端部は直角に折れる。135は頂部がやや沈み、その上に宝珠が付随する。136は須恵器碗の口縁部破片である。137は須恵器碗である。身の外面下半はヘラ削りで調整されている。138は須恵器坏の口縁部である。139は須恵器碗の底部破片である。140は土師器の坏と考えられる。141は須恵器坏である。底部は平底で、底部内面は部分的に膨らみ、中央部分で沈んでいる。142は須恵器碗の口縁部片である。143は須恵器坏である。144は須恵器の甕の口縁部破片である。口縁部がやや肥厚し、その上に一条の凹線が走る。外面には自然釉が掛かる。145～147は土師器坏の底部片である。いずれも底部は平底で、145・146は底部が回転ヘラ切りによる。148は土師器碗の底部片である。内外面が回転ヘラ磨きによって調整される。内外面に赤彩が施される。149は須恵器坏あるいは高坏の破片である。150は高坏の脚部片である。151～153は土師器甕または鉢の口縁部片である。154は甕または甑の口縁部片である。155・159は甕の把手である。156・157は土師器の甕である。158は土師器坏の底部である。内外面は回転ナデ後に磨かれている。160・161は鉄製品である。いずれも錆びが著しい。160は軸の先端部がわずかに膨らんでおり、これが鏃身部だとすると、長頸鏃の一種と思われる。軸部分の断面形態は正方形である。161は軸の上下で幅が異なる扁平軸状を呈し、幅の狭い側の断面形態は四角形、もう片側は長方形となる。鉋あるいは鉄鏃の基部とみられる。162は木目石製の砥石の破片である。一面に線状痕が走る。

③　Ⅲ区（図33）

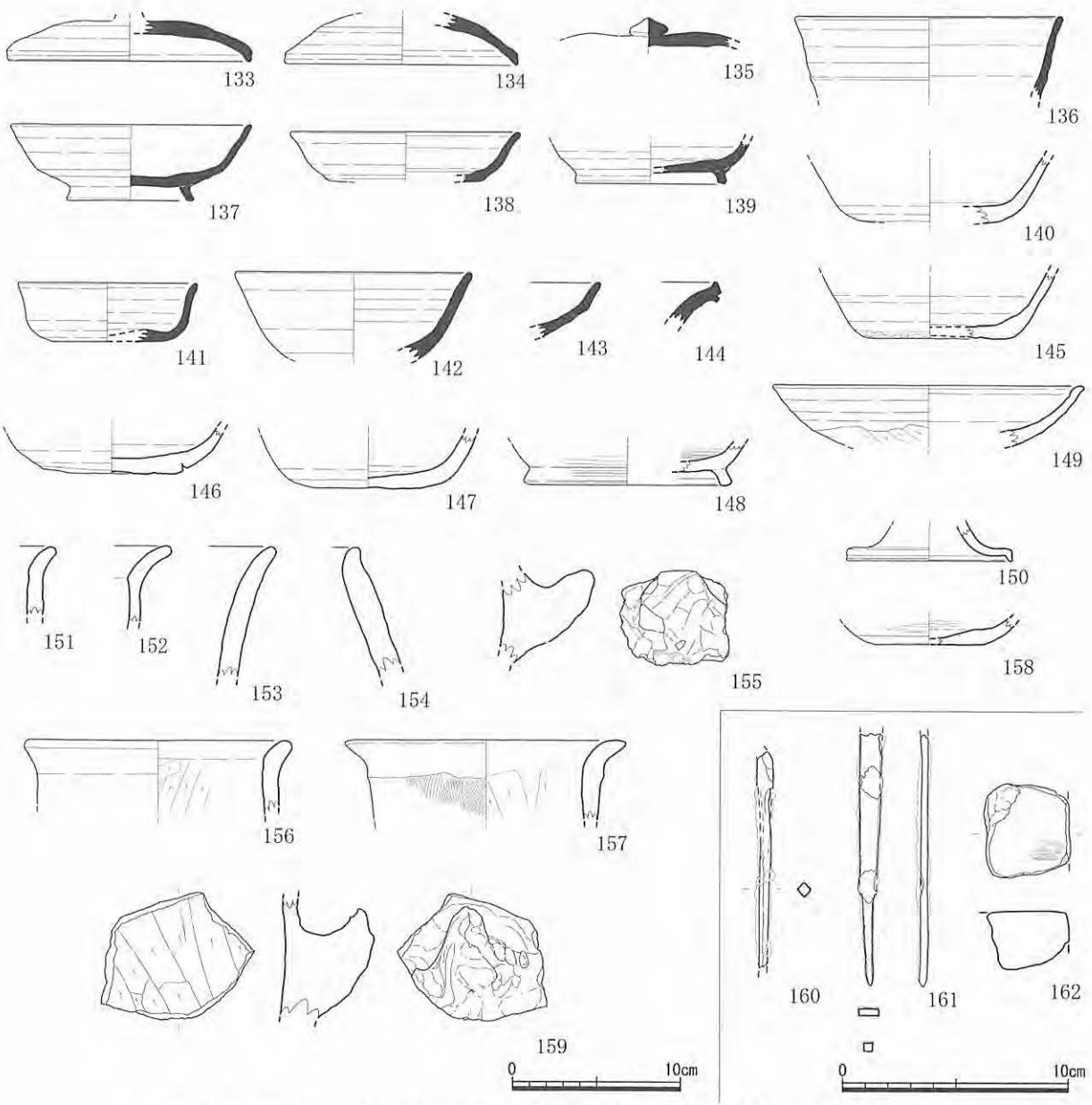
Ⅲ区は、理学部２号館の南東から理学部４号館の東側の緑地や道路部分、南北71m、東西51mの範囲に相当する。調査区は幅１～1.5mの水道・ガス配管に関連する施工の他に、ゴミ置き場設置、低



107～110：Ⅱ2区4層　111～116：Ⅱ4区4層上面
117：Ⅱ4-3区17号ピット埋土
118：Ⅱ4-3区32号ピット埋土
119・122～126・129・130：Ⅱ4-3区4層
120：Ⅱ4-3区3層　121：Ⅱ4-3区遺構不明
127：Ⅱ4-3区遺構不明・4層
128：Ⅱ4-3区6号ピット埋土
131：Ⅱ4-3区3層・撹乱
132：Ⅱ4-2区4層

0　10cm

図31　Ⅱ区出土遺物実測図1（S=1/4）



133～137・140～150・152～157・160・161：Ⅱ4-4区4層　138：Ⅱ4-4区1号ピット埋土　139・162：Ⅱ4-4区3層
151：Ⅱ4-4区撹乱　158：Ⅱ33区1号ピット埋土159：Ⅱ21区5号ピット埋土

図32　Ⅱ区出土遺物実測図2（S=1/4・S=1/3）

木植栽、電柱、U字側溝、浸透井戸、アスファルト舗装などの施工に係る計40区である。このうち古代の遺構の調査を実施したのは15カ所である。古代の遺物包含層である4層は地表下0.2～0.5m（標高18.6～18.9m）で検出した。4層（黒褐色土層）掘削の後、5層（褐色土層）の上面で遺構の平面プランを検出したが、Ⅲ2区より南側では4層の堆積が薄いか、ほぼ堆積していない。遺構検出面のレベルは標高18.3～18.8mである。Ⅲ区北側は他の地区と比較して、古代の遺構密集度が高く、とくにⅢ1区では北西－南東方向の大溝が検出されるなど重要な調査成果が上がった。また、Ⅲ1区は調査区が集中し、1つの遺構を異なる時期に複数回に分けて調査することもあり、調査手順や遺構の認識が甘くなった点は反省すべきで点ある。Ⅲ区では竪穴建物8基、溝3条、その他土坑やピットが多数確認できた。以下、主要な遺構について説明をおこなう。

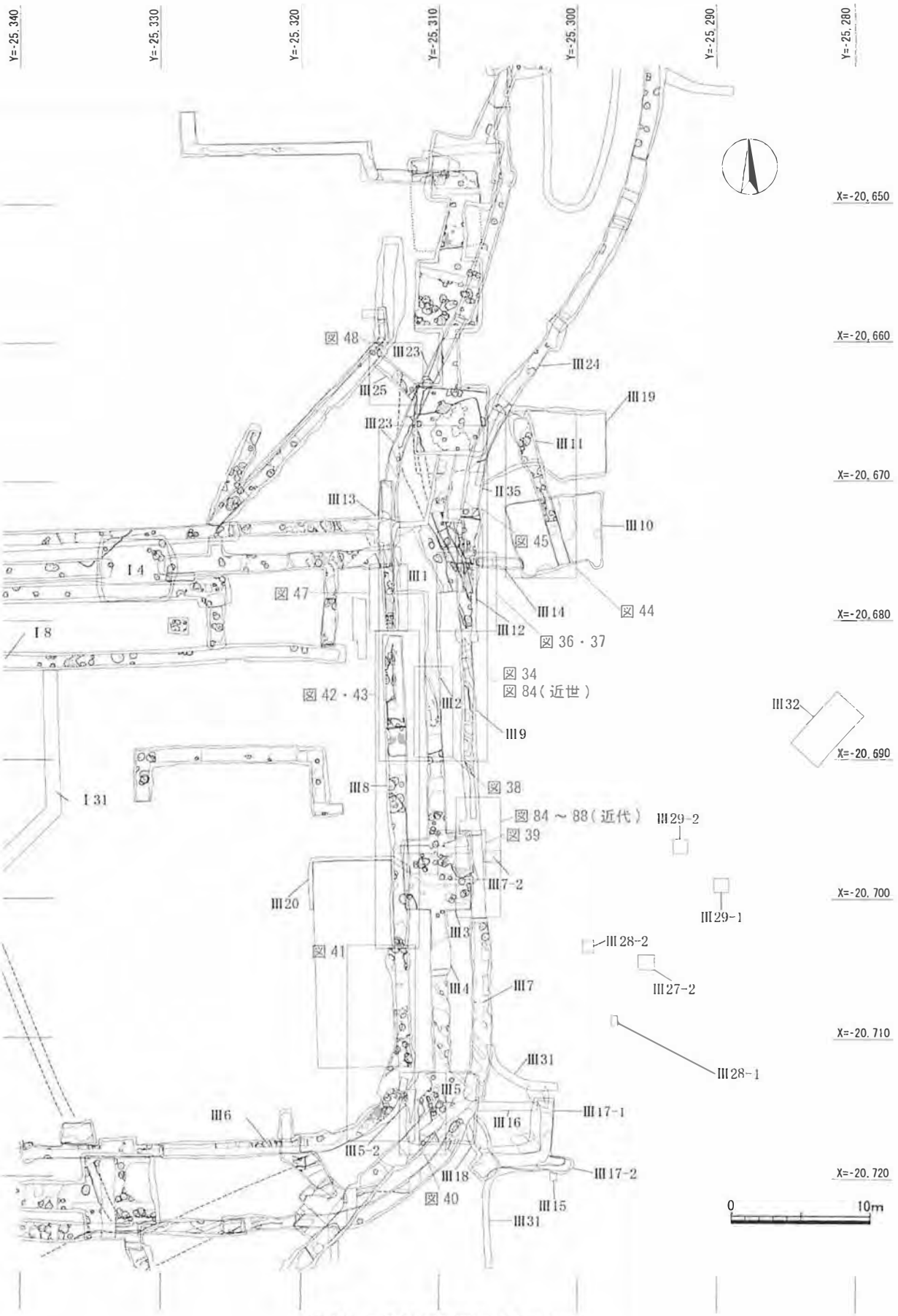


図33　Ⅲ区遺構配置図（S=1/400）

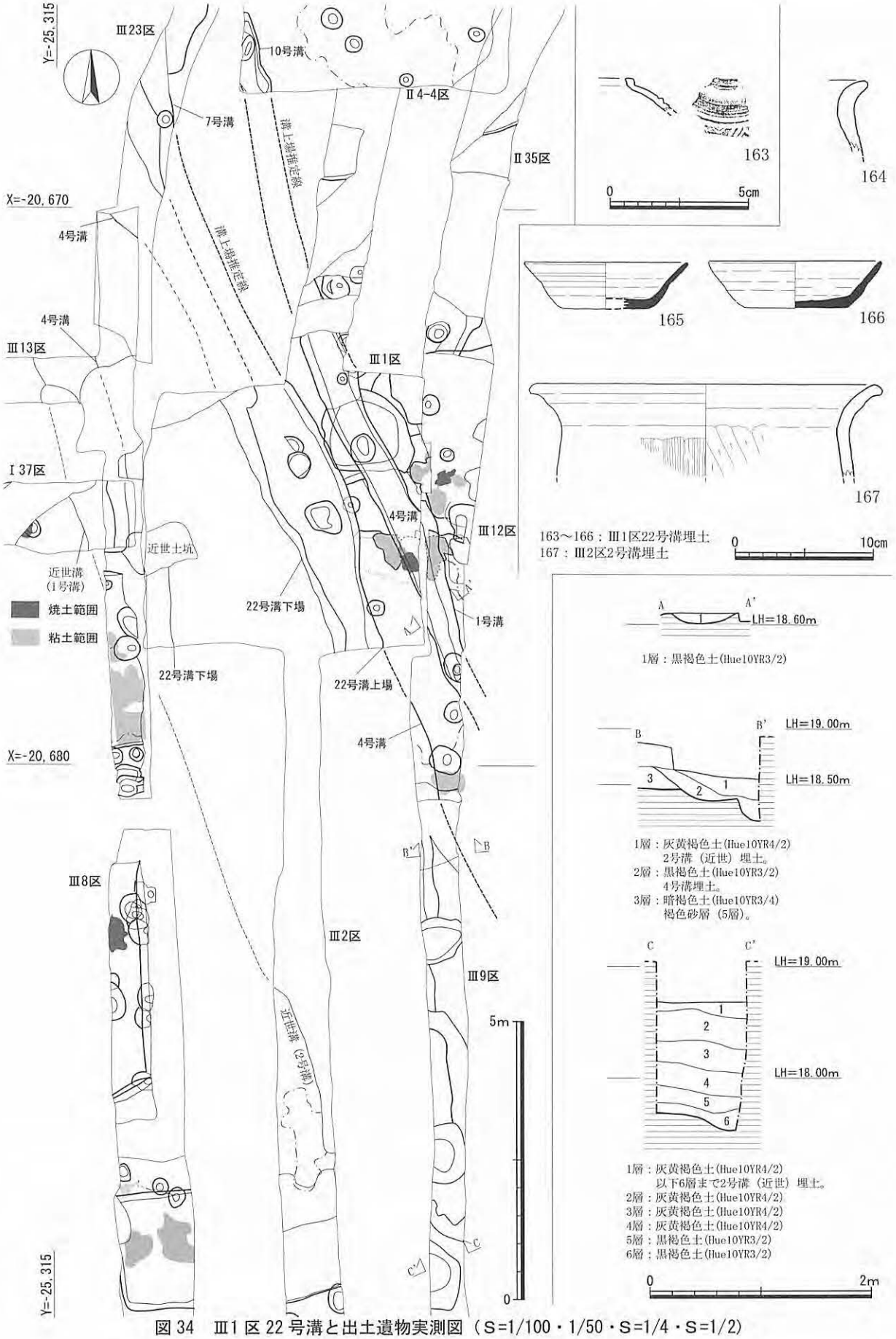
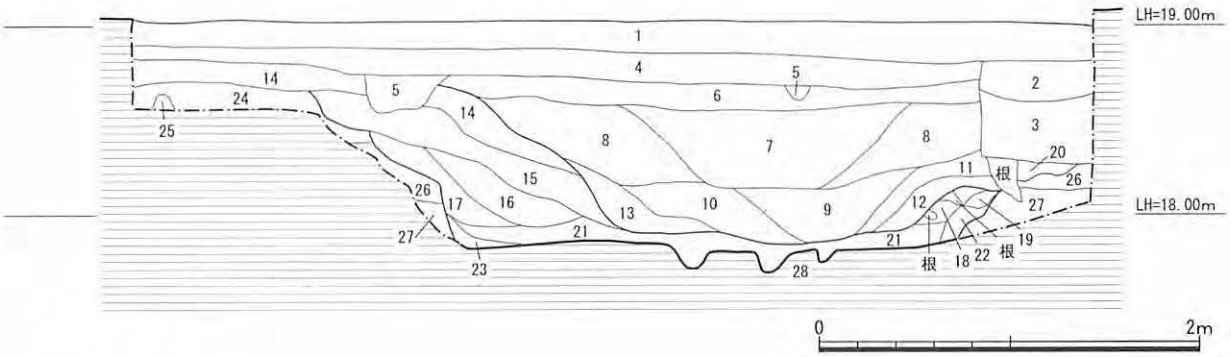
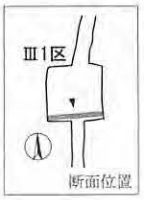


図 34　Ⅲ1 区 22 号溝と出土遺物実測図（S=1/100・1/50・S=1/4・S=1/2）





1層：表土、砕石。
2・3層：現代配管埋土。
4層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　暗褐色土層（３層）。近世・近代の遺物包含層。
5層：暗褐色土（Hue10YR3/4）　近世以降の土坑埋土。４層より色調やや明るい。
6層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　近世溝埋土。炭小片、褐色粒子が混じる。
7層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　2号溝埋土（近世）。炭小片、褐色粒が混じる。
8層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　2号溝埋土。褐色ブロック小片混じる。
9層：暗褐色土（Hue10YR3/3）2号溝埋土。炭小片、褐色粒が多量に混じる。
10層：暗褐色土（Hue10YR3/3）2号溝埋土。炭小片、褐色粒がごく少量混じる。
11層：暗褐色土（Hue10YR3/3）2号溝埋土。炭小片、褐色粒が少量混じる。
12層：暗褐色土（Hue10YR3/3）2号溝埋土。暗褐色土を主体に褐色粒が混じる。陶磁器や鉄釘が出土。
13層：暗褐色土（Hue10YR3/3）2号溝埋土。暗褐色土を主体に褐色粒と赤褐色粒が混じる。
14層：黒褐色土（Hue10YR2/2）　黒褐色土層（４層）。古代の遺物包含層。黒褐色土主体に暗褐色土が斑に入る。
15層：黒褐色土（Hue10YR2/2）　22号溝埋土（古代）。赤褐色粒や炭小片が混じる。
16層：黒褐色土（Hue10YR2/2）　22号溝埋土。下位に褐色粒が混じる。
17層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　22号溝埋土。黒褐色土主体に褐色土が斑に入る。
18層：暗褐色土（Hue10YR3/4）　22号溝埋土。暗褐色土を主体に褐色ブロックが入る。
19層：暗褐色土（Hue10YR3/4）　22号溝埋土。褐色ブロックが主体である。
20層：暗褐色土（Hue10YR3/4）　22号溝埋土。褐色と黒褐色土が斑に混じる。
21層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　22号溝埋土。須恵器片出土。少量の炭片混じる。
22層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　22号溝埋土。褐色粒多く混じる。27層由来のブロック少量入る。
23層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　22号溝埋土。褐色、黒褐色の粒が混じる。
24層：黒褐色土（Hue10YR2/2）　古代竪穴建物埋土。褐色土と黒褐色土が斑に混じる。
25層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　古代竪穴建物竈粘土。白く、粘質強い。
26層：褐色砂（Hue10YR4/6）　赤褐色砂層（５a層）。わずかに黒褐色土が斑に入る。縄文時代遺物の包含層。
27層：にぶい黄褐色砂（Hue10YR4/3）　緑褐色砂層（５b層）。26層よりやや緑がかった色調。混じりが少ない。縄文時代遺物の包含層。
28層：褐色土（Hue10YR4/4）　灰オリーブ褐色砂層（11層）。上面は上層からの貫入により凹凸が著しい。無遺物層。

図35　Ⅲ１区2号・22号溝東西ベルト北壁土層断面図（S=1/40）

Ⅲ１区22号溝（図34・35）

Ⅲ区の北端にあたる、Ⅲ１区西半、Ⅲ２区北側（Ⅲ２区２号溝）、Ⅲ23区南端（Ⅲ23区７号溝）、Ⅲ９区北端（Ⅲ９区４号溝）、Ⅲ13区東端（Ⅲ13区４号溝）にかけて検出した。各調査区において異なる期間に調査を実施したため複数調査区に跨っている。近世溝のⅢ１区２号溝と重複しており、西側上端はこれにより削平されている。また、Ⅲ１区30号竪穴建物とも重複しており、これより新しい。現状で幅１ｍ、長さはⅢ９区からⅢ23区にかけて北西－南東方向に13.5ｍを測る。軸は北で20°西に傾き、Ⅲ１区内では後述する４号溝とほぼ並行して走る。北側では軸がやや北に傾いており、その延長線上にはⅢ25区２号溝が推定されるが、両者が同一遺構である確証はない。また、さらに北側では黒髪南地区9810調査地点１号溝と同一直線上に乗ることが分かった。南側延長部はⅢ９区からさらに南へ広がると考えられるが、調査外であるため詳細は不明である。検出面からの深さは86㎝、断面形態は台形で東側には溝上端に２つのテラスが構築される。土層断面を確認したところ、溝埋土上面には４層が沈みこむように堆積しており、本溝が廃棄されてからも長期間窪んだままであったと推測できる。この窪みを再利用して近世溝（Ⅲ１区２号溝）を造営した可能性がある。遺物は埋土中からの古代に帰属する土師器・須恵器片が主だが、一か所に集中するなどまとまった出土状況ではない（図

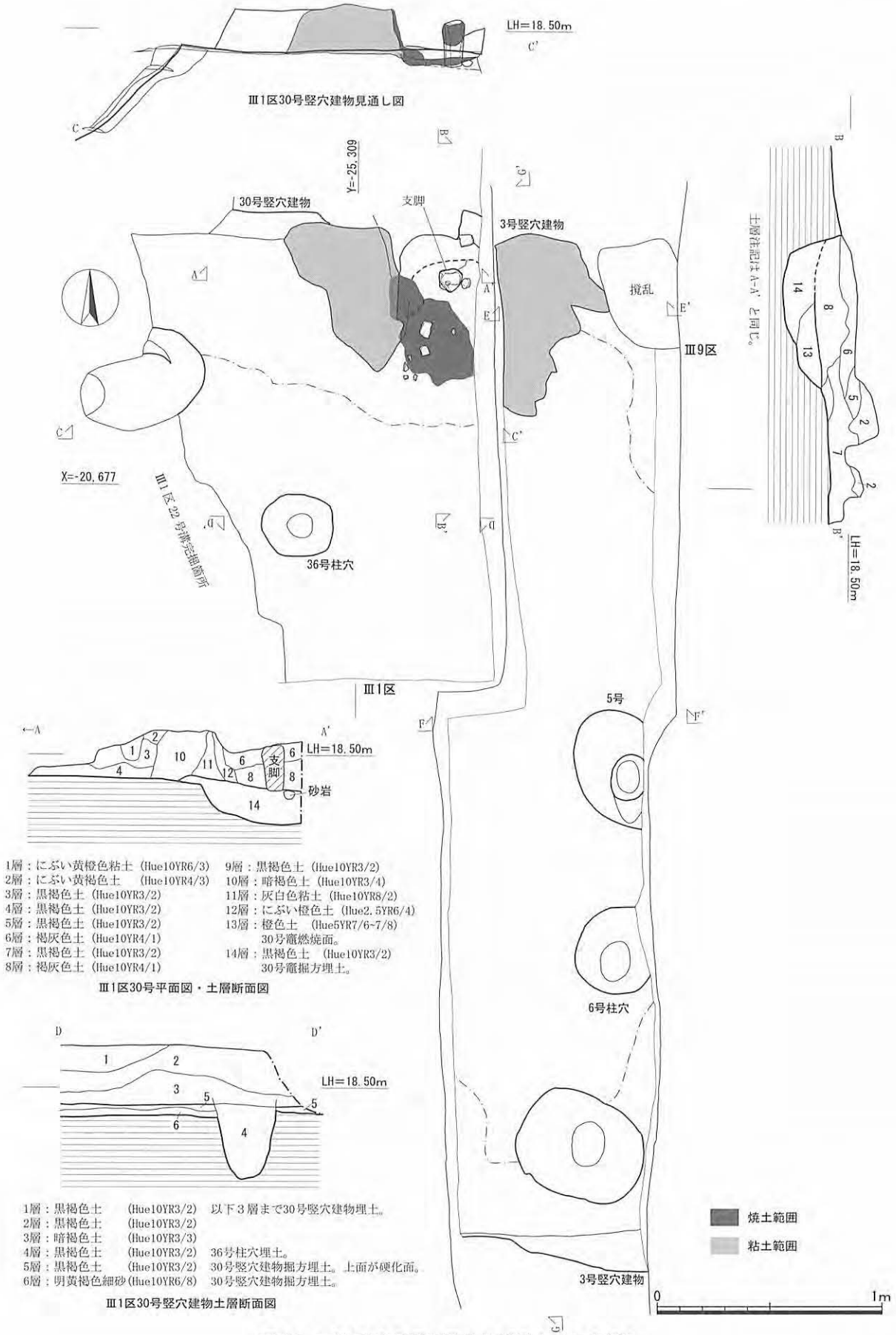


図 36　Ⅲ1 区 30 号竪穴建物実測図 1（S=1/25）

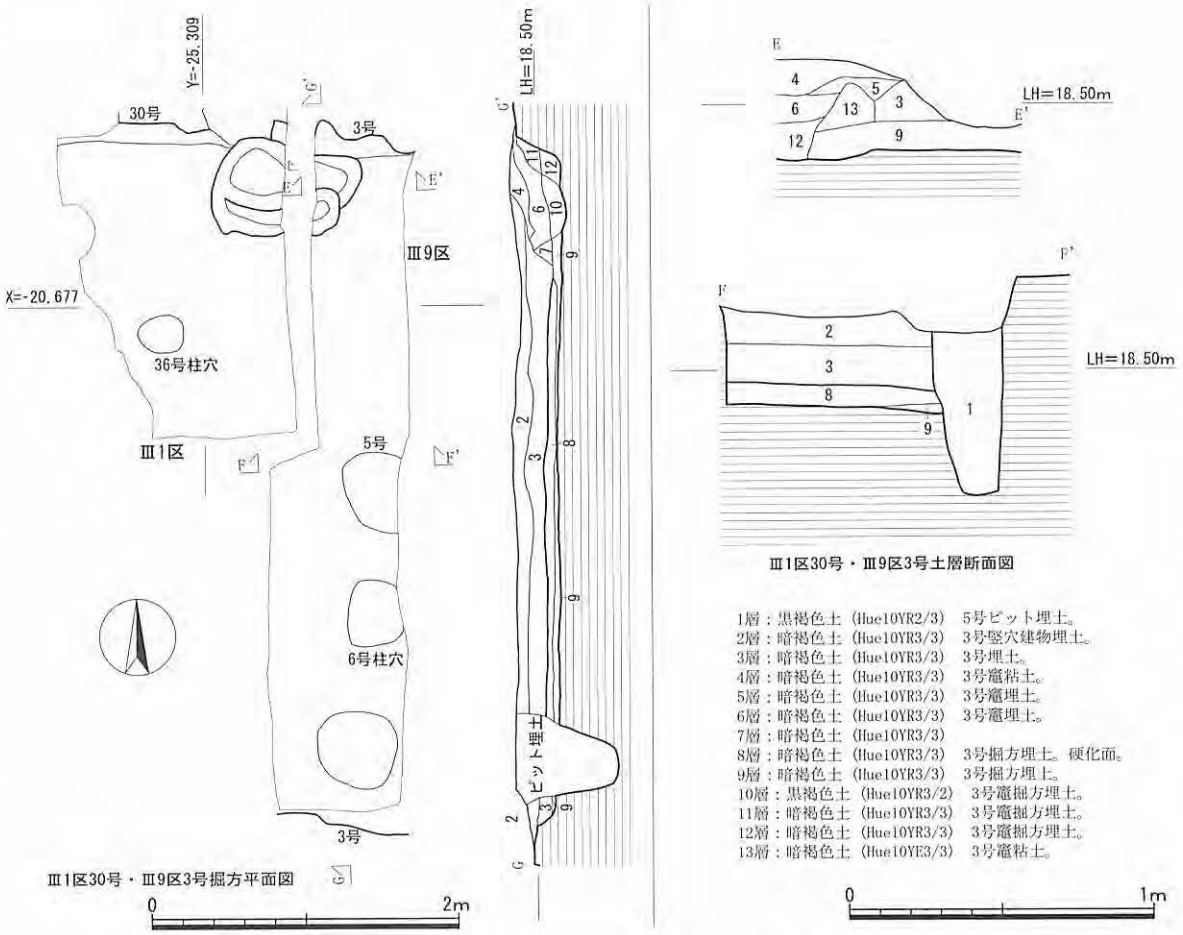


図37　Ⅲ1区30号竪穴建物実測図2（S=1/50・S=1/25）

34－163～167）。

163は緑色の陶器小壺である。Ⅲ１区22号溝埋土上層で出土した。胴部は丸く頸部に向かって大きくすぼまり、口縁部が弱く直立に立ち上がる。肩部には横位沈線と鋸歯文が並ぶ。164は土師器甕の口縁部片である。165・166は須恵器坏である。底部は平底で、口縁部が50°の角度で直線的に立ち上がる。いずれも８世紀後半頃か。167は近世溝のⅢ１区２号溝埋土から出土したが、Ⅲ１区22号溝から混入と思われる。やや膨らんだ胴部が頸部で弱くすぼまり、口縁部が大きく外反する。胴部外面は縦方向のハケ目、内面は斜位の削り、口縁部内外面はナデによって調整されている。

Ⅲ１区４号溝（図34）

Ⅲ区の北端にあたる、Ⅲ１区東側、Ⅲ９区北端（Ⅲ９区１号溝）、Ⅱ４－４区南西隅（Ⅱ４－４区10号溝）で検出した。後述するⅢ１区30号竪穴建物、Ⅲ12区１号竪穴建物と重複しており、いずれよりも新しい。現状では幅60cm、検出面からの深さ10cm程、北西－南東方向に長さ12.2mを測る。軸はⅢ１区内では北で21°西に傾き、より北側のⅡ４－４区では北で12°西に傾く。北側延長部はⅡ４－４区の調査区外に広がる様子は確認できないが、南側延長部はⅢ12区よりさらに南側に延びるものと考えられる。遺物として10数点の土師器、須恵器破片が出土している。

Ⅲ１区30号竪穴建物（図36・37）

Ⅲ区の北端、Ⅲ１区南東部、Ⅲ９区北端（Ⅲ９区３号竪穴建物）で検出した。Ⅲ１区22号溝、４号

溝と重複し、これらより古い。北側に竈を持ち、主軸はおおむね方位軸に沿う。東側は調査区外に広がり、西側はⅢ１区22号溝によって破壊を受けている。現状で南北4.7m、東西2.45mを確認でき、平面形態は方形とみられるが詳細は不明である。検出面からの床面までの深さは20cmである。硬化面は顕著で壁面付近を除いた広い範囲に確認でき、周囲よりわずかに盛り上がる。床面より５基のピットを検出し、土層の確認の結果、北西に位置する36号と南東に位置する６号は本遺構に伴う柱穴と判断した。埋土中の遺物として少量の土師器、須恵器片が出土しているが、いずれも小破片か胴部片のため図化していない。竈は４号溝によって上部が壊れているものの竈西側の残存状況は良好である。壁面は灰白色粘土により構築され、内面は焼土化する。床面は焼土化が顕著で、中央煙道側に１本の支脚が直立した状態で検出された。支脚は砂岩製で円柱形に調整される。被熱により赤灰色～橙色を呈する。先端部は４号溝による削平を受けている。竈周囲から遺物の出土は少なく、床面からはやや浮いた状態で土師器甕の小片が出土したのみである。掘方は全体的に浅く、周縁がやや深くなっている。硬化面範囲の貼床の厚さは５cm程である。また、土層断面から竈掘方が貼床より新しいことが確認できている。

Ⅲ２区19号竪穴建物（図38）

Ⅲ区の北側、Ⅲ２区の中央部に位置する。近世溝であるⅢ１区２号溝と重複し、より古い。現状で南北5.7m、東西1.0mを測る。東側および西側は調査区外に広がり、北側は２号溝によって削平を受けている。検出面からの深さは20cmである。硬化面は中央部付近に南北1.8m、東西0.8mの範囲で確認でき、その範囲は周囲よりやや盛り上がる。また、北側には粘土集中部を確認した。当初は竈の可能性を考慮して調査したが、白灰色粘土のみの堆積で、竈壁体の崩落土が流入したものと

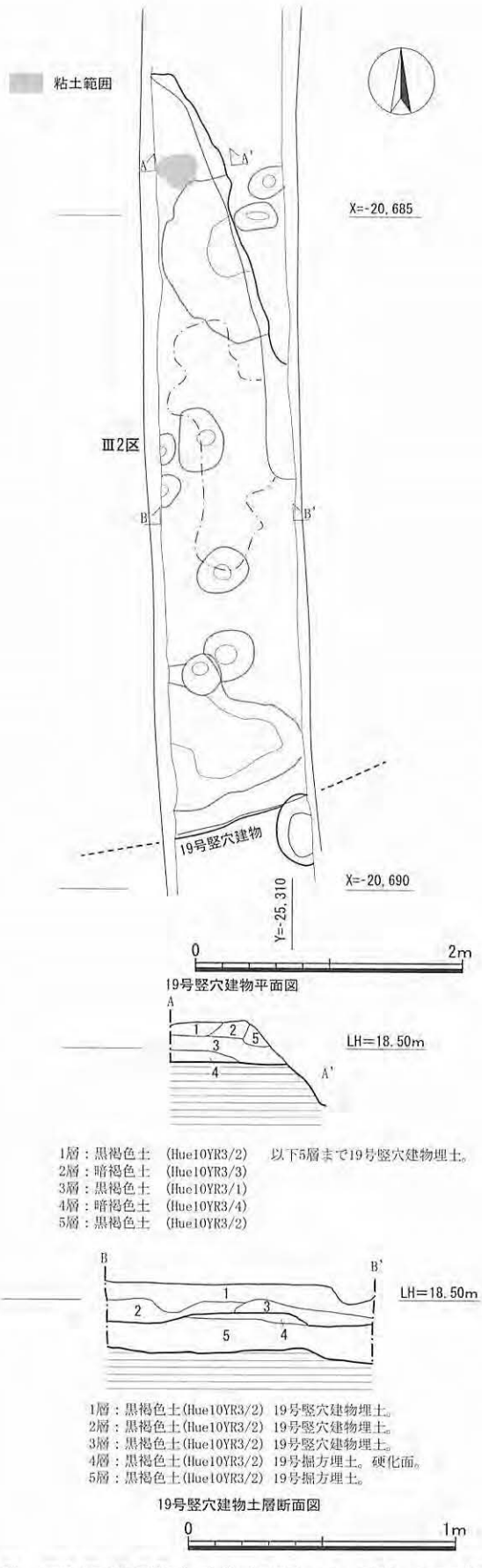


図38 Ⅲ2区19号竪穴建物実測図（S=1/50・S=1/25）

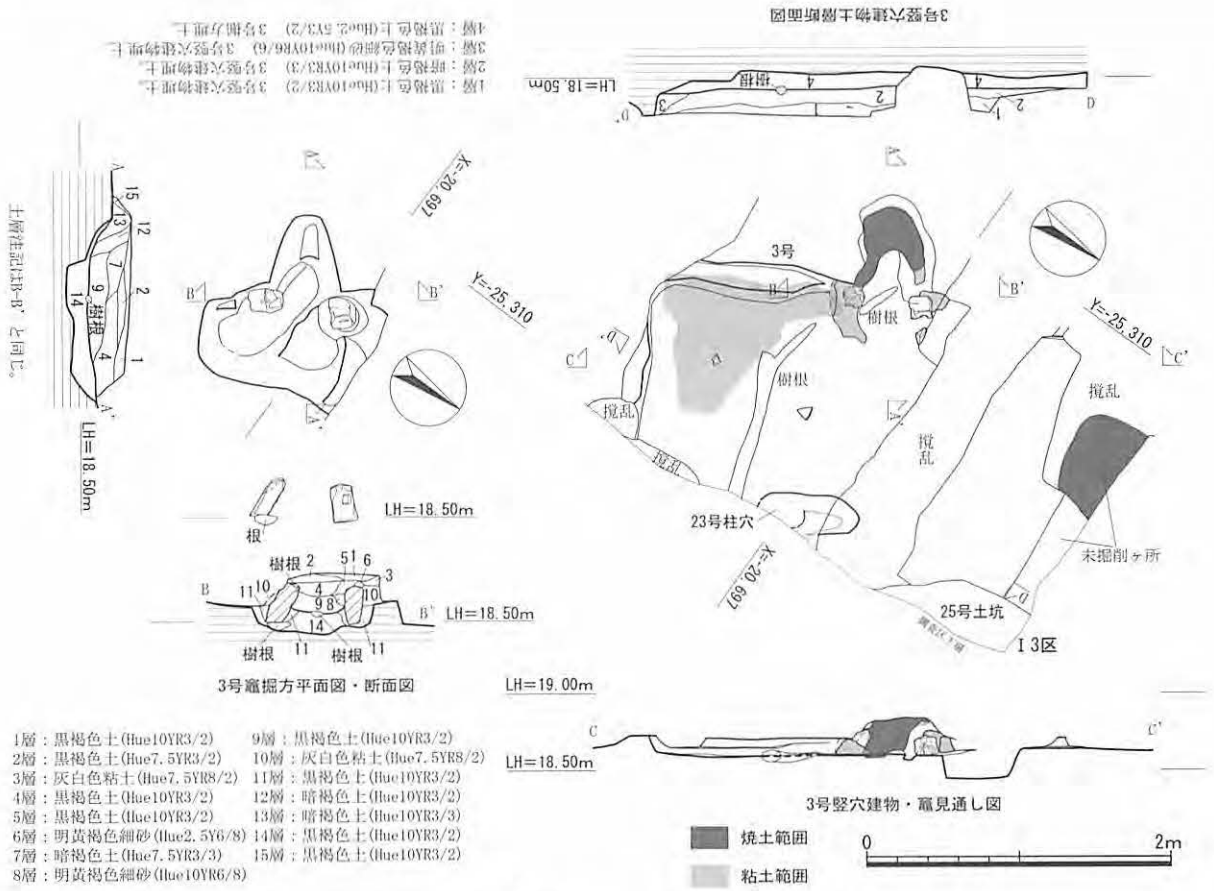


図 39　Ⅲ3 区 3 号竪穴建物実測図（S=1/50）

みられる。床面からは明確な柱穴は確認できなかった。掘方からは６基のピットを検出したが、いずれも柱穴とは断定できなかった。遺物は少量の土師器片が出土している。

Ⅲ３区３号竪穴建物（図39）

Ⅲ区の中央部、Ⅲ３区の北東部に位置する。北側および東側は調査区外に広がる。北東側で近代土坑のⅢ３区25土坑と重複しており、より古い。現状で南北3.1m、東西2.0mを測る。検出面からの深さは10～15cmである。西側に竈を持ち、主軸は南で西に34°傾く。硬化面は中央から南側にかけて広がり、北側では不明瞭である。床面では柱穴は確認できなかったが、掘方底面で遺構南東部より23号柱穴を検出した。埋土の質が貼床埋土と近似しており、本竪穴建物に伴う柱穴と考えられる。西側壁面南側にテラス所の段差が認められるが、棚状施設か、壁面の崩落によるものか判然としない。竈は北側壁面がやや撹乱を受けるものの残存状況は良好である。壁面は両側とも袖石が存在し、その周囲を灰色白粘土で覆うことで壁面を構築している。袖石は角柱状に整えられた砂岩で、縦位に据えられている。南側の袖石は樹根により移動したためか、斜めに傾く。北側の袖石は前側面に直径５cm程の孔が認められる。床面では燃焼面の焼土、支脚は確認できず、壁面の焼土化も顕著ではなかった。また、土層断面から竈の掘方が貼床より新しいことを確認できた。遺物として建物および竈埋土中から少量の土師器・須恵器破片が出土している。また、本遺構の北側壁際にも焼土の集中部を0.35×0.65mの範囲で検出したが、Ⅲ３区３号竪穴建物と本集中部との間に配管が密集しており、工事に伴う掘削の必要がなかったため、現地にて保存している。

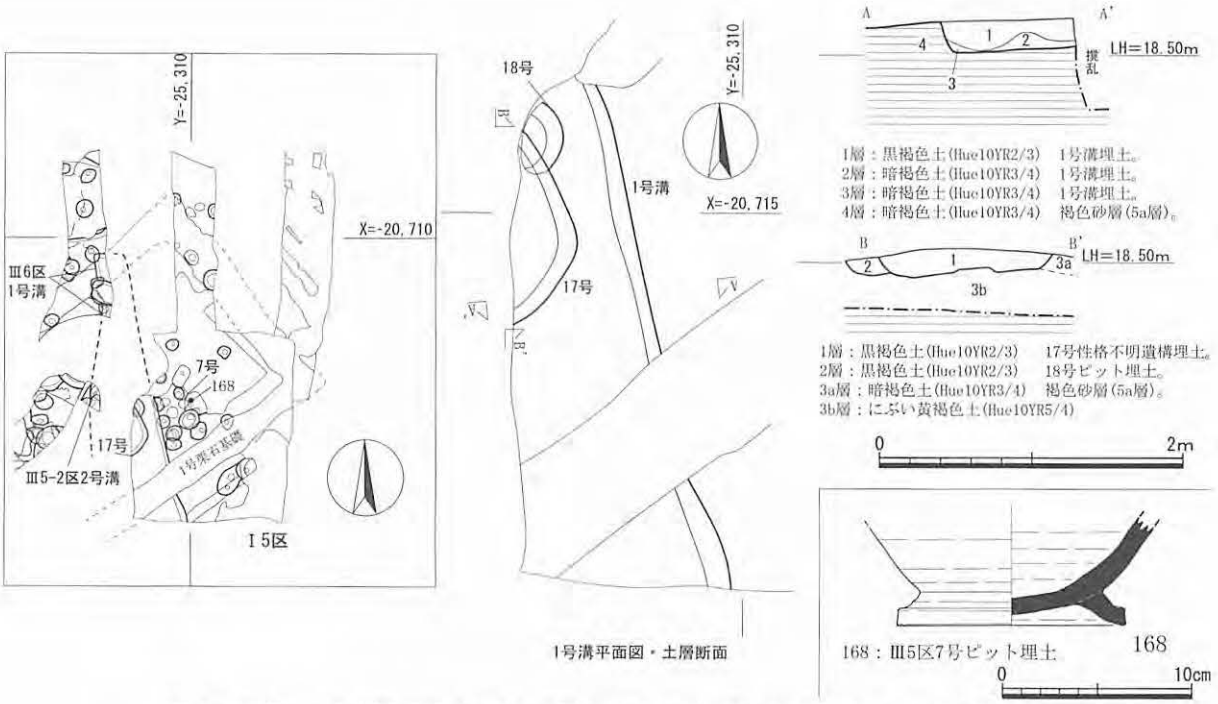


図 40　Ⅲ5 区 1 号溝実測図とⅢ5 区 7 号ピット出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

Ⅲ５区１号溝（図40）

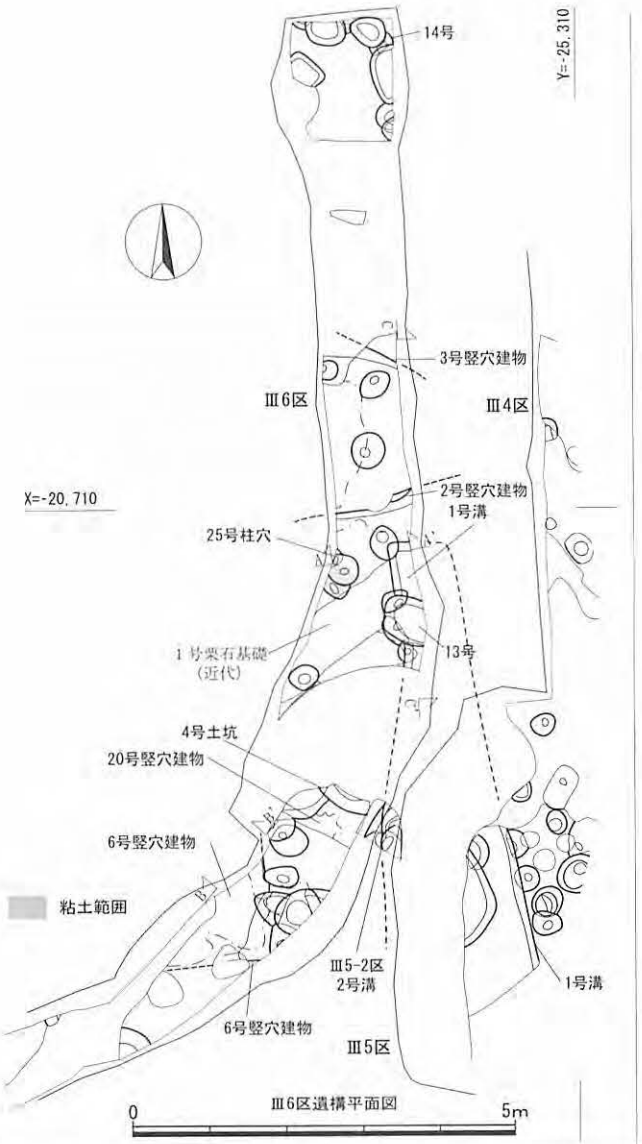
Ⅲ区の南端、Ⅲ５区の西側に位置する。遺構の一部は近代の１号栗石基礎によって破壊を受けている。南北延長部と東側は調査区外に広がるものとみられる。北側延長部はⅢ６区１号溝上にのり、同一遺構の可能性がある。西側壁面はⅢ５－２区２号溝と対応する可能性が高い。現状で幅52cm、長さ1.8mを測る。検出面からの深さは10cm、断面は逆台形状である。現状で遺物は少量の土師器・須恵器小片のみである。また、Ⅲ５区１号溝の東側にはⅢ５区７号ピットが位置する。直径20cm程で東側は撹乱によって削られている。埋土中からは須恵器壺の底部片が出土した（図40－168）。

Ⅲ６区１号溝（図41）

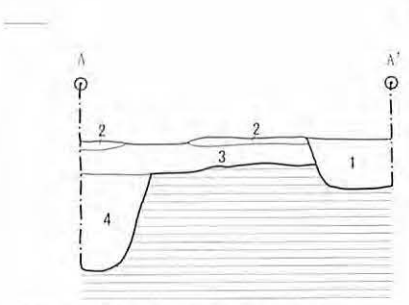
Ⅲ６区の中央やや北側に位置する。現状で、南北1.7m、東西0.3mを測り、方位は北で８°西に傾く。当初、本遺構を竪穴建物と判断し、調査区外東側に遺構が広がると想定したが。東に隣接するⅢ４区ではその広がりが確認されず、硬化面や竈の粘土の痕跡なども確認できなかったため、最終的に溝と判断した。南側の延長部は先述したⅢ５区１号溝、Ⅲ５－２区２号溝に繋がる可能性がある。検出面からの深さは15cm、断面形態は逆台形状である。遺物は出土しなかった。

Ⅲ６区２号竪穴建物（図41）

Ⅲ６区の中央やや北側に位置する。Ⅲ６区１号溝より古く、Ⅲ６区３号竪穴建物より新しい。調査区外東西に広がるが、南側は近代の栗石基礎（Ⅲ５区１号栗石基礎）と撹乱、西側はⅢ６区１号溝によって削平されている。平面形態は不明で、現状で南北2.1m、東西1.0mを測り、北で13°西に傾く。床面では安定しない硬化面が北側を中心に検出されている。床面において４基のピットを検出しており、このうち25号は土層断面の観察により２号竪穴建物に伴う柱穴と判断した。本遺構の埋土には一部粘土が集中する部分もあるが、焼土の集中部もなく、竈に関連するものと判断し難い。遺物として少量の土師器片が出土している。

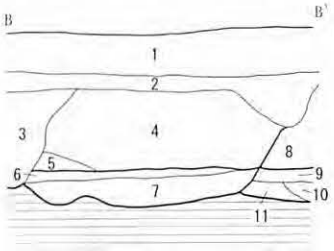


Ⅲ6区遺構平面図



1層：黒褐色土（Hue7.5YR3/2）　1号溝埋土。
2層：暗褐色土（Hue7.5YR3/3）　2号竪穴建物掘方埋土。硬化面。
3層：黒褐色土（Hue7.5YR3/2）　2号竪穴建物掘方埋土。
4層：暗褐色土（Hue7.5YR3/4）　25号柱穴埋土。

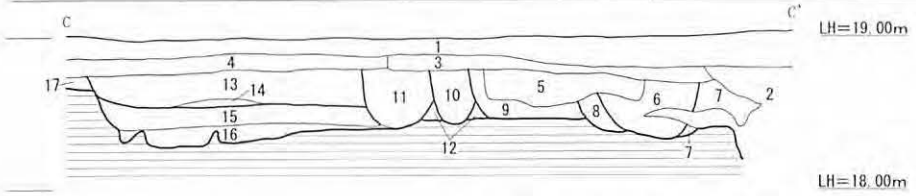
Ⅲ6区1号溝・2号竪穴建物土層断面



1層：砕石層
2層：暗褐色土（Hue10YR3/3）
3層：撹乱埋土
4層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　6号竪穴建物埋土。
5層：暗褐色土（Hue10YR3/4）　6号埋土。
6層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　6号掘方埋土。硬化面。
7層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　6号掘方埋土。
8層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　20号竪穴建物埋土。
9層：黒褐色土（Hue10YR2/2）　20号掘方埋土。硬化面。
10層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　20号掘方埋土。
11層：暗褐色土（Hue10YR3/3）　20号掘方埋土。

Ⅲ6区6号・20号竪穴建物土層断面

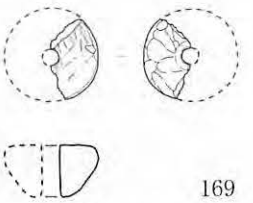
0　1m



1層：砕石層
2層：撹乱
3層：暗褐色土（Hue10YR3/3）
4層：黒褐色土（Hue10YR2/3）
5層：工友寮基礎栗石掘方埋土。
6層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　13号土坑埋土。
7層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　13号土坑埋土。
8層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　13号土坑埋土。
9層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　1号溝埋土。
10層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　ピット埋土。平面で検出できず。
11層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　ピット埋土。平面で検出できず。
12層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　2号竪穴建物掘方埋土。
13層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　3号竪穴建物埋土。
14層：黒褐色土（Hue10YR3/2）　3号竪穴建物埋土。
15層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　3号掘方埋土。
16層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　3号掘方埋土。
17層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　漸移層。

0　2m

Ⅲ6区北側東壁土層断面



169：Ⅲ6区4号土坑

0　5cm

0　10cm

169：Ⅲ6区14号ピット　170～172：Ⅲ6区3号竪穴建物　173：Ⅲ6区4号土坑　174：Ⅲ6区6号竪穴建物

図41　Ⅲ6区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/3・S=1/4）

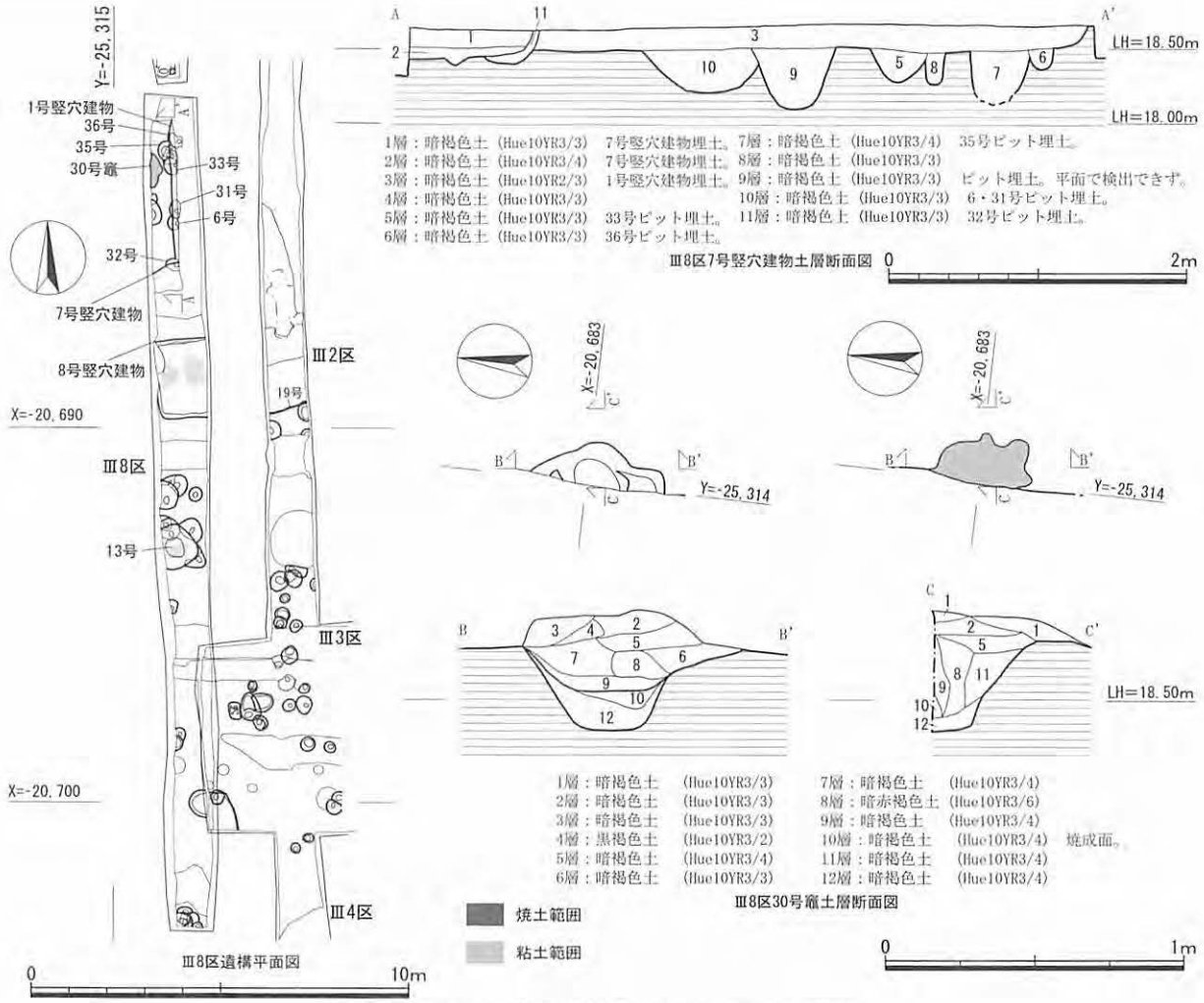


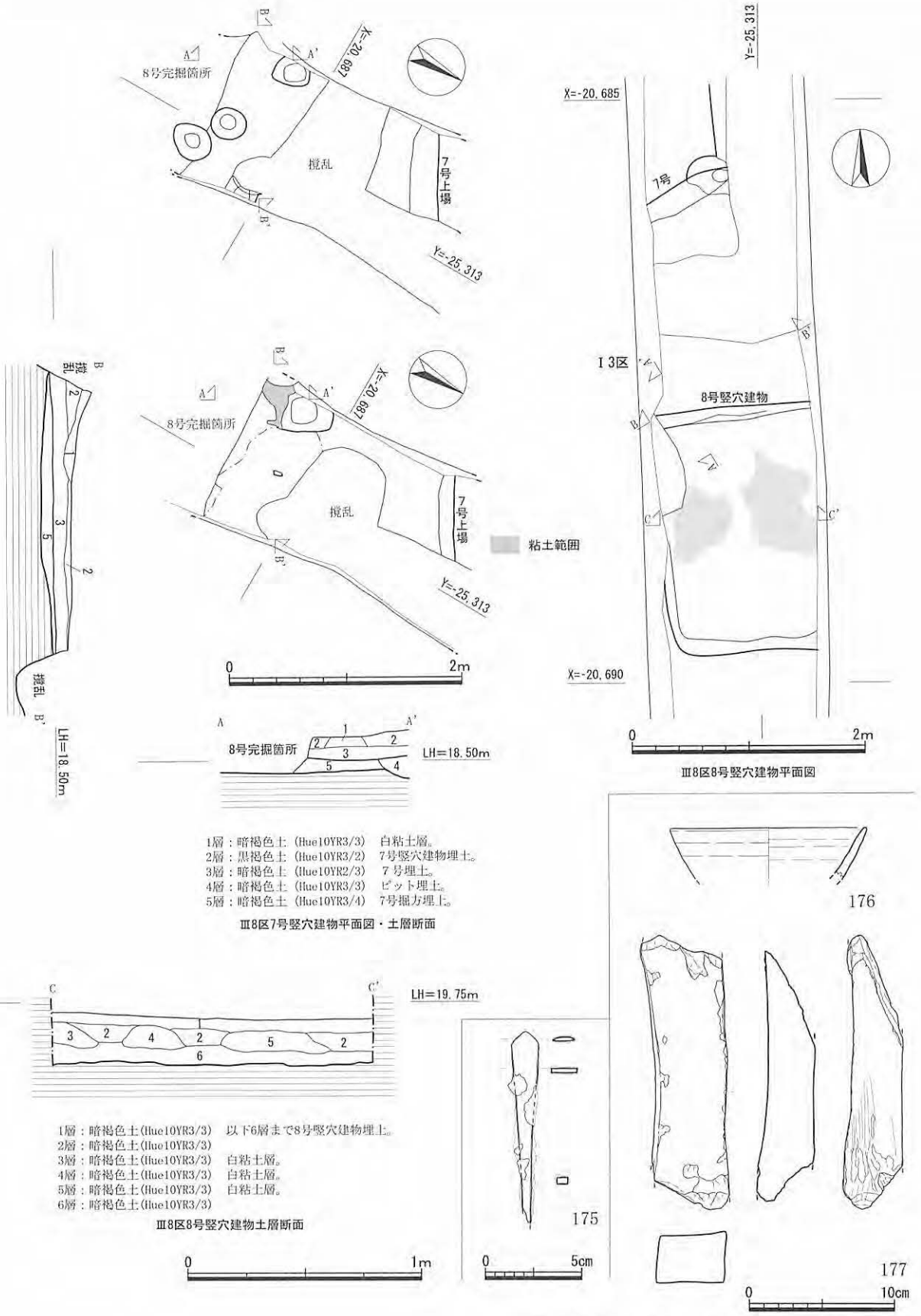
図 42　Ⅲ8 区遺構実測図（S=1/50・S=1/25）

Ⅲ６区３号竪穴建物（図41）

Ⅲ６区の北側に位置する。Ⅲ６区１号溝および２号竪穴建物と重複し、いずれより古い。北西側は撹乱により削平されており、東西は調査区外に広がる。南側は１号溝と２号竪穴建物によって壊される。平面形態は不明で、現状で南北2.1m、東西1.0mを測り、北で27°東に傾く。検出面からの深さは５cm以下である。床面は硬化面が西壁付近で検出されるが、東壁に向かうほど顕著ではなくなる。床面では柱穴は検出されず、掘方底面より３基のピットが検出されているが、本遺構との新旧関係は不明である。貼床の厚さは22cmである。竈は検出されておらず、埋土中に粘土の混入も認められない。建物埋土中より土師器坏破片が数点出土している（図41－170～172）。

Ⅲ６区６号竪穴建物（図41）

Ⅲ６区南端に位置する。Ⅲ６区20号竪穴建物と重複し、より新しい。遺構検出中、５層（褐色砂層）のレベルにおいて壁と平面の一部に硬化面を検出したため、これを床面とし、竪穴建物と判断した。平面形態は方形とみられ、現状で南北1.3m、東西1.0mを測り、北で４°西に傾く。土層断面で確認したところ、検出面から床面までの深さは25cmである。一部に焼土の集中がみられたが少量で竈とは判断できなかった。遺物として埋土中より土師器鍋の破片などが出土している（図41－174）。



175・177：Ⅲ8区4層　176：Ⅲ8区7号竪穴建物埋土

図 43　Ⅲ8 区 7・8 号竪穴建物実測図とⅢ8 区出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/3・S=1/4）

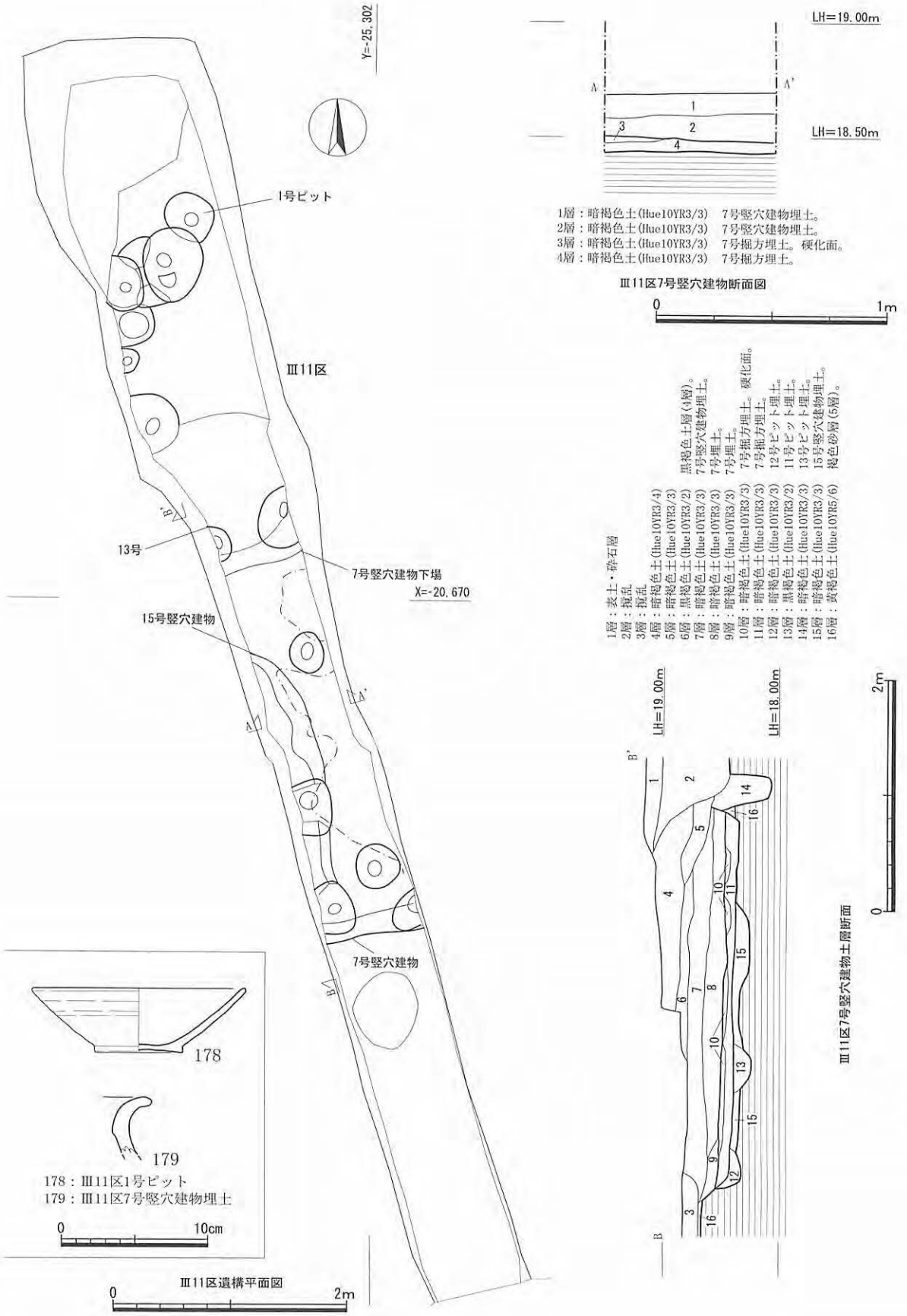


図 44　Ⅲ11 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4）

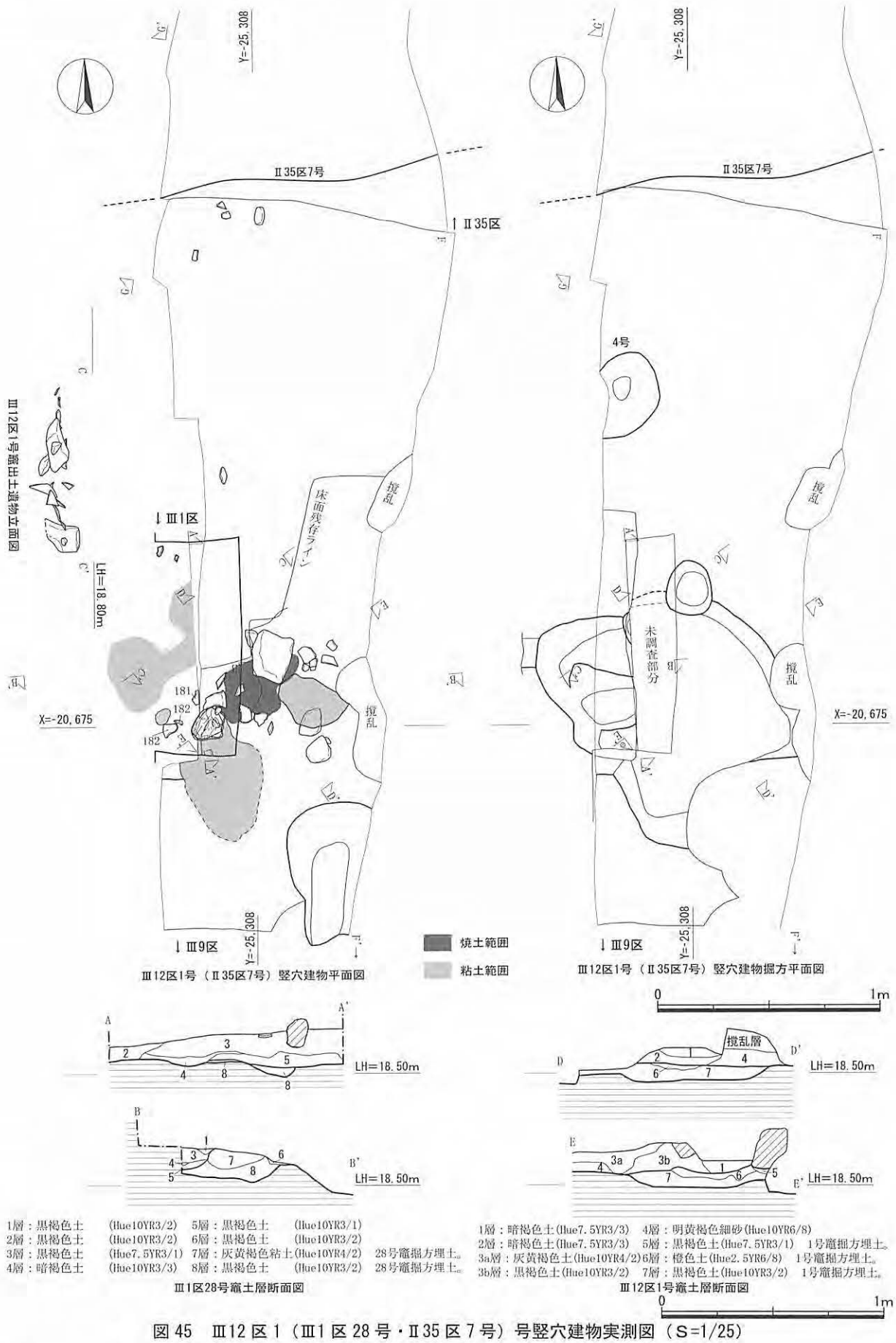


図45　Ⅲ12区1（Ⅲ1区28号・Ⅱ35区7号）号竪穴建物実測図（S=1/25）

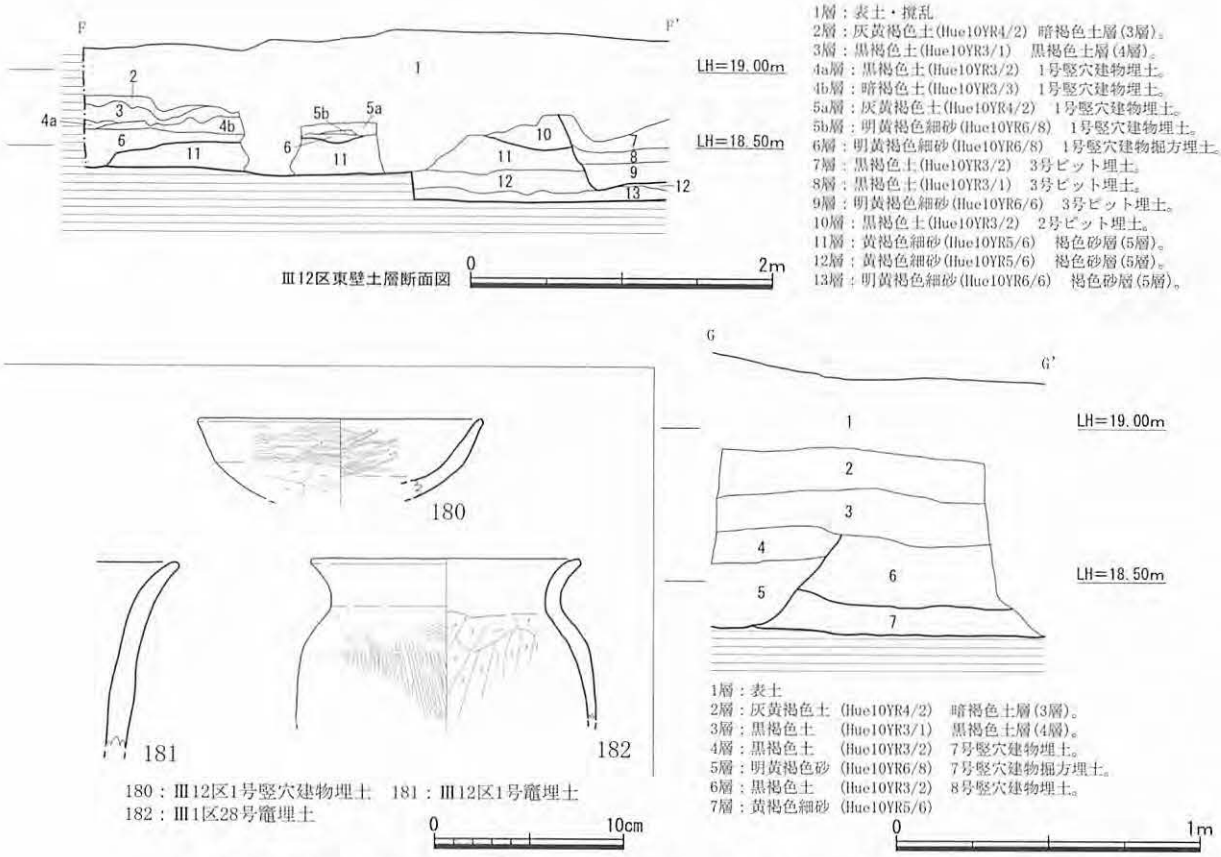


図46 Ⅲ12区1号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4）

Ⅲ６区20号竪穴建物（図41）

Ⅲ６区の南側に位置する。Ⅲ６区６号竪穴建物と重複し、より古い。遺構検出中、５層（褐色砂層）のレベルにおいて壁と平面の一部に硬化面を検出したため、これを床面とし、竪穴建物と判断した。北と西側の一部が４号土坑や撹乱によって削平をうけている。平面形態は不明で、現状では南北0.7m、東西1.2mを測り、北で26°西に傾く。竈は検出されず、遺物も出土していない。

Ⅲ８区１号竪穴建物（図43）

Ⅲ区中央部、Ⅲ８区の北側に位置する。西壁面を確認したのみで、東に隣接するＩ２区では近世溝とＩ２区19号竪穴建物が広がることから、その続きを検出することはできず、竪穴建物である確証は持てない。南側でⅢ８区７号竪穴建物と重複し、より古い。東側の大半を撹乱によって、南側を７号竪穴建物と32号ピットによって破壊されている。現状で南北3.8m、東西0.1mを測り、おおむね方位軸に沿っている。遺物は出土していない。

Ⅲ８区７号竪穴建物（図42・43）

Ⅲ区中央部、Ⅲ８区の北側で検出した。北側の一部を撹乱によって、南側を８号竪穴建物によって削平されている。現状で南北2.0m、東西1.3mを測り、北で西に26°傾く。検出面から床面の深さは10cmである。硬化面は南側で確認でき、その周囲もややしまっていた。床面上でピットを３基検出したが、いずれも深さや形態から柱穴とは判断しなかった。遺構南西側に粘土が集中部を確認したが、床面からやや浮いた状態で検出されており、竈ではないと考えられる。遺物は土師器・須恵器破片が数点出土している（図43－176）。

Ⅲ８区８号竪穴建物（図42・43）

Ⅲ区中央部、Ⅲ８区の中央やや北よりで検出した。平面形態は方形とみられ、現状で南北2.1m、東西1.3mを測り、北で7°西に傾く。東は調査区外に広がると思われるが、壁面南西隅を確認したため、竪穴建物としては小型と想定される。埋土中には白色粘土層が厚く堆積し、焼土も若干混入するが、竈は確認できなかった。明確な硬化面が確認できず、床面は判然としない。検出面から掘方床面までの深さは20cmである。床面は凹凸が著しい。遺物は埋土中より土師器が出土している。

Ⅲ８区30号竈（図42）

Ⅲ８区北側壁際に位置する。粘土と焼土の集中する竈のみを検出しており、西側は調査区外に広がるため、これに付随する竪穴建物や竈全体の規模など詳細については確認できなかった。調査により竈壁面の一部と、焼土面を確認した。検出面から床面までの深さは15cmである。遺物は小破片のみである。

Ⅲ８区出土遺物（図43）

175は鉄鏃である。錆びが著しく、詳細は観察できないが、鏃身部に最大幅をもち、先端に刃部を有する。基部の断面形態は長方形で、茎との段差は確認できなかった。176は土師器坏である。177は砥石である。本来直方体であった砥石が使用によって大きく凹み、各面が湾曲した状態である。一面には線状痕が長軸に沿って明瞭に走る。両端部は欠損している。

Ⅲ11区７号竪穴建物（図44）

Ⅲ区の北東端、Ⅲ11区の中央やや南側に位置する。西側でⅢ11区15号竪穴建物と重複し、より新しい。北側は撹乱によって削平を受け、東西は調査区外に広がる。形態、規模ともに不明だが、現状で南北3.6m、東西0.85mを測り、北で13°西に傾く。検出面から床面までの深さは10cm程である。硬化面は調査区の東側へ広がるため竪穴建物の中心も東によると考えられる。掘方床面からは４基のピットを検出し、いずれも本遺構より古いと考えられる。埋土中より土師器甕の口縁部破片や須恵器甕の胴部破片が出土している（図44－179）。また、本調査区北端に位置するⅢ11区１号ピットの埋土中からは越州青磁碗の破片が１点出土している（図44－178、写真191）。

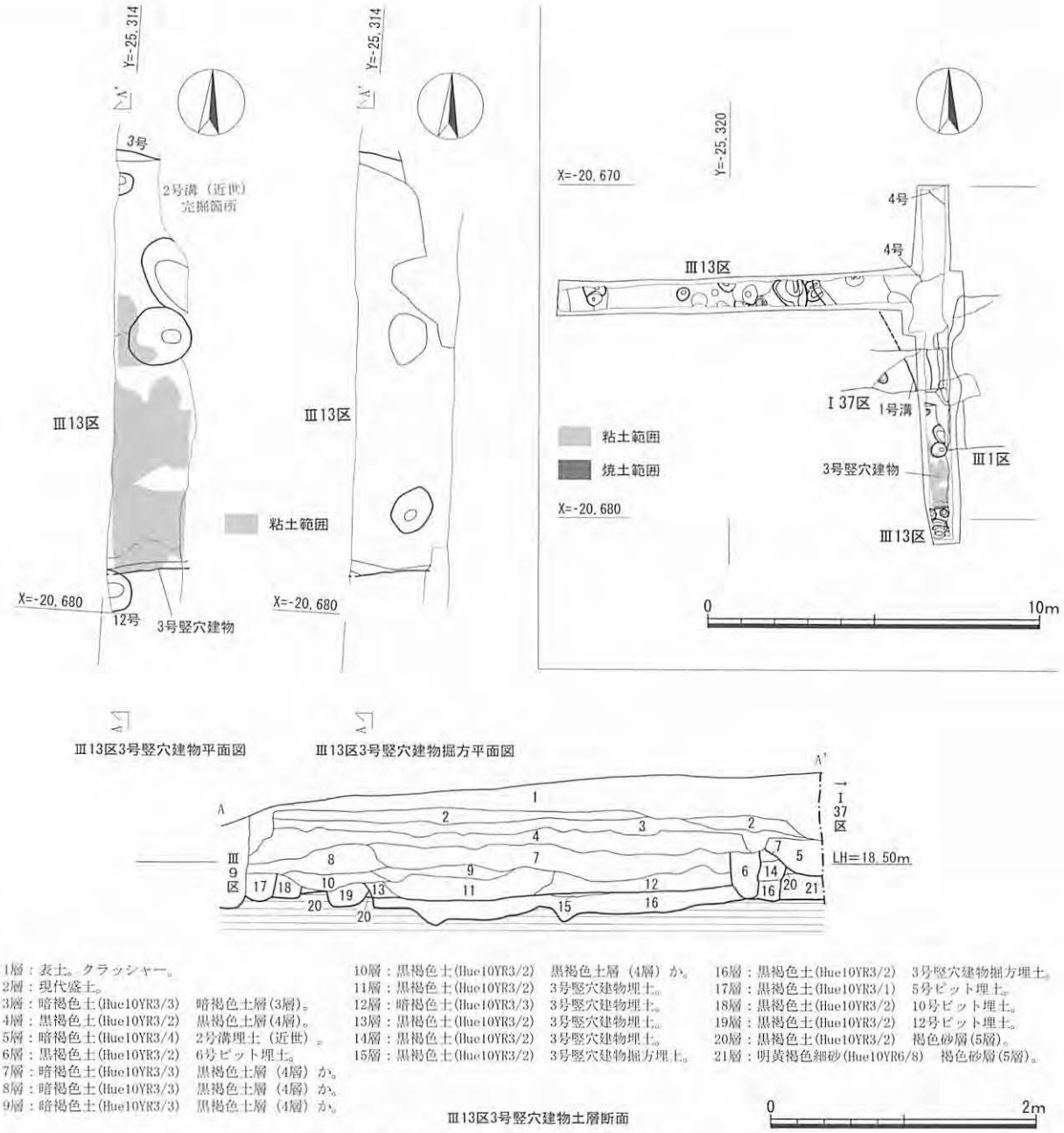
178は越州青磁碗である。高台から口縁部まで、35～39°の角度で極緩やかに湾曲しながら立ち上がる。色調は灰色に近い薄緑色で、内外面に灰釉が掛かる。高台部には砂目が付着している。179は土師器甕口縁部破片である。

Ⅲ11区15号竪穴建物（図44）

Ⅲ11区の中央やや南側に位置する。Ⅲ11区７号竪穴建物と重複し、より新しい。７号竪穴建物の掘方底面より東端の一部のみを検出しており、全体形が不明のため竪穴建物である確証はない。現状で南北2.15m、東西0.3mを測る。検出面から掘方底面までの深さは13cm程である。硬化面や竈は確認できなかった。

Ⅲ12区１号竪穴建物（図45・46）

Ⅲ12区の北端、Ⅲ１区の東端（Ⅲ１区28号竈）、Ⅱ35区の南端（Ⅱ35区７号竪穴建物）で検出された。各調査区で異なる時期に調査を実施したため、調査工程が煩雑となり調査に時間を要した。現状では南北2.6m、東西2.5mを測り、北で９°西へ傾く。土層の観察から、遺構検出面から床面までの深さは25cmであった。埋土中からは土師器破片が出土している（図46－180）。床面は硬化面が不明瞭で、明確な柱穴も確認できなかった。Ⅲ１区とⅢ12区における調査で南側に竈を持っていることが分かった。Ⅲ１区では竈の北西部に白灰色粘土が集中しており、当初、こちらが竈の壁体と考えていたが、Ⅲ12区の調査で竈のほぼ全面を検出でき、先に検出した粘土集中部は壁体が崩壊したものであると判



1層：表土。クラッシャー。
2層：現代盛土。
3層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　暗褐色土層(3層)。
4層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層(4層)。
5層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　2号溝埋土（近世）。
6層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　6号ピット埋土。
7層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　黒褐色土層（4層）か。
8層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　黒褐色土層（4層）か。
9層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　黒褐色土層（4層）か。
10層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層（4層）か。
11層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物埋土。
12層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　3号竪穴建物埋土。
13層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物埋土。
14層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物埋土。
15層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物掘方埋土。
16層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物掘方埋土。
17層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　5号ピット埋土。
18層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　10号ピット埋土。
19層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　12号ピット埋土。
20層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　褐色砂層(5層)。
21層：明黄褐色細砂(Hue10YR6/8)　褐色砂層(5層)。

図47　Ⅲ13区3号竪穴建物実測図（S=1/50・S=1/25）

明した。竈の床面には焼土化した燃焼面と袖石が検出でき、西側の袖石はその位置関係から当時の位置を保っていると考えられる。東側の袖石は床面より高く、移動しているものとみられる。燃焼面と袖石の位置関係から、竈の方位は竪穴建物に対して、北で西側に30°程傾くと考えられる。竈埋土からは土師器甕の破片が出土している（図46－181・182）。また、燃焼部の横には灰白色粘土の盛り上がりを検出した。竈の掘方は南北1.1m、深さは床面から10cmを測る。掘方周縁部が深く、竈付近が浅い。貼床と竈掘方の新旧関係は確認できなかった。

180は竪穴建物埋土より出土した土師器坏である。胴部途中で角度を変えて立ち上がる。外面下半は横方向の削りで、外面上半と内面は磨きによって器面調整されている。181・182は竈埋土より出土

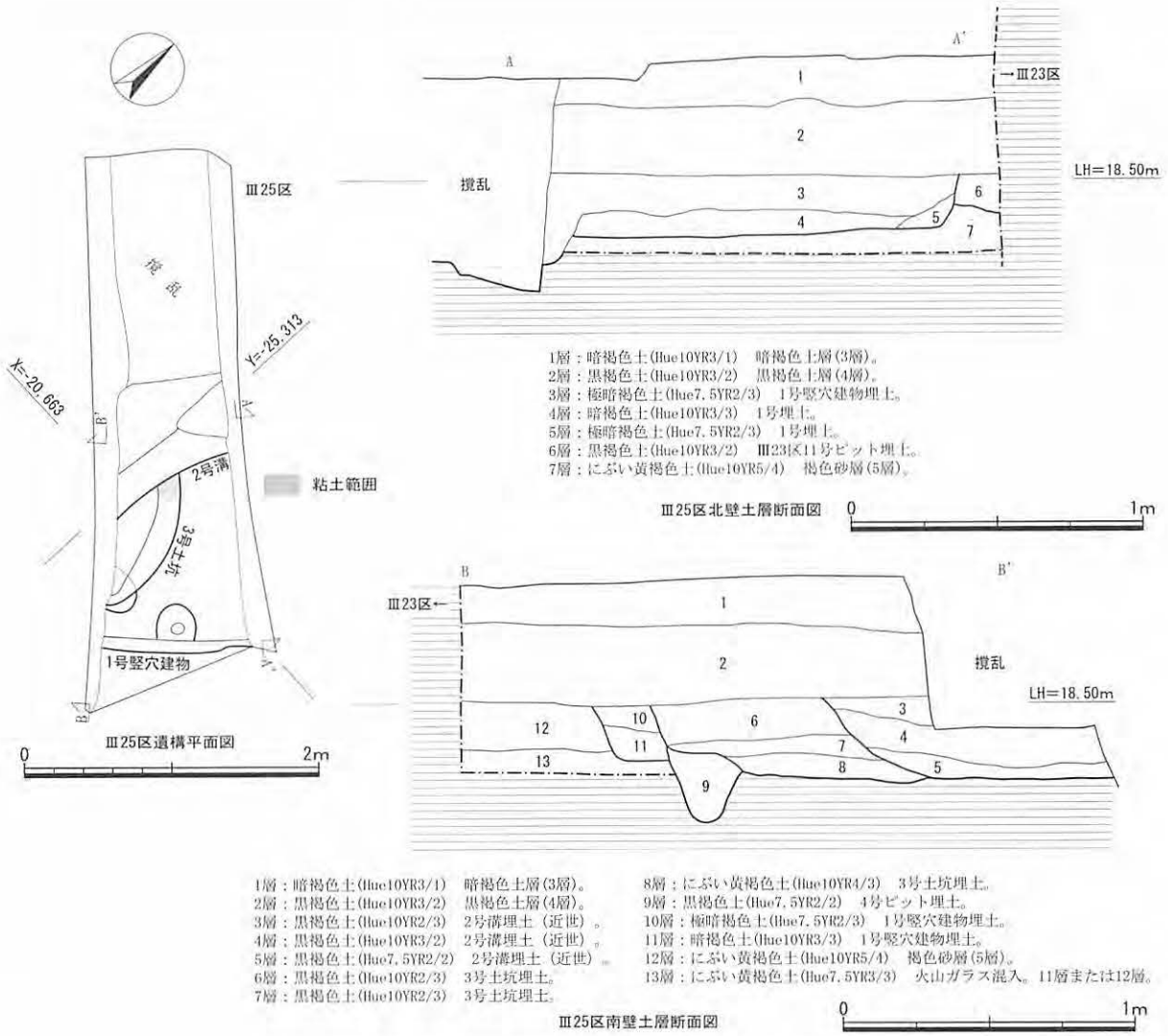


図 48　Ⅲ25 区遺構実測図（S=1/50・S=1/25）

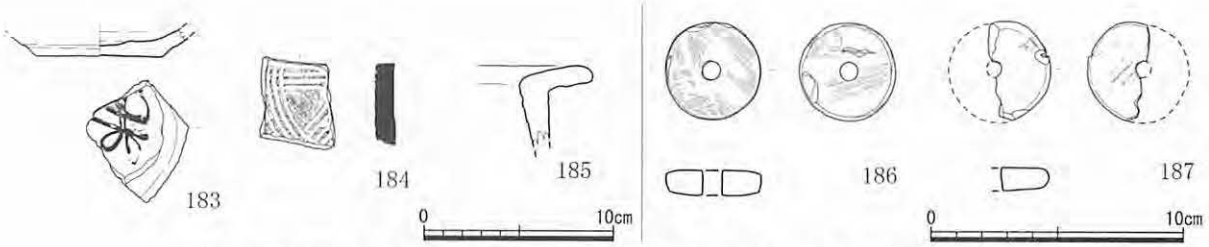
した土師器鉢・甕である。182はやや肩が張った器形で、頸部ですぼまり、口縁部は強く外反する。

Ⅲ13区３号竪穴建物（図47）

Ⅲ13区の南西部で検出した。近世溝のⅢ13区２号溝と重複し、より古い。北側は２号溝によって削平されており、東西は調査区外に広がる。現状で南北3.85m、東西0.6mを測り、方位はほぼ南北軸にのると思われるが、検出範囲が狭いため判然としない。検出面から床面までの深さは13cmである。硬化面は南側のみ壁近くまで発達し、北側では顕著でない。遺物は埋土中から少量の土師器が出土した。南側では灰白色粘土が集中しており竈の存在を想定したが、壁体や支脚など竈と判断できる物証が確認できなかった。貼床の厚さは15cmである。掘方は北側がやや高く、南側にむかって緩やかに下る。遺物は建物埋土と掘方埋土からそれぞれ須恵器・土師器小片が30点ほど出土している。

Ⅲ25区１号竪穴建物（図48）

Ⅲ区北西端、Ⅲ25区の南東部で検出した。遺構北西側はⅢ25区２号溝および４号土坑に切られ、北東と南西側は調査区外に広がるものとみられる。現状で1.0×1.3mを測り、方位は北で43°東に傾くとみられるが、検出範囲が狭いため判然としない。顕著な硬化面は認められず床面は検出できなかった



183：Ⅲ10区3層　184：Ⅲ1区22号溝埋土　185：Ⅲ13区4号溝　186：Ⅲ1区4層　187：Ⅲ23区4層

図49　Ⅲ区出土遺物実測図（S=1/3・S=1/4）

が、埋土が上下２層に分かれており、検出面から両層の境のレベルまでの深さは13cmである。掘方底面は南東側でやや高く、北西側で下がる。遺物は少量の土師器・須恵器が出土している。

Ⅲ区出土遺物（図49）

183は土師器坏の底部である。底部表面には墨書によって文字あるいは記号が書かれるが判読は不能である。184は須恵質の不明品の破片資料である。表面には４重の同心円が施され、その内側に４本の沈線が同心円の中心に向かって走る。185は土師器甕の口縁部片である。器壁が頸部でほぼ直角に屈曲する。186・187は紡錘車である。186は石製の完形品で、直径3.9cmの扁平円形を呈し、中央には直径7.5mmの穿孔を有する。表裏面には整形時の線状痕が明瞭に残る。一部に調査工具による傷が残っている。187は土製の半欠品で、直径3.9cmの扁平円形を呈し、中央には穿孔を有する。

④　Ⅳ区（図50）

Ⅳ区は、理学部３・４号館の道路および緑地部分、南北30m、東西90mの範囲に相当する。調査区は幅１～1.5mの水道・ガス配管に関連する施工の他に、点検口、検水槽、U字側溝、浸透井戸、アスファルト舗装、インターロッキング舗装などの施工に関連するもので、計47の調査区に分かれる。このうち古代の遺構の調査を実施したのは29カ所である。古代の遺物包含層である４層は地表下0.2～0.8m（標高18.5～18.9m）で検出されている。４層（黒褐色土層）掘削の後、５層（褐色土層）の上面で遺構の平面プランを検出した。遺構を検出したレベルは標高18.0～18.6m である。Ⅳ区中央部北側は他の地区と比較して、古代の遺構密集度が高い。例えば、Ⅳ区の東側では南西－北東に軸を持つ大溝を複数の調査区で部分的に検出している。また、Ⅳ区中央付近のⅣ５区、10－２区、Ⅳ13区では竪穴建物や土坑など、遺構の重なりを顕著に認めることができた。しかし、一部の竪穴建物を除き、調査区が矮小なため遺構の面的な調査を実施することができなかった。Ⅳ区では竪穴建物17基、溝６条、その他土坑やピットが多数確認できた。以下、主要な遺構について説明をおこなう。

Ⅳ１区17号竪穴建物（図51）

Ⅳ区の北西端、Ⅳ１区の西側に位置する。北側は撹乱溝とⅣ１区26号竪穴建物によって、西側はⅣ１区27号竪穴建物によって削平されており、いずれよりも新しい。現状で南北2.1m、東西2.7mを測り、方位はほぼ南北軸にのっている。床面を構成する顕著な硬化面は検出できなかったが、遺構東壁際と中央部分では埋土が明らかに異なった。また、中央部分の埋土は上下２層に分層でき、その境では複数のピットを検出したため、この境を床面と想定した。ピットのうち22号ピットは土層の観察から本遺構に伴う柱穴である可能性が高い。検出面から床面までの深さは20cmである。埋土中からは須恵器片や土師器片が出土している（図51－188～190）。竈やそれに関連する粘土、袖石、支脚などは検出できなかった。掘方底面はほぼ平坦であり、その上面からピットが複数基検出できている。いずれも本遺構より古いと思われる。貼床の厚さは10cm弱である。

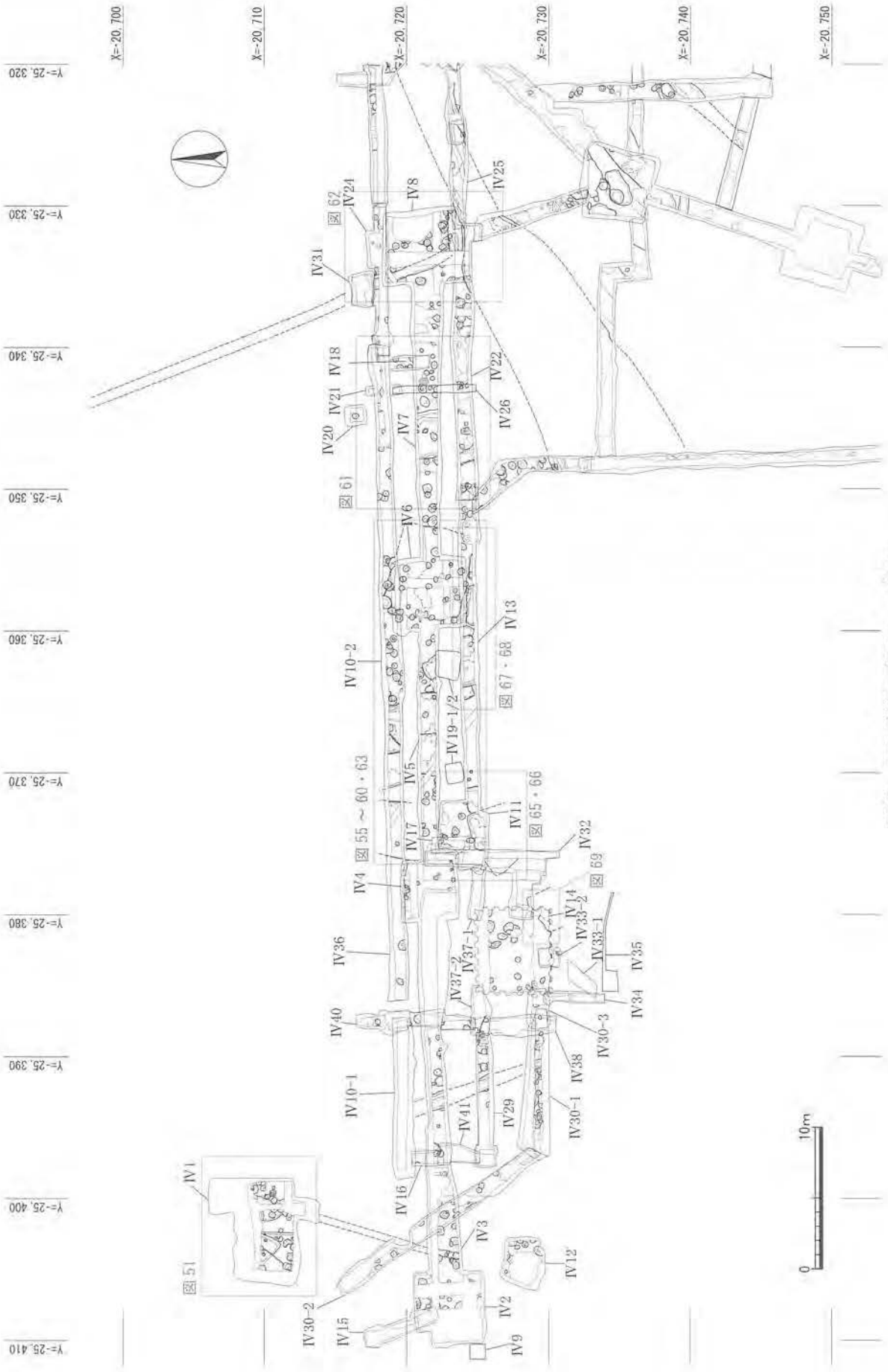
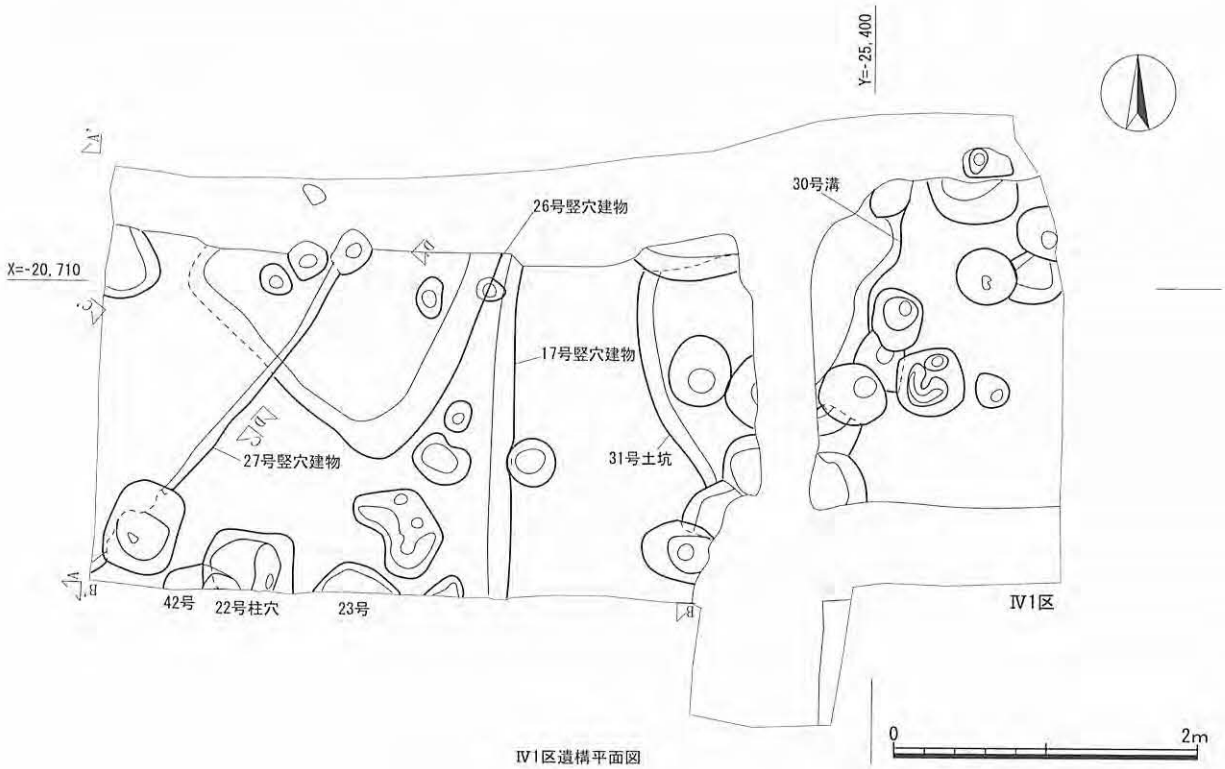
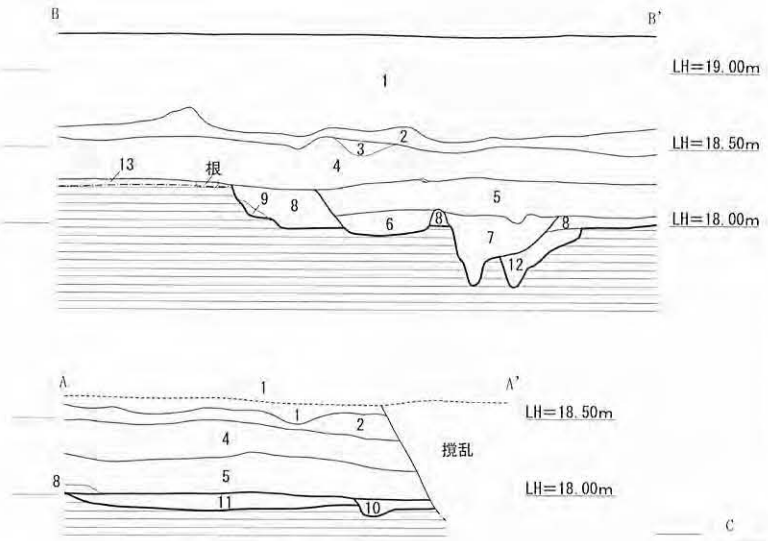


図50　Ⅳ区遺構配置図（S=1/400）

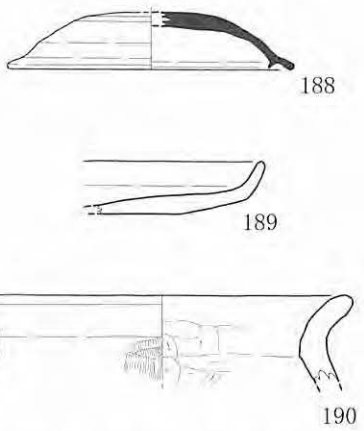


Ⅳ1区遺構平面図

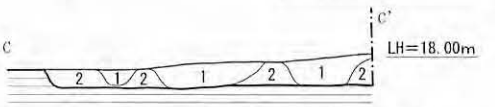


1層：黒褐色土(Hue7.5YR3/2)　現代盛土。
2層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　暗褐色土層(3層)。
3層：暗褐色土(Hue10YR3/4)
4層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　黒褐色土層(4層)。
5層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　17号竪穴建物埋土。
6層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　23号ピット埋土。
7層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　22号柱穴埋土。
8層：褐色土(Hue10YR4/4)　17号竪穴建物掘方埋土。
9層：褐色土(Hue10YR4/4)　17号竪穴建物掘方埋土。
10層：褐色土(Hue10YR4/4)　34号ピット埋土。
11層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　27号竪穴建物掘方埋土。
12層：褐色土(Hue10YR4/4)　42号ピット埋土。
13層：褐色土(Hue10YR4/4)　褐色土層(5a層)。

Ⅳ1区西壁・南壁土層断面図

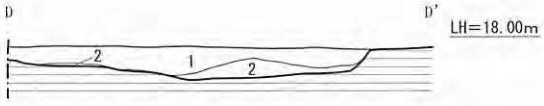


188～190：Ⅳ1区17号竪穴建物埋土



1層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　27号竪穴建物掘方埋土。
2層：暗褐色土（Hue10YR3/4）　27号竪穴建物掘方埋土。

Ⅳ1区27号竪穴建物東西壁土層断面



1層：黒褐色土（Hue10YR2/3）　26号竪穴建物埋土。
2層：暗褐色土（Hue10YR3/4）　26号竪穴建物埋土。

Ⅳ1区26号竪穴建物北西壁土層断面

図51　Ⅳ1区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/3）

188は須恵器蓋の破片である。器形はなだらかで丸味をおび、天井部は回転ヘラ削りによって整えられる。身受けの返りは極弱い。189は土師器皿の破片である。器面はナデによって調整され、内外面に赤彩が施される。190は土師器甕の口縁部である。

Ⅳ１区26号竪穴建物（図51）

Ⅳ区の北西端、Ⅳ１区の西側で検出した。Ⅳ１区17号竪穴建物とⅣ１区27号竪穴建物と重複し、前者より新しく、後者より古い。北側は撹乱によって、西側は27号竪穴建物によって壊されている。平面形態は隅丸方形で、現状で南北1.6m、東西1.75mを測り、軸は北で30°東に傾く。硬化面は検出できず、検出面からの深さは20cmである。竪穴建物だとしたら小型で、大型土坑の可能性も捨てきれない。遺物は２点の土師器片が建物埋土中から出土したのみである。

Ⅳ１区27号竪穴建物（図51）

Ⅳ区の北西端、Ⅳ１区の西側で検出した。Ⅳ１区17号竪穴建物と26号竪穴建物と重複し、前者より古く、後者より新しい。北側は撹乱溝によって削平され、西側は調査区外に広がるとみられる。現状で南北2.7m、東西1.24mを測り、北で40°東に傾く。硬化面などは検出できず。床面は17号竪穴建物によって削平を受けていると思われる。検出面から掘方底面までの深さは10～15cmで、底面はほぼ平坦である。遺物は建物埋土から少量の土師器・須恵器片が出土している。

Ⅳ３区10号溝（図52）

Ⅳ区の西端、Ⅳ３区西端に位置する。現状で幅52cm、長さ1.45mを測り、方位は北で13°東に傾く。Ⅳ３区の北壁でも土層断面で確認でき、その北側延長線上にはⅣ30－２区６号溝、Ⅳ１区30号溝がのるため、同一遺構である可能性を想定しておきたい。一方、調査区外南側ではピットとして掘削したⅣ12区３号が直線上にのるが、さらに南側は撹乱を受けており、同一遺構であるか判然としない。断面形態は浅い隅丸台形状で、検出面からの深さは12cmである。遺物は出土していない。

Ⅳ３区22号溝（図52）

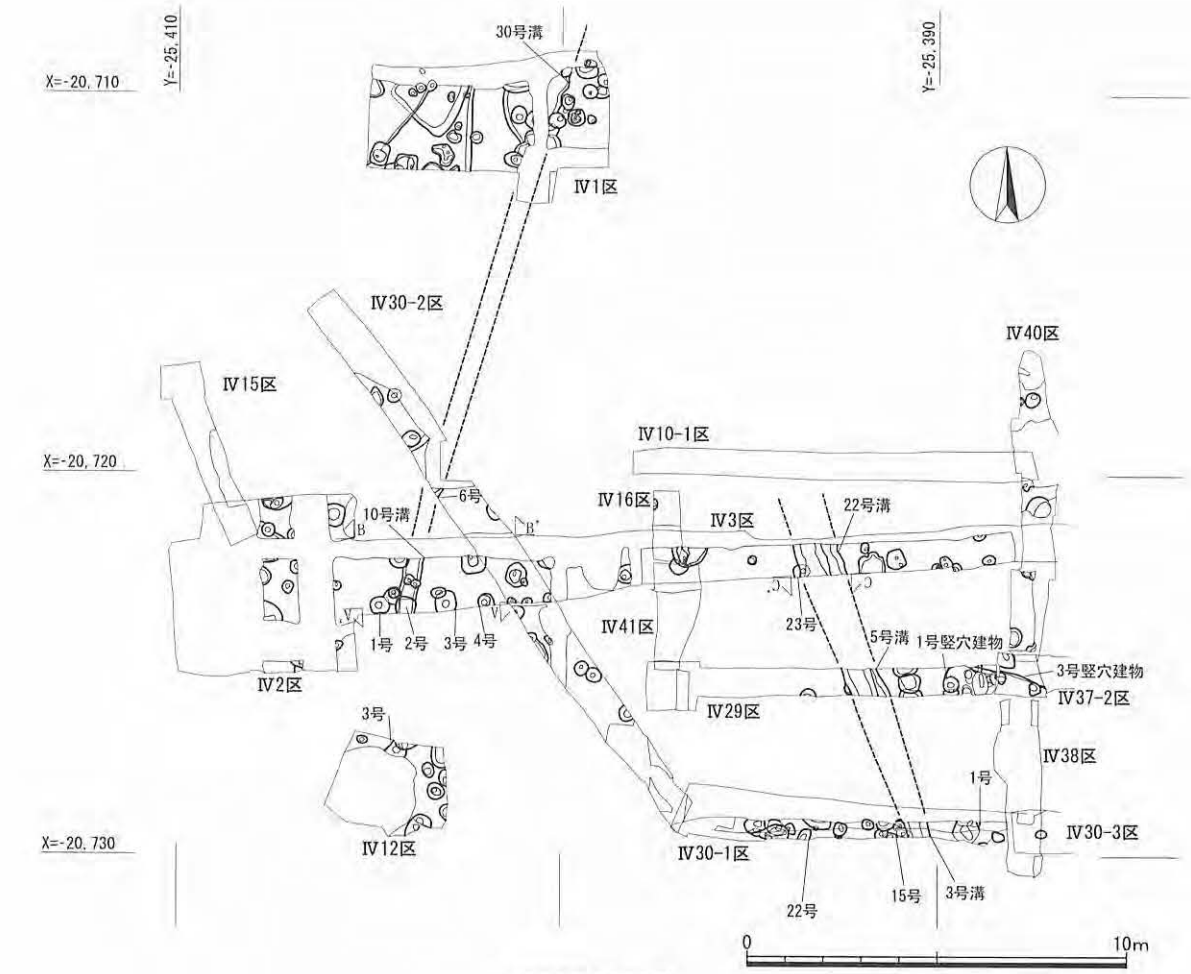
Ⅳ区の西側、Ⅳ３区の中央やや東よりに位置する。現状で幅1.15m、長さ84cmを測り、方位は北で西に21°傾く。その南側延長線上にはⅣ29区５号溝、Ⅳ30－１区３号溝がのっており、同一遺構であると思われる。断面形態はテラスを有し、浅いU字状の中央に台形状の掘方を持っており、東側がより浅い。検出面からの深さは23cmである。遺物は少量の土師器・須恵器片が出土している。

Ⅳ29区１号竪穴建物（図52）

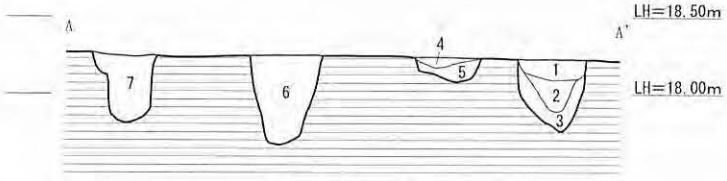
Ⅳ29区東端およびⅣ37－２区西端（Ⅳ37－２区３号竪穴建物）より検出した。遺構の南および東側は調査区外に広がるとみられる。遺構西側は複数基のピットによって破壊を受けている。現状で東西2.62m、南北0.75mを測り、北で14°東に傾く。竪穴建物の端部のみの検出で、硬化面は確認できなかった。遺物は少量の須恵器、土師器片が出土している（図53－192）。

Ⅳ区西側遺構出土遺物（図53）

191は土師器碗の底部片である。高台は身の外側に付き、断面台形で床と面で接する。192は須恵器坏の底部片である。底部は平底で、器形は口縁部に向けて急に立ち上がる。193は須恵器碗の底部片である。高台は身の外側に張り付き、回転ヘラ削り後、ナデによって調整される。194は須恵器坏の破片資料で、底部は平底で、器壁が緩やかに広がり、口縁部端は指によってつままれ丸みを帯びる。195は須恵器蓋の口縁部片である。器高が低く、口縁部端は直角に折れ曲がる。196は黒色土器の胴部から口縁部片である。外面下半は横方向の削りによって、外面上半と内面は磨きによって器面調整される。内側表面は黒色化している。197は土師器甕の口縁部である。胴部はやや丸みを持ち、頸部ですぼまり、口縁部で強く外反する。外面は縦方向のハケ目、内面は削りによって調整され、口縁部は

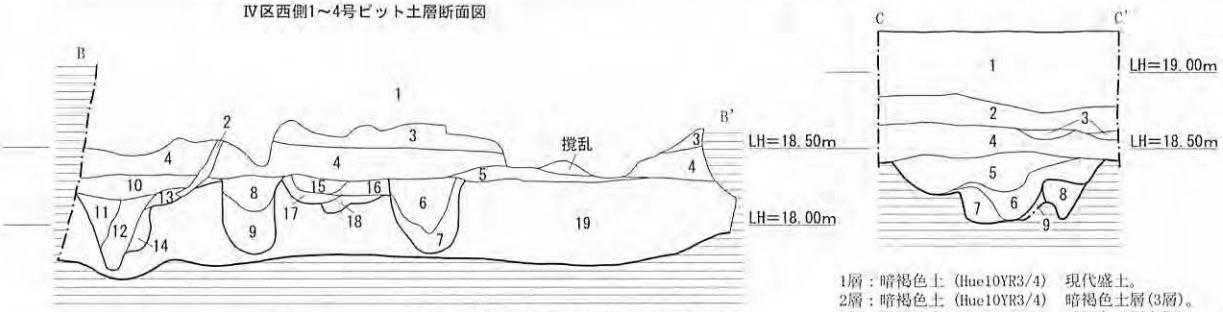


Ⅳ区西側遺構平面図



1層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　1号ピット埋土。
2層：暗褐色土(Hue10YR4/3)　1号ピット埋土。
3層：暗褐色土(Hue10YR4/3)　1号ピット埋土。
4層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　2号ピット埋土。
5層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　2号ピット埋土。
6層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　3号ピット埋土。
7層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　4号ピット埋土。

Ⅳ区西側1～4号ピット土層断面図



1層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　現代盛土。
2層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　樹痕。
3層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　暗褐色土層(3層)。
4層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　黒褐色土層(4層)。
5層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　漸移層。
6層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　ピット埋土。
7層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　ピット埋土。
8層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　ピット埋土。
9層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　ピット埋土。
10層：暗褐色土 (Hue10YR2/4)　ピット埋土。
11層：暗褐色土 (Hue7.5YR3/4)　ピット埋土。
12層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　ピット埋土。
13層：暗褐色土 (Hue7.5YR3/4)　ピット埋土。
14層：暗褐色土 (Hue7.5YR3/4)　ピット埋土。
15層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　10号溝埋土。
16層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　10号溝埋土。
17層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　10号溝埋土。
18層：暗褐色土 (Hue7.5YR3/4)　10号溝埋土。
19層：暗褐色土 (Hue7.5YR3/4)　褐色砂層(5層)。

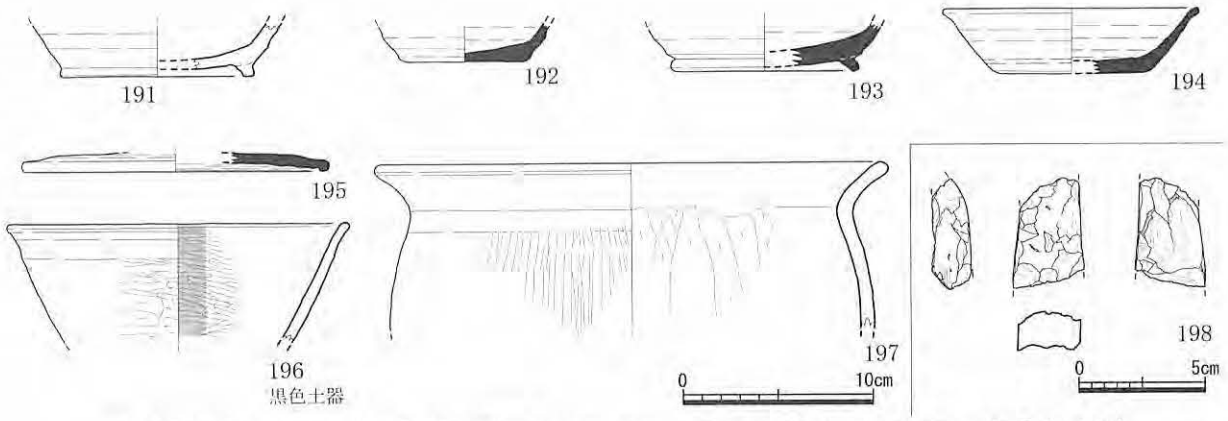
Ⅳ3区西端北壁10号溝等土層断面図

1層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　現代盛土。
2層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　暗褐色土層(3層)。
3層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　暗褐色土層(3層)。
4層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)　黒褐色土層(4層)。
5層：黒褐色土 (Hue10YR3/2)　22号溝埋土。
6層：黒褐色土 (Hue10YR3/2)　22号溝埋土。
7層：黒褐色土 (Hue10YR3/2)　22号溝埋土。
8層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　23号ピット埋土。
9層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　褐色砂層(5層)。

Ⅳ3区22号溝土層断面図

0　1m

図 52　Ⅳ区西側検出溝等遺構実測図（S=1/200・S=1/25）



191：Ⅳ3区18号ピット埋土　192：Ⅳ29区1号竪穴建物　193：Ⅳ29区12号ピット埋土　194・195：Ⅳ30-1区22号ピット埋土
196：Ⅳ30-1区15号ピット埋土　197：Ⅳ30-2区6号溝埋土　198：Ⅳ29区撹乱

図53　Ⅳ区西側遺構出土遺物実測図（S=1/4・1/3）

ナデによって整えられる。198は砥石の破片である。部分的に剥離しており、状態は良くない。片側表面と側面に顕著な線状痕が残る。

Ⅳ５区11号竪穴建物（図54～56）

Ⅳ区中央部、Ⅳ５区中央に位置する。Ⅳ５区12号竪穴建物の東側に隣接し、西側壁面は12号竪穴建物により削平される。遺構の北および南側は調査区外に広がるとみられる。現状で東西3.3m、南北1.3mを測り、方位はほぼ南北軸に乗る。西側掘方の立ち上がりが残存しており、東西規模は3.3mを大きく超えることはない。床面は硬化面が壁付近を除いて広がっており、おおむね平坦である。検出面から床面までの深さは18cmである。床面では柱穴は検出できなかった。竈は確認できず、竈に関連する粘土や袖石、支脚なども検出できなかった。貼床の厚さは15cmで、掘方底面は中央部、とくに北側が浅く、壁面付近がやや深い。遺物として埋土や掘方埋土から須恵器片や土師器片が出土している（図55－199・200）。

199は須恵器蓋である。器壁は丸みを帯び、天井部は回転ヘラ削りで整えられる。見受けの返りは器壁に対して直角にわずかに飛び出る。200は須恵器碗の底部で、高台は身の外端に張り付く。高台断面は逆台形を呈し、床に面で接する。

Ⅳ５区12号竪穴建物（図54～56）

Ⅳ５区中央に位置する。Ⅳ５区11号竪穴建物と重複しており、より新しい。西側の一部は撹乱によって破壊を受けており、遺構の北および南側は調査区外に広がるとみられる。現状で東西3.0m、南北1.1mを測り、方位はほぼ南北軸に乗る。床面では東側を除く広い範囲で硬化面を検出した。検出面から床面までの深さは15cmである。床面からは柱穴を検出することはできなかった。竈やこれに関連するものは確認できていない。貼床は埋土の堆積が単調ではなく、中央部に浅い土坑状遺構を設けた痕が確認できた。埋土下層は本遺跡における竈の壁面に似た灰白色粘土が多量に混じる。上面が硬化面の一部を形成していることから、建物使用時には床上を充填していたと考えられる。梁型の厚さは５～８cmで、掘方底面は凹凸が多く、西側がやや深い。底面からはピット８基を検出している。このうち土層断面の観察により30号、32号、85号、86号については本遺構に伴う柱穴の可能性があると判断した。遺物として埋土から土師器片や須恵器片が出土した（図55－201）。

201は黒色土器の碗である。高台は身の底部端に張り付き、胴部は広く内湾しながら立ち上がる。

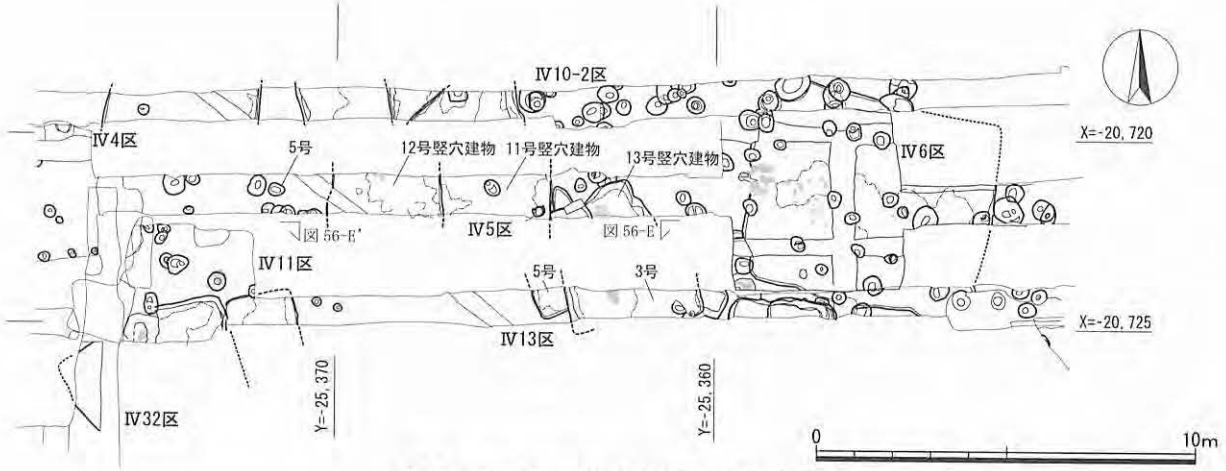
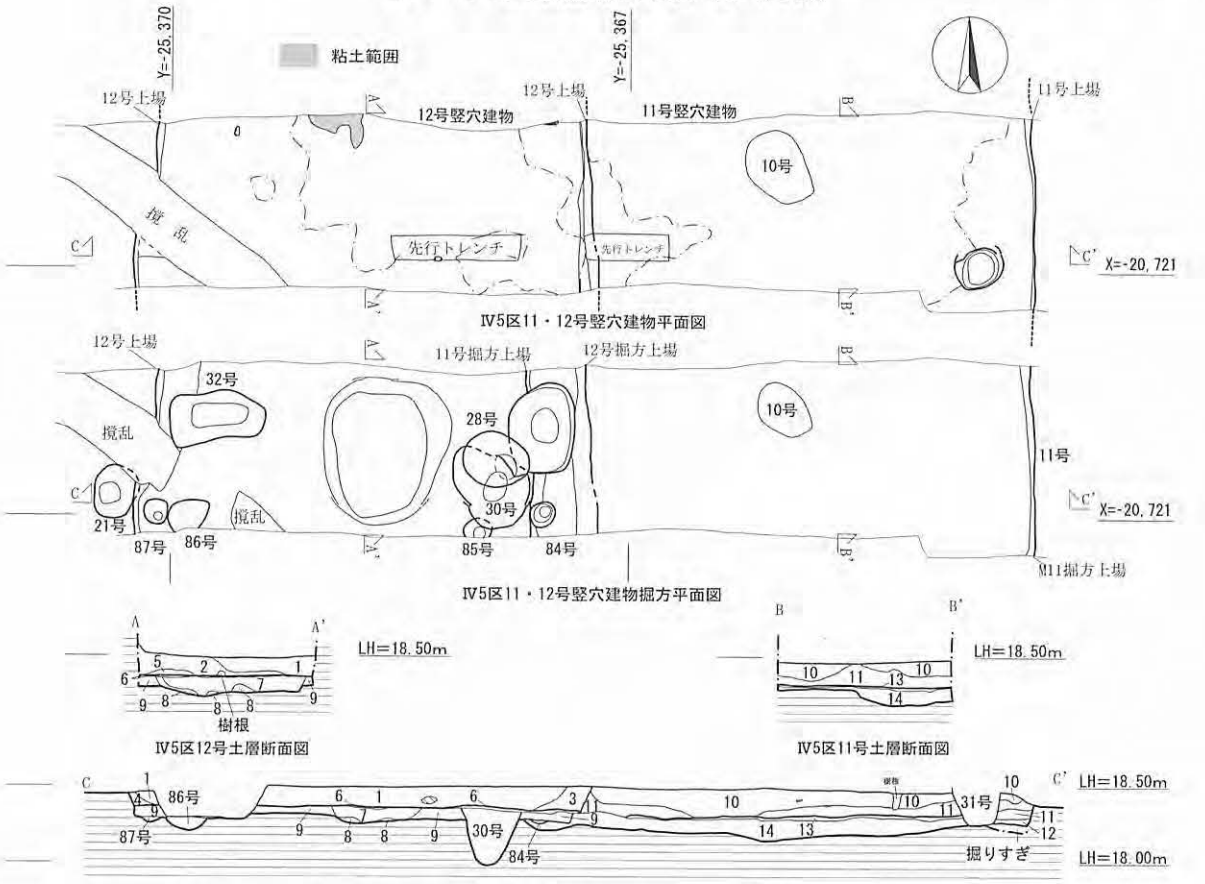
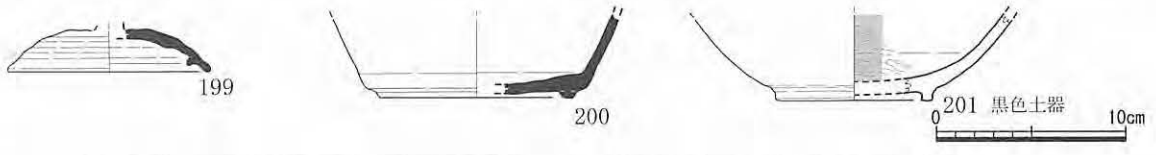


図 54　Ⅳ5 区西側遺構平面図（S=1/200）



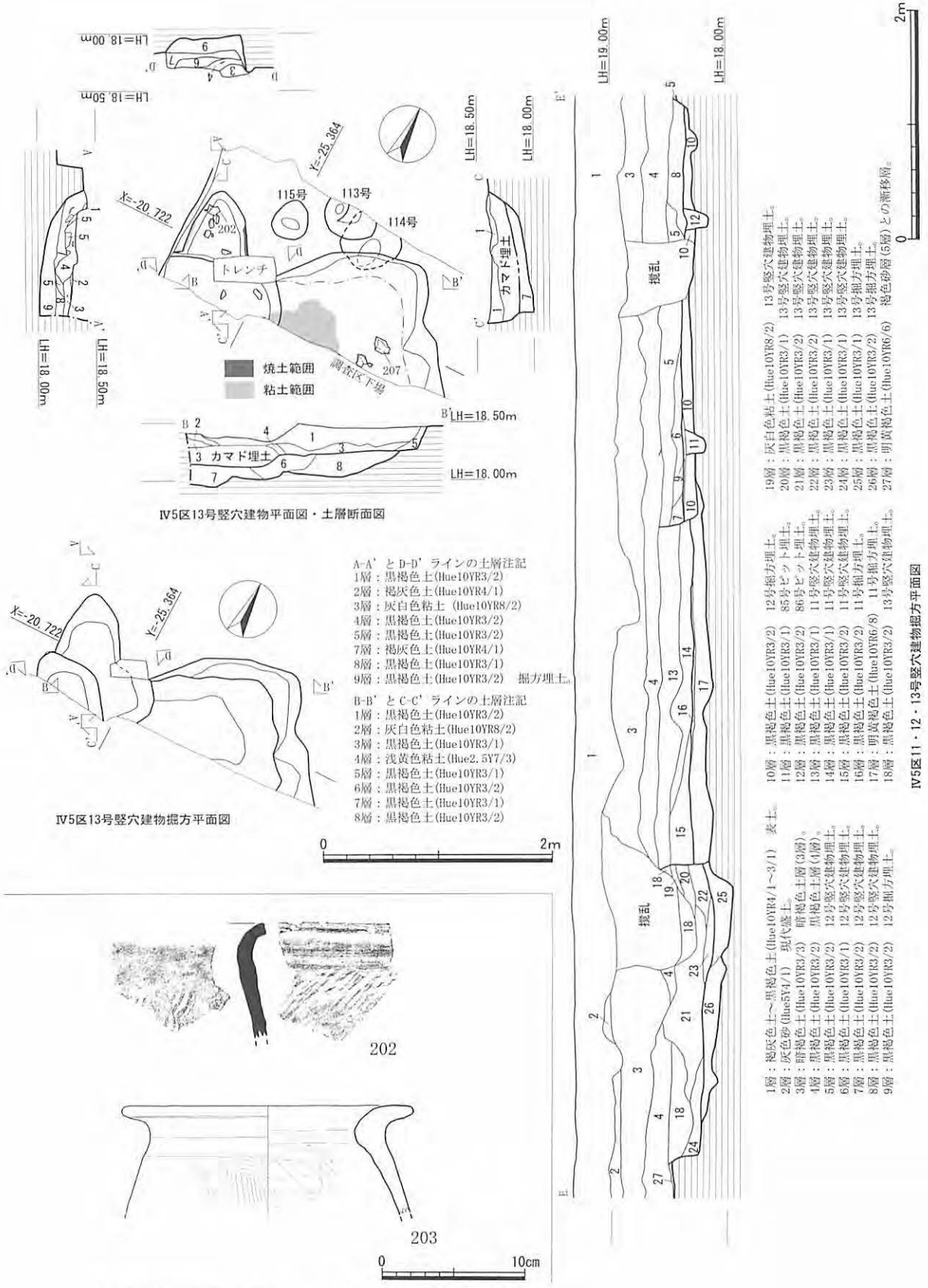
1層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　12号竪穴建物埋土。
2層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　12号竪穴建物埋土。
3層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　12号竪穴建物埋土。
4層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　12号竪穴建物埋土。
5層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　12号竪穴建物埋土。
6層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　12号硬化面。
7層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　12号掘方埋土。
8層：褐灰色土(Hue7.5YR4/1)　12号掘方埋土。
9層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　12号掘方埋土。
10層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　11号竪穴建物埋土。
11層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　11号竪穴建物埋土。
12層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　11号竪穴建物埋土。
13層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　11号硬化面。
14層：明黄褐色土(Hue10YR6/8)　11号掘方埋土。

Ⅳ5区11・12号竪穴建物土層断面図



199：Ⅳ5区11号竪穴建物掘方埋土　200：Ⅳ5区11号竪穴建物埋土　201：Ⅳ5区12号竪穴建物・28号ピット埋土

図 55　Ⅳ5 区 11・12 号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）



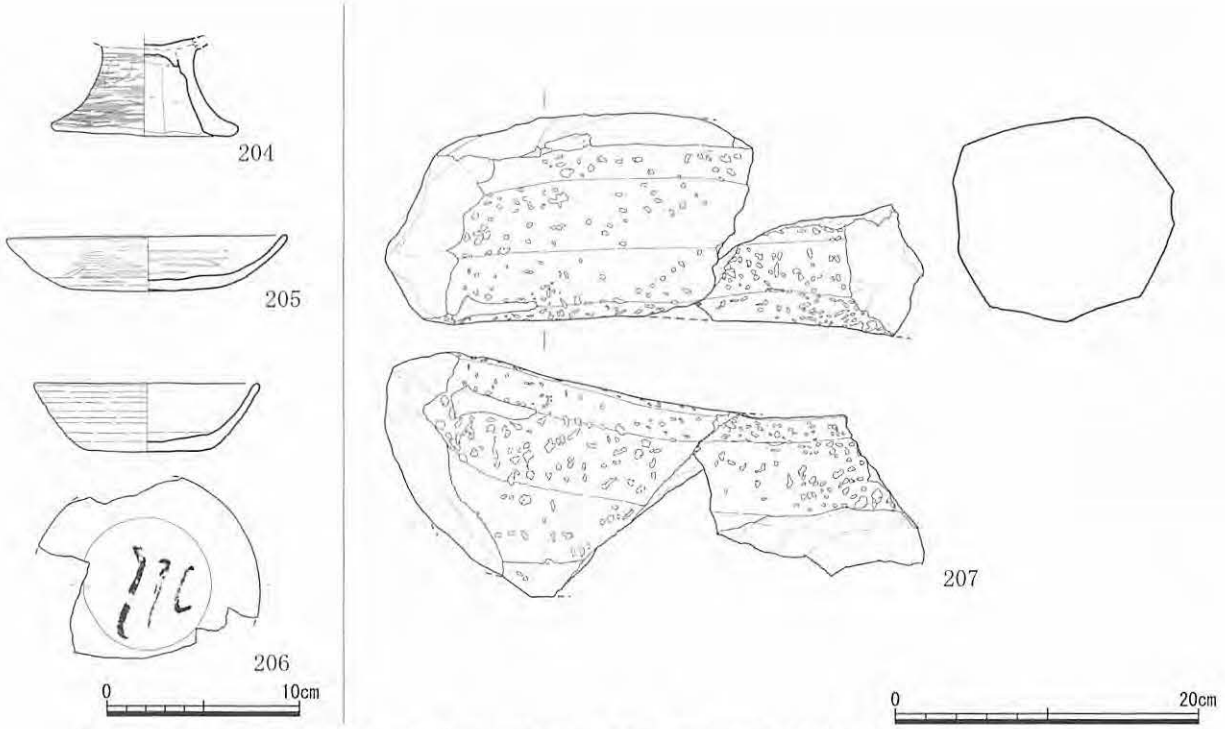
Ⅳ5区13号竪穴建物平面図・土層断面図

Ⅳ5区13号竪穴建物掘方平面図

Ⅳ5区11・12・13号竪穴建物掘方平面図

202：Ⅳ5区13号竪穴建物覆土　203：Ⅳ5区13号竪穴建物埋土

図56　Ⅳ5区13号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）



204：Ⅳ5区5号ピット埋土　205：Ⅳ5・6区4層　206：Ⅳ5区撹乱・4層　207：Ⅳ5区13号竪穴建物埋土上層・Ⅳ6区20号ピット埋土

図57　Ⅳ5・6区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/4・S=1/5）

外面は回転ナデ、内面は横位あるいは斜位の磨きによって調整され、内面のみ黒色化している。

Ⅳ５区13号竪穴建物（図54～57）

Ⅳ５区中央やや東に位置する。西側でⅣ５区11号竪穴建物と重複し、より古い。西側は11号竪穴建物によって削平を受け、南側は調査区外に広がる。現状で東西2.25m、南北1.2mを測り、方位は北で31°西に傾く。北西壁に竈を持ち、竈が建物中心に位置すると仮定すれば東西方向の長さは3.6m程度となる。床面は壁際を除きやや硬化することが確認できた。検出面からの床面までの深さは25cmである。床面や掘方床面で柱穴を検出することはできなかった。建物埋土は灰色白粘土が多く混じる傾向があり、埋土の上位では土師器甕の破片や大型砥石の破片が出土した（図57－207）。貼床の厚さは20cmで、床面はほぼ平坦で中央部分がやや低い。竈は煙道が長く北に突出している。壁面の残存状況は悪く、煙道壁面に灰白色粘土がわずかに付着するのみであった。竈周囲にも粘土が多量に散乱しており、建物廃棄時に破壊を受けたと思われる。床面の焼土化は確認できなかった。竈内部からは須恵器片や土師器甕の小破片が出土している（図56－202・203）。

202は須恵器甕の口縁部片である。胴部から頸部へややすぼまりながら器面が立ち上がり、口縁部で強く外反する。口唇部は直線的な造りとなる。203は土師器甕の胴部から口縁部にかけての破片である。頸部で器壁が厚くなりながらすぼまり。口縁部で強く外反しする。外面はハケ目、内面は削り、口縁部内外面は回転ナデによって調整される。204は土師器高坏の脚部である。脚部は中空で、器壁は底部に向かって厚くなりながら広がる。外面は横方向のミガキ、内面はケズリによって調整される。外面には赤彩が施される。205はⅣ５・６区の４層中より出土した土師器坏である。内外面は横方向のミガキ、外面底は回転ヘラ切りによる。全体に赤彩が施される。206はⅣ５区４層から出土した土師器坏である。底部に墨で「川」に類似する文字あるいは記号が書かれている。207は大型の砥石である。Ⅳ５区13号竪穴建物とⅣ６区20号ピットから出土した資料が接合した。全体形は柱状をなし、

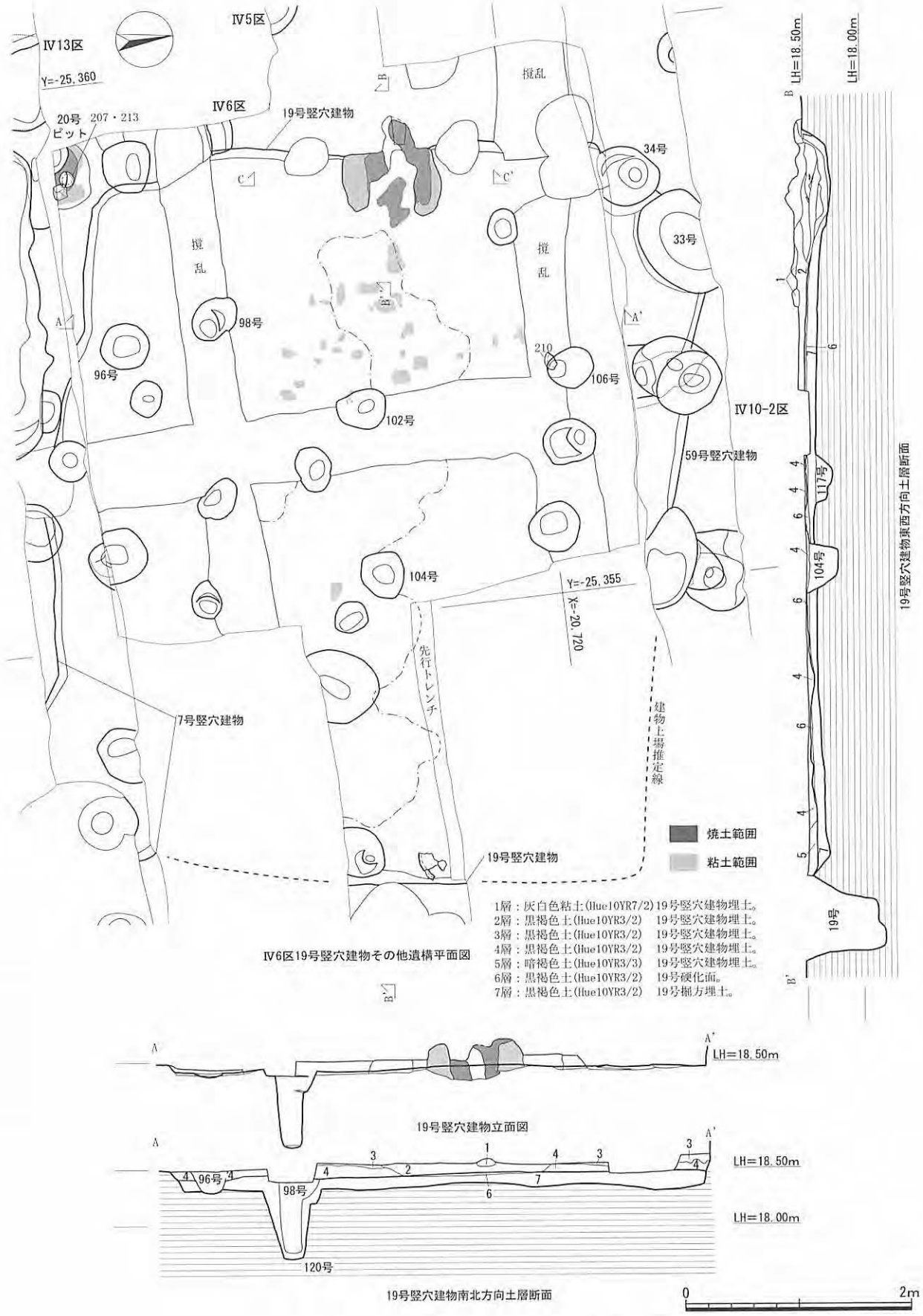


図 58　Ⅳ6 区 19 号竪穴建物実測図（S=1/50）

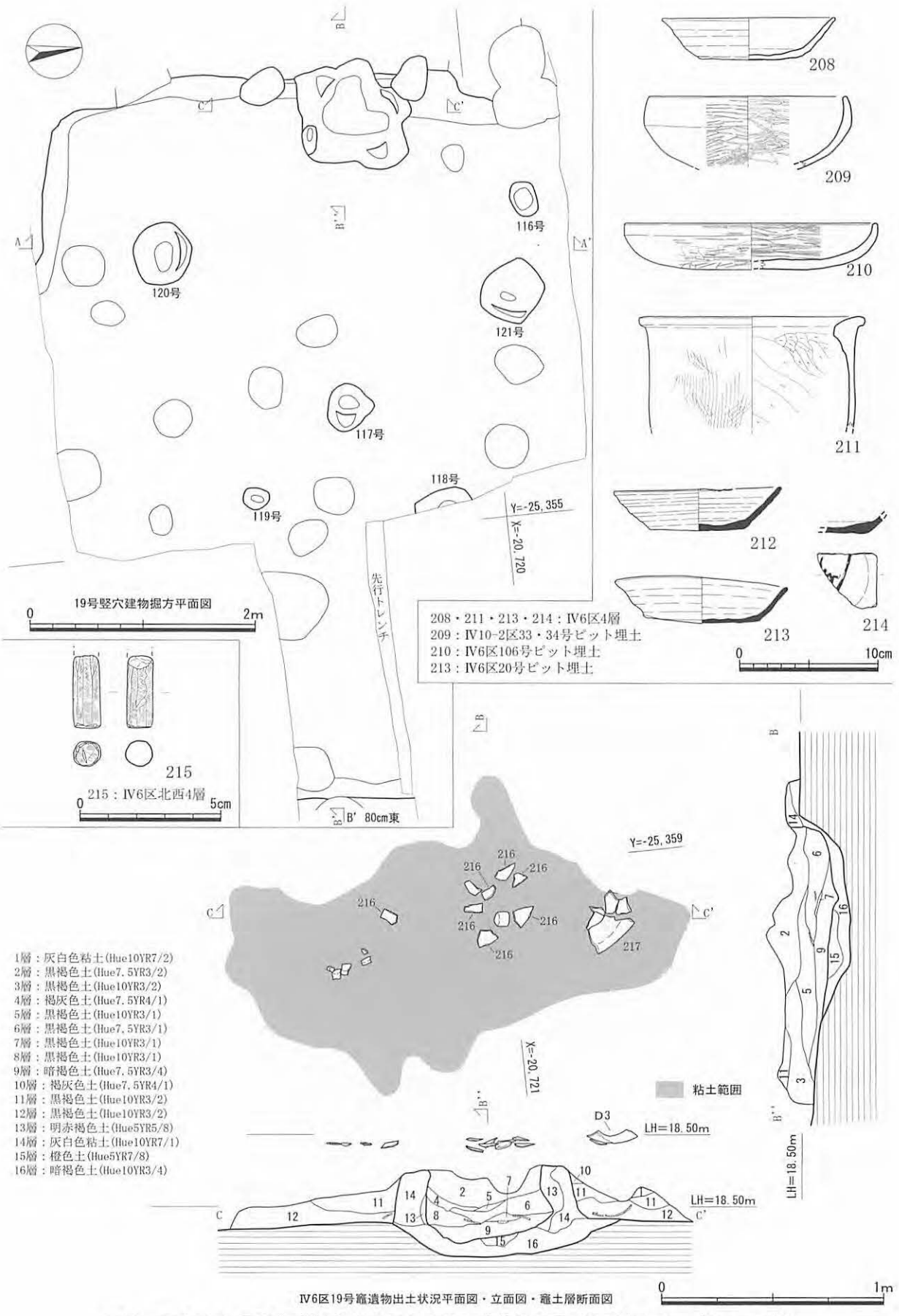
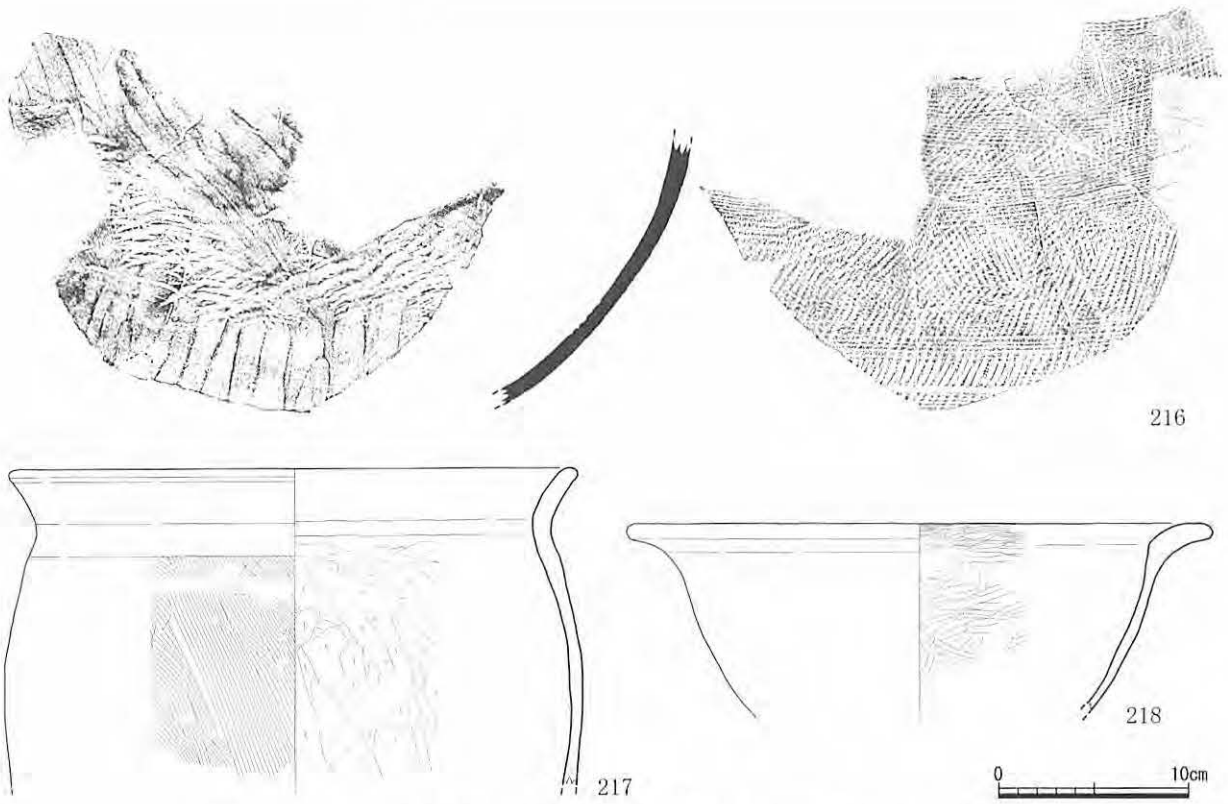


図 59　Ⅳ6 区 19 号竪穴建物実測図とⅣ6 区出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4）



216：Ⅳ6区19号竈埋土　217：Ⅳ6区19号竈周囲埋土・Ⅳ6区４層　218：Ⅳ7区19号竪穴建物埋土

図 60　Ⅳ6 区出土遺物実測図（S=1/4）

小口部分を除きほぼ全面に使用面を確認できた。表面には明瞭な線状痕は確認できず、痘痕状の凹みが無数に認められる。

Ⅳ６区19号竪穴建物（図58～60）

Ⅳ区中央やや東側、Ⅳ６・７区、Ⅳ10－２区中央やや東側（Ⅳ10－２区59号竪穴建物）、Ⅳ13区中央やや東側（Ⅳ13区７号竪穴建物）で検出した。遺構の北側東隅は調査区外に広がるとみられる。平面形態は東西に長い略長方形、東西6.4m、南北5.4mを測り、北で96°西に傾く。床面上では硬化面が東西方向に細長く広がり、やや高く盛り上がる。検出面から床面までの深さは10cm程である。建物埋土からは土師器や須恵器の破片が出土している（図60－218）。埋土中からは床面ではピットを16基検出した。このうち98号と106号は深さや位置関係から西側の主柱穴に相当すると考えられる。掘方掘削時には柱穴掘方とみられる120号と121号をそれぞれ検出した。また、106号柱穴埋土からは赤彩の施された土師器皿が出土している（図59－210）。このほか、104号が床面で検出されており、位置や深さから19号竪穴建物に伴う柱穴と考えられる。竈は西壁に設置されており、建物西側埋土からはこれに関連するだろう灰白色粘土が散在した状態で検出されている。竈の壁面は灰白色粘土により構築され、両袖下部が残るなど、壁面の残存状況は良好である。袖石は確認できなかったが、竈周囲からは砂岩の破片が若干出土している。床面は中央よりやや焚口に近い部分が焼土化している。支脚は確認できなかった。竈の内面および周囲からは土師器甕の口縁部破片や須恵器甕胴部破片が出土している（図60－216）。竈の北側からは土師器甕の口縁部が出土している（図60－217）。貼床の厚さは８cmで、建物掘方は中央部が浅く、壁面付近がやや深い。掘方底面からは６基のピットを検出している。また、19号竪穴建物の南西壁際からは20号ピットを検出しており、埋土中から完形の須恵器坏と砥石

の破片が出土した（図57－207、図59－213）。本ピットと竪穴建物との関係性は不明である。

Ⅳ６区４層で取り上げた遺物のうちいくつかは19号竪穴建物の埋土に帰属すると考えられるためこちらで取り上げる。208はⅣ６区４層出土の土師器坏である。底部は平底で、器壁は緩く直線的に立ち上がる。口縁端部はやや外反する。209は19号竪穴建物を切るピット中から出土した土師器である。器形は丸みを持ち、胴部上半付近で口縁部に向かってやや内湾しながら立ち上がる。内外面は磨きによって調整され、赤彩が施される。210は106号柱穴より出土した土師器皿である。復元口径18cmで、底部は平底、口縁部に向けて緩く立ち上がる。内外面は磨きで調整され、底部内面は格子状に磨きが入る。内外面に赤彩が施されている。211は土師器甕の胴部から口縁部片である。器面はほぼまっすぐ立ち上がり、頸部はすぼまらず、断面形態が三角形になるよう内側に厚みを増す。外面は縦方向を主とするハケ目、内面は斜位の削りで整えられ、頸部付近は細かい単位の削りで調整されている。212は須恵器坏である。213はⅣ６区20号ピット埋土中から出土した須恵器坏の完形品である。底部は平底で回転ヘラ切りによる。器形はわずかに湾曲しており、ナデの調子によって器面がわずかに歪む。214は須恵器坏の底部破片で、裏面に墨書で判読不能の文字が描かれている。215は４層中から出土した石製品で、直径１cm程、長さ2.6cmの円柱状を呈する。表面には面取り加工による線状痕が顕著に認められ、穿孔もないことから、装飾品などの加工途中品と推測される。216は須恵器甕の胴部片である。内面には削りとタタキの痕跡がよく残る。外面には格子目状の工具痕が残る。217は土師器甕である。やや膨らんだ胴部が頸部ですぼまり、口縁部で外反する。外面は斜位のハケ目、内面は斜位の削りで調整され、口縁部は回転ナデで整えられている。218は土師器鍋である。器形は、底部側から口縁部に向けて緩く内湾しながら広がり、口縁部では器壁が厚くなって強く外反する。外面はナデ、内面は磨きによって調整されている。

Ⅳ７区40号土坑（図61）

Ⅳ区の東側、Ⅳ７区中央に位置する。北と南側は調査区外に広がるとみられる。現状で東西3.35m、南北1.4mを測り、北で８°西に傾く。埋土中に灰白色粘土が多量に混じるため、当初は竪穴建物として掘削を実施したが、硬化面や柱穴がなく、壁面の立ち上がりも緩やかで、北側のⅣ10－２区や南側のⅣ22区では延長部が検出できないため、竪穴建物や溝ではなく、土坑と判断した。埋土中からは土師器坏や須恵器壺片を取り上げている（図61－219～221・224・225）。床面からはピットを３基検出し、いずれも40号土坑より古い。

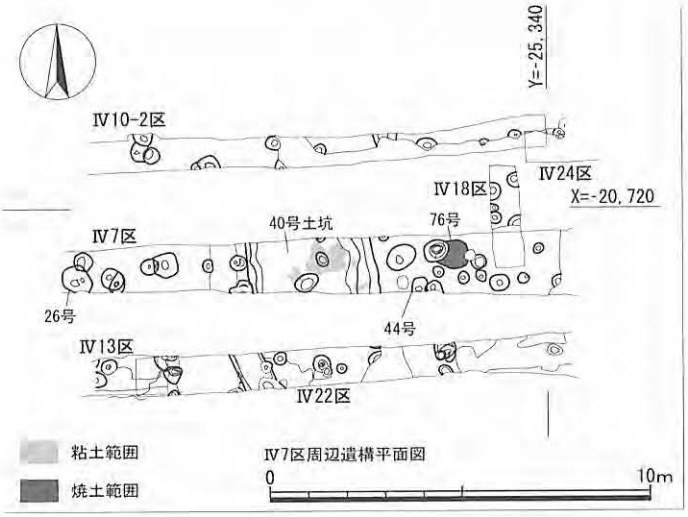
219～221は40号土坑埋土中から出土した土師器坏である。いずれも底部は平底で削りによって整えられている。221には底部外面へ墨で「南」に類似する文字が書かれている。222は40号土坑の西側に位置する26号ピットから出土した土師器坏である。底部は中央部が回転ヘラ切りによって切り離され、やや突出している。底部外面へ墨書きで判読不能の文字が書かれている。223は40号土坑の東側に位置する44号ピットから出土した須恵器坏である。224は土師質の移動式竈の底部破片と思われる。225は須恵器壺の胴部破片である。外面には格子状のタタキの痕がよく残っている。

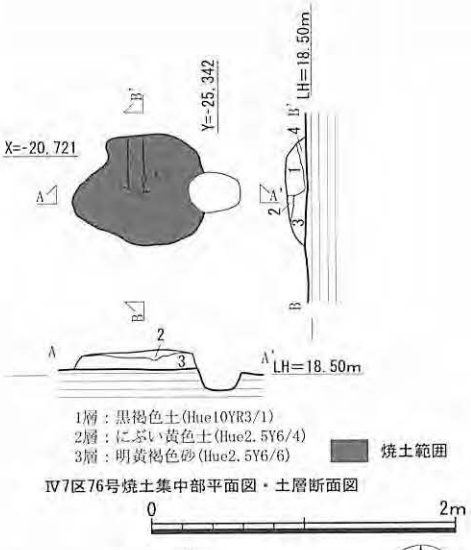
Ⅳ７区76号焼土集中部（図61）

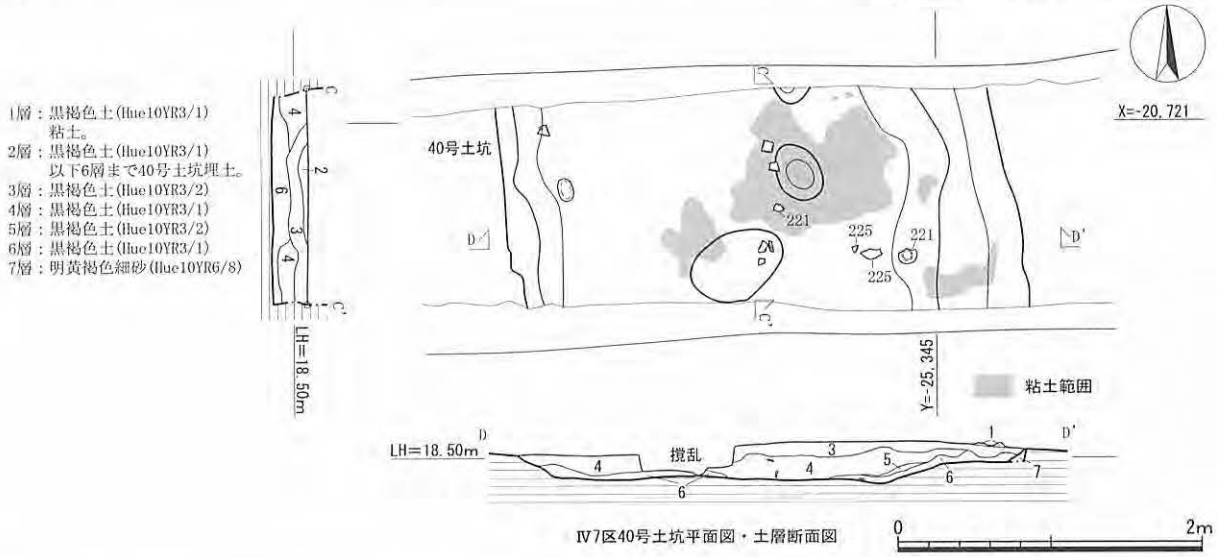
Ⅳ７区中央やや東側に位置する。４層（黒褐色砂層）の掘削中において検出したマウンド状の粘土集中部である。東西0.9m、南北0.7mの不整楕円形に広がる。当初竈の一部と想定したが、竈に関連するような支脚や袖石などが検出できず、掘方も浅いため平面と断面の記録のみ実施した。埋土内から土師器片が１点出土している。

Ⅳ８区56号溝（図62）

Ⅳ区の東端、Ⅳ８区東側、Ⅳ24区中央（Ⅳ24区６号溝）で検出した。現状で幅0.65m、長さ4.8mを







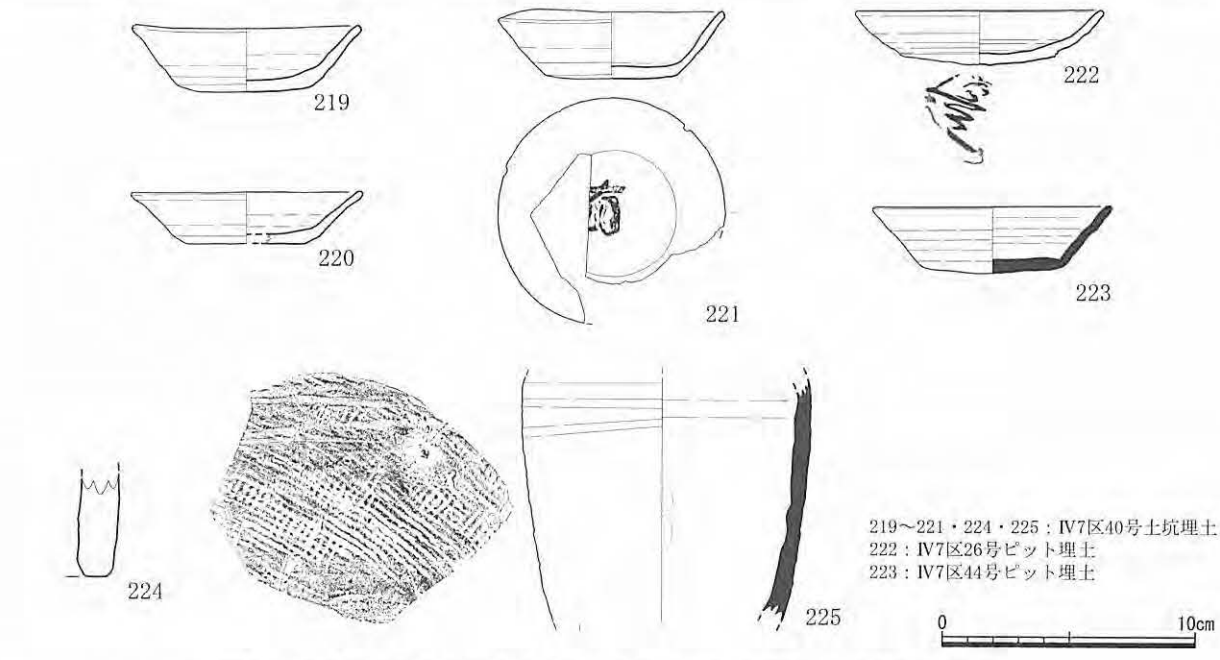


図 61　Ⅳ7 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/200・S=1/50・S=1/3）

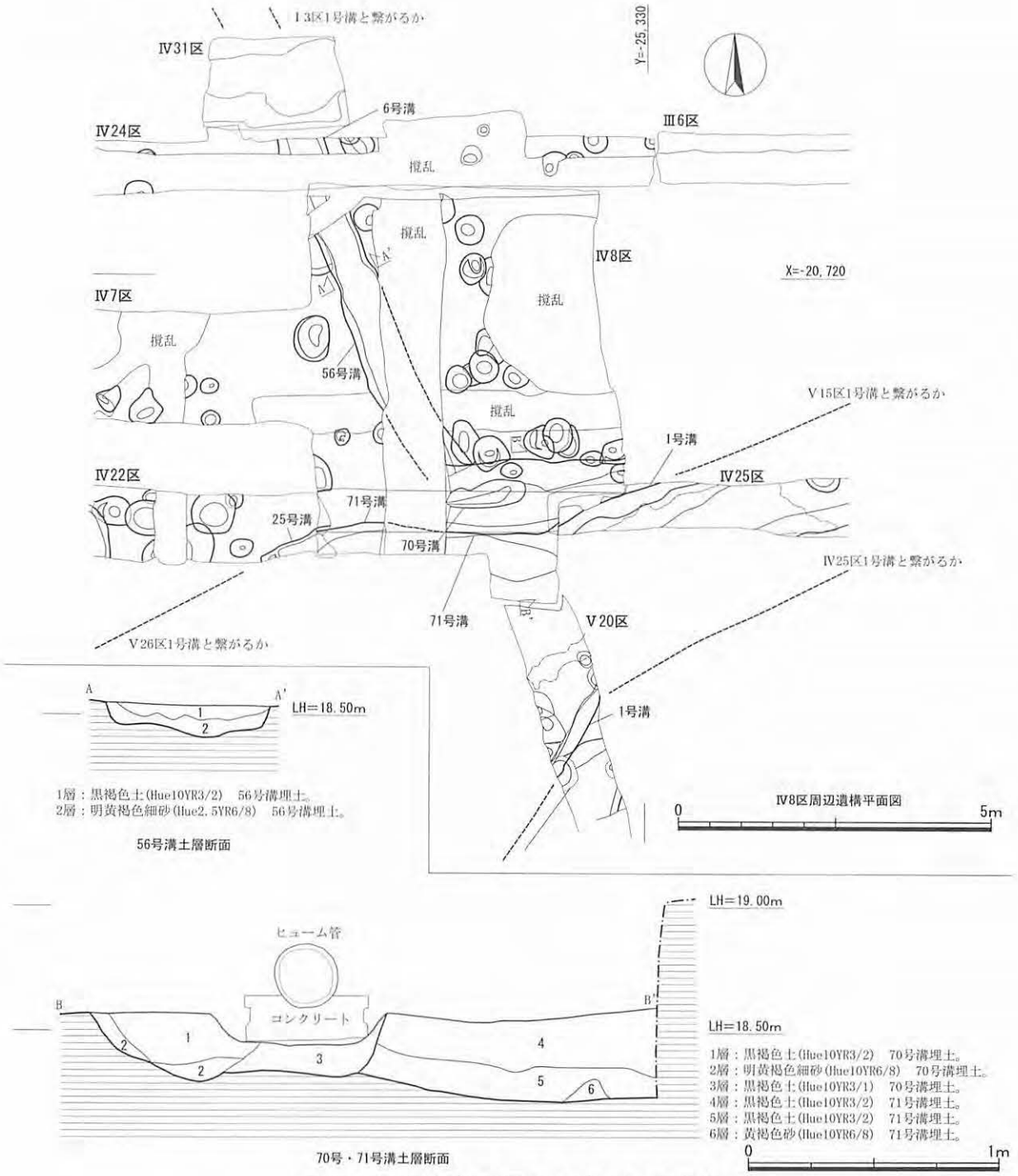


図 62　Ⅳ8 区遺構実測図（S=1/100・S=1/25）

測り、北で24°西に傾く。北延長部はⅣ24区で続きが確認でき、さらに北側延長部を延ばすとⅠ３区１号溝が並行軸にのる。一方南東側延長部は70号溝、71号溝によって失われている。南側断面形態は不整台形状で、検出面からの深さは最深で12.5cmである。遺物は数点の土師器・須恵器片が出土した。

Ⅳ８区70号溝（図62）

Ⅳ８区南側に位置する。現状で長さ2.9m、幅1.15mを測り、方位はほぼ東西軸にのる。Ⅳ８区内で

は56号溝、71号溝と重複し、前者より新しく、後者より古い。東側は調査区外に広がり、西側は撹乱によって失われる。断面形態は不整台形状で、検出面からの深さは25cmである。遺物は土師器・須恵器の小片が十数点出土している。

Ⅳ８区71号溝（図62・図70）

Ⅳ８区南端、Ⅳ22区西端（Ⅳ22区25号溝）、Ⅳ25区（Ⅳ25区１号溝）で検出した。北側でⅣ８区70号溝と重複し、これより古い。現状で長さ3.8m、幅1.3mを測り、方位はほぼ東西軸にのる。東西及び南側は調査区外に広がっており、位置関係から南側の掘方壁面がⅤ20区２号溝に相当すると考えられる。他の調査区で検出した溝との位置関係から捉えると、Ⅲ区からⅤ区にかけて北東－南西に走る大溝の北壁面の一部である可能性が高い。大溝の詳細についてはⅣ25区１号溝で述べる。断面断面はレンズ状で、検出面からの深さ35cmである。埋土中より土師器・須恵器の小片が十数点出土している。

Ⅳ10－２区13号竪穴建物（図63）

Ⅳ区の中央、Ⅳ10－２区の中央やや西側に位置する。東西壁面の一部を確認しており、南と北側は調査区外に広がるとみられる。現状で南北0.8m、東西4.1mを測り、北で14°東に傾く。硬化面は建物東側の一部に広がるのみで、顕著ではない。検出面から床面までの深さは10cmである。竈は検出されなかった。掘方底面からは61号ピットを１基検出しているが、13号竪穴建物との新旧関係は不明である。貼床の厚さは18cmである。建物埋土と掘方埋土より土師器・須恵器の小片が十数点出土している。

Ⅳ10－２区16号竪穴建物（図63）

Ⅳ10－２区の中央やや東側に位置する。北と東壁面の一部のみを確認しており、北と南側調査区外に広がるとみられる。現状で南北0.8m、東西3.0mを測り、北で46°東に傾く。調査当初、東に隣接するⅣ10－２区57号竪穴建物と同一遺構と想定していたが、土層断面の観察により16号竪穴建物が57号竪穴建物と重複し、より新しいことが判明した。建物埋土に粘土・粘土粒子を多く含むが、竈は検出されなかった。検出面から床面までの深さは30cmで、床面では硬化面が建物東側の一部に確認できた。床面ではピットを１基検出したが、柱穴は確認できなかった。掘方床面は５層（褐色砂層）の砂岩質堆積土の影響か、やや凹凸が目立った。貼床の厚さは17cm程である。遺物は建物埋土中から土師器や須恵器片が出土している（図63－227）。16号ピットの東側に位置する14号ピットからは土師器坏の破片が出土している（図63－226）。

226・227は土師器の坏である。いずれも底部は平底で、器壁は口縁部に向けて斜めに立ち上がり、口縁部端は指でつままれて外側へわずかに広がる。

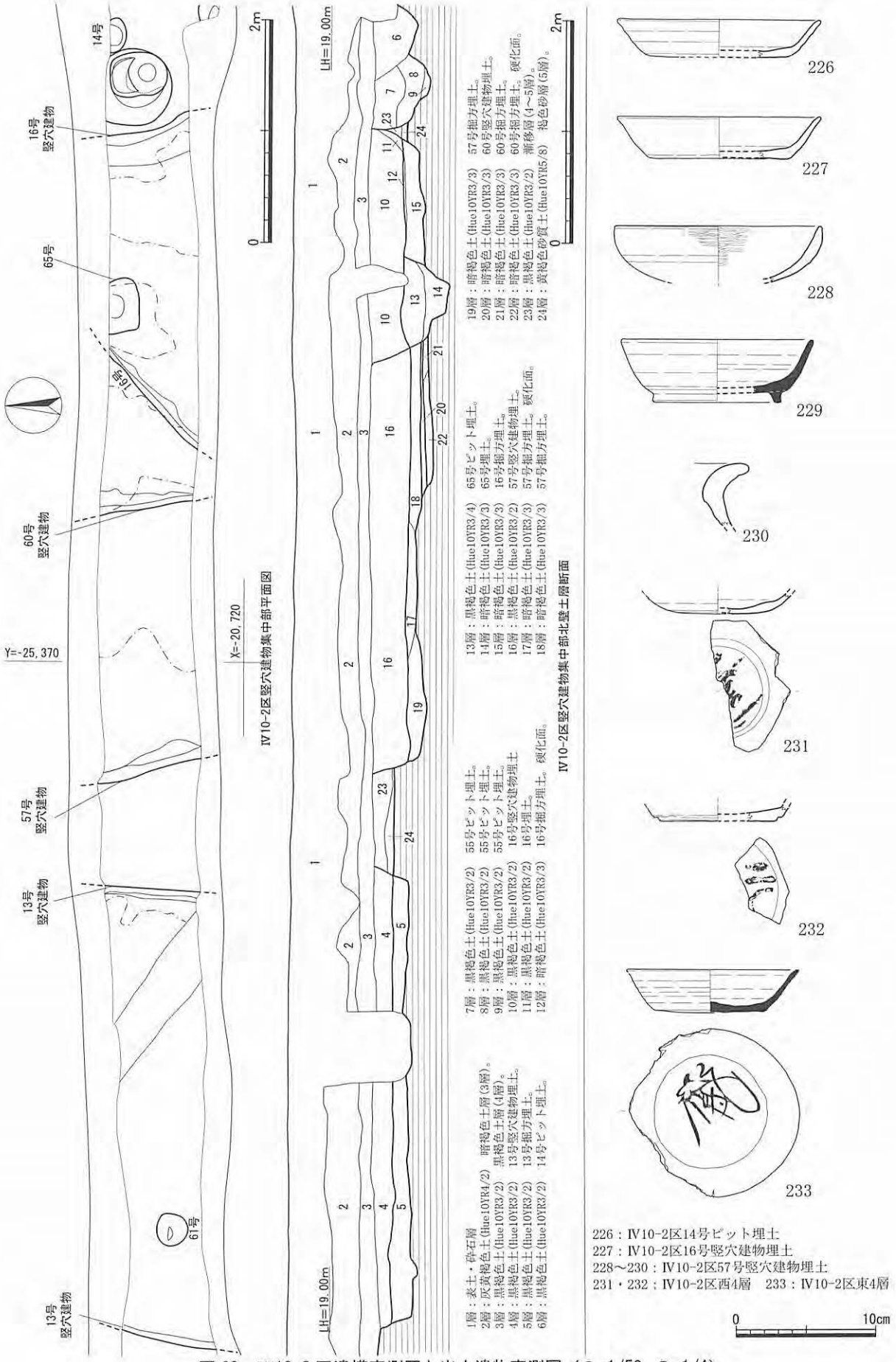
Ⅳ10－２区57号竪穴建物（図63）

Ⅳ10－２区の中央に位置する。東側でⅣ10－２区16号竪穴建物と重複し、より古い。西壁の一部のみを確認し、東側は16号竪穴建物によって壊され、他は調査区外に広がるとみられる。現状で南北0.9m、東西3.8mを測り、北で９°西に傾く。床面は検出範囲の中央部で硬化面が顕著で、周囲よりやや高く盛り上がる。検出面から床面までの深さは20cm、柱穴や竈は検出されなかった。掘方底面は壁際がやや深く、硬化面が顕著な箇所が浅い。貼床の厚さは10cm程である。建物埋土中より須恵器や土師器片が出土している（図63－228～230）。

228は土師器坏の破片である。丸みを帯びた器形で、横方向の磨きによって内外面が調整される。229は須恵器碗の破片である。身の外側端部に高台が張り付き、断面形態は逆台形状で床とは面で接する。全体はナデによって器面調整されている。230は土師器甕の口縁部片である。

Ⅳ10－２区60号竪穴建物区（図63）

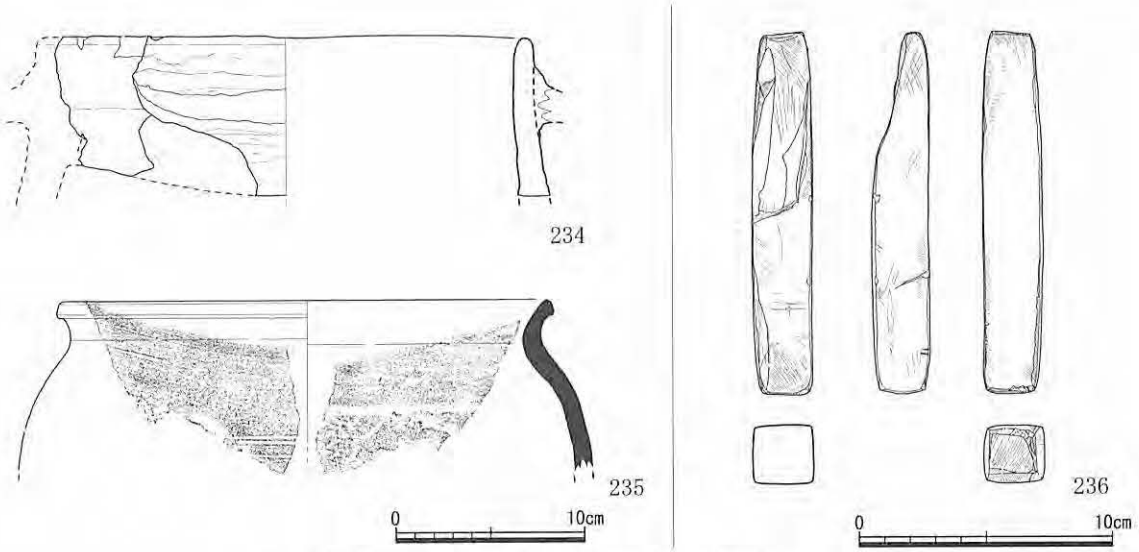
Ⅳ10－２区の中央でⅣ10－２区57号竪穴建物の完掘後に検出された。Ⅳ10－２区16号・57号竪穴建



226：Ⅳ10-2区14号ピット埋土
227：Ⅳ10-2区16号竪穴建物埋土
228～230：Ⅳ10-2区57号竪穴建物埋土
231・232：Ⅳ10-2区西4層　233：Ⅳ10-2区東4層

0　10cm

図 63　Ⅳ10-2 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）



234：Ⅳ10-2区西4層　235：Ⅳ10-1区東4層　236：Ⅳ10-2区西4層

図64　Ⅳ10-1・2区出土遺物実測図（S=1/3・S=1/4）

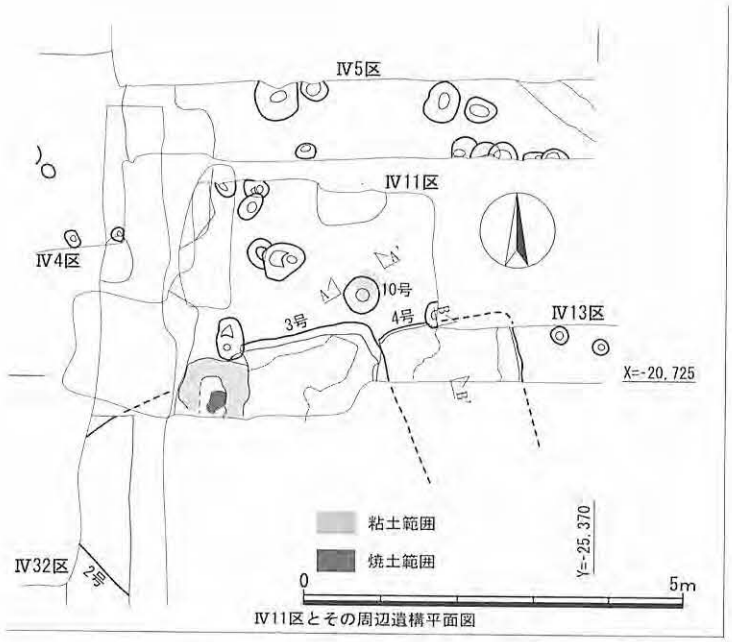
物と重複し、より古い。建物西壁の一部のみを確認し、現状で南北1.4m、東西0.8mを測り、方位は北で10°西に傾く。床面は東側で一部硬化面を確認したが、西側は16号竪穴建物によって削平され確認できなかった。検出面から床面までの深さは５cmである。竈や柱穴は確認できなかった。遺物は少量の土師器が出土する。

Ⅳ10－１・２区出土遺物（図63・64）

231～236は４層中より出土したが、Ⅳ10－２区西側のいずれかの竪穴建物の埋土に帰属する可能性がある。231・232土師器坏の底部で、底部に識別不能の文字が墨書きされている。233は須恵器の坏である。平底で、器壁は斜めに立ち上がる。底部には「嵐」類似の文字が墨書きされている。234は移動式竈である。破片資料で全体形は不明だが、庇と焚口の端部が確認できる。235は須恵器甕の口縁部である。丸みをおびた胴部が頸部ですぼまり、口縁部で緩く外反する。口縁部端は厚みを持って段差を生み、これが全体を巡る。236は４層中から出土した砥石である。全体形は直方体を呈し、端部がややすぼまる。表面には主として縁辺部に線状痕が走り、端部にも明確に残るがこれは整形の段階のものか。片側半分が剥離しているが、剥離面にも線状痕が明瞭に残っており、使用の状況がうかがえる。

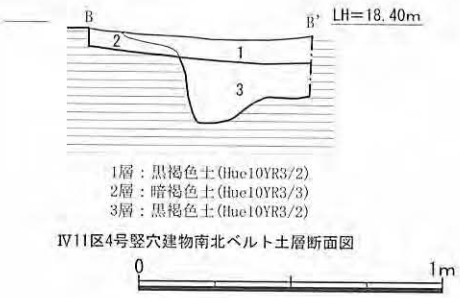
Ⅳ11区３号竪穴建物（図65・66）

Ⅳ区中央やや西側、Ⅳ11区の南半、Ⅳ32区（Ⅳ32区２号竪穴建物）で検出した。東側で４号竪穴建物と重複し、より新しい。北東壁面の一部を確認しており、西側は一部撹乱によって破壊を受け、南側は調査区外に広がるとみられる。調査区西側のⅣ32区では遺構の掘削こそ実施しなかったが本遺構と同一遺構と考えられる２号竪穴建物を平面で確認している。以上の成果を統合すると、南北1.15m、東西2.25mを測り、方位は北で21°西に傾く。硬化面は建物北壁南側に広がるが、あまり顕著ではない。検出面から床面までの深さは20cmで、床面からは明確な柱穴を確認できなかった。竈は北側に位置しており、壁面の残存状況は良好である。壁面には両側に袖石を確認でき、西側は安山岩の楕円礫、東側はやや風化した角柱形の砂岩を用いている。床面には燃焼面とみられる焼土を確認した。また、中央やや煙道よりで角柱形の砂岩支脚を検出しており、被熱により全面が赤く変色している。竈内面埋

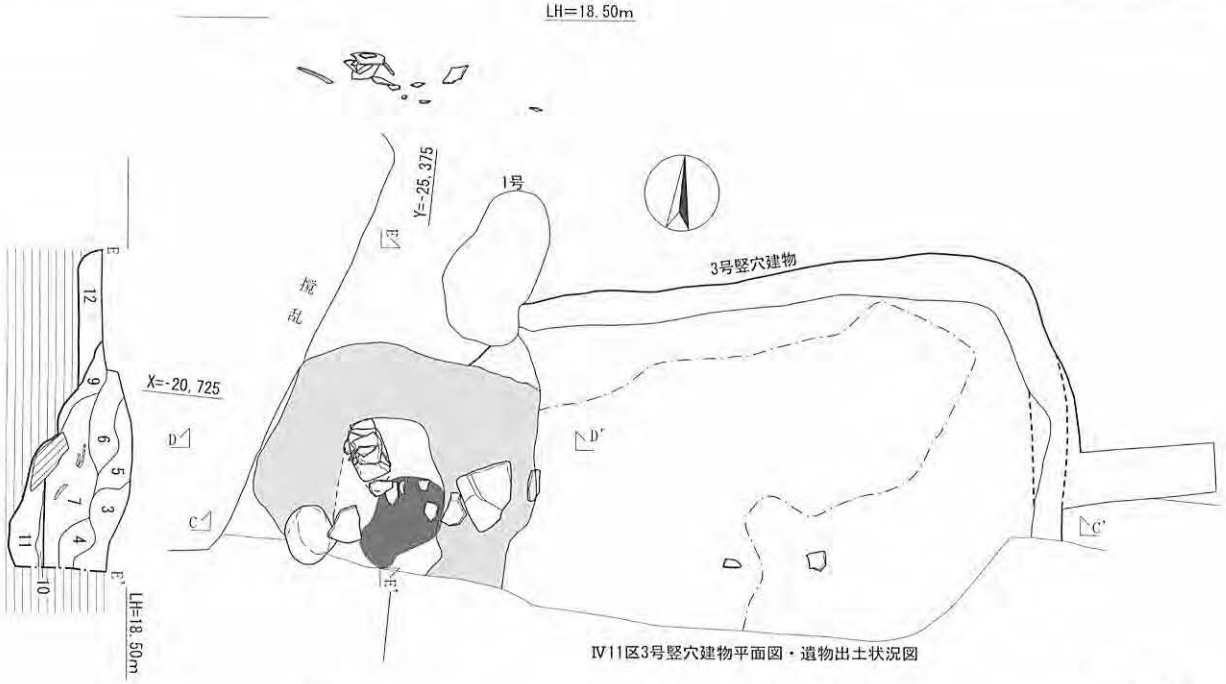


Ⅳ11区とその周辺遺構平面図

Ⅳ11区10号ピット上部粘土集中部土層断面

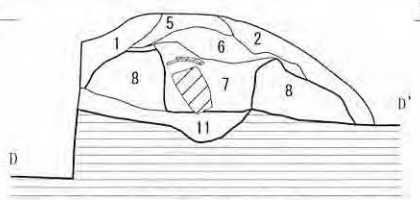


Ⅳ11区4号竪穴建物南北ベルト土層断面図



Ⅳ11区3号竪穴建物平面図・遺物出土状況図

Ⅳ11区3号竪穴建物見通し図



Ⅳ11区3号竈土層断面

1層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　以下7層まで3号竈埋土。
2層：黒褐色土(Hue10YR3/2)
3層：黒褐色土(Hue10YR3/2)
4層：暗褐色土(Hue10YR3/3)
5層：にぶい黄褐色土(Hue10YR4/3)
6層：暗褐色土(Hue10YR3/3)
7層：暗褐色土(Hue7.5YR3/3)
8層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　3号竈壁体。
9層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竈掘方埋土。
10層：橙色土(Hue5YR6/8)　焼土面。
11層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号竈掘方埋土。
12層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　漸移層(4・5層)

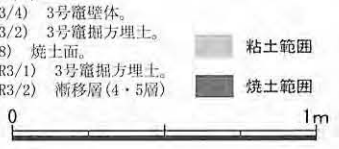
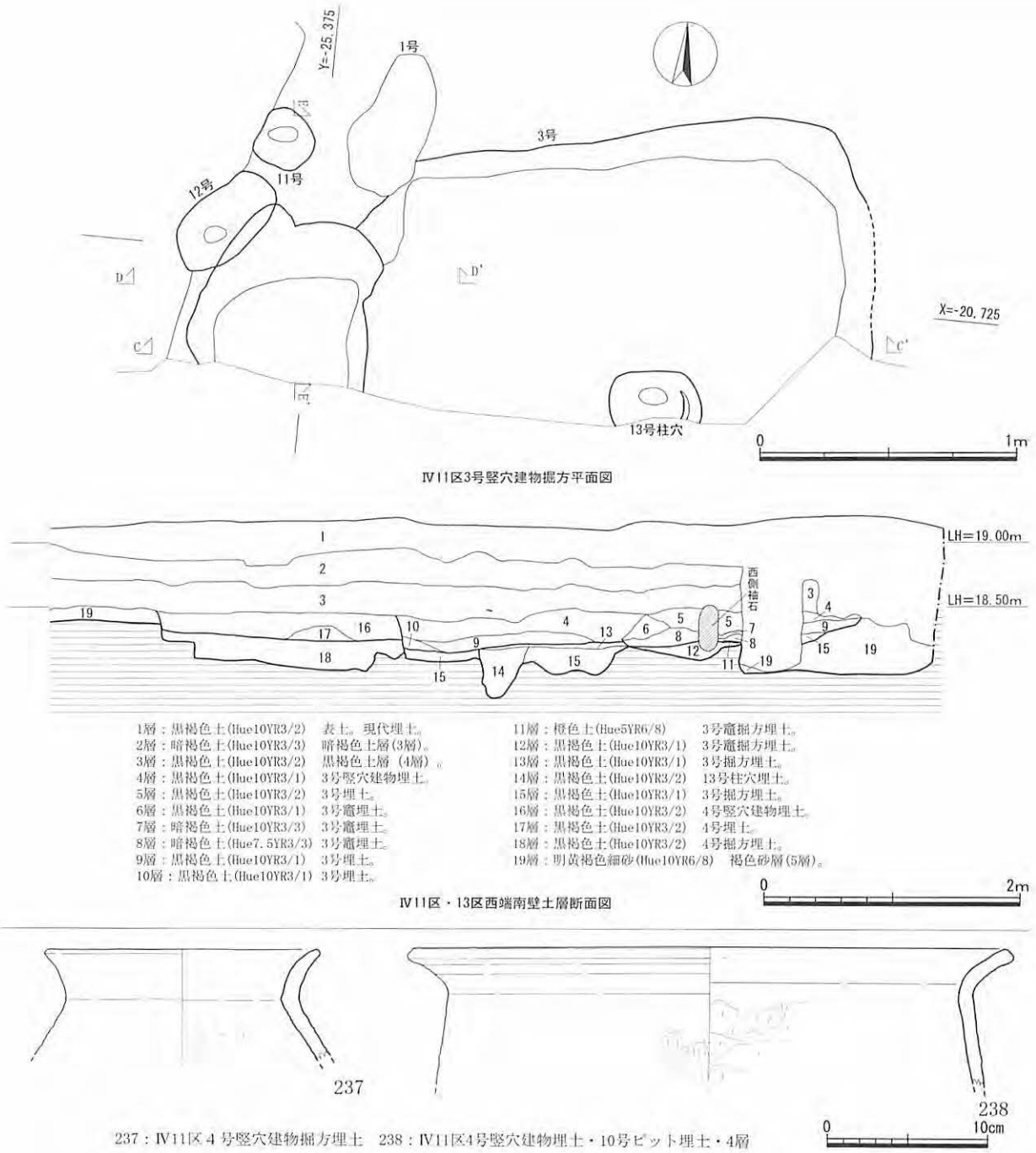


図 65　Ⅳ11 区遺構実測図（S=1/100・S=1/25）



Ⅳ11区3号竪穴建物掘方平面図

1層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　表土。現代埋土。
2層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　暗褐色土層(3層)。
3層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層（4層）。
4層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号竪穴建物埋土。
5層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号埋土。
6層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号竈埋土。
7層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　3号竈埋土。
8層：暗褐色土(Hue7.5YR3/3)　3号竈埋土。
9層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号埋土。
10層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号埋土。
11層：橙色土(Hue5YR6/8)　3号竈掘方埋土。
12層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号竈掘方埋土。
13層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号掘方埋土。
14層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　13号柱穴埋土。
15層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号掘方埋土。
16層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4号竪穴建物埋土。
17層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4号埋土。
18層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4号掘方埋土。
19層：明黄褐色細砂(Hue10YR6/8)　褐色砂層(5層)。

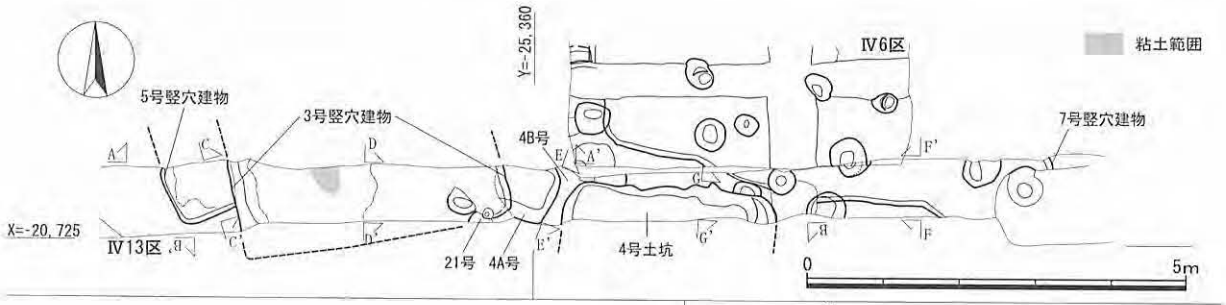
Ⅳ11区・13区西端南壁土層断面図

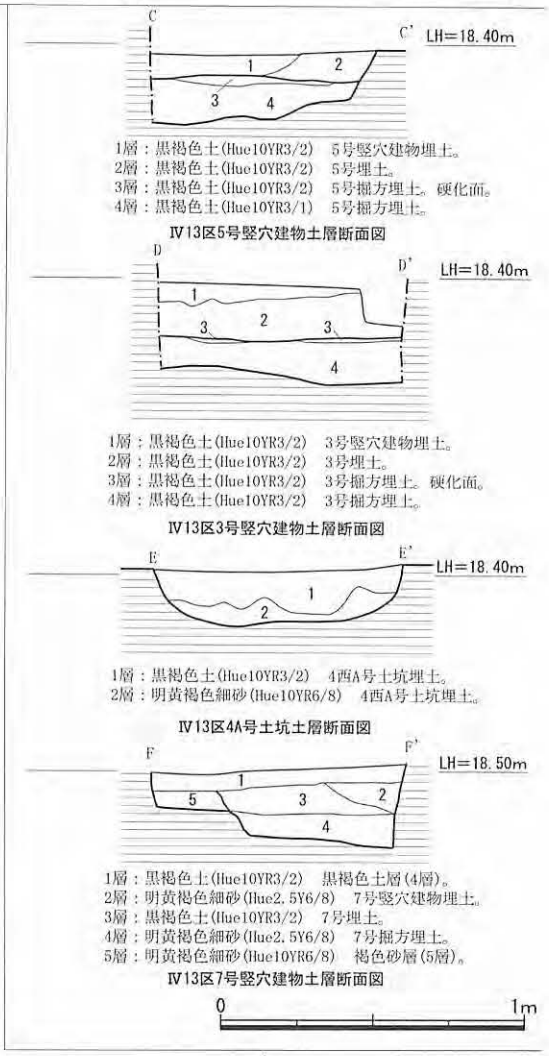
237：Ⅳ11区4号竪穴建物掘方埋土　238：Ⅳ11区4号竪穴建物埋土・10号ピット埋土・4層

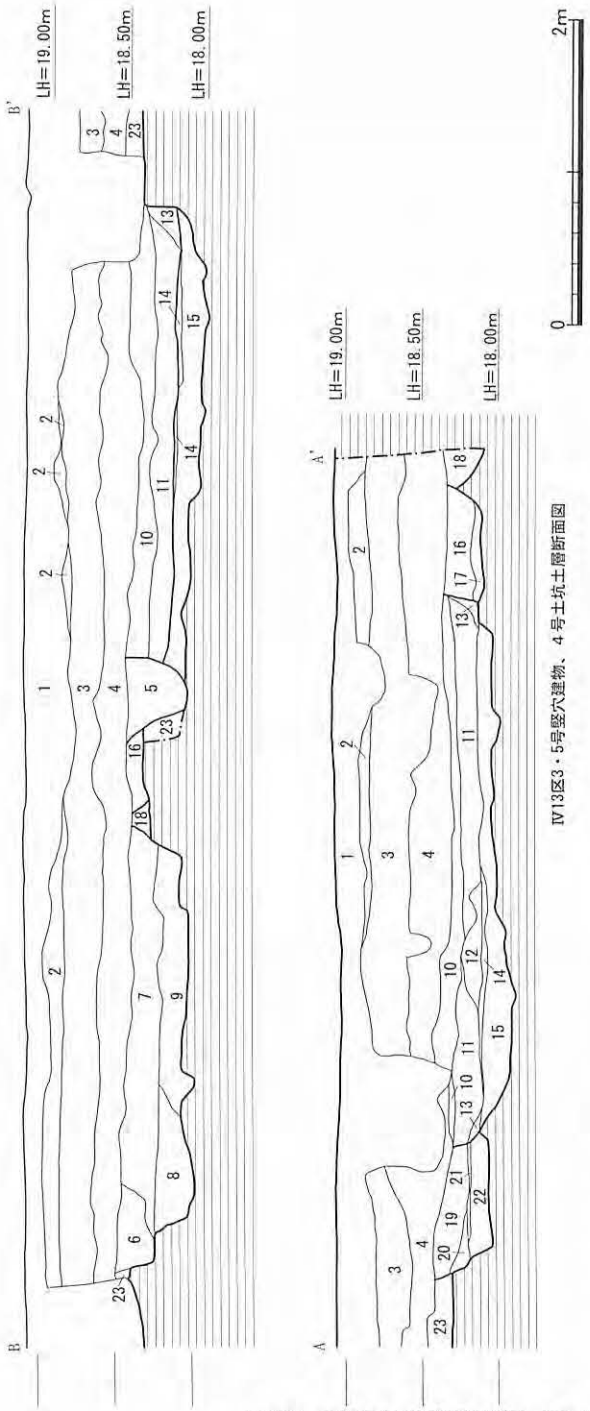
図66　Ⅳ11・Ⅳ13区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4）

土からは土師器甕の破片が出土している。貼床の厚さは８～20cmで、掘方底面は竈付近が浅く、その周縁が深い。土層断面から竈掘方が貼床よりも新しいことが確認できた。掘方底面からは13号を１基検出しており、土層観察の結果、竪穴建物に伴う柱穴とみられる。建物埋土、掘方埋土からは土師器・須恵器破片が出土している。

また、本遺構の北東側にはⅣ11区10号ピットと、これに伴う粘土集中部が検出されている。粘土集中部は、高さ17cm、直径30cmの不整円形の焼土混じりの粘土によって構築される。埋土中より土師器甕口縁部片が出土している（図66－238）。







1層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　表土。現代盛土。
2層：オリーブ黒色細砂(Hue7.5YR3/2)　灰白色砂層(2層)。
3層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　暗褐色土層(3層)。
4層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層(4層)。
5層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　21号ピット埋土。
6層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4号土坑埋土。
7層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4号土坑埋土。
8層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4号土坑埋土。
9層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　4号土坑埋土。
10層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　3号竪穴建物埋土。
11層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物埋土。
12層：灰黄褐色土(Hue10YR4/2)　3号竪穴建物埋土。
13層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物埋土。
14層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物掘方埋土。硬化面。
15層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　3号竪穴建物掘方埋土。
16層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4A号土坑埋土。
17層：明黄褐色細砂(Hue10YR6/8)　4A号土坑埋土。
18層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4B号土坑埋土。
19層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　5号竪穴建物埋土。
20層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　5号竪穴建物埋土。
21層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　5号竪穴建物掘方埋土。硬化面。
22層：黒褐色土(Hue10YR3/1)　5号竪穴建物掘方埋土。
23層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　漸移層(1～5層)。

図67　Ⅳ13区遺構実測図（S=1/100・S=1/50・S=1/25）

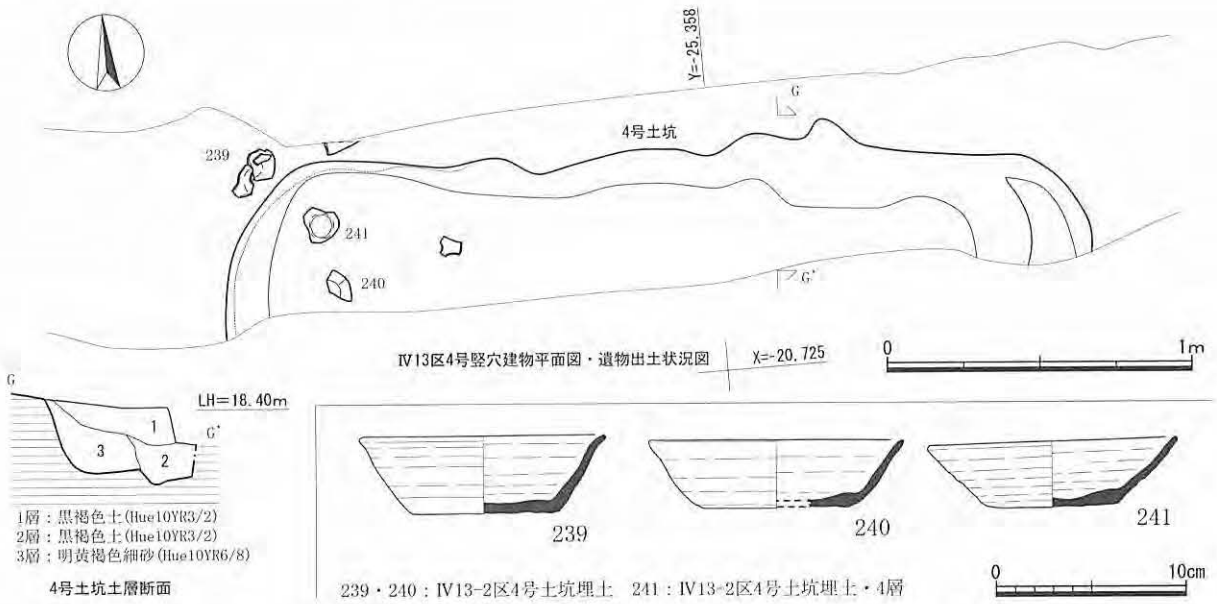


図 68　Ⅳ13 区 4 号土坑遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

238は土師器甕口縁部である。復元口径が35cmを超える大型品で、器壁は頸部に向かってすぼまり、口縁部が強く外反し「く」の字を呈する。外面はハケ目、内面は縦位の削りで調整される。

Ⅳ11区４号竪穴建物（図65・66）

Ⅳ11区の南東、Ⅳ13－２区の西端に位置する。西側でⅣ11区４号竪穴建物と重複し、より古い。北と東の壁面の一部を確認し、南側は調査区外に広がり、西側は４号竪穴建物によって壊されている。現状で南北0.77m、東西1.93mを測り、北で13°西に傾く。北西部は壁面隅が検出されていることから、東西方向の長さは２mを超えないと思われる。検出面から床面の深さは20cmで、硬化面はあまり顕著ではない。床面、掘方底面の両方で柱穴は確認できなかった。貼床の厚さは22cmで、建物掘方は中央部が深く、周縁が浅い。本調査の他の竪穴建物と異なり、小型で掘方中央部が深い点が特徴である。掘方埋土北東部からは土師器甕口縁部片が出土している（図66－237）。その他、建物埋土や掘方埋土から土師器・須恵器破片が出土している。

Ⅳ13区３号竪穴建物（図67）

Ⅳ区中央南側、Ⅳ13区の中央やや西側で検出した。Ⅳ13区５号竪穴建物、４A号土坑と重複し、両者より新しい。西壁面と南東壁面を確認しており、北と南側は調査区外に広がるとみられる。現状で南北0.9m、東西3.6mを測り、北で11°西に傾く。検出面からの床面までの深さは20cm程である。硬化面は西側にのみ形成され、周辺よりわずかに盛り上がる。床面からは２基のピットを検出しているが、明確な柱穴は確認できなかった。遺物は埋土中から土師器・須恵器の小破片が出土しており、床面直上からの出土はない。竈はなかったが、北西部に竈の崩落土と考えられる灰白色粘土の集中を検出している。貼床の厚さは15cm前後で、掘方底面はやや凹凸があり、西側が浅く、東側がより深い。掘方底面からの遺構の検出はなかった。

Ⅳ13区５号竪穴建物（図67）

Ⅳ13区の中央で検出した。東側でⅣ13区４号竪穴建物と重複しており、より古い。建物南西隅壁面のみの検出だが、主軸や位置関係から北に隣接するⅣ５区13号竪穴建物と同一遺構の可能性がある。

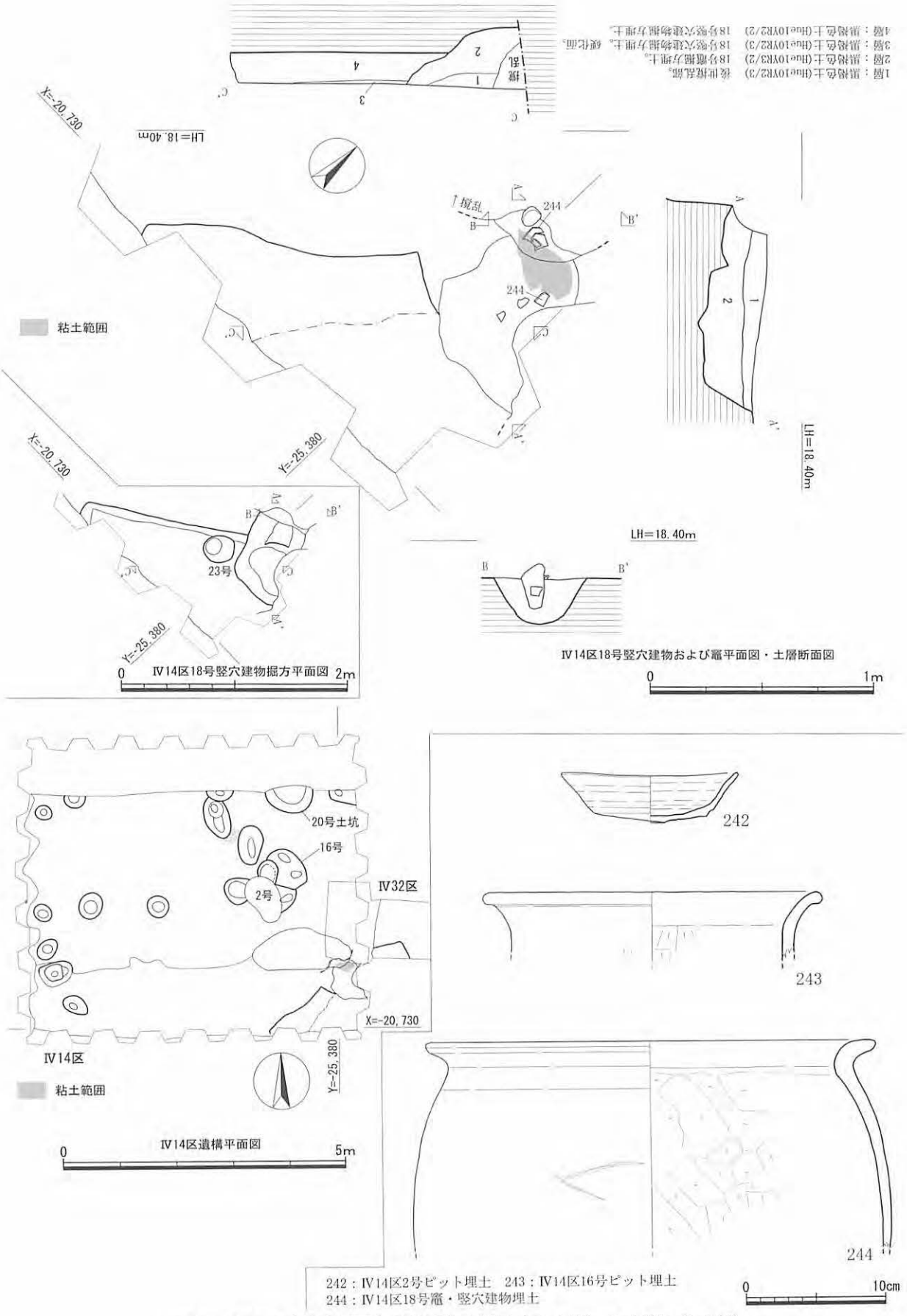


図 69　Ⅳ14 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4）

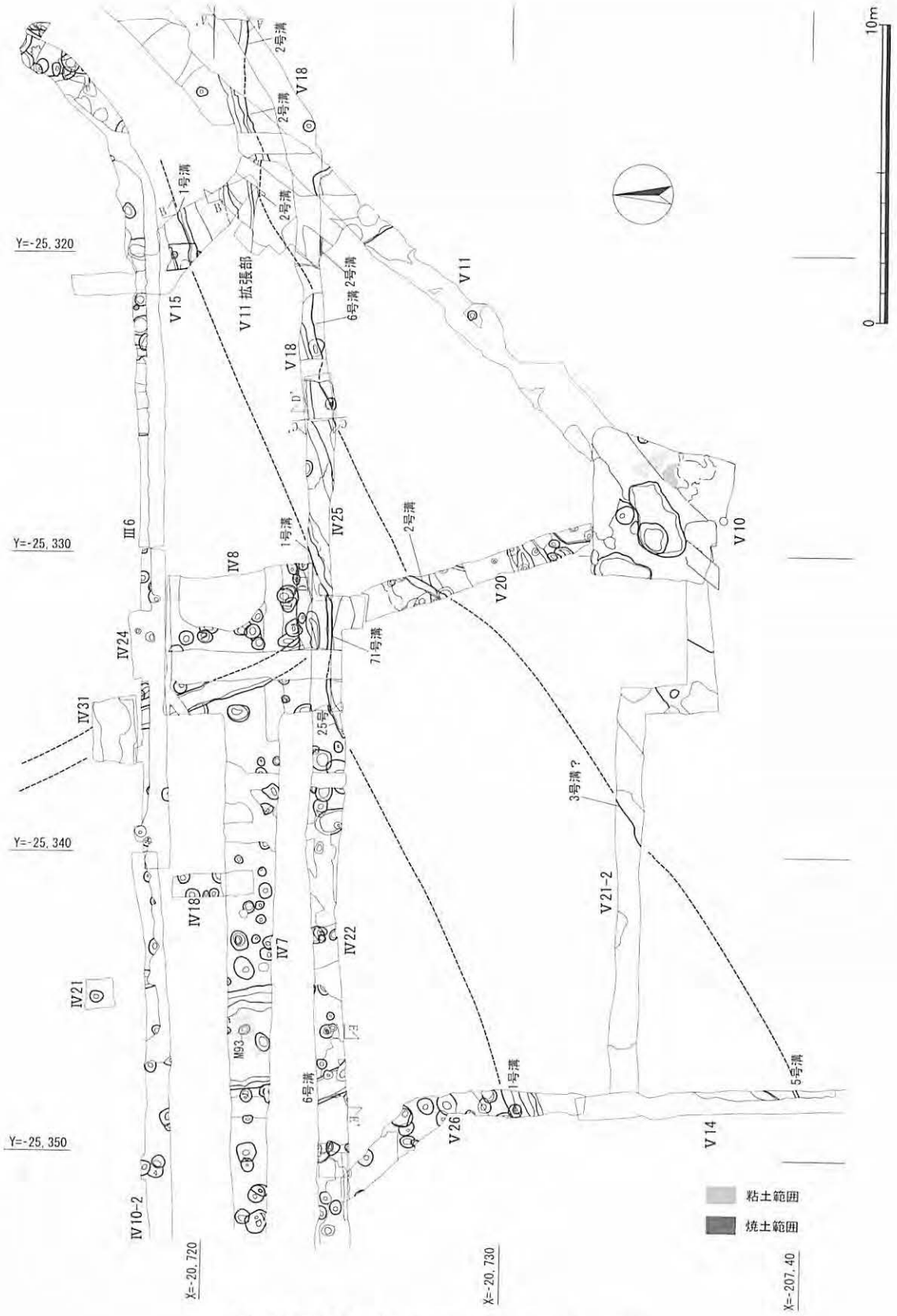


図 70　Ⅳ区東側溝等検出遺構実測図（S=1/200）

現状で南北0.7m、東西0.9mを測り、北で21°西に傾く。検出面から床面までの深さは22cmで、床面では壁際以外で広く硬化面を検出した。床面および掘方底面のいずれでも柱穴は検出できなかった。遺物は土師器小破片が埋土中から出土している。

Ⅳ13区４号土坑（図67・68）

Ⅳ13区西側で検出した。Ⅳ13区４Ｂ号土坑と重複し、より新しい。当初は竪穴建物と想定して掘削を実施したが、床面や柱穴、竈を確認できず、土坑と判断した。土坑の北側壁面を検出し、南側調査区外に広がるとみられる。平面形態は隅丸方形、現状で東西2.8m、南北50cmを測り、方位は北で５°東に傾く。検出面から掘方底面までの深さは25cmで、底面は凹凸が顕著である。土坑西側埋土上層で３点の須恵器坏を検出した（図68－239～241）。このうち239は記録では４号土坑として取り上げられているが、出土状況図上では４Ｂ号土坑の上面に位置する点を明記しておく。

239～241は須恵器坏である。いずれも底部は平底で、器壁が口縁部向けて真っすぐ斜めに立ち上がる。239は口縁部端がやや広がっている。

Ⅳ14区18号竪穴建物（図69）

Ⅳ区の西端、Ⅳ14区の南東角で検出した。竈と北壁面の一部を確認しており、竪穴建物の南側大部分が調査区外に広がる。現状で東西1.92m、南北1.0mを測り、北で45°東に傾く。竈の残りは非常に悪く、壁面はほぼ残っていなかったが、竈埋土中北端に立位の砂岩製支脚を検出した。また、竈埋土中には土師器甕の破片が散在した状態で出土している（図69－244）。

242は土師器の坏である。底部は回転ヘラ切りにより、中央部分がわずかに窪む。243は土師器甕の口縁部片である。直立した器壁が頸部で強く外反し、口縁部端では丸みをおびる。244は土師器甕の口縁部片である。丸みをおびた胴部壁面が、頸部に向けて緩くすぼまり、口縁部は強く外反する。口縁部内外面はナデ、胴部内面は斜位の削りによって調整される。

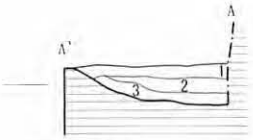
Ⅳ25区１号溝（図70・71）

Ⅳ区の東側からＶ区の北側にかけて検出した大溝である。Ⅳ25区１号溝で両壁の上場を検出しており、遺構の位置や断面形態、深さなどから、Ⅳ８区71号溝、Ⅳ22区25号溝、Ｖ11区拡張部２号溝、Ｖ11区２号溝、Ｖ18区２号溝、Ｖ15区１号溝、Ｖ18区６号溝、Ｖ20区2号溝が同一遺構と推定される。また、位置関係から、より西側で検出されたＶ26区１号溝、Ｖ21－２区３号溝、Ｖ14区５号溝が同一遺構である可能性がある。さらにＶ26区１号溝から南西へ66m離れた位置では本遺構延長線上にＶ29区１号溝がのっており、これが仮に同一遺構だとすると南西－北東方位の100mにおよぶ溝となるが、結論付けるには今後の調査成集を待つ必要があるだろう。方位がそろうⅣ25区からＶ15区にかけての調査結果を参考にすると幅2.4m、長さ13.6m、北で68°東に傾く。より西側ではＶ11・15区の調査結果から、復元幅3.2mと東よりもやや広くなることが分かる。断面形態は緩やかなＵ字状で、検出面から底面までの深さは50～60cm、北側掘方は上位に幅20～30cm、深さ10cm程のテラスを持つ。Ⅳ25区では埋土中位において顕著な硬化面を検出している。遺物は各調査区で土師器や須恵器の小片、石製品の破片などが出土している（図71－246・247）。

245はⅣ22区６号溝埋土から出土した土師器坏である。内外面は磨きによって調整される。246はＶ11区２号溝埋土から外面は細かな磨きによって調整され、赤色化粧土が掛かる。内面には暗文が菊花状に施される。247は小型の砥石で、両面に線状の使用痕がみられる。

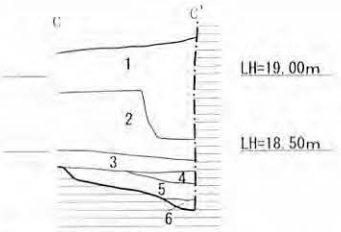
Ⅳ区出土遺物（図72）

248は出土遺構不明の須恵器蓋である。器形は扁平で、天井部に輪状つまみを持つ。249は現代盛土中から取り上げた砥石である。250はⅣ20区４層から出土した鉄製鏃である。鏃身部は欠けているが、



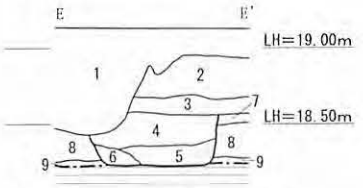
1層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　以下2号溝埋土。
2層：黒褐色土(Hue10YR3/2)
3層：黒褐色土(Hue10YR3/2)

V18区2号溝土層断面図



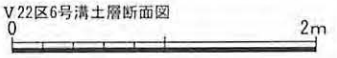
1層：表土。現代盛土。
2層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　暗褐色土層(3層)。
3層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層(4層)。
4層：暗褐色土(Hue7.5YR2/3)　以下6号溝埋土。
5層：暗褐色土(Hue7.5YR3/3)
6層：極暗褐色土(Hue7.5YR2/3)

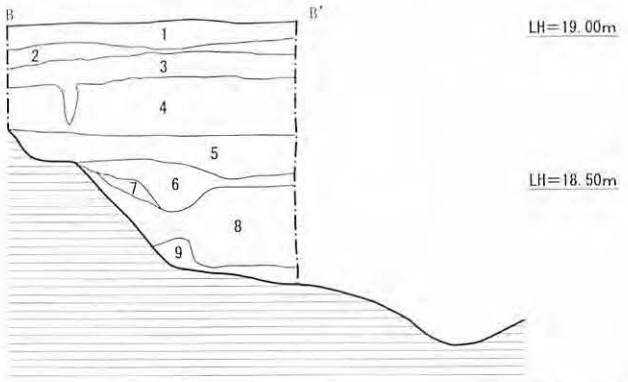
V18区6号溝土層断面図



1層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　現代盛土。
2層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　暗褐色土層(3層)。
3層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　黒褐色土層(4層)。
4層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　6号溝埋土。
5層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　6号溝埋土。
6層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　6号溝埋土。
7層：黒褐色土(Hue10YR3/2)　4層と5層の漸移層。
8層：黄褐色細砂(Hue10YR5/6)　褐色砂層(5層)。
9層：明黄褐色細砂(Hue2.5Y7/6)　褐色砂層(5層)。

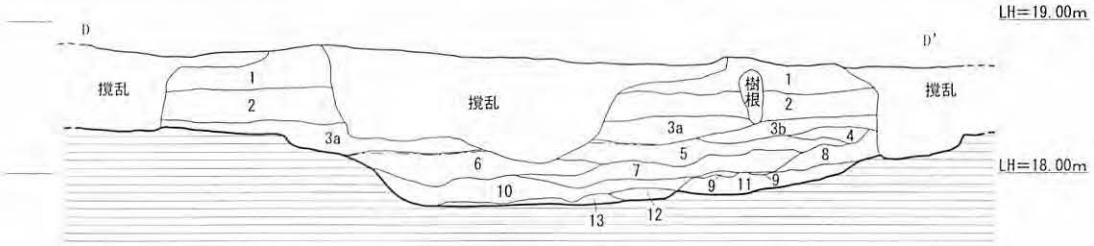
V22区6号溝土層断面図





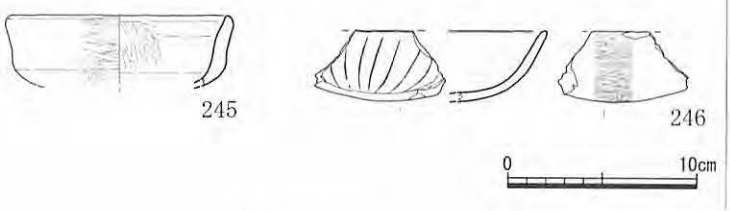
1層：緑灰色土(Hue5G6/1)　現代盛土。
2層：褐灰色土(Hue10YR4/1)　灰白色砂層（2層）。
3層：暗褐色土(Hue10YR3/4)　暗褐色土層（3層）。
4層：暗褐色土(Hue10YR3/3)　黒褐色土層（4層）。
5層：黒褐色土(Hue10YR2/3)　以下9層まで1号溝埋土。
6層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
7層：黒褐色土(Hue10YR2/2)
8層：暗褐色土(Hue10YR3/3)
9層：褐色土(Hue10YR4/4)

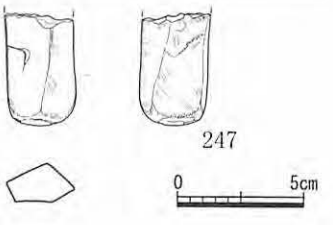
Ⅳ15区1号溝土層断面図



1 層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)　暗褐色土(3層)。
2 層：黒褐色土 (Hue10YR3/2)　黒褐色土(4層)。
3a層：暗褐色土 (Hue10YR3/3)　以下13層まで1号溝埋土。
3b層：黒褐色土 (Hue10YR3/2)
4 層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)
5 層：暗褐色土 (Hue10YR3/3)
6 層：暗褐色土 (Hue10YR3/2)
7 層：黒褐色土 (Hue10YR3/2)
8 層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)
9 層：黒褐色土 (Hue10YR2/2)
10層：暗褐色土 (Hue10YR3/4)
11層：褐色土　(Hue10YR4/4)
12層：黒褐色土 (Hue10YR2/3)
13層：褐色土　(Hue10YR4/4)

Ⅳ25区1号溝土層断面図





245：Ⅳ22区6号溝埋土　246：V11区2号溝埋土　247：Ⅳ25区1号溝埋土

図 71　Ⅳ区東側溝等遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4・S=1/3）

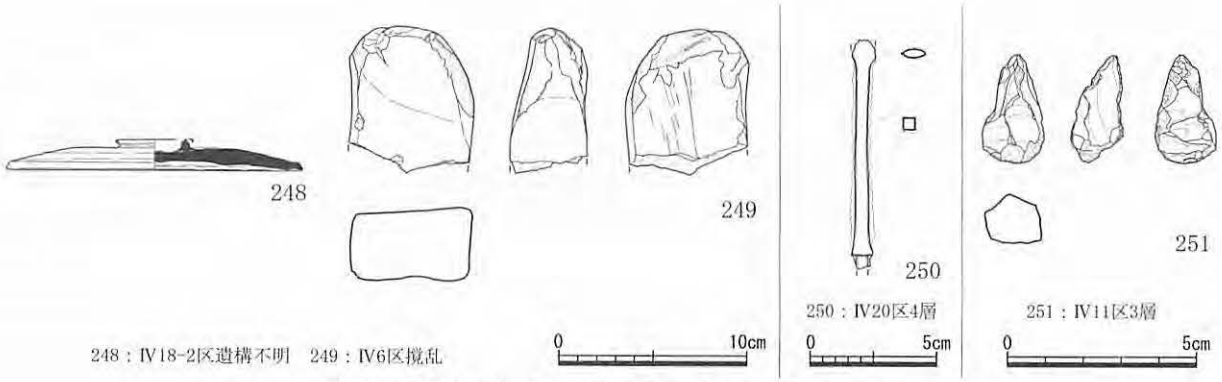


図 72　Ⅳ区出土遺物実測図（S=1/4・S=1/3・S=1/2）

断面は扁平レンズ状を呈する。直線的な柄部の端には若干の広がりが認められ、茎と頸部の境と判断した。鏃身部の断面形態は正方形である。251は火打石である。３層（暗褐色土層）からの出土で近世以降の遺物の可能性がある。

⑤　Ⅴ区（図73）

Ⅴ区は、本調査地点南東にあたり、自然科学研究科研究棟・実験棟の東から南にかけての道路および緑地部分、南北87m、東西107mの範囲に相当する。調査区は幅１～1.5mの水道・ガス配管に関連する施工の他、U字側溝、浸透井戸、アスファルト舗装などの施工に関連するもので、計43の調査区に分かれる。このうち古代の調査を実施したのは16区である。Ⅴ区では昭和28年の白川洪水の堆積層である２層（灰白色砂層）が10～40cm堆積しており、その下に３層（暗褐色土層）や４層（黒褐色土層）など近世・近代、古代の遺物包含層を確認している。他の調査区とは堆積状況が大きく異なり、とくにⅤ９区の南側から白川方面に向かっては、現代埋土が厚く堆積し、Ⅴ１～８について地表下1.5m程まで重機によって掘削を実施する必要があった。これらの調査区では古代の遺構そのものを検出することができなかった。ただし、Ⅴ１区やⅤ31区では当該時期の遺構を検出できており、飛び地的な遺構の分布状況を示す。これ以外の調査区では４層は地表下0.4～0.7m（標高18.4～18.85m）程で検出されている。４層掘削の後、５層の上面で遺構の平面プランを検出した。遺構の検出レベルは標高18.1～18.7mである。Ⅴ区は他の地区と比較して、古代の遺構密集度が低い。Ⅳ区では竪穴建物４基、溝７条、その他土坑やピットが多数確認できた。以下、主要な遺構について説明をおこなう。

Ⅴ10区１号竪穴建物（図74）

Ⅴ区の北端、Ⅴ10区南東側とⅤ９区北側で検出した。Ⅴ10区は大型のコンクリート基礎が南西－北東方向にのっており、その掘方で中央部分が大きく壊される。周囲もこれに関連する瓦礫や根によって撹乱を受けていた。そのため、Ⅴ10区１号竪穴建物やこれに伴う竈の残存状況は非常に悪かった。北西側はコンクリート基礎の掘方によって破壊を受けており、東側は調査区外に広がるとみられる。北、東、西の壁面は検出できず、南壁面をⅣ９区北端で検出したが、平面プランが湾曲しており、壁面の大部分が削平を受けているものとみられる。硬化面は南側の一部と竈の周囲に検出したが、顕著ではない。調査区東側で竈の一部とみられる焼土混じりの粘土を検出し、その南東には砥石が出土している（図74－252）。あるいは支脚として転用した可能性もあるが、被熱の痕跡はなかった。この焼土が竈の壁体の一部を構成し、その北西に広がる粘土が竈壁体の崩落土と考えられるが、判然としない。また、床面で明確な燃焼面は検出できなかった。遺物は建物埋土から須恵器蓋と土師器片、砥石

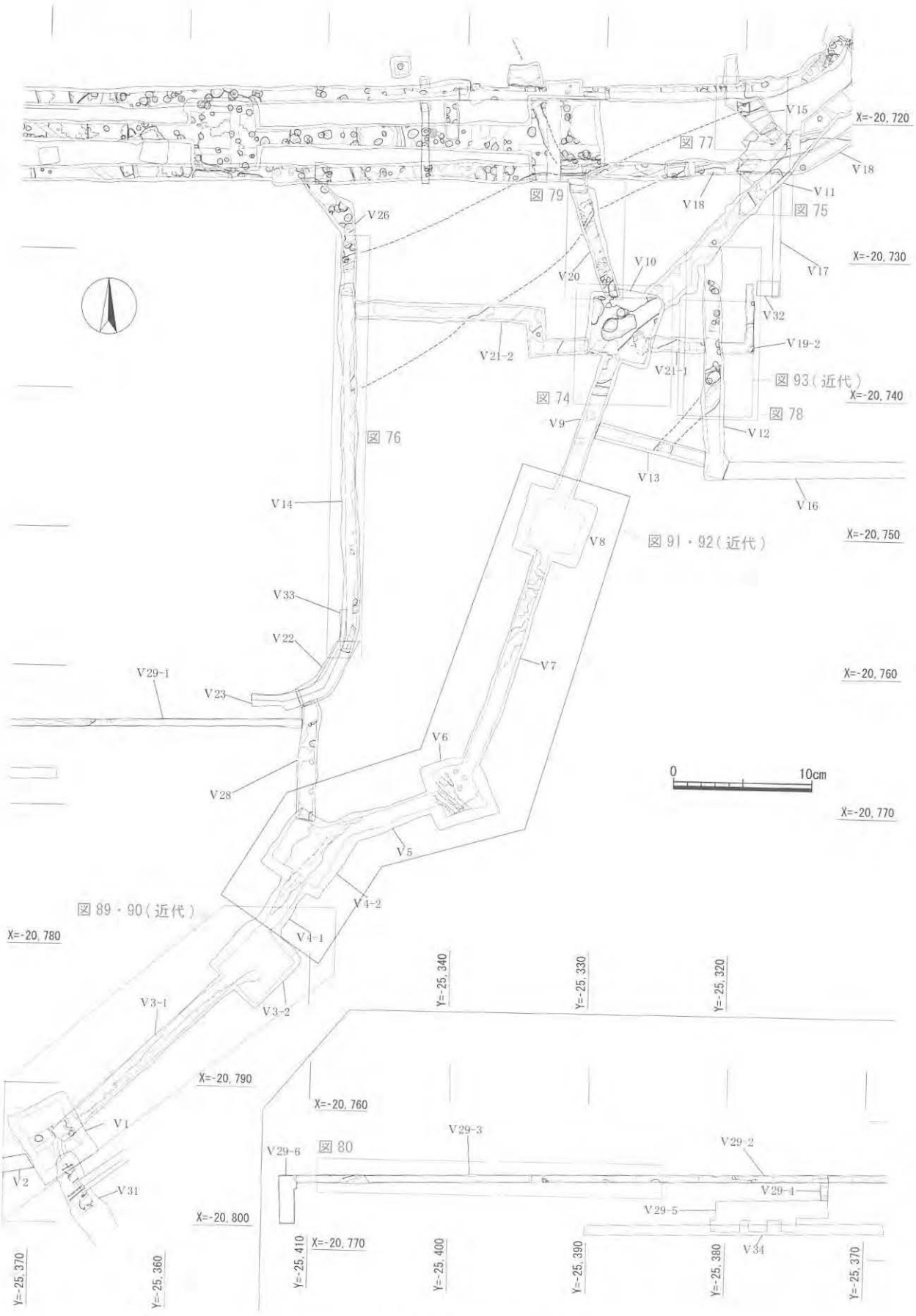
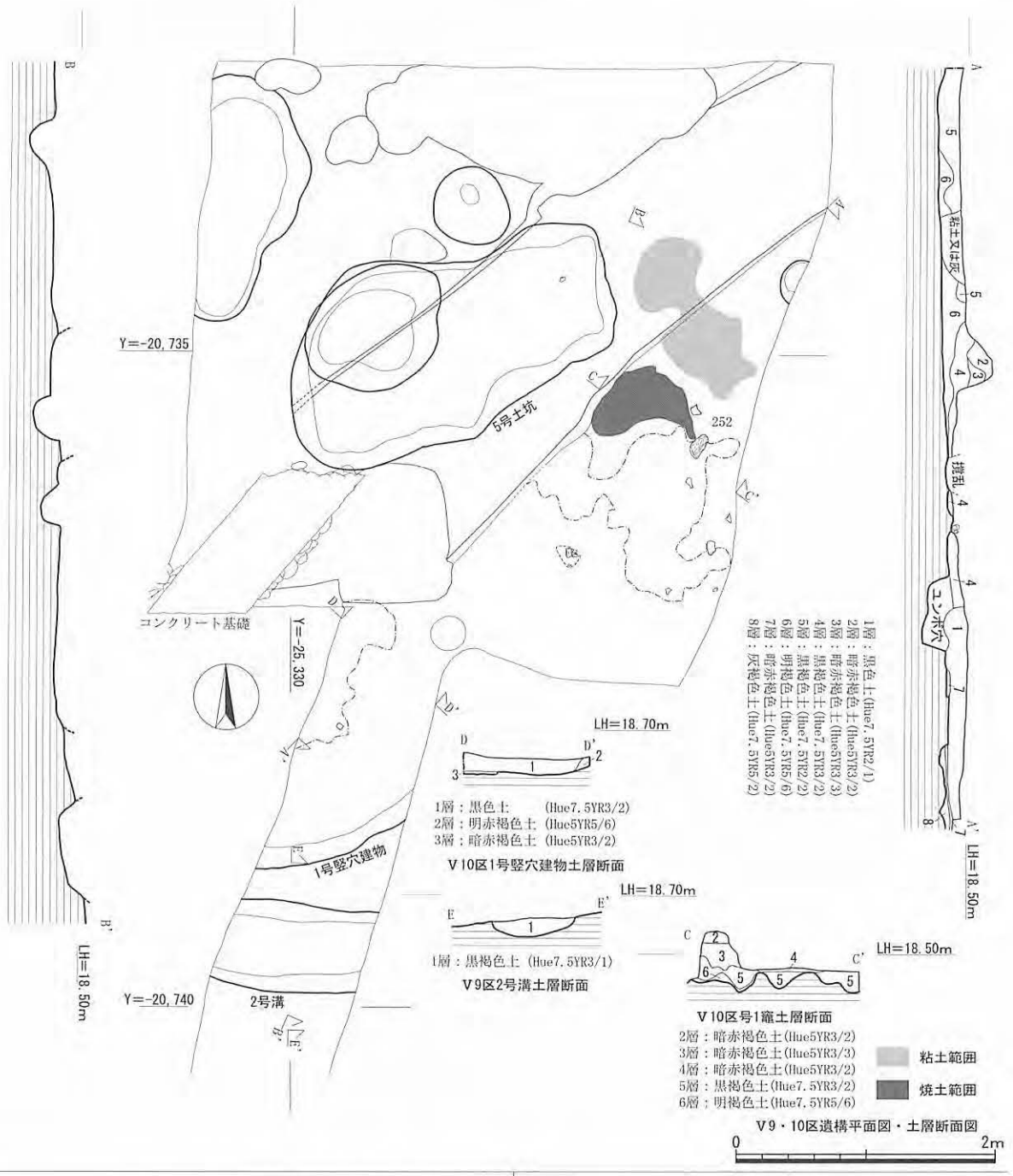
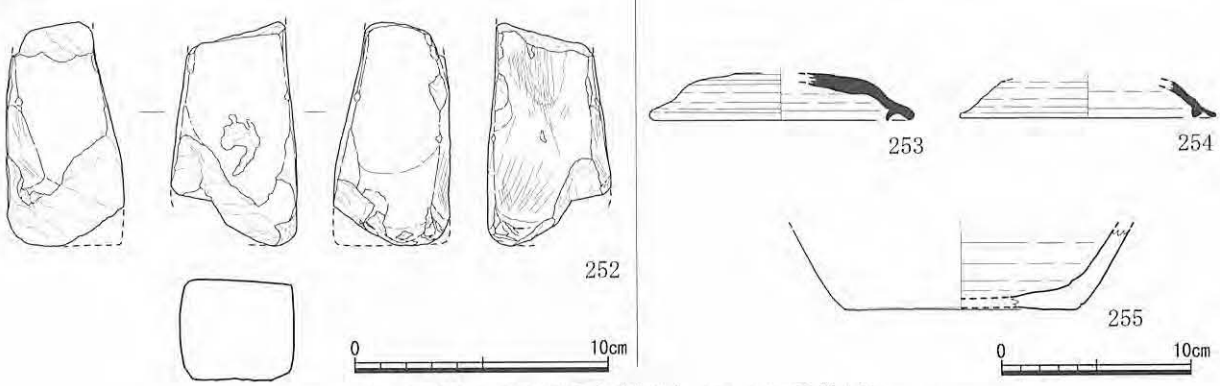


図 73　Ⅴ区遺構配置図（S=1/400）





252・253・255：V10区1号竪穴建物埋土　254：V10区5号土坑

図 74　V10 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/3・S=1/4）

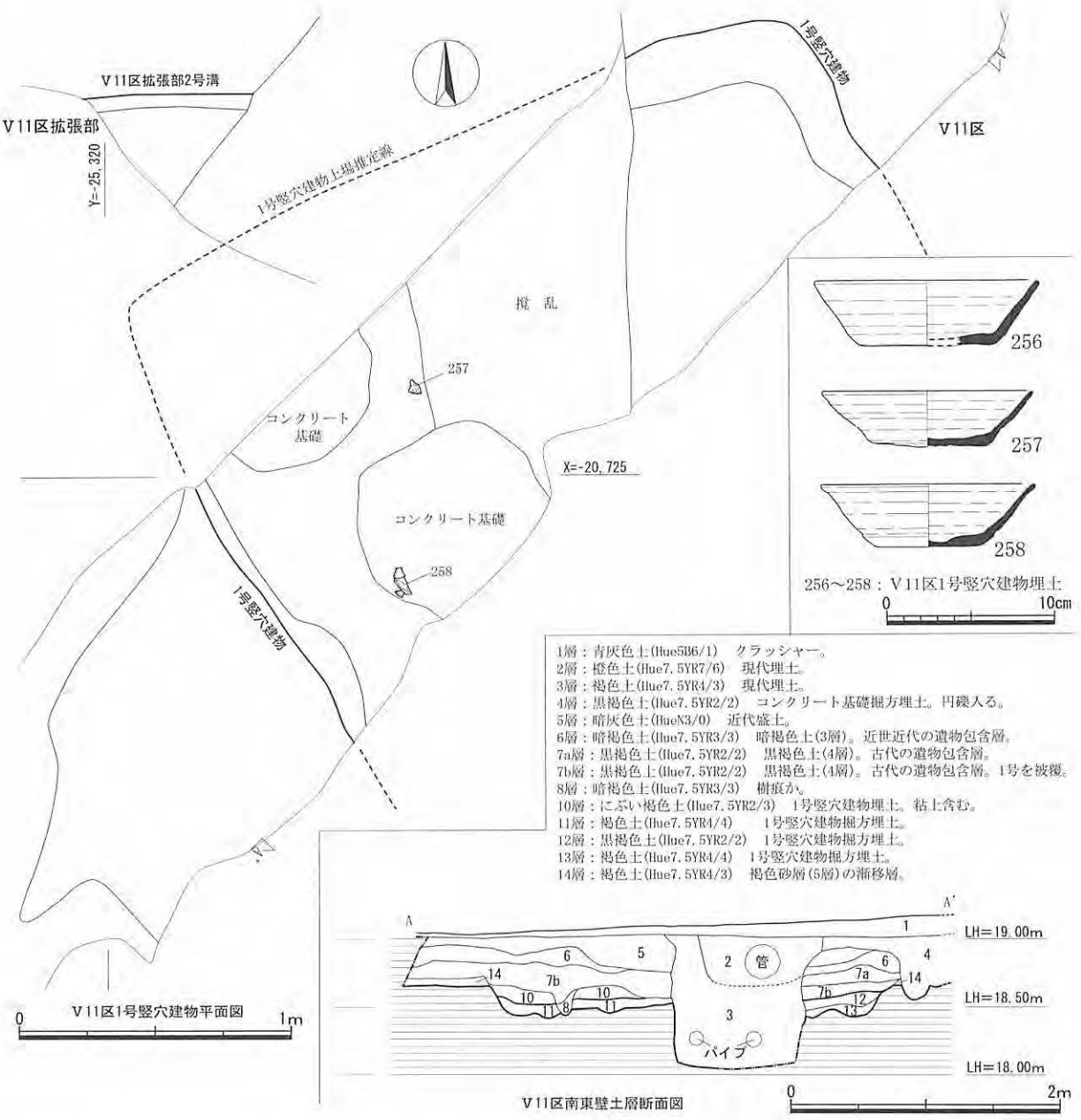


図 75　V11 区 1 号竪穴建物実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/25・S=1/4）

が出土している（図74－253・255）。

252は天草産木目石製の砥石である。角柱状で端部は欠けている。全面に平坦面を形成し、このうち１面には明瞭に線状痕が残っている。253・254は須恵器の蓋である。254は５号土坑埋土より出土した。いずれも復元口径が13.6cmで、口縁部には弱い返しが貼り付く。255は土師器の鉢の底部か。

V11区１号竪穴建物（図75）

Ｖ区の北西端、Ｖ11区の中央付近より検出した。北東隅壁面と西壁面の一部を確認しており、北壁と南半は調査区外に広がるとみられる。中央部は撹乱溝で、西側はヒューム管のコンクリート基礎によって破壊を受けている。現状で南北1.1m、東西2.75mを測り、北で31°西へ傾く。床面では明確な硬化面は検出できなかったが、土層確認により床面のレベルを確認できた。検出面から床面までの深

さは８cm程である。床面のレベルから須恵器坏が２点出土している（図75－257・258）。貼床の厚さは10～15cm程で、掘方底面は中央部部分がやや高く、壁面側が浅い。竈はなく、床面や底面で柱穴は確認できなかった。

256～258は須恵器坏である。いずれも平底で、器壁は口縁部に向けて斜めに真っすぐ立ち上がる。256・257は回転ヘラ切りによる。258は底部が回転ヘラ削りで調整され、口縁部端は指でつままれてやや外反する。

Ⅴ14区１号溝（図76）

Ⅴ区の中央、Ⅴ14区の南で検出した。北側掘方の一部を確認したが、東西と南側は調査区外に延びるとみられる。現状で幅1.6m、長さ45cmを測り、軸は北で西に53°傾く。検出面から底面までの深さは30cmである。断面形態は台形状で、上位に深さ18cm、幅50cmのテラスを持つ。溝底面には直径20cm程の円形の自然礫が２点検出されている。調査区外で東西延長部に本溝の続きは確認できていない。

Ⅴ14区５号溝（図76）

Ⅴ区の中央、Ⅴ14区の北側で検出した。南側掘方の一部を確認したが、東西と北側は調査区外に延びるとみられる。現状で幅1.4m、長さ0.4mを測り、北で東に68°傾く。断面形態は台形状で、上位にテラスを持つ。検出面から30cm掘り下げたが、本調査区の施工深度が浅かったため、底面まで調査は実施していない。本溝の西側にはⅣ25区１号溝をはじめとする南西－北東方向の大溝が確認できており、本溝がこの溝の西側延長部にあたる可能性がある。遺物は少量の須恵器、土師器小片が出土している（図76－259）。

259は須恵器鉢の口縁部である。器壁はやや外反しながら立ち上がり、口縁部端で傾きを変えて広がる。全体は回転ナデによって器面調整されている。焼成不良で赤みがかる。

Ⅴ15区２号竪穴建物（図77）

Ⅴ区の北端、Ⅴ15区２号竪穴建物で検出した。東壁面の一部を確認しており、北および西側は調査区外に広がるとみられる。南側はⅤ15区１号溝

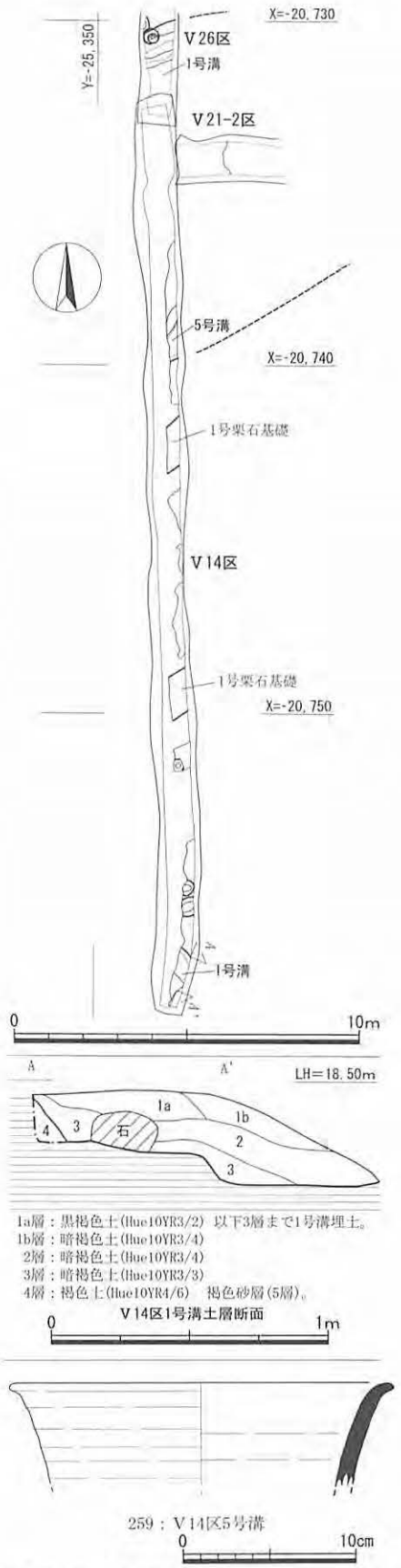


図 76　Ⅴ14 区遺構実測図と出土遺物実測図
（S=1/200・S=1/25・S=1/4）

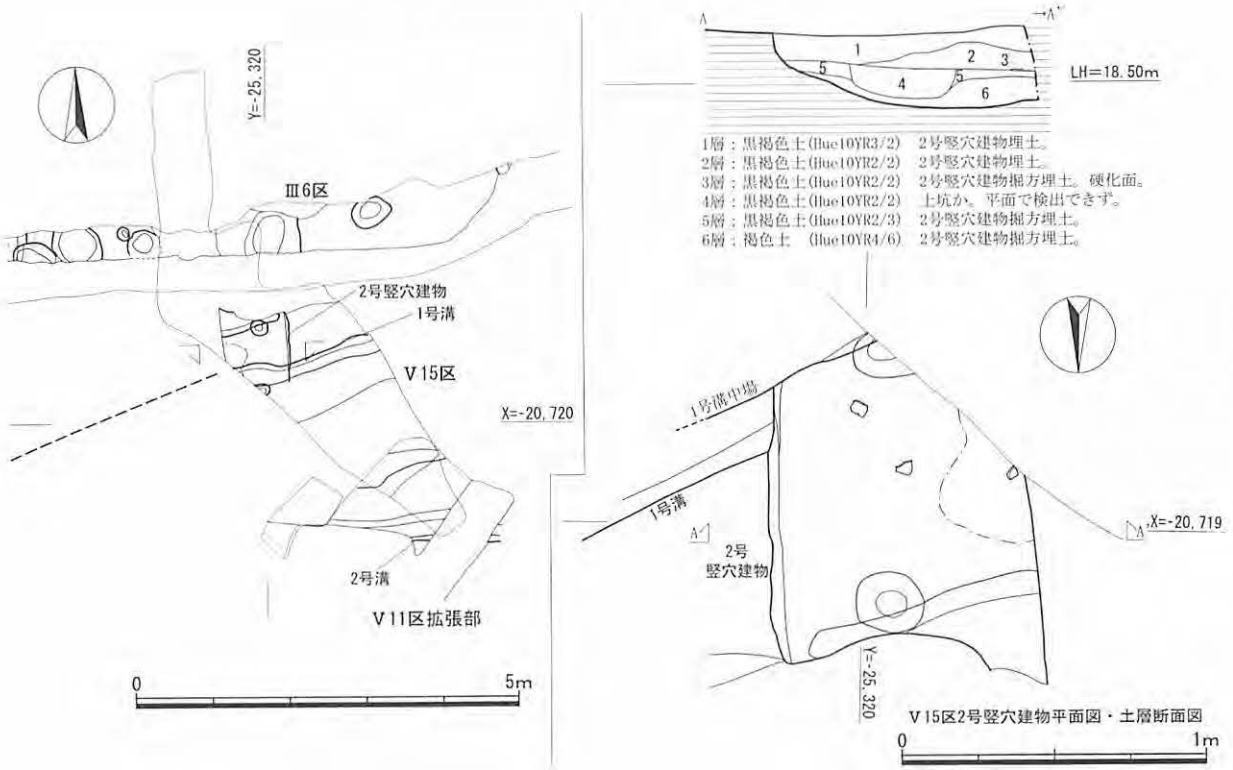


図77　Ⅴ15区遺構実測図（S=1/50・S=1/25）

（先述したⅣ25区１号溝と同一遺構）と重複しており、より古い。現状で東西87cm、105cmを測り、方位はほぼ南北軸にのる。検出面から床面までの深さは15cm程で、硬化面は床面西側、建物中央よりに顕著で壁際には確認できない。貼床の厚さは12cmで、掘方底面は壁際が浅く、中央が深い。掘方底面でピット２基と溝状遺構１基を検出しているが、本遺構に伴うか不明である。遺物は床上から須恵器・土師器小片が計２点出土している。

Ⅴ19－２区２号溝（図78）

Ⅴ区の東端、Ⅴ19－２区の南側で検出した。北側掘方を確認しており、東西および南側は調査区外に広がる。南側では３号ピットに重複し、これより新しいと調査者は報告している。ただし、３号ピットは調査区南東隅でのみ検出し、調査外に広がっており、本ピットが溝の最下部に相当する可能性も考慮しておきたい。西側延長部であるⅤ12区では本遺構の続きが確認できていないが、さらに西側のⅤ21－１区では５号溝が本遺構と方位が等しく、同一遺構の可能性がある。ただし、Ⅴ21－１区は施工深度が浅く、遺構の掘削を実施していないため判然としない。現状で幅2.1m、長さ2.5cmを測り、北で69°東に傾く。検出面からの深さは25cmである。埋土中から須恵器坏が１点出土している（図78－260）。

260は須恵器坏の破片である。底部は平底だが、中央部分がやや持ち上がる。器壁は口縁部に向かってやや内湾しながら立ち上がり、口縁部端はわずかに外反する。

Ⅴ20区２号溝（図79）

Ⅴ区の北端、Ⅴ20区の北側で検出した。先述したⅣ25区１号溝をはじめとする南西－北東方向の大溝の一部と考えられる。その場合、大溝は本遺構の検出位置から西側に向けてフラスコ状に広がることになる。Ⅳ８区71号溝が北側掘方に相当するならば、西側では幅2.8m、東側では4.1mに広がる。

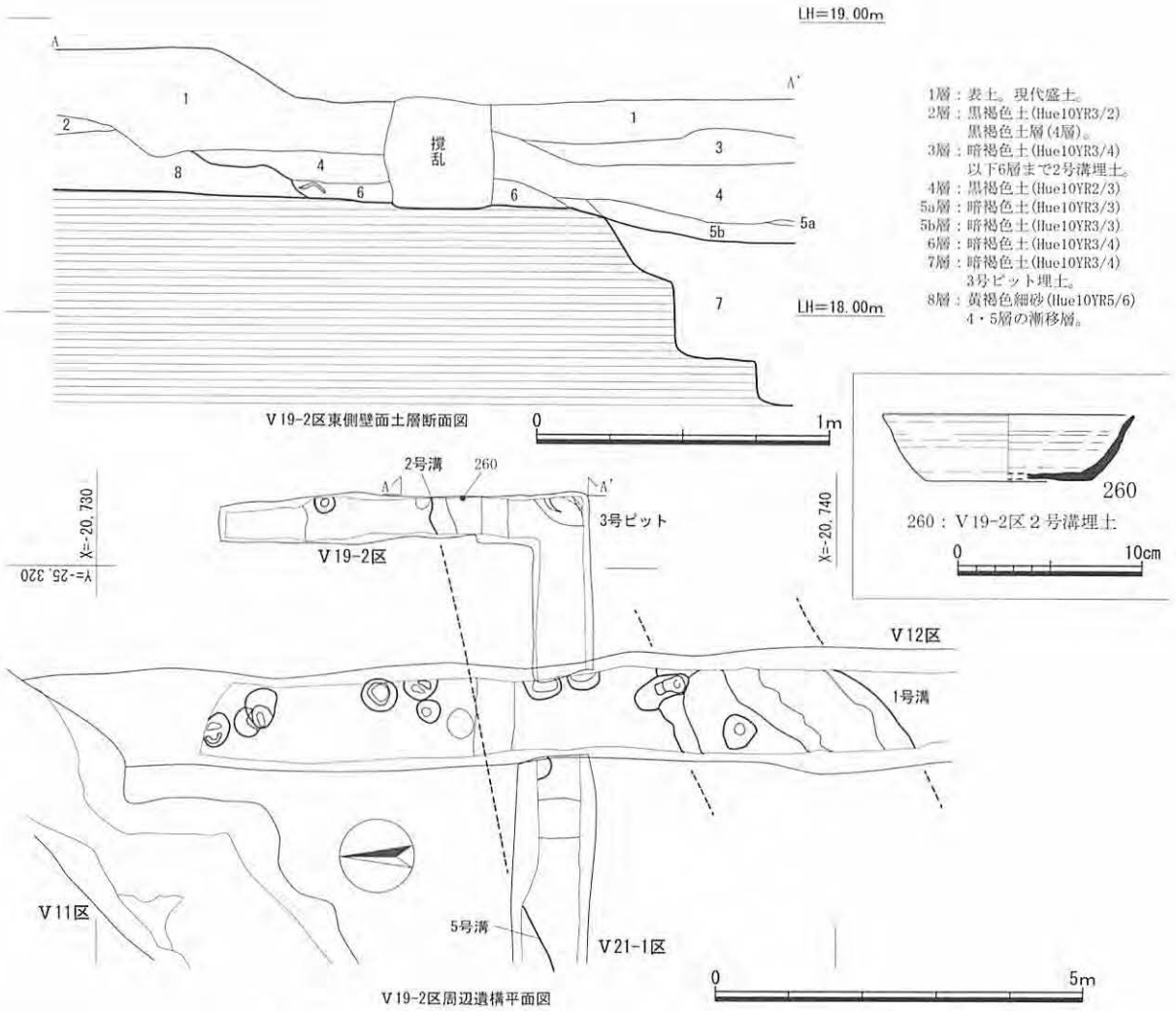


図 78　V19-2 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/100・S=1/25・S=1/4）

検出面からの溝底面までの深さは15cm程で、浅いレンズ状を呈する。南側掘方はテラスを整形しており、この点はⅣ25区１号溝の北側掘方と同じ特徴を持つ。また、埋土中位で小路状の硬化面を検出しており、溝の埋没過程での使用が推測される。遺物は少量の土師器片が出土している。

V20区３号溝（図79）

V20区の中央やや北よりで検出した。北側でV20区２号溝、中央やや南で23号ピットと重複しており、いずれより古い。南北1.25m、東西0.8mを測り、北で16°東に傾く。西側および東側は調査区外に広がる。南側壁面は大半が撹乱によって失われる。断面形態は浅い隅丸台形状、検出面からの深さは15cmである。

V20区４号溝（図79）

V20区の南側で検出した。西側及び東側は調査区外に広がり、北側壁面の一部は撹乱によって削平を受けている。現状で南北1.2m、東西0.9mを測り、北で62°東に傾く。検出面からの深さは35cmである。

V20区10号竪穴建物（図79）

V20区の南端で検出した。北西隅の一部を確認しており、西側および南側は調査区外に広がる。現

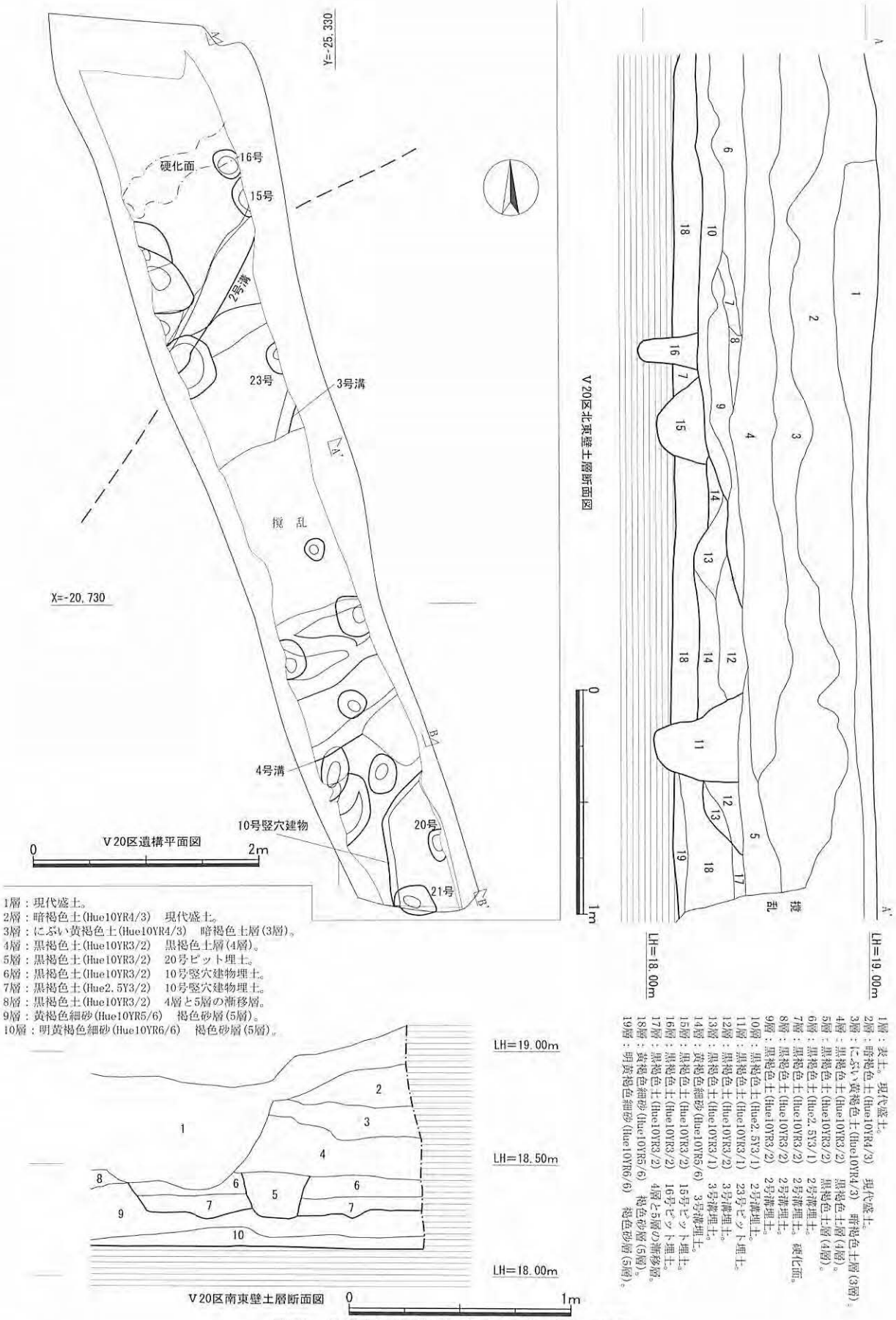


図 79　V20 区遺構実測図（S=1/50・S=1/25）

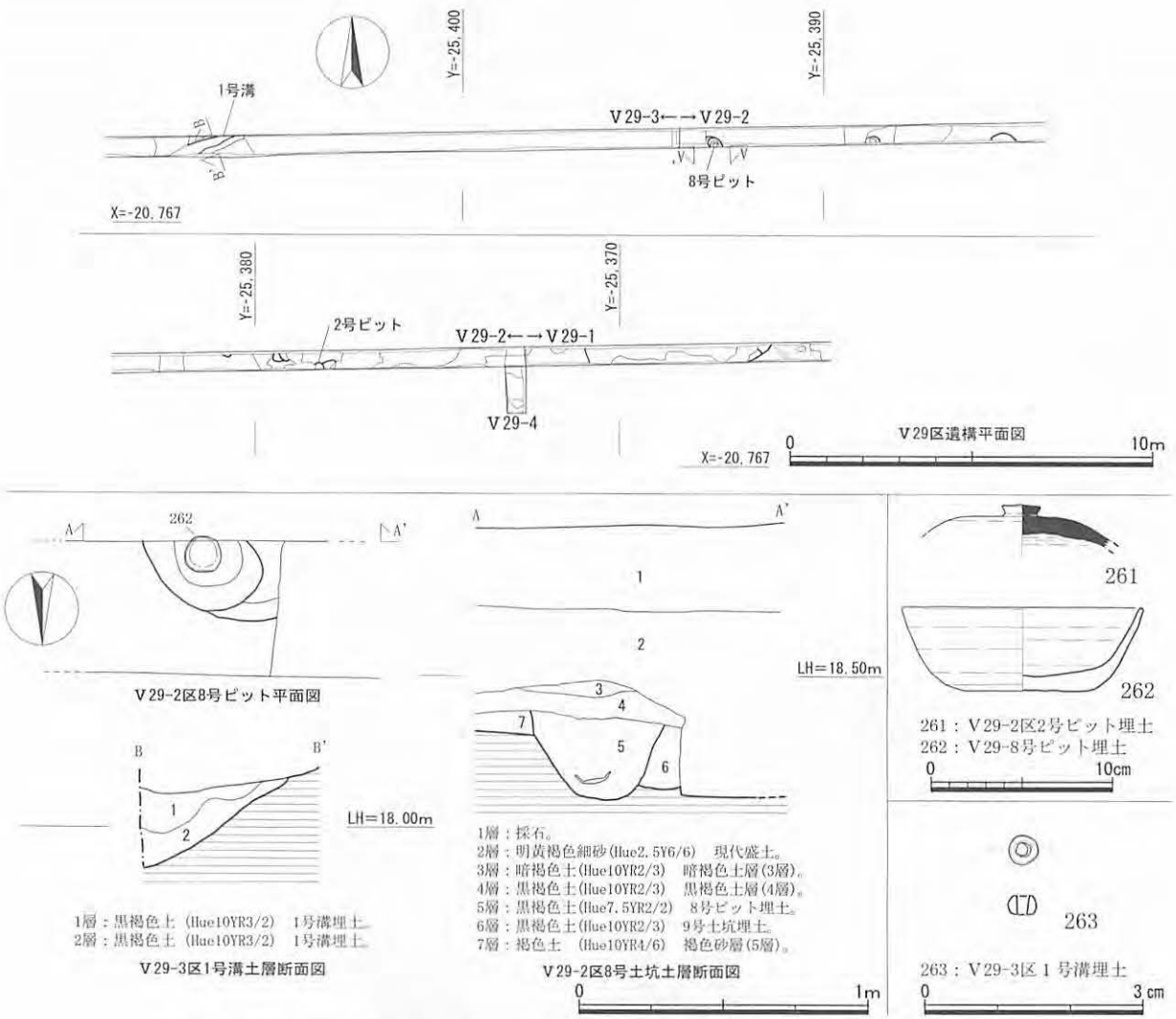


図 80　V29 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/200・S=1/25・S=1/4・S=1/1）

状で南北1.25m、東西0.6mを測る。床面は若干硬化するものの面的にも土層断面でも確認できなかった。仮に床面だとすると検出面からの深さは10cm程である。掘方底面よりピット２基を検出したが、伴うものではない。遺物は少量の土師器が出土している。

V29－２区８号ピット（図80）

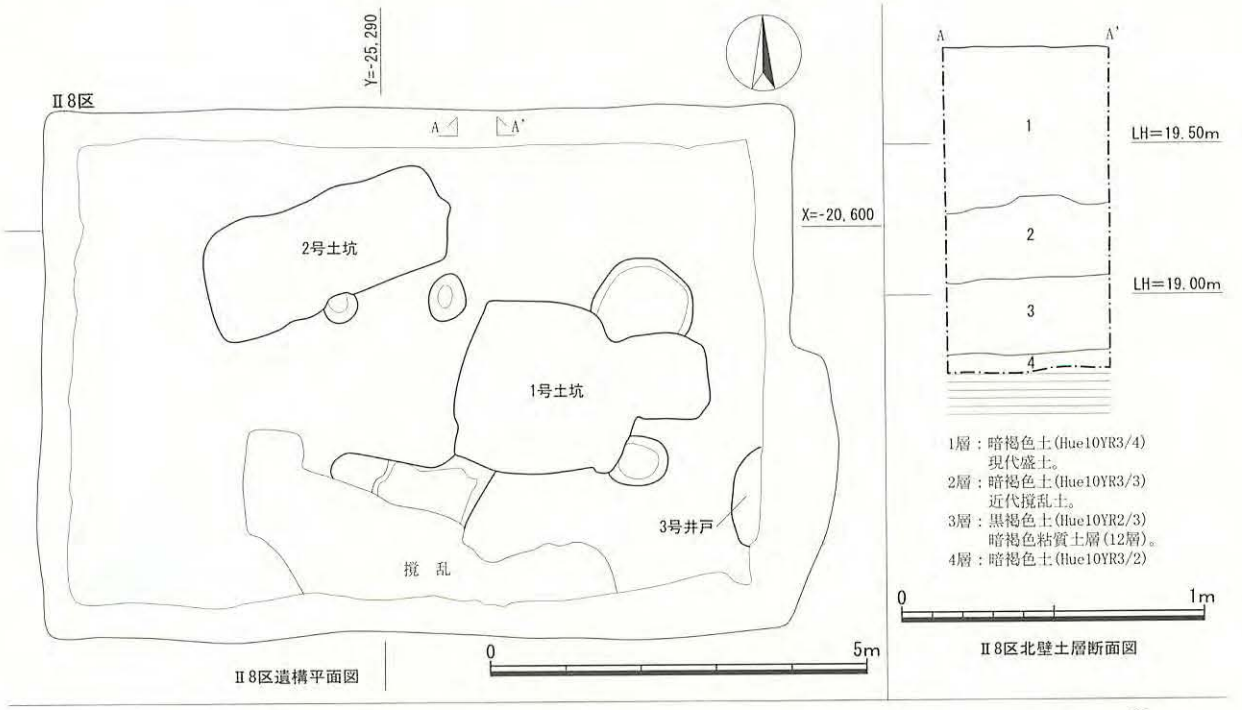
Ｖ区南西側、Ｖ29－２区の西端で検出した。Ｖ29－２区９号ピットと重複し、より新しい。直径40cm、検出面からの深さ20cmを測る。埋土中位より土師器坏の完形品が出土している（図80－262）。

262は土師器坏の一部欠損品である。平底で、底部外面は回転ヘラ削りによって調整される。器壁は口縁部に向けて直線的に立ち上がる。外面には部分的に赤色化粧土が掛かる。

V29－３区１号溝（図80）

Ｖ区南西端、Ｖ29－３区の西端で検出した。東側は撹乱によって破壊を受けており、南西側は調査区外に延びる。現状で幅50cm、長さ2.1mを測り、北で73°東に傾く。断面はなだらかなＶ字状で、検出面からの深さは30cmである。埋土中からガラス玉を１点取り上げている（図80－263）。

263は淡青色のガラス玉である。直径0.4cm、高さ0.35cmで中央に直径１㎜ほどの孔があく。



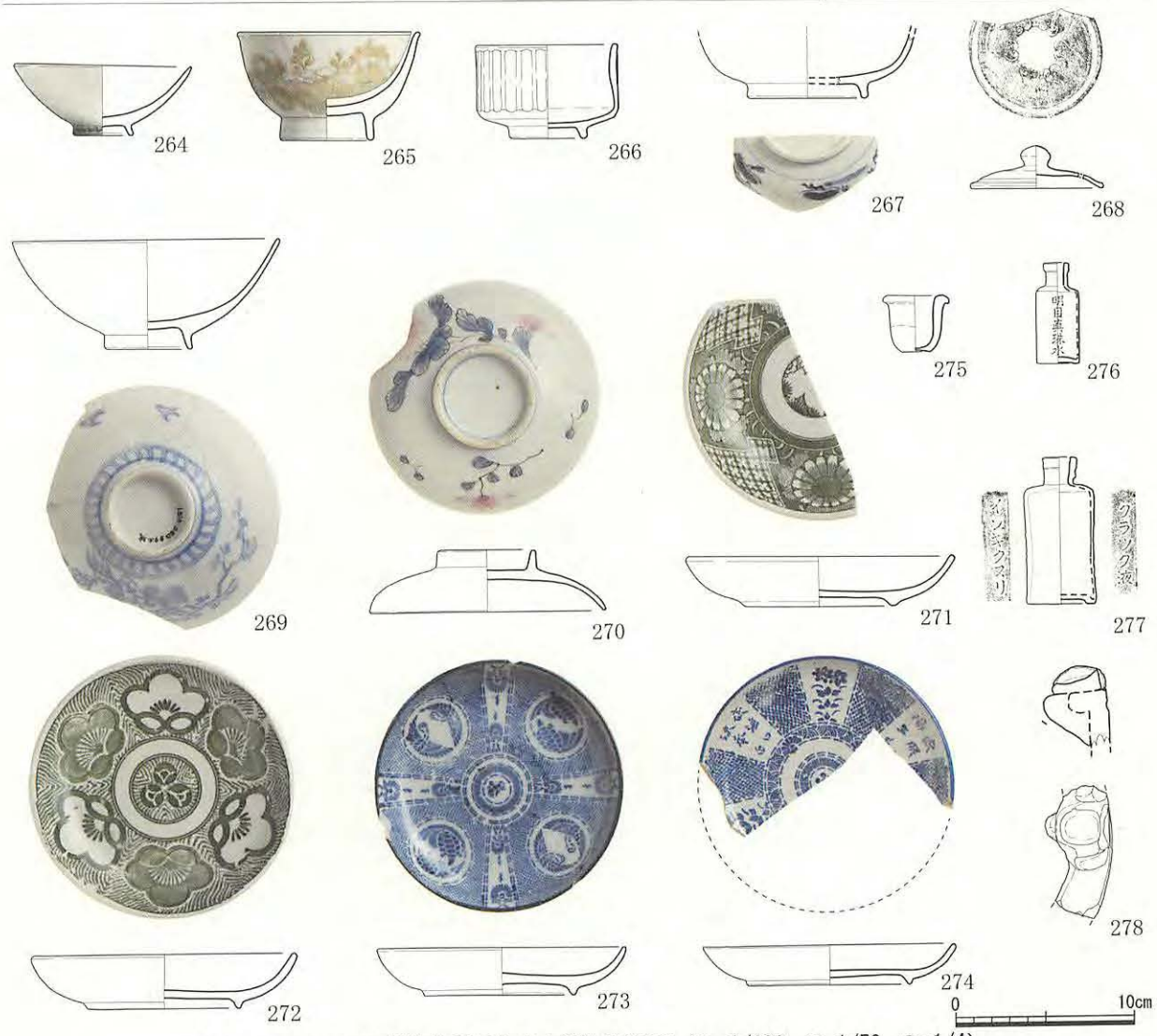


図 81　Ⅱ8 区近代遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/100・S=1/50・S=1/4）

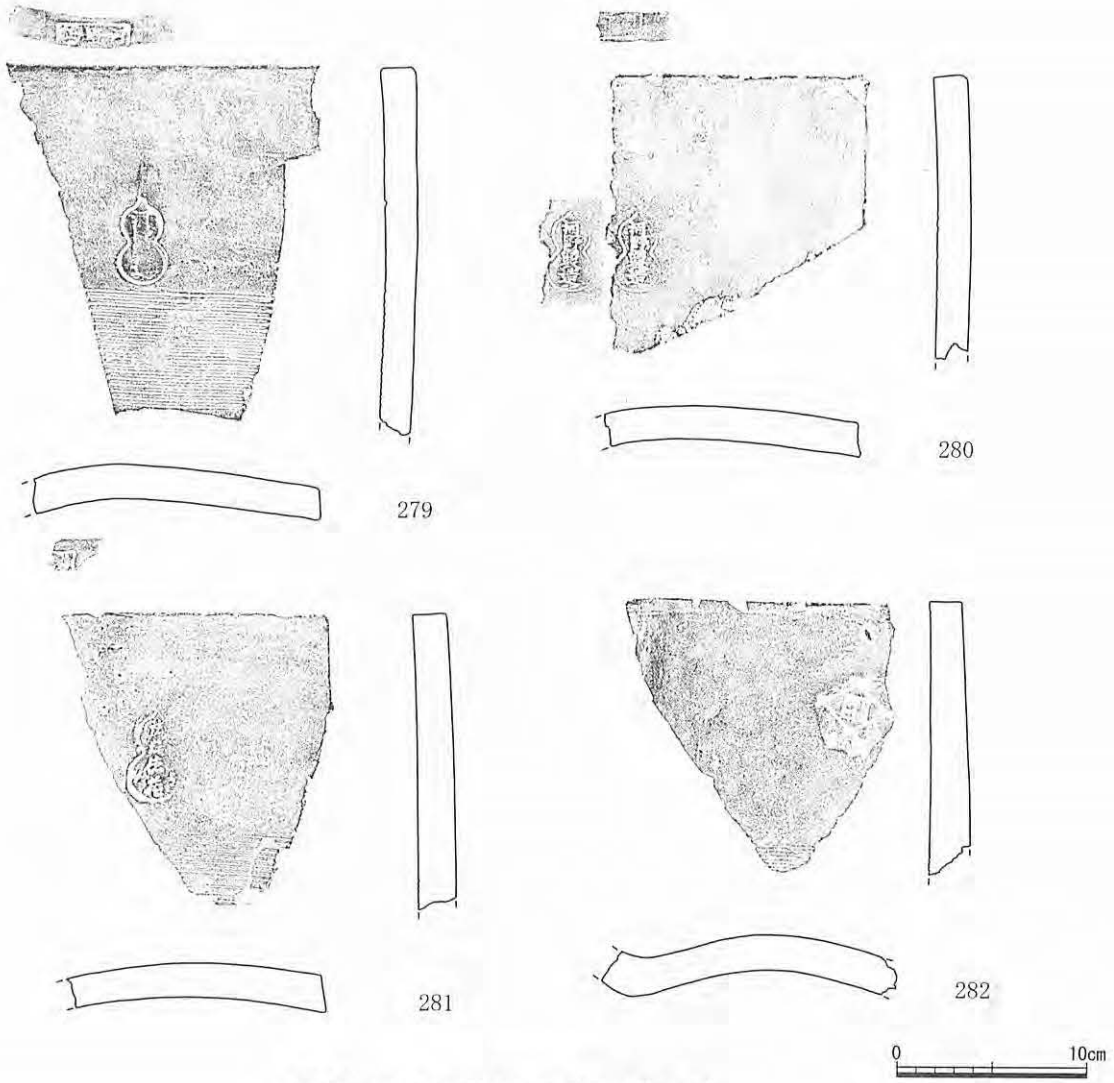


図 82　Ⅱ8 区出土遺物実測図（S=1/4）

（2）近世・近代

Ⅰ～Ⅴ区の調査区のうち、近世・近代の遺構、遺物について説明する。近世・近代の遺構として、溝、栗石基礎、土坑などが確認できた。遺構の名称は、調査区＋調査区ごとの遺構番号＋遺構の性格（例えばⅠ区１号土坑、Ⅱ区３号溝など）を付ける。調査時、近代の遺構のほとんどは撹乱として掘削したため、平面や断面の情報を記録していないものも多い。また、近代の遺物で本書に掲載している資料は、当初現地で撹乱遺物として廃棄したが、後に陶磁器やガラス等の一括資料として重要と判断し、改めて取り上げたものを含んでいる点、明記しておきたい。ここでは近世・近代の主要な遺構が確認できたⅡ区、Ⅲ区、Ⅴ区で検出した遺構とこれに伴う遺物について記述する。近代遺構の位置は総括の図96も参照されたい。また、紙面の都合上、遺物の所見についての文章は割愛するため、詳しくは表４を参照されたい。

①　Ⅱ区

Ⅱ区の北西端、Ⅱ８－１区では近代に比定できる土坑２基、井戸１基が検出されている（図81）。１号土坑は人力で撹乱土坑として掘削し、２号土坑は重機で掘削した。３号井戸は調査区東壁面付近

で検出し、掘方の掘削に留まっている。このほか、Ⅱ８－２区南壁付近からは便壺が１基確認されているが詳細は記録していない。本調査区の現代盛土からは、陶磁器やガラス製品、瓦などが出土している（図81－275～278、図82－281・282）。

Ⅱ８区１号土坑（図81）

Ⅱ８区の中央やや東に位置する。東西3.3m、南北2.2mで、平面形態が凸状の大型土坑である。検出面より底面までの深さが30cmで、土坑埋土中からは陶磁器が多く出土している（図81－264～266・268～274）。磁器の多くは銅板印刷あるいは型紙技法によるもので、明治期以降の廃棄土坑と考えられる。

Ⅱ８区２号土坑（図81・82）

Ⅱ８区の北西に位置する。東西3.3m、南北1.4mで、平面形態が長方形を呈する大型土坑である。検出面より底面までの深さが70cm程である。土坑中には土がほとんど堆積しておらず、大量の近代瓦が密に敷き詰められており、その量は小型家屋１軒を葺けるほどであった。このうち刻印の施された桟瓦を２点のみ取り上げた（図82－279・280）。

Ⅱ８区３号井戸（図81）

Ⅱ８区東壁面に位置する。角柱状の石材を平に積んで井戸壁面を構築している。調査では井戸西側の掘方のみを掘削した。掘方埋土からは筆書きによる濃青の染付磁器碗破片が出土している（図81－267）。

Ⅱ10－2区１号栗石基礎（写真92・93）

Ⅱ10－２区とⅡ12区（１号栗石基礎）にかけて検出した。南北5.12m、東西3.1mの範囲に広がり、方位は南北にのる。掘方は検出面からの深さ10～15cm、断面は逆台形の溝状で、この内側に拳大の円礫を敷き詰めている。壁面では栗石基礎の上に煉瓦が積まれている状況が確認でき、近代の所産であることが分かる。遺物は出土していない。

Ⅱ11区１号溝（図28）

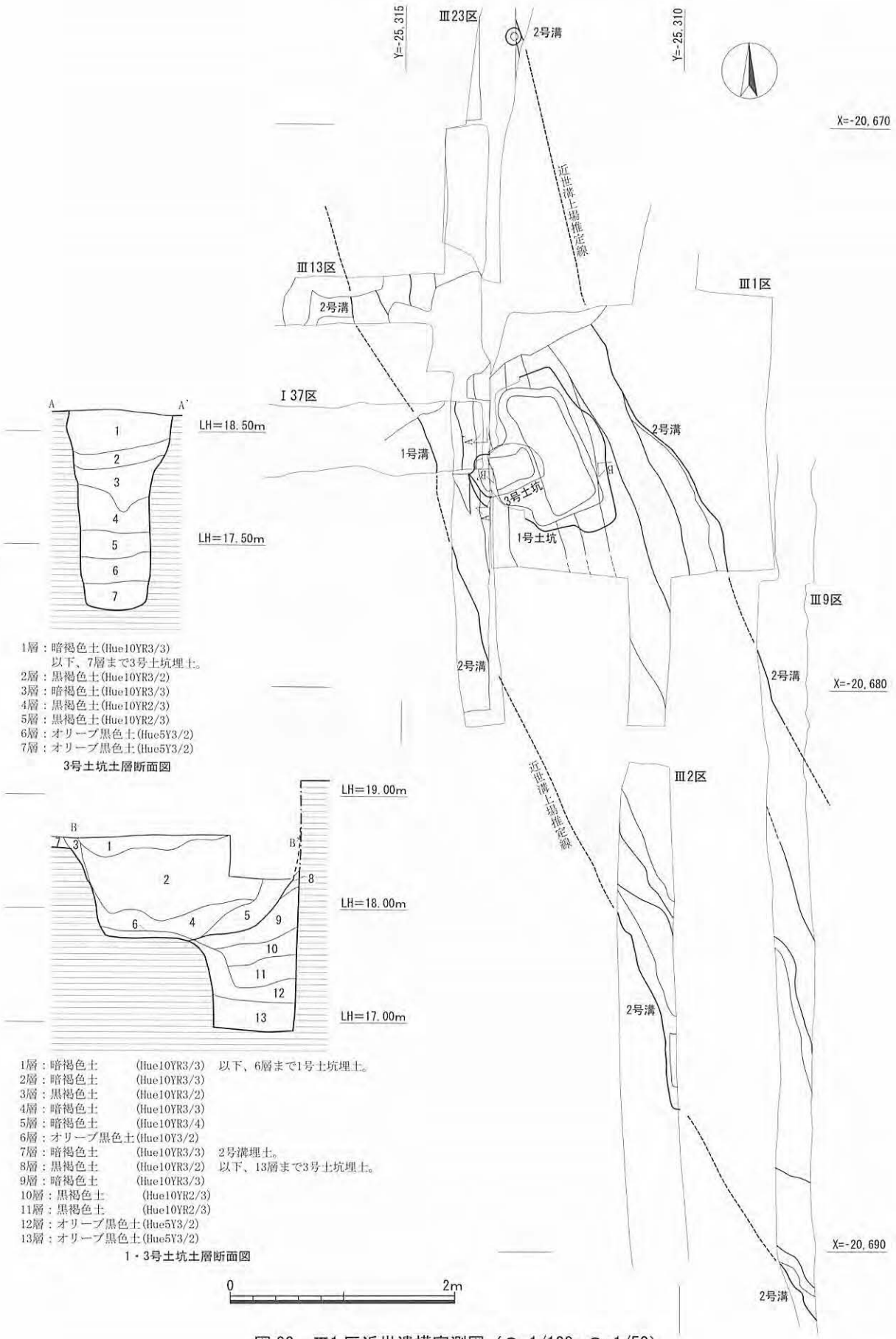
Ⅱ11区の南側で検出した。現状で幅２m、長さ1.2m を測り、方位は北で107°西に傾く。検出面からの深さは88cmで、断面形態はU字状で堀方上位に浅いテラスを一段持つ。建物として須恵器片・土師器片のほか、瓦や陶器、染付磁器等、近世の資料を含む。

②　Ⅲ区

Ⅲ区の北端、Ⅲ１区では近世の土坑２基、近世の溝1基、近代の土坑１基、近代の栗石基礎１基を検出した。

Ⅲ１区２号溝（図83）

２号溝はⅢ１区西半、Ⅰ37区東端（Ⅰ37区１号溝）、Ⅲ２区北端（Ⅲ２区２号溝）、Ⅲ９区北側（Ⅲ９区２号溝）、Ⅲ13区（Ⅲ13区２号溝）、Ⅲ23区南側（Ⅲ23区２号溝）で検出されている。Ⅲ１区１号・３号土坑と重複し、いずれよりも古い。現状で幅2.3m、長さ10.0mを測り、方位は北で24°西に傾く。検出面からの深さは1.0mで、断面形態は台形状、Ⅲ１区では東側法面にわずかに段を持つことを確認したが、意図的な構造か判然としない（図35）。遺物は埋土中からは肥前系を含む磁器、陶器破片や寛永通宝、青銅製品、砥石などが出土している（図84）。古代の遺構であるⅢ１区22号溝と重複しており、廃棄された溝の窪みを再利用して設けた溝の可能性がある。遺物の内容から18世紀後半以降に埋没したものと推定できる。



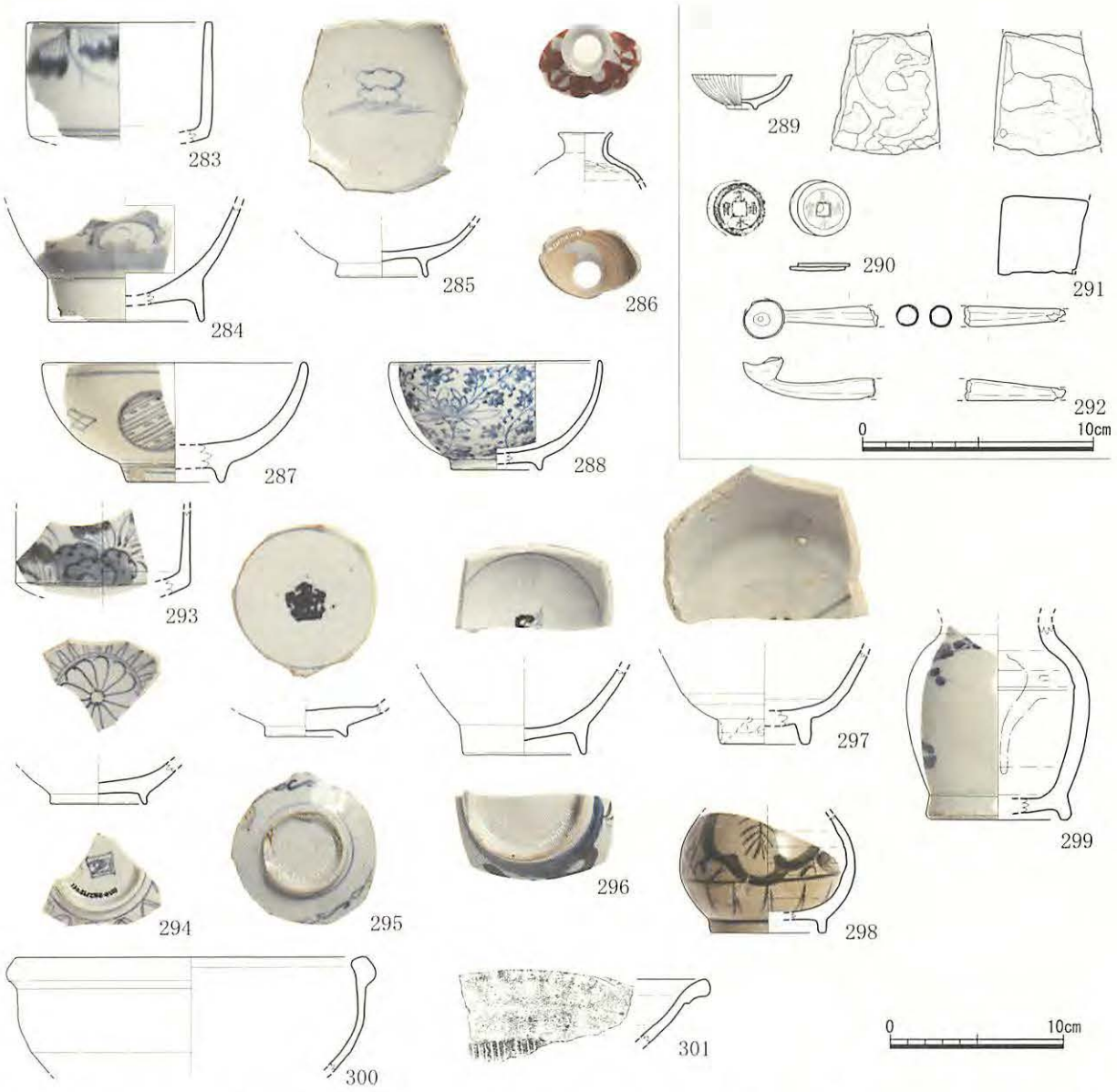
1層：暗褐色土(Hue10YR3/3)
以下、7層まで3号土坑埋土。
2層：黒褐色土(Hue10YR3/2)
3層：暗褐色土(Hue10YR3/3)
4層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
5層：黒褐色土(Hue10YR2/3)
6層：オリーブ黒色土(Hue5Y3/2)
7層：オリーブ黒色土(Hue5Y3/2)

3号土坑土層断面図

1層：暗褐色土　(Hue10YR3/3)　以下、6層まで1号土坑埋土。
2層：暗褐色土　(Hue10YR3/3)
3層：黒褐色土　(Hue10YR3/2)
4層：暗褐色土　(Hue10YR3/3)
5層：暗褐色土　(Hue10YR3/4)
6層：オリーブ黒色土(Hue10Y3/2)
7層：暗褐色土　(Hue10YR3/3)　2号溝埋土。
8層：黒褐色土　(Hue10YR3/2)　以下、13層まで3号土坑埋土。
9層：暗褐色土　(Hue10YR3/3)
10層：黒褐色土　(Hue10YR2/3)
11層：黒褐色土　(Hue10YR2/3)
12層：オリーブ黒色土(Hue5Y3/2)
13層：オリーブ黒色土(Hue5Y3/2)

1・3号土坑土層断面図

図 83　Ⅲ1 区近世遺構実測図（S=1/100・S=1/50）



283～286・289・291・292：Ⅲ1区1号土坑埋土　287・288・290・293～295～301：Ⅲ1区2号溝（Ⅲ2区2号溝・Ⅲ13区2号溝・Ⅲ9区2号溝）埋土

図84　Ⅲ1区1号土坑および2号溝出土遺物実測図（S=1/3・S=1/4）

Ⅲ1区1号土坑（図83）

Ⅲ1区の西側で検出された。Ⅲ1区2号溝とⅢ1区3号溝と重複しており、両者より新しい。平面形態は隅丸長方形を呈し、東西1.1m、南北1.5mを測り、北で23°西に傾く。断面形態は台形状、検出面から掘方底面までの深さは93cmである。埋土からは陶磁器の破片が数多く出土したほか（図84－283～286・289・292）、砥石や破片面子などの遺物が出土している（図84－291、図版74－393～395）。このほか、埋土中位では獣骨と思わしき骨が出土したが、残存状態が極めて悪く、取り上げることはしなかった。遺構の年代は遺物の内容から18世紀後半以降に比定できる。

Ⅲ1区3号土坑（図83）

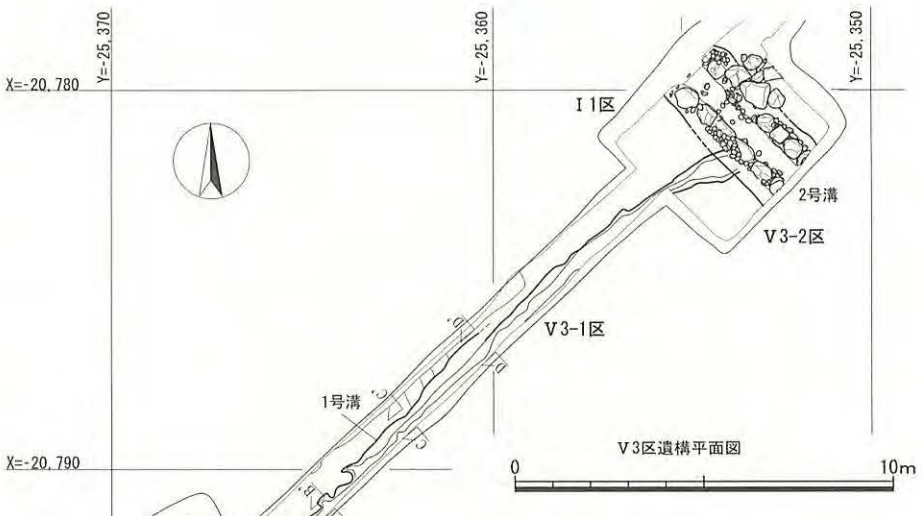
Ⅲ1区西壁付近とI37区、Ⅲ13区（Ⅲ13区1号土坑）で検出されている。Ⅲ1区1号土坑とⅢ1区

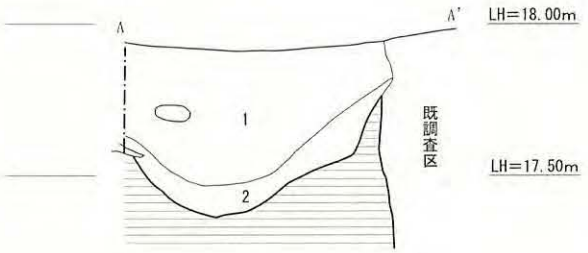
図 85　Ⅲ3・9 区近代土坑出土遺物実測図 1（S=1/4）

図 86　Ⅲ3・9 区近代土坑出土遺物実測図 2（S=1/4）

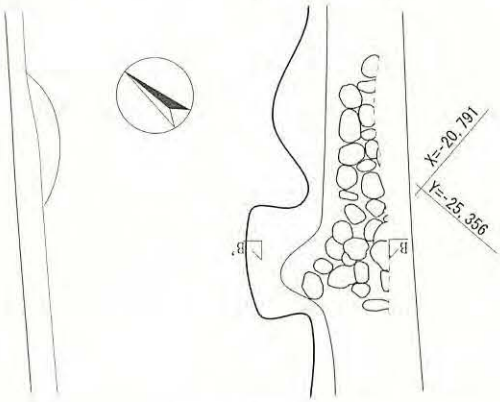
図 87　Ⅲ3・9 区近代土坑出土遺物実測図 3（S=1/4）

図 88　Ⅲ3 区近代土坑出土遺物実測図 4（S=1/3・S=1/4）





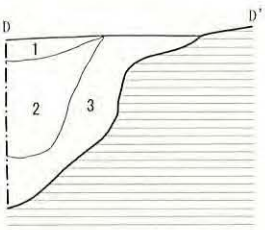
1層：黒褐色土（Hue7.5YR3/2） 1号溝埋土。
2層：灰褐色土（Hue7.5YR4/2） 1号溝埋土。



V3区1号溝検石列遺構平面図・土層断面図

0 1m

1層：にぶい褐色土（Hue7.5YR5/3） 1号埋土。
2層：明赤褐色土（Hue5YR5/6） 1号埋土。
3層：黒褐色土（Hue5YR3/1） 1号埋土。
4層：灰褐色土（Hue7.5YR4/2） 1号埋土。



1層：にぶい褐色土（Hue7.5YR5/3） 1号埋土。
2層：灰黄褐色土（Hue10YR4/2） 1号埋土。
3層：黒褐色土（Hue5YR3/1） 1号埋土。

V3区1号溝土層断面図

0 1m

373

0 10cm

図 89　V3 区遺構実測図と出土遺物実測図（S=1/200・S=1/25・S=1/4）

２号溝と重複しており、前者より古く、後者より新しい。東西63cm、南北42cmを測り、方位は北で65°東に傾く。断面形態は長方形で、上位でやや広がりを持つ。検出面から掘方床面までの深さは1.8mで、床面は平坦である。遺物は陶磁器小片や瓦片が出土している。遺物の内容と遺構の新旧関係から近世の土坑と判断した。

Ⅲ３区25号土坑（写真161・182）

Ⅲ３区東端、およびⅢ９区南端（Ⅲ９区１号土坑）に位置する土坑である。土坑の西側の一部のみを確認しており、現状で南北4.5m、幅70cm程である。Ⅲ３区における重機による一次掘削の際、調査区北東隅で地表下20cmから大量の磁器片を検出した。当初、現代の撹乱遺物として一括して取り上げ、現地廃土に放棄した。後日、磁器小碗の一つに「工友寮」の文字が書かれていることを発見し（図85－318）、大学史にとって重要性の高い資料と判断したため、本遺構埋土を掘削の上、遺物を取り上げた。遺物の総点数は100点を超えており、その内容は磁器を主体とした碗、皿、杯などの食膳器を中心とし、坩堝や五徳、片口など工学系の実験器具、碁石などの娯楽道具、インク瓶を含むガラス製品など多岐にわたる（図85～88）。磁器碗、磁器皿の多くが銅板印刷によるもので規格が統一的であること、ガラス製品の多くが明治以降から大正初期の資料であること、また「工友寮」の磁器小碗が含まれることから、工友寮が開設した明治44年（1911年）以降に寮で使用されていた食器や生活道具を廃棄した土坑と思われる。本土坑から南西に13mの位置では後述する「工友寮」の炊事場の栗石基礎を検出しており、両者の関連性がうかがえる。

Ⅲ５区１号栗石基礎（写真166・171）

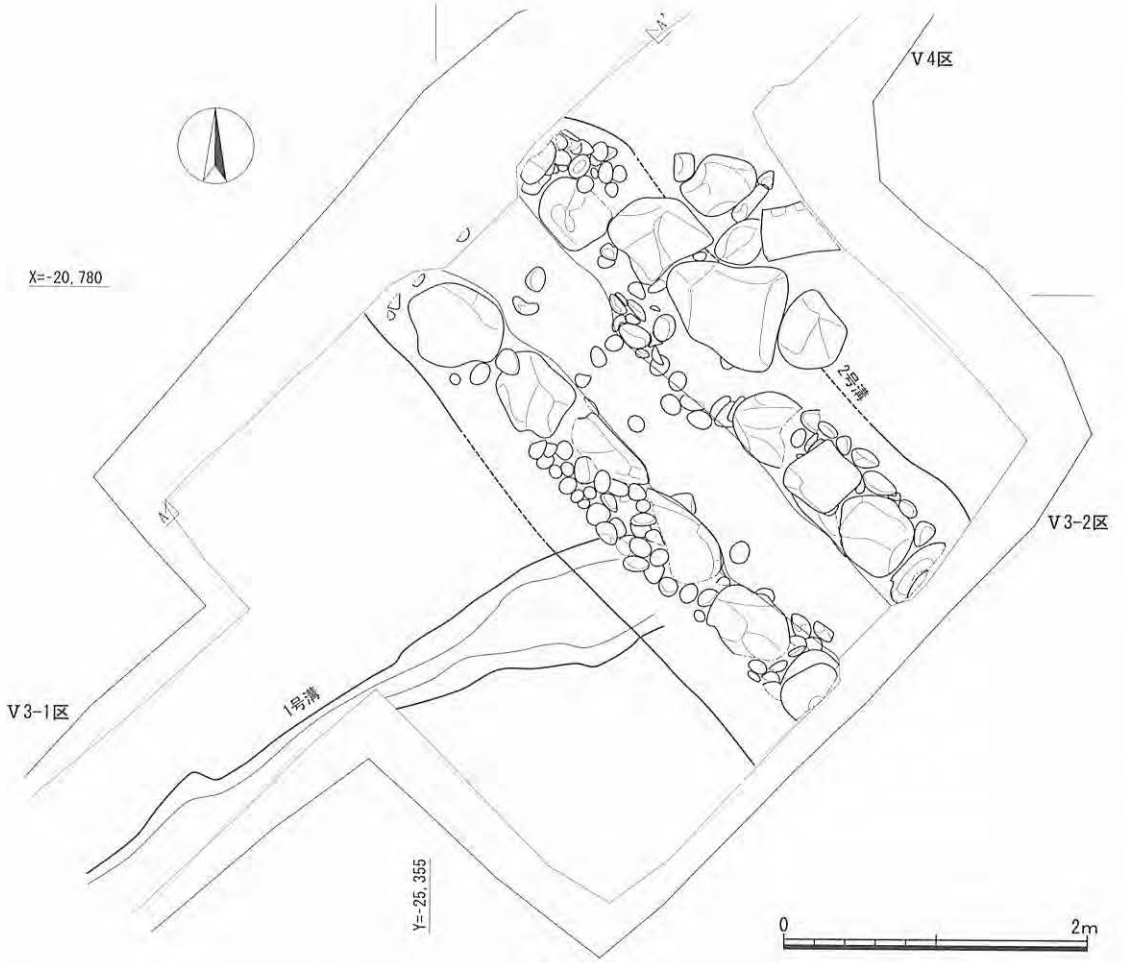
Ⅲ区の南側、Ⅲ５区およびⅢ４区、Ⅲ６区（Ⅲ６区１号栗石基礎）にかけて検出した。断面形態が台形状、幅85cm、深さ20cm程の溝掘方内を、10～20cm程の安山岩円礫と川砂で充填するように敷いていた。本来は南西側に続くと思われるが、調査区外からは検出されなかった。規模は現状で幅6.15m、長さ6.1mを測り、北で53°東に傾く。掘方などから遺物の出土はなかった。熊本高等工業学校の校舎地図を確認したところ学生寮である「工友寮」の炊夫室の基礎であることが判明した。先述したⅢ３区25号土坑は本遺構の13m北東方向に位置しており、両者の関係性を示唆している。

③　Ⅴ区

本調査地点の南端にあたるⅤ区のうち、白川近くに位置するⅤ１～８区では、地表下0.2～0.3m（標高18.9m）ほどで昭和28年の白川洪水層である２層（灰白色砂層）が確認でき、その下位の地表下１.2m（標高17.8～18.0m）まで近代盛土が堆積している状況にあった。古代の遺物包含層である４層（黒褐色土層）の堆積が確認できないまま、５層（褐色砂層）が検出されることが多く、他の調査区とは大きく土層の堆積状況が異なる。現代盛土の中からは瓦やガラスの大量廃棄土坑も確認されているがビニールが入り込むなど限りなく現代に近いことから調査は実施しなかった。この一帯は白川右岸の河岸段丘の端にあたり、自然地形がⅤ１～８区より北西側と比べて１mほど下がっていたことが分かる。本調査区で検出した遺構の多くは、遺物の内容からみても近世あるいは近代以降に帰属するものとみられる。Ⅴ区では近世または近代の溝９基を検出している。以下に詳細を述べる。

Ⅴ３－１区１号溝（図89）

Ⅴ３－１区、Ⅴ１区、Ⅴ３－２区にかけて検出された。Ⅴ１区の東端で検出した際は撹乱の一部として掘削している。東端でⅤ３－２区２号溝と重複し、より古いかほぼ同時期と考えられる。現状で長さは17.5m、幅は30～80cmで安定せず、北で49°東に傾いている。断面形態は浅いＵ字状で、掘方底面の標高は西側で浅く、東側で深くなる。南西側の一部には扁平な円礫を平らに敷き詰めた箇所が確認されている。溝埋土中からは銅板技法を用いた磁器小碗が出土しており（図89－373）、遺構の年



V3-2区2号溝平面図

1 層：黒褐色土（Hue7.5YR2/2or3/2）　現代盛土。
2 層：暗灰色土（HueN3/0）　灰白色砂層(2層)。昭和28年白川洪水層。
3 層：橙色土（Hue7.5YR7/6）　現代盛土。b・cは土管掘方埋土。dは瓦排棄土坑埋土。
4 層：にぶい褐色土（Hue7.5YR5/4）　現代盛土。
5 層：褐色土（Hue7.5YR4/3）　近・現代盛土。陶磁器含む。
6 層：明褐色土（Hue7.5YR5/6）
7 層：にぶい褐色土（Hue7.5YR5/3）　2号溝埋土。a～cは色調の違い。
8 層：黒褐色土（Hue7.5YR2/2）　2号溝埋土。
9 層：にぶい赤褐色土（Hue5YR4/3）　2号溝埋土。
10層：灰褐色土（Hue7.5YR4/2）　2号溝掘方埋土。
11層：明褐色土（Hue7.5YR5/6）　褐色砂層(5層)。
12層：にぶい褐色土（Hue7.5YR5/3）　褐色砂層(5層)。
13層：にぶい褐色土（Hue7.5YR5/4）　灰色硬質砂層(6層)。
14層：灰オリーブ色土（Hue7.5Y4/2）　灰色硬質砂層(6層)。

V3-2区2号溝土層断面

374

0　10cm

図 90　V3-2 区 2 号遺溝実測図と出土遺物実測図（S=1/50・S=1/4）

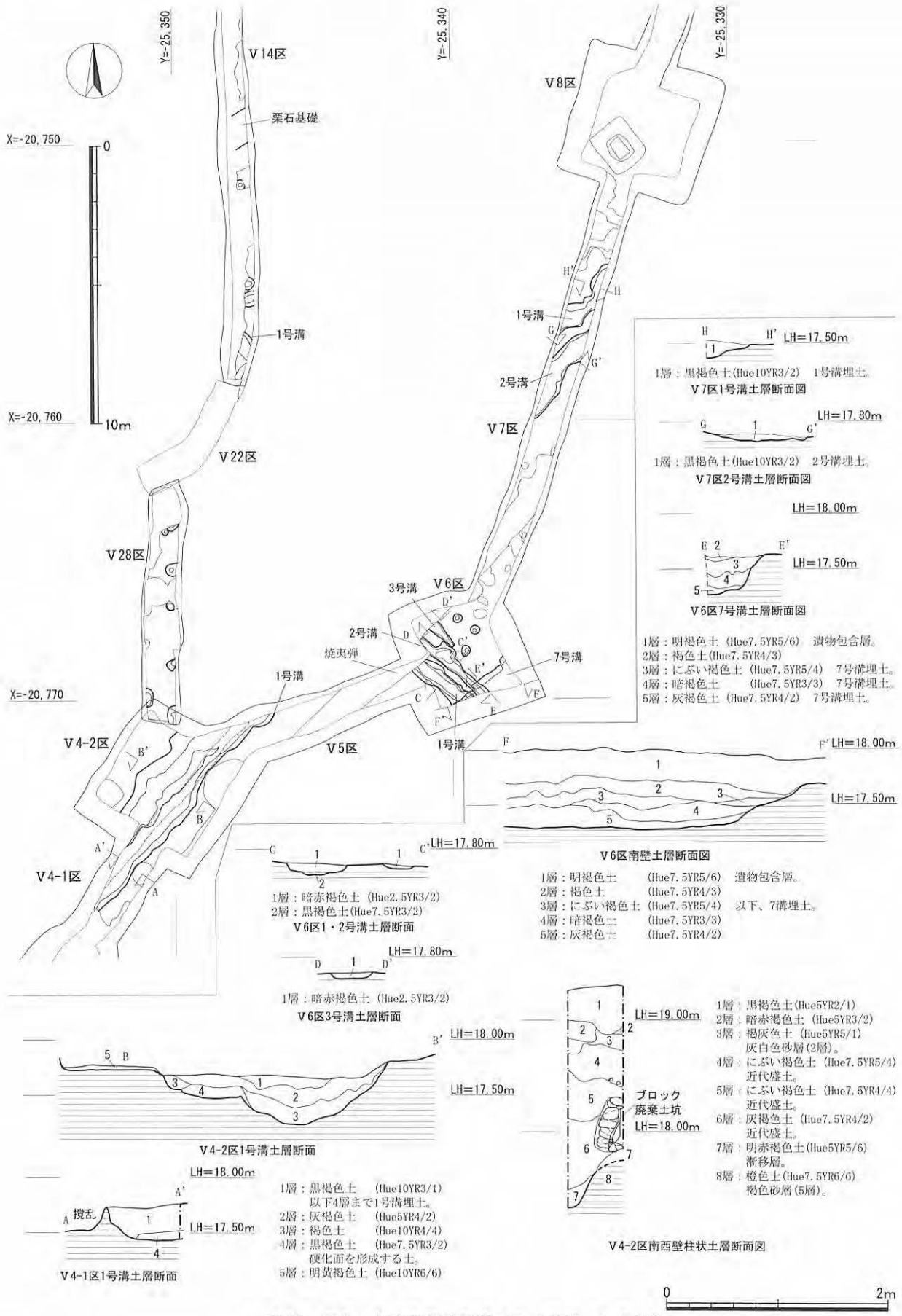


図 91　V4 ～ 8 区遺構実測図（S=1/200・S=1/50）

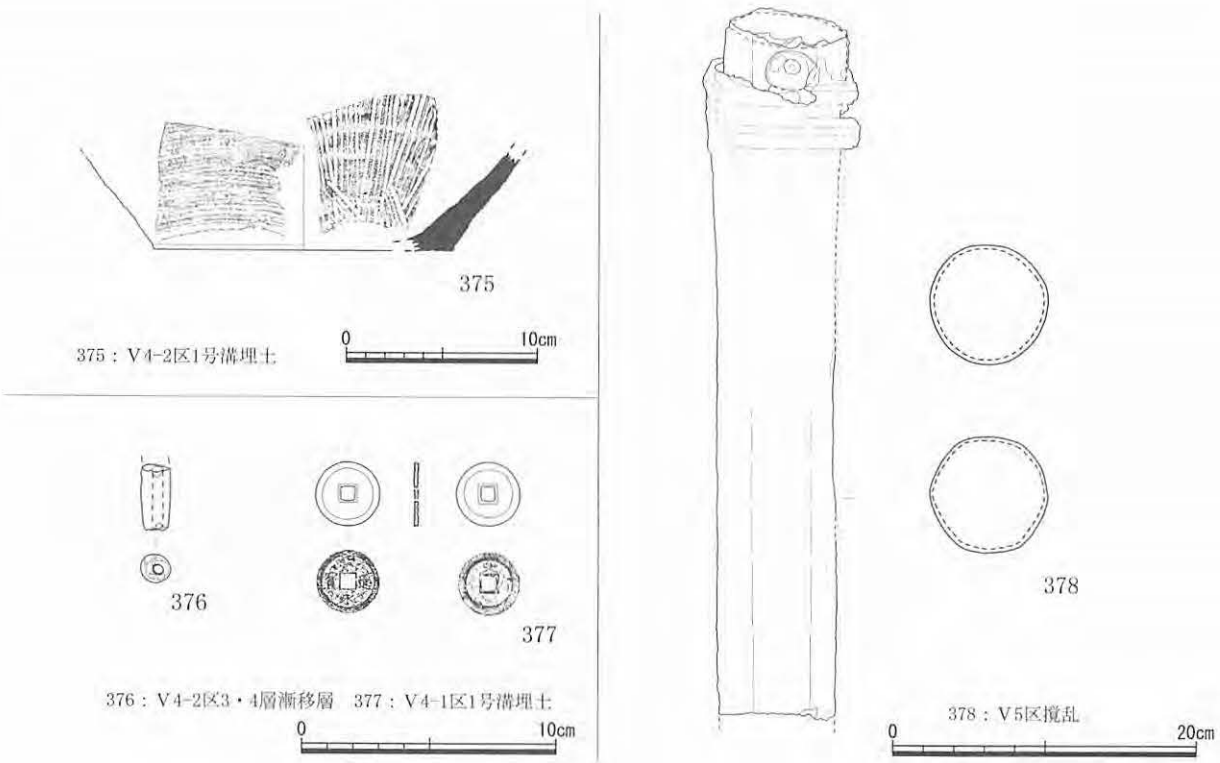


図92　V4・5区出土遺物実測図（S=1/3・S=1/4・S=1/5）

代は近代に帰属するとみられる。

V3－2区2号溝（図89・90）

V3－2区で検出された石組の溝である。V3－1区1号溝東端と重複し、より新しい。北西と南東調査区外にさらに広がるとみられる。現状で長さ3.9m、溝掘方幅2.2mを測り、北で42°西に傾く。溝掘方の内側に40～80cm大の割石を用いて壁面を構築している。割石は安山岩で1あるいは2段分が確認でき、北側壁面の一部は石が原位置より大きく動いていた。石材の一部には矢穴や碁盤目状の刻印を確認している。積石と溝掘方との間には拳大の円礫が裏込め石として充填されていた。溝内法の幅は55cmで、検出面から床面までの深さは83cmである。埋土中からは土師器片やガラス片、陶磁器片が出土するほか、埋土としてサントリーウィスキーのガラス瓶が出土しているが、北側壁面破壊の際に混入した可能性がある（図90－374）。出土遺物やV3－1区の遺構の配置、新旧関係から近代の溝であると判断した。

V4－2区1号溝（図90）

V4－2区、V4－1区、V5区にかけて検出した。南は撹乱で失われ、北は調査区外に延びる。現状で幅1.4～2.3m、長さ8.8mを測る。北で43°東に傾いており、V3－2区1号溝と並行する。断面形状は段差を持つレンズ状で、東西で深さが異なる。検出面からの深さは東側22cm、西側が43cmである。東側では小路のような硬化面を形成しており、埋没過程での使用が考えられる。埋土中からは須恵器・土師器片のほか、陶磁器が数点、寛永通宝などが出土しており（図92－375・377）、近世以降の溝と想定される。また、本遺構の北西側にはヒューム管の納められた溝が検出されており、その溝の中からは焼夷弾が検出されている。法量や断面形態から第二次世界大戦で使用されたM69焼夷弾と考えられる（図92－378）。

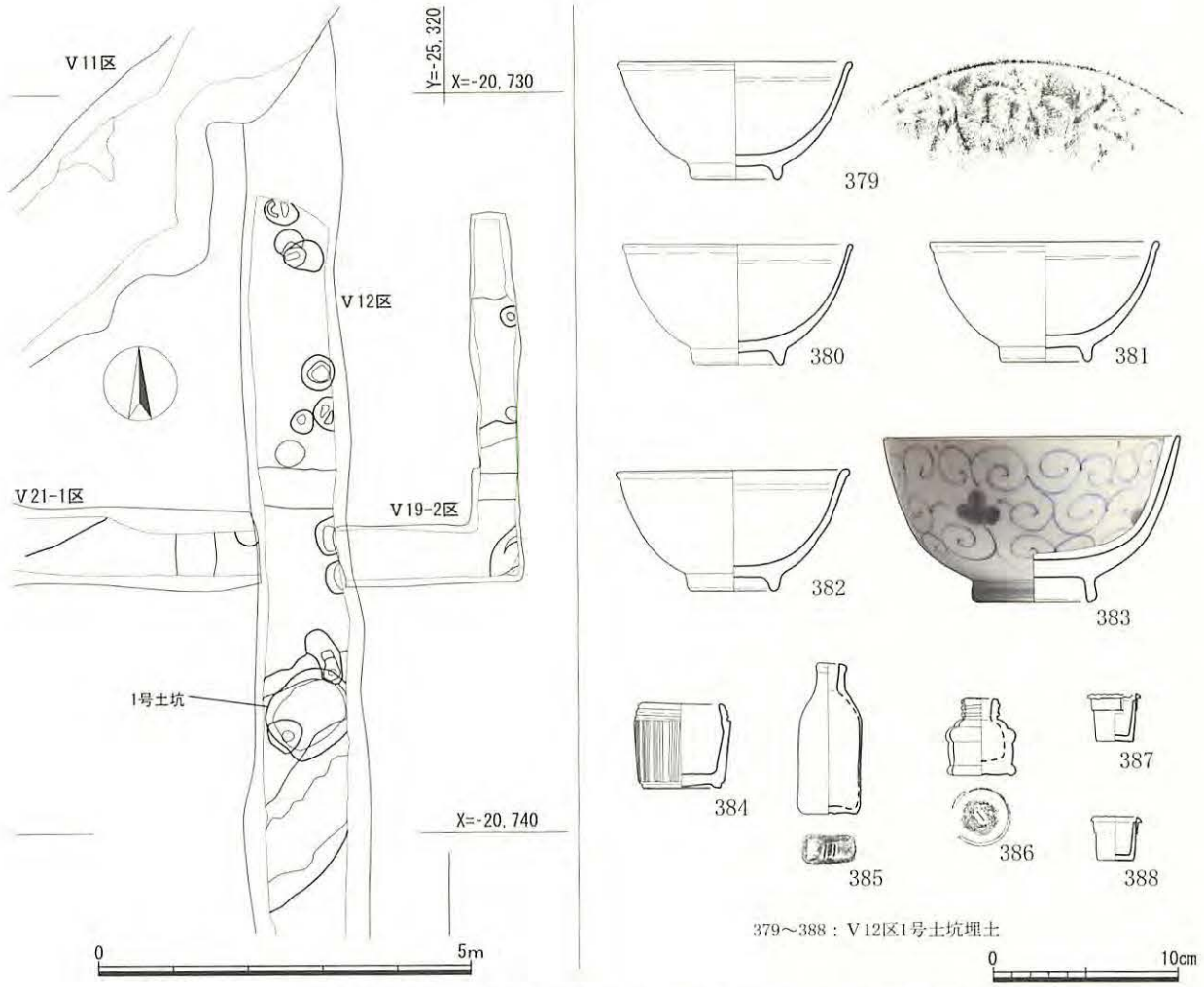


図93　V12区1号土坑実測図と出土遺物実測図（S=1/100・S=1/4）

V6区1～3・7号溝（図90）

V6区では北西－南東に軸を持つV6区1号～3号溝と、北東－南西に軸を持つV6区7号溝を検出した。このうち1・2号溝は南西端で7号溝と重複し、後者がより古い。1～3号溝は埋土中からの遺物がほぼないため、年代は不明である。7号埋土からは土師器の小破片のみが数点出土しており、他に新しい時期の遺物が混在しないため古代の溝である可能性も想定しておきたい。

V7区1・2号溝（図90）

V7区の中央やや北よりで検出した。両溝とも東西が調査区外に広がるとみられる。現状で長さ40～65cm、幅20～25cmを測り、北で41°東に傾く。ごく浅いレンズ状の断面を持つ。2号溝埋土中からは土師器片や白磁器小片が出土しており、近世・近代の遺構と考えられる。

V12区1号土坑（図90）

V区北西側、V12区の中央付近に位置する。直径1.2m、検出面からの深さ15cm程の不整楕円形土坑である。埋土中からはアサリやハマグリなどの貝類、魚骨が大量に出土した。また、埋土上位からは磁器碗が（図93－383）、南側底面からは7つの青磁碗と円礫が出土した（図93－379～382）。青磁碗はいずれも型起こしによる同形で、底外面には「有8」の生産者識別番号が付されている。その検

出位置から、工友寮に関連するものと推測できる。

Ｖ14区１号栗石基礎（写真370）

Ｖ14区の中央と、中央やや南側で検出した栗石基礎である。南北７ｍの間隔で２つの溝が並行しており、両者とも長さ0.7m、幅1.1mを測り、北で東に53°傾く。溝掘方内には10～20cm程の円礫が充填されている。東側延長部分にはＶ10区で取り上げた基礎が並行しており、その位置と規模から熊本高等工業学校の学生寮である「工友寮」の西側寄宿舎の基礎であったと推定できる。

引用・参考文献

大坪志子編　2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告書』Ｘ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第10集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

小畑弘己編　2003『熊本大学構内遺跡発掘調査報告書』Ⅰ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第１集　熊本大学埋蔵文化財調査室

小畑弘己編　2009『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅴ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第５集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

山野ケン陽次郎編　2016『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21　熊本大学埋蔵文化財調査センター

山野ケン陽次郎・柴田亮編　2018『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』ⅩⅢ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第13集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

山野ケン陽次郎編　2019『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』14　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第14集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

表４　1310調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
6	1	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y6/2	Ⅰ1区1号竪穴建物 埋土№5	
	2	須恵器	蓋	口径 11.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 4/0 外：Hue 6/0	Ⅰ1区1号竪穴建物 掘方埋土一括	
	3	土師器	坏	口径 底径 10.0 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅰ1区1号竪穴建物 埋土一括	底部ヘラ切り後ナデ
	4	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR6/1 外：Hue 10YR6/1	Ⅰ1区1号竪穴建物 掘方埋土一括	
	5	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR5/6 外：Hue 7.5YR5/3	Ⅰ1区1号竪穴建物 掘方埋土一括	内面に赤色化粧土
	6	土師器	甕	口径 18.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：ナデ，削り，ハケ目 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR2/2 外：Hue 10YR6/4	Ⅰ1区1号竪穴建物 埋土№1	内面に黒変
	7	土師器	甕	口径 18.6 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/3	Ⅰ1区1号竪穴建物 埋土一括	
	8	土師器	鍋	口径 27.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅰ1区1号竈埋土№4・5 Ⅰ1区4層一括	内面一部に黒変 外面一部にスス付着
	9	土師器	鍋	口径 15.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 10YR5/4	Ⅰ1区1号竪穴建物 埋土№6	粘土の粒子多く荒い
	10	石製品	砥石	長さ 4.9 幅　6.3 厚さ 2.3	破片	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅰ1区5号ピット埋 土一括	重量80g　木目石 表裏面に線状の使用痕 縁辺部は欠損
7	11	土師器	坏	口径 底径 6.4 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，回転ヘラ削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR7/3	Ⅰ2区1号竪穴建物 埋土一括	内外面に赤色顔料
	12	土師器	皿？	口径 14.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR5/4	Ⅰ2区1号竪穴建物 埋土西半一括	外面に赤彩
	13	須恵器	碗	口径 底径 9.0 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 2.5Y6/1	Ⅰ2区2号竪穴建物 埋土一括	
	14	土師器	甕	口径 24.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/4	Ⅰ2区2号竪穴建物 埋土一括	器面やや摩耗 外面一部にスス付着
	15	土師器	坏	口径 15.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅰ2区4号柱穴埋土 一括	
	16	土師器	甕	口径 18.1 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅰ2区4号柱穴埋土 一括	口縁部一部にスス付着
	17	土師器	甕	口径 22.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	Ⅰ2区4号柱穴埋土 一括	内外面一部に黒斑
8	18	土師器	坏	口径 11.4 底径 器高	1/4	内：磨き 外：削り，磨き	内：Hue 2.5Y4/1 外：Hue 10YR5/4	Ⅰ3区2号土坑壁面	内面に黒彩 内面にヘラ磨き，外面に手持ちヘラ削り
9	19	須恵器	甕	口径 22.3 底径 器高	口縁～肩部片	内：回転ナデ，ナデ，タタキ 外：回転ナデ，タタキ	内：Hue 2.5Y4/1 外：Hue 2.5Y4/2 5Y4/3	Ⅰ4区1号土坑埋土 №3	内面に同心円当て具痕 外面に自然釉 外面に平行タタキ痕（縦位）
	20	土師器	甕	口径 27.8 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ，削り，指オサエ 外：ヨコナデ	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 10YR6/4	Ⅰ4区3号ピット埋 土一括	
10	21	須恵器	壺？	口径 底径 14.0 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y5/4 外：Hue 7.5Y4/2	Ⅰ5区5号溝埋土一 括	荒尾産か？ 底部内外面に自然釉
	22	瓦質土器	火鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5Y4/1 外：Hue 5Y4/1	Ⅰ5区5号溝埋土一 括	口縁外面に花文8弁のスタンプ
	23	須恵器	碗	口径 底径 7.7 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y7/1 外：Hue 5Y7/1	Ⅰ5区7号ピット埋 土P1	貼付高台 底部は回転ヘラ切り離し後ナデ
	24	須恵器	坏	口径 底径 7.0 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 10YR5/3	Ⅰ5区8号ピット埋 土一括	荒尾産か？ 底部は回転ヘラ切り離し
	25	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 10YR4/2 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅰ5区8号ピット埋 土一括	口縁外面にスス付着
11	26	土師器	鍋	口径 31.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 2.5Y3/1	Ⅰ12区22号粘土集 中部埋土一括	内面部分的に黒変 外面全体にスス付着
	27	土師器	甕	口径 23.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/3	Ⅰ12区22号粘土集 中部埋土上一括	
12	28	須恵器	蓋	口径 15.2 底径 器高	1/2	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y6/2	Ⅰ20区4層一括	外面一部に回転ヘラ削り

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	29	須恵器	硯	口径 底径 6.8 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 7.5Y6/1	Ⅰ20区4層一括	外面に自然釉 底部に回転ヘラ切り離し
	30	土師器	鉢	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5Y6/4 外：Hue 7.5Y7/4	Ⅰ20区4層一括	内外面にスス付着
	31	土師器	鍋	口径 24.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR8/3 外：Hue 10YR7/4	Ⅰ20区4層一括	
	32	土師器	甕	口径 25.4 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅰ20区1号竪穴建物埋土一括	外面に黒斑
15	33	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：ナデ？，削り？	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 2.5Y8/3	Ⅰ37区2号竪穴建物埋土東側一括	全面赤彩 底部に手持ちのヘラ削り 底部外面は剥落で残りが悪い
	34	黒色土器	碗	口径 13.3 底径 7.1 器高 3.6	1/5	内：磨き 外：回転ナデ	内：Hue N3/0 外：Hue 10YR6/4	Ⅰ37区4層一括	内面を黒色処理 底部に回転ヘラ切り離し
	35	須恵器	壺	口径 9.1 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y4/1 外：Hue N4/0	Ⅰ37区4層一括	複合口縁壺
	36	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目後ヨコナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 10YR7/4	Ⅰ37区2号竪穴建物掘方埋土一括	
16	37	土師器	坏	口径 10.0 底径 器高 2.9	1/3	内：磨き，工具跡 外：磨き	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 10YR6/6	Ⅰ38区1号竪穴建物埋土 Đ1	外面に黒斑あり 赤彩の可能性あり
	38	土師器	坏	口径 14.8 底径 10.6 器高 3.4	1/2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR5/6 外：Hue 7.5YR6/6 10YR6/4	Ⅰ38区4層一括	内面～体部外面に赤彩
	39	土師器	壺？	口径 12.8 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ，削り，指オサエ 外：ナデ，ヨコナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅰ38区4号柱穴埋土一括	断面にスス付着（2次的に被熱か？）
18	40	土師器	甕	口径 16.4 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR6/4	Ⅰ18区10号ピット埋土一括	割れた後に火を受けている スス付着
	41	須恵器	坏	口径 10.6 底径 7.2 器高 3.6	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 7.5YR4/1	Ⅰ18区4層一括	器体表面が赤褐色
	42	土師器	盤 （高台付）	口径 22.4 底径 13.5 器高	1/5	内：磨き 外：回転ナデ	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅰ22区3号ピット埋土一括	内面に黒斑，全面に赤彩 高台張付け 内面に回転ヘラ磨き
	43	土師器	坏	口径 12.7 底径 7.0 器高 3.2	1/4	内：回転ナデ，ナデ，指オサエ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅰ22区1号ピット埋土一括	全面に赤彩 底面は回転ヘラ切り離し後ナデ
	44	土師器	坏	口径 底径 9.3 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅰ23区西側4層一括	器面磨滅 粘土の粒子粗く石粒を多く含むあか器面凹凸あり
	45	土師器	坏	口径 10.6 底径 8.4 器高 3.5	口縁～底部片	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅰ23区西側4層一括	内外面にスス付着 底部に回転ヘラ切り
	46	土師器	坏	口径 14.6 底径 10.4 器高 4.4	口縁～底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅰ23区南西側4層一括	底部に回転ヘラ切り
	47	土師器	碗	口径 底径 10.0 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅰ23区中央部4層一括	外面に赤彩 外面に回転ヘラ削り
	48	土師器	高坏	口径 脚基部径 6.5 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅰ23区南部4層一括	
	49	須恵器	壺？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/2 外：Hue 5Y5/2	Ⅰ29区6号ピット埋土一括	荒尾産？
	50	須恵器	坏	口径 底径 7.4 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5Y7/2 外：Hue 2.5Y7/2	Ⅰ40区12号ピット埋土一括	
20	51	土師器	鍋	口径 39.8 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ1区1号竪穴建物床上一括	内外面一部にスス付着
	52	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR6/4	Ⅱ1区4層一括	
	53	土師器	甕	口径 26.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR5/3	Ⅱ1区北4層一括	外面にスス付着
21	54	須恵器	蓋	口径 13.7 底径 器高 1.75	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ3区1号溝埋土一括	外面に回転ヘラ削り
	55	須恵器	碗？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ3区1号溝埋土一括	

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	56	土師器	把手（甕）	口径 底径 器高	把手部片	内：削り 外：指ナデ，指オサエ	内：Hue 7.5YR5/6 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅱ3区1号溝埋土一括	イネ圧痕あり
22	57	須恵器	蓋	口径 14.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 7.5Y6/1	Ⅱ4-1区3号溝埋土一括	外面・口縁に回転ヘラ削り
	58	須恵器	碗	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 5Y7/1	Ⅱ4-1区3号溝埋土一括	
	59	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ4-1区4層一括	口縁に回転ヘラ削り
	60	須恵器	碗？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ4-1区4層一括	内外面に回転ヘラ削り後回転ナデ
	61	須恵器	皿？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y8/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ4-1区4層一括	脚部外面に回転ヘラ削り
	62	須恵器	甕？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y6/1	Ⅱ4-1区4層上面一括	外面に回転ヘラ削り
	63	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：磨き	内：Hue 10YR8/4 外：Hue 2.5YR5/6	Ⅱ4-1区撹乱一括	外面に赤彩
23	64	須恵器	蓋	口径 11.4 底径 器高 3.7	2/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D3～5，埋土一括	外面に指痕 外面に回転ヘラ削り 土師器のような色調
	65	土師器	甕	口径 10.8 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 10YR5/4	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D13	外面にスス付着
	66	土師器	坏	口径 15.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4-2区4層 D51， Ⅱ4-2区25号竈周辺	
	67	土師器	坏	口径 8.2 底径 器高 3.2	1/3	内：磨き 外：不明	内：Hue 5YR4/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D6・7	内面に赤彩 外面は風化により器面剥落し調整不明
	68	土師器	坏	口径 15.2 底径 器高 6.5	1/3	内：磨き 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR4/6 外：Hue 5YR4/6	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D8 Ⅱ34区1号ピット埋土一括	内外面に赤彩 胴部外面に凹線
	69	土師器	甕	口径 23.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 10YR6/4	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D9	
	70	土師器	甕	口径 16.4 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D19 Ⅱ4-2区25号竈・竈周辺	外面にスス付着
	71	土師器	甕	口径 19.8 底径 器高	口縁～胴部片	内：削り，指オサエ 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 2.5Y4/2	Ⅱ18区1号竪穴建物埋土 D1	
	72	土師器	把手（甕）	口径 底径 器高	把手部片	内：ハケ目，指オサエ 外：指ナデ，ハケ目，指オサエ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D15	
	73	土師器	甕	口径 30.2 底径 器高	1/5	内：ナデ，削り 外：ナデ，ヨコナデ，ハケ目，指オサエ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4-2区25号竪穴建物埋土 D10・18・20 Ⅱ4-2区25号竪穴建物竈 D2	把手付 外面一部にスス付着
24	74	須恵器	坏	口径 11.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅱ4-3区34号竈埋土一括	
	75	須恵器	坏	口径 8.7 底径 5.0 器高 4.4	完形	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue N5/0 外：Hue N6/0	Ⅱ4-3区34号竈埋土 D1	外面に自然釉 口縁から胴部にかけて一部歪む 脚部外面に回転ヘラ削り 底部外面に回転ヘラ切り
	76	土師器	甕	口径 18.0 底径 器高	1/3	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5Y6/6 外：Hue 5Y6/6	Ⅱ4-3区34号竈埋土 D5～8・12	
	77	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR4/2 外：Hue 7.5YR4/3	Ⅱ4-3区34号竈埋土	内面胎土は大粒でやや粗い 外面部分的にスス付着
	78	土師器	甕	口径 13.4 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ4-3区34号竈埋土 D3	外面一部にスス付着
26	79	須恵器	碗	口径 14.0 底径 9.0 器高 5.3	2/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅱ4-4区4号竪穴建物埋土北西部，掘方埋土No1・2 Ⅱ4-4区19号ピット埋土 Ⅱ4-4区4層一括	外面に自然釉 外面に回転ヘラ削り 底部に回転ヘラ切り
	80	土師器	坏	口径 14.5 底径 9.6 器高 4.9	5/6	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅱ4-4区4号竈埋土No8 Ⅱ4-4区4号竈埋土No14	外面の一部に赤彩 底部に回転ヘラ切り離し

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	81	土師器	坏	口径 底径 6.0 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ4-4区4号竈壁体土北西	底部に回転ヘラ切り
	82	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き，削り後磨き	内：Hue 5YR4/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅱ4-4区4号竪穴建物掘方埋土南西部	内外面に赤彩
	83	須恵器	壺	口径 14.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5Y7/1 外：Hue 2.5Y7/1	Ⅱ4-4区4号竪穴建物掘方埋土北西部 Ⅱ4-4区4層一括	外面に回転ヘラ削り
	84	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ4-4区4号竪穴建物埋土№3	
	85	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁片	内：ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR4/1 外：Hue 10YR4/2	Ⅱ4-4区4号竈埋土	内外面にスス付着
	86	土師器	甕	口径 21.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：ナデ，削り，指跡 外：ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	Ⅱ4-4区4号竈埋土№13	内外面にスス付着
	87	土師器	甕	口径 23.85 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR5/3 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅱ4-4区4号竈埋土№4・5・9・12，掘方埋土北東部	外面にスス付着
27	88	須恵器	高坏	口径 14.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y8/2 外：Hue 2.5Y8/2	Ⅱ4-4区5号竈埋土D9 掘方埋土南西部	外面に回転ヘラ削り 脚部貼付（欠損）
	89	土師器	坏	口径 16.2 底径 器高	2/5	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ4-4区4号竪穴建物掘方埋土南西部 Ⅱ4-4区5号竈埋土D1・4・5 Ⅱ4-4区4層D43	内外面に赤彩
	90	土師器	坏？	口径 14.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ4-4区5号竈埋土D10	外面に回転ヘラ削り
	91	土師器	坏？	口径 11.8 底径 器高	口縁～胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅱ4-4区5号竈埋土D6，埋土一括	
	92	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR5/2 外：Hue 2.5YR4/1	Ⅱ4-4区5号竪穴建物埋土北西一括	
	93	土師器	竈？	口径 24.8 底径 器高	口縁部片？	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR5/3 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅱ4-4区5号竈掘方埋土一括	内面にスス付着
	94	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目，指オサエ	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ4-4区5号竈埋土D3 Ⅱ4-4区5号竪穴建物掘方埋土一括	
29	95	土師器	坏	口径 9.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ11区9号土坑埋土一括	外面風化 内外面に赤彩
	96	土師器	碗	口径 底径 6.5 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	Ⅱ11区16号溝埋土一括	底部に回転切り
	97	土師器	碗	口径 底径 7.8 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ11区4層D1	内外面に赤彩 底部に回転ヘラ切り後ナデ
	98	土師器	甕	口径 26.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅱ11区4層D2	外面一部にスス付着
	99	須恵器	坏	口径 13.2 底径 7.4 器高 3.5	1/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y7/1 外：Hue 7.5Y6/1	Ⅱ11区4層D4	底部に回転ヘラ切り
	100	須恵器	蓋	口径 17.0 底径 器高 2.3	4/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y5/2	Ⅱ11区4層D6	歪みあり 外面に回転ヘラ削り
	101	須恵器	甕	口径 27.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue N4/0 外：Hue N3/0	Ⅱ11区4層D3	
	102	須恵器	蓋？	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5GY5/1 外：Hue N5/0	Ⅱ11区4層一括	内面にヘラ記号
	103	須恵器	複合口縁壺	口径 9.8 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y4/1 外：Hue 10Y3/1	Ⅱ11区4層一括	口縁部に自然釉 口縁に凹線
	104	土師器	小皿（撥明皿）	口径 8.5 底径 6.7 器高 1.95	1/4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，回転糸切り痕	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR3/1	Ⅱ11区4層一括	外面にスス付着 底部に回転糸切り痕
	105	土師器	小皿（撥明皿）	口径 8.0 底径 6.5 器高 2.1	口縁～底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，回転糸切り痕	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ11区4層一括	口唇部にスス付着 底部に回転糸切り痕
30	106	土師器	坏？	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き，削り	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅱ15区3号竪穴建物掘方埋土南部一括	内外面に赤彩 全体摩耗
31	107	須恵器	壺	口径 12.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y3/2 外：Hue 5Y3/2	Ⅱ2区4層一括	

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	108	須恵器	碗	口径 底径 8.2 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y4/4 外：Hue 5Y4/1	Ⅱ2区4層一括	脚部外面に回転ヘラ削り
	109	土師器	坏	口径 底径 9.0 器高	底部片	内：回転ナデ 外：削り	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ2区4層一括	内外面に赤彩 脚部外面から底部外面にかけて回転ヘラ削り
	110	土師器	高坏	口径 20.8 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ2区4層一括	
	111	須恵器	蓋	口径 15.8 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅱ4区4層上面一括	
	112	須恵器	坏	口径 底径 8.2 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅱ4区4層上面一括	底部に回転ヘラ切り
	113	須恵器	甕？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y7/2	Ⅱ4区4層上面一括	内面に自然釉 外面に波状文
	114	土師器	坏？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，（磨き） 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4区4層上面一括	内外面に赤彩
	115	土師器	坏	口径 底径 8.2 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4区4層上面一括	全体的に摩耗している 底部に回転ヘラ切り
	116	土師器	碗？	口径 底径 7.8 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4区4層上面一括	全面的に摩耗している
	117	須恵器	蓋	口径 13.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y7/1 外：Hue 5Y7/1	Ⅱ4-3区17号ピット埋土一括	
	118	須恵器	碗？	口径 12.2 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y5/1 外：Hue 2.5Y5/1	Ⅱ4-3区32号ピット埋土一括	
	119	須恵器	碗	口径 底径 6.3 器高	底部片	内：ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y4/1 外：Hue 2.5Y4/1	Ⅱ4-3区南部4層一括	
	120	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.0	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 10Y4/1	Ⅱ4-3区3層一括	貼付高台 外面に回転ヘラ削り，底部に回転ヘラ切り後ナデ
	121	須恵器	蓋	口径 11.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10Y4/1 外：Hue 7.5Y7/1	Ⅱ4-3区遺構不明D1	外面に自然釉
	122	須恵器	坏	口径 12.0 底径 8.2 器高 3.5	口縁～底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 7.5Y5/1	Ⅱ4-3区南4層一括	外面に回転ヘラ削り
	123	須恵器	碗	口径 底径 8.0 器高	底部片	内：ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/2 外：Hue 5Y5/2	Ⅱ4-3区南4層一括	外面に自然釉 底部に回転ヘラ切り
	124	須恵器	碗	口径 底径 8.9 器高	底部片	内：ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 2.5Y6/1	Ⅱ4-3区4層一括 Ⅱ4-3区撹乱一括	貼付高台 外面に回転ヘラ削り，底部に回転ヘラ切り
	125	須恵器	蓋	口径 11.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y3/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅱ4-3区4層一括	外面に自然釉 外面に回転ヘラ削り
	126	須恵器	甕	口径 底径 器高	口縁～頸部片	内：回転ナデ，当て具痕 外：回転ナデ，タタキ	内：Hue 2.5Y7/2 外：Hue 2.5Y7/1	Ⅱ4-3区南4層一括	内面に自然釉
	127	土師器	坏	口径 14.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 5YR4/6 外：Hue 5YR4/6	Ⅱ4-3区不明遺構埋土一括 Ⅱ4-3区4層一括	内外面に赤彩
	128	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR3/1	Ⅱ4-3区6号ピット埋土一括	
	129	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/3	Ⅱ4-3区南4層一括	
	130	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR5/3 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅱ4-3区南4層一括	口縁内面は器面磨滅
	131	瓦	丸瓦	長さ 幅 厚さ 1.4	破片	内：布目痕 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 5Y3/1 外：Hue 5Y4/1	Ⅱ4-3区3層一括 Ⅱ4-3区撹乱一括	重量160g 桶巻き技法
	132	瓦	丸瓦	長さ 29.6 幅 17.0 厚さ 1.4～1.8 器高 10.2	1/2	内：布目痕 外：ナデ，タタキ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y7/3	Ⅱ4-2区4層一括	外面に赤い粘土付着
32	133	須恵器	蓋	口径 14.2 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 5Y4/1	Ⅱ4-4区4層 D10，4層上面一括，3層一括	自然釉
	134	須恵器	蓋	口径 13.7 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y6/1	Ⅱ4-4区4層 D12	外面に回転ヘラ削り

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	135	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y4/1	Ⅱ4-4区4層一括	外面に自然釉
	136	須恵器	碗	口径 15.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y7/1	Ⅱ4-4区4層一括	
	137	須恵器	碗	口径 14.1 底径 7.2 器高 4.5	口縁～底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 2.5Y6/1	Ⅱ4-4区4層 D2 Ⅱ4-4区3層一括	外面に回転ヘラ削り 貼付高台
	138	須恵器	坏	口径 13.2 底径 9.3 器高	1/8	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y6/2	Ⅱ4-4区1号ピット埋土 D1	底部は切り離し後ナデ
	139	須恵器	碗	口径 底径 9.0 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/4	Ⅱ4-4区3層一括	底部に回転ヘラ切り後ナデ
	140	土師器	坏？	口径 底径 8.4 器高	胴部～底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4-4区4層 D6	底部に回転ヘラ削り
	141	須恵器	坏	口径 10.4 底径 6.4 器高 3.5	1/6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR5/1 外：Hue 7.5Yr4/1	Ⅱ4-4区4層一括	底部に回転ヘラ切り
	142	須恵器	碗	口径 13.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 5Y6/2	Ⅱ4-4区4層一括	
	143	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/1	Ⅱ4-4区4層一括	
	144	須恵器	甕？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 10Y4/1	Ⅱ4-4区4層一括	外面に自然釉
	145	土師器	坏	口径 底径 10.0 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅱ4-4区4層 D4	底部に回転ヘラ切り
	146	土師器	坏	口径 底径 8.2 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4-4区4層	外面に接合痕の境あり 底部に回転ヘラ切り
	147	土師器	坏	口径 底径 9.2 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4-4区4層 D7	
	148	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内：磨き 外：回転ナデ，磨き	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅱ4-4区4層一括	内面一部に光沢煤付着 内外面に赤彩 内外面に回転ヘラ磨き 高台内にナデ
	149	土師器	坏？	口径 18.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4-4区4層一括	
	150	土師器	高坏	口径 底径 9.8 器高	高台片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅱ4-4区4層一括	底部に凹線？
	151	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR5/4	Ⅱ4-4区撹乱一括	外面に縦位のハケ目
	152	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目，指オサエ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 7.5YR5/6	Ⅱ4-4区4層一括	
	153	土師器	鉢？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅱ4-4区4層 D17	内面にヘラ削り
	154	土師器	甕？	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ4-4区4層 D5，4層一括	内面にスス付着
	155	土師器	把手	口径 底径 器高	把手部片	内：削り 外：指ナデ，ハケ目，指オサエ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅱ4-4区4層一括	
	156	土師器	甕	口径 15.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅱ4-4区4層 D30	
	157	土師器	甕	口径 16.6 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR3/2 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅱ4-4区4層 D48	内面にスス付着
	158	土師器	坏	口径 底径 6.4 器高	底部片	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，削り，磨き	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 5YR7/6	Ⅱ33区1号ピット埋土一括	内外面に回転ナデ後磨き 外面に回転ヘラ削り後磨き 底部に回転ヘラ切り後磨き
	159	土師器	把手	口径 底径 器高	把手部片	内：削り 外：指ナデ，指オサエ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅱ21区5号ピット埋土一括	
	160	鉄製品	鉄鏃	全長 10.6 鏃身長 1.7 頸長 8.9 鏃身幅 0.7 頸幅 0.4		内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅱ4-4区4層 I1	長頸鏃 鏃身部は両面剥離の為断面部は不明 錆で鏃身部と頸部の境界形状が不明瞭 頸部はよじれている

図	番号	遺物	種類（器種）	法量（cm）	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
	161	鉄製品	鋲？	全長 11.1 幅 1.0 厚さ 0.3 茎部幅 0.35 茎部厚さ 0.35	3/4	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅱ4-4区4層 I2	重量13.0g
	162	石製品	砥石	長さ 4.2 幅 3.8 厚さ 2.6	破片	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅱ33区3層一括	重量47.4g 木目石 表面以外の二次使用あるか？
34	163	陶器	小壺	口径 底径 器高	口縁～頸部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10YR7/4 外：Hue	Ⅲ1区22号溝埋土最上層一括	外面に緑釉・沈線・幾何学文様
	164	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ，削り 外：ナデ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ1区22号溝埋土 D29	
	165	須恵器	坏	口径 11.8 底径 7.0 器高 3.4	1/6	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y7/1 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅲ1区22号溝埋土 D64	底部に回転ヘラ切り
	166	須恵器	坏	口径 12.5 底径 7.5 器高 3.4	2/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 7.5Y5/1	Ⅲ1区22号溝埋土 D54，埋土一括	底部に回転ヘラ切り
	167	土師器	甕	口径 25.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ2区2号溝埋土一括	内面一部にスス付着
40	168	須恵器	壺？	口径 底径 12.0 器高	底部～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/2 外：Hue 5Y4/1	Ⅲ5区7号ピット埋土 D1	外面に自然釉 底部に回転ヘラ切り
41	169	土製品	紡錘車	長さ 3.1 幅 1.85 厚さ 2.0	1/3	内： 外：削り	内：Hue 外：Hue 7.5Y5/1	Ⅲ6区4号土坑 D5	
	170	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/6	Ⅲ6区3号竪穴建物埋土 D3	内外面に赤彩
	171	土師器	碗	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5YR4/6 外：Hue 2.5YR4/4	Ⅲ6区3号竪穴建物埋土 D4	内外面に赤彩
	172	土師器	碗？	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 5YR4/8 外：Hue 5YR4/8	Ⅲ6区3号竪穴建物埋土 D1	内外面に赤彩
	173	土師器	高坏	口径 15.5 底径 器高	坏部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅲ6区4号土坑埋土 D1・4	
	174	土師器	鍋	口径 25.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ6区6号竪穴建物埋土 D2	外面にスス付着
43	175	鉄製品	鉄鏃	全長 9.9 厚さ 鏃身部 0.25 茎部 0.35	一部欠損	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ8区4層一括	重量12.4g 鏃身部と茎部の境界が錆で不鮮明
	176	土師器	坏	口径 13.5 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅲ8区7号竪穴建物埋土 D1	
	177	石製品	砥石	長さ 18.7 幅 6.0 厚さ 4.0	2/3	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ8区4層 S1	重量564g 砂岩 全面（四角）に顕著な使用痕 右側面下方部に粗く削った使用痕
44	178	青磁	碗	口径 14.6 底径 6.0 器高 4.4	1/4	内：灰釉 外：灰釉	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 2.5Y6/3	Ⅲ11区1号ピット埋土 D1	外面高台部に砂目付着 底部外面に窪みあり
	179	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ11区7号竪穴建物埋土 D2	外面一部にスス付着
46	180	土師器	坏	口径 24.8 底径 器高	口縁～胴部片	内：磨き 外：削り，磨き	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/6	Ⅲ12区1号竪穴建物埋土 D9	内外面に赤彩
	181	土師器	鉢	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ハケ目 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅲ12区1号竈埋土 D1	
	182	土師器	甕	口径 14.2 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅲ1区28号竈埋土 D3・4 Ⅲ1区4層一括	内外面に一部スス付着
49	183	土師器	坏	口径 底径 6.4 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR5/6	Ⅲ10区3層一括	底部に墨書あり 底部に回転ヘラ切り
	184	須恵器？	不明品	口径 底径 器高	破片	内：？ 外：ナデ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅲ1区22号溝埋土 D59	三重円文と直線による文様あり
	185	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅲ13区4号溝埋土一括	内外面にスス付着
	186	石製品	紡錘車	長さ 3.9 幅 3.8 厚さ 1.0	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ1区北側4層一括	重量27.6g 穿孔径0.8cm 研磨による擦痕あり

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	187	土製品	紡錘車	長さ 3.9 幅　1.9 厚さ 0.9	1/2	内： 外：ナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ23区4層一括	重量10.0g
51	188	須恵器	蓋	口径 15.0 底径 器高	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR4/2 外：Hue 2.5Y7/3	Ⅳ1区17号竪穴建物埋土 D6	外面に自然釉 外面に回転ヘラ削り
	189	土師器	Ⅲ	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：磨き 外：削り，磨き	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/4	Ⅳ1区17号竪穴建物埋土一括	内外面に赤彩
	190	土師器	甕	口径 20.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ1区17号竪穴建物埋土 D2，一括	
53	191	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/4	Ⅳ3区18号ピット埋土	内外面に赤彩
	192	須恵器	坏	口径 底径 6.2 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5Y5/2 外：Hue 5Y5/3	Ⅳ29区1号竪穴建物埋土一括	底部に回転ヘラ切り後ナデ
	193	須恵器	碗	口径 底径 9.9 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y7/3 外：Hue 2.5Y5/1	Ⅳ29区12号ピット埋土一括	高台削り出し
	194	須恵器	坏	口径 13.5 底径 7.6 器高 3.5	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y7/1 外：Hue 5Y6/2	Ⅳ30-1区1号ピット埋土一括	底部に回転ヘラ切り
	195	須恵器	蓋	口径 16.0 底径 器高	1/6	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5Y7/1 外：Hue 7.5Y7/1	Ⅳ30-1区22号ピット埋土一括	
	196	黒色土器	碗？	口径 17.8 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：回転ナデ，削り，磨き	内：Hue 7.5Y2/1 外：Hue 7.5Y5/4	Ⅳ30-1区15号ピット埋土一括	内面黒色
	197	土師器	甕	口径 26.1 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅳ30-2区6号溝埋土一括 （Ⅳ13-2区4層 D21，4層一括は同一個体）	胴部外面にスス付着
	198	石製品	砥石	長さ 4.3 幅　2.8 厚さ 1.5	破片	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ29区撹乱一括	重量21.8g　木目石 表面に粗く削った痕跡 裏面は一部磨痕，ほぼ剥離欠損 両側面は偏平な使用面
55	199	須恵器	蓋	口径 10.5 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	Ⅳ5区11号竪穴建物掘方埋土一括	外面に自然釉 外面に回転ヘラ削り
	200	須恵器	碗	口径 底径 10.2 器高	胴部～底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/2 外：Hue 5Y6/2	Ⅳ5区11号竪穴建物埋土一括	貼付高台
	201	黒色土器	碗	口径 底径 8.3 器高	胴部～底部片	内：磨き 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y3/1 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅳ5区12号竪穴建物埋土一括，28号ピット埋土一括	内面が黒色
56	202	須恵器	甕	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ，当て具痕 外：回転ナデ，タタキ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ5区13号竈埋土 D8	焼成不良
	203	土師器	甕	口径 20.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/3 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅳ5区13号竪穴建物埋土中層 D1	内外面に一部赤彩
57	204	土師器	高坏	口径 底径 9.1 器高	脚部片	内：ヨコナデ，ナデ，削り 外：ヨコナデ，磨き	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 5YR5/6	Ⅳ5区5号ピット埋土 D1	脚部内面以外に赤彩
	205	土師器	坏	口径 14.6 底径 4.1 器高 3.0	2/3	内：磨き 外：削り，磨き	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR6/4	Ⅳ5区4層一括 Ⅳ6区4層一括	内外面に赤彩，スス付着 表裏面全体にスス痕と磨き，厚みは均一ではなく歪みあり 底部に回転ヘラ切り
	206	土師器	坏	口径 11.7 底径 6.7 器高 3.6	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅳ5区4層一括 Ⅳ5区撹乱一括	底部外面に墨書 内外面に赤彩
	207	石製品	砥石	長さ 35.2 幅　14.8 厚さ 16.0	1/2	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ6区20号ピット埋土 S1（大） Ⅳ5区13号竪穴建物埋土上層（小）	重量（大）4052g（小）112.9g 砂岩 欠損部を除きほぼ全面に使用痕（細かい敲打と顕著な磨痕）
59	208	土師器	坏	口径 12.5 底径 7.2 器高 3.1	5/6	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ6区4層一括	底部内面に引っ掻き傷あり 底部に粘土痕 底部に回転ヘラ切り
	209	土師器	坏	口径 16.7 底径 器高	口縁～胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/6	Ⅳ6区4層一括 Ⅳ10-2区33，34号ピット埋土一括	内外面に赤彩 口縁部はヘラ削り後磨き
	210	土師器	Ⅲ	口径 18.0 底径 器高 3.3	1/2	内：ナデ後磨き 外：回転ナデ，ナデ，削り，指オサエ後磨き	内：Hue 5YR5/4 外：Hue 5YR5/4	Ⅳ6区106号ピット埋土 D1	内外面に赤彩 内底面の磨きは格子様，外底面は明瞭な格子ではない
	211	土師器	甕	口径 16.2 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ，削り 外：回転ナデ，ハケ目	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅳ6区4層 D1	
	212	須恵器	坏	口径 12.1 底径 6.8 器高 3.1	3/4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y5/1 外：Hue 2.5Y5/1	Ⅳ6区4層一括	口縁部に打欠きあり 底部に回転ヘラ切り

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	213	須恵器	坏	口径 12.5 底径 8.5 器高 3.4	完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y6/1	Ⅳ6区20号ピット埋土 D1	やや歪 底部に回転ヘラ切り
	214	須恵器	坏	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y5/2 外：Hue 2.5Y5/2	Ⅳ6区4層一括	底部外面に墨書
	215	石製品	円柱状製品	長さ 2.6 幅　1.0 厚さ 0.9	一部欠損	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ6区4層 グリット 北西	重量4.2g　滑石　未完成 全面を多方向に擦って丸く加工 側面は扁平にする為に擦って加工
60	216	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：削り，タタキ 外：ハケ目？，工具痕	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ6区19号 竈 埋土 D5～11	焼成不良 外面に平行直線文・格子目文
	217	土師器	甕	口径 28.8 底径 器高	口縁～胴部片	内：ヨコナデ，削り 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅳ6区19号 竈 埋土 D3 Ⅳ6区4層一括	胴部外面に黒斑あり
	218	土師器	鍋	口径 15.4 底径 器高	口縁～胴部片	内：磨き 外：ナデ	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 7.5YR4/1	Ⅳ7区19号竪穴建物埋土 D1	内外面にスス付着
61	219	土師器	坏	口径 12.0 底径 7.2 器高 3.6	5/6	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅳ7区40号土坑埋土 一括	内外面一部にスス付着 底部に回転ヘラ切り
	220	土師器	坏	口径 12.0 底径 6.4 器高 3.2	口縁～底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ，削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ7区40号土坑埋土 一括 Ⅳ7区4層一括	外面に回転ヘラ削り
	221	土師器	坏	口径 12.0 底径 7.0 器高 3.5	3/4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR6/6	Ⅳ7区40号土坑埋土 D7，埋土一括 Ⅳ7区41号土坑埋土 一括	底部に墨書
	222	土師器	坏	口径 12.8 底径 8.0 器高 2.8	3/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅳ7区26号ピット埋土 D1 Ⅳ7区26号ピット埋土一括	内外面に赤彩 底部外面に墨書 底部に回転ヘラ切り離し後ナデ
	223	須恵器	坏	口径 12.5 底径 7.7 器高 3.5	口縁～底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y7/3 外：Hue 2.5Y7/3	Ⅳ7区44号ピット埋土 D1	底部に切り離し粘土痕
	224	土師器	移動式竈	口径 底径 器高	底部片	内：削り 外：ナデ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅳ7区40号土坑埋土 一括	
	225	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ，指オサエ 外：ナデ，タタキ	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 10YR5/4	Ⅳ7区40号土坑埋土 D2・3，埋土一括	
63	226	土師器	坏	口径 14.6 底径 10.0 器高 2.7	口縁～底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅳ10-2区14号 ピット埋土 D1	内外面に赤彩 底部に回転ヘラ切り 口縁の欠損は故意の打ち欠きか？
	227	土師器	坏	口径 14.6 底径 10.2 器高 3.0	口縁～底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ10-2区16号 竪穴建物埋土 D5	器面摩耗 内外面に赤彩
	228	土師器	坏	口径 14.8 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，磨き 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR5/6 外：Hue 7.5YR5/6	Ⅳ10-2区57号 竪穴建物埋土 D2	内外面に赤彩 内外面全体に磨き
	229	須恵器	碗	口径 13.8 底径 9.2 器高 4.5	口縁～底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 7.5Y6/2	Ⅳ10-2区57号 竪穴建物埋土 D18	
	230	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～頸部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/4	Ⅳ10-2区57号 竪穴建物埋土 D17	
	231	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅳ10-2区西4層 D19 Ⅳ10-2区西4層	底部に墨書 内外面に赤彩 底部に回転ヘラ切り
	232	土師器	坏	口径 底径 8.4 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ10-2区西4層 D1	底部に墨書「川」 内外面に赤彩
	233	須恵器	坏	口径 12.3 底径 8.0 器高 3.1	5/6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅳ10-1区東4層 D1	底部底に墨書 底部に回転ヘラ切り 地震の被害あり
64	234	土師器	移動式竈	口径 25.9 底径 器高	口縁～胴部片	内：ナデ 外：ナデ，削り	内：Hue 7.5YR4/1 外：Hue 7.5YR5/4	Ⅳ10-2区西4層 D19	外面に粘土貼り付け 口縁に人為的剥離か？
	235	須恵器	甕	口径 25.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，タタキ 外：回転ナデ，タタキ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅳ10-1区東4層 D8	胴部外面に凹線（横位3条） 焼成不良 内面一部摩耗
	236	石製品	砥石	長さ 14.35 幅　2.4 厚さ 2.3		内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ10-2区西4層 S1	重量138g　石材不明 四角柱の形状で全面磨痕 表面上部に欠損部を更に利用した痕跡
66	237	土師器	甕	口径 17.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅳ11区4号竪穴建物北東部掘方埋土一括	

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	238	土師器	甕	口径 36.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：削り 外：ヨコナデ，ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅳ11区4号竪穴建物埋土一括 Ⅳ11区10号ピット埋土D，上部埋土一括 Ⅳ11区4層一括	
68	239	須恵器	坏	口径 13.0 底径 7.8 器高 4.15	4/5	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 10YR5/1 外：Hue 10YR5/1	Ⅳ13-2区4号土坑東側埋土上位D1・3・5	外面に回転ヘラ削り 底部に回転ヘラ切り
	240	須恵器	坏	口径 23.6 底径 7.8 器高 3.6	1/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y6/1	Ⅳ13-2区4号土坑東側埋土上位D6	底部に回転ヘラ切り
	241	須恵器	坏	口径 13.2 底径 7.0 器高 3.75	ほぼ完形	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 7.5Y6/2	Ⅳ13-2区4号土坑東側埋土D5 Ⅳ13-2区4層一括	底部に回転ヘラ切り
69	242	土師器	坏	口径 12.7 底径 8.1 器高 3.6	4/5	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR5/6 外：Hue 7.5YR5/6	Ⅳ14区2号ピット埋土一括	内外面にスス付着 赤色顔料 底部に回転ヘラ切り
	243	土師器	甕	口径 24.3 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ，削り 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ14区16号ピット埋土直上D2	
	244	土師器	甕	口径 31.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：ヨコナデ，削り 外：ナデ，ヨコナデ	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 5YR6/6	Ⅳ14区18号竈埋土D19 Ⅳ14区18号竈崩落部D4，一括	胴部の内外面にスス付着 外面に焼成前の傷？あり 胎土に2㎜～5㎜の礫が混じる
71	245	土師器	坏？	口径 11.3 底径 器高	口縁部片	内：磨き（縦位） 外：磨き（横位）（不定）	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR3/1 10YR6/4	Ⅳ22区6号溝埋土一括	
	246	土師器	坏？	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，ナデ 外：細い磨き	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 2.5YR5/6	Ⅴ11区2号溝埋土D1	内面に暗文 外面に赤色化粧土
	247	石製品	砥石	長さ 4.4 幅　2.8 厚さ 1.5	1/2以下	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ25区1号溝埋土3	重量25.2g　安山岩 側面は全面砥石として使用 偏平に磨って擦痕が残る
72	248	須恵器	蓋	口径 15.4 底径 器高 1.65	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅳ18-2区遺構不明	焼成不良 つまみ部一部欠損
	249	石製品	砥石	長さ 7.8 幅　6.5 厚さ 4.1	1/2以下	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ6区撹乱一括	重量295g　砂岩 表・両側面は平坦に磨って加工 裏面に敲き擦った痕跡あり 自然色なのか？黒色部あり
	250	鉄器	鉄鏃	全長 9.1 鏃身長 0.8 頸長 7.8 鏃身幅 0.9 頸幅 0.45 茎部 0.5	一部欠損	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ20区4層一括	重量15.0g 鏃身部錆膨れのため不明瞭 鏃身部先端はわずかに欠損 関部と思われる部分は錆で不明瞭
	251	石製品	火打石	長さ 2.9 幅　1.6 厚さ 1.4	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ11区3層一括	重量6.0g　チャート 使用により先端部が潰れている
74	252	石製品	砥石	長さ 11.65 幅　6.5 厚さ 6.0	1/2	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅴ10区1号竈埋土4S1	重量553g　木目石 上・下部は欠損 表裏・両側面は偏平に磨った痕跡 表面中心部に打痕，裏面に粗目の擦痕
	253	須恵器	蓋	口径 13.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y7/1	Ⅴ10区1号竈埋土8D10	外面に回転ヘラ切り
	254	須恵器	蓋	口径 13.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y5/2 外：Hue N5/0	Ⅴ10区5号土坑埋土一括	
	255	土師器	鉢？	口径 底径 12.2 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅴ10区1号竈埋土4D3	内外面に一部スス付着 内面に赤色化粧土 底部に回転ヘラ切り
75	256	須恵器	坏	口径 13.4 底径 8.0 器高 3.9	3/4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y6/2	Ⅴ11区1号竪穴建物埋土上層一括	底部に回転ヘラ切り
	257	須恵器	坏	口径 12.6 底径 7.0 器高 3.3	4/5	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue N5/0 外：Hue 7.5Y5/1	Ⅴ11区1号竪穴建物埋土D2，埋土一括	底部に回転ヘラ切り
	258	須恵器	坏	口径 12.8 底径 6.2 器高 3.75	1/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅴ11区1号竪穴建物埋土D7	内面から外面にかけて回転ヘラ削り後ナデ
76	259	須恵器	鉢	口径 22.2 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅴ14区5号溝埋土D1	焼成不良
78	260	須恵器	坏	口径 13.7 底径 9.0 器高 3.6	1/4	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y7/3 外：Hue 10YR5/3	Ⅴ19-2区2号溝埋土D1・2	内外面にスス付着 底部に回転ヘラ切り
80	261	須恵器	蓋	口径 底径 器高	1/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 2.5Y6/2	Ⅴ29-1区2号ピット埋土D1	外面に自然釉

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	262	土師器	坏	口径 13.3 底径 7.2 器高 4.6	4/5	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	V29-2区8号ピット 埋土 D1	外面一部に赤色化粧土 外面に回転ヘラ削り 底部に回転ヘラ切り
	263	ガラス製品	ガラス玉	長径 0.4 短径 0.4 厚さ 0.25	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V29-3区1号溝埋土 上層 G1	重量0.1g
81	264	磁器	小杯	口径 7.4 底径 2.5 器高 3.1	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	外面：染付，高台に筆描き（波模様），高台底部に印
	265	磁器	小碗	口径 7.6 底径 4.0 器高 4.6	一部欠損	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	外面：色絵，銅版転写（薄茶色の菊と桐の花），一部染付，高台と底部に圏線
	266	磁器	湯呑み	口径 8.1 底径 4.4 器高 5.3	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	色絵 釉垂れ文様？（緑色）
	267	磁器	小鉢	口径 底径 5.0 器高 2.7	胴部～底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 5GY8/1	Ⅱ8区3号井戸掘方 埋土一括	外面：染付，筆描き（松），底部と高台に圏線
	268	陶器	急須の蓋	口径 7.5 底径 器高 2.4	4/5	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5YR4/8 外：Hue 2.5YR4/8	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	内面に錆付着 外面に唐草模様の陰刻・穿孔
	269	磁器	碗	口径 11.1 底径 3.7 器高 4.65	4/5	内：施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	外面：染付，銅板転写（松・梅・鳥），高台に圏線
	270	磁器	蓋	口径 10.0 高台径 4.2 器高 2.6	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	外面：色絵，筆描き（桃色の花・コバルトの葉），高台に圏線
	271	磁器	小皿	口径 11.0 底径 6.9 器高 2.3	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅱ8区撹乱一括	内面：色絵，銅版転写（緑色の花と松）
	272	磁器	小皿	口径 11.35 底径 6.4 器高 2.2	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅱ8区撹乱一括	内面：色絵，型紙摺絵（緑色の梅の花）
	273	磁器	小皿	口径 10.5 底径 6.6 器高 2.0	一部欠損	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5Y8/0 外：Hue 7.5Y8/0	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	内面：染付，型紙摺絵（鶴・亀） 外面：高台底に鉄釉
	274	磁器	小皿	口径 10.7 底径 7.0 器高 1.7	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅱ8区1号土坑埋土 一括	内面：染付，型紙摺絵（花？） 外面：高台底に鉄釉
	275	磁器	瓶蓋？	口径 1.6 底径 3.7 器高 3.2	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	Ⅱ8区撹乱一括	
	276	ガラス製品	小瓶	口径 1.4 底径 2.4 器高 5.7	完形	内： 外：	内：透明 外：透明	Ⅱ8区撹乱一括	機械製法，両側面に合わせ目あり 中心部分に陽刻文字「明目真珠水」
	277	ガラス製品	薬瓶	口径 1.9 底径 3.8 器高 8.3	完形	内： 外：	内：透明 外：透明	Ⅱ8区撹乱一括	機械製法，合わせ目あり 両側面に陽刻文字「インキタスリ」「クラック液」
	278	瓦器	鍋？	長さ 4.3 幅　6.8 厚さ 3.7	破片	内：ナデ，指オサエ 外：ナデ，指オサエ	内：Hue 10YR7/2 外：Hue 10YR7/2	Ⅱ8区撹乱一括	外面に凹線 口縁部に粘土貼付け
82	279	瓦	桟瓦	長さ 19.2 幅　15.0 厚さ	破片	内： 外：	内：Hue N3/0 外：Hue N3/0	Ⅱ8区2号土坑埋土 一括	型起し成形 多重沈線 陰刻あり「河野製造」「河野正」
	280	瓦	桟瓦	長さ 14.5 幅　13.4 厚さ 1.7	破片	内： 外：	内：Hue 2.5Y5/1 外：Hue 2.5Y5/1	Ⅱ8区2号土坑埋土 一括	型起し成形 表面に陰刻文字 ひょうたん型に「河野製造」
	281	瓦	桟瓦	長さ 15.5 幅　13.3 厚さ 1.9	破片	内： 外：	内：Hue 2.5Y4/1 外：Hue 2.5Y4/1	Ⅱ8区撹乱一括	上面側部と表面に陰刻で製造者の名称が印字「法□□花 4号」
	282	瓦	桟瓦	長さ 14.3 幅　14.8 厚さ 2.2	破片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5Y3/1 外：Hue 7.5Y3/1	Ⅱ8区撹乱一括	表面に陰刻あり
83	283	磁器	碗 （筒形）	口径 8.0 底径 器高	口縁部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ1区1号土坑埋土 一括	内面：染付，圏線 外面：染付，筆描き（木），圏線
	284	磁器	碗	口径 底径 6.7 器高	底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 2.5GY8/1 外：Hue 2.5GY8/1	Ⅲ1区1号土坑埋土 一括	内面：染付，圏線 外面：染付，筆描き（文様不明）
	285	磁器	碗	口径 底径 4.0 器高	底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY8/1 外：Hue 7.5Gy8/1	Ⅲ1区1号土坑埋土 一括	内面：染付，筆描き（底部に雲文），圏線 外面：染付，筆描き（梅），高台に圏線，高台底に筆描き
	286	磁器	小壺	口径 2.4 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ，施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ1区1号土坑埋土 一括	外面：色絵，上絵付（赤色）
	287	磁器	碗	口径 11.4 底径 4.2 器高 5.2	1/5	内：施釉 外：施釉	内：Hue 2.5GY8/1 外：Hue 2.5GY8/1	Ⅲ9区2号溝埋土1一括	内面：染付，圏線 外面：染付，筆描き（丸文・菱形文），高台に圏線
	288	磁器	碗	口径 9.3 底径 4.0 器高 4.7	1/4	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ2区2号 溝 埋 土 1D23	内面：目跡 外面：染付，筆描き（江戸時代の菊の花・葉），目跡

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	289	磁器	紅皿	口径 4.3 底径 1.2 器高 1.5	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	Ⅲ1区1号土坑埋土一括	外面：貝殻状の筋文
	290	古銭	寛永通寶	長さ 2.4 幅　2.6 厚さ 0.3	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ2区2号 溝 埋 土 1B2	重量6.2g 3枚の内2枚は重なっている もう1枚は錆で実測不能
	291	石製品	砥石	長さ 5.3 幅　4.6 厚さ 3.4	破片？	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ1区1号土坑埋土一括	重量113g　木目石 一面のみ扁平な使用面・二面は欠損面の再利用
	292	銅製品	煙管	長さ 5.8/4.4 幅　0.9/0.9 厚さ 0.95/0.95		内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ1区1号土坑埋土一括	重量4.8g（No.1）/2.6g（No.2） 内部木材残存 胴部を緑青が覆う
	293	磁器	碗 （筒形）	口径 底径 器高	胴部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ1区2号 溝 埋 土 1D6	内面：染付，圏線 外面：染付，筆描き（花）
	294	磁器	碗	口径 底径 4.2 器高	底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY8/1 外：Hue 7.5GY8/1	Ⅲ2区2号溝埋土1一括	内面：染付，筆描き（一重網目文），内部底部に菊花文 外面：染付，筆描き（二重網目文），高台に圏線，高台底に四方枠
	295	磁器	碗	口径 底径 3.6 器高	底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY8/1 外：Hue 7.5GY8/1	Ⅲ2区2号 溝 埋 土 1D37	内面：染付，筆描き（底部にコンニャク五弁花），圏線 外面：染付，筆描き，圏線
	296	磁器	碗	口径 底径 5.4 器高	底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY8/1 外：Hue 7.5GY8/1	Ⅲ13区2号溝埋土一括	内面：染付，筆描き（底部に岩波文），圏線 外面：染付，筆描き（葉），高台に砂目付着
	297	陶器	碗	口径 底径 3.8 器高	胴部～底部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10Y7/1 外：Hue 10Y7/1	Ⅲ2区2号溝埋土一括	底部内面に砂目付着 色絵（下絵付け） 高台に釉垂れ
	298	陶器	小壺？	胴部径7.6 底径 5.0 器高	胴部～底部片	内：回転ナデ 外：施釉	内：Hue 10YR7/2 外：Hue 10YR7/2	Ⅲ2区2号 溝 埋 土 1D38	外面に筆描き・唐草文
	299	磁器	瓶 （花生）？	口径 底径 6.3 器高	胴部～底部片	内：回転ナデ，一部施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY8/1 外：Hue 7.5GY8/1	Ⅲ13区2号溝埋土上層一括	内面：釉垂れあり 外面：染付，筆描き（梅？）
	300	陶器	甕？	口径 19.9 底径 器高	口縁～胴部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 2.5Y5/3 外：Hue 2.5Y5/3	Ⅲ9区2号溝埋土1一括	
	301	陶器	擂鉢	口径 31.0 底径 器高	口縁部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue 2.5Y3/1 外：Hue 2.5Y3/1	Ⅲ2区2号溝埋土一括	口縁外折 鉄釉
85	302	磁器	碗	口径 11.2 底径 4.1 器高 4.75	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 5GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，銅版転写（山・鶴・松文様）
	303	磁器	碗	口径 11.4 底径 4.2 器高 6.0	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，銅版転写，筆描き（松）
	304	磁器	碗	口径 11.2 底径 4.4 器高 4.7	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，銅版転写（松文様） 高台内面に砂目付着
	305	磁器	碗	口径 10.7 底径 4.0 器高 4.8	4/5	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（コバルトの松文様・桜色の月？）
	306	磁器	碗	口径 11.3 底径 3.8 器高 4.7	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：絵付，色絵，銅版転写（菊文様），筆描き（桜色の菊の花芯・緑色の「景文」の文字），緑色の印
	307	磁器	碗	口径 11.0 底径 4.0 器高 4.6	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5Y8/1 外：Hue 7.5Y8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（緑色の梅の木・花・つぼみ），筆描き（コバルトの梅の花）
	308	磁器	碗	口径 11.2 底径 3.8 器高 4.7	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ3区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（緑色の松竹梅・虎），筆描き（桜色の梅の花）
	309	磁器	碗	口径 11.5 底径 3.8 器高 4.7	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（朝顔文様），筆描き（桜色と青色の花・緑色の葉）
	310	磁器	碗	口径 11.7 底径 4.0 器高 4.5	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 5GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（緑色の鶴松・コバルトの文字），筆描き（桜色の月）
	311	磁器	碗	口径 11.1 底径 3.9 器高 5.1	3/4	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（緑色の松竹梅・菱形文様），筆描き（桜色の梅の花）
	312	磁器	碗	口径 11.1 底径 4.6 器高 5.7	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，印刷絵付（菊の花・桐の花と葉と枝）
	313	磁器	碗	口径 11.2 底径 4.3 器高 5.2	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，印刷絵付（桐の花・葉・枝・菊花）
	314	磁器	碗	口径 11.1 底径 3.8 器高 4.8	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（菊文様），筆描き（桜色の菊の花芯・緑色の「景文」の文字），緑色の印

図	番号	遺物	種類（器種）	法量（cm）	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
	315	磁器	碗	口径 11.2 底径 4.8 器高 5.3	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，印刷絵付（鶴・松文様）
	316	磁器	碗	口径 10.8 底径 5.2 器高 5.8	4/5	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，筆描き（菊文様・葉） 外面：染付，筆描き（藤の花？） 口唇部に鉄釉あり
	317	磁器	碗	口径 11.2 底径 3.4 器高 4.2	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：二重掛け，鉄釉 外面：二重掛け，鉄釉，高台の上に面取りあり
	318	磁器	小碗	口径 7.4 底径 3.7 器高 4.6	3/4	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5Y8/1 外：Hue 7.5Y8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，筆描き（「工・友・蔡」の文字）
	319	磁器	小碗	口径 8.1 底径 器高	口縁～胴部片	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，上絵付（「蔡」の文字）
	320	磁器	小碗	口径 8.0 底径 2.85 器高 4.45	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（黒色の梅文様）
	321	陶器	小碗	口径 8.4 底径 3.5 器高 4.3	1/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10Y6/1 外：Hue 10Y6/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，筆描き（茶色とコバルトの枝木）
	322	磁器	小碗	口径 7.6 底径 3.8 器高 4.8	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（灰色の山・緑色の杉林），高台に圏線2本
	323	磁器	小碗	口径 7.9 底径 3.8 器高 4.0	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，銅版転写（緑色の松竹梅・コバルトの花芯）
	324	磁器	杯	口径 5.7 底径 3.2 器高 5.8	一部欠損	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N1.5/0 N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，上絵付，筆描き（背景は黒色・金色の竹・白色の笹）高台底部に呉須で「琲水」の文字
	325	磁器	杯	口径 6.55 底径 2.6 器高 2.8	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：二重掛け，鉄釉 外面：二重掛け，鉄釉
	326	磁器	杯	口径 8.6 底径 2.6 器高 3.0	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：渦巻 外面：染付，筆描き（模様は不明）
	327	磁器	杯	口径 5.5 底径 2.0 器高 2.6	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 外：Hue	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，筆描き（口縁内面に3ヶ所） 外面：染付，筆描き（口縁外面に3ヶ所），底部は型押しか？ 口唇部に鉄釉
	328	磁器	杯	口径 6.0 底径 2.7 器高 3.0	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY8/1 外：Hue 7.5GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，筆描き（蛇の目傘・木の枝） 外面：削り模様？
	329	磁器 （青磁）	小碗	口径 8.1 底径 3.4 器高 4.2	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY7/1 外：Hue 7.5GY7/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面に飛び鉋文様
86	330	磁器	小皿	口径 10.9 底径 5.9 器高 2.4	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，銅版転写（菊文様？）
	331	磁器	小皿	口径 11.0 底径 6.0 器高 2.15	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，銅版転写（鯉・波）
	332	磁器	小皿	口径 10.8 底径 6.4 器高 2.2	7/8	内：施釉 外：施釉，削り出し	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，銅版転写
	333	磁器	小皿	口径 10.9 底径 6.4 器高 2.3	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ3区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，銅版転写（緑色と茶色？の唐草文様） 口唇部に鉄釉
	334	磁器	小皿	口径 11.1 底径 6.4 器高 2.3	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5Y8/0 外：Hue 7.5Y8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，銅版転写（緑色の桜） 口唇部に鉄釉
	335	磁器	小皿	口径 11.4 底径 7.1 器高 2.3	1/4	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，銅版転写（緑色の菱形文様と笹竹文様と梅文様）
	336	磁器	小皿	口径 10.5 底径 6.4 器高 2.05	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ3区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，銅版転写（緑色の竹梅・菊・菱形文様） 口唇部に鉄釉
	337	磁器	小皿	口径 11.0 底径 6.1 器高 2.3	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5Y8/1 外：Hue 7.5Y8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，印刷絵付（緑色の花）
	338	磁器	小皿	口径 11.1 底径 8.1 器高 2.2	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5Y8/1 外：Hue 7.5Y8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，銅版転写（緑色のうぐいすと梅の花） 口唇部に鉄釉
	339	磁器	中皿	口径 14.0 底径 7.6 器高 3.25	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，銅版転写（花・松・草？・波？），筆描き（うす緑の松と花芯・桜色の花と草？・コバルトの波？ 外面：高台部に圏線
	340	磁器	中皿	口径 14.4 底径 8.6 器高 3.2	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 2.5GY8/1 外：Hue 2.5GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，印刷絵付（丸文），筆描き（家・木・市松文様・菱形文様・青波文様・花文様） 外面：高台内外に圏線

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	341	磁器	中皿	口径 14.0 底径 7.8 器高 2.9	1/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，筆描き（桜色の藤文様・コバルトの四角文様？） 外面：高台に圏線
87	342	磁器	中皿	口径 14.5 底径 7.7 器高 2.9	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，銅版転写，筆描き（桜色と黄色の花・コバルトの葉・緑色の茎） 外面：高台に圏線 口唇部に鉄釉
	343	磁器	中皿	口径 14.5 底径 7.8 器高 2.75	4/5	内：施釉 外：施釉	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 5GY8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，印刷絵付（コバルトの菖蒲文様），筆描き（桜色の濃） 外面：高台内外に圏線 口唇部に鉄釉
	344	磁器	中皿	口径 14.0 底径 7.8 器高 2.6	1/2	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，筆描き（墨色の山？） 外面：高台に圏線
	345	磁器	中皿	口径 14.2 底径 8.0 器高 3.0	1/4	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，筆描き（船・人） 外面：高台内外に圏線
	346	磁器	中皿	口径 13.8 底径 7.5 器高 2.6	1/4	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：色絵，筆描き（黒色・青色・水色で模様不明） 外面：高台に圏線
	347	磁器	中皿	口径 14.0 底径 8.0 器高 3.2	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，筆描き（和服の男性・植木鉢・台），絵付け 外面：染付，高台内外に圏線，高台底部に手書き文字「平安□□」
	348	磁器	皿	口径 18.4 底径 8.7 器高 6.8	7/8	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ3区撹乱土坑埋土一括	内面：染付，銅版転写（扇・矢羽柄），筆描き 外面：染付，銅版転写（扇・矢羽柄），筆描き 口唇部に鉄釉，口縁やや楕円形
88	349	磁器	蓋	口径 12.7 底径 器高 3.9	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue 5Y8/1 外：Hue 5Y8/1	Ⅲ3区撹乱土坑埋土一括	外面：染付，銅版転写（鳳凰・やまぶき？），つまみ部に圏線
	350	磁器	蓋	口径 13.7 天井径 6.0 器高 2.8	ほぼ完形	内：施釉 外：回転ナデ，施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ3区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，印刷絵付（花文様），筆描き（桜色とうす茶色の花・コバルトと緑の葉） 口縁部一部欠損
	351	磁器	徳利	口径 4.0 底径 9.5 器高 26.3	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 7.5GY8/1 外：Hue 7.5GY8/1	Ⅲ9区撹乱一括	外面：染付，印刷絵付，筆描き「小舘町」「治石見酒店」「□一万□千□百八十三号」「電話一二0六番」 底部に砂目付着
	352	磁器	徳利	口径 底径 9.8 器高 19.9	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ，施釉	内：Hue 7.5Y8/1 外：Hue 7.5Y8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：釉垂れ，木製工具によるナデ 外面：染付，筆描き（「□松」「番」「千四十四号」の文字）
	353	陶器	蓋	口径 8.0 底径 器高 2.0	完形	内： 外：施釉	内：Hue 2.5Y7/2 外：Hue 7.5Y7/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	外面：色絵，上絵付，筆描き（白色の花・水色の葉）
	354	陶器	五徳	口径 12.4 底径 器高 9.8	2/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 2.5Y8/2 外：Hue 2.5Y8/2	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	三本脚
	355	磁器 （白磁）	蓋	口径 5.1 天井径 1.0 器高 1.9	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	坩場
	356	陶器	坩堝容器	口径 6.6 底径 3.2 器高 2.7	完形	内：施釉 外：一部施釉，素焼き	内：Hue 2.5Y8/3 10YR2/2 外：Hue 2.5Y8/3 10YR2/2 10YR8/2	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：鉄釉 外面：筆描き「T・K」 型押し成形
	357	陶器	坩堝容器	口径 8.4 底径 4.3 器高 13.1	完形	内： 外：	内：Hue 7.5YR2/2 10YR7/2 外：Hue 7.5YR3/3 10YR7/2	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面：鉄釉 外面：鉄釉，筆描き「野口」 型押し成形
	358	磁器	片口	口径 9.4 底径 1.4 器高 3.0	完形	内：施釉 外：施釉，素焼き	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	注ぎ口あり
	359	磁器	仏飯	口径 5.8 底径 3.7 器高 5.0	7/8	内：黄釉 外：回転ナデ，黄釉	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	口縁部に釉垂れあり 外面底部に回転ヘラ切り
	360	陶器	甕	口径 15.5 底径 8.9 器高 16.1	2/3	内：施釉 外：削り，削り出し，施釉	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 2.5Y8/35 Y7/2	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	内面底に目跡 内外面の口縁部に釉垂れ
	361	陶器	碁石	長さ 2.2 幅　2.3 厚さ 0.7	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	重量3.7g　石材不明 摩耗により外形にやや歪みあり 縁辺に磨って成形の痕跡あり 布目痕あり
	362	土師器	焙烙	口径 25.6 底径 15.3 器高 3.2	完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ，指オサエ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	貼付把手 手捏ねの成形の把手 底部未調整
	363	ガラス製品	インク瓶	口径 2.4 底径 4.5 器高 4.0	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ9区撹乱土坑埋土一括	機械製法，合わせ目あり 外面に陽刻「墨の元」

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	364	ガラス製品	小瓶	口径 2.05 底径 4.2 器高 3.2	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 底部に陽刻「M」 全体に気泡を多く含む
	365	ガラス製品	小瓶	口径 1.7 底径 2.4 器高 6.1	完形	内： 外：	内：Hue 10YR5/8 外：Hue 10YR5/8	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	宙吹き技法？（気泡あり） 胴部に陽刻「東京尾澤製」
	366	ガラス製品	小瓶	口径 2.1 底径 4.0 器高 8.5	完形	内： 外：	内：無色透明 外：無色透明	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 底部に陽刻 若干の気泡あり
	367	ガラス製品	クリーム瓶	口径 2.9 底径 4.0 器高 5.5	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 9/0 外：Hue 9/0	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 外面に陽刻線あり
	368	ガラス製品	化粧瓶	口径 3.6 底径 3.8 器高 3.8	3/4	内： 外：	内：Hue 7.5Y8/1 外：Hue 7.5Y8/1	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり
	369	ガラス製品	薬瓶	口径 2.6 底径 3.6 器高 16.8	完形	内： 外：	内：無色透明 外：無色透明	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 外面に陽刻「吉田内科皮膚科療病院」 やや気泡あり
	370	ガラス製品	小瓶	口径 2.5 底径 3.7 器高 11.7	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 外面に陽刻「ECLIPSE FRENCH SATIN CLOSS」 底部に陽刻「5A」
	371	ガラス製品	小瓶	口径 2.0 底径 3.9 器高 10.9	完形	内： 外：	内：無色透明 外：無色透明	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 側面に陽刻「美乳」 底部に陽刻「③・YB」 気泡あり
	372	ガラス製品	調味料瓶	口径 1.9 底径 3.3 器高 9.8	完形	内： 外：	内：無色透明 外：無色透明	Ⅲ9区撹乱土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 底面に陽刻「素の味」 やや気泡あり
89	373	磁器	杯	口径 6.9 底径 3.1 器高 4.5	3/4	内：施釉 外：施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	V3-1区1号溝埋土 1D1	外面：染付，銅版転写（中国の人物画），圏線
90	374	ガラス製品	ウイスキー瓶	口径 2.5 底径 6.6 器高 15.4	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V3-2区2号溝埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 外面に陽刻「SUNTORY」「正180ml」 金属栓で口縁部にビニールシール
92	375	瓦質土器	擂鉢	口径 底径 15.6 器高	底部片	内：すり目 外：カキ目，ヘラ削り	内：Hue 7.5YR5/1 外：Hue 5YR5/4	V4-2区1号溝埋土 1D5	焼成不良
	376	土製品	土錘	長さ 2.6 幅　1.15 厚さ 1.1	3/4	内： 外：ナデ，擦痕	内：Hue 外：Hue 5YR5/6	V4-2区3・4層漸移層一括	重量3.2g 外面に赤色化粧土？
	377	古銭	寛永通寶	長さ 2.5 幅　2.5 厚さ 0.15	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4-1区1号溝埋土1 一括	重量2.9g 「文」の文字あり
	378	鉄製品	焼夷弾	長さ 47.0 幅　10.5 厚さ 10.3	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V5区撹乱一括	上部断面六角形、M69焼夷弾
図版74	379	青磁	碗	口径 12.7 底径 5.0 器高 6.5	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	V12区1号土坑埋土 一括	内面：圏線 外面：陽刻（柿文様），高台に砂目，高台内に統制番号「有8」
	380	青磁	碗	口径 12.5 底径 4.9 器高 6.6	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	V12区1号土坑埋土 一括	内面：圏線 外面：陽刻（柿文様），高台に統制番号「有8」
	381	青磁	碗	口径 12.4 底径 5.0 器高 6.5	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	V12区1号土坑埋土 一括	内面：圏線 外面：陽刻（柿文様），高台に砂目，高台内に統制番号「□□」
	382	青磁	碗	口径 12.7 底径 5.0 器高 6.5	一部欠損	内：施釉 外：施釉	内：Hue 10GY8/1 外：Hue 10GY8/1	V12区1号土坑埋土 一括	内面：圏線 外面：陽刻（柿文様），高台底に砂目，高台内に統制番号「有8」
	383	磁器	碗	口径 12.0 底径 5.1 器高 6.7	一部欠損	内：施釉 外：施釉	内：Hue 2.5GY8/1 外：Hue 2.5GY8/1	V12区1号土坑埋土 一括	外面：染付，筆描き（唐草），高台に圏線
	384	ガラス製品	化粧瓶？	口径 4.7 底径 4.2 器高 4.6	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V12区1号土坑埋土 一括	機械製法 緑色 気泡やや多い
	385	ガラス製品	小瓶？	口径 1.6 底径 2.9 器高 8.1	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V12区1号土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり ラムネ色で表面に窪みあり 底部に陽刻 やや気泡あり
	386	ガラス製品	インク瓶	口径 1.9 底径 3.3 器高 4.1	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V12区1号土坑埋土 一括	機械製法，合わせ目あり 底部に陽刻 緑色透明
	387	ガラス製品	ガラス瓶栓	口径 2.8 底径 2.0 器高 2.5	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V12区1号土坑埋土 一括	機械製法 透明色で金属キャップ付き 天井部全て欠損か
	388	ガラス製品	ガラス瓶栓	口径 2.8 底径 2.0 器高 2.4	完形 （金属部は一部欠損）	内： 外：	内：透明 外：透明	V12区1号土坑埋土 一括	金属製キャップ蓋付き
	389	土製品 （磁器転用）	破片面子	長径 1.8 短径 1.7 厚さ 0.4	完形	表： 裏：	表：Hue 10GY7/1 裏：Hue N8/0	Ⅱ15区撹乱一括	重量1.5g 表裏面施釉

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残存量	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
	390	土師器（磁器転用）	破片面子	長径 3.3 短径 2.4 厚さ 1.05	完形	表： 裏：	表：Hue 7.5Y8/1 裏：Hue 10YR8/1	Ⅳ13区撹乱一括	重量9.9g 表裏面施釉
	391	土製品（磁器転用）	破片面子	長径 4.4 短径 4.25 厚さ 1.0	完形	表： 裏：	表：Hue 5Y8/1 裏：Hue 9/0	Ⅳ33-2区3層一括	重量21.6g 表面施釉
	392	土製品（須恵器転用）	破片面子	長径 6.5 短径 6.05 厚さ 0.9	完形	表： 裏：	表：Hue 10Y3/1 裏：Hue 7.5Y5/1	1 35区4層一括	重量47.2g
	393	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 3.85 短径 3.8 厚さ 1.0	完形	表： 裏：	表：Hue 7.5YR4/3 10YR8/4 裏：Hue 5YR4/4	Ⅲ1区1号土坑埋土一括	重量18.4g
	394	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 4.5 短径 3.8 厚さ 0.95	完形	表： 裏：	表：Hue 5YR4/2 裏：Hue 5YR8/1	Ⅲ1区1号土坑埋土一括	重量20.6g
	395	土製品（磁器転用）	破片面子	長径 4.05 短径 3.9 厚さ 0.4	完形	表： 裏：	表：Hue N8/0 裏：Hue N8/0	Ⅲ1区1号土坑埋土一括	重量10.0g 表裏面施釉 染付け
	396	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 3.3 短径 3.3 厚さ 0.8	完形	表： 裏：	表：Hue 2.5YR3/1 裏：Hue 7.5YR3/2	Ⅲ1区撹乱一括	重量11.2g 擂鉢利用か？
	397	土製品（磁器転用）	破片面子	長径 2.0 短径 1.7 厚さ 0.5	完形	表： 裏：	表：Hue 2.5GY8/1 裏：Hue 2.5GY8/1	Ⅲ2区2号溝埋土1一括	重量2.0g 表裏面施釉 染付け
	398	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 4.5 短径 4.4 厚さ 1.0	完形	表： 裏：	表：Hue 5YR3/2 裏：Hue 2.5YR3/1 10YR6/3	Ⅲ2区清掃一括	重量23.0g
	399	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 4.4 短径 4.05 厚さ 1.15	完形	表： 裏：	表：Hue 2.5YR4/2 裏：Hue 2.5YR4/2	Ⅲ9区2号溝埋土1一括	重量22.6g 擂鉢利用
	400	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 5.1 短径 4.3 厚さ 1.2	完形	表： 裏：	表：Hue 5Y6/3 裏：Hue 5Y7/2	Ⅲ9区4層一括	重量26.4g 表裏面施釉
	401	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 2.7 短径 2.5 厚さ 1.3	完形	表： 裏：	表：Hue 5YR4/2 裏：Hue 2.5YR4/6	Ⅳ13区撹乱一括	重量13.0g
	402	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 3.1 短径 2.7 厚さ 0.6	完形	表： 裏：	表：Hue 5Y8/2 裏：Hue 5Y8/1	Ⅳ14区3層一括	重量6.8g 表裏面施釉
	403	土製品（陶器転用）	破片面子	長径 3.4 短径 2.95 厚さ 1.1	完形	表： 裏：	表：Hue 5YR4/3 裏：Hue 2.5YR4/3	Ⅳ14区3層一括	重量13.4g 擂鉢利用
	404	土製品（磁器転用）	破片面子	長径 2.7 短径 2.5 厚さ 0.7	完形	表： 裏：	表：Hue 2.5GY8/1 裏：Hue 2.5GY8/1	Ⅳ23-1区撹乱一括	重量5.0g 染付け 表裏面施釉
図版75	405	須恵器	蓋	口径 16.2 底径 器高 3.0	1/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y6/1	Ⅳ5区4層一括	
	406	土師器	坏	口径 13.8 底径 9.4 器高 3.4	1/2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅳ5区撹乱一括	口縁部一部にスス付着 底部に回転ヘラ切り
	407	土師器	坏？	口径 18.0 底径 器高 3.4	1/4	内：磨き 外：削り，磨き	内：Hue 2.5YR4/8 外：Hue 2.5YR4/8	Ⅳ1区4層一括	内外面に赤彩
	408	須恵器	坏	口径 12.0 底径 7.0 器高 3.7	1/2	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅳ7区4層 Đ2	内外面に赤彩 底部に回転ヘラ切り
	409	土師器	碗	口径 15.6 底径 9.6 器高 6.0	1/3	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅳ10-3区撹乱一括	貼付高台 内面一部にスス付着 底部に回転ヘラ切り
	410	土師器	坏	口径 底径 12.0 器高	底部片	内：回転ナデ，ナデ 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅳ11区4層一括	底部に墨書？ 内外面に赤彩
	411	土師器	坏	口径 16.0 底径 9.0 器高 5.1	1/4	内：磨き 外：磨き	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 5YR7/6	Ⅳ29区4層一括	内外面に赤彩 底部一部にスス付着 底部に回転ヘラ切り
	412	土師器	竈	口径 底径 器高	破片	内：ナデ，削り 外：削り，ハケ目	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 5YR6/4	Ⅱ4-4区4号竪穴建物掘方埋土北東・南東 Ⅱ4-4区5号竈埋土 Đ2 Ⅱ4-4区4層 Đ23	
	413	土師器	坏？ 高坏？	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5YR4/6 外：Hue 2.5YR4/6	Ⅳ13区3層一括 Ⅳ13-2区4層 Đ4・14	内外面に赤彩
	414	須恵器	壺	口径 20.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5GY5/0 外：Hue N4/0	Ⅳ14区4層一括	
	415	須恵器	壺？	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y4/1 外：Hue 7.5Y3/1	Ⅲ1区7号竪穴建物埋土一括	内外面に自然釉
	416	須恵器	坏？	口径 底径 器高	破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 2.5Y6/1	Ⅳ10-2区西側4層一括	外面に墨書あり

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	417	石製品	砥石	長さ 6.7 幅　6.2 厚さ 2.2	破片	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V31区4層一括	重量104g 表面に粗く削った擦痕 両側面は偏平で細かい擦痕 裏面欠損
	418	石製品	碁石	長さ 1.8 幅　1.5 厚さ 0.5	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ13区西側4層一括	重量2.0g
	419	石製品	碁石	長さ 1.8 幅　1.5 厚さ 0.5	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V11区拡張部3層一括	重量2.2g
	420	鉄製品	鉄塊	長さ 幅 厚さ		内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ25区1号溝埋土3一括	重量115g
図版76	421	陶器	碗	口径 8.8 底径 3.5 器高 4.5	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	外面：色絵，筆描き（茶とこげ茶の松の枝・コバルトの葉）
	422	磁器	小皿	口径 10.6 底径 6.1 器高 1.9	ほぼ完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	内外面：薄緑色の釉色
	423	磁器	碗	口径 15.6 底径 6.1 器高 5.9	2/3	内：施釉 外：施釉	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	内面：色絵，筆描き（こげ茶とコバルトの絵柄不明の模様） 外面：色絵，筆描き（コバルトの絵柄不明の模様）
	424	磁器	蓋？	口径 5.2 底径 2.0 器高 2.9	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	内面：色絵，印刷絵付（コバルトの紅葉），上絵（朱紅葉・金紅葉）
	425	陶器	小瓶	口径 2.35 底径 4.2 器高 9.3	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 2.5Y7/4 外：Hue 2.5Y7/4	V7区撹乱一括	底部に陰刻「岐853」
	426	陶器	小鉢	口径 8.2 底径 3.35 器高 4.4	完形	内：施釉 外：施釉	内：Hue 外：Hue 9/0	V4-2区ゴミ穴一括	内外面：薄緑色の釉色 外面：飛び鉋技法
	427	コンクリート製品	灰皿	口径 7.8 底径 8.4 器高 4.0	完形	内： 外：	内：Hue N7/0 外：Hue 7.5Y7/1	Ⅳ2区撹乱一括	底部に陰刻「1961.8 山本」 型造り？
	428	コンクリート製品	蓋	口径 6.5 底径 器高 2.4	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 2.5Y8/2 外：Hue 2.5Y8/2	Ⅳ5区撹乱一括	型押し（円形） 蓋上面に鉄分が数か所付着 円形の蓋の縁辺一カ所に空気孔と思われる四角い孔あり
	429	土師器	竈	口径 底径 器高	底部片	内： 外：回転ナデ，ナデ	内：Hue 外：Hue 7.5YR8/3	Ⅵ区撹乱一括	穿孔あり
	430	石製品	火打石	長さ 2.4 幅　1.75 厚さ 1.0	剥片	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4-2区撹乱一括	重量4.1g
	431	石製品	碁石	長さ 2.15 幅　2.15 厚さ 0.55	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅳ13区3層一括	重量3.2g
	432	土製品	泥面子	長さ 4.0 幅　2.5 厚さ 1.4	2/3	内： 外：	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅱ4-3区撹乱一括	重量7.7g
	433	銅製品	不明品	長さ 7.7 幅　0.35 厚さ 0.35	？	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ2区2号溝埋土1B1	重量1.4g
	434	銅製品	煙管	長さ 6.2 幅　2.4 厚さ 0.9	雁首のみ	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V5区撹乱一括	重量12.0g 全体的に緑青に覆われる
	435	銅製品	煙管	長さ 3.85 幅　0.9 厚さ 0.9	吸口	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V18区4層上面一括	重量2.9g 全体的に緑青に覆われる
	436	銅製品	煙管	長さ 8.4 幅　1.2 厚さ 1.2	吸口	内： 外：	内：Hue 外：Hue	Ⅲ1区3層一括	重量19.2g 全体的に緑青に覆われる
	437	ガラス製品	小瓶（整髪料）	口径 1.8 底径 5.7 器高 11.9	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	無色透明 シール文字「バイタリス」
図版77	438	ガラス製品	容器	口径 5.1 底径 4.2 器高 7.2	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	外面に陽刻「GOLD BIRD」 底部に星形陽刻「☆」3個あり 銅製の蓋付き（内外面に緑青付着）
	439	ガラス製品	小瓶	口径 1.6 底径 2.4 器高 5.2	完形 （一部欠損）	内： 外：	内：Hue 外：Hue	出土地不明	コバルトガラス エンボス左右に陽刻で「東京」「尾澤」
	440	ガラス製品	小瓶（薬瓶？）	口径 1.4 底径 3.1 器高 7.15	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	青色の遮光瓶 外面に陽刻「紀州 和田赤心堂」「外用 一二水」
	441	ガラス製品	小瓶（薬瓶？）	口径 1.3 底径 2.65 器高 5.9	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V5区撹乱一括	機械製法，合わせ目あり オレンジ色透明 口部の厚み不均等 小さい気泡あり
	442	ガラス製品	小瓶	口径 1.8 底径 4.2 器高 9.4	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V7区撹乱一括	濃緑の遮光瓶

図	番号	遺　物	種類（器種）	法量（cm）	残　存　量	特　　徴	色　　調	出土遺構	備　　考
	443	ガラス製品	小瓶	口径 1.8 底径 4.6 器高 11.2	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V5区撹乱一括	無色透明 外面中心部に鶴の陽刻 底部は三角形の中に五弁の花の陽刻，外に陽刻「50」 少し気泡あり
	444	ガラス製品	小瓶	口径 2.4 底径 4.6 器高 4.9	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4-2区ゴミ穴埋土一括	ラムネ色 底部に陽刻「SSS」 口部は厚みが不均等 少し歪みあり気泡あり
	445	ガラス製品	小瓶	口径 3.2 底径 5.4 器高 6.65	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4-2区ゴミ穴埋土一括	底部に陽刻「SIMCO」 無色透明，銀化 口部の内側は削り取ったような跡小さい気泡あり
	446	ガラス製品	コップ？	口径 5.2 底径 4.2 器高 9.3	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4-2区ゴミ穴埋土一括	機械製法，合わせ目あり ラムネ色 外面に陽刻「江戸の華」 やや気泡が多い
	447	ガラス製品	薬瓶	口径 1.9 底径 5.2 器高 11.4	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V3-2区撹乱一括	無色透明，合わせ目あり 前面に陽刻「村上内科醫院」 側面に目盛り
	448	ガラス製品	薬瓶	口径 2.5 底径 7.6 器高 18.1	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	V4区撹乱一括	目盛り付き 気泡あり

Ⅲ　遺跡の総括

1．古代

（1）遺構の概要

本調査地点では、古代の遺構、遺物をⅤ区の一部を除いた大部分の範囲で発見することができた。遺構としては竪穴建物、溝、土坑、粘土・焼土集中部、ピットがある。柱穴は竪穴建物に伴う例が確認できたが、調査区が矮小なため、今回の調査では掘立柱建物を復元するには至らなかった。以下、竪穴建物、溝について概略を述べ、古代における当該地域の土地利用の分析に繋げる。過去に調査された黒髪南地区9810調査地点（小畑編2009）と本調査地点における竪穴建物と溝の分布図を図94に示したので参照されたい[1)]。遺物の年代観の参考にした文献を末尾にまとめている（網田1993・1994・2003、長佐古2007、原田2013、原田・美濃口編2004）。

①　竪穴建物

本調査では、平面形態や土層断面の観察から推定したものも含めて竪穴建物を計46基検出した。南北137m、東西112mの範囲に広がっている。竪穴建物の年代は、土師器や須恵器など遺物の内容により、紀元後７世紀から８世紀後半を主体とすることが分かった。まれに黒色土器Ａ類を埋土中に含む遺構も存在することから（Ⅳ５区12号竪穴建物）、遺構の埋没時期は９世紀まで下る可能性がある。竪穴建物同士の切合関係から少なくとも２時期から３時期にわたって竪穴建物が形成されたことが分かる。しかし、今回の調査で遺構全体を掘削できた竪穴建物は１基もなく、竪穴建物の２辺の長さを確定できた例も46基中３基しかない（Ⅱ４－２区25号、Ⅱ４－４区４号、Ⅳ６区19号）。さらに、床面で出土した遺物の内容も乏しいため、各竪穴建物の年代を確定することは困難であった。

竪穴建物の平面形態は隅丸方形あるいは隅丸長方形を主とする。その規模は大型のもので１辺５ｍを超えるが、小型だと１辺2.75m程の例がある。検出面から床面までの深さは５～30cmである。床面は硬化面が発達したものと、あまり顕著でない例があり、多くは竪穴建物の中央部または竈の周囲に明瞭で、壁面際では検出できないことが多い。竪穴建物の掘方は隅が丸みをおびつつ立ち上がるものが多く、通常、掘方底面中央部がやや高く、壁面側が低くなっていた。建物の方位は北が最も多く、次に北西が多い。竈も北側に付随する例が多いが、北東や北西、西に位置するものも少なからず見受けられる。竈の多くは残存状況が悪く、壁面や支脚が残るものは稀で、多くは建物廃棄時に故意の破壊を受けていると考えられる。竈埋土や周囲に砂岩礫が散布する例があり、袖など壁面の一部や支脚を構成したものと思われる。柱穴は床面で検出されることがしばしばあるが、本調査では調査範囲の都合から部分的検出に終始しており、明確な傾向は読み取れない。建物埋土から出土する遺物の多くは土師器および須恵器片で、稀に床面で状態のよい土師器坏や須恵器坏を検出した。竈埋土やその周辺では土師器甕、土師器鍋の出土が多く、これに土師器坏や須恵器片が混在する。

②　溝

各調査区で検出した溝について位置や方位、断面形態から同一遺構と判断したものを推定線で繋ぎ、溝Ａ～Ｍの計14条を復元した（図94）。溝は幅30cmから４ｍ、検出面からの深さ10cmから90cmと多用である。断面形態も浅いレンズ状、Ｕ字状、Ｖ字状、逆台形状と様々で、溝掘方上位にテラスを有する例もある。方位は溝Ａ、Ｄ，Ｅ、Ｇ，Ｊなど北北西－南南東に軸を持つもの、これに直行する方向の溝Ｉや溝Ｍ、北東－南西方向の溝Ｋ、Ｈなどがある。各溝から出土した遺物は大部分が小破片のため、各遺構の使用開始期や存続期間を決定することは困難であったが、遺物の内容から年代の上限を推定することはできた。すなわち溝Ａは８世紀以降、溝Ｃが８世紀中葉以降、溝Ｉが８世紀以降である。このうち溝Ｃは9810調査地点の10号溝に対応しており、越州青磁蓋が出土したことから、埋没時

期は９世紀前半代まで下ると推定できる。また、溝Ｂは龍泉窯碗破片が出土したことから、中世以降に時期比定でき、溝Ｇも埋土上層で火鉢が出土したことから中世末以降に埋没したと考えられる。ただし、溝Ａの北側部分に相当する9810調査地点１号溝では、埋没時期が遺物から中世末期と位置付けられており、これは本調査地点で検出した近世溝（Ⅲ１区２号溝）と対応する可能性がある。

（２）古代における土地利用

本調査地点は、白川の右岸、立田山南裾の自然堤防上に位置し、黒髪南地区理学部棟周辺に相当する。この周辺は発掘調査例が少なく古代の遺跡の範囲と規模が明確には把握できていなかった。過去に調査された黒髪南地区9810調査地点と本調査地点における竪穴建物の分布を概観すると、現状で竪穴建物の配置から、Ａ～Ｄの４つの建物群に分けることができる。すなわち9810調査地点周辺および本調査地点Ⅰ区東端、Ⅱ区南端、Ⅲ区北側に相当する建物群Ａと、Ⅰ区西端に相当する建物群Ｂ、Ⅲ区南端からⅤ区北端の建物群Ｃ、Ⅳ区中央部の建物群Ｄである。部分的な調査しか実施できていないが、例えば竪穴建物Ａ－Ｂ間や、建物群Ｃ－Ｄ間には空白地帯があり、集落の時期差あるいは建物の性格の違いなど竪穴建物の機能差を示している可能性がある。最も竪穴建物が密集している建物群Ａは、座標値Ｘ＝－20,650を境に南北に分かれそうである。仮に北側をＡ１群、南側をＡ２群で分けて、各建物群の比較をおこなう。各群の竈の配置に着目すると、Ａ１は北６基、北東４基、Ａ２は北７基、南１基、西１基、Ｂは北２基、北西２基、Ｃは北東１基、Ｄは北西３基、西１基である。建物群Ａは北や北東に多く、Ｂ・Ｄは北あるいは北西、西に竈が付随する傾向がある。本調査地点は白川方面から立田山側に向けて徐々に地形が高くなっており、これが竪穴建物の北側に竈が位置する理由の一つであろう。一方、調査地点西側（建物群Ｂ・Ｄ）で、北西に竈を持つ竪穴建物が集中する点は、古代の旧地形、すなわち当時の白川の流れに由来すると推測される。本調査地点における縄文時代後期の土層の堆積状況を分析した際、調査地点西側においては白川の一部がより内陸に流れていたか、あるいは支流が流れていたと想定できた（山野編2019：pp.104～109）。後述するように黒髪南地区の南西部では現地表面より２ｍ以上低い標高で近世の遺構が検出されており、黒髪南地区の西側と東側では地形に大きな落差があったことが判明している。黒髪南地区の南西部では古代の堆積層は削平されたか、そうでなければ当時の地表面がより下位にあると考えられる。建物群Ｂ・Ｄの方位は、より陸側におよんでいた白川の流れに沿って傾いていたと想定しておきたい。

次に各溝の関係性について概観しておきたい。溝Ａ、Ｅ，ＪはN18～23° Ｗで、ほぼ同じ方角へ走向している。また、溝ＩはN111° Ｗで、溝Ｅとは直行しており、調査区外で不明だが、溝Ａとも方角的には直行している。これらは条里等に関連する区画のための溝であった可能性がある。復元した溝Ｅ－Ｊ間の溝心心幅は約54.8ｍであり、１町（約109ｍ）のおおよそ半分である点にも注意を払いたい。溝Ａや溝Ｉは各竪穴建物を切っており、9810調査地点でも同様の状況が確認できることから、基本的に一連の溝は、竪穴建物の廃絶後に構築された可能性が高い。溝と一部の竪穴建物が併存していたことも考えられ、今後の調査の際に留意すべき点といえよう。

研究史上、熊本大学構内遺跡は延喜式西海道と思われる遺構が構内を南北に縦断しており、蚕養駅の推定地としても著名である。黒髪南地区9603調査地点で検出された１号・３号溝は、N5° Ｗに走向し、路面幅3.5ｍに推定される駅路の側溝に比定されている（鶴島1997、小畑・大坪編2008）。2012年には熊本市教育委員会による第９次調査において、大学敷地外北側にて古代西海道と思われる路面を検出しており（中里編2014）、対岸に広がる大江遺跡群でも10数か所でこれに関連する遺構が確認されている。また、9603調査地点で検出された大型の19号・21号掘立柱建物は、その配置や規模から

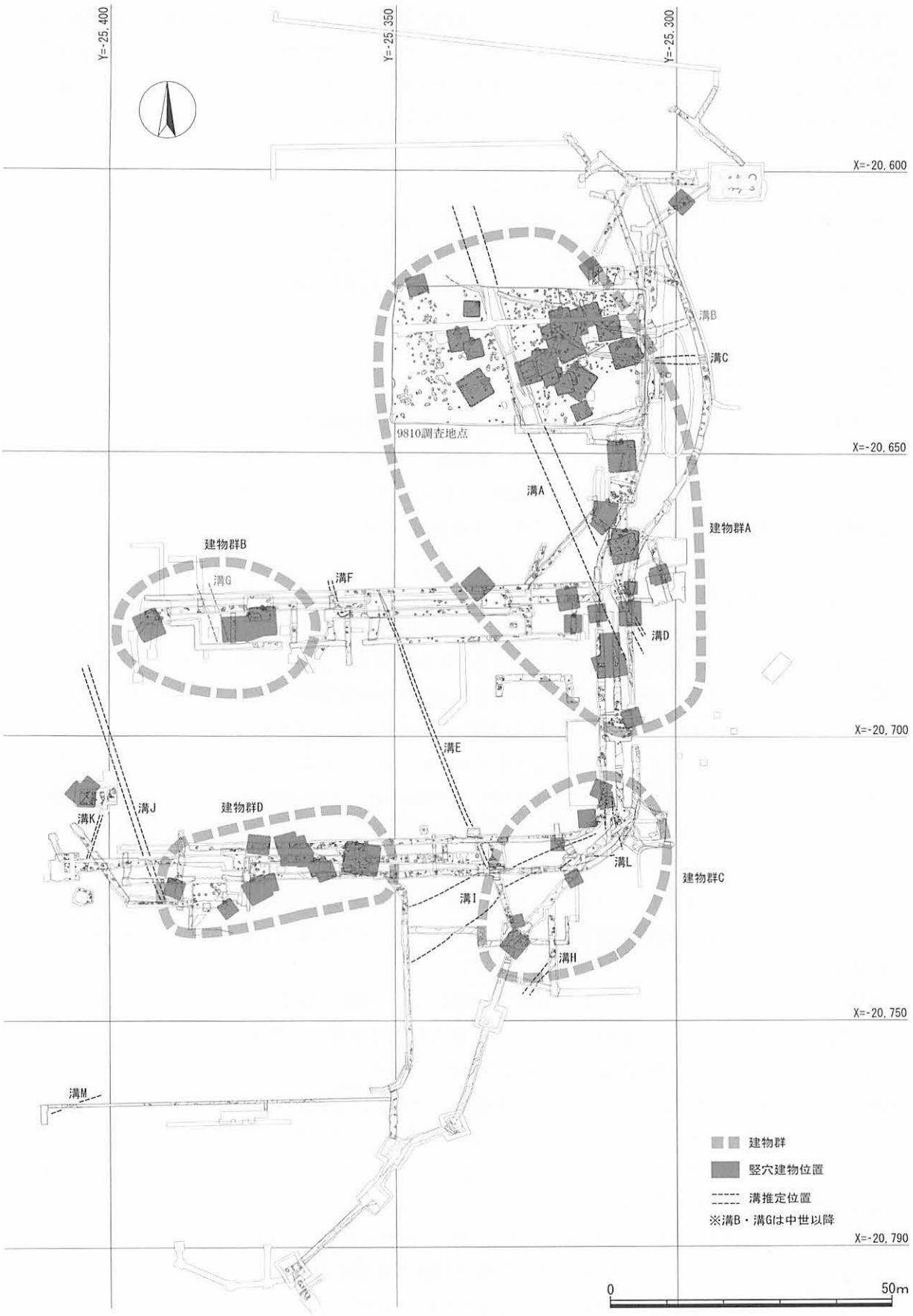


図 94　1310 調査地点古代遺構配置図（S=1/1000）

蚕養駅に関連する建物群であった可能性があり、古代にかけてこの一帯に蚕養駅に関連する公的機関が存在したことはほぼ間違いないだろう。本調査地点で検出した竪穴建物は７世紀から８世紀後半を主体としており、その一部は少なくともこの官道の存続期間と並行していたと考えられる。本調査地点からは墨書土器が10点出土するなど識字層を伺わせる資料は出土するものの、硯や刀子、碁石、丸鞆、巡方など役人に関連するような遺物がほぼ出土していない。このことから蚕養駅などの公的機関に関連する役人が本集落に居住する主要構成員であった可能性は低い。それでも飯炊きや馬の世話、建物の建築、その他雑用など蚕養駅の運用に直接ないし間接的に関わっていた人々である可能性は否定できない。今後、本調査地点だけでなく、黒髪南地区、あるいは黒髪北地区も含めた広範囲の集落構造の把握によって、こうした議論をより深化させていくことが可能になるだろう。

２．近世・近代

本調査地点では、近世および近代の遺構、遺物が複数調査区で発見された。すなわち近世の土坑と溝、近代の土坑、溝、栗石基礎、井戸である。本調査ではこれら全ての詳細な調査を実施することはせず、とくに近代については、埋土内出土遺物の一括取上げや、検出・完掘状況の写真記録、遺構の平面測量などの簡易的調査に終始した。以下、本調査成果から想定できる近世から近代の黒髪南地区の土地利用についてまとめる。

（１）近世における土地利用

近世の遺構として、調査地点東側中央部、Ⅲ１区とその周辺調査区において北西－南東方向に走る大溝（Ⅲ１区２号溝）が注目される。溝は先述した古代の溝Ａと並行・重複しており、土層の観察から溝Ａの埋没後、その窪みを利用して同一直線上に再築された可能性がある。溝埋土からは肥前系磁器など18世紀頃の資料が出土しており、近代の遺物が確認できないことから埋没時期はおおよそ近世におさまると考えられる。また、調査地点北東では東西に走るⅡ11区１号溝を検出しており、その西側延長線上には9810調査地点３号溝が走向する（小畑編2009）。9810調査地点３号溝も遺物の内容から近世以降の溝と推定されており、配置や溝の断面形態からもⅡ11区１号溝と同一遺構の可能性が高い。また、調査区外であったため明確ではないが、Ⅲ１区２号溝とⅡ11区１号溝（または9810調査地点３号溝）は両者の延長線上、座標値Ｘ＝－20,647、Ｙ＝－25,323付近で直行に近い形で交錯している可能性がある。それぞれの溝の性格は不明だが、区画のための溝か、排水施設などの機能を有したと思われる。

本調査地点から西に約200m、黒髪南地区の南西端には、衝撃実験棟など工学部系の校舎が立ち並ぶ。黒髪南地区9909・0203・1309調査地点ではこれら校舎を建築する事前の発掘調査によって標高16.6m程から、近世中期・後期の畑と、近世後期の墓などが検出されている（柴田・山野編2018ほか）。本調査地点を含む黒髪南地区は、立田山の南西裾と白川右岸に挟まれた舌状に広がる平野部に位置している。この一帯は藩政時代の飽田郡黒髪村に含まれており、文化２年（1805）の『熊本之図』によると、「上河原」という地名にあたり「畑」と記されている。また天保３年（1832）に、鹿子木維善が藩命で著した『藤公遺業記』によると「立田口白川筋上河原に大成洲あり河原開の畑あり或いは墓所あり・・・」との記載がある（武藤他1909：p149）。各調査地点での調査成果はこうした文献記録とも符合する部分があり、両者の比較は黒髪地区の近世の土地利用を考える上で重要である。

また、本調査地点と黒髪南地区南西部では土層の堆積状況が大きく異なっていることには注意を払いたい。近世の遺構検出面である４層（黒褐色土層）の上面のレベルは、本調査地点Ⅱ区で18.6～

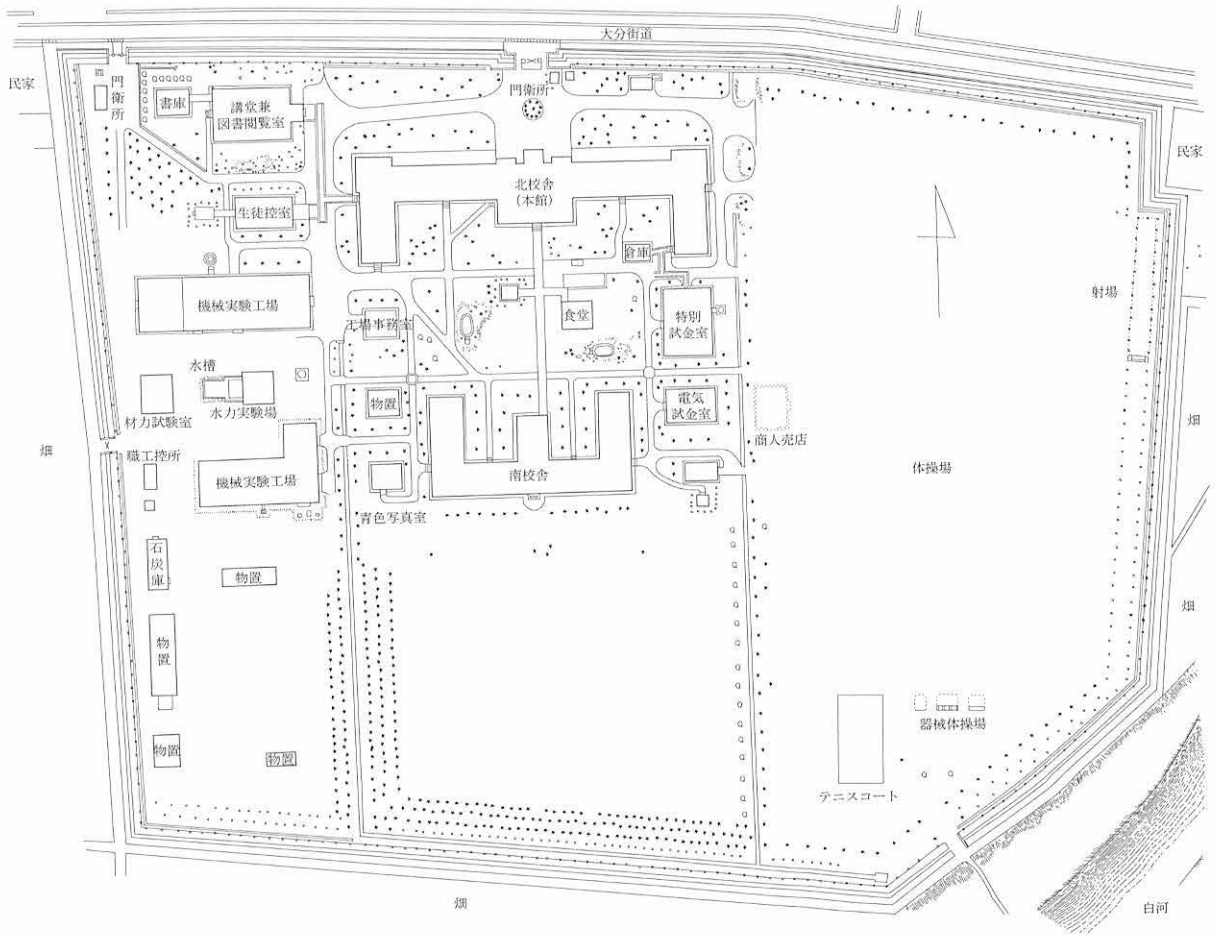


図 95　熊本高等工業学校平面図（縮尺不明）
明治 42 年時点：熊本高等工業学校編 1910 より一部改変

19.5m、Ⅲ区で標高18.6～18.9m、Ⅴ区18.4～18.85mだが、1309調査地点では４層の堆積がなく、標高16.6～16.5mで近世の遺構を検出できる。1309調査地点が200mほど下流側にあるとはいえ、同じく白川に近いⅤ区と大きな標高差がある点は、白川の河岸段丘地形の起伏など原地形のダイナミックな様子と複雑さを物語っている。

（2）近代における土地利用

近代の遺構は、主に３か所で確認できた。調査地点北東端のⅡ８区周辺部、調査地点南東側のⅢ区南側からⅤ区北側周辺部にかけて、そして調査地点南端のⅤ区南西部である（図96）。黒髪南地区の大部分は、明治41年（1908）、第五高等学校の工学部が独立して開設した熊本高等工業学校の敷地に由来する（図95）。現在も残存している竣工当時の建物は、煉瓦建築の旧機械実験工場（現工学部研究資料館）と書庫（現文書館）である。また、熊本高等工業学校時代の初代本館は木造で、1908年に竣工した後、大正11年（1922）に不慮の火事で焼失し、大正14年（1925）に現在の鉄筋コンクリート造りの本館へと改築された。従前の調査では、熊本高等工業学校時代の校舎の基礎を黒髪南地区1429他調査地点や1724調査地点など複数の地点で確認、調査している。『熊本高等工業学校一覧』には、敷地や校舎に関する「土地及び建物表」が掲載され、校舎地図である「熊本高等工業学校平面図」が付してある。明治42年から昭和19年（1909～1944）年までの校舎の変遷をある程度伺い知ることがで

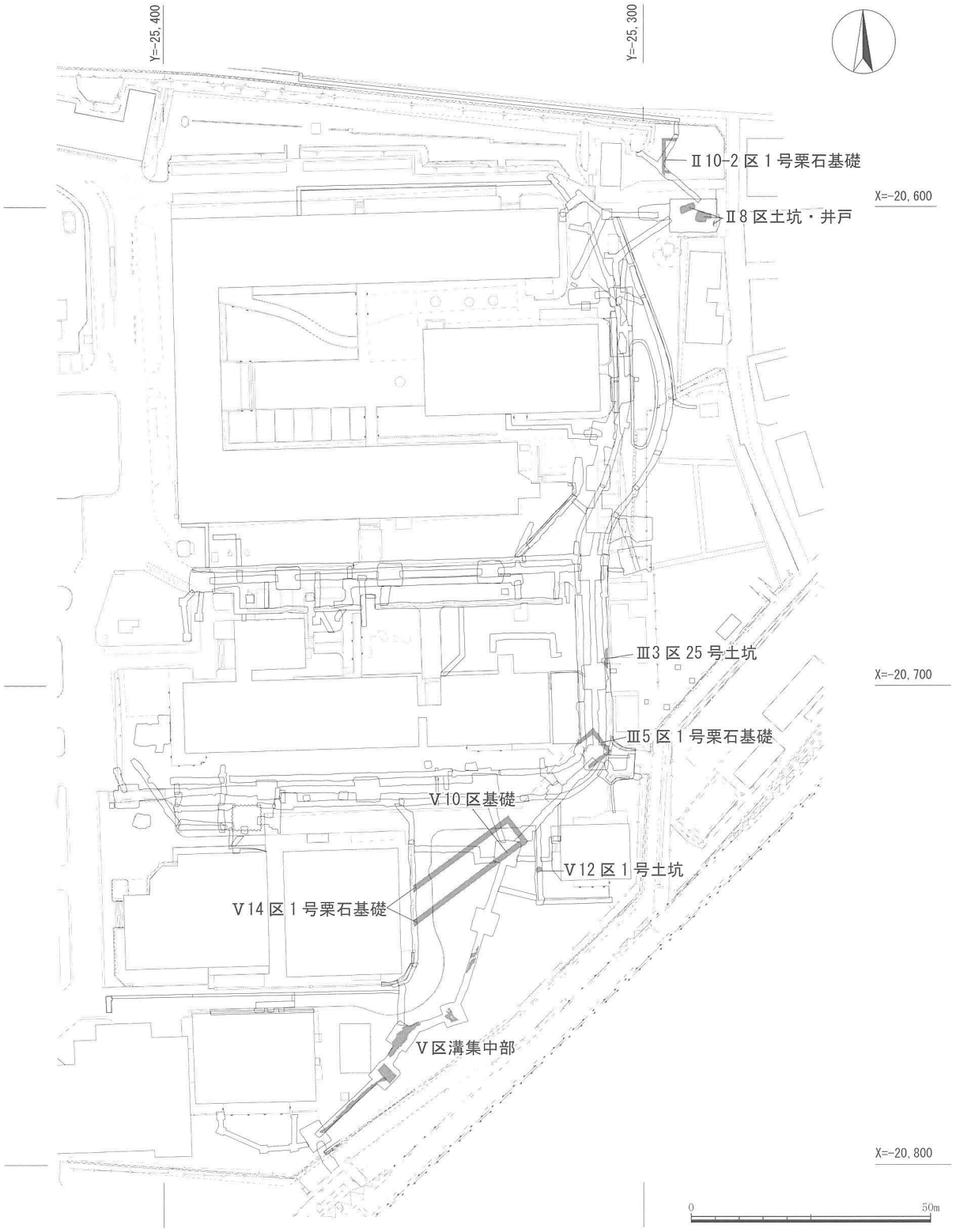


図 96　1310 調査地点近代遺構配置図（S=1/1250）

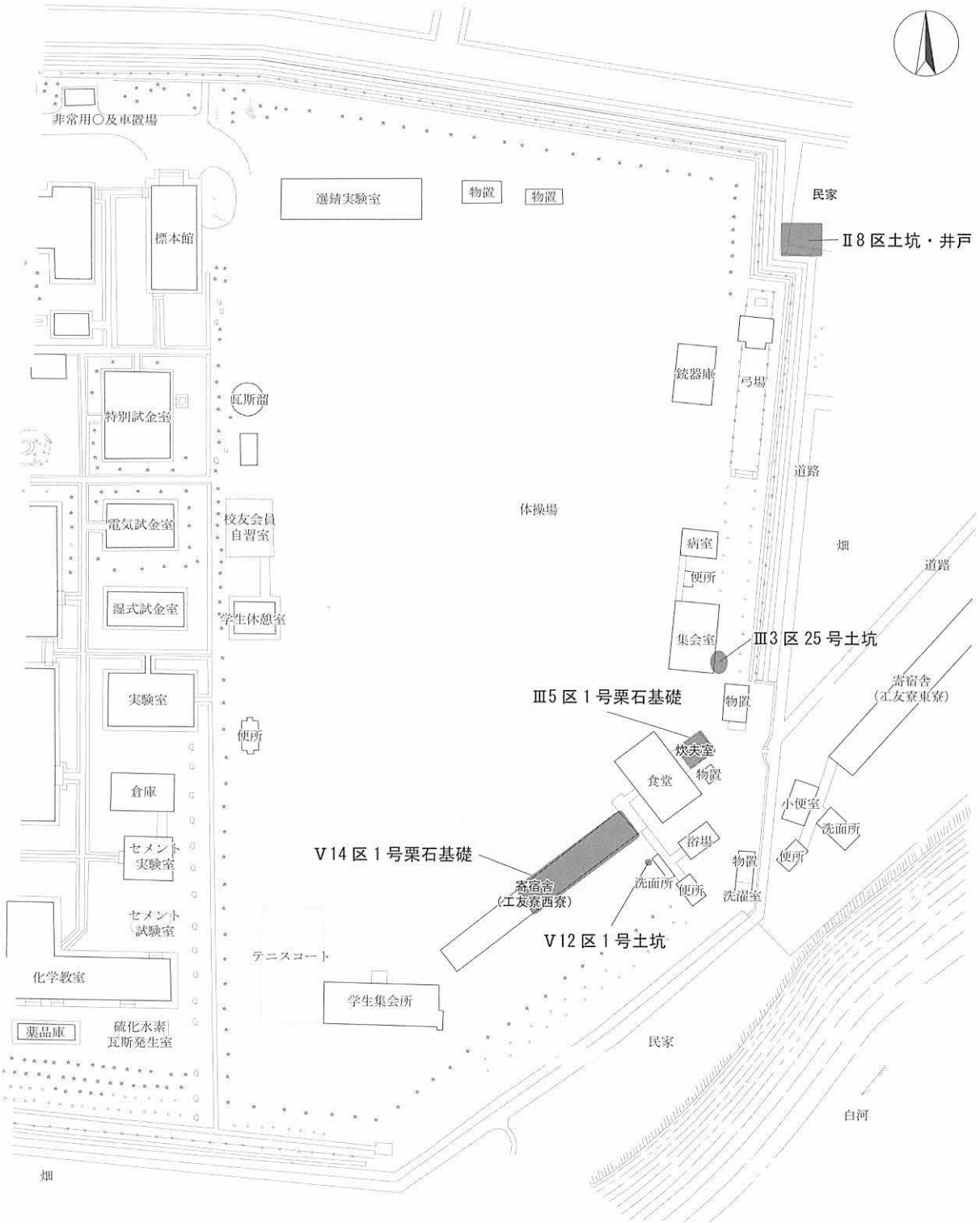


図97　昭和11年頃の熊本高等工業学校平面図（縮尺不明）

熊本高等工業学校編1937の「熊本高等工業学校平面図」をデジタルトレース

きる（熊本高等工業学校編1910他）。本調査地点は熊本高等工業学校あるいは後続する熊本工業専門学校の敷地東側部分、体操場にほぼ相当している。1911年12月１日には、熊本高等工業学校の学生寮である「工友寮」が白川沿いに開設した（図97）。1980年３月に閉寮するまでの間、熊本高等工業学校、熊本工業専門学校、熊本大学工学部の学生諸兄が青春時代を過ごし、勉学に励んだ。遺構の検出位置と地図との比較や遺物の内容から、今回の調査で検出した近代遺構のいくつかは、この「工友寮」に関連することが分かった。

本調査地点南西部で検出されたＶ14区１号栗石基礎やⅢ５号１号栗石基礎は南西－北東に軸を持つ。その位置と方位から工友寮に関連する建物の基礎であることが判明した。すなわち前者が工友寮の寄宿舎（西寮）、後者がその東に付随する炊夫室である。寄宿舎（西寮）は明治44年（1911）に新築後、昭和９年（1934）に改築され、炊夫室は大正５年（1916）に新築されている。この炊夫室から北へ14ｍの位置で検出したⅢ３区25号土坑からは、大量の近代の陶磁器、ガラス製品などが得られた。「工友寮」と書かれた磁器小碗の存在や、銅板印刷の磁器類、ガラス製品の年代から、明治44年～昭和初期に廃棄された資料と推定した。本土坑は工友寮の北にあった集会室と一部重複しており、集会室が昭和６～７年に建築されていることも整合性がとれる。また、寄宿舎の南側で検出したＶ12区１号土坑は、出土した磁器の多くに生産者識別番号が記されており、これらは戦時中あるいは戦後の遺構であることが分かる。シジミなどの貝殻類と大量の魚骨片が埋土中に出土したことから、あるいは戦時下、贅沢に魚介類の汁物を食した諸兄の証拠隠滅のためのゴミ穴とも推定でき、当時の時代背景を映し出しているのかもしれない。

Ⅱ８区周辺部では、Ⅱ８区にて土坑２基と井戸１基、Ⅱ10－２で栗石基礎を一基確認している。いずれも遺構の築造年代は判然としないが、型紙技法による磁器や赤煉瓦の存在から明治20年代以降であると推定できる。地図で遺構の配置を確認したところ、このⅡ８区は熊本高等工業学校の北東端の敷地外にあたることが分かった。熊本高等工業学校が開設した明治41年以降、少なくとも昭和16年頃までは学校北東端には民家が存在しており、Ⅱ８区の近代遺構はこの民家に関連する可能性が高い。一方、Ⅱ10－２区の１号栗石基礎は、おおよそ敷地北東隅境界線上にのっている。調査では栗石基礎の上に煉瓦が積まれていることが確認されており、木造か煉瓦建築の基礎と推定されるが、現状で該当する建物を特定できていない。

Ｖ区南西部では、近代と思われる溝を複数確認できている。このうちＶ３－２区２号溝は大型の石材を積んで作られており、暗渠と考えられる。また、溝底面のレベルを確認したところ、Ｖ３－１区１号溝が南西から北東方向へ下り、Ｖ４－１区１号溝が北東から南西方向へ下るため、Ｖ区２号溝に集水し、白川に向けて排水していた可能性が高い。年代は明確でないが、Ｖ３－１区１号溝で出土した銅板転写の磁器から明治20年代以降であると推測でき、やはり工友寮など熊本高等工業学校に関連した施設と考えるべきである。

３．遺跡の位置づけと今後の展望

黒髪南地区1310調査地点では、縄文時代、古代、中世、近世、近代の遺構・遺物を発見した。古代では竪穴建物や溝、土坑、ピットなど遺構や、これに伴う土師器、須恵器などの土器類、金属製品、石製品、土製品などの遺物を検出した。これにより従前の調査では不明であった黒髪町遺跡群南東端における古代の集落規模と存続年代を部分的ながら解明することができた。また、竪穴建物に後出する溝を確認し、方位や配置から条里等に関連する区画溝である可能性を指摘した。近世・近代では溝

や土坑、栗石基礎などの遺構やこれに伴う陶磁器、瓦、ガラス製品などの遺物を検出した。とりわけ熊本高等工業学校時代に開寮した学生寮である「工友寮」に関連する資料が得られたことは重要である。由来の明らかな近代の陶磁器類の報告例は乏しく、当時の学生生活の実態把握や、陶磁器類など食器類の消費動向の復元、近代陶磁器の編年の充実においても有用な資料となりえるだろう。

本遺跡の調査によって得た重要な成果は大きく２つあげられる。１つは黒髪町遺跡群南東端における土の堆積状況について、広範囲におけるデータを集積し、土層の性質や年代を遺物の内容や地質学的分析から裏付けてできたことである。もう１つは、縄文時代から近代という長期間における遺構、遺物を発見し、その分布を把握できたことで、当該地域の通史的な土地利用の実態と集落構造を、部分的ながらも解明できた点である。これらは広範囲にトレンチを設けるライフライン再生工事ならではの成果である。一方で、この種の工事の弊害として、面的な調査を実施できず、遺構を切り刻むような部分的調査に終始しなければならないこと、これに伴い調査が煩雑になり、調査期間が増大する点があげられる。大学構内でこれからも続くと思われるライフライン再生工事にあたり、今回の反省を生かした調査を実施していく必要がある。今後は本調査地点における成果を基にして、黒髪町遺跡群と周辺遺跡における従前の調査成果の整理しながら、新たな発掘調査で有用なデータを得ることで、本地域における歴史を復元していきたい。

注釈

１：9810調査地点の遺構配置図について小畑編2009の図11をトレースし、図94に合成した。この際、座標について日本測地系を世界測地系に変換し、本調査地点に合わせたが、実際の位置から北に約３ｍずれていたことが判明した。図94では溝の位置や撹乱の位置から南北位置を推定して南へ３ｍの位置にずらしている。

引用・参考文献

網田龍生　1993「古代肥後の土器」『大江遺跡群』Ⅱ　pp.73－104　熊本市教育委員会

網田龍生　1994「肥後における回転台土師器の成立と展開」『中近世土器の基礎研究』Ⅹ　pp.93－117　日本中世土器研究会

網田龍生　2003「古代荒尾産須恵器と宇城産須恵器」『先史学・考古学論究』Ⅳ　pp.357－386　龍田考古会

小畑弘己・大坪志子編　2008『熊本大学構内遺跡発掘調査報告書』Ⅳ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第４集　熊本大学埋蔵文化財調査室

小畑弘己編　2009『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅴ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第５集　熊本大学埋蔵文化財調査センター

熊本高等工業学校編　1910『熊本高等工業学校一覧』明治41-42年　熊本高等工業学校

熊本高等工業学校編　1937『熊本高等工業学校一覧』昭和11-12年　熊本高等工業学校

鶴嶋俊彦　1997「肥後国北部の古代官道」『古代交通研究』第７号　pp.39－66　古代交通研究会

長佐古真也　2007「続・お茶碗考－近代・現代の中形碗に飯碗を探る－」『考古学が語る日本の近現代』　pp.169－208　同成社

中里伸明編　2014「黒髪町遺跡群　第９次調査区」『熊本市埋蔵文化財調査年報』第16号　平成24年度　熊本市教育委員会

原田範昭　2013「１．８世紀後半の土器」『二本木遺跡群』21　pp.239－271　熊本市教育委員会

原田範昭・美濃口雅朗編　2004『古町遺跡』Ⅰ　熊本市教育委員会
松田光太郎・大坪志子編　2017『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』Ⅻ　熊本大学埋蔵文化財調査報告書第12集　熊本大学埋蔵文化財調査センター
美濃口雅朗　1994「熊本県における中世前期の土師器について」『中近世土器の基礎研究』Ⅹ　pp.119－148　日本中世土器研究会
武藤巖男・宇野東風・古城貞吉編1909「藤公遺業記」『肥後文献叢書』　pp.136－165　東京隆文館
山野ケン陽次郎・柴田亮編　2018『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』ⅩⅢ　熊本大学埋蔵文化財調査センター
山野ケン陽次郎編　2019『熊本大学構内遺跡発掘調査報告』14　熊本大学埋蔵文化財調査センター

Summary

In 1985, Kumamoto University planed a reconstruction of campus. But it was known that some of campus is designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Research Center for buried Cultural Properties in haste, and has been excavating the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt.

We have two main campus sites at different areas. The one is the Kurokami area where is constituted of faculty of Science and faculty of Engineering (south area), faculty of Education, faculty of Law, and faculty of Letters (north area), and included in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt.Tatuta on a low terrace formed by the Shirakawa River. The site is regarded as an ancient posting-station "Kokai". The other one is the Honjo area where is constituted of School of Medicine, Kumamoto University hospital and institutes (north and middle area), school of Health Science (south area), and included to Honjo site. The site is located on a low terrace formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimachi site to Honjo site in a straight line. In the circumstance of Honjo site, there are large ancient settlement sites like Oe site and Shinyashiki site. School of Pharmacy and Oe athletic field (Toroku area) belong to Oe site. Kyomachi area where is constituted Elementary School and Junior High School Attached to faculty of Education is belong to Kyomachidai site. The site is located on the Kyomachi plateau, and is famous for as the site of Yayoi period.

The result of the No.1310 in Kurokami South area where was investigated in the fiscal years 2013 to 2014 are published in this report. No.1310 is located west in Kurokami South area. The investigated area is surrounded by the building of department of Science. In a previous survey, we discovered the pit dwellings and ditch in Arcient times. So we expected that there will be remains what is good condition in this investigation too. In this investigation, In addition to discovering many features in Arcient times, we have gained important research results such us finding the cultural layer of the late Jomon period from the layer, which was conventionally thought not to have human ruins. Already we published the report result of Jomon period in 2019.

The result of survey, we found features and relics of Arcient times, Medieval period, Early modern period, Modern period. Mainly We found relics and remains from A.D.700 to 900 in this survey. For example, there are pit dwellings, ditch, earthen pits. And we discovered haji ware, sue ware, roof tiles, iron implements, stone-made object, cray-made object as relics in Arcient times. We could know a part of size and age of village in Arcient times in southeastern end of KuroKamimachi site that was unknown so far. In addition, we discovered ditch, pits, building foundations, and ceramics and porcelain, glass-made object in Early modern period and Modern period. Especially, relics related to the dormitory of Kumamoto Technical High school are important. In the future, it will be possible to restore a new history in this area by organizing the materials so far of this site based on the results at this survey point.

概　要

1985 年，熊本大学曾计划过现在校园的重建开发项目。然而得知校园内几个地区是被指定的地下文物的埋藏地。1994 年，熊本大学作为考古研究机构迅速成立了文物保护研究所，在重建老朽化建筑物时，对校园地下进行挖掘调查。

大学有两个主要的校区。第一个是属于黑发町遗迹群的黑发校区。黑发校区由教育学部，法学部，文学部（北地区），工学部和理学部（南地区）组成。遗迹位于立田山的山脚下，在白川形成的低阶地位置，推断古代的车站「蚕养」站就是在这。

另一个是属于本庄遗迹群的本庄荘校区。本庄荘校区由熊本大学附属病院（北地区），熊本大学医学部（中地区），保健学科（南地区）组成。遗迹位于白川的低位阶地上，与黑发町遗迹群类似。黑发町遗迹群和本庄遗迹直线距离相隔 2 公里。本庄遗迹的周围有大江遗迹群和新屋敷遗迹，都是巨大的古代村落遗迹。熊本大学的药学部和运动场（渡鹿地区）都属于大江遗迹群。教育学部附属小学校和中学校所在地京町地区属于京町台遗迹群。遗迹是位于京町台地上，作为弥生時代的遗迹非常有名。

本报告书记载了 2013 年度到 2014 年度被调查的黑发南地区 1310 调查地点（黒髪町遺跡群）的关于古代，中世纪，近代初期，近代的挖掘调查成果。1310 调查地点在熊本大学黑发南校区理工学部教学楼附近。调查地点位于熊本市的东北方向，处在立田山和拥有阿苏水源的白川大自然提防中间。从以往的调查结果中发现了附近古代的竖坑式住居遗迹和水沟等聚落遗址。

在本次调查中发现了绳文时代，古代，中世纪，近代初期，近代的遗址和遗物。挖掘出了以 7、8 世纪后半期为主的竖坑式住居、水沟、坑等遗址。并从上述遗址里挖掘出了土师陶器，古陶器等陶器和金属制品，石材制品，土制品等。从挖掘出的遗址和遗物分析解释出了黑发町遗址群东南端的古代聚落的规模和生存持续的年代。此外，确认了比竖坑式住居更新时代的沟渠，指出从方位和配置上可能是与条里制相关的区划沟。挖掘出了近代初期、近代的土坑和卵石等，以及伴随着遗迹出土的陶器，瓦，玻璃制品等遗物。特别是对获得熊本高等工业学校时期（明治 41 年～昭和 29 年）开设学生宿舍「工友寮」相关资料来说相当重要。近代陶器由来的报告例非常少，对把握当时学生生活的实际生活状态和陶器等餐具类的消费动向的复原，对近代陶器的编年史来说也会是非常重要的资料。

写真図版

写真１　Ｉ１区１号竪穴建物遺物出土状況（東より）

写真２　Ｉ１区１号竈半裁状況（北西より）

写真３　Ｉ１区南壁土層断面（北西より）

写真４　Ｉ１区遺構完掘状況（西より）

写真５　Ｉ１区１号竈遺物出土状況（北より）

図版2　1310調査地点Ⅰ区

写真6　Ⅰ2区1号竈遺物出土状況（南より）

写真7　Ⅰ2区遺構完掘状況（南より）

写真8　Ⅰ2区2号竪穴建物土層断面（北より）

写真9　Ⅰ3区遺構完掘状況（南より）

写真10　Ⅰ3区西壁土層断面（東より）

写真11　Ⅰ4区1号土坑遺物出土状況（東より）

写真12　Ⅰ4区2号竪穴建物完掘状況（北西より）

写真13　Ⅰ4区遺構完掘状況（南より）

写真 14　I 5 区 5 号溝完掘状況（北より）

写真 15　I 6 区遺構検出状況（西より）

写真 16　I 7 区 1 号溝完掘状況（北西より）

写真 17　I 8 区遺構完掘状況（北西より）

写真 18　I 8 区 1 号溝完掘状況（北より）

写真 19　I 9 区掘削状況（北東より）

写真 20　I 10 区掘削状況（西より）

写真 21　I 11 区 4 層検出状況（北東より）

図版 4　1310 調査地点 I 区

写真 22　I 12 区 22 号粘土集中部半裁状況（南より）

写真 23　I 12 区 9 号竪穴建物掘方完掘状況（南東より）

写真 24　I 23 区東側遺構完掘状況（西より）

写真 25　I 23 区 4 号溝完掘状況（西より）

写真 26　I 24 区遺構完掘状況（南西より）

写真 27　I 26 区遺構完掘状況（北より）

写真 28　I 27 区遺構完掘状況（北より）

写真 29　I 28 区遺構完掘状況（南より）

写真 30　I 29 区遺構完掘状況（南より）

写真 31　I 29 区遺構完掘状況（東より）

写真 32　I 30 区掘削状況（北より）

写真 33　I 31 区掘削状況（南より）

写真 34　I 32 区掘削状況（南より）

写真 35　I 33 区掘削状況（東より）

写真 36　I 34 区掘削状況（西より）

写真 37　I 35 区遺構完掘状況（北より）

図版 6　1310 調査地点 I 区

写真 38　I 36 区遺構完掘状況（南より）

写真 39　I 37 区東側 2 号竪穴建物南北ベルト東壁土層断面（東より）

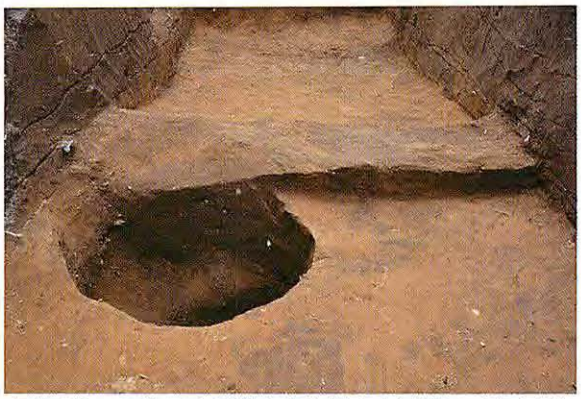


写真 40　I 37 区 2 号竪穴建物掘方土層断面（東より）

写真 41　I 37 区 2 号竪穴建物掘方完掘状況（東より）

写真 42　I 37 区西側完掘状況（東より）

写真 43　I 37 区東側遺構完掘状況（西より）

写真 44　I 38 区 1 号竈土層断面（南より）

写真 45　I 38 区 7 号ピット土器出土状況（東より）

写真 46　I 38 区 1 号竈完掘状況（南より）

写真 47　I 38 区 1 号竪穴建物掘方土層断面（南より）

写真 48　I 38 区 1 号竪穴建物完掘状況（南より）

写真 49　I 38 区 1 号竪穴建物土層断面（西より）

写真 50　I 39 区掘削状況（北より）

写真 51　I 40 区 8 号竈完掘状況（南より）

写真 52　I 40 区 8 号竈土層断面（北より）

写真 53　I 40 区遺構完掘状況（西より）

図版 8　1310 調査地点Ⅰ・Ⅱ区

写真 54　Ⅰ41 区掘削状況（西より）

写真 55　Ⅰ42 区掘削状況（北より）

写真 56　Ⅰ43 区掘削状況（北より）

写真 57　Ⅰ44 区掘削状況（北より）

写真 58　Ⅰ45 区掘削状況（南東より）

写真 59　Ⅰ46 区掘削状況（西より）

写真 60　Ⅱ1 区 7 号竪穴建物土層断面（北東より）

写真 61　Ⅱ1 区遺構完掘状況（北東より）

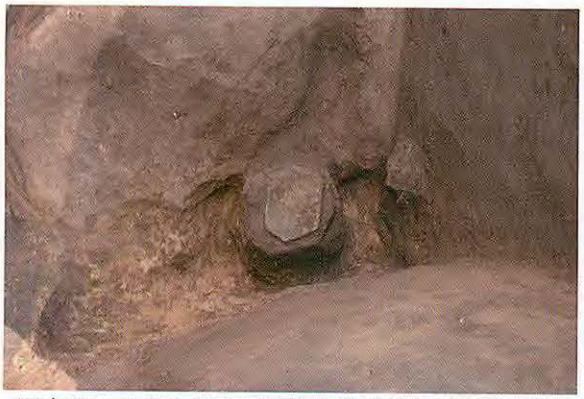


写真 62　Ⅱ4-1 区 3 号溝遺物検出状況（南西より）

写真 63　Ⅱ4-1 区 3 号溝完掘状況（西より）

写真 64　Ⅱ4-1 区遺構完掘状況（南より）

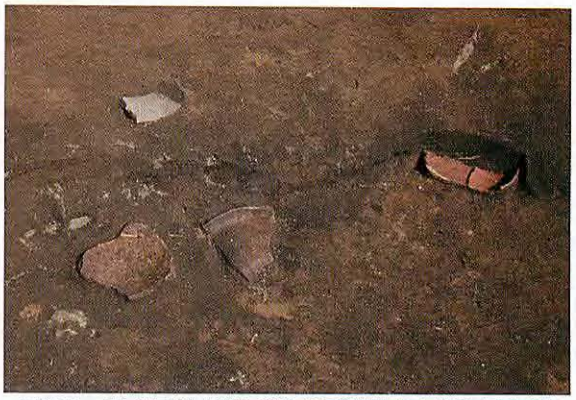


写真 65　Ⅱ4-2 区 25 号竪穴建物北東隅遺物出土状況（東より）

写真 66　Ⅱ4-2 区 25 号竈完掘状況（南より）

図版 10　1310 調査地点Ⅱ区

写真 67　Ⅱ4-2 区 25 号竈南北ベルト土層断面（東より）

写真 68　Ⅱ4-2 区 25 号竪穴建物床面検出状況（南より）

写真 69　Ⅱ4-2 区 25 号竈焼土土層断面（東より）

写真 70　Ⅱ4-2 区 25 号竪穴建物掘方完掘状況（南より）

写真 71　Ⅱ4-3 区 34 号竈遺物出土状況（東より）

写真 72　Ⅱ4-3 区 34 号竈完掘状況（南より）

写真 73　Ⅱ4-3 区 34 号竈掘方南北ベルト土層断面（東より）

写真 74　Ⅱ4-3 区 34 号竈以外の遺構完掘状況（南より）

写真 75　Ⅱ4-4 区 4 号竈東西ベルト土層断面（南より）

写真 76　Ⅱ4-4 区 4 号竪穴建物堀形土層断面（東より）

写真 77　Ⅱ4-4 区 4 号竪穴建物掘形完掘状況（北より）

写真 78　Ⅱ4-4 区 5 号竈東西ベルト土層断面（南より）

写真 79　Ⅱ4-4 区 4 号竈および竈周辺遺物出土状況（南より）

図版 12　1310 調査地点Ⅱ区

写真 80　Ⅱ4-4 区 5 号竪穴建物土層断面（南より）

写真 81　Ⅱ4-4 区 5 号竈完掘状況（南より）

写真 82　Ⅱ4-4 区 5 号竪穴建物床面検出状況（南より）

写真 83　Ⅱ4-4 区 5 号竪穴建物掘方土層断面（南より）

写真 84　Ⅱ4-4 区遺構完掘状況（南より）

写真 85　Ⅱ5 区掘削状況（東より）

写真 86　Ⅱ6 区掘削状況（東より）

写真 87　Ⅱ7 区掘削状況（西より）

写真 88　Ⅱ8 区遺構完掘状況（西より）

写真 89　Ⅱ8-2 区掘削状況（西より）

写真 90　Ⅱ9 区褐色粘質土検出状況（西より）

写真 91　Ⅱ10 区掘削状況（西より）

写真 92　Ⅱ10-2 区 1 号栗石基礎検出状況（南より）

写真 93　Ⅱ区 10-2 区遺構完掘状況（南より）

写真 94　Ⅱ11 区 13 号溝完掘状況（東より）

写真 95　Ⅱ11 区 16 号溝完掘状況（西より）

図版 14　1310 調査地点Ⅱ区

写真 96　Ⅱ11 区 8 号溝完掘状況（東より）

写真 97　Ⅱ11 区北側遺構完掘状況（北より）

写真 98　Ⅱ11 区南側遺構完掘状況（南より）

写真 99　Ⅱ11 区東壁土層断面（西より）

写真 100　Ⅱ11 区南端遺構完掘状況（北より）

写真 101　Ⅱ12 区西側遺構完掘状況（西より）

写真 102　Ⅱ13 区遺構完掘状況（西より）

写真 103　Ⅱ14 区遺構完掘状況（西より）

写真 104　Ⅱ14 区遺構完掘状況（南東より）

写真 105　Ⅱ15 区 2 号硬化面検出状況（東より）

写真 106　Ⅱ15 区 3 号竪穴建物土層断面（南より）

写真 107　Ⅱ15 区遺構完掘状況（北東より）

写真 108　Ⅱ15 区北側壁土層断面（南より）

写真 109　Ⅱ16 区遺構完掘状況（北東より）

写真 110　Ⅱ16 区西壁土層断面（東より）

写真 111　Ⅱ17 区4層検出状況（西より）

図版 16　1310 調査地点Ⅱ区

写真 112　Ⅱ18 区 1 号竪穴建物掘方完掘状況（南より）

写真 113　Ⅱ18 区遺構完掘状況（東より）

写真 114　Ⅱ19 区掘削状況（南より）

写真 115　Ⅱ20 区遺構完掘状況（南東より）

写真 116　Ⅱ21 区遺構完掘状況（南より）

写真 117　Ⅱ22 区4層検出状況（東より）

写真 118　Ⅱ23 区遺構完掘状況（北より）

写真 119　Ⅱ24 区掘削状況（北西より）

写真 120　Ⅱ25 区遺構完掘状況（北より）

写真 121　Ⅱ26 区掘削状況（北より）

写真 122　Ⅱ27 区掘削状況（西より）

写真 123　Ⅱ28 区掘削状況（西より）

写真 124　Ⅱ29 区掘削状況（南より）

写真 125　Ⅱ30 区掘削状況（西より）

写真 126　Ⅱ31 区掘削状況（南より）

写真 127　Ⅱ32 区遺構完掘状況（東より）

図版 18　1310 調査地点Ⅱ区

写真 128　Ⅱ32 区東壁土層断面（西より）

写真 129　Ⅱ33 区遺構完掘状況（北より）

写真 130　Ⅱ34 区掘削状況（東より）

写真 131　Ⅱ35 区遺構完掘状況（北より）

写真 132　Ⅱ36-1 区掘削状況（南より）

写真 133　Ⅱ36-2 区掘削状況（東より）

写真 134　Ⅱ37-1 掘削状況（西より）

写真 135　Ⅱ37-4 区掘削状況（北より）

写真 136　Ⅱ38-1 区掘削状況（南より）

写真 137　Ⅱ38-2 区掘削状況（北西より）

写真 138　Ⅱ39 区掘削状況（北より）

写真 139　Ⅱ40 区遺構完掘状況（東より）

写真 140　Ⅱ41 区掘削状況（南より）

写真 141　Ⅱ42 区掘削状況（南より）

写真 142　Ⅲ1 区 1 号土坑完掘状況（西より）

写真 143　Ⅲ1・2 区 2 号溝遺物出土状況（北西より）

図版 20　1310 調査地点Ⅲ区

写真 144　Ⅲ1 区 1 号土坑・2 号溝切り合い関係確認土層断面(北より)

写真 145　Ⅲ1 区 3 号土坑西壁土層断面（東より）

写真 146　Ⅲ1 区古代遺構検出状況（北西より）

写真 147　Ⅲ1 区 7 号竪穴建物硬化面検出状況（東より）

写真 148　Ⅲ 1 区 2 号溝完掘状況　（南東より）

写真 149　Ⅲ1 区東西ベルト北壁土層断面(北西より)

写真 150　Ⅲ1 区 22 号溝完掘状況（北西より）

写真 151　Ⅲ1 区 28 号竈土層断面（西より）

写真 152　Ⅲ1 区 28 号竪穴建物掘方完掘状況（南より）

写真 153　Ⅲ1 区 30 号竈土層断面（南より）

写真 154　Ⅲ1 区 30 号竈遺物出土状況（南より）

写真 155　Ⅲ1 区 30 号竪穴建物掘方完掘状況（南より）

写真 156　Ⅲ1 区遺構完掘状況（南より）

写真 157　Ⅲ2 区 19 号竪穴建物土層断面（南より）

写真 158　Ⅲ2 区 19 号竪穴建物粘土集中部土層断面（南より）

写真 159　Ⅲ2 区 19 号竪穴建物掘方完掘状況（南より）

図版 22　1310 調査地点Ⅲ区

写真 160　Ⅲ2 区 19 号竪穴建物掘方完掘状況（北より）

写真 161　Ⅲ3 区 25 号土坑遺物出土状況（西より）

写真 162　Ⅲ3 区 3 号竪穴建物掘方完掘状況（東より）

写真 163　Ⅲ3 区遺構完掘状況（南より）

写真 164　Ⅲ3 区 3 号竈完掘状況（東より）

写真 165　Ⅲ4 区遺構完掘状況（南より）

写真 166　Ⅲ5 区 1 号栗石基礎検出状況（北より）

写真 167　Ⅲ5 区 7 号ピット土器出土状況（東より）

写真 168　Ⅲ5 区 1 号溝東西ベルト土層断面（南より）

写真 169　Ⅲ5 区遺構完掘状況（南より）

写真 170　Ⅲ5-2 区遺構完掘状況（東より）

写真 171　Ⅲ6 区 1 号栗石基礎検出状況（南西より）

写真 172　Ⅲ6 区 4 号土坑遺物出土状況（北より）

図版 24　1310 調査地点Ⅲ区

写真 173　Ⅲ6 区 6 号竪穴建物硬化面・焼土・粘土検出状況（東より）

写真 174　Ⅲ6 区南西部遺構完掘状況（西より）

写真 175　Ⅲ6 区北側遺構完掘状況（北より）

写真 176　Ⅲ7 区遺構完掘状況（南より）

写真 177　Ⅲ7-2 区掘削状況（西より）

写真 178　Ⅲ区 8 号竪穴建物粘土検出状況（東より）

写真 179　Ⅲ8 区 30 号竈土層断面（東より）

写真 180　Ⅲ8 区 7 号竪穴建物検出状況（東より）

写真 181　Ⅲ8 区遺構完掘状況（北より）

写真 182　Ⅲ9 区 1 号土坑内陶磁器出土状況（西より）

写真 183　Ⅲ9 区 2 号溝完掘状況（北より）

写真 184　Ⅲ9 区 4 号溝完掘状況（北より）

写真 185　Ⅲ9 区 3 号竪穴建物掘方土層断面（東より）

写真 186　Ⅲ9 区 3 号竈袖検出状況（南より）

写真 187　Ⅲ9 区 3 号竪穴建物掘方完掘状況（南より）

写真 188　Ⅲ9 区完掘状況（北より）

図版 26　1310 調査地点Ⅲ区

写真 189　Ⅲ9 区完掘状況（南より）

写真 190　Ⅲ10 区掘削状況（西より）

写真 191　Ⅲ11 区 1 号ピット内土器出土状況（東より）

写真 192　Ⅲ11 区 7 号竪穴建物掘方完掘状況（北より）

写真 193　Ⅲ11 区遺構完掘状況（北より）

写真 194　Ⅲ11 区西壁土層断面（東より）

写真 195　Ⅲ12 区 1 号竈遺物出土状況（北より）

写真 196　Ⅲ12 区 1 号竈完掘状況（北より）

写真 197　Ⅲ12 区遺構完掘状況（北より）

写真 198　Ⅲ12 区調査区東壁土層断面（西より）

写真 199　Ⅲ13 区 2 号溝検出状況（北西より）

写真 200　Ⅲ14 区掘削状況（西より）

写真 201　Ⅲ15 区掘削状況（西より）

写真 202　Ⅲ16 区掘削状況（東より）

写真 203　Ⅲ17 区掘削状況（南より）

写真 204　Ⅲ18 区遺構完掘状況（北西より）

図版 28　1310 調査地点Ⅲ区

写真 205　Ⅲ19 区掘削状況（東より）

写真 206　Ⅲ20 区掘削状況（北より）

写真 207　Ⅲ21 区掘削状況（北より）

写真 208　Ⅲ22 区掘削状況（北西より）

写真 209　Ⅲ23 区掘削状況（南より）

写真 210　Ⅲ24 区遺構完掘状況（南より）

写真 211　Ⅲ25 区遺構完掘状況（東より）

写真 212　Ⅲ26-1 掘削状況（北東より）

写真 213　Ⅲ26-2 掘削状況（北東より）

写真 214　Ⅲ26-3 区掘削状況（東より）

写真 215　Ⅲ27-1 区掘削状況（北より）

写真 216　Ⅲ27-2 区掘削状況（南より）

写真 217　Ⅲ28 区掘削状況（北西より）

写真 218　Ⅲ28 区掘削状況（北より）

写真 219　Ⅲ29 区バンド撤去後掘削状況（北東より）

写真 220　Ⅲ30 区掘削状況（西より）

図版 30　1310 調査地点Ⅲ・Ⅳ区

写真 221　Ⅲ31 区掘削状況（北より）

写真 222　Ⅲ32 区区掘削状況（南より）

写真 223　Ⅳ1 区 26 号竪穴建物検出状況（北より）

写真 224　Ⅳ1 区 26 号竪穴建物土層断面（北西より）

写真 225　Ⅳ1 区南壁土層断面（北より）

写真 226　Ⅳ1 区遺構完掘状況（北より）

写真 227　Ⅳ2 区遺構完掘状況（西より）

写真 228　Ⅳ3 区遺構完掘状況（東より）

写真 229　Ⅳ3 区 22 号溝南壁土層断面（北より）

写真 230 Ⅳ3 区西側遺構完掘状況（西より）

写真 231 Ⅳ4 区遺構完掘状況（南より）

写真 232 Ⅳ5 区 5 号ピット遺物出土状況（北東より）

写真 233 Ⅳ5 区 12 号竪穴建物掘方土層断面（西より）

写真 234 Ⅳ5 区 11 号竪穴建物掘方土層断面（西より）

写真 235 Ⅳ5 区 11 号竪穴建物掘方完掘状況（東より）

写真 236 Ⅳ5 区 13 号竪穴建物砥石出土状況（北より）

図版 32　1310 調査地点Ⅳ区

写真 237　Ⅳ5 区 13 号竈土層断面（西より）

写真 238　Ⅳ5 区 13 号竈内遺物出土状況（東より）

写真 239　Ⅳ5 区 13 号掘方土層断面（東より）

写真 240　Ⅳ5 区遺構完掘状況（東より）

写真 241　Ⅳ5 区南側壁面土層断面（北より）

写真 242　Ⅳ6 区 19 号竪穴建物粘土遺物出土状況（東より）

写真 243　Ⅳ6 区 19 号竪穴建物土層断面（東より）

写真 244　Ⅳ6 区 19 号竈土層断面（東より）

写真 245　Ⅳ6 区 19 号竈内遺物出土状況（東より）

写真 246　Ⅳ6 区 19 号竈掘方土層断面（東より）

写真 247　Ⅳ6 区 20 号ピット遺物出土状況（東より）

写真 248　Ⅳ6・7 区遺構完掘状況（東より）

写真 249　Ⅳ7 区 40 号土坑粘土検出状況（南より）

図版 34　1310 調査地点Ⅳ区

写真 250　Ⅳ7 区 76 号焼土集中部遺物出土状況（東より）

写真 251　Ⅳ7 区 40 号土坑内遺物出土状況（東より）

写真 252　Ⅳ7 区遺構完掘状況（西より）

写真 253　Ⅳ8 区 56 号溝土層断面（南東より）

写真 254　Ⅳ8 区 70 号溝土層断面（西より）

写真 255　Ⅳ8 区 56 号溝完掘状況（北西より）

写真 256　Ⅳ9 区掘削状況（北より）

写真 257　Ⅳ10-1 区掘削状況（西より）

写真 258　Ⅳ10-2 区 13 号竪穴建物土層断面（西より）

写真 259　Ⅳ10-2 区 13 号竪穴建物硬化面検出状況（東より）

写真 260　Ⅳ10-2 区 59 号竪穴建物完掘状況（南より）

写真 261　Ⅳ10-2 区 16 号竪穴建物遺物出土状況（南西より）

写真 262　Ⅳ10-2 区 16 号竪穴建物掘方完掘状況（北東より）

写真 263　Ⅳ10-2 区 57 号竪穴建物遺物出土状況（東より）

写真 264　Ⅳ10-2 区 57 号竪穴建物掘方完掘状況（東より）

写真 265　Ⅳ区 10-2 区遺構完掘状況（東より）

図版 36　1310 調査地点Ⅳ区

写真 266　Ⅳ10-2 区 13 号竪穴建物付近北壁土層断面（南より）

写真 267　Ⅳ10-2 区 16 号竪穴建物付近北壁土層断面（南より）

写真 268　Ⅳ10-2 区東端遺構完掘状況（南東より）

写真 269　Ⅳ11 区 10 号ピット上部粘土集中部土層断面（南より）

写真 270　Ⅳ11 区 3 号竈土層断面（南西より）

写真 271　Ⅳ11 区 3 号竪穴建物内遺物出土状況（南より）

写真 272　Ⅳ11 区 3 号竈内遺物出土状況（東より）

写真 273　Ⅳ11 区 3 号竈内遺物出土状況（南より）

写真 274　Ⅳ11 区 3 号竈掘方土層断面（西より）

写真 275　Ⅳ11 区 3 号竈袖石等出土状況（南より）

写真 276　Ⅳ11 区 3 号竖穴建物掘方完掘状況（北より）

写真 277　Ⅳ11 区 4 号竖穴建物掘方土層断面（北西より）

写真 278　Ⅳ11 区 4 号竖穴建物掘方完掘状況（西より）

写真 279　Ⅳ11 区 3・4 号竖穴建物土層断面（北より）

写真 280　Ⅳ11 区遺構完掘状況（西より）

写真 281　Ⅳ12 区遺構完掘状況（南より）

図版 38　1310 調査地点Ⅳ区

写真 282　Ⅳ13 区 7 号竪穴建物土層断面（東より）

写真 283　Ⅳ13 区 7 号竪穴建物完掘状況（西より）

写真 284　Ⅳ13 区 7 号竪穴建物掘方完掘状況（東より）

写真 285　Ⅳ13 区 3 号竪穴建物遺物出土状況（北より）

写真 286　Ⅳ13 区 3 号竪穴建物土層断面（北より）

写真 287　Ⅳ13 区 3 号竪穴建物掘方完掘状況（東より）

写真 288　Ⅳ区 13 区 5 号竪穴建物土層断面（西より）

写真 289　Ⅳ区 13 区 5 号竪穴建物掘方土層断面（西より）

写真 290　Ⅳ区 13 区 5 号竪穴建物掘方完掘状況（東より）

写真 291　Ⅳ13 区 4 号土坑遺物出土状況（東より）

写真 292　Ⅳ13 区 4 号土坑完掘状況（東より）

写真 293　Ⅳ14 区 4 号土坑土層断面（北より）

写真 294　Ⅳ13 区遺構完掘状況（東より）

写真 295　Ⅳ13 区遺構完掘状況（西より）

写真 296　Ⅳ14 区遺構完掘状況（西より）

写真 297　Ⅳ14 区 18 号竈土器出土状況（北西より）

図版 40　1310 調査地点Ⅳ区

写真 298　Ⅳ14 区 18 号竪穴建物土層断面（東より）

写真 299　Ⅳ14 区 18 号竪穴建物完掘状況（北より）

写真 300　Ⅳ15 区掘削状況（西より）

写真 301　Ⅳ16 区遺構完掘状況（南より）

写真 302　Ⅳ17 区掘削状況（北より）

写真 303　Ⅳ18 区遺構完掘状況（南より）

写真 304　Ⅳ19-1 区掘削状況（西より）

写真 305　Ⅳ19-2 区遺構完掘状況（南より）

写真 306　Ⅳ20 区遺構完掘状況（東より）

写真 307　Ⅳ21 区掘削状況（北より）

写真 308　Ⅳ22 区遺構検出状況（東より）

写真 309　Ⅳ23 区掘削状況（西より）

写真 310　Ⅳ24 区遺構完掘状況（東より）

写真 311　Ⅳ25 区 1 号溝完掘状況（西より）

写真 312　Ⅳ25 区 1 号溝北壁土層断面（南より）

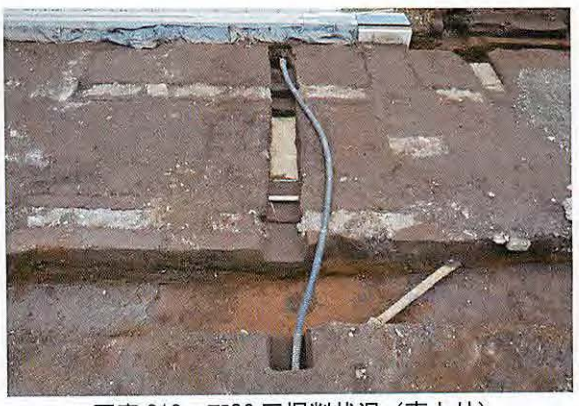


写真 313　Ⅳ26 区掘削状況（南より）

図版 42　1310 調査地点Ⅳ区

写真 314　Ⅳ27 区掘削状況（西より）

写真 315　Ⅳ28 区掘削状況（東より）

写真 316　Ⅳ29 区遺構完掘状況（東より）

写真 317　Ⅳ30-1 区遺構完掘状況　（東より）

写真 318　Ⅳ30-2 区遺構完掘状況（南東より）

写真 319　Ⅳ30-3 区掘削状況（東より）

写真 320　Ⅳ31 区掘削状況（北より）

写真 321　Ⅳ32 区遺構検出状況（南東より）

写真 322　Ⅳ33 区掘削状況（南西より）

写真 323　Ⅳ33-2 区遺構完掘状況（北より）

写真 324　Ⅳ34 区遺構完掘状況（北より）

写真 325　Ⅳ35 区掘削状況（東より）

写真 326　Ⅳ36 区掘削状況（西より）

写真 327　Ⅳ37-1 区掘削状況（東より）

写真 328　Ⅳ37-2 区掘削状況（西より）

写真 329　Ⅳ38 区掘削状況（北より）

図版 44　1310 調査地点Ⅳ・Ⅴ区

写真 330　Ⅳ39-1 区掘削状況（北より）

写真 331　Ⅳ39-2 区掘削状況（東より）

写真 332　Ⅳ39-3 区掘削状況（西より）

写真 333　Ⅴ1 区遺構完掘状況（北より）

写真 334　Ⅴ2 区掘削状況（西より）

写真 335　Ⅴ3-1 区遺構完掘状況（南より）

写真 336　Ⅴ3-1 区遺構完掘状況（北東より）

写真 337　Ⅴ3-1 区 1 号溝集石検出状況（北より）

写真 338　V3-2 区 2 号溝完掘状況（北西より）

写真 339　V3-2 区 2 号溝北側土層（南東より）

写真 340　V3-2 区 2 号溝周囲鉄管・ガラス瓶出土状況（南西より）

写真 341　V3-2 区 2 号溝石材矢穴近影（北西より）

写真 342　V4-1 区遺構完掘状況（北より）

図版 46　1310 調査地点Ｖ区

写真 343　Ｖ4-2 区 1 号溝土層断面（北東より）

写真 344　Ｖ4-2 区北壁土層断面（北より）

写真 345　Ｖ4-2 区遺構完掘状況（北東より）

写真 346　Ｖ5 区掘削状況（東より）

写真 347　Ｖ6 区西壁土層断面（東より）

写真 348　Ｖ6 区 7 号溝土層断面（北東より）

写真 349　Ｖ6 区遺構完掘状況（北より）

写真 350　Ｖ7 区 2 号溝土層断面（南西より）

写真 351　Ｖ7 区遺構完掘状況（南より）

写真 352　Ｖ8 区掘削状況（北より）

写真 353　Ｖ9 区 1 号竪穴建物硬化面検出状況（東より）

写真 354　Ｖ9・10 区 1 号竪穴建物土層断面（北西より）

写真 355　Ｖ10 区 1 号竈土層断面（南より）

写真 356　Ｖ10 区遺構完掘状況（北より）

写真 357　Ｖ11 区 2 号溝ベルト東壁土層断面（東より）

写真 358　Ｖ11 区 1 号竪穴建物南壁土層断面　（北より）

図版 48　1310 調査地点Ｖ区

写真 359　V11 区 1 号竪穴建物床面土器出土状況　（西より）

写真 360　V11 区 1 号竪穴建物完掘状況（北より）

写真 361　V11 区遺構完掘状況（東より）

写真 362　V11 区拡張部遺構完掘状況（南東より）

写真 363　V11 拡張部東側遺構完掘状況（北西より）

写真 364　V12 区 1 号土坑検出状況（北より）

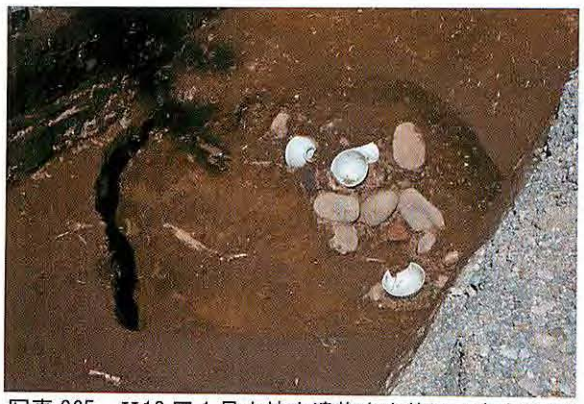


写真 365　V12 区 1 号土坑内遺物出土状況（南東より）

写真 366　V12 区遺構完掘状況（北より）

写真 367　Ｖ12 区 1 号溝土層断面（南東より）

写真 368　Ｖ13 区遺構完掘状況（東より）

写真 369　Ｖ13 区北壁土層断面（南より）

写真 370　Ｖ14 区 1 号栗石基礎検出状況（東より）

写真 371　Ｖ14 区 1 号溝土層断面（西より）

写真 372　Ｖ14 区遺構完掘状況（北より）

写真 373　Ｖ15 区 1 号溝完掘状況（西より）

写真 374　Ｖ15 区 2 号竪穴建物東西アゼ土層断面（北より）

図版 50　1310 調査地点Ｖ区

写真 375　Ｖ15 区遺構完掘状況（南西より）

写真 376　Ｖ15-2 区掘削状況（南より）

写真 377　Ｖ16 区掘削状況（西より）

写真 378　Ｖ18 区 6 号溝土層断面（東より）

写真 379　Ｖ18 区完掘状況（西より）

写真 380　Ｖ19-2 区南側完掘状況（西より）

写真 381　Ｖ20 区遺構完掘状況（北より）

写真 382　Ｖ21 区西掘削状況（西より）

写真 383　Ｖ21 区掘削状況（東より）

写真 384　Ｖ22 区掘削状況（北東より）

写真 385　Ｖ23 区掘削状況（南より）

写 386　Ｖ24 区掘削状況（東より）

写真 387　Ｖ25 区掘削状況（北より）

写真 388　Ｖ26 区 1 号溝土層断面（西より）

写真 389　Ｖ26 区遺構完掘状況（北より）

写真 390　Ｖ27 区掘削状況（北東より）

図版 52　1310 調査地点Ｖ区

写真 391　Ｖ28 区遺構完掘状況（北より）

写真 392　Ｖ29-2 区 8 号ピット内遺物出土状況（北より）

写真 393　Ｖ29-2 区掘削状況（東より）

写真 394　Ｖ区 29-3 区 1 号溝内ガラス玉出土状況（西より）

写真 395　Ｖ29-3 区 1 号溝土層断面（東より）

写真 396　Ｖ29-3 区遺構完掘状況（西より）

写真 397　Ｖ29-4 区完掘状況（北より）

写真 398　Ｖ29-5 区掘削状況（東より）

写真 399　Ⅴ29-6 区掘削状況（北より）

写真 400　Ⅴ30 区掘削状況（北より）

写真 401　Ⅴ31 区北側完掘状況（南より）

写真 402　Ⅴ31 区完掘後北東壁土層断面（南より）

写真 403　Ⅴ32 区掘削状況（西より）

写真 404　Ⅴ33 区掘削状況（東より）

写真 405　Ⅴ34 区掘削状況（東より）

写真 406　Ⅵ区掘削状況 1（北東より）

図版 54　1310 調査地点Ⅵ区ほか

写真 407　Ⅵ区掘削状況 2（南より）

写真 408　Ⅵ区掘削状況 3（西より）

写真 409　発掘調査現場見学の様子 1

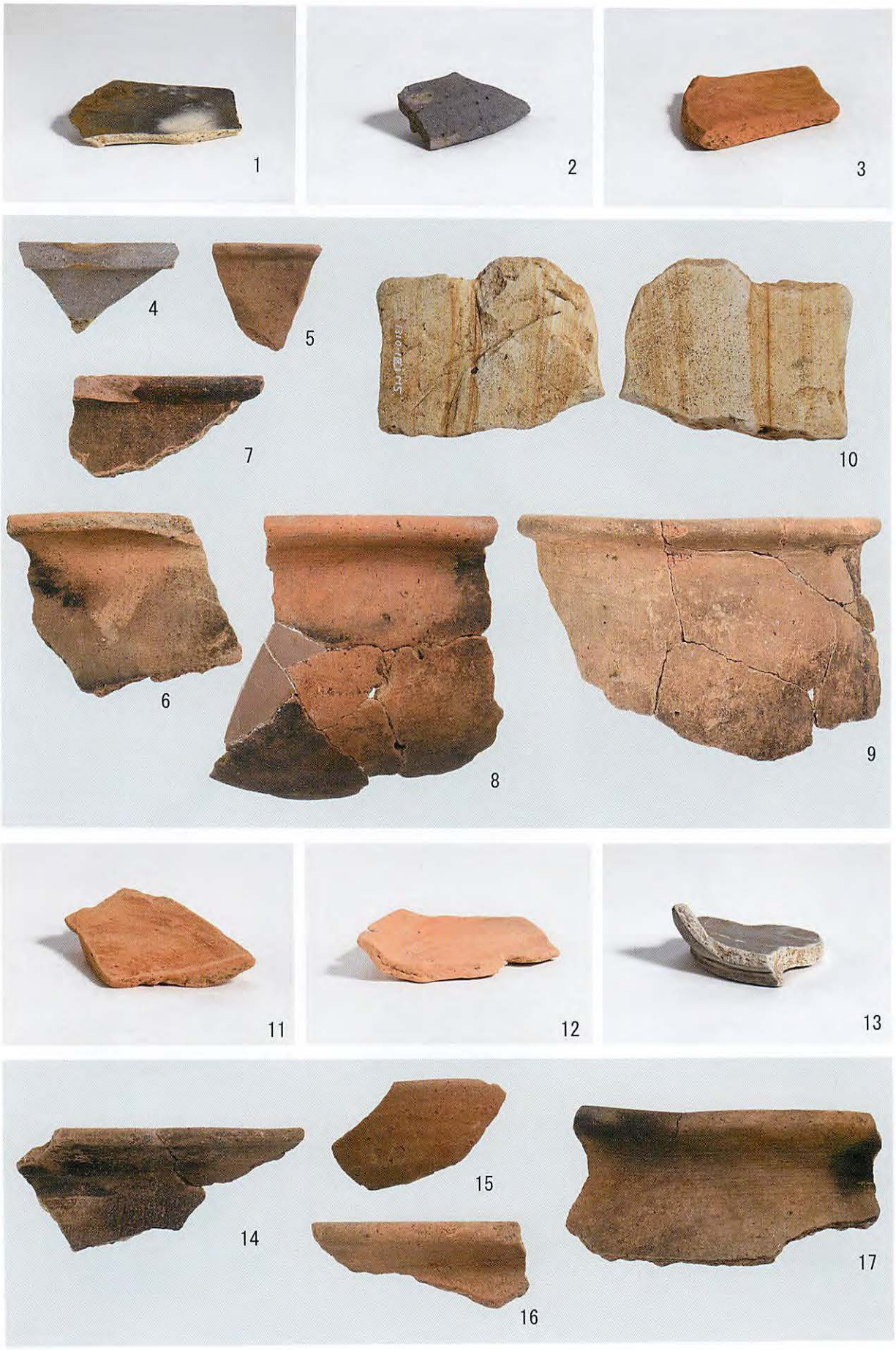
写真 410　発掘調査現場見学の様子 2

写真 411　発掘調査集合写真 1

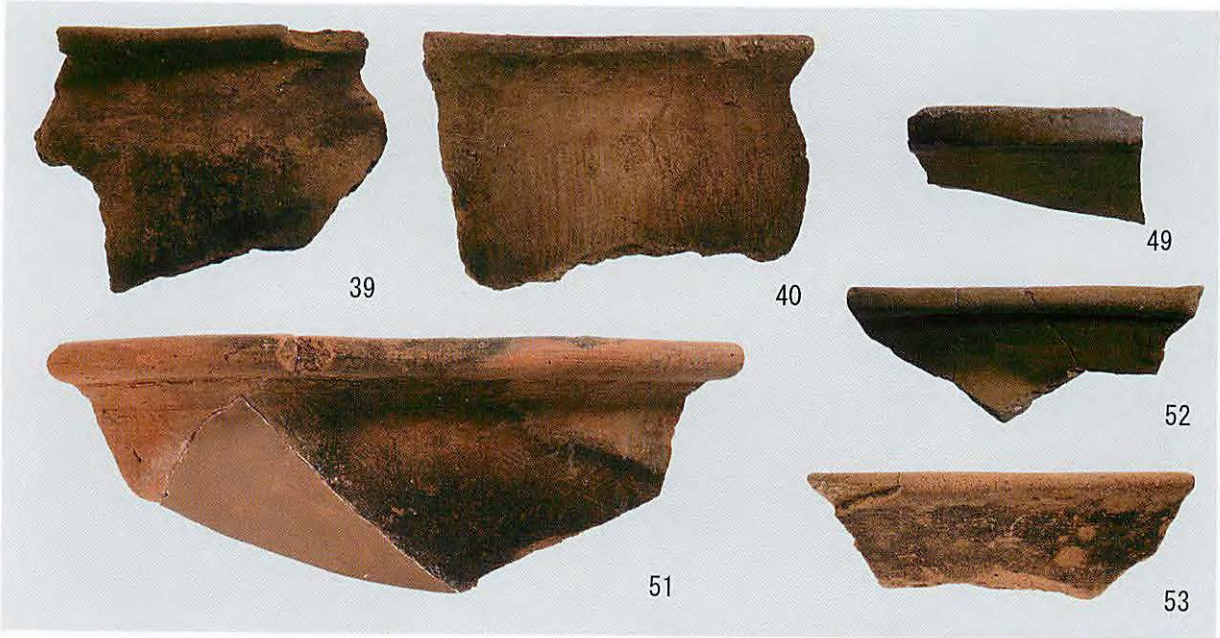
写真 412　発掘調査集合写真 2

写真 413　発掘調査集合写真 3

図版 55　1310 調査地点出土遺物 1



図版 56　1310 調査地点出土遺物 2


39
40
49
52
51
53

37

38

41

42

43

44

45

46

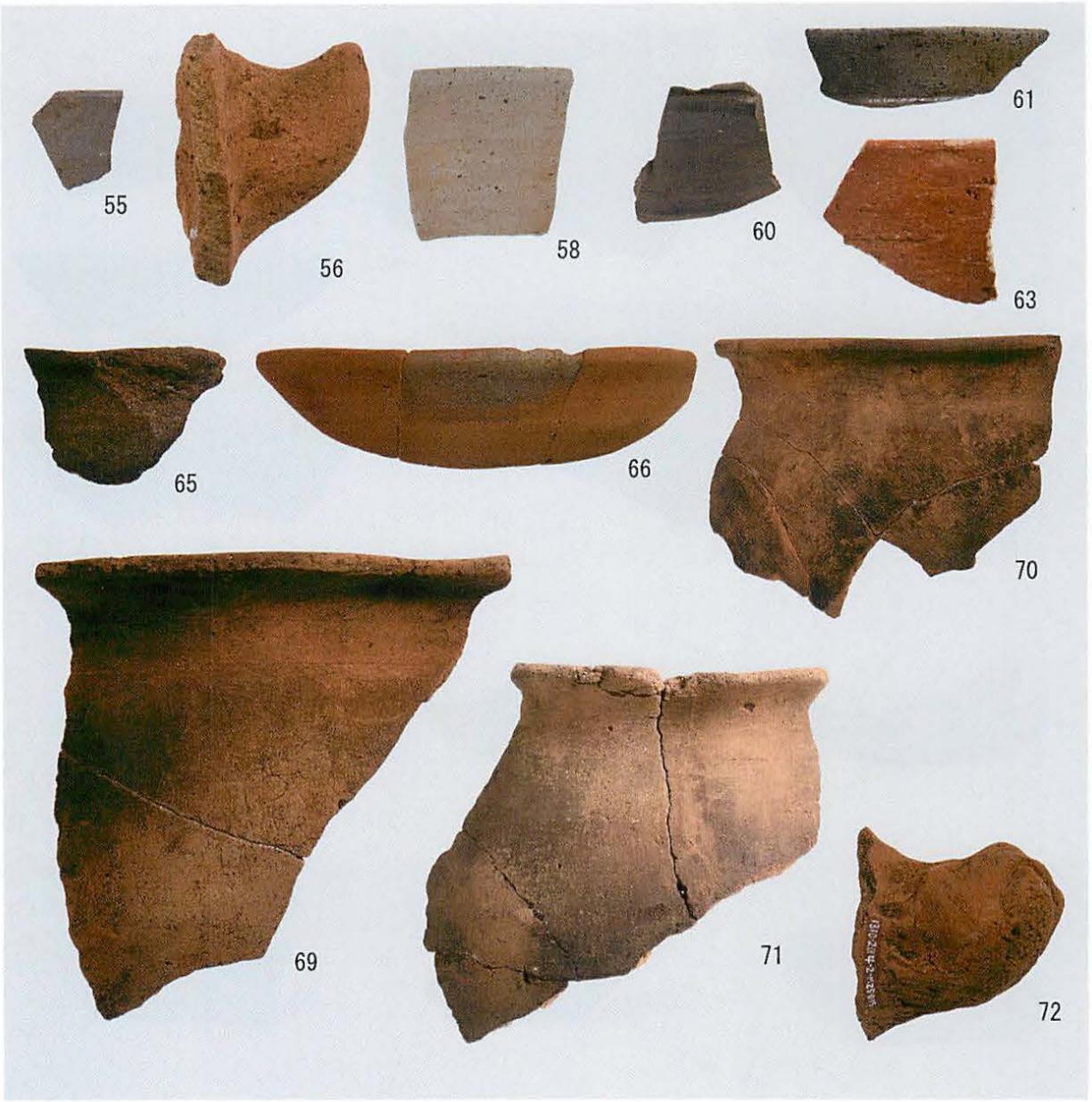
47

48

50

54

図版 58　1310 調査地点出土遺物 4



74
73
77
76
78

75

79

80

図版 60　1310 調査地点出土遺物 6

95
98
103

96

97

99

100

101

102

102

104

105

108

109

110

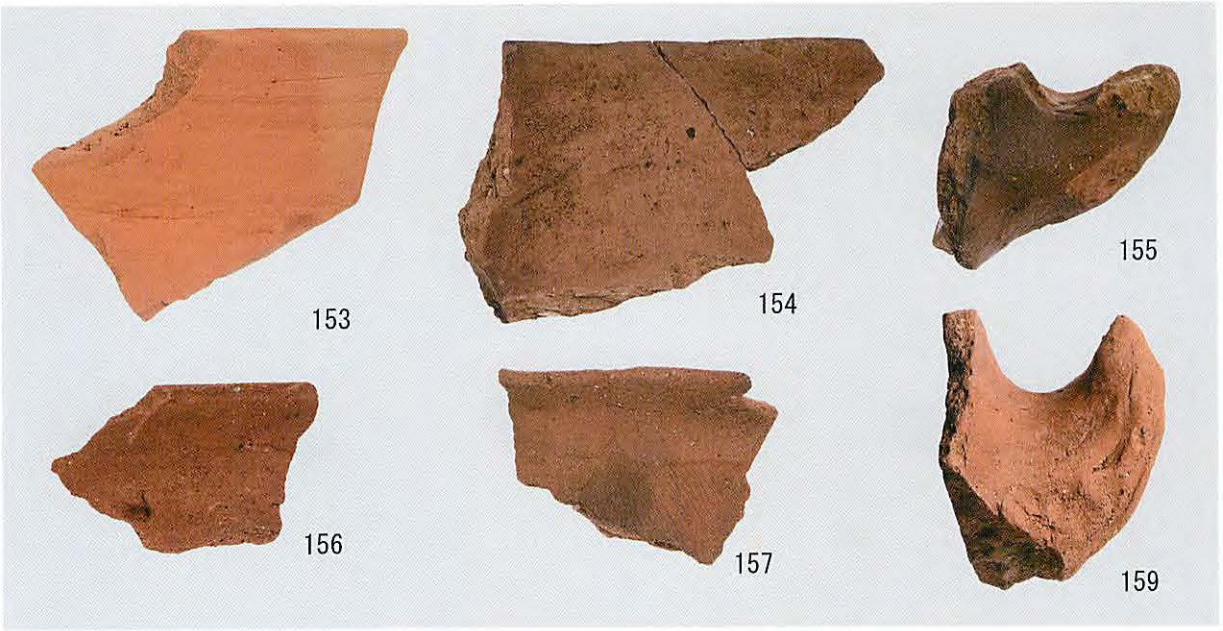
111

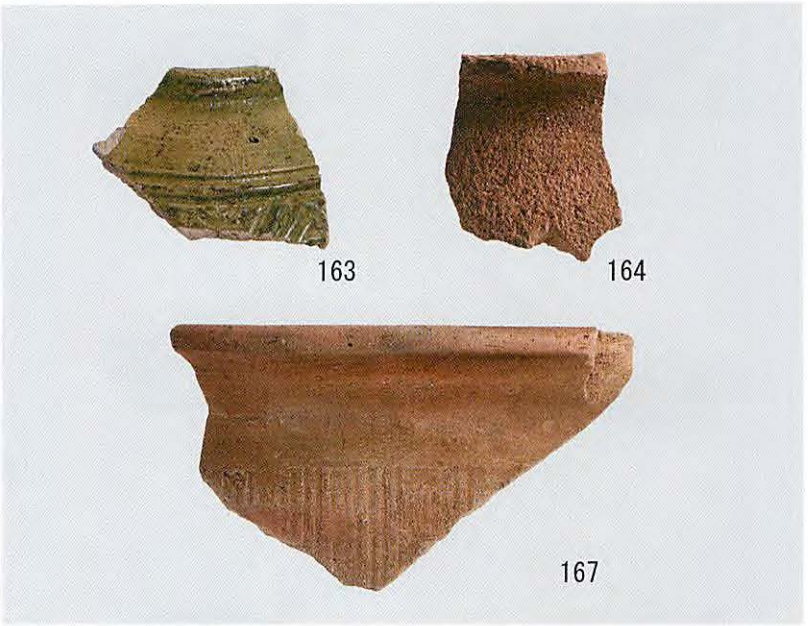
112

図版 62　1310 調査地点出土遺物８

125
126
127
133
134
135
137
139
140
141
145
146
147
148
150
136
138
142
143
144
149
151
152

図版 64　1310 調査地点出土遺物 10

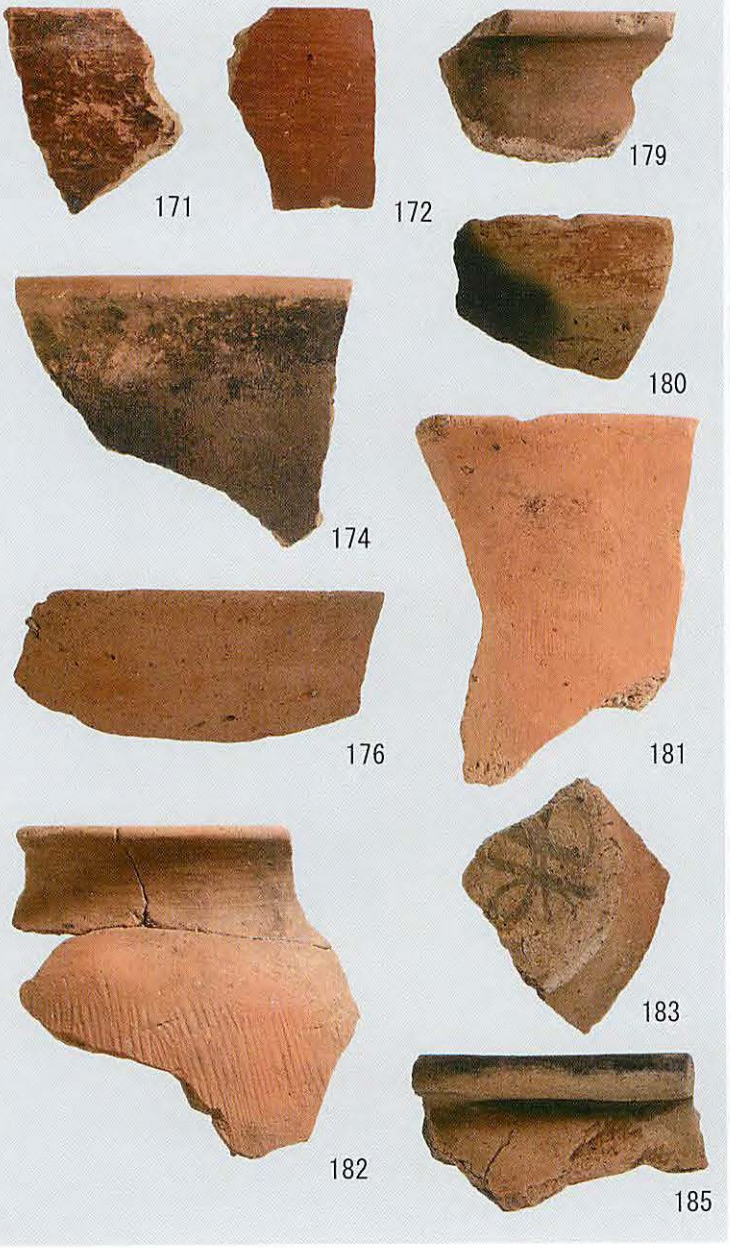




170

173

178


171
172
179
180
174
176
181
183
182
185

175
177
184
186
187

図版 66　1310 調査地点出土遺物 12

188

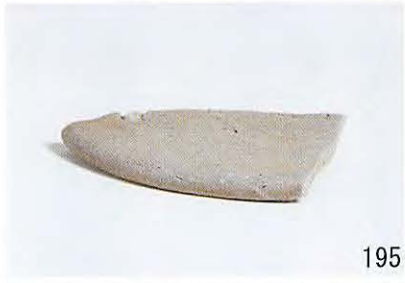
189

191

192

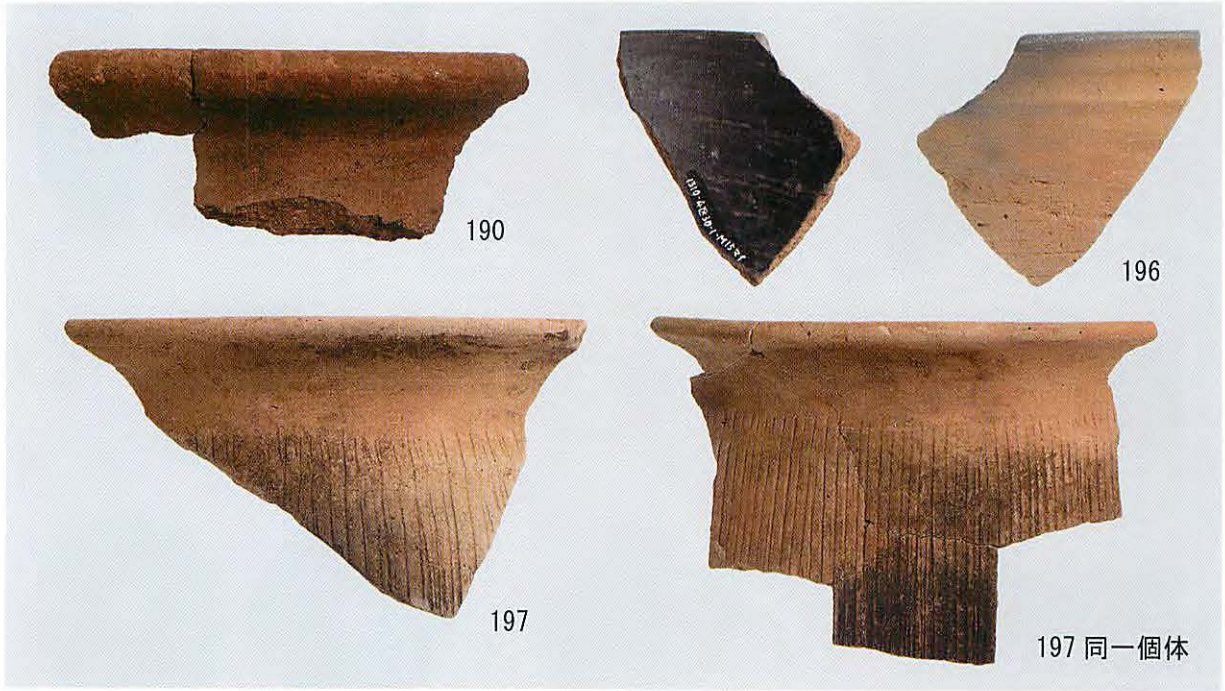
193

194


195

199

200


190

196

197

197 同一個体

198

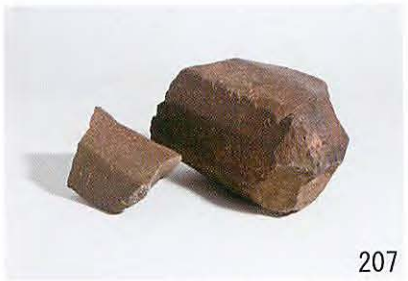
201

202
203
214
209
206
211

204

205

206


207

208

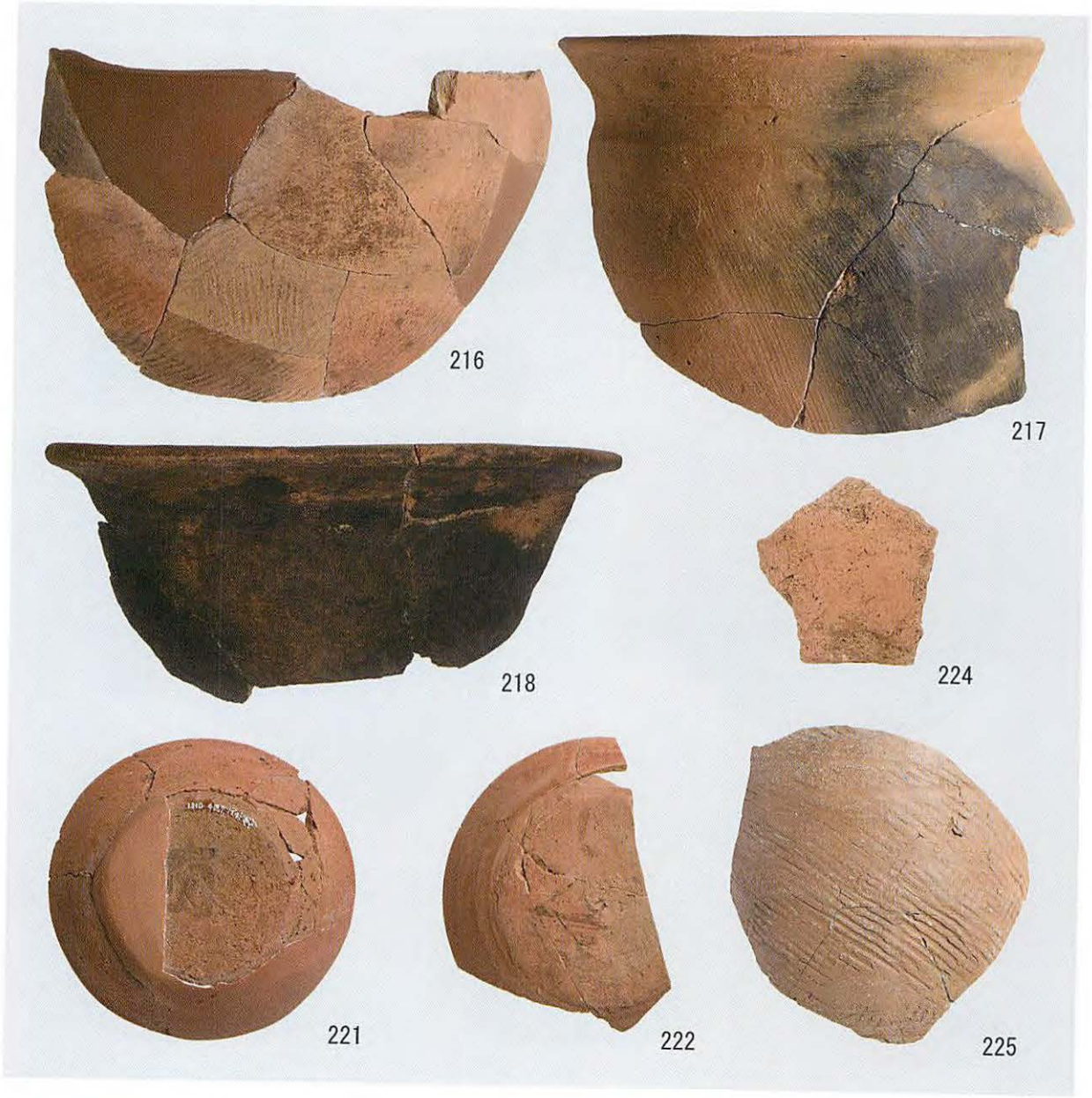
210

212

213

215

図版 68　1310 調査地点出土遺物 14



219

220

221

222

223

226

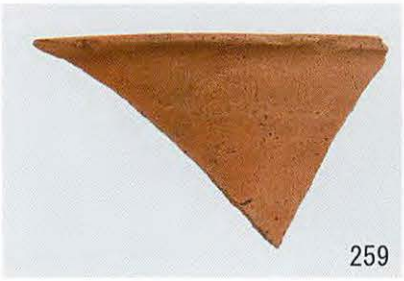
227
229
233
239
240
241
228
232
230
231
242
234
233
235
237
236
238

図版 70　1310 調査地点出土遺物 16

256

257

258


259

260

261

262

263

266

268

275

276

277

278

279 ～ 282

図版 72　1310 調査地点出土遺物 18

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

374

375

376

378

図版 74　1310 調査地点出土遺物 20

377

384

385

386

387

388

389 ～ 392・396・398・400 ～ 404

393 ～ 395・397・399

379 ～ 383

405

406

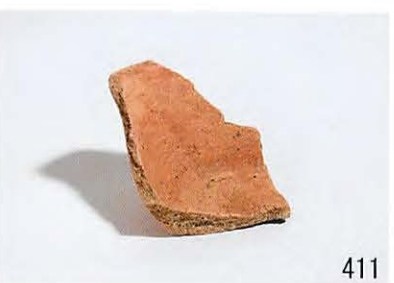
407

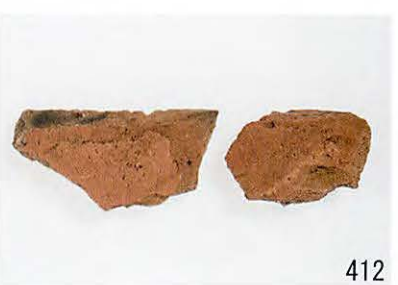
408

409

410

410


411


412

412

413

414

415

416

417

418

419

420

図版 76　1310 調査地点出土遺物 22

421

422

423

424

425

426

427

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはっくつちょうさほうこく16
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告16
副書名	
巻次	
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書
シリーズ号	16
編著者名	山野　ケン陽次郎
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1　TEL. 096-342-3832　FAX. 096-342-3832
発行年月日	2021年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
黒髪町遺跡群（1310地点）	熊本県 熊本市 黒髪	43201	278	32° 48' 43"	130° 43' 36"	20130805 ～ 20150320	5251.7㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
黒髪町遺跡群（1310地点）	集落址	古代・中世 近世・近代	竪穴建物・溝・土坑・ピット・栗石基礎	須恵器・土師器・陶磁器・石製品・土製品・鉄製品・青銅製品・ガラス製品	熊本高等工業学校学生寮「工友寮」関連資料

要約

本報告書では2013・2014年度に調査された黒髪南地区1310調査地点（黒髪町遺跡群）の古代、中世、近世、近代に関する調査成果を掲載した。1310調査地点は熊本大学黒髪南キャンパスの理学部棟周辺にあたる。調査地点は熊本市街地の北東に位置する立田山と、阿蘇に水源を持つ白川にはさまれた自然堤防上に立地する。従来の調査では、周辺から古代の竪穴建物や溝など、集落の痕跡がみつかっている。

今回の調査では縄文時代、古代、中世、近世、近代の遺構・遺物を発見した。古代では７世紀～８世紀後半を主とする竪穴建物や溝、土坑、ピットなど遺構やこれに伴う土師器、須恵器などの土器類、鉄製品、石製品、土製品などの遺物を検出した。これにより従前の調査では不明であった黒髪町遺跡群南東端における古代の集落の規模と存続年代を部分的ながら解明することができた。また、竪穴建物に後出する溝を確認し、方位や配置から条里に関連する区画溝である可能性を指摘した。近世・近代では溝や土坑、栗石基礎などの遺構やこれに伴う陶磁器、瓦、ガラス製品などの遺物を検出した。とりわけ熊本高等工業学校時代（明治41年～昭和29年）に開寮した学生寮である「工友寮」に関連する資料が得られたことは重要である。由来の明らかな近代の陶磁器類の報告例は非常に乏しく、当時の学生生活の実態把握や、陶磁器類など食器類の消費動向の復元、近代陶磁器の編年の充実においても有用な資料となりえるだろう。

熊本大学埋蔵文化財調査報告書　第16集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告16
（2013・2014年度：黒髪南地区1310調査地点２）

令和３年３月31日　印刷
令和３年３月31日　発行
編集・発行　熊本大学埋蔵文化財調査センター
〒860－8555　熊本市中央区黒髪２丁目39－１
TEL 096(342)3832　　FAX 096(342)3832
印　　刷　シモダ印刷株式会社

ECLIPSE
FRENCH SATIN
GLOSS
SA